

那 珂 市

下大賀遺跡 3

一般国道118号道路改築事業
地内埋蔵文化財調査報告書Ⅲ

中 卷

令和5年3月

茨城県常陸大宮土木事務所
公益財団法人茨城県教育財団

茨城県教育財団文化財調査報告第467集

な 那 か 珂 し 市

しも おお が
下大賀遺跡 3

一般国道118号道路改築事業
地内埋蔵文化財調査報告書Ⅲ

中 卷

令和5年3月

茨城県常陸大宮土木事務所
公益財団法人茨城県教育財団

目 次

- 中 卷 -

第3節 遺構と遺物

6 平安時代の遺構と遺物

(1) 竪穴建物跡（第82号竪穴建物跡～第180号竪穴建物跡）	313
(2) 掘立柱建物跡	386
(3) 竪穴遺構	414
(4) 道路跡	422
(5) 土 坑	432

7 江戸時代の遺構と遺物

土 坑	460
-----	-----

8 時期不明の遺構と遺物

(1) 竪穴建物跡	462
(2) 溝 跡	463
(3) 土 坑	465
(4) ピット群	540
(6) 遺構外出土遺物	544

挿 図 目 次

- 中 卷 -

第243図 第82号竪穴建物跡実測図	313	第259図 第97号竪穴建物跡実測図	331
第244図 第82号竪穴建物跡出土遺物実測図	314	第260図 第97号竪穴建物跡出土遺物実測図	332
第245図 第83号竪穴建物跡・出土遺物実測図	315	第261図 第98号竪穴建物跡・出土遺物実測図	333
第246図 第84号竪穴建物跡・出土遺物実測図	317	第262図 第100号竪穴建物跡実測図	334
第247図 第88号竪穴建物跡・出土遺物実測図	318	第263図 第102号竪穴建物跡出土遺物実測図	335
第248図 第88号竪穴建物跡出土遺物実測図	319	第264図 第103号竪穴建物跡実測図	336
第249図 第89号竪穴建物跡・出土遺物実測図	320	第265図 第103号竪穴建物跡出土遺物実測図	337
第250図 第92号竪穴建物跡実測図	321	第266図 第105号竪穴建物跡出土遺物実測図	338
第251図 第92号竪穴建物跡出土遺物実測図	322	第267図 第106号竪穴建物跡実測図	339
第252図 第93号竪穴建物跡実測図	323	第268図 第108号竪穴建物跡実測図	340
第253図 第93号竪穴建物跡出土遺物実測図	324	第269図 第108号竪穴建物跡出土遺物実測図	341
第254図 第94号竪穴建物跡実測図	325	第270図 第111号竪穴建物跡・出土遺物実測図	342
第255図 第94号竪穴建物跡・出土遺物実測図	326	第271図 第113号竪穴建物跡出土遺物実測図	343
第256図 第95号竪穴建物跡実測図	327	第272図 第116号竪穴建物跡出土遺物実測図	345
第257図 第95号竪穴建物跡・出土遺物実測図	328	第273図 第120号竪穴建物跡実測図	346
第258図 第96号竪穴建物跡・出土遺物実測図	329	第274図 第120号竪穴建物跡出土遺物実測図	347

第 275 图	第 121 号竖穴建物跡実測図	348	第 320 图	第 8 号掘立柱建物跡出土遺物実測図	394
第 276 图	第 121 号竖穴建物跡出土遺物実測図	349	第 321 图	第 8 号掘立柱建物跡実測図	395
第 277 图	第 122 号竖穴建物跡実測図	350	第 322 图	第 9 号掘立柱建物跡実測図 (1)	397
第 278 图	第 122 号竖穴建物跡出土遺物実測図	351	第 323 图	第 9 号掘立柱建物跡実測図 (2)	398
第 279 图	第 131 号竖穴建物跡・出土遺物実測図	352	第 324 图	第 10 号掘立柱建物跡実測図	399
第 280 图	第 131 号竖穴建物跡・出土遺物実測図	353	第 325 图	第 11 号掘立柱建物跡実測図	400
第 281 图	第 132 号竖穴建物跡実測図	354	第 326 图	第 11 号掘立柱建物跡・出土遺物実測図	401
第 282 图	第 132 号竖穴建物跡出土遺物実測図	355	第 327 图	第 12 号掘立柱建物跡実測図 (1)	402
第 283 图	第 133 号竖穴建物跡実測図	356	第 328 图	第 12 号掘立柱建物跡実測図 (2)	403
第 284 图	第 133 号竖穴建物跡・出土遺物実測図	357	第 329 图	第 14 号掘立柱建物跡・出土遺物実測図	404
第 285 图	第 136 号竖穴建物跡出土遺物実測図	358	第 330 图	第 15 号掘立柱建物跡実測図	406
第 286 图	第 138 A 号竖穴建物跡出土遺物実測図	359	第 331 图	第 16 号掘立柱建物跡実測図	407
第 287 图	第 138 B 号竖穴建物跡出土遺物実測図	360	第 332 图	第 17 号掘立柱建物跡実測図	408
第 288 图	第 138 B 号竖穴建物跡出土遺物実測図	361	第 333 图	第 18 号掘立柱建物跡実測図	409
第 289 图	第 140 号竖穴建物跡実測図	362	第 334 图	第 19 号掘立柱建物跡実測図	410
第 290 图	第 140 号竖穴建物跡出土遺物実測図	363	第 335 图	第 20 号掘立柱建物跡実測図	411
第 291 图	第 142 号竖穴建物跡実測図	363	第 336 图	第 29 号掘立柱建物跡実測図	412
第 292 图	第 142 号竖穴建物跡出土遺物実測図	364	第 337 图	第 1 号竖穴遺構出土遺物実測図	414
第 293 图	第 146 号竖穴建物跡実測図	365	第 338 图	第 1 号竖穴遺構出土遺物実測図	415
第 294 图	第 146 号竖穴建物跡出土遺物実測図	366	第 339 图	第 2 号竖穴遺構・出土遺物実測図	416
第 295 图	第 148 号竖穴建物跡実測図	367	第 340 图	第 3 号竖穴遺構・出土遺物実測図	417
第 296 图	第 148 号竖穴建物跡・出土遺物実測図	368	第 341 图	第 4 号竖穴遺構・出土遺物実測図	418
第 297 图	第 149 号竖穴建物跡実測図・出土遺物	369	第 342 图	第 5 号竖穴遺構・出土遺物実測図	419
第 298 图	第 150 号竖穴建物跡実測図	370	第 343 图	第 6 号竖穴遺構実測図	420
第 299 图	第 150 号竖穴建物跡実測図	371	第 344 图	第 8 号竖穴遺構出土遺物実測図	420
第 300 图	第 151 号竖穴建物跡実測図	373	第 345 图	第 9 号竖穴遺構出土遺物実測図	421
第 301 图	第 151 号竖穴建物跡出土遺物実測図	374	第 346 图	第 2 号道路跡実測図 (1)	423
第 302 图	第 159 号竖穴建物跡実測図	375	第 347 图	第 2 号道路跡実測図 (2)	425
第 303 图	第 163 号竖穴建物跡実測図	376	第 348 图	第 2 号道路跡実測図 (3)	427
第 304 图	第 163 号竖穴建物跡出土遺物実測図	377	第 349 图	第 2 号道路跡実測図 (4)	429
第 305 图	第 165 号竖穴建物跡実測図	379	第 350 图	第 2 号道路跡出土遺物実測図 (1)	430
第 306 图	第 165 号竖穴建物跡出土遺物実測図	380	第 351 图	第 2 号道路跡出土遺物実測図 (2)	432
第 307 图	第 167 号竖穴建物跡実測図	380	第 352 图	第 101 号土坑・出土遺物実測図	433
第 308 图	第 178 号竖穴建物跡出土遺物実測図	381	第 353 图	第 126 号土坑・出土遺物実測図	433
第 309 图	第 180 号竖穴建物跡実測図	382	第 354 图	第 150 号土坑・出土遺物実測図	434
第 310 图	第 180 号竖穴建物跡出土遺物実測図	383	第 355 图	第 253 号土坑・出土遺物実測図	435
第 311 图	第 1 号掘立柱建物跡実測図	386	第 356 图	第 320 号土坑・出土遺物実測図	436
第 312 图	第 2 号掘立柱建物跡実測図	387	第 357 图	第 325 号土坑・出土遺物実測図	436
第 313 图	第 2 号掘立柱建物跡出土遺物実測図	388	第 358 图	第 377 号土坑・出土遺物実測図	437
第 314 图	第 3 号掘立柱建物跡・出土遺物実測図	389	第 359 图	第 382 号土坑・出土遺物実測図	437
第 315 图	第 4 号掘立柱建物跡・出土遺物実測図	390	第 360 图	第 407 号土坑実測図	438
第 316 图	第 5 号掘立柱建物跡実測図	391	第 361 图	第 407 号土坑・出土遺物実測図	439
第 317 图	第 6 号掘立柱建物跡実測図	392	第 362 图	第 430 号土坑・出土遺物実測図	440
第 318 图	第 7 号掘立柱建物跡実測図	393	第 363 图	第 433 号土坑・出土遺物実測図	441
第 319 图	第 7 号掘立柱建物跡実測図	394	第 364 图	第 440 号土坑・出土遺物実測図	442

第 365 図	第 506 号土坑・出土遺物実測図	442	第 410 図	時期不明の土坑実測図 (20)	485
第 366 図	第 511 号土坑・出土遺物実測図	443	第 411 図	時期不明の土坑実測図 (21)	486
第 367 図	第 533 号土坑・出土遺物実測図	444	第 412 図	時期不明の土坑実測図 (22)	487
第 368 図	第 551 号土坑・出土遺物実測図	445	第 413 図	時期不明の土坑実測図 (23)	488
第 369 図	第 556 号土坑・出土遺物実測図	445	第 414 図	時期不明の土坑実測図 (24)	489
第 370 図	第 668 号土坑・出土遺物実測図	446	第 415 図	時期不明の土坑実測図 (25)	490
第 371 図	第 867 号土坑・出土遺物実測図	447	第 416 図	時期不明の土坑実測図 (26)	491
第 372 図	第 882 号土坑・出土遺物実測図	447	第 417 図	時期不明の土坑実測図 (27)	492
第 373 図	第 888 号土坑・出土遺物実測図	448	第 418 図	時期不明の土坑実測図 (28)	493
第 374 図	第 898 号土坑・出土遺物実測図	449	第 419 図	時期不明の土坑実測図 (29)	494
第 375 図	第 903 号土坑・出土遺物実測図	450	第 420 図	時期不明の土坑実測図 (30)	495
第 376 図	第 905 号土坑・出土遺物実測図	451	第 421 図	時期不明の土坑実測図 (31)	496
第 377 図	第 996 号土坑・出土遺物実測図	452	第 422 図	時期不明の土坑実測図 (32)	497
第 378 図	第 1010 号土坑・出土遺物実測図	452	第 423 図	時期不明の土坑実測図 (33)	498
第 379 図	第 1039 号土坑実測図	453	第 424 図	時期不明の土坑実測図 (34)	499
第 380 図	第 1039 号土坑出土遺物実測図	454	第 425 図	時期不明の土坑実測図 (35)	500
第 381 図	第 1053 号土坑実測図	455	第 426 図	時期不明の土坑実測図 (36)	501
第 382 図	第 1053 号土坑・出土遺物実測図	456	第 427 図	時期不明の土坑実測図 (37)	502
第 383 図	第 1056 号土坑・出土遺物実測図	457	第 428 図	時期不明の土坑実測図 (38)	503
第 384 図	第 1058 号土坑・出土遺物実測図	458	第 429 図	時期不明の土坑実測図 (39)	504
第 385 図	第 1066 号土坑・出土遺物実測図	460	第 430 図	時期不明の土坑実測図 (40)	505
第 386 図	第 840 号土坑・出土遺物実測図	461	第 431 図	時期不明の土坑実測図 (41)	506
第 387 図	第 859 号土坑・出土遺物実測図	462	第 432 図	時期不明の土坑実測図 (42)	507
第 388 図	第 181 号竪穴建物跡実測図	463	第 433 図	時期不明の土坑実測図 (43)	508
第 389 図	第 16・17・18・19・20・23 号溝跡実測図	464	第 434 図	時期不明の土坑実測図 (44)	509
第 390 図	第 19・23 号溝跡出土遺物実測図	465	第 435 図	時期不明の土坑実測図 (45)	510
第 391 図	時期不明の土坑実測図 (1)	466	第 436 図	時期不明の土坑実測図 (46)	511
第 392 図	時期不明の土坑実測図 (2)	467	第 437 図	時期不明の土坑実測図 (47)	512
第 393 図	時期不明の土坑実測図 (3)	468	第 438 図	時期不明の土坑実測図 (48)	513
第 394 図	時期不明の土坑実測図 (4)	469	第 439 図	時期不明の土坑実測図 (49)	514
第 395 図	時期不明の土坑実測図 (5)	470	第 440 図	時期不明の土坑実測図 (50)	515
第 396 図	時期不明の土坑実測図 (6)	471	第 441 図	時期不明の土坑実測図 (51)	516
第 397 図	時期不明の土坑実測図 (7)	472	第 442 図	時期不明の土坑実測図 (52)	517
第 398 図	時期不明の土坑実測図 (8)	473	第 443 図	時期不明の土坑実測図 (53)	518
第 399 図	時期不明の土坑実測図 (9)	474	第 444 図	時期不明の土坑実測図 (54)	519
第 400 図	時期不明の土坑実測図 (10)	475	第 445 図	時期不明の土坑実測図 (55)	520
第 401 図	時期不明の土坑実測図 (11)	476	第 446 図	時期不明の土坑実測図 (56)	521
第 402 図	時期不明の土坑実測図 (12)	477	第 447 図	時期不明の土坑実測図 (57)	522
第 403 図	時期不明の土坑実測図 (13)	478	第 448 図	時期不明の土坑実測図 (58)	523
第 404 図	時期不明の土坑実測図 (14)	479	第 449 図	時期不明の土坑実測図 (59)	524
第 405 図	時期不明の土坑実測図 (15)	480	第 450 図	時期不明の土坑実測図 (60)	525
第 406 図	時期不明の土坑実測図 (16)	481	第 451 図	時期不明の土坑実測図 (61)	540
第 407 図	時期不明の土坑実測図 (17)	482	第 452 図	第 10 号ピット群実測図	540
第 408 図	時期不明の土坑実測図 (18)	483	第 453 図	第 14 号ピット群実測図	541
第 409 図	時期不明の土坑実測図 (19)	484	第 454 図	第 42 号ピット群実測図	542

第 455 図	第 43 号ピット群実測図	543	第 459 図	遺構外出土遺物実測図 (2)	546
第 456 図	第 44 号ピット群実測図	543	第 460 図	遺構外出土遺物実測図 (3)	547
第 457 図	第 45 号ピット群実測図	544	第 461 図	遺構外出土遺物実測図 (4)	548
第 458 図	遺構外出土遺物実測図 (1)	545	第 462 図	遺構外出土遺物実測図 (5)	549

挿 表 目 次

- 中 卷 -

第 132 表	第 82 号竪穴建物跡出土遺物一覧	314	第 166 表	第 150 号竪穴建物跡出土遺物一覧	372
第 133 表	第 83 号竪穴建物跡出土遺物一覧	316	第 167 表	第 151 号竪穴建物跡出土遺物一覧	374
第 134 表	第 84 号竪穴建物跡出土遺物一覧	316	第 168 表	第 163 号竪穴建物跡出土遺物一覧	378
第 135 表	第 88 号竪穴建物跡出土遺物一覧	319	第 169 表	第 165 号竪穴建物跡出土遺物一覧	380
第 136 表	第 89 号竪穴建物跡出土遺物一覧	321	第 170 表	第 178 号竪穴建物跡出土遺物一覧	382
第 137 表	第 92 号竪穴建物跡出土遺物一覧	322	第 171 表	第 180 号竪穴建物跡出土遺物一覧	383
第 138 表	第 93 号竪穴建物跡出土遺物一覧	325	第 172 表	平安時代竪穴建物跡一覧	384
第 139 表	第 94 号竪穴建物跡出土遺物一覧	327	第 173 表	第 2 号掘立柱建物跡出土遺物一覧	388
第 140 表	第 95 号竪穴建物跡出土遺物一覧	328	第 174 表	第 3 号掘立柱建物跡出土遺物一覧	389
第 141 表	第 96 号竪穴建物跡出土遺物一覧	330	第 175 表	第 4 号掘立柱建物跡出土遺物一覧	391
第 142 表	第 97 号竪穴建物跡出土遺物一覧	331	第 176 表	第 8 号掘立柱建物跡出土遺物一覧	396
第 143 表	第 98 号竪穴建物跡出土遺物一覧	333	第 177 表	第 11 号掘立柱建物跡出土遺物一覧	401
第 144 表	第 100 号竪穴建物跡出土遺物一覧	335	第 178 表	第 14 号掘立柱建物跡出土遺物一覧	405
第 145 表	第 102 号竪穴建物跡出土遺物一覧	336	第 179 表	平安時代掘立柱建物跡一覧	413
第 146 表	第 103 号竪穴建物跡出土遺物一覧	337	第 180 表	第 1 号竪穴遺構出土遺物一覧	415
第 147 表	第 105 号竪穴建物跡出土遺物一覧	339	第 181 表	第 2 号竪穴遺構出土遺物一覧	417
第 148 表	第 106 号竪穴建物跡出土遺物一覧	340	第 182 表	第 3 号竪穴遺構出土遺物一覧	418
第 149 表	第 108 号竪穴建物跡出土遺物一覧	342	第 183 表	第 4 号竪穴遺構出土遺物一覧	419
第 150 表	第 113 号竪穴建物跡出土遺物一覧	344	第 184 表	第 5 号竪穴遺構出土遺物一覧	419
第 151 表	第 116 号竪穴建物跡出土遺物一覧	345	第 185 表	第 8 号竪穴遺構出土遺物一覧	421
第 152 表	第 120 号竪穴建物跡出土遺物一覧	347	第 186 表	第 9 号竪穴遺構出土遺物一覧	422
第 153 表	第 121 号竪穴建物跡出土遺物一覧	349	第 187 表	平安時代竪穴遺構一覧	422
第 154 表	第 122 号竪穴建物跡出土遺物一覧	351	第 188 表	第 2 号道路跡ピット計測表	428
第 155 表	第 131 号竪穴建物跡出土遺物一覧	353	第 189 表	第 2 号道路跡出土遺物一覧	431
第 156 表	第 132 号竪穴建物跡出土遺物一覧	355	第 190 表	第 101 号土坑出土遺物一覧	432
第 157 表	第 133 号竪穴建物跡出土遺物一覧	356	第 191 表	第 126 号土坑出土遺物一覧	433
第 158 表	第 136 号竪穴建物跡出土遺物一覧	358	第 192 表	第 150 号土坑出土遺物一覧	434
第 159 表	第 138 A 号竪穴建物跡出土遺物一覧	360	第 193 表	第 253 号土坑出土遺物一覧	434
第 160 表	第 138 B 号竪穴建物跡出土遺物一覧	361	第 194 表	第 320 号土坑出土遺物一覧	435
第 161 表	第 140 号竪穴建物跡出土遺物一覧	362	第 195 表	第 325 号土坑出土遺物一覧	435
第 162 表	第 142 号竪穴建物跡出土遺物一覧	364	第 196 表	第 377 号土坑出土遺物一覧	436
第 163 表	第 146 号竪穴建物跡出土遺物一覧	366	第 197 表	第 382 号土坑出土遺物一覧	437
第 164 表	第 148 号竪穴建物跡出土遺物一覧	368	第 198 表	第 407 号土坑出土遺物一覧	438
第 165 表	第 149 号竪穴建物跡出土遺物一覧	369	第 199 表	第 430 号土坑出土遺物一覧	439

第 200 表	第 433 号土坑出土遺物一覧	440	第 218 表	第 1056 号土坑出土遺物一覧	457
第 201 表	第 440 号土坑出土遺物一覧	441	第 219 表	第 1058 号土坑出土遺物一覧	457
第 202 表	第 506 号土坑出土遺物一覧	442	第 220 表	第 1066 号土坑出土遺物一覧	459
第 203 表	第 511 号土坑出土遺物一覧	443	第 221 表	平安時代土坑一覧	459
第 204 表	第 533 号土坑出土遺物一覧	443	第 222 表	第 840 号土坑出土遺物一覧	460
第 205 表	第 551 号土坑出土遺物一覧	444	第 223 表	第 859 号土坑出土遺物一覧	461
第 206 表	第 556 号土坑出土遺物一覧	445	第 224 表	江戸時代土坑一覧	461
第 207 表	第 668 号土坑出土遺物一覧	446	第 225 表	時期不明溝跡一覧	463
第 208 表	第 867 号土坑出土遺物一覧	446	第 226 表	第 19 号溝跡出土遺物一覧	464
第 209 表	第 882 号土坑出土遺物一覧	447	第 227 表	時期不明の土坑一覧	525
第 210 表	第 888 号土坑出土遺物一覧	448	第 228 表	第 10 号ピット群ピット計測表	540
第 211 表	第 898 号土坑出土遺物一覧	448	第 229 表	第 14 号ピット群ピット計測表	540
第 212 表	第 903 号土坑出土遺物一覧	449	第 230 表	第 42 号ピット群ピット計測表	541
第 213 表	第 905 号土坑出土遺物一覧	450	第 231 表	第 43 号ピット群ピット計測表	541
第 214 表	第 996 号土坑出土遺物一覧	451	第 232 表	第 44 号ピット群ピット計測表	542
第 215 表	第 1010 号土坑出土遺物一覧	452	第 233 表	第 45 号ピット群ピット計測表	542
第 216 表	第 1039 号土坑出土遺物一覧	453	第 234 表	遺構外出土遺物一覧	549
第 217 表	第 1053 号土坑出土遺物一覧	454			

6 平安時代の遺構と遺物

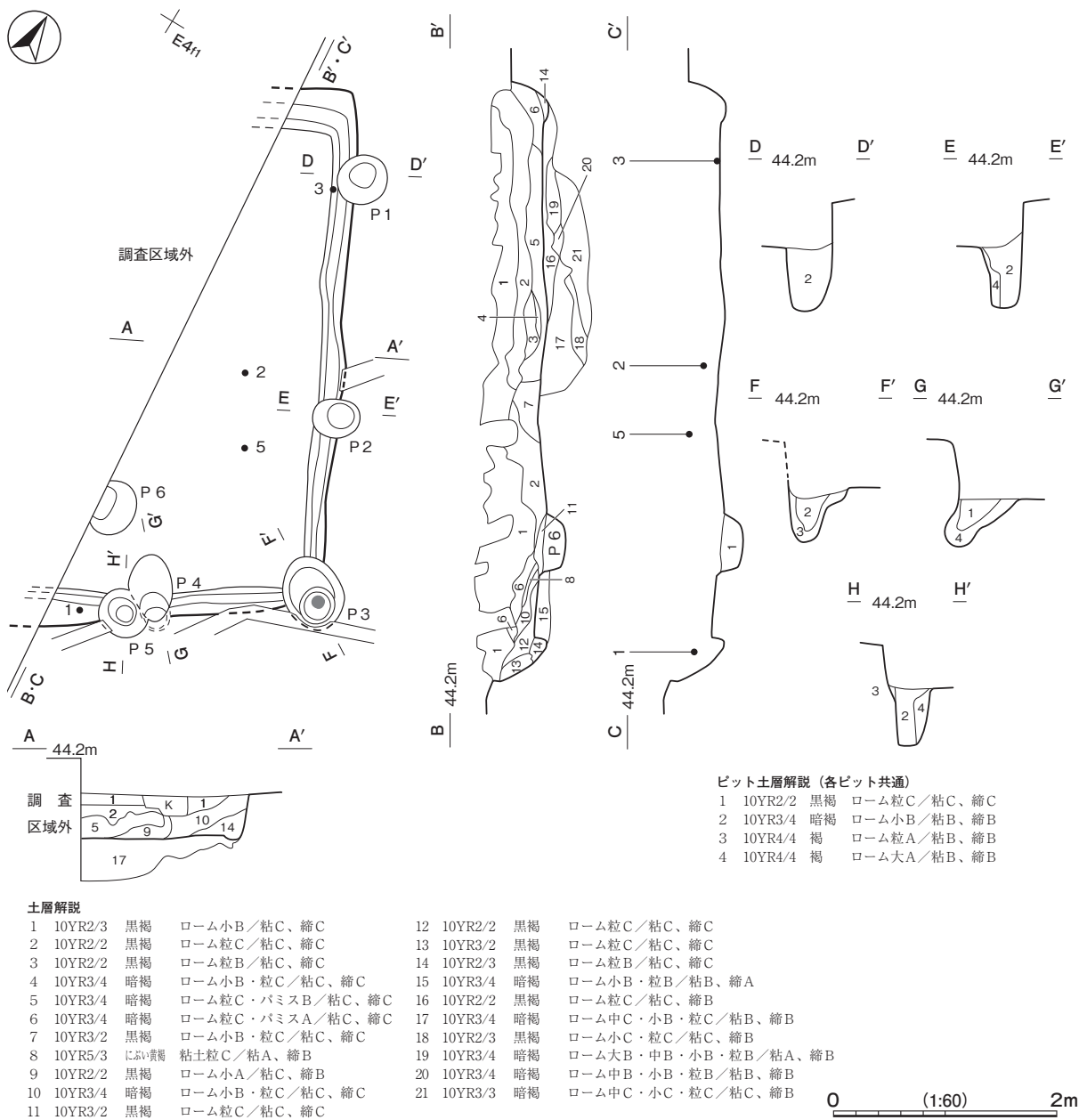
(1) 竪穴建物跡

第 82 号竪穴建物跡 (第 244・245 図 PL35・85・101)

位置 E 区中央部の E 4f1 区、標高 44 m ほどの平坦な台地上に位置している。

規模と形状 西部が調査区域外のため、確認できた規模は北西・南東軸 4.65 m、北東・南西軸 2.15 m である。北西・南北軸方向は N - 28° - W の方形か長方形と推定できる。壁は高さ 36cm で、ほぼ直立している。

床 平坦で、硬化していない。掘方は地山を 10 ~ 42cm ほど掘り下げ、ロームブロックを含む第 15 ~ 21 層を埋土して構築している。壁溝は確認できた範囲で全周している。



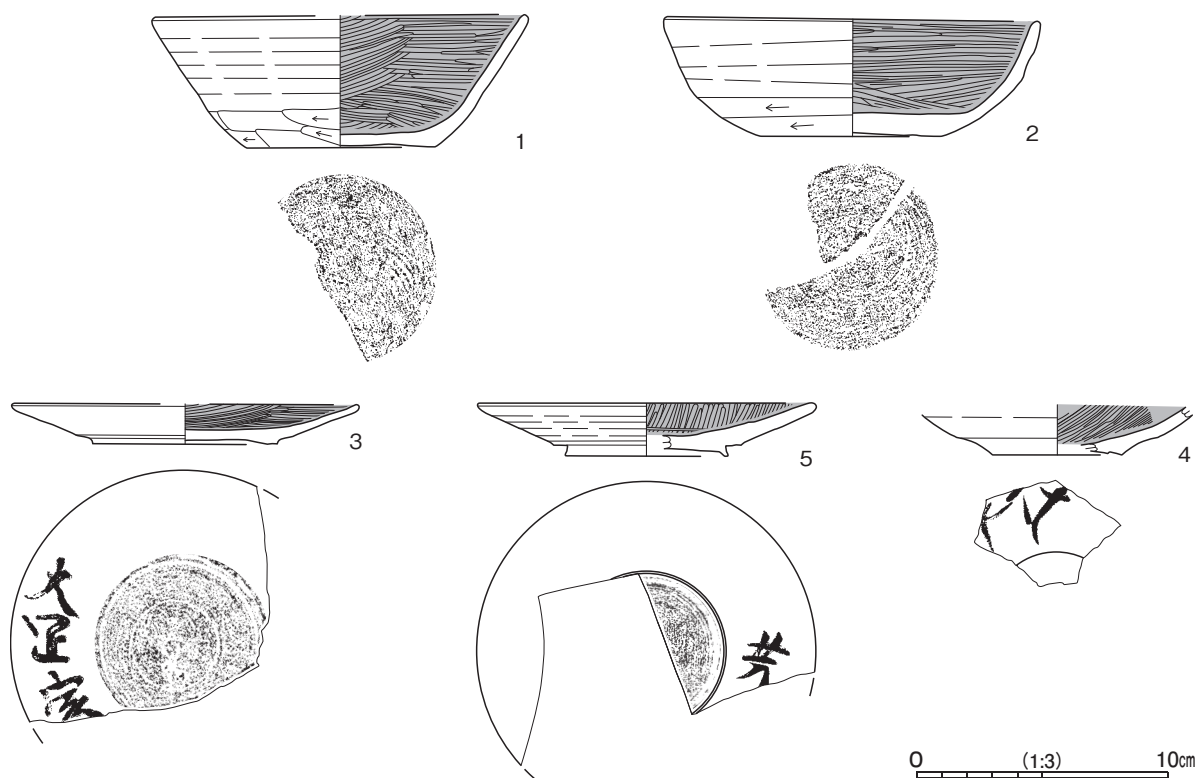
第 244 図 第 82 号竪穴建物跡実測図

ピット 6か所。P 1～P 5は深さ42～56cmで、壁柱穴と考えられる。P 6は深さ18cmで、配置から出入口施設に伴うピットと考えられる。覆土は第1・2層が柱抜き取り後の流入土、第3・4層が掘方の埋土である。

覆土 14層に分層できる。ロームブロックが含まれる層が不規則に堆積していることから、人為堆積である。

遺物出土状況 土師器片241点（坏40、高台付坏3、椀1、皿3、高台付皿1、高坏1、鉢1、甕191）、須恵器片30点（坏10、高台付坏1、蓋1、長頸瓶1、甕17）が出土している。土器は、主に南部の覆土中から、散在して出土している。1は南東壁際の覆土下層から、2は中央部の北東壁寄りの覆土下層から、3は北コーナ一部壁際の床面から、4は覆土中から、5は中央部の北東壁寄りの覆土上層から、それぞれ出土している。

所見 時期は、出土土器から9世紀中葉である。



第245図 第82号竪穴建物跡出土遺物実測図

第132表 第82号竪穴建物跡出土遺物一覧（第245図）

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	特徴	出土位置	備考
1	土師器	坏	[14.7]	5.2	7.6	長石・石英・雲母・赤色粒子	にぶい黄橙	普通	体部外面ロクロナデ 体部下端手持ちヘラ削り 内面ヘラ磨き 底部静止糸切り後ナデ	覆土下層	50%
2	土師器	椀	14.7	4.8	7.0	長石・石英・雲母・赤色粒子	にぶい黄橙	普通	体部外面ロクロナデ 体部下端回転ヘラ削り 内面ヘラ磨き 底部回転ヘラ削り	覆土下層	60%
3	土師器	皿	[13.8]	1.6	7.4	長石・石英・雲母・赤色粒子	にぶい黄橙	普通	体部外面ロクロナデ 体部内面ヘラ磨き 底部 回転ヘラ削りによる造り出し	床面	50% PL101 墨書「大足家」
4	土師器	皿	-	(2.2)	[5.2]	長石・石英・雲母	にぶい橙	普通	体部外面ロクロナデ 内面ヘラ磨き 底部回転 ヘラ削りによる造り出し	覆土	5% PL101 墨書「□」
5	土師器	高台付皿	13.2	2.1	[6.3]	長石・石英・雲母・赤色粒子	橙	普通	体部底部の境に段を有する 内面ヘラ磨き 底部回転ヘラ削りによる高台造り出し	覆土上層	40% PL85・101 墨書「芳」

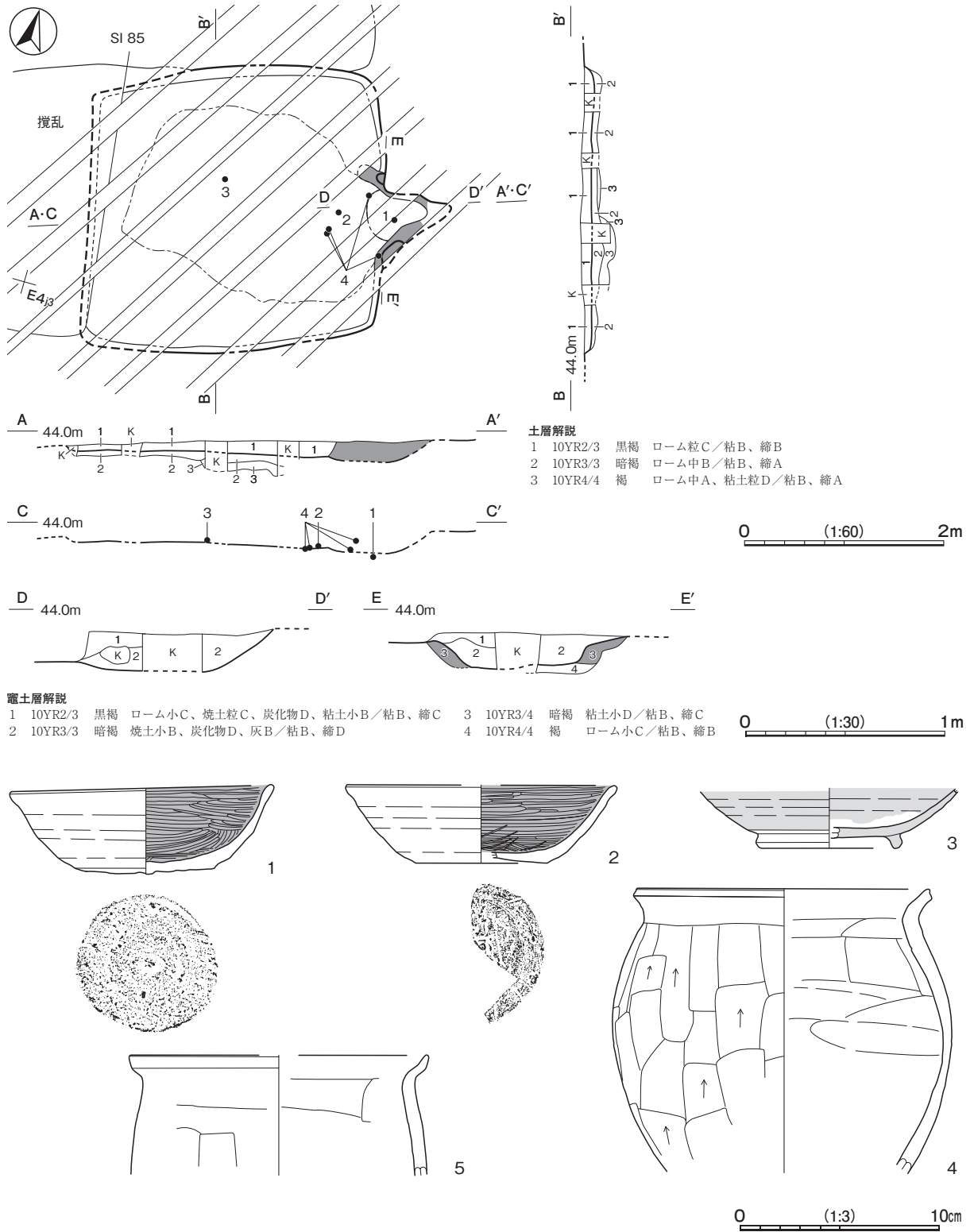
第83号竪穴建物跡（第246図 PL35・86）

位置 E区中央部のE 4i3区、標高44mほどの平坦な台地上に位置している。

重複関係 第85号竪穴建物跡を掘り込んでいる。

規模と形状 攪乱のため、確認できた規模は東西軸 3.00 m、南北軸 2.85 m である。主軸方向は N - 72° - E の方形か長方形と推定できる。壁は高さ 6 ~ 10cm ほどで、外傾している。

床 平坦で、竈前方部から西壁方向にかけて硬化している。貼床は地山を 6 ~ 25cm ほど掘り下げ、ロームブロックを含む第 2・3 層を埋土して構築している。



第 246 図 第 83 号竪穴建物跡・出土遺物実測図

竈 東壁に位置している。攪乱を受けているため、規模は焚口部から煙道部まで82cmで、燃焼部幅は52cmと推定される。竈は地山を5cmほど掘りくぼめ、第4層を埋土して整地している。左袖部は地山の上に、右袖部は整地面の上に粘土ブロックを含む第3層を積み上げ構築している。火床部から煙道部は攪乱を受けているが、一部が残存している。火床面は、赤変硬化していない。煙道部は壁外に69cmほど張り出し、火床面から緩やかに立ち上がっている。

覆土 単一層である。覆土が薄く、堆積状況は不明である。

遺物出土状況 土師器片113点（坏43、高台付坏1、甕69）、須恵器片10点（坏6、甕4）、灰釉陶器1点（椀）が覆土中から出土している。1は竈火床面から逆位の状態で出土している。2は竈前方部の床面から、3は中央部の床面から、4は竈前方部の床面から破片が散在した状態で、5は竈の覆土中から、それぞれ出土している。

所見 時期は、出土土器から9世紀後葉である。

第133表 第83号竪穴建物跡出土遺物一覧（第246図）

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	特徴	出土位置	備考
1	土師器	坏	13.0	4.5	6.9	長石・石英・雲母・赤色粒子	にぶい黄橙	普通	口縁部・体部内外面ロクロナデ 内面ヘラ磨き 底部回転ヘラ切り	竈火床面	80% PL86
2	土師器	坏	[13.4]	3.9	[6.6]	長石・石英・雲母・赤色粒子	灰黄褐	普通	口縁部・体部内外面ロクロナデ 内面ヘラ磨き 底部回転ヘラ切り 被熱	床面	20%
3	灰釉陶器	椀	-	(3.0)	[6.8]	長石・石英	灰白	普通	内外面漬け掛け 高台接地面施釉なし 被熱	床面	10% 黒笹 90
4	土師器	甕	14.5	(14.2)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	にぶい橙	普通	体部外面ヘラ削り 内面ヘラナデ	床面	50% PL86
5	土師器	甕	[14.8]	(6.0)	-	長石・石英	黒褐	普通	体部内外面ヘラナデ	竈覆土	5%

第84号竪穴建物跡（第247図 PL35・85）

位置 E区中央部のE4c1区、標高44mほどの平坦な台地上に位置している。

重複関係 第87号竪穴建物跡を掘り込み、第5号竪穴遺構、第170・329・338・339・347・869号土坑に掘り込まれている。

規模と形状 中央部は攪乱で、東半部は耕作により床面が露出していたため、確認できた規模は、長軸5.15m、短軸4.60mで、長軸方向はN-12°-Wの長方形である。西半部の壁は高さ27cmほどで、ほぼ直立しており、東半部は壁の立ち上がりが確認できなかった。

床 ほぼ平坦で、北西部は緩やかに高くなっている。全体的に硬化していない。貼床は、壁際から1.2～1.6mの範囲を中心に、ロームブロックやローム粒子を含む第3～11層を24～38cm埋土して構築している。

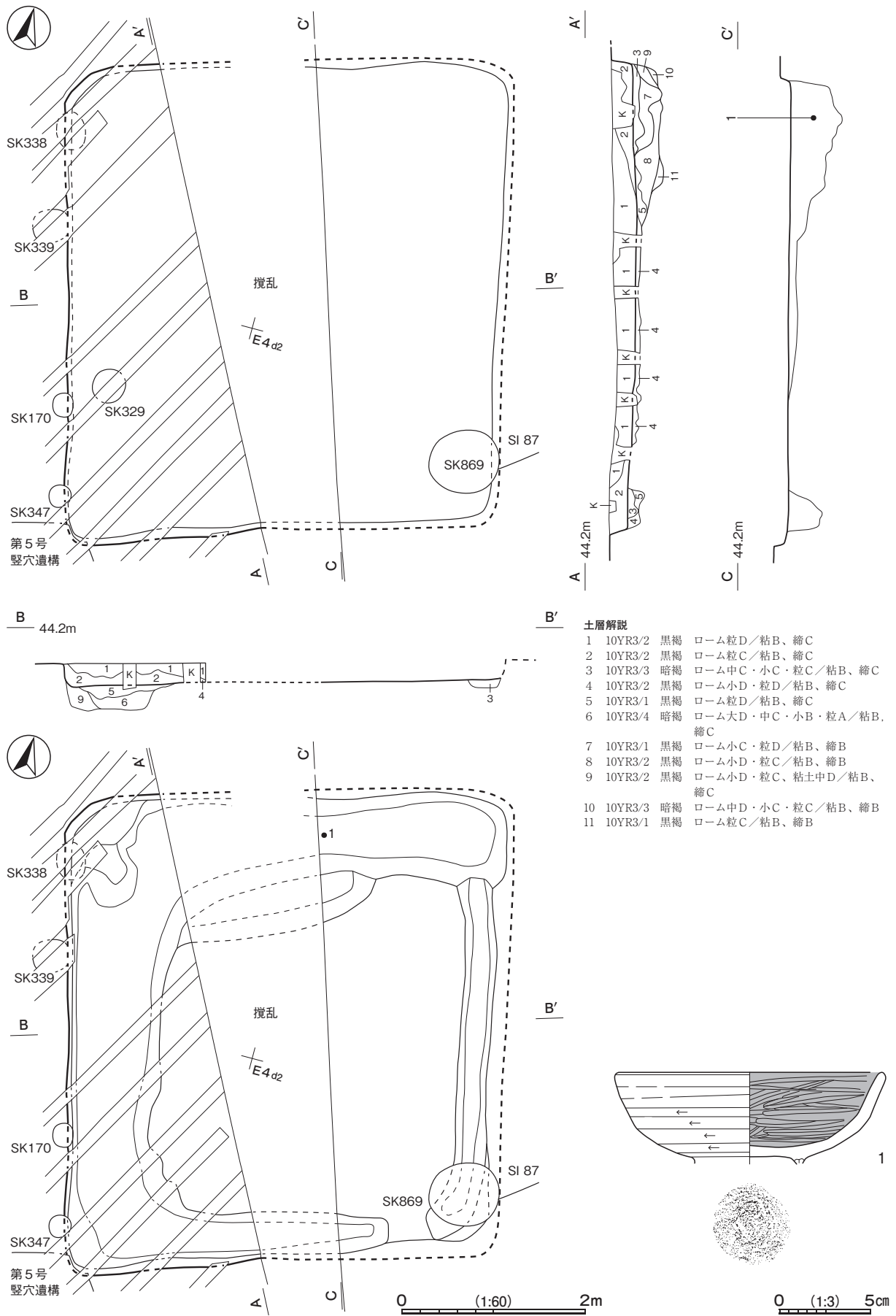
覆土 2層に分層できる。含有物の少ない黒褐色土がレンズ状に堆積していることから、自然堆積である。

遺物出土状況 土師器片72点（坏10、高台付椀2、甕60）が出土している。ほかに混入した須恵器片3点（坏1、甕2）、石器2点（石鏃、砥石）が出土している。1は北壁際の掘方埋土から出土している。

所見 竈や内部施設が確認できず、床も硬化していないが、掘方の存在や規模などから、建物跡と判断した。時期は、出土土器から10世紀中葉である。

第134表 第84号竪穴建物跡出土遺物一覧（第247図）

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	特徴	出土位置	備考
1	土師器	高台付椀	14.3	(5.0)	-	長石・石英	にぶい褐	普通	体部外面ロクロナデ 下半回転ヘラ削り 内面ヘラ磨き 高台部欠損底部回転ヘラ切り	掘方埋土	90% PL85



第 247 図 第 84 号 豎穴建物跡・出土遺物実測図

第 88 号 竪穴建物跡 (第 248・249 図 PL35・86)

位置 E 区北部の C 4i9 区、標高 44 m ほどの平坦な台地上に位置している。

重複関係 第 3 号 方形周溝墓を掘り込んでいる。

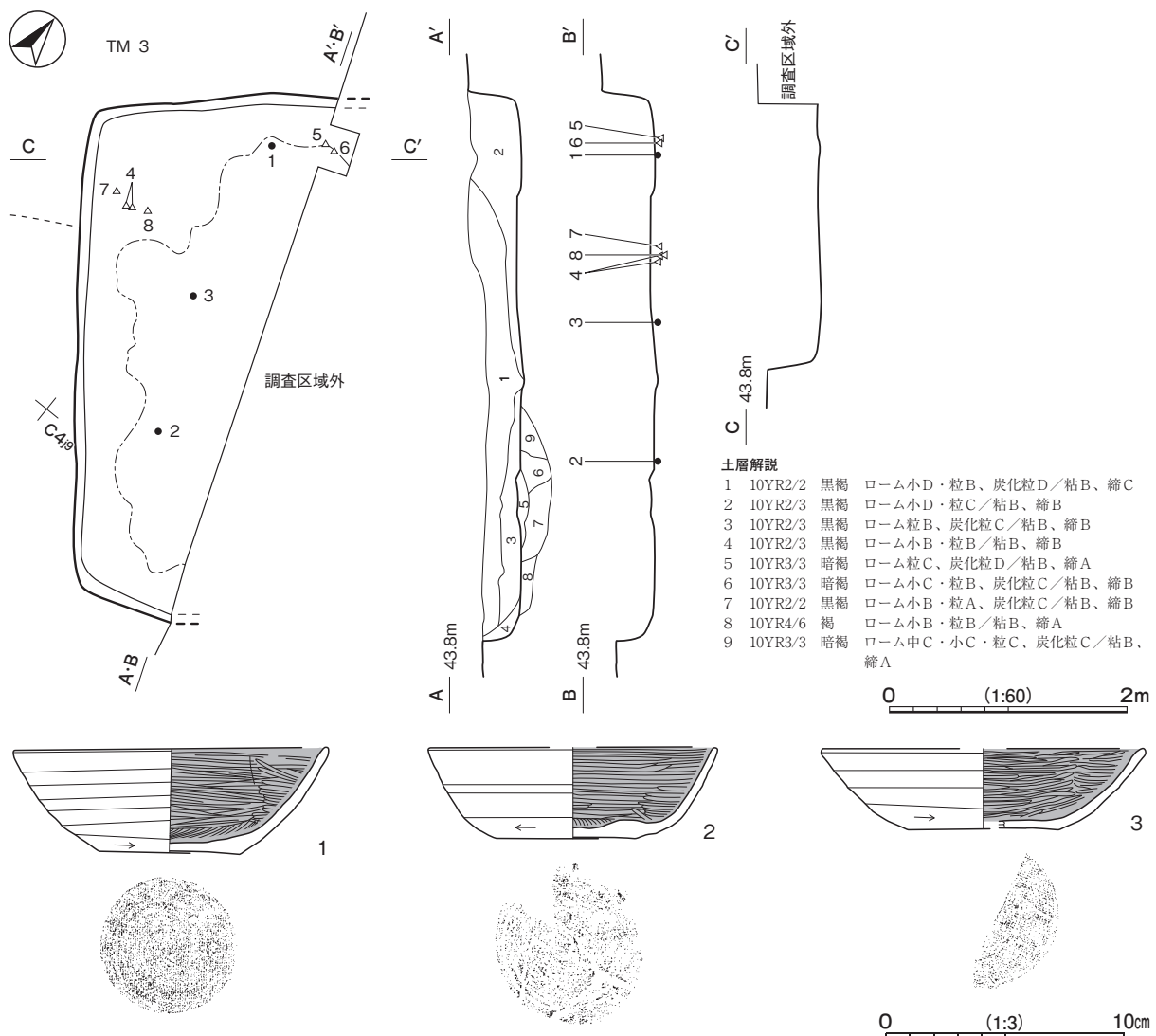
規模と形状 北東部が調査区域外のため、確認できた規模は、北西・南東軸 4.35 m、北東・南西軸 2.02 m しか確認できなかった。北西・南北軸方向は $N - 38^\circ - W$ の方形か長方形と推定できる。壁は、高さ 32 ~ 45 cm で、ほぼ直立している。

床 凹凸があり、確認できた範囲では壁際を除いて硬化している。貼床は一部で確認でき、地山を 7 ~ 30 cm ほど掘り下げ、ロームブロックを含む第 5 ~ 9 層を埋土して構築している。

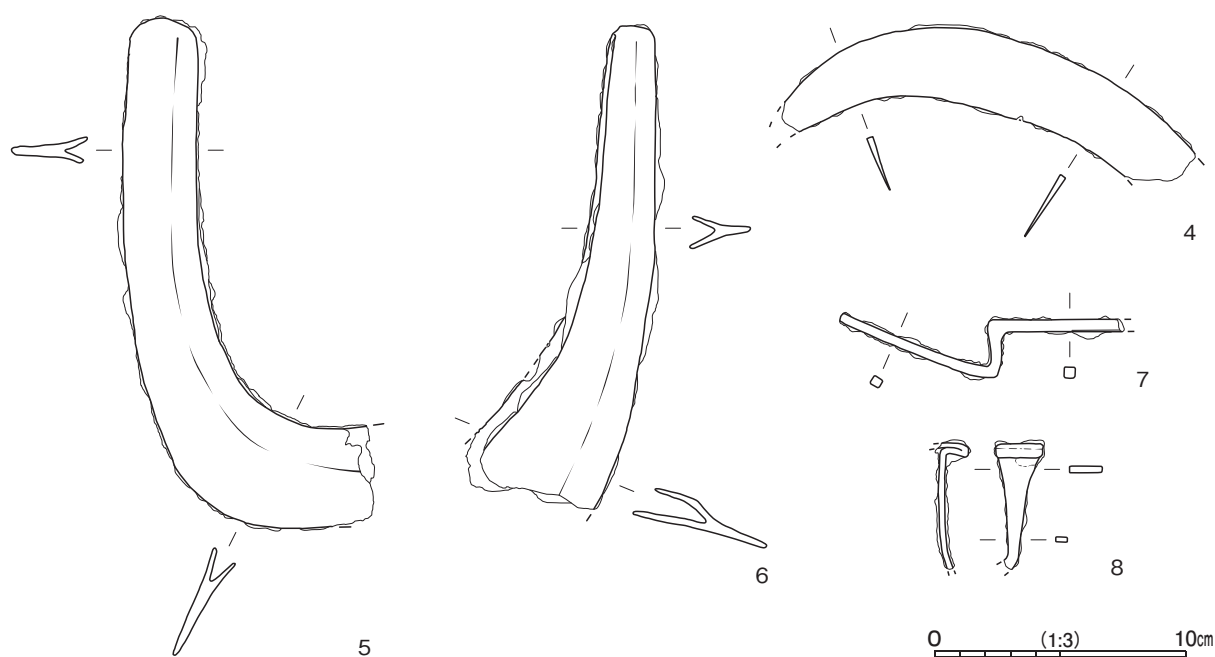
覆土 4 層に分層できる。レンズ状に堆積していることから、自然堆積である。

遺物出土状況 土師器片 127 点 (坏 21、甕 106)、須恵器片 6 点 (坏 3、甕 3)、金属製品 5 点 (鎌 1、鋤先 2、鍵 1、不明鉄製品 1) が出土している。1・5・6 は北西壁際から、2 は南西壁南寄りの床面から、3 は南西壁北寄りの床面から、4・7・8 は西コーナー部の床面から、それぞれ出土している。

所見 時期は、出土土器から 9 世紀後葉である。



第 248 図 第 88 号 竪穴建物跡・出土遺物実測図



第 249 図 第 88 号竪穴建物跡出土遺物実測図

第 135 表 第 88 号竪穴建物跡出土遺物一覧 (第 248・249 図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	特徴	出土位置	備考	
1	土師器	坏	13.0	4.6	5.9	長石・石英・雲母・赤色粒子	橙	普通	体部外面下端回転ヘラ削り 部回転ヘラ削り	内面ヘラ磨き 底	床面	100% PL86
2	土師器	坏	[12.0]	3.8	6.1	長石・石英・雲母・赤色粒子	にぶい黄橙	普通	体部外面下端回転ヘラ削り 部回転ヘラ削り	内面ヘラ磨き 底	床面	50%
3	土師器	坏	[13.4]	3.4	[6.4]	長石・石英・雲母・赤色粒子	にぶい黄橙	普通	体部外面下端回転ヘラ削り 部回転ヘラ削り	内面ヘラ磨き 底	床面	40%

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
4	鎌	(16.5)	3.0	0.2	(48.66)	鉄	先端部欠損 刃部断面三角形 柄部欠損	床面	PL86
5	鋤先	20.5	(10.2)	1.1	(223.22)	鉄	刃先U字型 刃部摩耗 耳部外反せず 断面Y字状	床面	PL86
6	鋤先	(19.3)	(7.9)	1.3	(123.50)	鉄	刃部欠損 耳部外反せず 断面Y字状	床面	PL86
7	鍵	(11.3)	(2.5)	0.45	(14.56)	鉄	先端部変形 基部一部欠損 断面四角形	床面	PL86
8	不明鉄製品	(5.0)	1.9	(1.3)	(7.57)	鉄	先端部欠損 基部折り返しL字状 断面長方形	床面	PL86

第 89 号竪穴建物跡 (第 250 図 PL35)

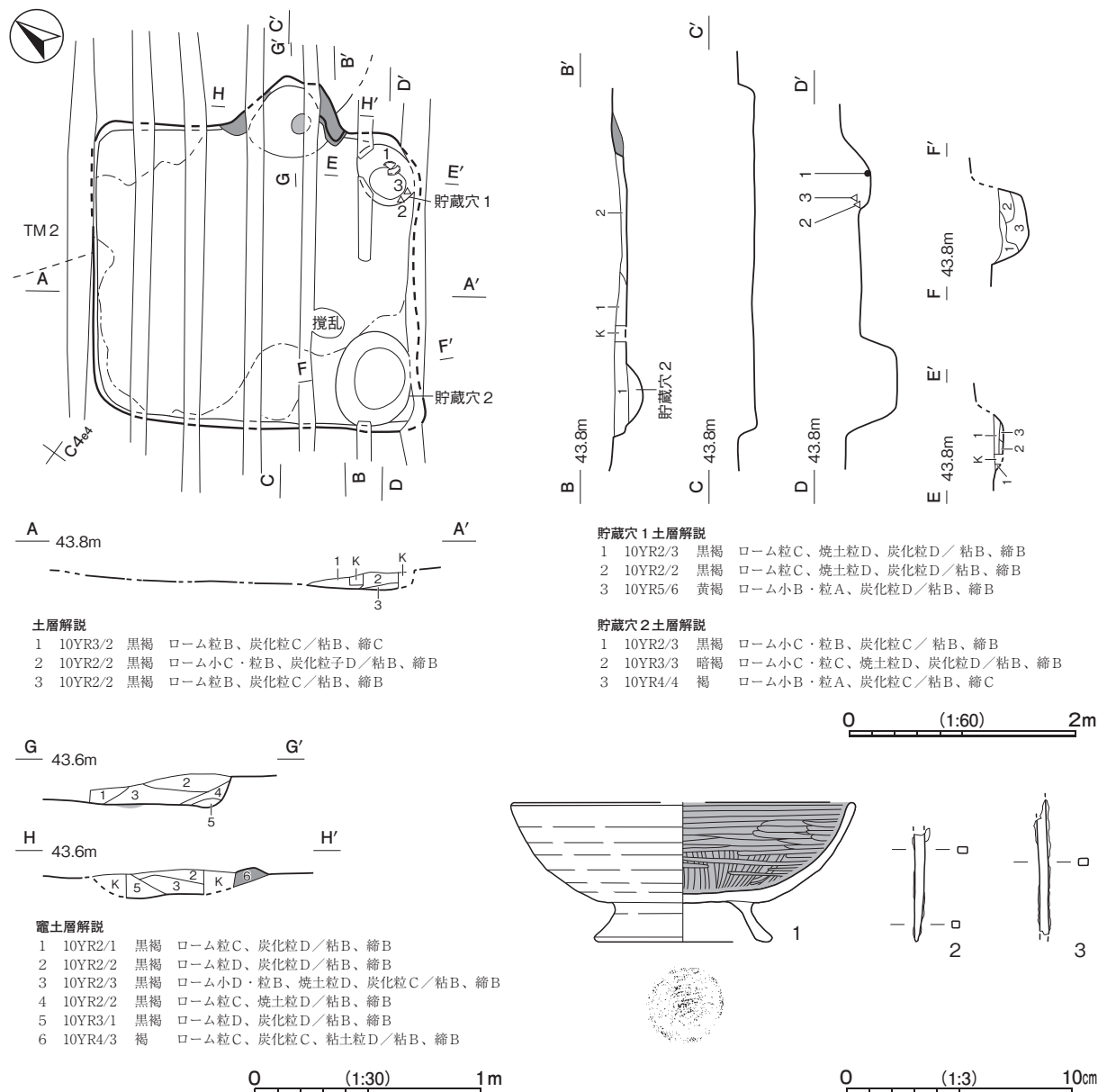
位置 E 区北部の C 4e4 区、標高 44 m ほどの平坦な台地上に位置している。

重複関係 第 2 号方形周溝墓を掘り込んでいる。

規模と形状 長軸 2.80 m、短軸 2.65 m で、主軸方向は N - 55° - E の方形である。壁は高さ 4 ~ 20cm ほどで、緩やかに立ち上がっている。

床 ほぼ平坦である。ほぼ全面が硬化している。

竈 北東壁のやや東寄りに位置している。確認できた規模は焚口部から煙道部まで 64cm で、燃焼部幅は右袖部から攪乱まで 60cm ほどである。右袖部は地山の上にローム粒子を含む第 6 層を積み上げて構築している。火床面は床面とほぼ同じ高さを使用し、火床部は赤変硬化している。煙道部は壁外に 50cm ほど張り出し、奥壁が外傾している。



第250図 第89号竪穴建物跡・出土遺物実測図

貯蔵穴 2か所。貯蔵穴1は、東コーナー部に位置している。長径56cm、短径43cmの楕円形で、深さ10cmである。底面は皿状で、壁は外傾している。覆土は3層に分層でき、各層にロームや焼土、炭化粒子を含んでいることから、人為堆積である。貯蔵穴2は、南コーナー部に位置している。長径85cm、短径65cmの楕円形で、深さ28cmである。底面は皿状で、壁は外傾している。覆土は3層に分層でき、各層にロームのブロックや粒子を多く含んでいることから、人為堆積である。

覆土 3層に分層できる。ローム粒子や炭化粒子を含んでいるが、自然堆積である。

遺物出土状況 土師器片54点（坏16、高台付坏1、高台付碗2、甕35）、須恵器片6点（甕）、金属製品2点（鉄鏃、不明鉄製品）が出土している。遺物は、主に東部の覆土中層から上層にかけて出土している。1は貯蔵穴1の覆土下層から、2・3は東コーナー部の覆土下層から、それぞれ出土している。

所見 時期は、重複関係や出土土器から10世紀前葉である。

第 136 表 第 89 号竪穴建物跡出土遺物一覧 (第 250 図)

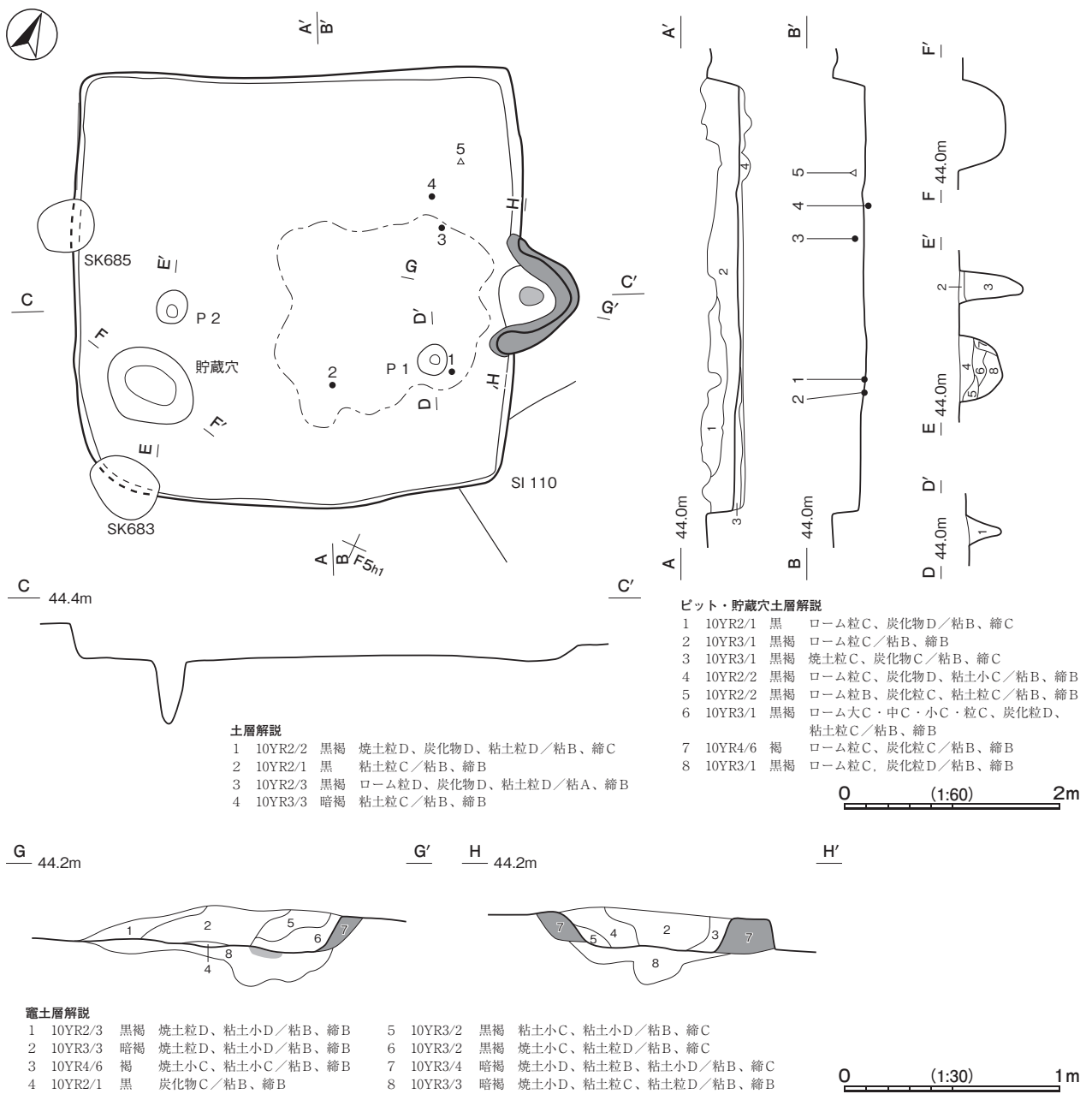
番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	特徴	出土位置	備考
1	土師器	高台付椀	[15.0]	6.2	7.6	長石・石英・細礫	にぶい黄褐色	普通	体部内外面ロクロナデ 転系切り後高台貼付け 内面ヘラ磨き 底部回	貯蔵穴1 覆土下層	50%

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
2	鉄鏃	(4.8)	(0.5)	0.3	(2.18)	鉄	鏃身部欠損 茎部断面長方形	覆土下層	
3	不明鉄製品	(5.9)	(0.6)	0.3	(3.39)	鉄	頭部・先端部欠損 断面長方形	覆土下層	

第 92 号竪穴建物跡 (第 251・252 図 PL35・36・86)

位置 E 区中央部の F 4 g0 区、標高 44 m ほどの平坦な台地上に位置している。

重複関係 第 110 号竪穴建物跡、第 404～406 号土坑を掘り込み、第 683・685 号土坑に掘り込まれている。



第 251 図 第 92 号竪穴建物跡実測図

規模と形状 長軸 4.13 m、短軸 3.95 mで、主軸方向はN - 63° - E の方形である。壁は高さ 32cmほどで、ほぼ直立している。

床 平坦で、竈前方部から中央部にかけて硬化している。貼床は、ローム粒子・炭化物・粘土粒子などを含む第3・4層を4～10cmほど埋土して構築している。

竈 北東壁の中央部に位置している。規模は焚口部から煙道部まで67cmで、燃焼部幅は72cmである。床面から23cmほど掘り込み、第8層を埋土して整地している。袖部は整地面の上に粘土ブロックを多く含む第7層を積み上げて構築している。火床部は皿状で、床面から7cmほどくぼんでいる。火床面は赤変硬化している。煙道部は壁外に52cmほど張り出し、火床面から外傾して立ち上がっている。

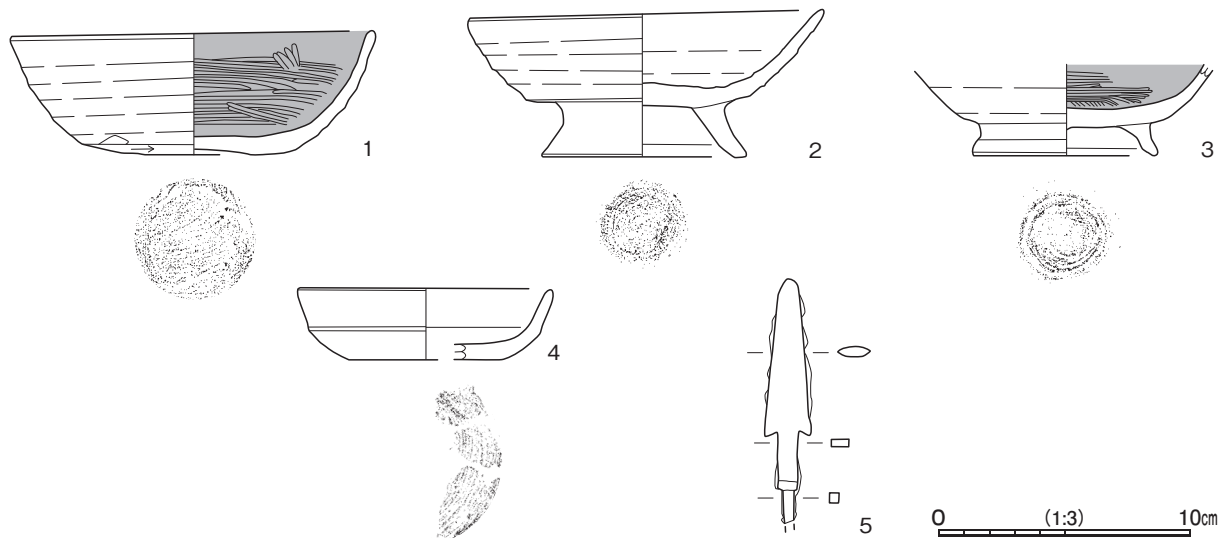
貯蔵穴 南コーナー部に位置している。長径88cm、短径68cmの楕円形で、深さ40cmである。底面は皿状で、壁は外傾している。覆土は5層に分層でき、各層にローム粒子を多く含んでいることから、人為堆積である。

ピット 2か所。P1は深さ30cm、P2は深さ58cmである。性格は不明である。

覆土 2層に分層できる。不規則な堆積状況を示していることから、人為堆積である。

遺物出土状況 土師器片139点（坏34、高台付坏3、碗7、小皿2、甕93）、須恵器片21点（坏7、蓋2、甕12）、金属製品1点（鉄鏃）が出土している。1は東部の床面から、2は中央部の南東寄りの床面から、3・5は北部の北東壁寄りの覆土下層、4は北部の床面から、それぞれ出土している。

所見 時期は、出土土器から10世紀後葉である。



第252図 第92号竪穴建物跡出土遺物実測図

第137表 第92号竪穴建物跡出土遺物一覧（第252図）

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	特徴	出土位置	備考
1	土師器	坏	14.4	4.9	4.8	長石・石英	にぶい黄橙	普通	体部外面ロクロナデ 下端回転ヘラ削り 内面ヘラ磨き 底部回転糸切り後多方向のヘラ削り	床面	95% PL86
2	土師器	高台付坏	14.1	5.9	8.1	長石・石英・雲母	にぶい褐	普通	体部内外面ロクロナデ 底部回転ヘラ削り後高台貼付け	床面	80% PL86
3	土師器	高台付坏	-	(3.7)	7.2	長石・石英・雲母	にぶい黄橙	普通	体部外面ロクロナデ 内面ヘラ磨き 底部回転ヘラ削り後高台貼付け	覆土下層	60%
4	土師器	小皿	10.0	2.8	[6.0]	長石・石英・赤色粒子	灰黄褐	普通	口縁部内外面横ナデ 底部回転糸切り	床面	50% PL86
5	鉄鏃	(9.7)	1.8	0.3~0.4	(16.21)	鉄			鏃身部~茎部分 腸袂式	覆土下層	PL86

第 93 号竪穴建物跡 (第 253・254 図 PL36・86)

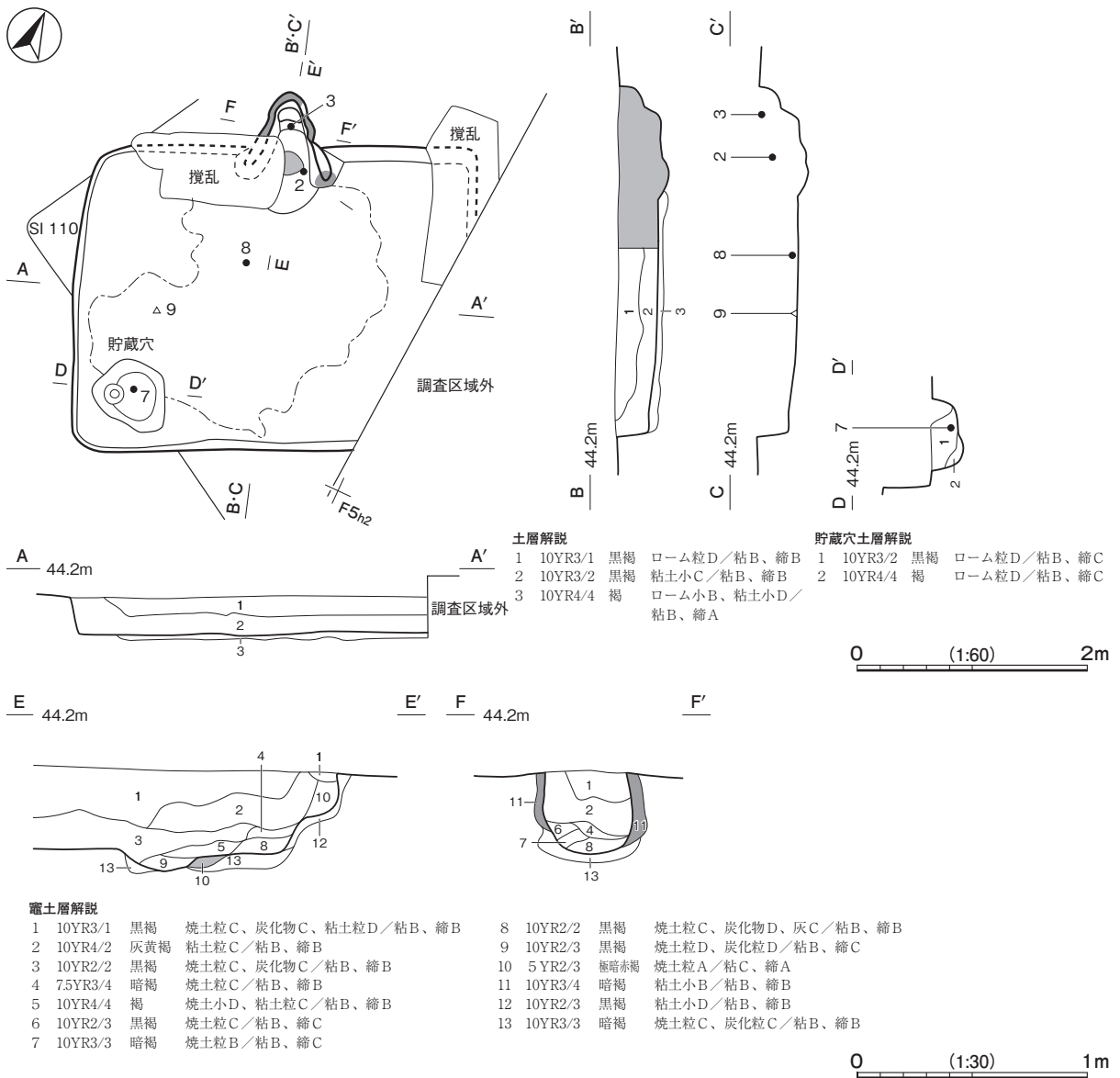
位置 E 区中央部の F 5g1 区、標高 44 m ほどの平坦な台地上に位置している。

重複関係 第 110 号竪穴建物跡を掘り込んでいる。

規模と形状 東部が調査区域外と攪乱のため、確認できた規模は、東西軸 3.15 m、南北軸 2.62 m である。主軸方向は N - 20° - W の長方形である。壁は高さ 28 ~ 32 cm で、直立している。

床 平坦で、竈前方部から南壁際にかけて硬化している。貼床は、地山を 2 ~ 8 cm ほど掘り下げ、ロームブロックや粘土ブロックを含む第 3 層を埋土して構築している。

竈 北壁の中央部に位置している。竈は左袖部から火床部にかけて攪乱を受けているため、確認できた規模は焚口部から煙道部まで 106 cm、燃焼部幅は 22 cm である。火床部は地山を 7 cm ほど掘りくぼめ、焼土粒子や炭化粒子を含む第 12・13 層を埋土して整地している。火床面は、火熱を受けて赤変硬化している。煙道部は壁外に 50 cm ほど張り出し、火床面から段を有して立ち上がっている。



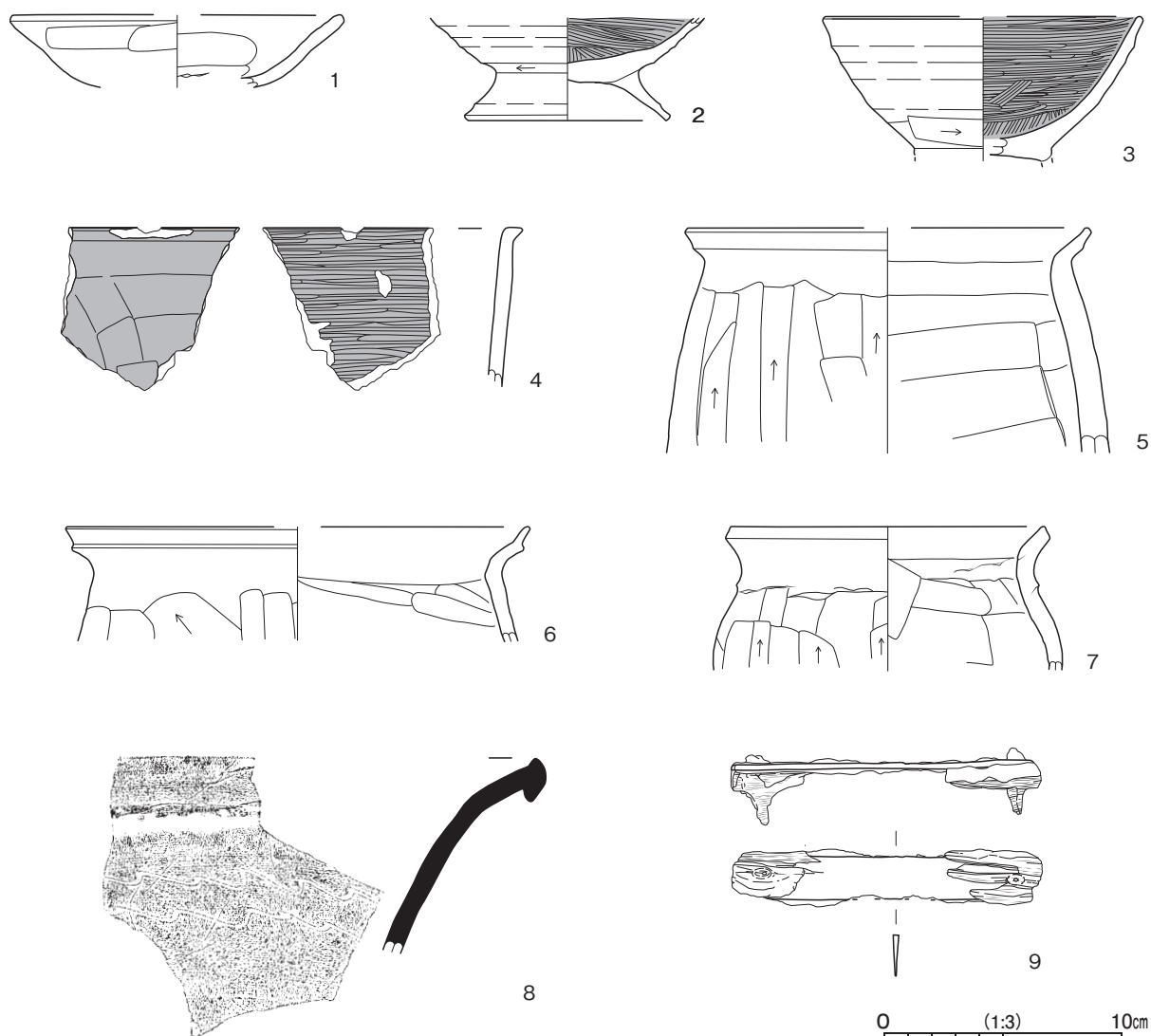
第 253 図 第 93 号竪穴建物跡実測図

貯蔵穴 南西コーナー部に位置している。長軸 70cm、短軸 54cmの不整形で、深さ 29cmである。底面は皿状で、南西隅に深さ 5cmほどの凹みがある。壁は外傾している。覆土は 2層に分層でき、含有物の少ない黒褐色土が主体であることから、自然堆積である。

覆土 2層に分層できる。レンズ状に堆積していることから、自然堆積である。

遺物出土状況 土師器片 248 点（坏 64、高台付椀 7、鉢 2、甕 175）、須恵器片 14 点（坏 6、甕 7、大甕 1）、金属製品 1 点（手鎌）が出土している。遺物は、主に南東側の覆土中から散在して出土している。1・5は竈の覆土中から、2・3は竈の覆土上層から、4・6は覆土中から、7は貯蔵穴の覆土下層から、8は中央部の覆土下層から、9は西部の床面から、それぞれ出土している。

所見 時期は、出土土器から 10 世紀中葉である。



第 254 図 第 93 号竪穴建物跡出土遺物実測図

第 138 表 第 93 号竪穴建物跡出土遺物一覧 (第 254 図)

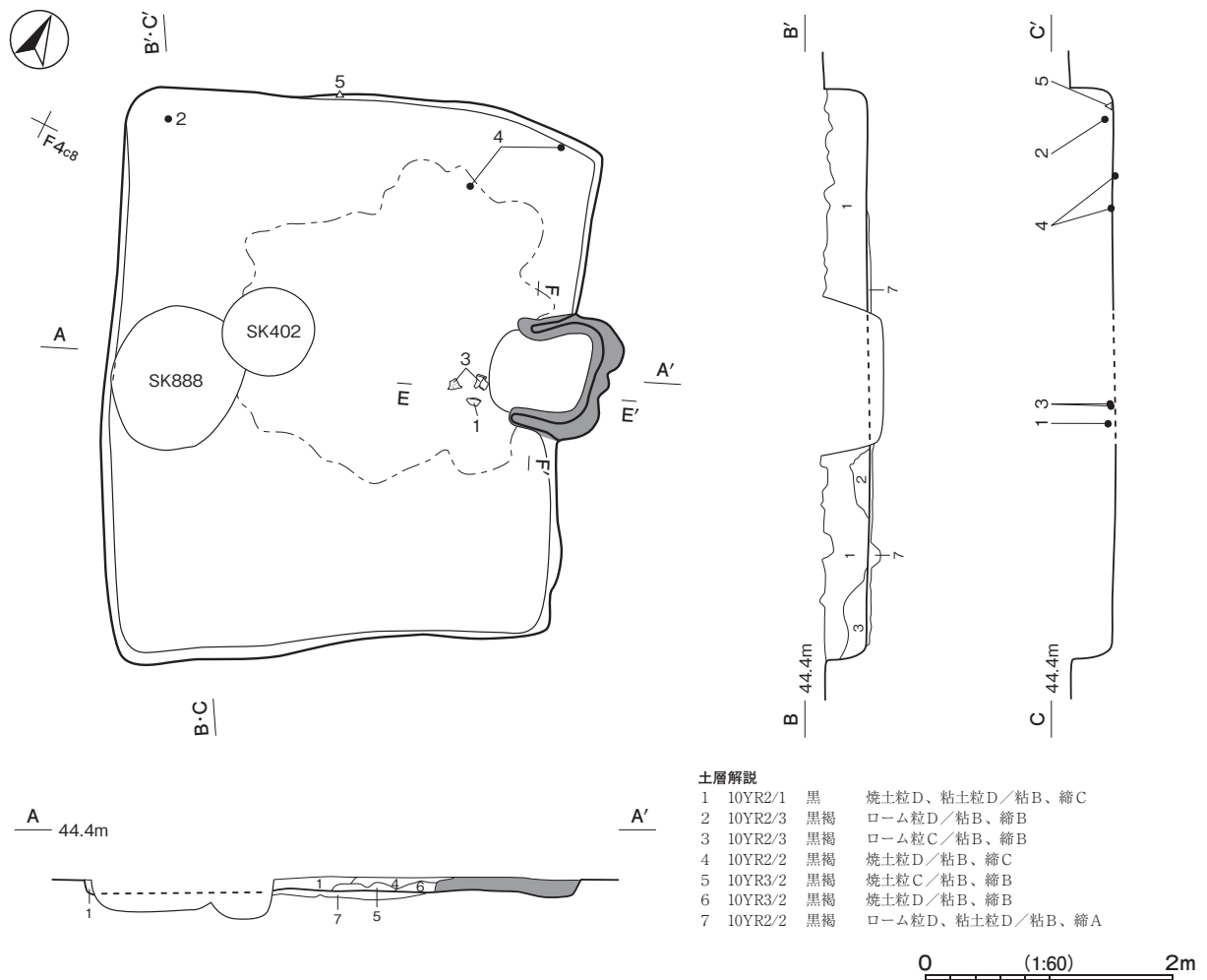
番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	特徴	出土位置	備考
1	土師器	坏	[13.6]	(3.0)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	にぶい橙	普通	口縁部・体部内外面ナデ	竈覆土	30%
2	土師器	高台付椀	-	(4.3)	[8.2]	長石・石英	にぶい黄褐	普通	体部外面ロクロナデ 内面ヘラ磨き 被熱	竈覆土上層	40%
3	土師器	高台付椀	[13.2]	(6.1)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	明褐	普通	体部外面ロクロナデ 内面ヘラ磨き 被熱	竈覆土上層	20%
4	土師器	鉢	-	(6.8)	-	長石・石英・赤色粒子	黒	普通	外面ヘラナデ 内面ヘラ磨き	覆土	5%
5	土師器	甕	[16.7]	(9.4)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	にぶい黄橙	普通	体部外面縦位のヘラ削り 内面ヘラナデ	竈覆土	5%
6	土師器	甕	[19.3]	(4.8)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	にぶい橙	普通	体部外面ヘラ削り 内面ナデ	覆土	5%
7	土師器	甕	13.0	(6.0)	-	長石・石英	にぶい褐	普通	体部外面ヘラ削り 内面ヘラナデ	貯蔵穴 覆土下層	10%
8	須恵器	大甕	-	(8.2)	-	長石・石英	褐灰	普通	口縁部外面棒状工具による2本の波状文	覆土下層	5% PL86

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
9	手鎌	13.0	2.3	2.9	(29.15)	鉄	表部木片残存 両端に中茎 刃部一部欠損 断面三角形	床面	

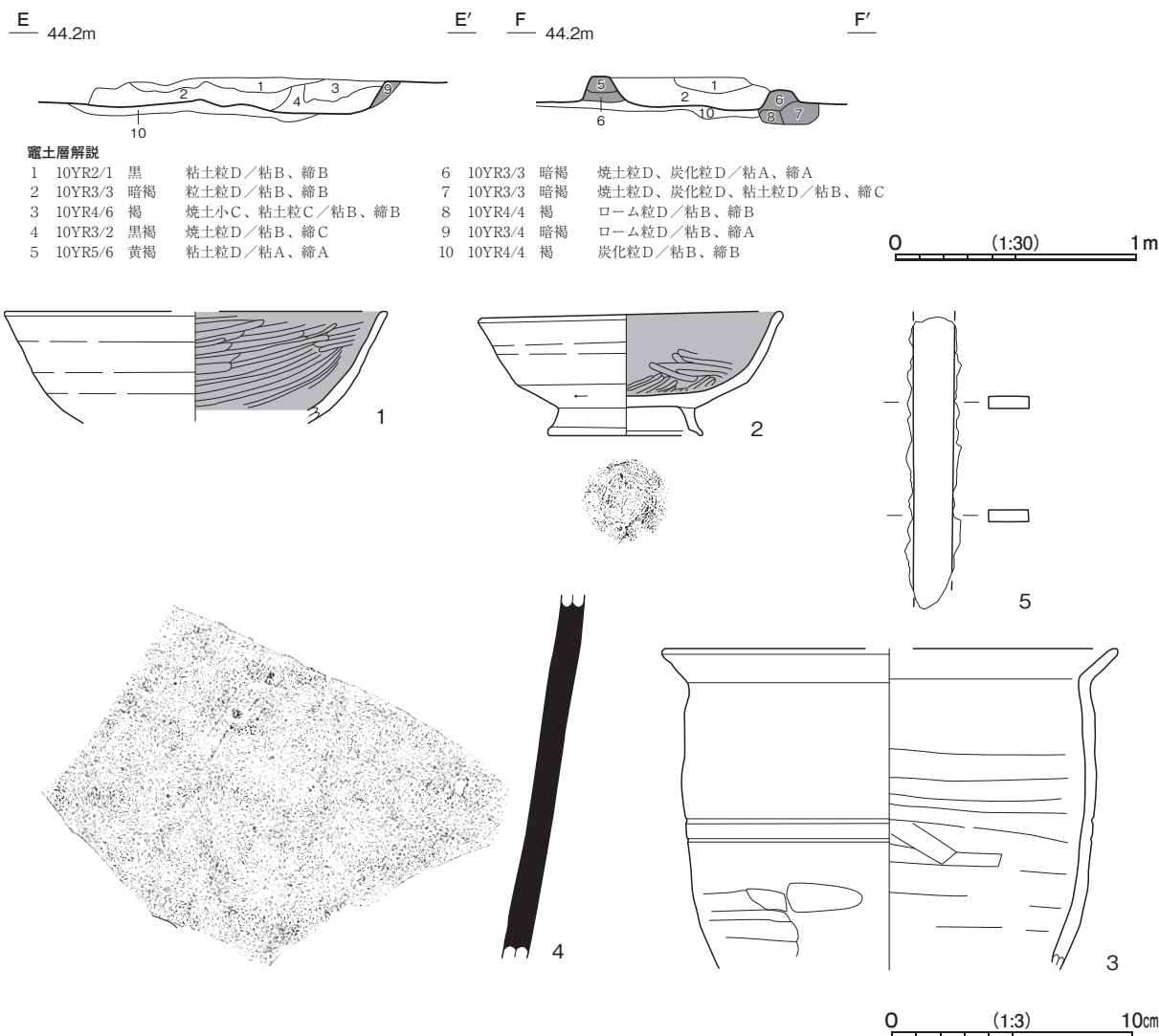
第 94 号竪穴建物跡 (第 255・256 図 PL36・87)

位置 E 区中央部の F 4c8 区、標高 44 m ほどの平坦な台地上に位置している。

重複関係 第 402・888 号土坑に掘り込まれている。



第 255 図 第 94 号竪穴建物跡実測図



第 256 図 第 94 号 竪穴建物跡・出土遺物実測図

規模と形状 長軸 4.63 m、短軸 3.85 m で、主軸方向は N - 67° - E の長方形である。壁は高さ 35cm ほどで、ほぼ直立している。

床 平坦で、竈前方部から中央部にかけて硬化している。貼床は、ローム粒子・粘土粒子を含む第 7 層を 5 cm ほど埋土して構築している。

竈 東壁の中央部に位置している。規模は焚口部から煙道部まで 87cm で、燃烧部幅は 60cm である。竈は地山を 6cm ほど掘り込み、第 9・10 層を埋土して整地している。右袖部は地山の上に、左袖部は整地面の上に粘性の強い暗褐色土などの第 5～8 層を積み上げて構築している。火床部は焚口部から奥壁へ緩やかに低くなっている。火床面は赤変硬化していない。煙道部は壁外に 40cm ほど張り出し、奥壁で外傾している。

覆土 6 層に分層できる。焼土粒子や粘土粒子を含んでいることから、人為堆積である。

遺物出土状況 土師器片 178 点（坏 32、高台付碗 20、甕 123、甗 3）、須恵器片 8 点（坏 4、高台付坏 1、甕 2、大甕 1）、金属製品 2 点（鑿カ、不明鉄製品）が出土している。1 は竈前方部の覆土下層から、2 は北西コー

ナ一部の覆土下層から、3は竈前方部、4は北東コーナー部の床面から破片が散在した状態で、5は北壁際の覆土下層から、それぞれ出土している。

所見 時期は、重複関係や出土土器から10世紀前葉である。

第139表 第94号竪穴建物跡出土遺物一覧(第256図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	特徴	出土位置	備考
1	土師器	椀	[15.8]	(4.6)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	橙	普通	体部外面ロクロナデ 内面横位のヘラ磨き	覆土下層	30%
2	土師器	高台付椀	12.4	5.2	6.4	長石・石英・赤色粒子	橙	普通	体部外面ロクロナデ 内面横位のヘラ磨き 底部回転ヘラ削り後高台貼付け	覆土下層	95% PL87
3	土師器	甕	[18.8]	(13.3)	-	長石・石英・赤色粒子・礫	橙	普通	口縁部内外面横ナデ 体部内外面横位のヘラナデ	床面	30% PL87
4	須恵器	大甕	-	(15.1)	-	長石・石英	黄灰	普通	体部内外面ナデ	床面	5%

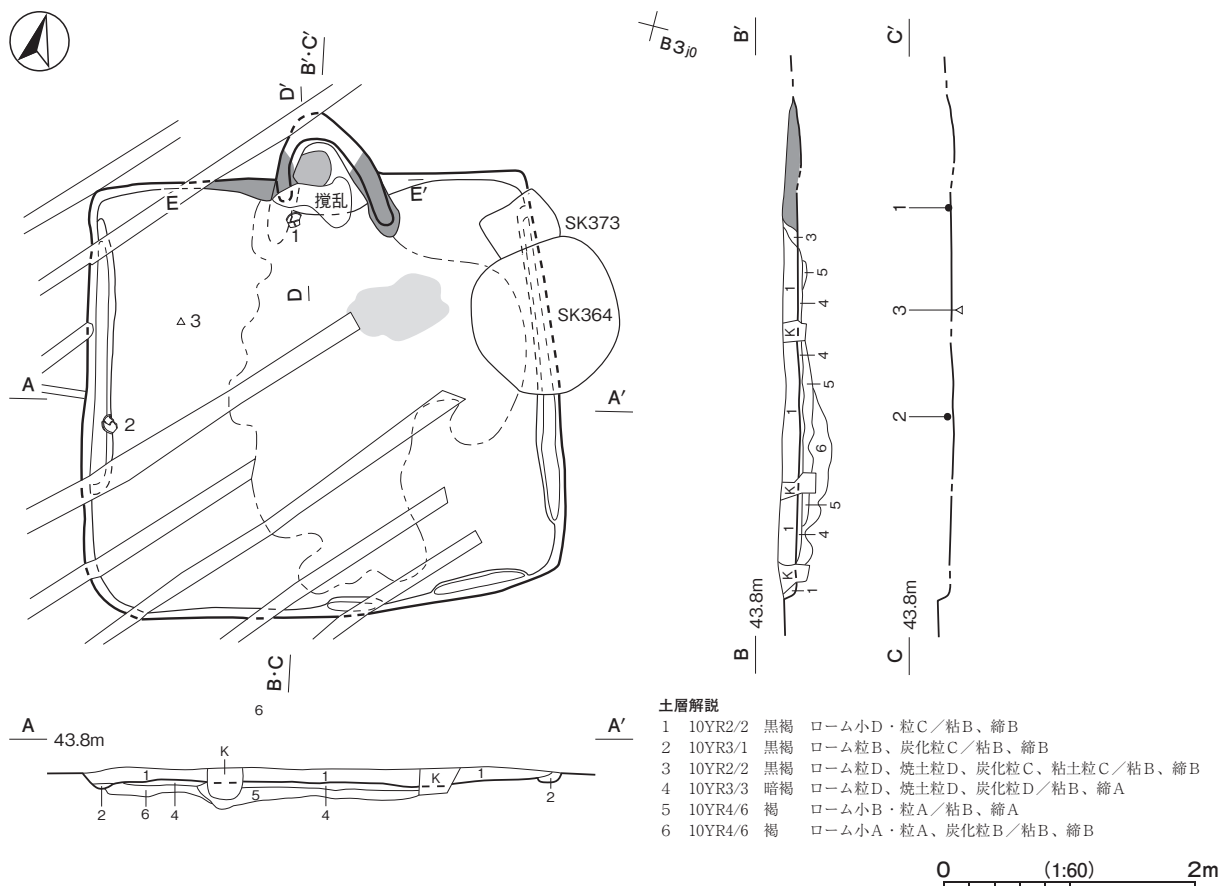
番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
5	鑿	(12.1)	1.7	0.5	(64.33)	鉄	上・下部欠損 断面長方形	覆土下層	PL87

第95号竪穴建物跡(第257・258図 PL36・37・87)

位置 E区北部のB3j9区、標高43mほどの平坦な台地上に位置している。

重複関係 第428号土坑を掘り込み、第364・373号土坑に掘り込まれている。

規模と形状 長軸3.77m、短軸3.44mで、主軸方向はN-5°-Wの方形である。壁は高さ10cmほどで、緩やかに立ち上がっている。

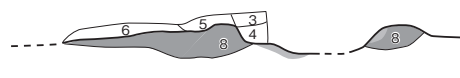
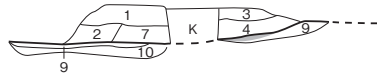


第257図 第95号竪穴建物跡実測図

D 43.8m

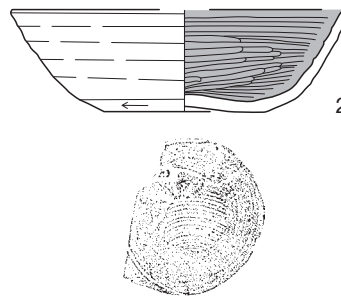
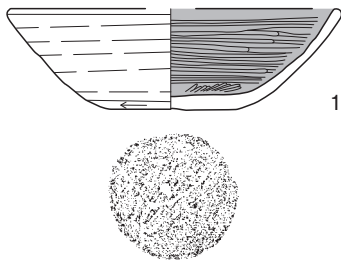
D' E 43.8m

E'

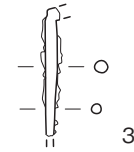


竈土層解説

- | | | | |
|----------------|-------------------------------|---------------|-------------------------------|
| 1 10YR2/2 黒褐 | ローム小D・粒D、焼土粒D、炭化粒D、粘土粒C/粘B、締B | 6 10YR6/2 灰黄褐 | ローム粒C、粘土粒A/粘B、締B |
| 2 10YR5/3 におい黄 | ローム粒C、炭化粒D/粘B、締B | 7 10YR7/6 明黄褐 | 焼土粒C、炭化粒C、粘土ブロック小B、粘土粒B/粘B、締B |
| 3 10YR2/2 黒褐 | ローム粒D、焼土粒C、炭化粒D/粘B、締B | 8 10YR4/2 灰黄褐 | ローム粒C、炭化粒D、粘土粒C/粘B、締B |
| 4 7.5YR3/4 暗褐 | ローム粒C、焼土粒B、炭化粒C/粘B、締B | 9 10YR3/3 暗褐 | ローム粒D、焼土粒D、炭化粒D/粘B、締A |
| 5 10YR2/3 黒褐 | ローム粒C/粘B、締B | 10 10YR4/6 褐 | ローム小B・粒A/粘B、締A |



0 (1:30) 1m



0 (1:3) 10cm

第 258 図 第 95 号竈穴建物跡・出土遺物実測図

床 ほぼ平坦で、竈手前から中央部と東部の一部が硬化している。貼床はロームのブロックや粒子、炭化粒子を多く含む第4～6層を6～26cmほど埋土して構築している。東・南・西壁下の一部に壁溝を確認した。中央部やや北東寄りに長径80cm、短径54cmの不整楕円形を呈する焼土の範囲を確認した。

竈 北壁の中央部に位置している。焚口部から煙道部まで96cmで、燃焼部幅は44cmである。焚口部周辺は、貼床と同質の第9・10層を埋土して整地している。袖部は地山の上にローム粒子・炭化粒子を含む第8層を積み上げて構築しており、右袖部の一部は、火熱を受けている。火床面は、火熱を受けて赤変硬化している。煙道部は壁外に46cmほど張り出し、火床面から緩やかに立ち上がっている。

覆土 3層に分層できる。レンズ状に堆積していることから、自然堆積である。

遺物出土状況 土師器片196点（坏25、高台付坏4、甕167）、須恵器片17点（坏1、甕15、大甕1）、金属製品1点（釘_ナ）、礫16点が出土している。1は竈左袖際の底面から、2は西壁際中央部の覆土下層から、3は北西部の床面から、それぞれ出土している。

所見 時期は、出土土器から9世紀後葉である。

第 140 表 第 95 号竈穴建物跡出土遺物一覧（第 258 図）

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	特徴	出土位置	備考
1	土師器	坏	[13.0]	4.0	5.2	長石・石英・雲母・赤色粒子	におい橙	普通	体部外面ロクロナデ 下端回転ヘラ削り ヘラ磨き 底部一方向のヘラ削り	内面	竈底面 60% 被熱 PL87
2	土師器	坏	[13.2]	4.1	6.4	長石・石英・雲母	明褐	普通	体部外面ロクロナデ 下端回転ヘラ削り ヘラ磨き 底部回転糸切り後ヘラナデ	内面	覆土下層 50% PL87
番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴		出土位置	備考	
3	釘 _ナ	(5.1)	(0.6)	0.4～0.5	(3.60)	鉄	断面円形		床面		

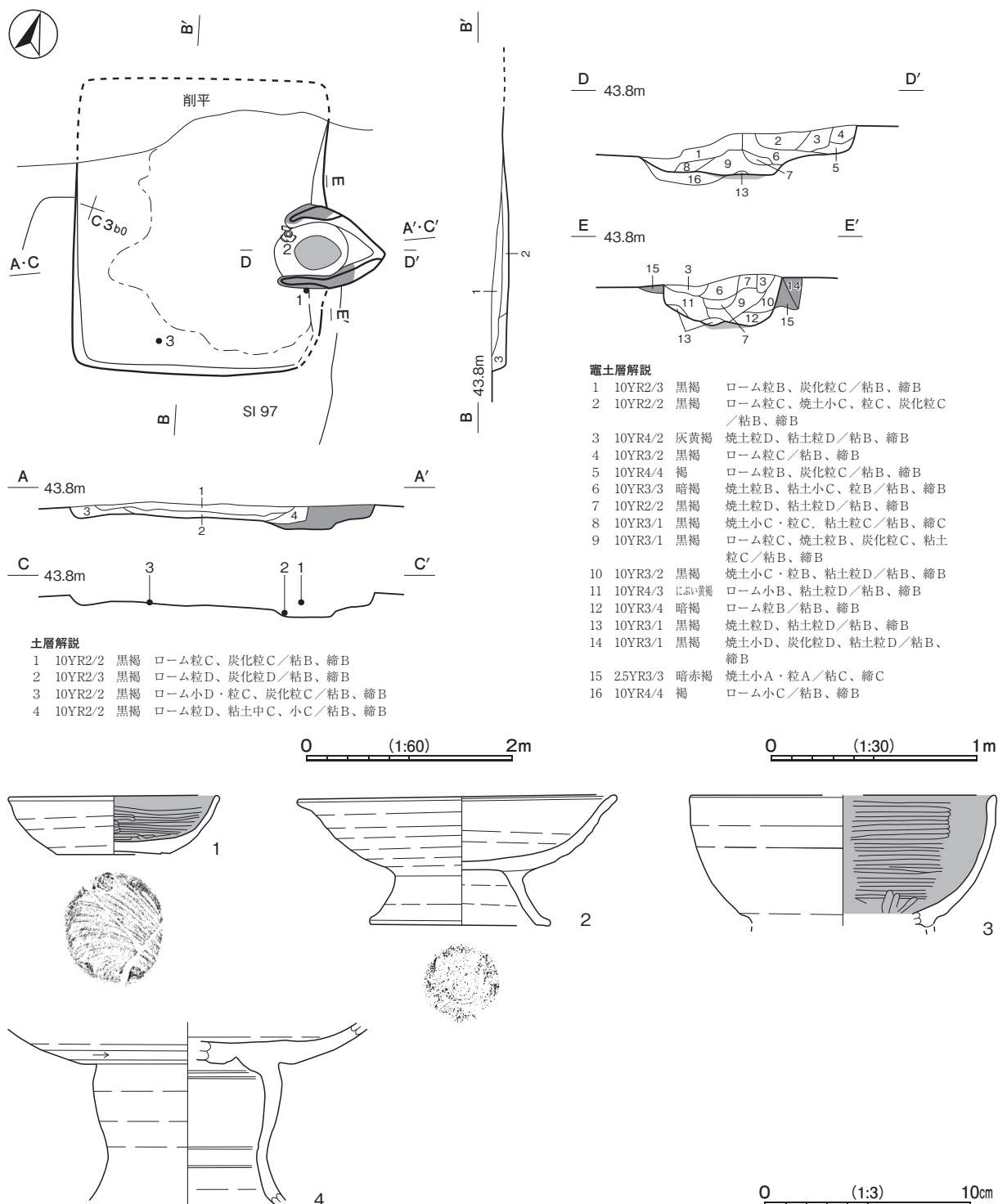
第 96 号竪穴建物跡 (第 259 図 PL37・87)

位置 E 区北部の C 3 a0 区、標高 44 m ほどの平坦な台地上に位置している。

重複関係 第 97 号竪穴建物跡を掘り込んでいる。

規模と形状 北西部が削平されているため、確認できた規模は、南北軸 2.58 m、東西軸 2.40 m である。主軸方向は N - 71° - E の長方形と推定できる。壁は高さ 14cm ほどで、ほぼ直立している。

床 ほぼ平坦で、中央部が硬化している



第 259 図 第 96 号竪穴建物跡・出土遺物実測図

竈 東壁の中央部に位置している。規模は焚口部から煙道部まで 107cm で、燃焼部幅は 52cm である。袖部は地山の上に粘土粒子を含む第 14・15 層を積み上げて構築している。火床部は第 16 層を埋土して整地している。火床部は楕円形を呈し、床面から 6 cm ほどくぼんでいる、火床面は赤変硬化している。煙道部は壁外に 60cm ほど張り出し、火床面から緩やかに立ち上がっている。

覆土 4 層に分層できる。不規則な堆積状況を示していることから、人為堆積である。

遺物出土状況 土師器片 177 点（坏 26、高台付椀 8、高坏_カ 1、甕 142）、須恵器片 5 点（坏 1、甕 4）が出土している。1 は竈右袖脇の覆土中層から、2 は竈の底面から、3 は南部の床面から、4 は覆土中から、それぞれ出土している。

所見 時期は、重複関係や出土土器から 10 世紀後葉である。

第 141 表 第 96 号竪穴建物跡出土遺物一覧（第 259 図）

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	特徴	出土位置	備考
1	土師器	坏	10.2	2.8	5.4	長石・石英・赤色粒子	にぶい橙	普通	体部外面ロクロナデ 内面ヘラ磨き 底部回転糸切り	覆土中層	60% PL87
2	土師器	高台付椀	15.5	6.4	8.6	長石・石英・雲母・赤色粒子	にぶい橙	普通	体部内外面ロクロナデ 底部回転ヘラ削り後高台貼付け	竈底面	90% PL87
3	土師器	高台付椀	[14.8]	(6.4)	-	長石・石英・雲母	にぶい橙	普通	体部外面ロクロナデ 内面ヘラ磨き 底部回転ヘラ削り 高台部欠損	床面	10%
4	土師器	高坏 _カ	-	(8.9)	-	長石・石英・赤色粒子	にぶい橙	普通	体部内外面ロクロナデ	覆土	20% PL87

第 97 号竪穴建物跡（第 260・261 図 PL37・87）

位置 E 区北部の C 3 b0 区、標高 44 m ほどの平坦な台地上に位置している。

重複関係 第 496 号土坑を掘り込み、第 96 号竪穴建物に掘り込まれている。

規模と形状 長軸 3.23 m、短軸 3.20 m で、主軸方向は N - 17° - W の方形である。壁は高さ 28cm ほどで、ほぼ直立している。

床 平坦で、壁際を除いて硬化している。

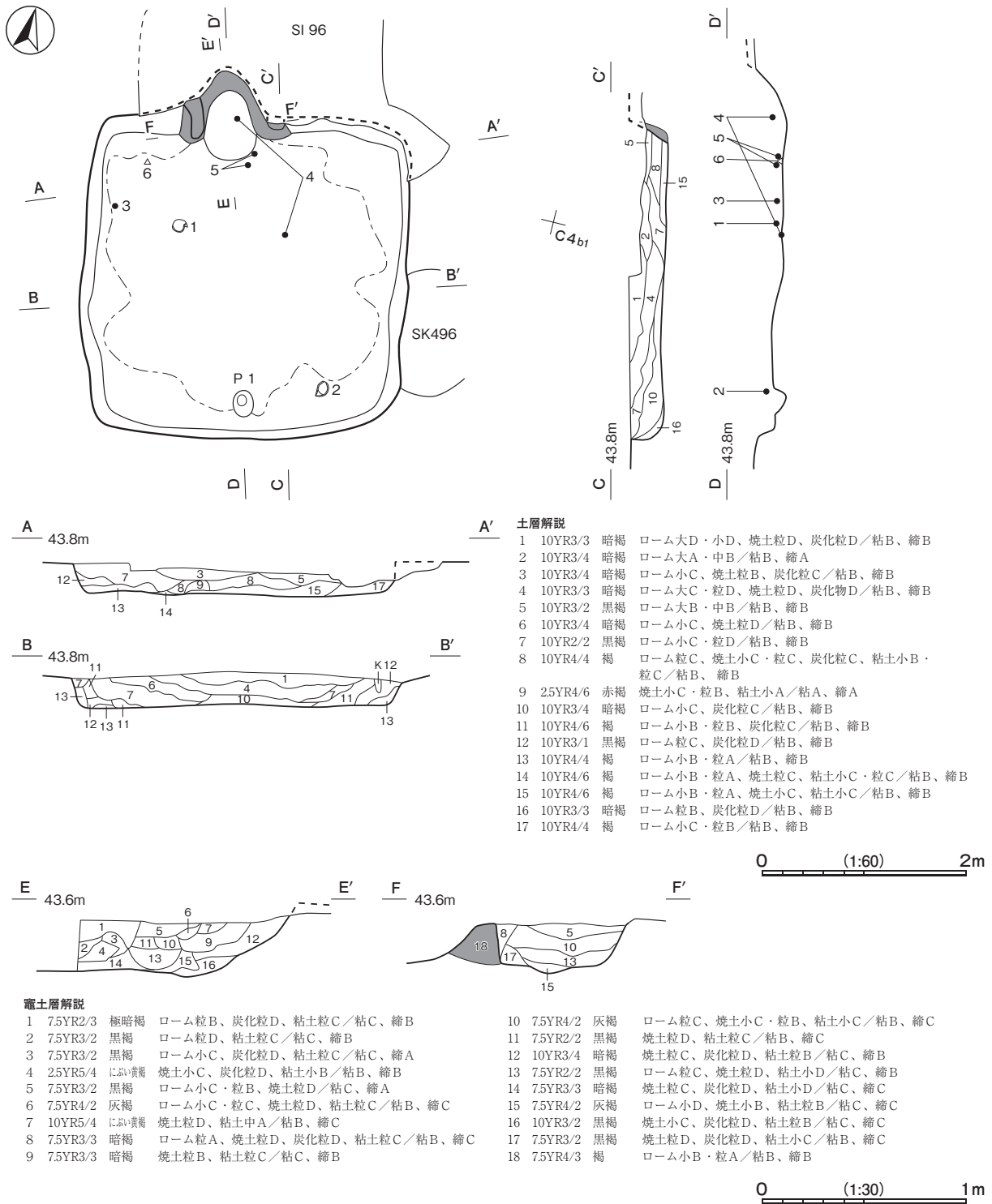
竈 北壁の中央部に位置している。規模は焚口部から煙道部まで 86cm で、燃焼部幅は 44cm である。袖部は地山の上にロームブロックを含む第 18 層を積み上げて構築している。右袖部付近から凝灰質泥岩が出土しており、竈の補強材として使用されていたと考えられる。火床部は床面とほぼ同じ高さである。火床面は赤変硬化していない。煙道部は壁外に 36cm ほど張り出し、火床面から外傾して立ち上がっている。

ピット P 1 は深さ 8 cm で、配置から出入口施設に伴うピットである。

覆土 17 層に分層できる。ロームブロックを含んでいることから、人為堆積である。

遺物出土状況 土師器片 381 点（坏 54、高台付椀 15、皿 1、甕 308、甑 3）、須恵器片 11 点（坏 1、高台付坏 1、甕 9）、金属製品 1 点（刀子_カ）、凝灰質泥岩 1 点、礫 8 点が出土している。遺物は、主に北部の覆土中層から上層にかけて、散在して出土している。1 は中央部北西寄り、2 は南壁際東寄り、3 は西壁際、6 は北壁際西寄りの覆土下層から、それぞれ出土している。4 は中央部の床面と竈の覆土下層から出土した破片 2 点が接合したものである。5 は竈焚口部付近の覆土下層から出土した破片 2 点が接合したものである。

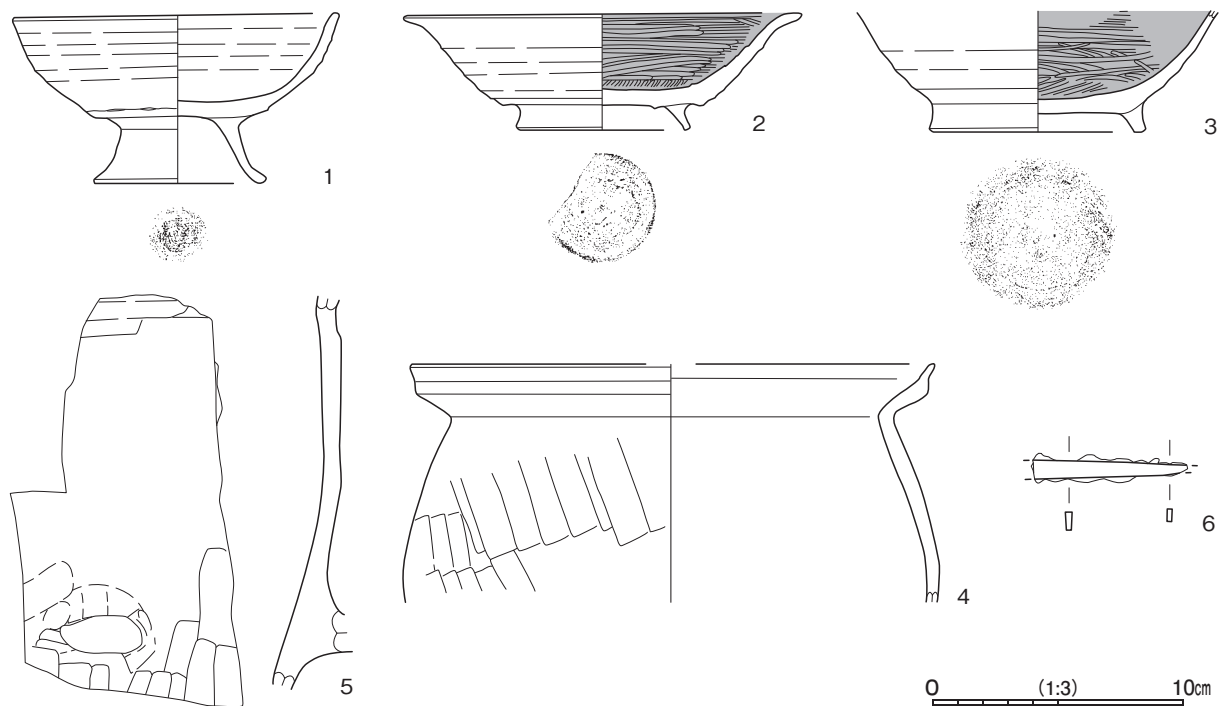
所見 時期は、重複関係や出土土器から 10 世紀中葉である。



第 260 図 第 97 号 竪穴建物跡実測図

第 142 表 第 97 号 竪穴建物跡出土遺物一覧 (第 261 図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	特徴	出土位置	備考
1	土師器	高台付椀	13.0	6.7	6.6	長石・石英・赤色 粒子・礫	橙	普通	体部内外面ロクロナデ 底部回転ヘラ削り後高 台貼付け	覆土下層	90% PL87
2	土師器	高台付椀	15.6	4.6	6.6	長石・石英・雲母	にぶい褐	普通	体部外面ロクロナデ 内面横位のヘラ磨き 底部回転ヘラ削り後高台貼付け	覆土下層	60% PL87
3	土師器	高台付椀	-	(4.8)	8.6	長石・石英・雲母・ 赤色粒子	橙	普通	体部外面ロクロナデ 内面横位のヘラ磨き 底部回転ヘラ削り後高台貼付け	覆土下層	40% PL87



第 261 図 第 97 号 縦穴建物跡出土遺物実測図

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	特徴	出土位置	備考
4	土師器	甕	[20.8]	(9.5)	-	長石・石英・雲母	橙	普通	口縁部内外面横ナデ 体部外面縦位のヘラナデ 内面ナデ	床面 竈覆土下層	20% PL87
5	土師器	甌	-	(15.3)	-	長石・石英・雲母	にぶい褐	普通	体部外面縦位のヘラナデ 内面ナデ 指頭痕	覆土下層	5%
番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴		出土位置	備考	
6	刀子 _カ	(6.1)	(0.8)	0.2~0.3	(5.35)	鉄	刃部欠損 茎部断面長方形		覆土下層		

第 98 号 縦穴建物跡 (第 262 図 PL88)

位置 E 区中央部の D 3d0 区、標高 44 m ほどの平坦な台地上に位置している。

重複関係 第 128 号 縦穴建物跡を掘り込んでいる。

規模と形状 北・南部の大半が削平され、西部が調査区域外のため、確認できた規模は北西・南東軸 2.80 m、北東・南西軸 2.52 m である。主軸方向は N - 61° - E の方形か長方形と推定できる。

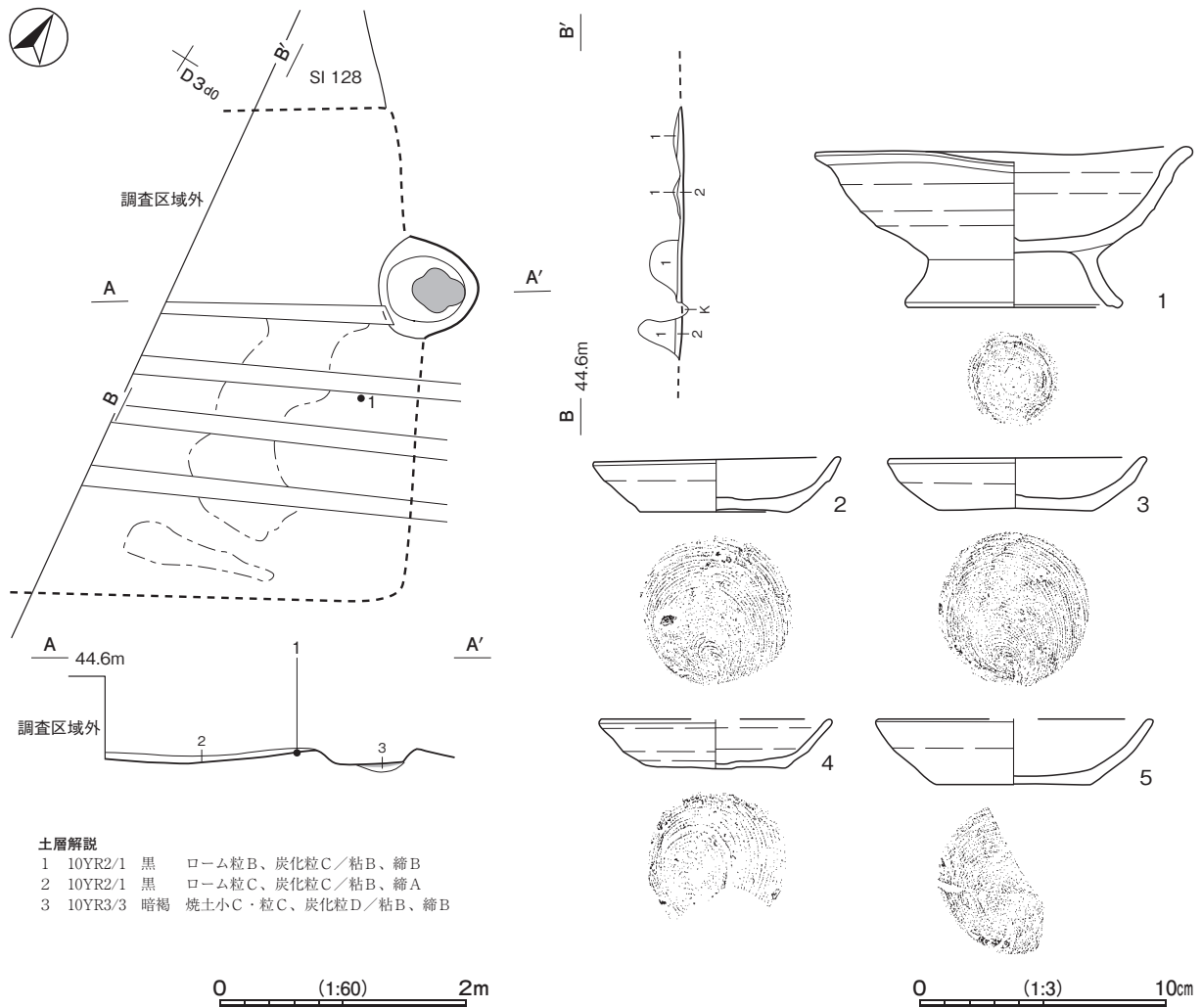
床 平坦で、南部の一部が硬化している。

竈 北東壁に位置していると推定できる。削平のため、確認できた規模は、焚口部から煙道部まで 80cm で、燃焼部幅 80cm である。火床部は浅い皿状を呈し、床面から 12cm ほどくぼんでいる。火床面は赤変硬化している。煙道部は壁外に 48cm ほど張り出し、奥壁の立ち上がりは、削平のため不明である。

覆土 2 層に分層できる。覆土の残りが悪いため、堆積状況は不明である。

遺物出土状況 土師器片 159 点 (坏 43、高台付碗 6、小皿 18、甕 92)、須恵器片 4 点 (坏 2、甕 2) が出土している。1 は東部の床面から、2~5 は覆土中から、それぞれ出土している。

所見 時期は、重複関係や出土土器から 10 世紀中葉である。



第 262 図 第 98 号竪穴建物跡・出土遺物実測図

第 143 表 第 98 号竪穴建物跡出土遺物一覧 (第 262 図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	特徴	出土位置	備考
1	土師器	高台付坏	15.1	6.5	8.5	長石・石英・雲母	橙	普通	口縁部内外面横ナデ 体部内外面ロクロナデ 底部回転ヘラ削り後高台貼付け	床面	95% PL88
2	土師器	小皿	10.0	2.2	6.1	長石・石英	橙	普通	体部内外面ロクロナデ 底部回転糸切り	覆土	95% PL88
3	土師器	小皿	10.3	2.2	6.1	長石・石英・赤色 粒子・礫	橙	普通	体部内外面ロクロナデ 底部回転糸切り	覆土	70% PL88
4	土師器	小皿	[9.4]	2.0	5.6	長石・石英・赤色 粒子	橙	普通	体部内外面ロクロナデ 底部回転糸切り	覆土	40%
5	土師器	小皿	[11.0]	2.8	6.2	長石・石英・雲母	にぶい橙	普通	体部内外面ロクロナデ 底部回転糸切り	覆土	30%

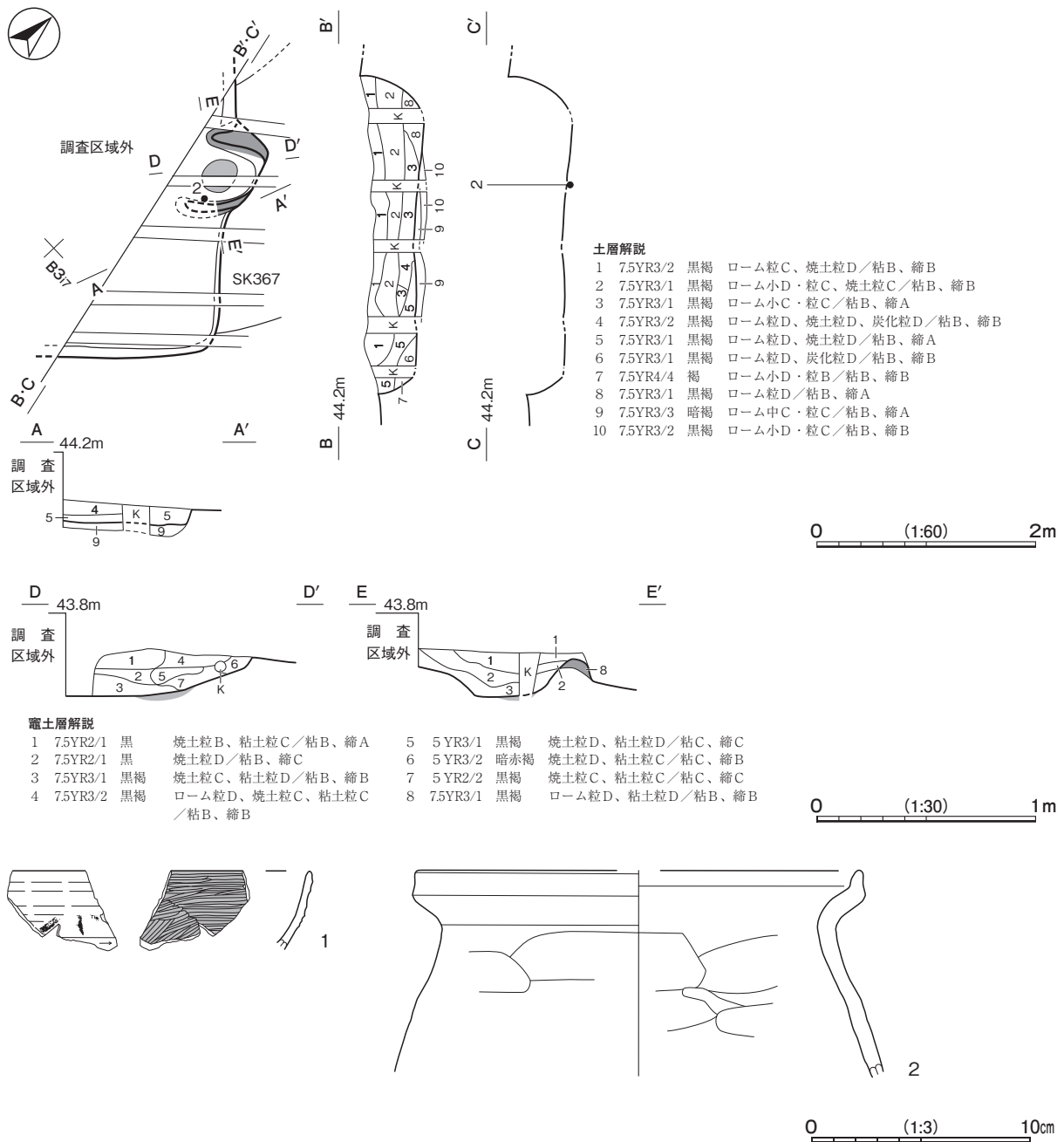
第 100 号竪穴建物跡 (第 236 図 PL37・88・101)

位置 E 区北部の B 3h7 区、標高 44 m ほどの平坦な台地上に位置している。

重複関係 第 367 号土坑を掘り込んでいる。

規模と形状 西部が調査区域外のため、確認できた規模は、北西・南東軸 2.37 m、北東・南西軸 1.40 m である。

主軸方向は N - 44° - E で、方形か長方形と推定できる。壁は高さ 13 ~ 50cm ほどで、外傾している。



第263図 第100号竪穴建物跡・出土遺物実測図

床 平坦で、硬化面は確認できなかった。貼床は地山を10cmほど掘り下げ、ロームブロックを含んだ第9・10層を埋土して構築している。

竈 北東壁に位置している。規模は焚口部から煙道部まで60cm、燃烧部幅は50cmである。両袖部は地山を削り出し、その上に第8層を積み上げて構築している。火床部は不整楕円形で、僅かに掘りくぼめて利用されている。火床面は、赤変硬化している。煙道部は壁外に30cmほど張り出し、火床面から緩やかに立ち上がっている。

覆土 8層に分層できる。黒褐色土を主体とする層がレンズ状に堆積していることから、自然堆積である。

遺物出土状況 土師器片50点（坏6、甕類44）が主に竈覆土中から出土している。1は竈覆土中から出土している。2は竈右袖際の火床面から斜位の状態で出土している。

所見 時期は、出土土器から9世紀後葉と考えられる。

第 144 表 第 100 号竪穴建物跡出土遺物一覧 (第 263 図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	特徴	出土位置	備考
1	土師器	坏	-	(3.6)	-	長石・石英・赤色 粒子	にぶい黄橙	普通	体部外面ロクロナデ 内面ヘラ磨き	竈覆土	5% 墨書 「□」 PL101
2	土師器	甕	[20.2]	(9.4)	-	長石・石英・雲母・ 赤色粒子	にぶい橙	普通	口縁部内外面横ナデ 体部内外面ヘラナデ	竈火床面	5% PL88

第 102 号竪穴建物跡 (第 264 図 PL38・88)

位置 E 区中央部の F 5b2 区、標高 44 m ほどの平坦な台地上に位置している。

規模と形状 東部が調査区域外のため、確認できた規模は南北軸 3.55 m、東西軸 1.88 m である。南北軸方向は N-2°-W の方形か長方形と推定できる。壁は高さ 8~43cm ほどで、ほぼ直立している。

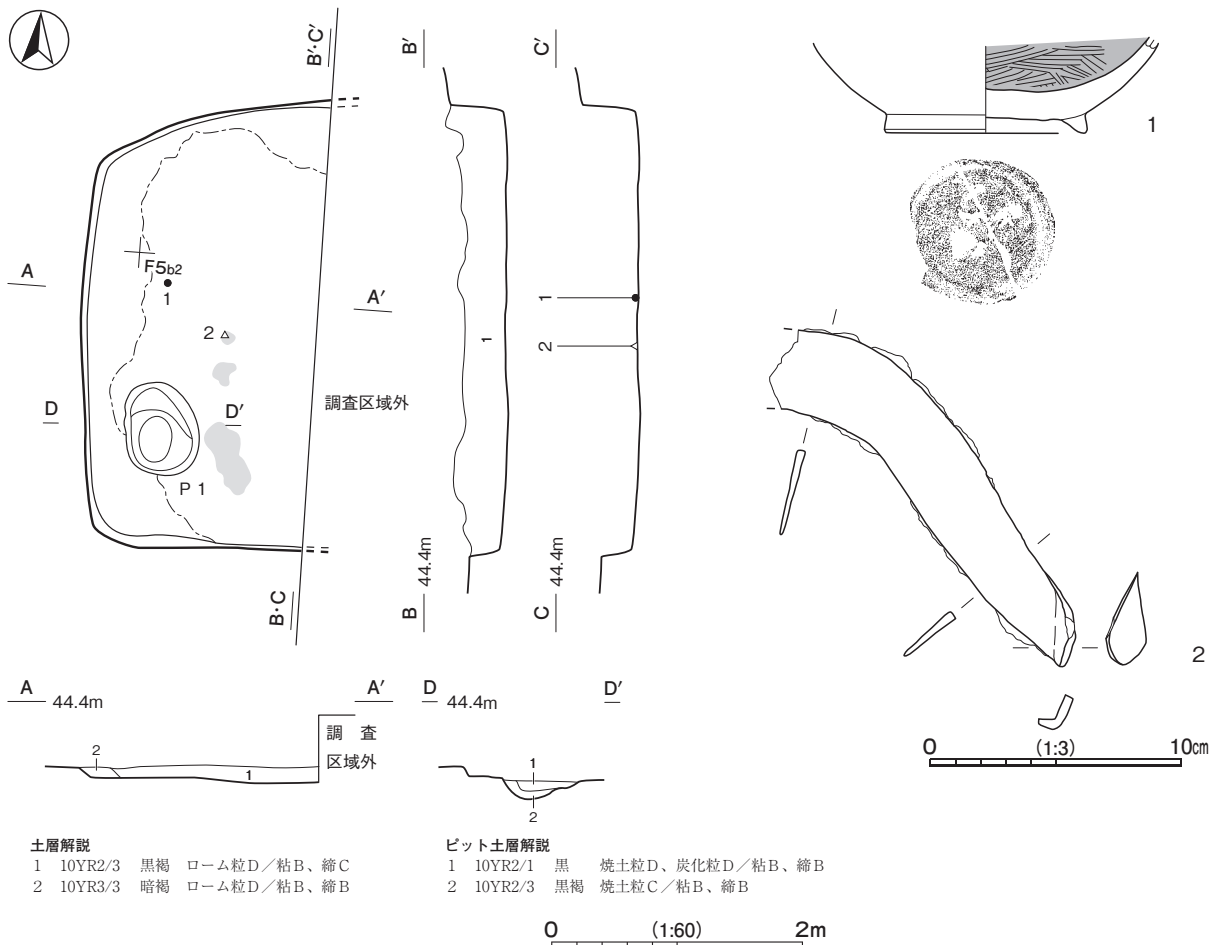
床 ほぼ平坦で、壁際を除いて硬化している。P 1 東側の床面が熱を受け赤化している。

ピット P 1 は深さ 15cm で、性格不明である。

覆土 2 層に分層できる。第 1 層は黒褐色土がほとんどを占めることから自然堆積である。

遺物出土状況 土師器片 75 点 (坏 13、高台付椀 1、甕 61)、須恵器片 4 点 (坏 1、甕 3)、金属製品 1 点 (鎌) が出土している。1 は西壁寄りの床面から、2 は中央部の床面から、それぞれ出土している。

所見 時期は、出土土器から 10 世紀後葉である。



第 264 図 第 102 号竪穴建物跡・出土遺物実測図

第 145 表 第 102 号竪穴建物跡出土遺物一覧 (第 264 図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	特徴	出土位置	備考	
1	土師器	高台付椀	-	(3.8)	7.9	長石・石英	にぶい黄橙	普通	体部外面ロクロナデ 糸切り後高台貼付け	内面ヘラ磨き 底部回転	床面	30%
番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴			出土位置	備考	
2	鎌	(11.7)	3.4	0.35	(75.46)	鉄	先端部欠損 刃部断面三角形 柄との設置部L字状に屈折			床面	PL88	

第 103 号竪穴建物跡 (第 265・266 図 PL38・88)

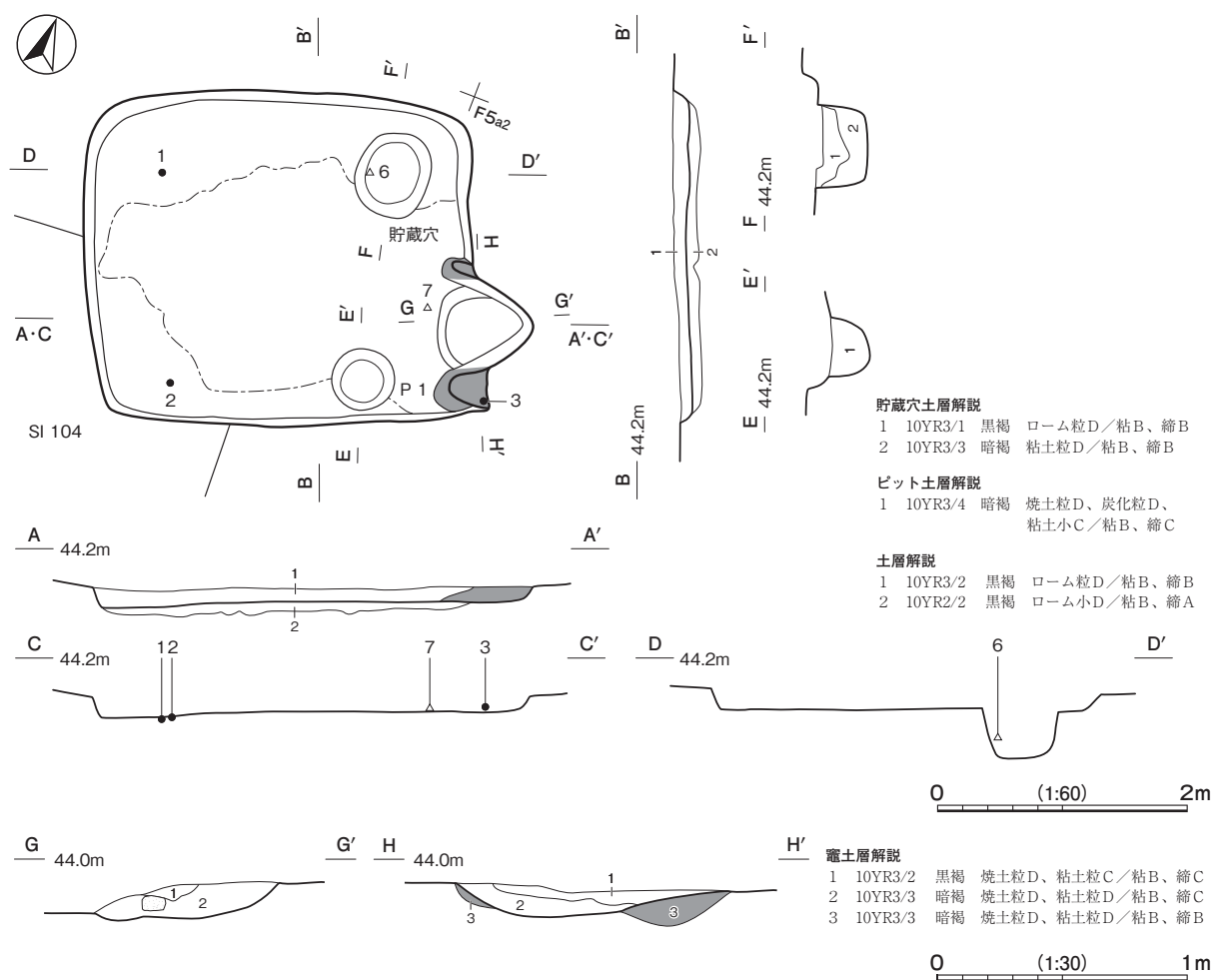
位置 E 区中央部の F 5a1 区、標高 44 m ほどの平坦な台地上に位置している。

重複関係 第 104 号竪穴建物跡を掘り込んでいる。

規模と形状 長軸 3.10 m、短軸 2.68 m で、主軸方向は N - 69° - E の長方形である。壁は高さ 8 ~ 14 cm ほどで、外傾している。

床 平坦で、竈前方部から西壁部方向にかけて硬化している。貼床は地山を 8 ~ 12 cm ほど掘り下げ、ロームブロックを含む第 2 層を埋土して構築している。

竈 東壁の南東コーナー部寄りに位置している。規模は焚口部から煙道部まで 76 cm で、燃焼部幅は 64 cm である。袖部は地山を削り、粘土粒子を含む第 3 層を充填して構築している。火床部は床面と同じ高さを使用して



第 265 図 第 103 号竪穴建物跡実測図

いる。火床面は赤変していない。煙道部は壁外に42cmほど張り出し、火床面から緩やかに立ち上がっている。火床部から竈部材の凝灰質泥岩が出土している。

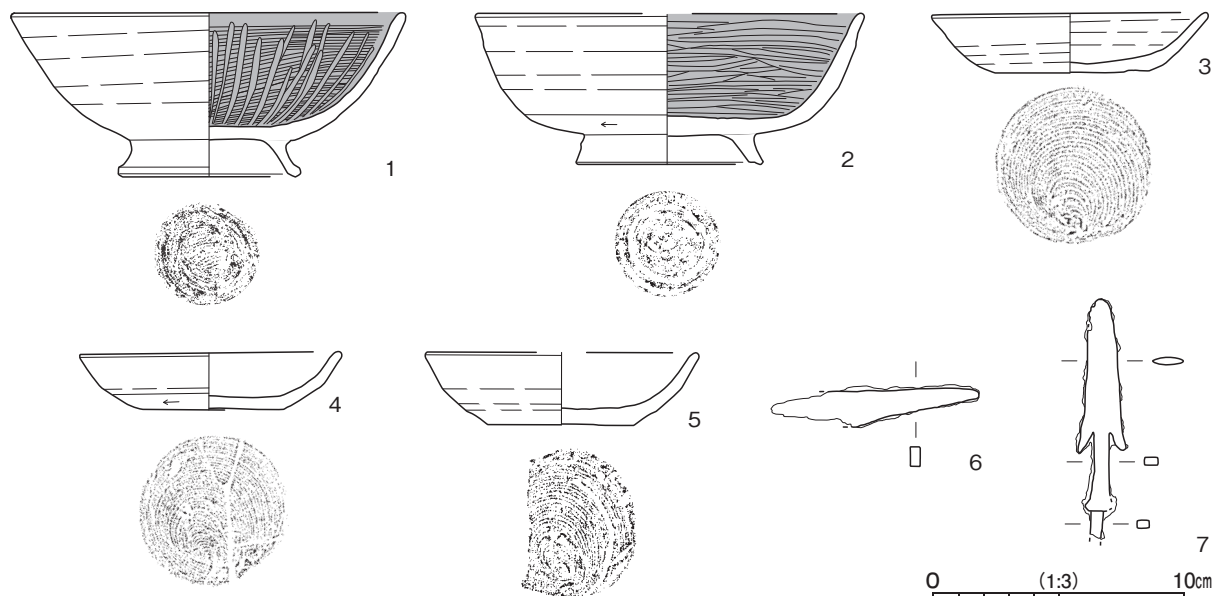
ピット P1は深さ30cmで、性格不明である。

貯蔵穴 北東コーナー部に位置している。長径68cm、短径56cmの楕円形で、深さ40cmである。底面は平坦で、壁はほぼ直立している。覆土は2層に分層でき、含有物が少ない黒褐色土が主体であることから、自然堆積である。

覆土 単一層である。含有物が少ない黒褐色土が主体であることから、自然堆積である。

遺物出土状況 土師器片101点（坏26、高台付椀6、蓋1、小皿3、甕65）、金属製品2点（刀子、鉄鎌）が主に南東部の覆土中から出土している。1は北西コーナー部の床面から、2は南西コーナー部の床面から、3は竈右袖部内から正位の状態、4・5は覆土中から、6は貯蔵穴の覆土中層から正位の状態、7は竈前方部の床面から、それぞれ出土している。

所見 時期は、出土土器から10世紀後葉である。



第266図 第103号竪穴建物跡出土遺物実測図

第146表 第103号竪穴建物跡出土遺物一覧（第266図）

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	特徴	出土位置	備考
1	土師器	高台付椀	15.5	6.5	7.0	長石・石英・雲母	にぶい橙	普通	口縁部・体部内外面ロクロナデ 体部内面へら磨き後放射状のへら磨き 底部回転糸切り後高台貼付け	床面	95% PL88
2	土師器	高台付椀	[15.3]	6.0	7.3	長石・石英	にぶい黄褐	普通	体部外面ロクロナデ 下端回転へら削り 内面へら磨き 底部回転糸切り後高台貼付け	床面	50% PL88
3	土師器	小皿	10.9	2.4	6.1	長石・石英・雲母・赤色粒子	橙	普通	口縁部・体部内外面ロクロナデ 底部回転糸切り	竈右袖部	100% PL88
4	土師器	小皿	10.3	2.3	5.6	長石・石英・雲母・赤色粒子	橙	普通	口縁部・体部内外面ロクロナデ 体部下端回転へら削り 底部回転糸切り	覆土	70% PL88
5	土師器	小皿	[10.7]	2.9	5.9	長石・石英・雲母・赤色粒子	明黄褐	普通	口縁部・体部内外面ロクロナデ 底部回転糸切り	覆土	40%
番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴			出土位置	備考
6	刀子	(8.3)	1.7	0.4	(13.70)	鉄	刃部欠損 茎部断面長方形			貯蔵穴覆土中層	PL88
7	鉄鎌	(9.6)	1.8	0.3	(13.73)	鉄	鎌身部長三角形 深い腸袂 茎闊 茎部欠損 断面長方形			床面	PL88

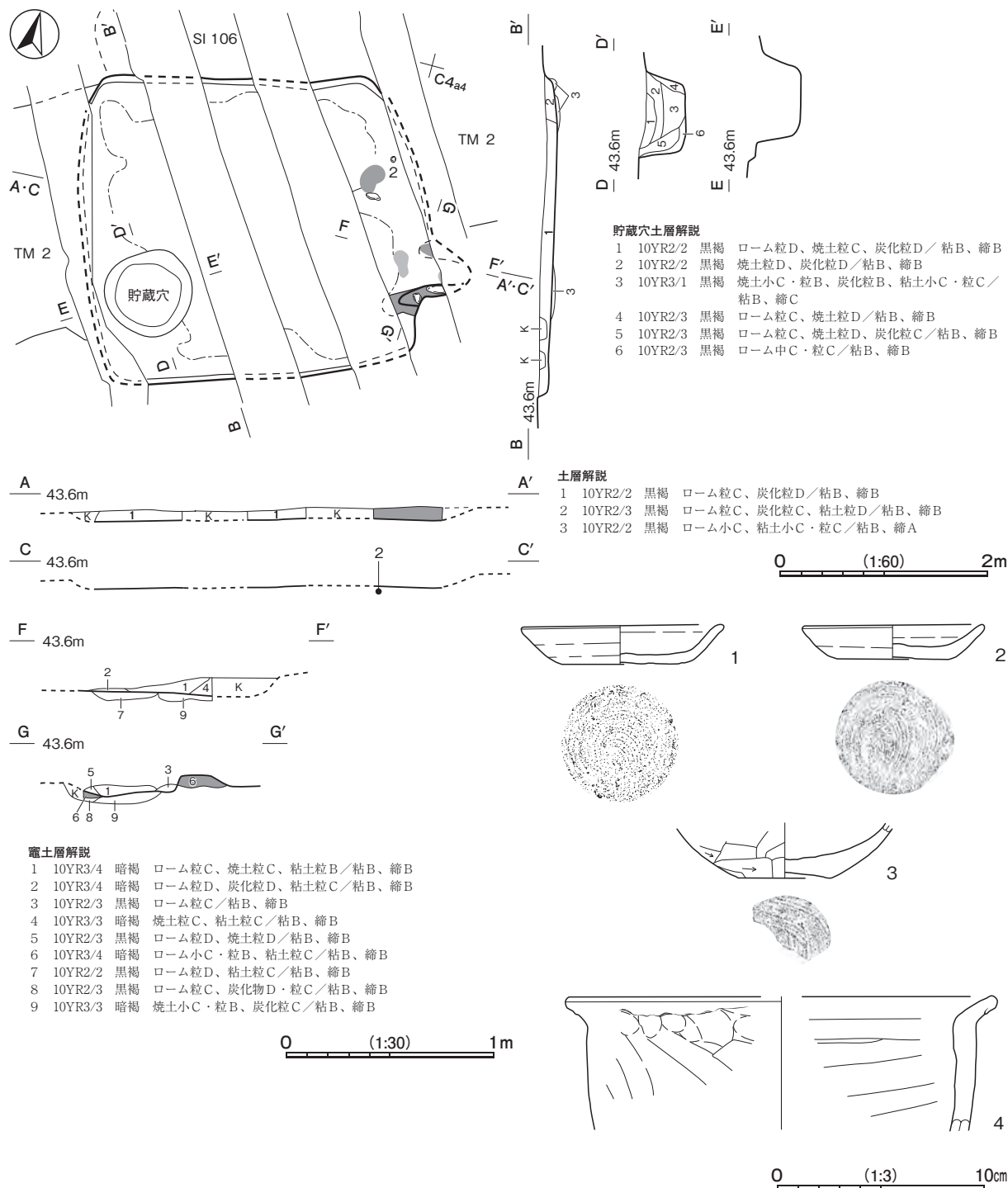
第 105 号竪穴建物跡 (第 267 図 PL39・88)

位置 E 区北部の C 4 a3 区、標高 44 m ほどの平坦な台地上に位置している。

重複関係 第 106 号竪穴建物跡、第 2 号方形周溝墓を掘り込んでいる。

規模と形状 攪乱のため、確認できた規模は長軸 2.95 m、短軸 2.81 m である。主軸方向は N - 73° - E の方
形と推定できる。壁は高さ 8 ~ 12cm ほどで、ほぼ直立している。

床 ほぼ平坦である。壁際を除いて硬化している。貼床は、ローム粒子や粘土粒子を含む第 3 層を 4 cm ほど埋
土して構築している。



第 267 図 第 105 号竪穴建物跡・出土遺物実測図

竈 東壁のやや南寄りに位置している。竈は地山を5cmほど掘りくぼめ、ロームブロックを含む第7～9層を埋土して整地している。右袖部は地山の上に、第6層を積み上げて構築している。火床部は床面とほぼ同じ高さで、火床面は赤変硬化している。煙道部は、奥壁が攪乱を受け、不明である。

貯蔵穴 南西コーナー部に位置している。径84cmの円形で、深さ38cmである。底面は平坦で、壁はほぼ直立している。覆土は6層に分層でき、焼土粒子や粘土ブロックなどを含んでいることから人為堆積である。

覆土 2層に分層できる。含有物が少ない黒褐色土が主体であることから、自然堆積である。

遺物出土状況 土師器片119点（坏34、高台付椀4、皿1、小皿2、鉢1、甕77）が出土している。土器は主に東部や竈、貯蔵穴周辺の覆土中から、散在して出土している。2は東壁際の床面から、1・3・4は覆土中から、それぞれ出土している。

所見 時期は、重複関係や出土土器から11世紀前葉である。

第147表 第105号竪穴建物跡出土遺物一覧（第267図）

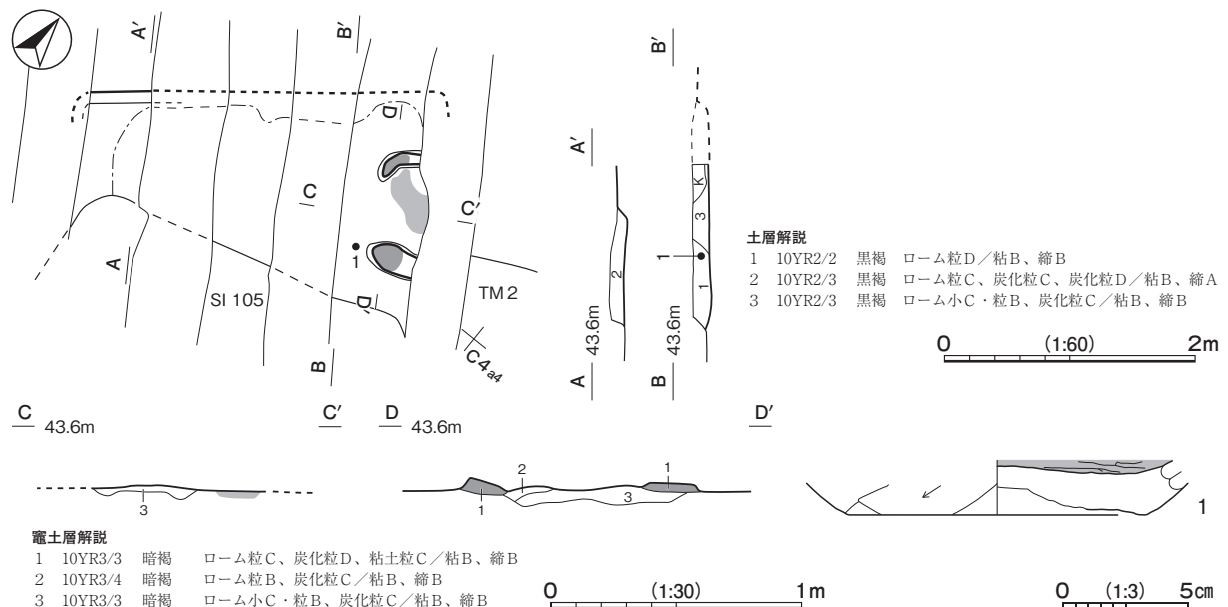
番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	特徴	出土位置	備考
1	土師器	小皿	9.6	1.9	5.6	長石・石英・雲母・赤色粒子	にぶい橙	普通	体部内外面ロクロナデ 底部回転糸切り	覆土	70% PL88
2	土師器	小皿	8.6	1.7	5.4	長石・石英・雲母	浅黄橙	普通	体部内外面ロクロナデ 底部回転糸切り	床面	70% PL88
3	土師器	鉢	-	(2.7)	[4.4]	長石・石英・雲母	にぶい橙	普通	体部下端ヘラ削り 内面ナデ 底部ヘラ削り	覆土	5%
4	土師器	甕	[20.4]	(6.5)	-	長石・石英・赤色粒子・針状物質	にぶい黄褐	普通	口縁部下端指頭痕残すナデ 体部内面ナデ 外面ヘラナデ	覆土	5%

第106号竪穴建物跡（第268図）

位置 E区北部のC4a3区、標高44mほどの平坦な台地上に位置している。

重複関係 第2号方形周溝墓を掘り込み、第105号竪穴建物に掘り込まれている。

規模と形状 攪乱のため、遺存する硬化面の範囲から、確認できた規模は北西・南東軸1.90m、北東・南西軸2.80mである。主軸方向はN-50°-Eの方形か長方形と推定できる。確認できた壁は高さ8cmで、外傾している。



第268図 第106号竪穴建物跡・出土遺物実測図

床 平坦で、竈周辺が硬化している。

竈 北東部に位置している。攪乱のため、袖部と火床部が一部遺存している。確認できた規模は焚口部から煙道部まで40cm、燃焼部幅は46cmである。竈は地山を2～8cm掘りくぼめ、第2・3層を埋土して整地している。遺存している左袖部は地山の上に、右袖部は整地した上に、ローム粒子・炭化粒子・粘土粒子を含む第1層を積み上げて構築している。火床部は床面とほぼ同じ高さを使用しており、火床面は赤変硬化している。

覆土 3層に分層できる。各層にロームブロックや炭化粒子を含んでいることから、人為堆積である。

遺物出土状況 土師器片1点（鉢）は、竈右袖部際の覆土下層から出土している。

所見 時期は、重複関係や出土土器から10世紀中葉である。

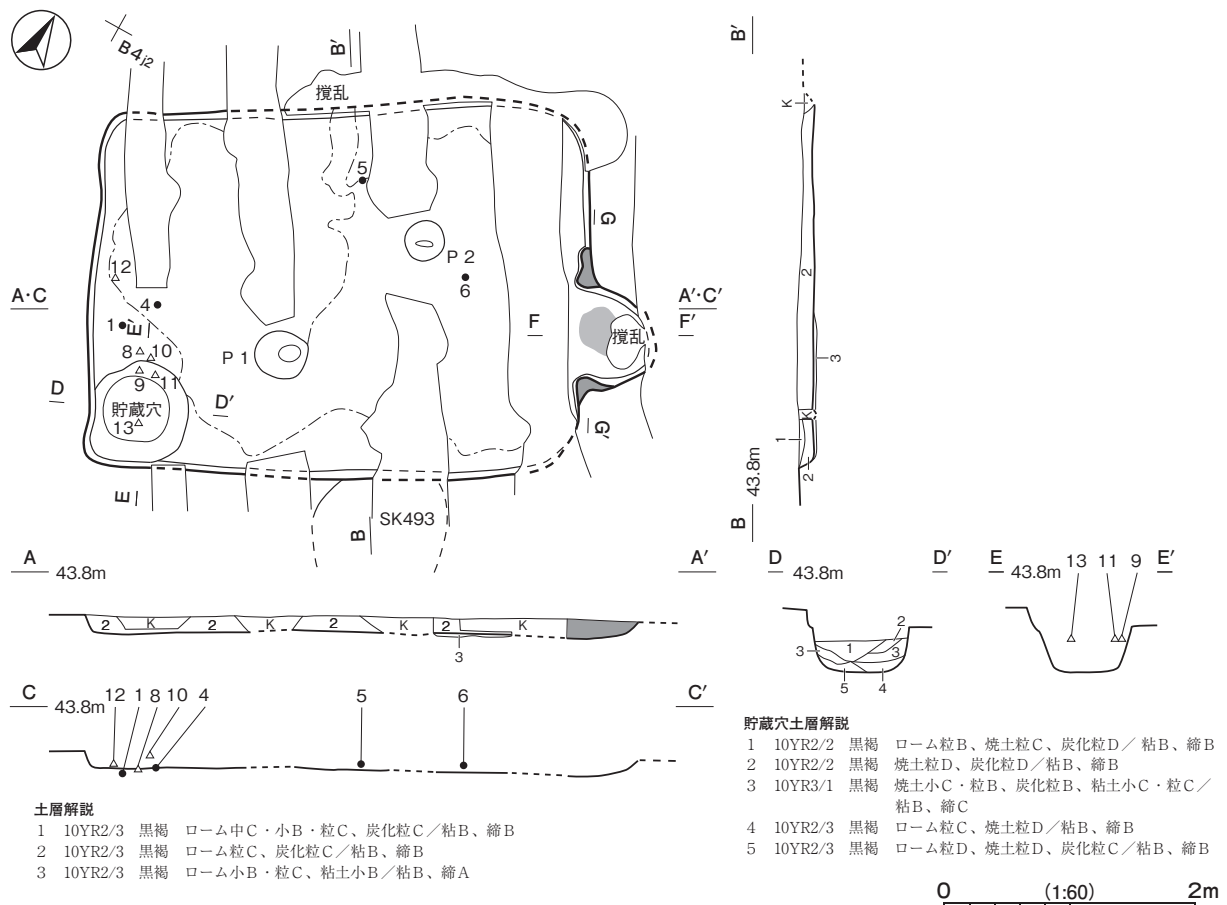
第148表 第106号竪穴建物跡出土遺物一覧（第268図）

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	特徴	出土位置	備考
1	土師器	鉢	-	(2.1)	[11.8]	長石・石英・雲母	にぶい橙	普通	体部外面下端へラ削り 内面ナデ 底部剥離	覆土下層	5%

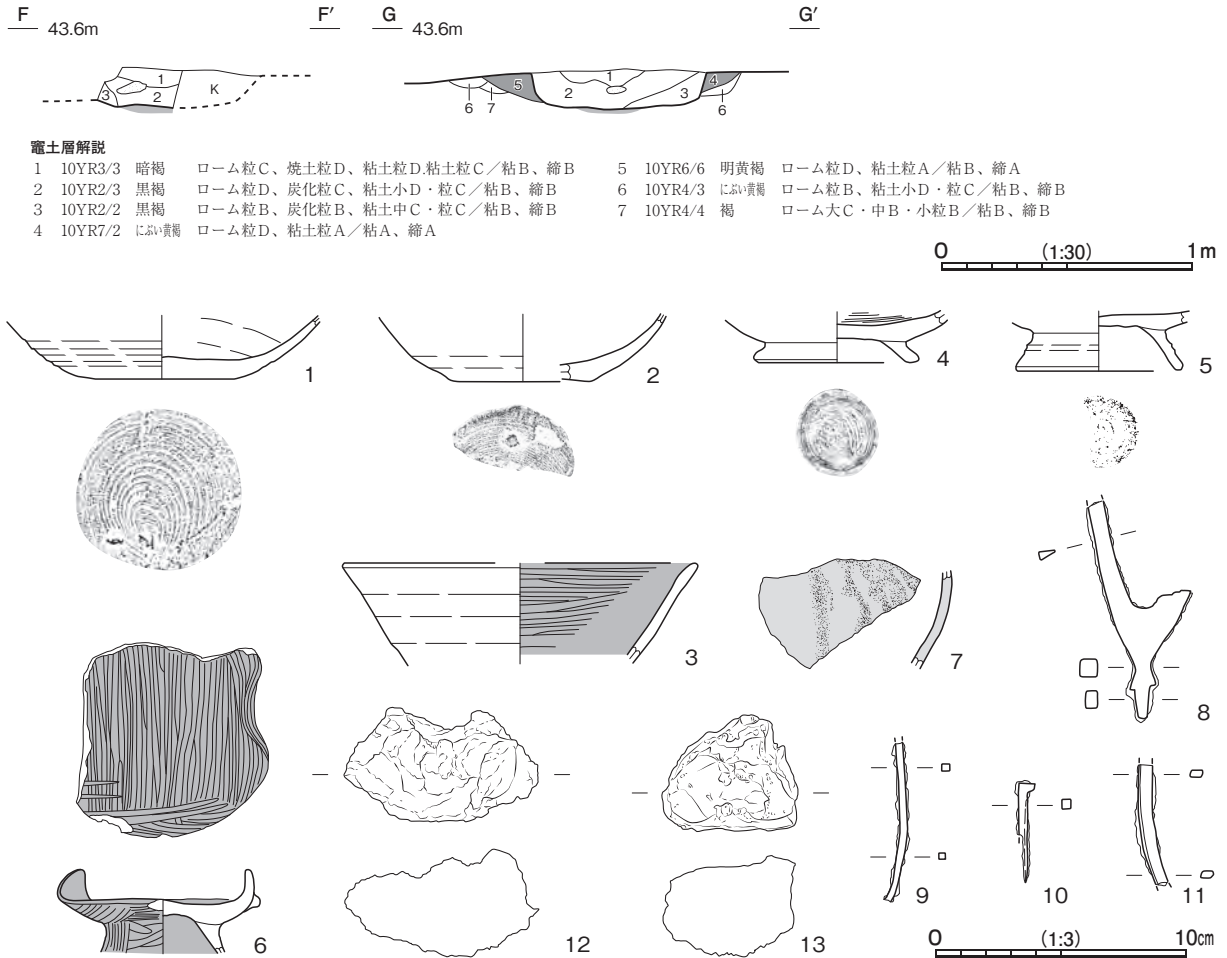
第108号竪穴建物跡（第269・270図 PL38・89）

位置 E区北部のB4j2区、標高44mほどの平坦な台地上に位置している。

重複関係 第493号土坑を掘り込んでいる。



第269図 第108号竪穴建物跡実測図



第 270 図 第 108 号竪穴建物跡・出土遺物実測図

規模と形状 長軸 3.95 m、短軸 2.88 m である。主軸方向は N - 60° - E の長方形である。壁は高さ 12 ~ 14 cm ほどで、緩やかに立ち上がっている。

床 ほぼ平坦である。壁際を除いて中央部が硬化している。貼床は、ロームブロックを含む第 3 層を 4 cm ほど埋土して構築している。

竈 東壁のやや南寄りに位置している。確認できた規模は焚口部から煙道部まで 56cm で、燃焼部幅は 70cm である。左袖部は整地した上に、右袖部は地山の上にローム粒子・粘土粒子等を含む第 4 ~ 6 層を積み上げて構築している。火床面は赤変硬化している。煙道部は壁外に 48cm 以上張り出している。

ピット 2 か所。P 1 は深さ 37cm、P 2 は深さ 25cm で、性格は不明である。

貯蔵穴 南西コーナー部に位置している。径 84cm のほぼ円形で、深さ 42cm である。底面は平坦で、壁はほぼ直立している。

覆土 2 層に分層できる。ロームブロックを含む層が堆積していることから、人為堆積である。

遺物出土状況 土師器片 112 点 (坏 33、高台付椀 10、高台付耳皿 1、鉢 2、甕 66)、須恵器片 1 点 (甕)、灰釉陶器片 1 点 (長頸瓶)、金属製品 4 点 (鉄鎌 1、釘 3)、椀形滓 2 点 が出土している。遺物は、主に南西部の覆土中層から上層にかけて、散在して出土している。1・4・8・12 は西壁際の床面から、2・3・7 は覆土中から、5 北壁寄りの床面、6 は中央部東寄りの床面から、9・11・13 は貯蔵穴の覆土上層から、10 は南

西コーナー部の覆土上層から、それぞれ出土している。

所見 時期は、重複関係や出土土器から 10 世紀後葉である。

第 149 表 第 108 号竪穴建物跡出土遺物一覧 (第 270 図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	特徴	出土位置	備考
1	土師器	坏	-	(2.5)	6.6	長石・石英・雲母・赤色粒子	にぶい橙	普通	体部外面ロクロナデ 内面ナデ 底部回転糸切り	床面	30%
2	土師器	坏	-	(2.6)	[5.8]	長石・石英・雲母	橙	普通	体部内外面ロクロナデ 底部回転糸切り	覆土	10% 被熱
3	土師器	椀	[13.9]	(4.0)	-	長石・石英・雲母	にぶい黄橙	普通	体部外面ロクロナデ 内面ヘラ磨き	覆土	10%
4	土師器	高台付椀	-	(2.0)	[6.0]	長石・石英	にぶい褐	普通	体部外面ロクロナデ 糸切り後高台貼付け 内面ヘラ磨き 底部回転	床面	20% 被熱
5	土師器	高台付椀	-	(2.3)	[6.4]	長石・石英・雲母・赤色粒子・針状物質	にぶい黄橙	普通	体部外面ロクロナデ 糸切り後高台貼付け 底部回転糸切り後高台貼付け	床面	10% 被熱
6	土師器	高台付耳皿	[6.8~9.6]	(3.3)	-	長石・石英・雲母・針状物質	黒	普通	体部内外面ヘラ磨き 高台部外面ヘラ磨き 内面ナデ	床面	70% PL89
7	灰釉陶器	長頸瓶	-	(4.3)	-	長石	灰オリーブ	普通	体部灰釉漬け掛け	覆土	5% PL89

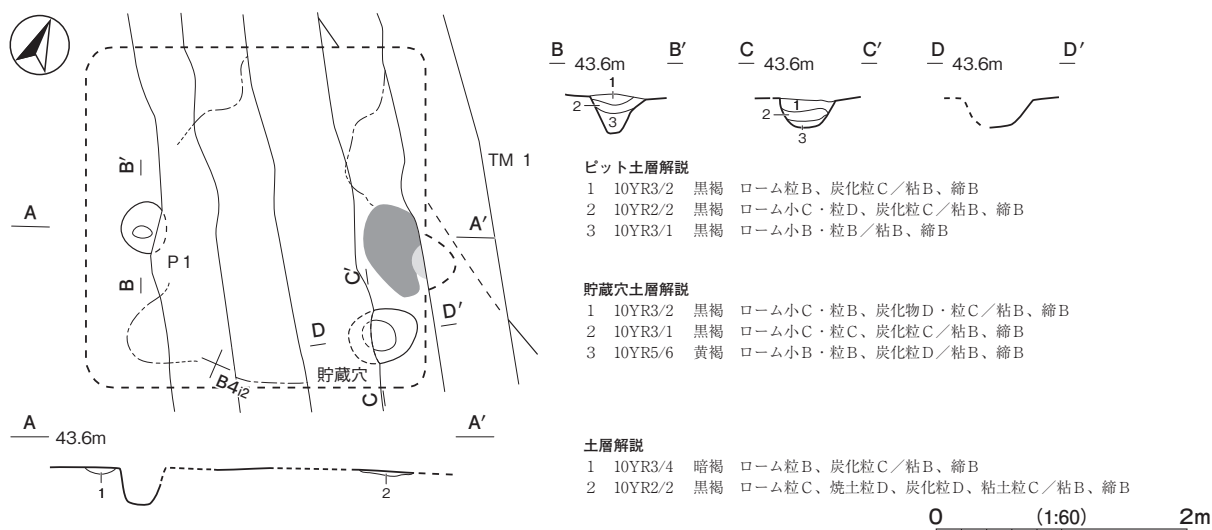
番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
8	鉄鎌	(8.9)	(4.3)	0.4	(19.76)	鉄	鎌身部三角形 茎両関 茎部欠損 断面長方形	床面	PL89
9	釘	(6.4)	1.0	0.3	(4.73)	鉄	両端部欠損 断面方形	貯蔵穴 覆土上層	
10	釘	(4.0)	0.7	0.35	(1.35)	鉄	頭部屈折 断面方形	覆土上層	
11	釘	(4.8)	1.2	0.3	(3.32)	鉄	両端部欠損 断面方形	貯蔵穴 覆土上層	
12	椀形滓	4.6	7.7	3.9	112.39	鉄	一部発泡 全面錆化 着磁性なし	床面	
13	椀形滓	4.6	5.4	3.9	124.60	鉄	一部発泡 全面錆化 着磁性なし	貯蔵穴 覆土上層	

第 111 号竪穴建物跡 (第 271 図)

位置 E 区北部の B 4h2 区、標高 43 m ほどの平坦な台地上に位置している。

重複関係 第 1 号方形周溝墓を掘り込んでいる。

規模と形状 攪乱と削平のため、床の硬化面と竈の火床面が露出した状態で確認した。遺存する硬化面の範囲から、確認できた規模は北西・南東軸 2.73 m、北東・南西軸 2.62 m である。主軸方向は N - 65° - E の方形か長方形と推定できる。



第 271 図 第 111 号竪穴建物跡実測図

床 平坦で、竈前方部からP1方向にかけて硬化している。貼床は地山を5cmほど掘り下げ、ローム粒子を含む第1・2層を埋土して構築している。

竈 東壁の南寄りに位置している。竈は攪乱を受けており、火床部の一部と部材の粘土しか確認できなかった。火床面は地山を利用しており、赤変硬化している。

ピット P1は深さ32cmで、配置から出入口施設に伴うピットと考えられる。

貯蔵穴 南東コーナー部に位置している。楕円形を呈し、攪乱のため、確認できた規模は長軸36cm、短軸40cmである。深さは22cmである。底面は皿状で、壁は外傾している。覆土は3層に分層でき、ロームのブロックや粒子を多く含んでいることから、人為堆積である。

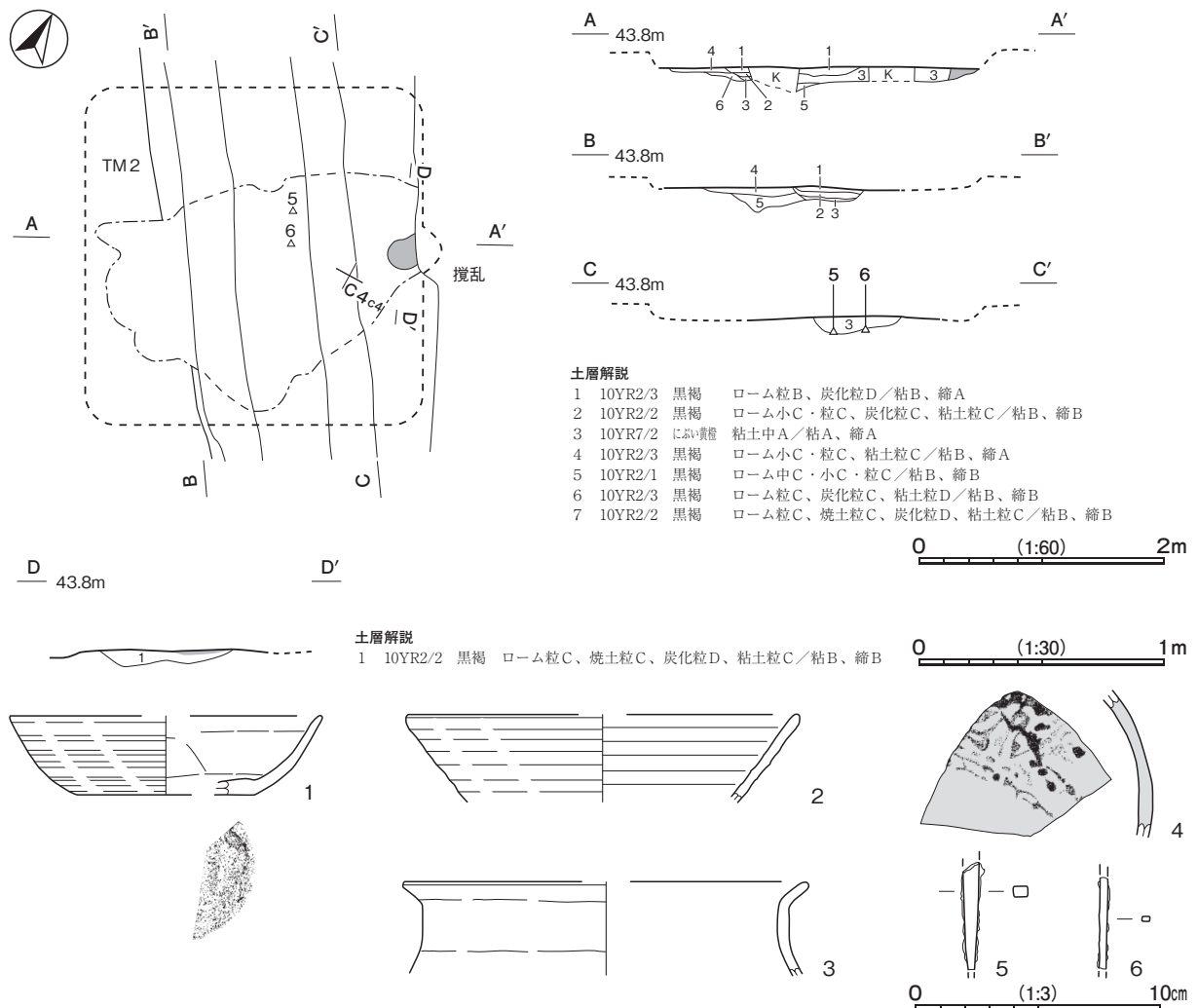
遺物出土状況 土師器片5点(坏2、甕3)が床面から出土している。いずれも細片のため図示できないが、土師器坏は、内面に黒色処理を施している。

所見 時期は、出土土器や形状から10世紀代と考えられる。

第113号竪穴建物跡 (第272図 PL89)

位置 E区北部のC4c3区、標高44mほどの平坦な台地上に位置している。

重複関係 第2号方形周溝墓を掘り込んでいる。



第272図 第113号竪穴建物跡・出土遺物実測図

規模と形状 攪乱と削平のため、床の硬化面と竈の火床面が露出した状態で確認した。遺存する硬化面の範囲から、確認できた規模は北西・南東軸 1.83 mで、北東・南西軸 2.67 mである。主軸方向はN - 61° - Eの方形か長方形と推定できる。

床 ほぼ平坦で、竈前方部から中央部にかけて硬化している。貼床は、ロームブロックを含む第1～6層を4～20cmほど埋土して構築している。

竈 北東部に位置している。攪乱と削平のため、火床部の一部が残存している。火床部は床面と同じ高さで、地山を6cmほど掘り込み、第7層を埋土して構築している。火床面は赤変硬化している。

遺物出土状況 土師器片 159点（坏 64、高台付坏 5、小皿 1、甕 89）、須恵器片 1点（甕）、灰釉陶器片 1点（瓶）、金属製品 2点（鉄鏃_カ）が出土している。1～4は確認面から、5・6は掘方の埋土から、それぞれ出土している。

所見 時期は、出土土器から 10 世紀中葉である。

第 150 表 第 113 号竪穴建物跡出土遺物一覧（第 272 図）

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	特徴	出土位置	備考
1	土師器	坏	[12.7]	3.2	[7.2]	長石・石英・雲母・赤色粒子	浅黄橙	普通	体部内外面ロクロナテ 底部回転糸切り後ナテ	確認面	40% 被熱
2	土師器	坏	[16.0]	(3.6)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	にぶい橙	普通	体部内外面ロクロナテ	確認面	5%
3	土師器	甕	[16.4]	(3.8)	-	長石・石英	にぶい黄褐	普通	頸部外面ヘラナテ 内面ナテ	確認面	5%
4	灰釉陶器	瓶類	-	(5.9)	-	長石	灰白	普通	灰釉	確認面	10% PL89

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
5	鉄鏃 _カ	(4.4)	(0.7)	0.4	(3.81)	鉄	鏃身部欠損 茎部端部欠損 断面四角形	掘方埋土	
6	鉄鏃 _カ	(3.7)	(0.4)	0.2	(1.20)	鉄	両端部欠損 断面四角形	掘方埋土	

第 116 号竪穴建物跡（第 273 図）

位置 E 区北部の C 4 f2 区、標高 44 m ほどの平坦な台地上に位置している。

重複関係 第 555・556 号土坑を掘り込んでいる。

規模と形状 攪乱と削平のため、床の硬化面と竈の火床面が露出した状態で確認した。遺存する硬化面の範囲から、確認できた規模は東西軸 3.85 m、南北軸 2.30 m である。主軸方向はN - 77° - Eの方形か長方形と推定できる。

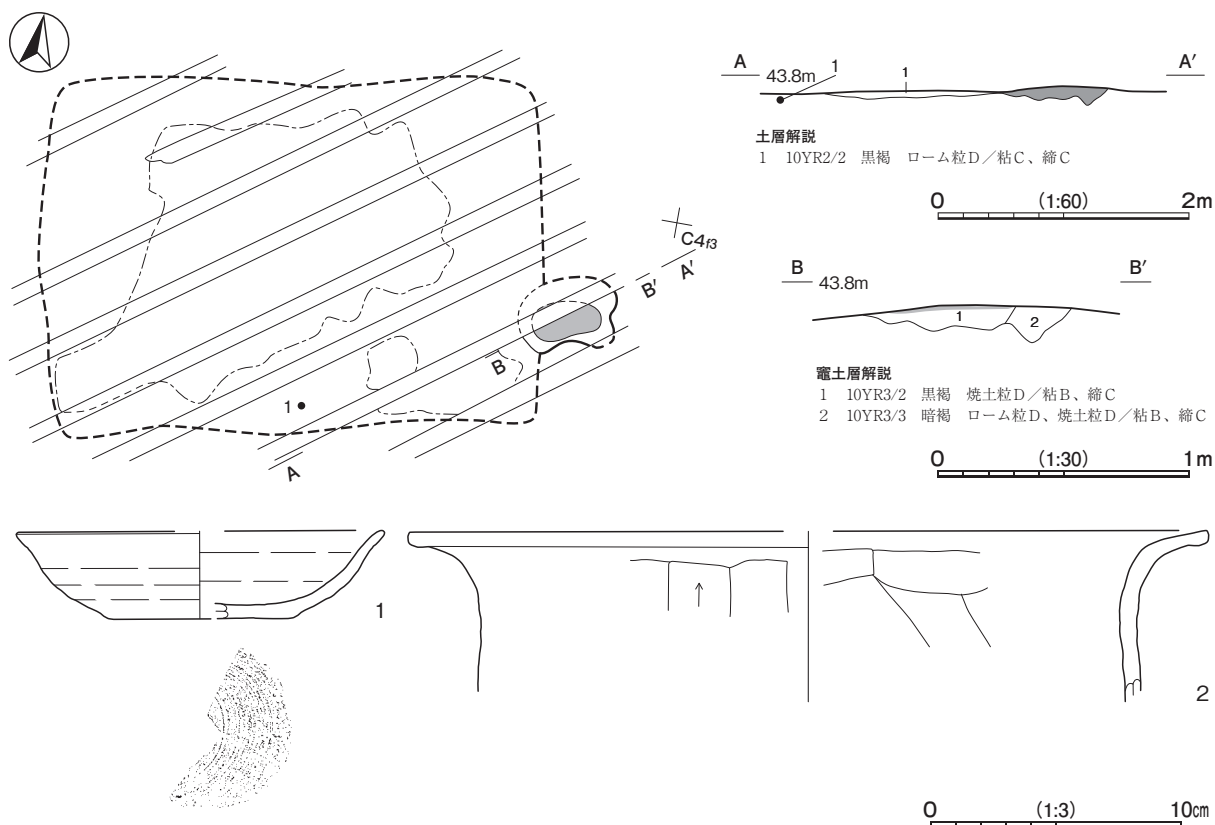
床 平坦で、中央部が硬化していると推定できる。

竈 東壁に位置している。削平により、火床部と覆土の一部しか遺存していない。火床部は地山を 10cm ほど掘りくぼめ、焼土粒子を含む第 1・2 層を埋土して整地している。火床面は被熱を受け、赤変硬化している。

覆土 単一層である。覆土が薄く堆積状況は不明である。

遺物出土状況 土師器片 73 点（坏 38、甕 35）、須恵器片 1 点（甕）、礫 6 点が覆土中から出土している。1 は南壁際の床面、2 は竈覆土中から、それぞれ出土している。

所見 時期は、出土土器から 11 世紀前葉である。



第 273 図 第 116 号竪穴建物跡・出土遺物実測図

第 151 表 第 116 号竪穴建物跡出土遺物一覧 (第 273 図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	特徴	出土位置	備考
1	土師器	坏	[14.4]	3.5	[7.2]	長石・石英・雲母	にぶい橙	普通	口縁部・体部内外面ロクロナデ 底部回転糸切り	床面	30%
2	土師器	甕	[31.8]	(6.7)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	にぶい黄橙	普通	頸部外面ヘラ削り 体部内面ヘラナデ	竈覆土	5%

第 120 号竪穴建物跡 (第 274・275 図 PL39・89)

位置 E 区北部の C 4 c1 区、標高 43 m ほどの平坦な台地上に位置している。

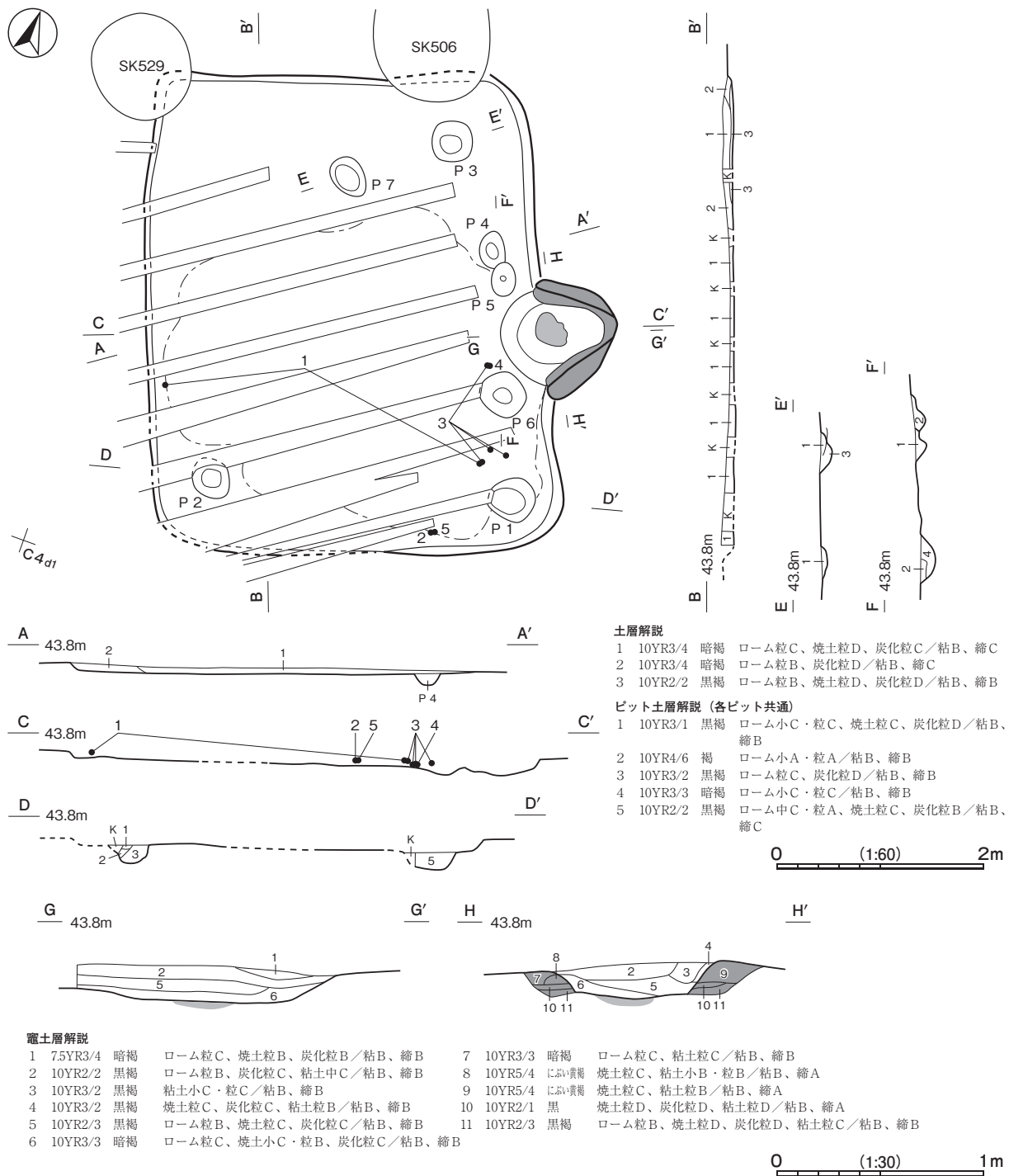
重複関係 第 510 号土坑を掘り込み、第 506・529 号土坑に掘り込まれている。

規模と形状 一部削平を受けているが、長軸 4.50 m、短軸 3.67 m で、主軸方向は N - 69° - E の長方形と推定できる。壁は高さ 6 cm ほどで、緩やかに立ち上がっている。

床 平坦で、中央部から南壁際にかけて硬化している。

竈 東壁中央部やや南寄りに位置している。規模は焚口部から煙道部まで 110cm で、燃焼部幅は 60cm である。袖部は遺存状態が悪く確認できなかったが、壁外の掘方に第 7~11 層のにぶい黄褐色粘土ブロックを含む土層を確認した。火床部は地山を皿状に掘りくぼめており、床面から 4 cm ほどくぼんでいる。火床面は赤変硬化している。煙道部は壁外に 67cm ほど張り出し、火床部から緩やかに立ち上がっている。

ピット 7 か所。P 1~P 3 は深さ 6~18cm で、規模と配置から支柱穴である。P 4~P 7 は深さ 12cm ほどで、性格は不明である。

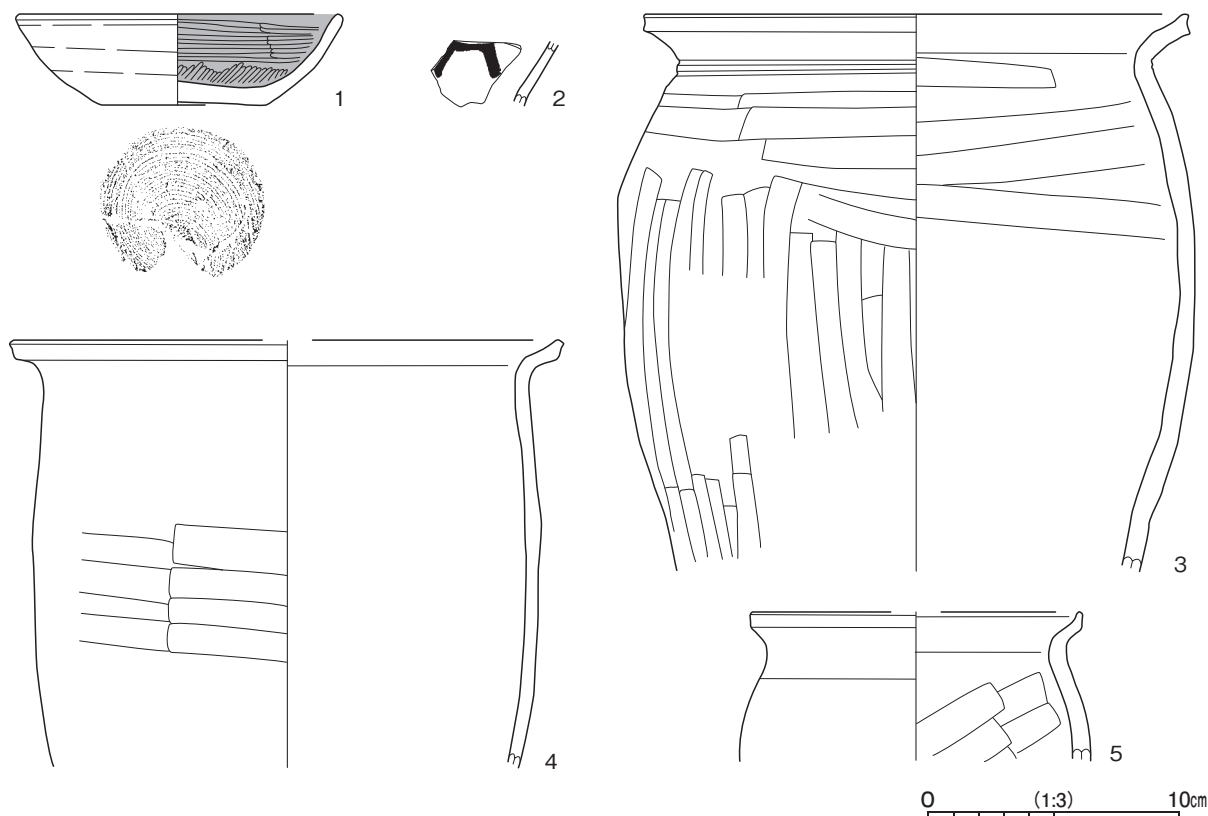


第274図 第120号竪穴建物跡実測図

覆土 3層に分層できる。ローム粒子を多く含んでいることから、人為堆積である。

遺物出土状況 土師器片 151点 (坏 54、高台付坏 5、碗 13、甕 79)、須恵器片 22点 (坏 2、甕 20) が出土している。1は西壁際と南東部の覆土中層の破片2点が接合したものである。2・5は南壁際やや東寄りの覆土中層から、4は竈前方部の床面から、それぞれ出土している。3は竈前方部から南東部にかけての覆土上層から出土した破片4点が接合したものである。

所見 時期は、出土土器から10世紀前葉である。



第 275 図 第 120 号竪穴建物跡出土遺物実測図

第 152 表 第 120 号竪穴建物跡出土遺物一覧 (第 275 図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	特徴	出土位置	備考
1	土師器	坏	12.8	3.6	6.6	長石・石英・赤色 粒子	橙	普通	体部外面口クロナデ 底部回転糸切り 内面横位のヘラ磨き	覆土中層	70% PL89
2	土師器	坏	-	(25)	-	長石・石英・雲母	にぶい橙	普通	体部外面口クロナデ 内面ナデ	覆土中層	5% 墨書「□」
3	土師器	甕	21.6	(22.2)	-	長石・石英・赤色 粒子	橙	普通	口縁部内外面横ナデ 胴部外面縦位のヘラナデ 頸部内外面横位のヘラナデ	覆土上層	40% PL89
4	土師器	甕	[21.6]	(17.0)	-	長石・石英・雲母	にぶい橙	普通	口縁部内外面横ナデ 内面ナデ 体部外面横位のヘラナデ	床面	10% PL89
5	土師器	甕	[13.0]	(5.9)	-	長石・石英・雲母	にぶい橙	普通	口縁部内外面横ナデ のヘラナデ 体部外面ナデ 内面斜位	覆土中層	5%

第 121 号竪穴建物跡 (第 276 図 PL39・89)

位置 E区北部のC4g2区、標高44mほどの平坦な台地上に位置している。

重複関係 第134号竪穴建物跡、第511号土坑を掘り込んでいる。

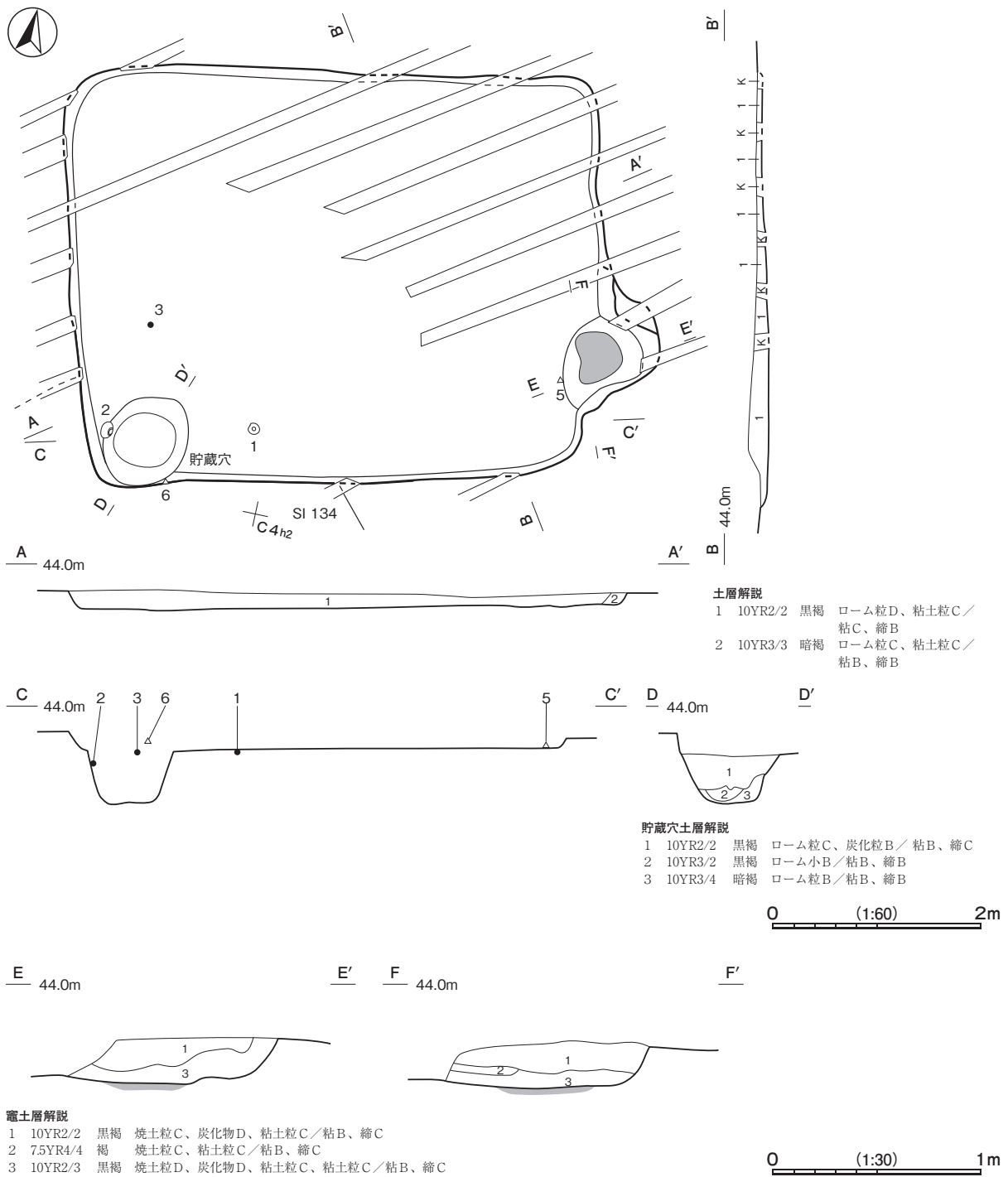
規模と形状 長軸5.14m、短軸3.96mで、主軸方向はN-76°-Eの長方形である。壁は高さ8~16cmほどで、外傾している。

床 平坦である。

竈 東壁の南寄りに位置している。規模は焚口部から煙道部まで90cmで、燃焼部幅は袖部が遺存していないが約62cmである。竈は地山を4cmほど掘り込み、整地している。火床部は床面よりややくぼんでいる。火床面は赤変硬化している。煙道部は壁外に54cmほど張り出し、火床部から緩やかに立ち上がっている。

貯蔵穴 南西コーナー部に位置している。長径95cm、短径78cmの楕円形で、深さ50cmである。底面はやや凹凸があり、壁は外傾している。覆土は3層に分層でき、含有物が多いことから、人為堆積である。

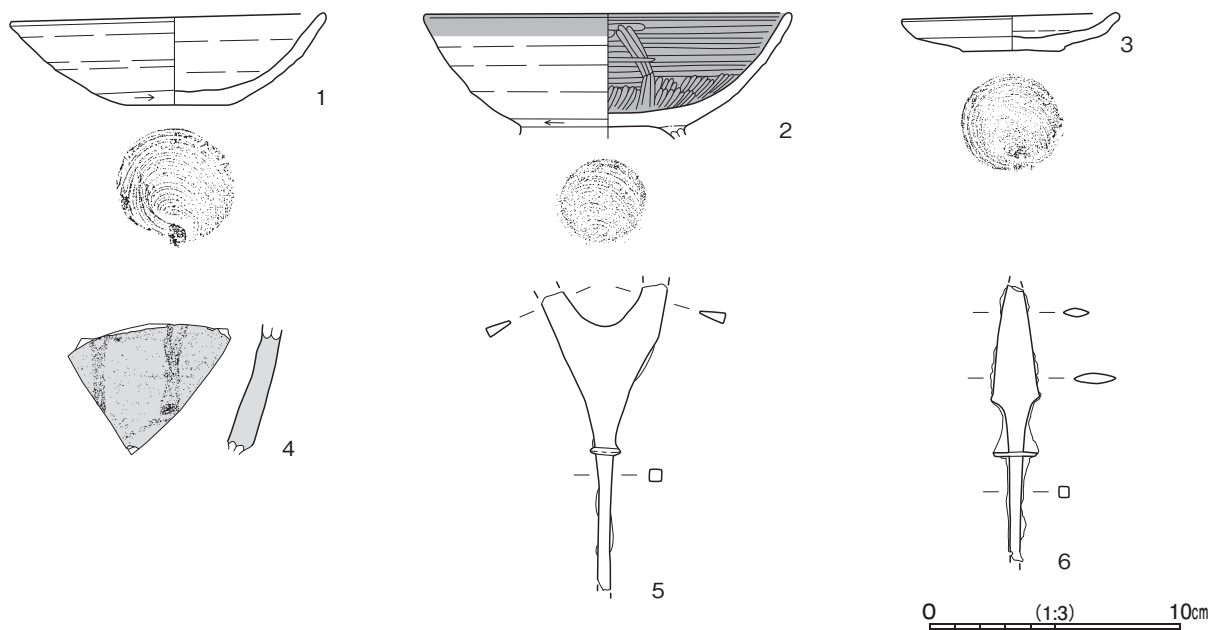
覆土 2層に分層できる。覆土の残りが悪いため、堆積状況は不明である。



第276図 第121号竪穴建物跡実測図

遺物出土状況 土師器片 255点（坏 92、高台付坏 26、椀 7、高台付椀 1、小皿 3、甕 124、甗 2）、須恵器片 9点（坏 1、蓋 1、甕 6、大甕 1）、灰釉陶器片 2点（壺）、金属製品 5点（鉄鎌 2、釘_ナ 1、不明鉄製品 2）、鉄滓 3点が出土している。1は南西部の床面から、2は貯蔵穴の覆土上層から、3は西壁寄りの床面から、4は覆土中から、5は竈焚口部付近の覆土下層から、6は南西コーナー部南壁際の覆土中層から、それぞれ出土している。

所見 時期は、重複関係や出土土器から 11 世紀前葉である。



第 277 図 第 121 号竪穴建物跡出土遺物実測図

第 153 表 第 121 号竪穴建物跡出土遺物一覧 (第 276 図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	特徴	出土位置	備考	
1	土師器	坏	12.5	3.7	4.4	長石・石英・雲母・ 礫	にぶい橙	普通	体部内外面ロクロナデ 底部回転糸切り	外面下端回転ヘラ削り	床面	100%
2	土師器	高台付椀	14.5	(5.1)	-	長石・石英・雲母	にぶい黄橙	普通	体部外面ロクロナデ ヘラ磨き 底部回転糸切り	下端回転ヘラ削り 内面へ 後高台貼付け	貯蔵穴 覆土上層	90%
3	土師器	小皿	8.6	1.5	4.0	長石・石英・雲母・ 赤色粒子	にぶい橙	普通	体部内外面ロクロナデ 底部回転糸切り		床面	90%
4	灰釉陶器	壺	-	(4.8)	-	長石・石英	黄灰	良好	体部内外面ロクロナデ		覆土	5% PL89
番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴		出土位置	備考		
5	鉄鏃	(12.2)	(5.1)	0.4~ 0.5	(39.90)	鉄	鏃身部~茎部分	雁股形	覆土下層	PL89		
6	鉄鏃	(10.9)	1.9	0.3~ 0.4	(19.99)	鉄	鏃身部~茎部分	長三角形	覆土中層	PL89		

第 122 号竪穴建物跡 (第 278・279 図 PL40・89)

位置 E 区北部の C 3h0 区、標高 44 m ほどの平坦な台地上に位置している。

重複関係 第 133 号竪穴建物跡、第 490 号土坑を掘り込んでいる。

規模と形状 西部の上端が削平されているため、確認できた規模は長軸 3.54 m、短軸 2.96 m である。主軸方向は N - 73° - E の長方形である。壁は高さ 12cm ほどで、緩やかに立ち上がっている。

床 やや凹凸がある。壁際を除いて中央部が硬化している。

竈 東壁の中央部に位置している。規模は焚口部から煙道部まで 76cm で、燃烧部幅は 48cm である。火床部は地山を 4cm ほど掘り込み、粘土粒を含む第 10・11 層を埋土して整地している。袖部は地山の上に焼土粒・粘土粒等を含む第 6~9 層を積み上げて構築している。火床面は赤変硬化している。煙道部は壁外に 44cm ほど張り出し、直立して立ち上がっている。

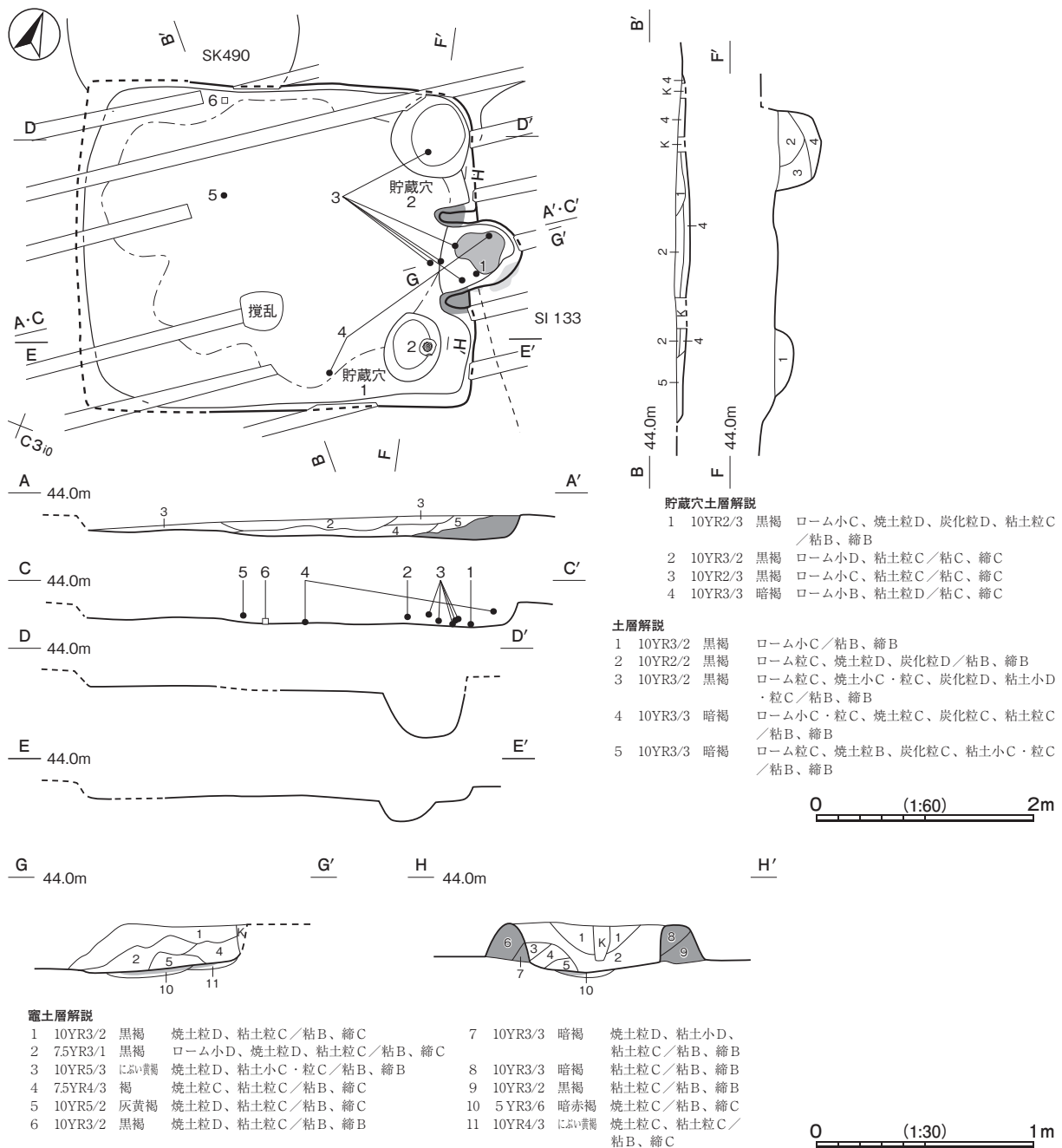
貯蔵穴 2 か所。貯蔵穴 1 は、南東コーナー部に位置している。長径 62cm、短径 50cm の楕円形で、深さ 18cm である。底面は皿状で、壁は外傾している。覆土は単一層で、ロームブロックや粘土粒子を含んでいることから、人為堆積である。貯蔵穴 2 は、北東コーナー部に位置している。径 70cm のほぼ円形で、深さ 40cm である。

底面は平坦で、壁はほぼ直立している。覆土は3層に分層でき、各層にロームブロックや焼土粒子を含んでいることから、人為堆積である。

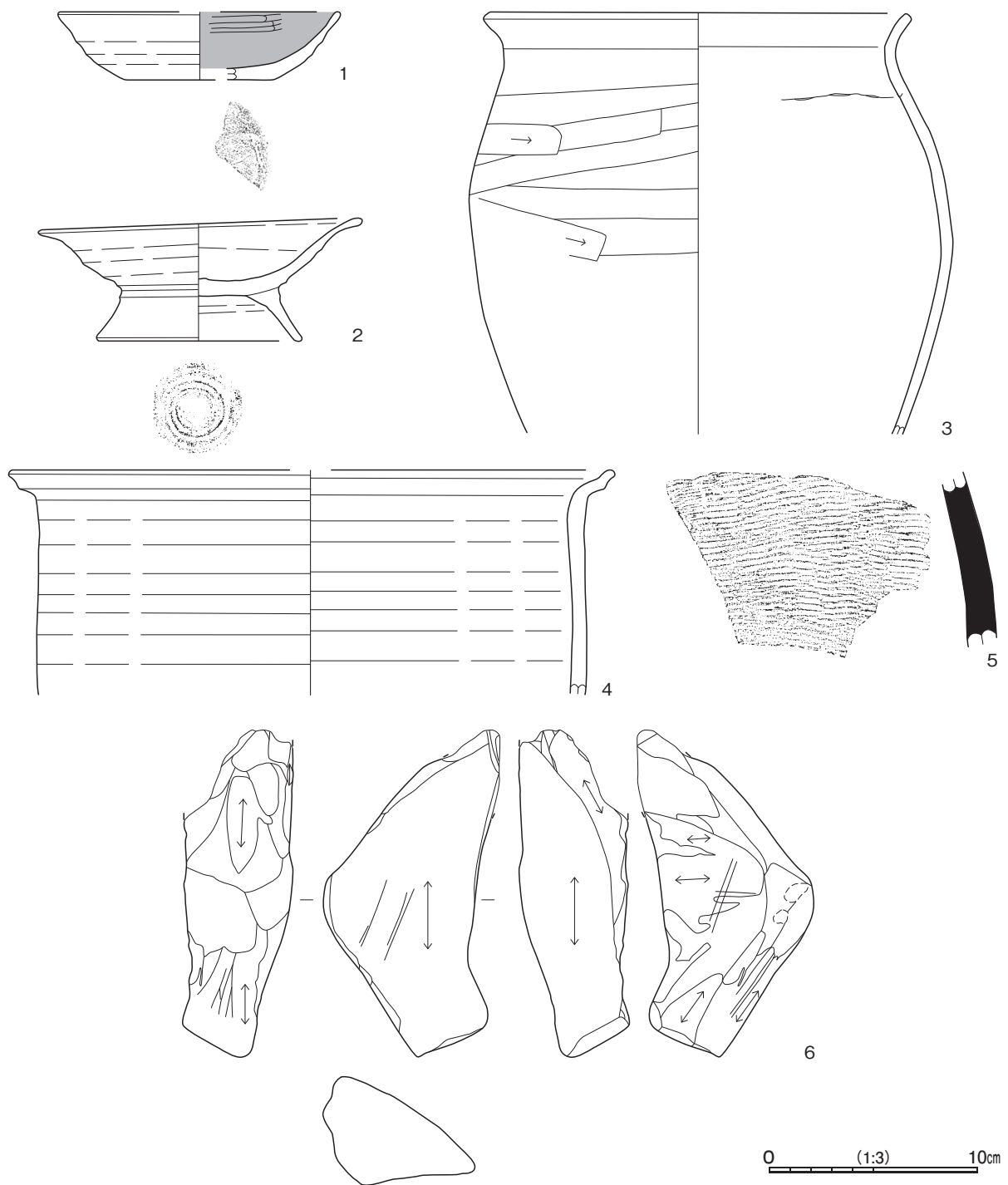
覆土 5層に分層できる。ロームブロック・粒子を含む層が堆積していることから、人為堆積である。

遺物出土状況 土師器片 247 点 (坏 50、高台付椀 11、小皿 1、甕 185)、須恵器片 17 点 (坏 6、蓋 2、甕 9)、緑釉陶器 2 点 (瓶)、灰釉陶器片 1 点 (皿)、石器 1 点 (砥石)、金属製品 1 点 (鉄鎌)、鉄滓 1 点が出土している。1 は竈の底面から、2 は東部の覆土下層から、5 は中央部やや西寄りの覆土下層から、6 は北西壁際の床面から、それぞれ出土している。3 は竈の覆土下層、竈手前の覆土中層と北東コーナー部付近の床面から出土した破片 5 点が、4 は南東部の床面と竈の覆土上層から出土した破片 2 点が、それぞれ接合したものである。

所見 時期は、重複関係や出土土器から 10 世紀中葉である。



第 278 図 第 122 号竪穴建物跡実測図



第 279 図 第 122 号竪穴建物跡出土遺物実測図

第 154 表 第 122 号竪穴建物跡出土遺物一覧 (第 277 図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	特徴	出土位置	備考	
1	土師器	坏	[13.4]	3.3	[7.0]	長石・石英・赤色 粒子	にぶい橙	普通	体部外面ロクロナデ 底部回転糸切り	内面横位のヘラ磨き	竈底面	20%
2	土師器	高台付坏	15.4	5.9	9.7	長石・石英・赤色 粒子	にぶい黄橙	普通	体部内外面ロクロナデ 貼付け	底部回転ヘラ削り後高台	覆土下層	80% PL89
3	土師器	甕	20.0	(20.1)	-	長石・石英・雲母	にぶい橙	普通	口縁部内外面横ナデ	体部外面ヘラ削り 内面 輪積み痕	竈覆土下層 覆土中層、床面	40% PL89
4	土師器	甕	[29.0]	(10.7)	-	長石・石英・雲母	浅黄橙	普通	口縁部内外面横ナデ	体部内外面ロクロナデ	床面 竈覆土上層	5%
5	須恵器	甕	-	(8.4)	-	長石・石英・雲母	にぶい橙	普通	体部外面横位の平行叩き	内面工具による当て 具痕	覆土下層	5%

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
6	砥石	(15.6)	(7.3)	(5.2)	(541.28)	凝灰岩	砥面4面	床面	

第131号竪穴建物跡 (第280・281図)

位置 E区中央部のD3e0区、標高44mほどの平坦な台地上に位置している。

重複関係 第970・976・1023号土坑を掘り込み、第14号掘立柱建物に掘り込まれている。

規模と形状 西部が調査区域外に延びているため、確認できた規模は南北軸3.23mで、東西軸2.78mである。主軸方向はN-92°-Eの長方形と推定できる。壁は高さ24~30cmほどである。

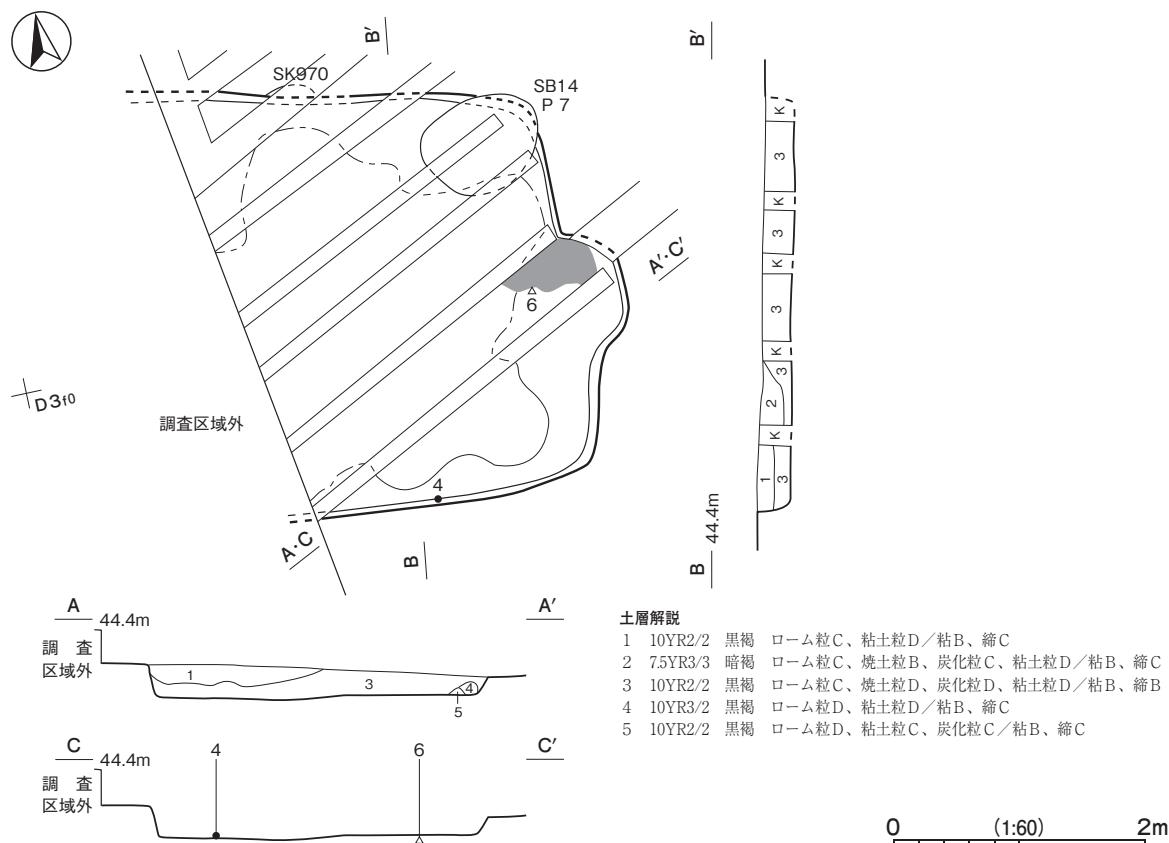
床 平坦で、壁際を除いて硬化している。

竈 東壁の中央部に位置している。確認できた規模は壁外に掘り込まれた煙道部42cmで、外傾して立ち上がっている。火床面は硬化していない。

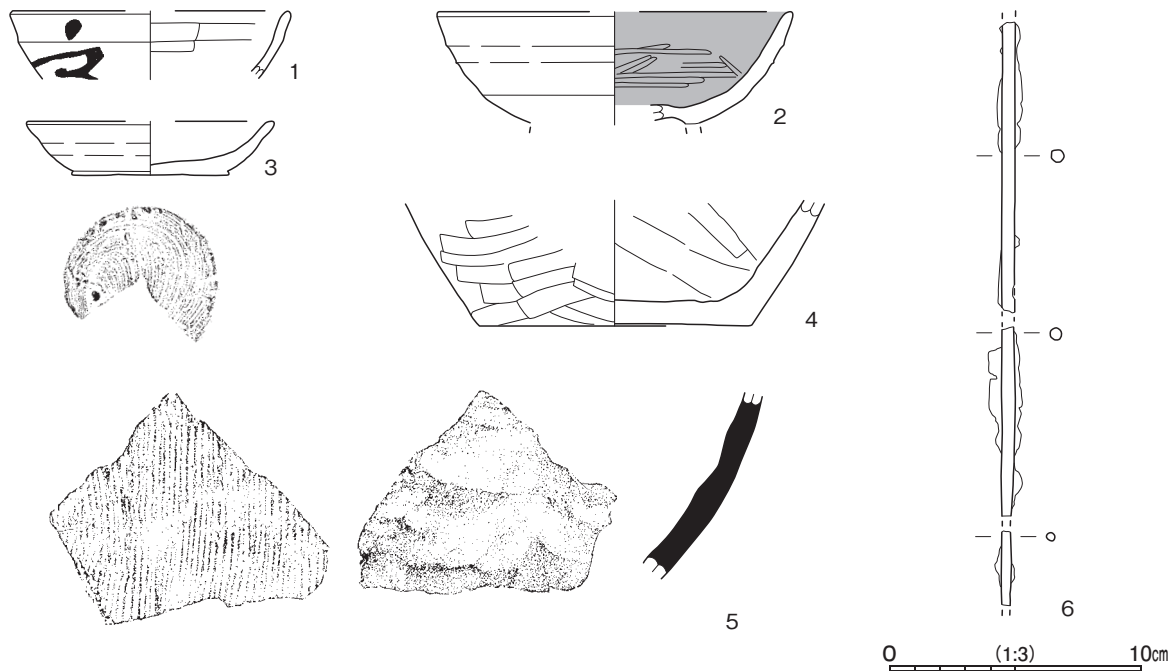
覆土 5層に分層できる。レンズ状に堆積していることから、自然堆積である。

遺物出土状況 土師器片386点(坏158、高台付椀62、小皿45、甕120、甑1)、須恵器片40点(坏15、鉢1、長頸壺1、瓶類1、甕22)、灰釉陶器片2点(不明)、金属製品1点(不明鉄製品)、鉄滓1点、粘土塊1点、礫13点が出土している。1~3は覆土中から、4は南部壁際の床面から、5は覆土中から、6は竈の底面からそれぞれ出土している。

所見 時期は、重複関係や出土土器から10世紀後葉である。



第280図 第131号竪穴建物跡実測図



第 281 図 第 131 号竪穴建物跡出土遺物実測図

第 155 表 第 131 号竪穴建物跡出土遺物一覧 (第 281 図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	特徴	出土位置	備考
1	土師器	坏	[11.0]	(2.7)	-	長石・石英・雲母	橙	普通	体部外面ロクロナデ 内面横位のヘラナデ	覆土	10% 墨書「□」
2	土師器	高台付碗	[14.0]	(4.5)	-	長石・石英・雲母	にぶい橙	普通	体部外面ロクロナデ 内面横位のヘラ磨き 高台貼付け	覆土	40%
3	土師器	小皿	[9.8]	2.1	6.2	長石・石英・赤色 粒子	橙	普通	体部外面ロクロナデ 底部回転糸切り	覆土	50%
4	土師器	甕	-	(5.0)	[10.8]	長石・石英・雲母・ 赤色粒子	にぶい褐	普通	体部外面横位のヘラナデ 内面ナデ	床面	5%
5	須恵器	甕	-	(7.4)	-	長石・石英・雲母	黄灰	普通	体部外面縦位の平行叩き 内面ナデ	覆土	5%

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
6	不明鉄製品	(23.3)	0.3~ 0.5	0.3~ 0.5	(23.35)	鉄	両端部欠損 断面円形	竈底面	

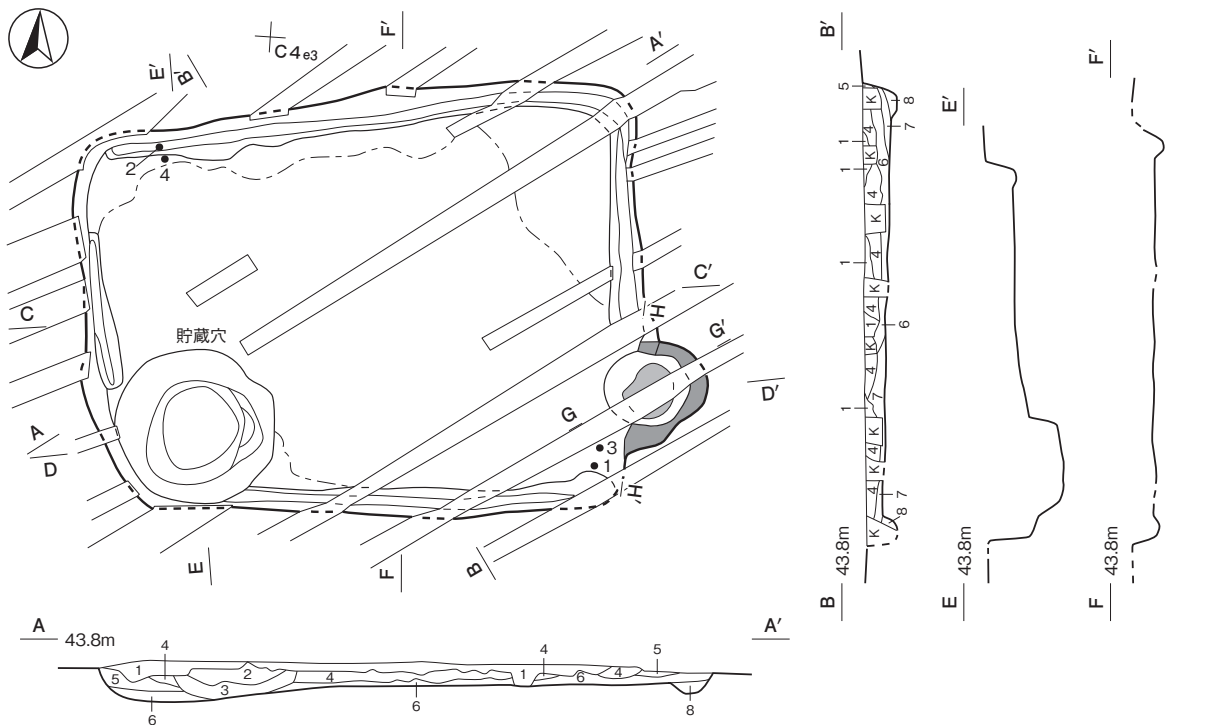
第 132 号竪穴建物跡 (第 282・283 図 PL41)

位置 E 区北部の C 4 e3 区、標高 43 m ほどの平坦な台地上に位置している。

規模と形状 長軸 4.45 m、短軸 3.42 m で、主軸方向は N - 87° - E の長方形である。壁は高さ 20 ~ 25 cm ほどで、外傾している。

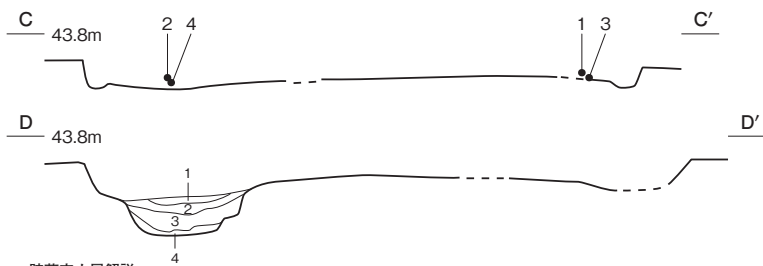
床 平坦で、壁際を除いて、ほとんどが硬化している。一部を除き壁溝が巡っている。

竈 東壁の南寄りに位置している。規模は焚口部から煙道部まで 80 cm で、燃烧部幅は 58 cm である。袖部は地山の上にローム粒子・粘土粒子等を含む第 4・5 層を積み上げて構築している。竈は火床部から煙道部にかけて 4 cm ほど掘り込み、焼土ブロックを含む第 6 層を埋土して整地している。火床部は楕円形を呈し、床面よりややくぼんでいる。火床面は赤変硬化している。煙道部は壁外に 50 cm ほど張り出し、火床部から緩やかに立ち上がっている。



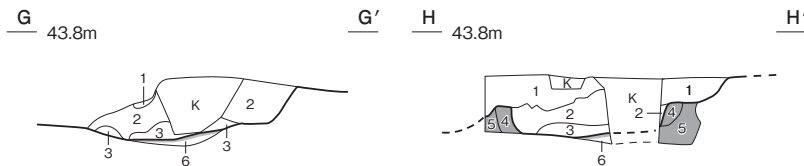
土層解説

- | | | | |
|--------------|--------------------------|--------------|--------------------------|
| 1 10YR3/1 黒褐 | ローム小C、炭化粒C/粘B、締B | 5 10YR3/2 黒褐 | ローム粒D、焼土粒D/粘B、締B |
| 2 10YR3/2 黒褐 | ローム小C・粒C、焼土粒D、炭化粒C/粘B、締B | 6 10YR3/3 暗褐 | ローム小C・粒C、焼土粒C、炭化粒C/粘B、締B |
| 3 10YR3/2 黒褐 | ローム粒C、炭化粒D/粘B、締B | 7 10YR3/2 黒褐 | ローム小C・粒C、焼土粒C、炭化粒C/粘B、締B |
| 4 10YR3/2 黒褐 | ローム小C、焼土粒C、炭化粒D/粘B、締B | 8 10YR3/1 黒褐 | ローム粒D/粘B、締B |



貯蔵穴土層解説

- | | | | |
|--------------|-----------------------|--------------|----------------------|
| 1 10YR3/2 黒褐 | ローム粒C、焼土粒C、炭化粒C/粘B、締B | 3 10YR5/6 黄褐 | ローム大B・中A・小B・粒C/粘B、締B |
| 2 10YR2/2 黒褐 | ローム粒B、焼土粒C、炭化粒C/粘B、締B | 4 10YR2/1 黒 | 焼土中B・粒C、炭化粒A/粘B、締C |



竈土層解説

- | | | | |
|----------------|--------------------------|----------------|------------------|
| 1 10YR3/2 黒褐 | ローム粒C、焼土小C・粒C、炭化粒C/粘B、締B | 4 10YR5/4 におい噴 | 焼土中B/粘B、締B |
| 2 10YR5/4 におい噴 | 焼土粒B、炭化粒C、粘土粒A/粘B、締B | 5 10YR4/6 褐 | ローム粒A、粘土粒C/粘B、締B |
| 3 10YR2/3 黒褐 | 焼土粒B、炭化粒B/粘A、締C | 6 5YR3/6 暗赤褐 | 焼土中A/粘C、締B |

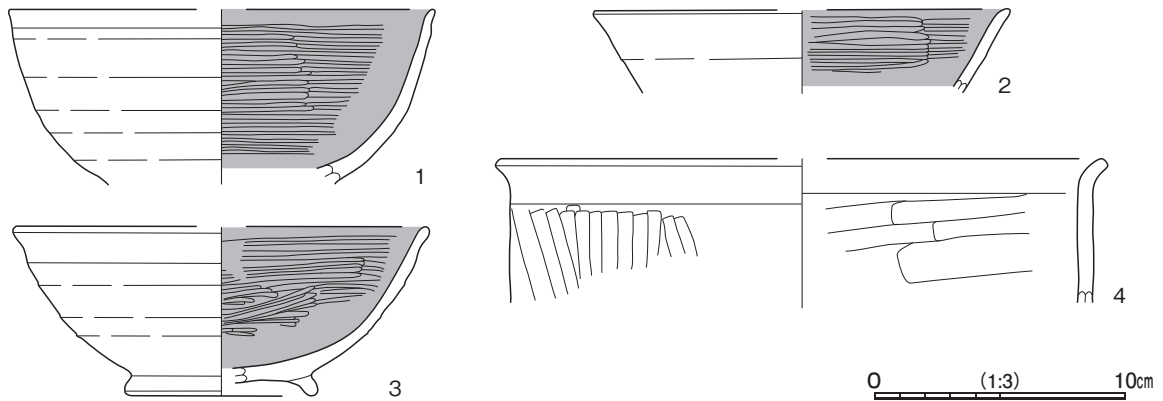
第 282 図 第 132 号 竈穴建物跡実測図

貯蔵穴 南西コーナー部に位置している。長径 126cm、短径 124cm の円形で、深さ 26cm である。底面は皿状で、壁は外傾している。覆土は 4 層に分層でき、ロームのブロックや粒子、焼土ブロック等を多く含んでいることから、人為堆積である。

覆土 8層に分層できる。ロームブロックを含んでいることから、人為堆積である。

遺物出土状況 土師器片 162 点（坏 32、高台付坏 2、椀 24、高台付椀 1、皿 1、甕 100、甌 2）、須恵器片 3 点（高台付坏 1、甕 2）、礫 2 点が出土している。1 は南東コーナー部、2・4 は北西コーナー部の覆土下層から、3 は南東コーナー部の床面から、それぞれ出土している。

所見 時期は、出土土器から 10 世紀前葉である。



第 283 図 第 132 号竪穴建物跡出土遺物実測図

第 156 表 第 132 号竪穴建物跡出土遺物一覧（第 283 図）

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	特徴	出土位置	備考
1	土師器	椀	[17.0]	(7.0)	-	長石・石英	にぶい橙	普通	体部外面ロクロナデ 内面横位のヘラ磨き	覆土下層	20%
2	土師器	椀	[16.4]	(3.3)	-	長石・石英・雲母	にぶい橙	普通	体部外面ロクロナデ 内面横位のヘラ磨き	覆土下層	5%
3	土師器	高台付椀	[16.4]	6.7	[7.2]	長石・石英	にぶい黄橙	普通	体部外面ロクロナデ 内面横位のヘラ磨き 底部回転ヘラ削り後高台貼付け	床面	40% PL89
4	土師器	甌	[24.0]	(5.8)	-	長石・石英・雲母	にぶい黄橙	普通	口縁部内外面横ナデ 体部外面縦位のヘラナデ 内面横位のヘラナデ	覆土下層	5%

第 133 号竪穴建物跡（第 274・275 図 PL40・89）

位置 E 区北部の C 4 h1 区、標高 44 m ほどの平坦な台地上に位置している。

重複関係 第 134 号竪穴建物跡を掘り込み、第 122 号竪穴建物、第 545・546・551 号土坑に掘り込まれている。

規模と形状 攪乱のため、確認できた規模は長軸 3.28 m、短軸 3.10 m である。主軸方向は N - 35° - W の長方形と推定できる。壁は高さ 12cm ほどで、外傾している。

床 平坦で、壁際を除いて硬化している。

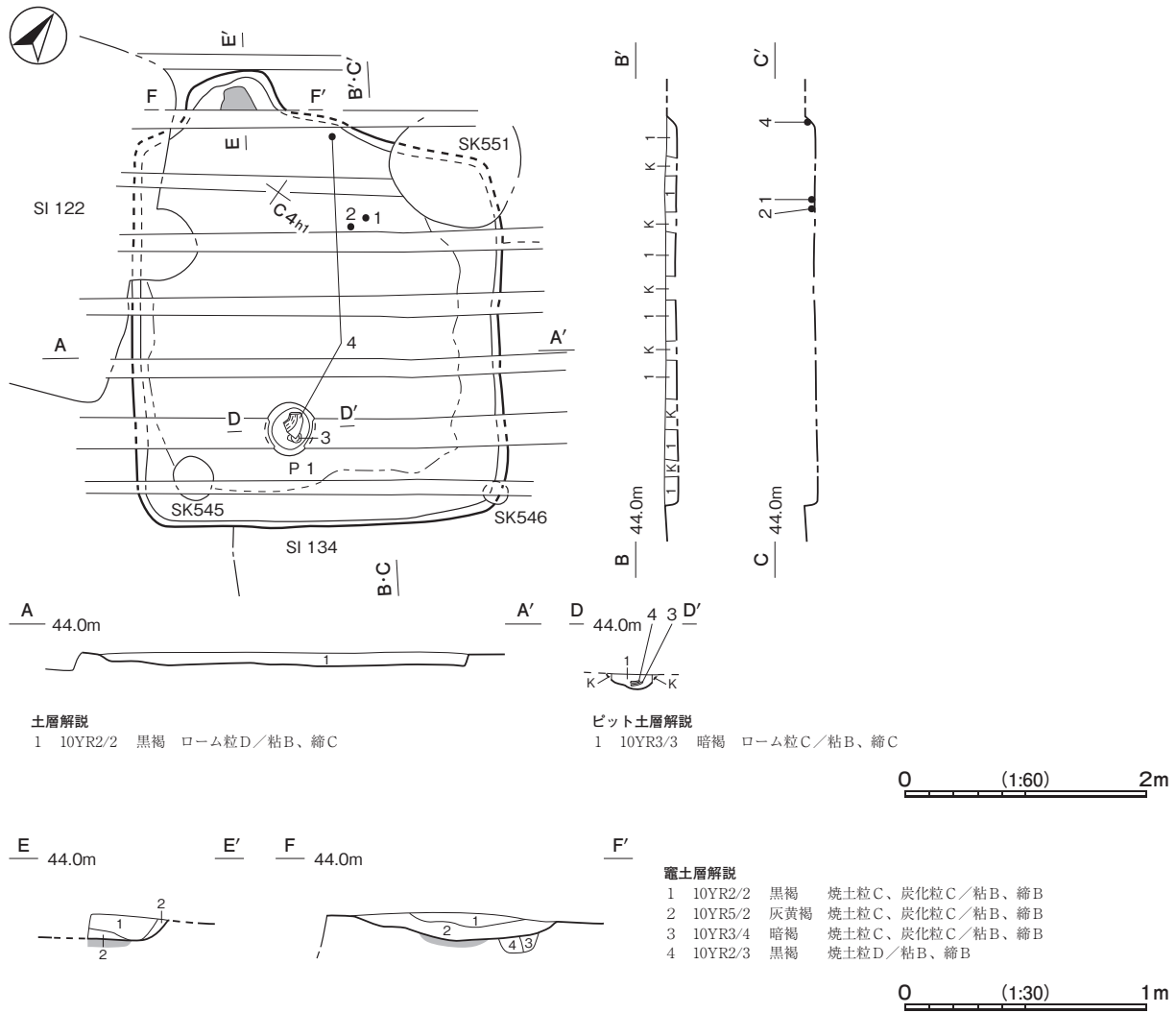
竈 北西壁の西寄りに位置している。攪乱のため、確認できた規模は焚口部から煙道部まで 34cm、燃焼部幅 68cm である。火床部は床面とほぼ同じ高さである。火床面は赤変硬化している。煙道部は壁外に 40cm ほど張り出し、奥壁で外傾して立ち上がっている

ピット P 1 は深さ 20cm で、性格は不明である。

覆土 単一層である。覆土の残りが悪いため、堆積状況は不明である。

遺物出土状況 土師器片 84 点（坏 27、高台付坏 3、椀 7、甕 36、甌 11）、須恵器片 11 点（蓋 2、短頸壺 1、長頸瓶 1、甕 4、大甕 2、甌 1）、灰釉陶器片 1 点（皿）が出土している。1・2 は中央部北寄りの床面から、3 は P 1 の覆土中層から、4 は P 1 の覆土中層と北西部の覆土上層から出土した破片 2 点が接合したものである。

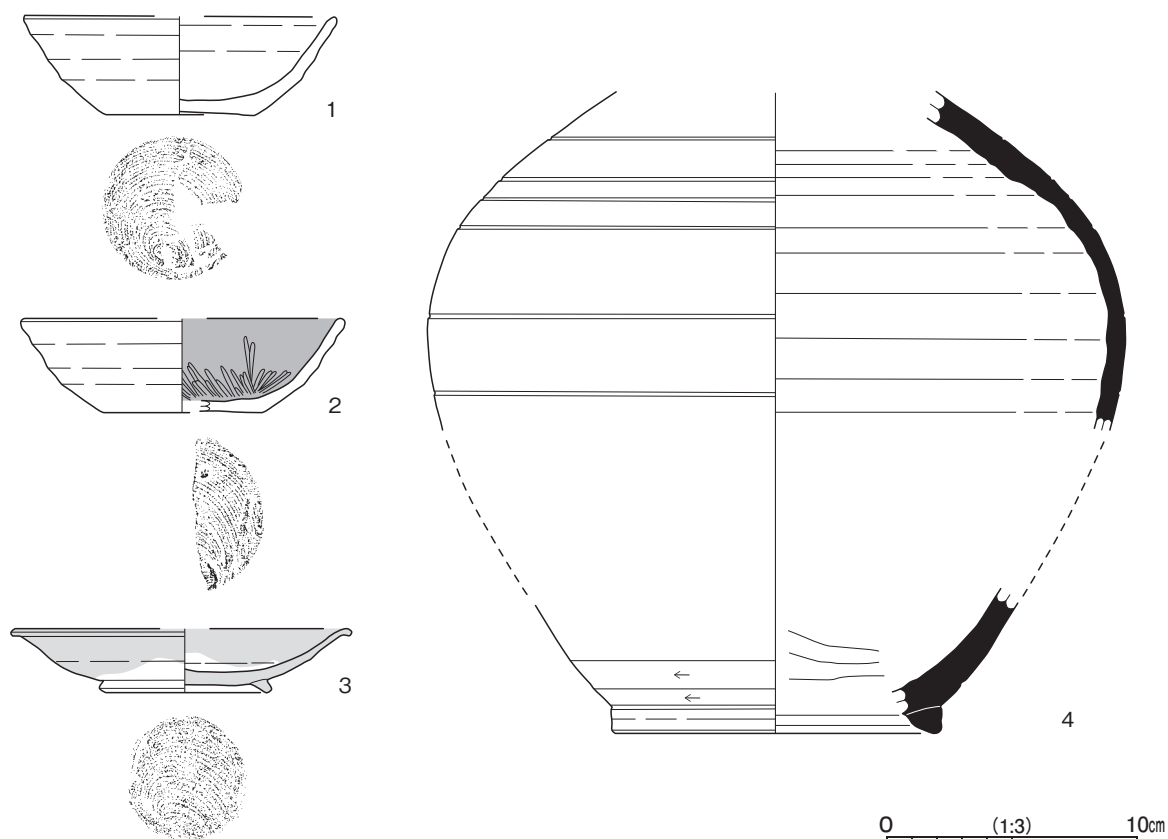
所見 時期は、重複関係や出土土器から 9 世紀後葉である。



第 284 図 第 133 号竪穴建物跡実測図

第 157 表 第 133 号竪穴建物跡出土遺物一覧（第 285 図）

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	特徴	出土位置	備考
1	土師器	坏	[12.2]	3.9	6.0	長石・石英・雲母・赤色粒子	にぶい褐	普通	体部内外面ロクロナデ 底部回転糸切り	床面	65%
2	土師器	坏	[12.6]	3.7	[6.4]	長石・石英・雲母・赤色粒子	にぶい橙	普通	体部外面ロクロナデ 内面ヘラ磨き 底部回転糸切り	床面	30%
3	灰釉陶器	皿	[13.2]	2.5	6.4	長石・石英・礫	明褐灰	良好	体部内外面ロクロナデ 底部回転糸切り後高台貼付け	P 1 覆土中層	80% PL89 黒径 90
4	須恵器	短頸壺	-	(26.6)	[13.0]	長石・石英・黒色粒子・針状物質	灰	普通	体部内外面ロクロナデ 外面下半回転ヘラ削り内面ナデ	覆土上層 P 1 覆土中層	15%



第 285 図 第 133 号竪穴建物跡出土遺物実測図

第 136 号竪穴建物跡 (第 286 図 PL41)

位置 E 区南部の E 4 e0 区、標高 44 m ほどの平坦な台地上に位置している。

規模と形状 攪乱と削平のため、確認できた規模は長軸 3.05 m、短軸 2.85 m である。主軸方向は $N - 55^{\circ} - E$ の方形と推定できる。確認できた壁は高さ 2 ~ 14cm ほどで、外傾している。

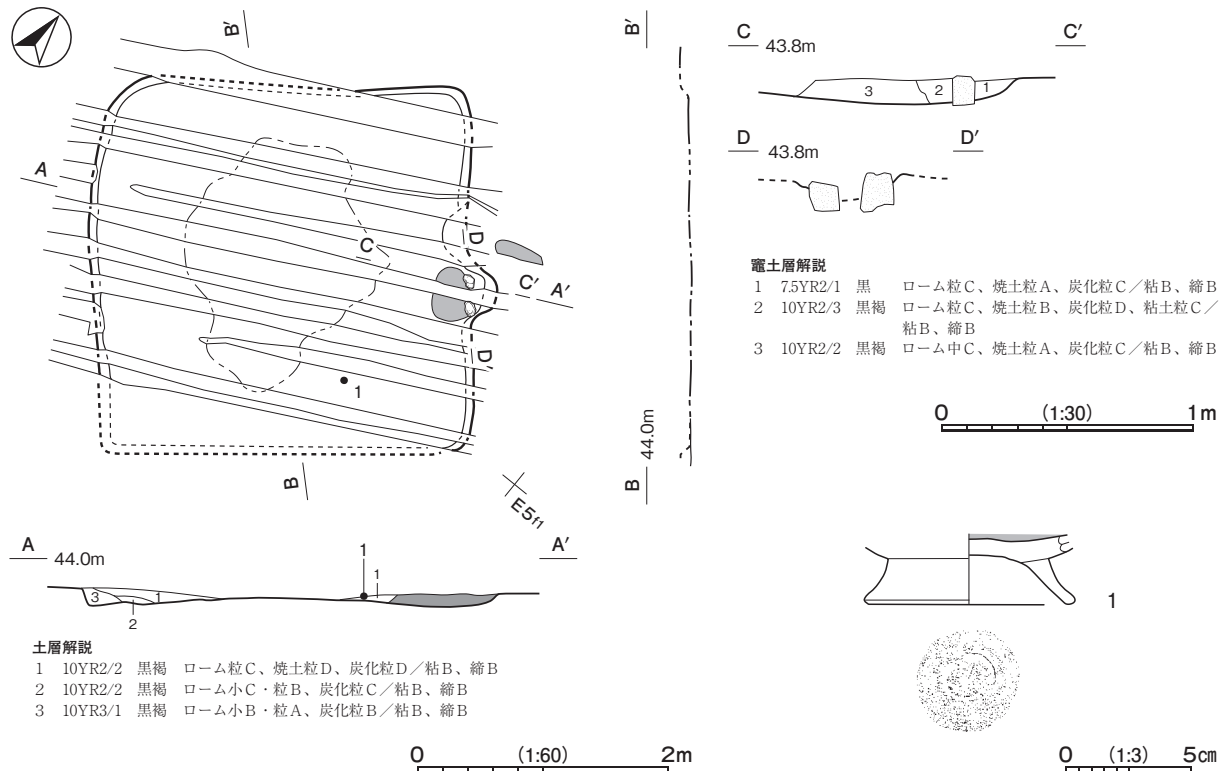
床 ほぼ平坦で、中央部が硬化している。

竈 北東壁のやや南寄りに位置している。規模は焚口部から煙道部まで 85cm である。火床部は楕円形で、地山を 10cm ほど掘りくぼめている。火床面は赤変硬化し、凝灰質泥岩製の支脚 2 点が横並びに埋め込まれている。煙道部は壁外に 20cm ほど張り出し、緩やかに立ち上がっている。

覆土 3 層に分層できる。ロームブロックを含んでいることや不規則な堆積状況を呈することから、人為堆積である。

遺物出土状況 土師器片 28 点 (坏 6、高台付椀 1、甕 21)、須恵器片 3 点 (坏 1、甕 2)、石製品 2 点 (凝灰質泥岩製支脚) が出土している。遺物は、主に竈周辺の覆土上層から、散在した状態で出土している。1 は南東壁寄りの床面から出土している。

所見 時期は、出土土器から 10 世紀中葉である。



第 286 図 第 136 号竪穴建物跡・出土遺物実測図

第 158 表 第 136 号竪穴建物跡出土遺物一覧 (第 286 図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	特徴	出土位置	備考
1	土師器	高台付椀	-	(26)	[8.0]	長石・石英・針状物質	明赤褐	普通	体部内面ヘラ磨き 底部回転ヘラ削り後ナデ高台貼付け	床面	10%

第 138A 号竪穴建物跡 (第 287 図 PL41・90・101)

位置 E 区中央部の E 4 b8 区、標高 44 m ほどの平坦な台地上に位置している。

重複関係 第 138B・176 号竪穴建物跡、第 668・1130 号土坑を掘り込み、第 1075 号土坑に掘り込まれている。

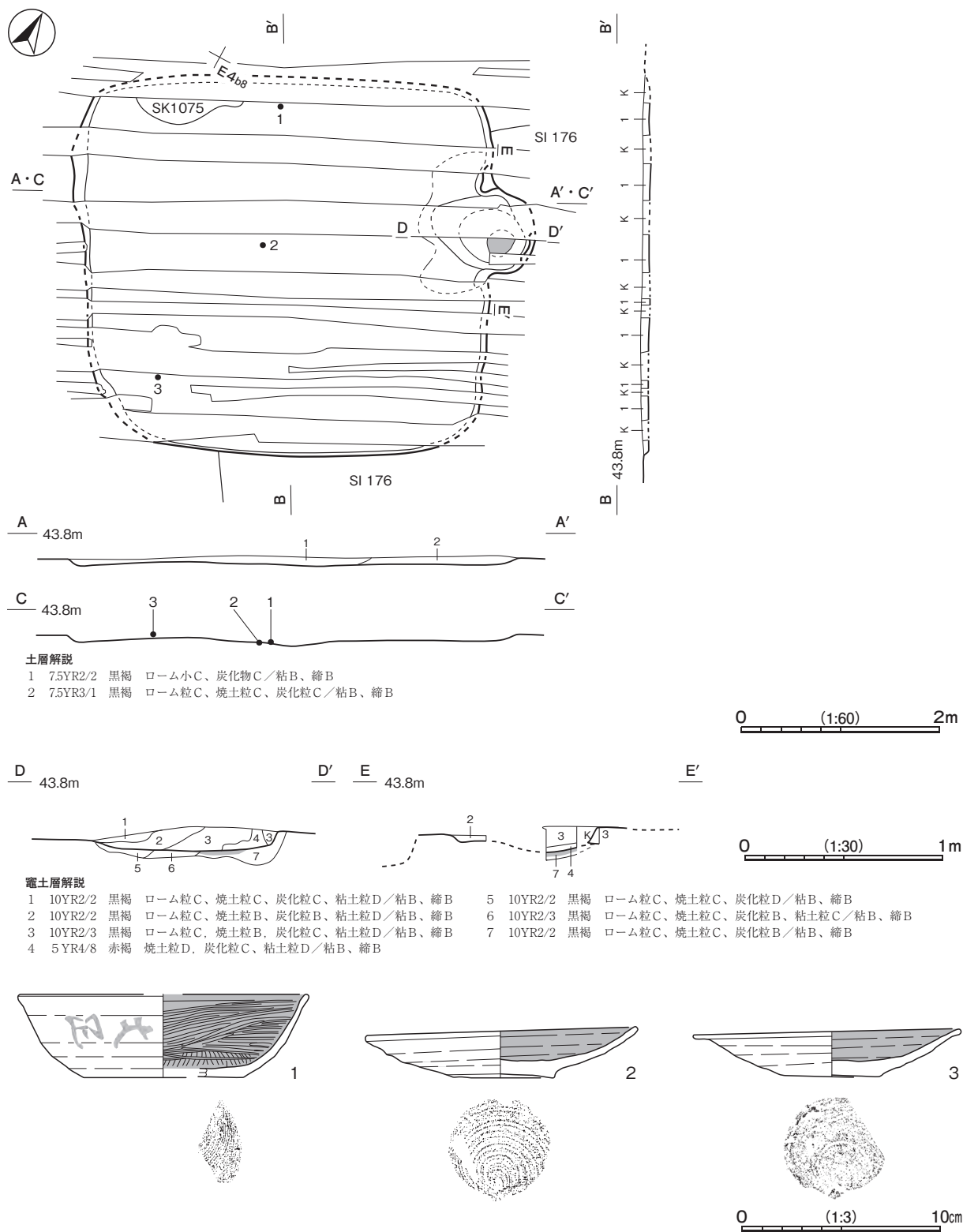
規模と形状 攪乱のため、確認できた規模は長軸 4.20 m、短軸 3.52 m である。主軸方向は N - 61° - E の隅丸方形と推定できる。確認できた壁は高さ 10cm ほどで、外傾している。

床 ほぼ平坦であるが、北西部と南西部は緩やかに高くなっている。竈周辺が硬化している。

竈 北東壁のやや北寄りに位置している。確認できた規模は焚口部から煙道部まで 98cm で、燃焼部幅は 74cm である。袖部は攪乱と削平のため残存していない。火床部は楕円形で、地山を 6~15cm ほど掘りくぼめ、第 5~7 層を埋土して整地している。火床面は赤変硬化している。煙道部は壁外に 40cm ほど張り出し、奥壁でほぼ直立している。

覆土 2 層に分層できる。各層に焼土粒子や炭化物、炭化粒子を含んでいることから、人為堆積である。

遺物出土状況 土師器片 226 点 (坏 85、椀 1、高台付坏 1、皿 2、鉢 2、甕 135)、須恵器片 31 点 (坏 13、蓋 4、高盤 1、瓶 4、甕 9) が出土している。土器は主に竈周辺の覆土上層から、散在して出土している。1 は北部の床面から、2 は中央部の床面から、3 は南コーナー部の覆土上層から、それぞれ出土している。



第 287 図 第 138 A 号竪穴建物跡・出土遺物実測図

所見 時期は、重複関係や出土土器から 9 世紀中～後葉である。本跡の下位で確認した第 138B 号竪穴建物跡とは、北・東壁の位置や主軸方向がほぼ一致しており、両者の出土遺物にも明確な時期差が認められないため、本跡は、第 138 号 B 竪穴建物の拡張後の建物の可能性がある。

第 159 表 第 136 号竪穴建物跡出土遺物一覧 (第 287 図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	特徴	出土位置	備考
1	土師器	坏	[14.4]	4.2	[7.9]	長石・石英・雲母	にぶい黄橙	普通	体部外面ロクロナデ 内面ヘラ磨き 底部回転糸切り	床面	20% PL101 墨書「大罎」
2	土師器	皿	13.6	2.6	5.0	長石・石英・雲母・赤色粒子	にぶい黄褐	普通	口縁部・体部内外面ロクロナデ 底部回転糸切り	床面	90% PL90 外面煤付着
3	土師器	皿	13.5	2.5	5.0	長石・石英・雲母・赤色粒子	にぶい橙	普通	口縁部・体部内外面ロクロナデ 底部回転糸切り 後ナデ	覆土上層	50% PL90

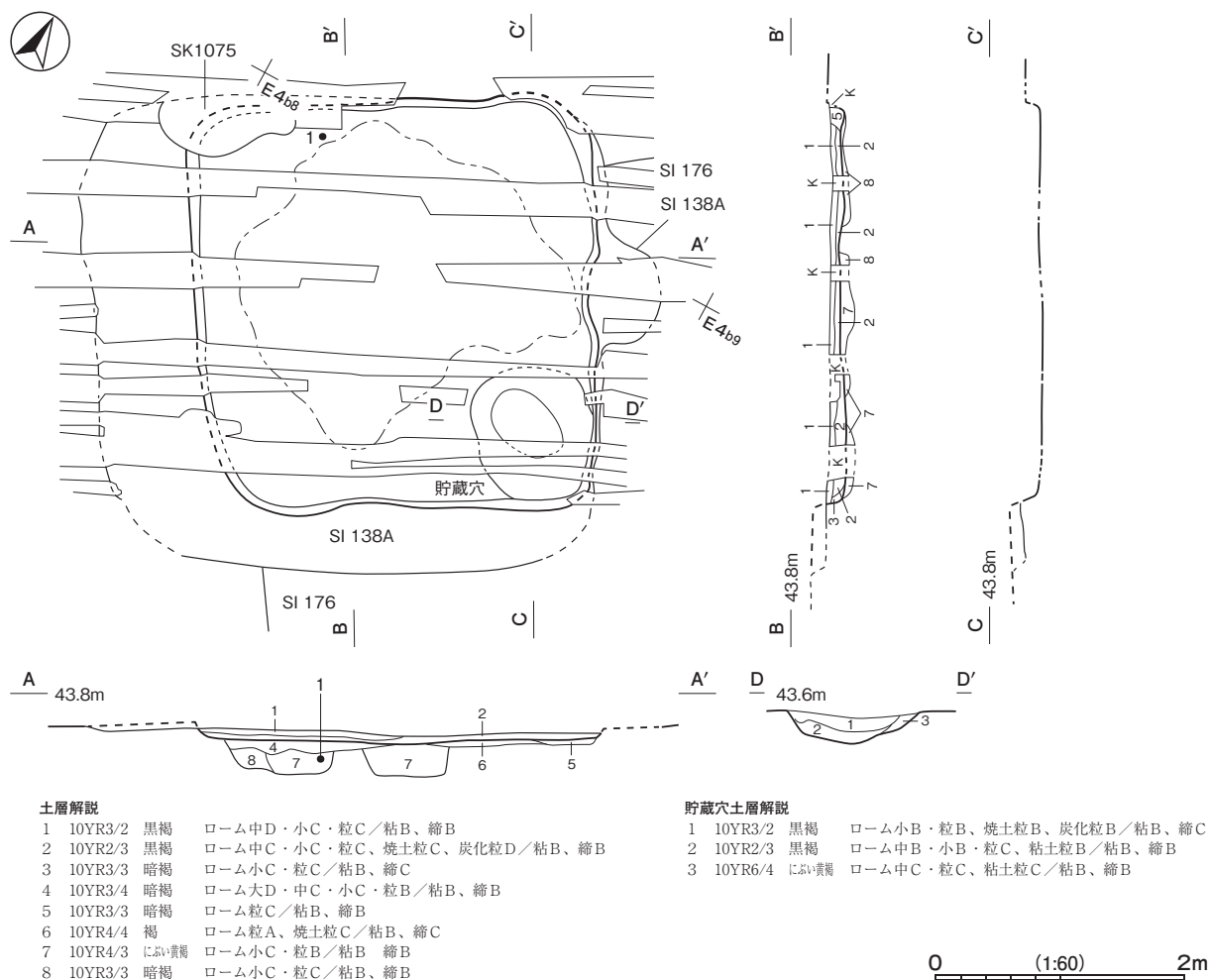
第 138B 号竪穴建物跡 (第 288・289 図 PL41・90)

位置 E 区中央部の E 4 b8 区、標高 44 m ほどの平坦な台地上に位置している。

重複関係 第 176 号竪穴建物跡、第 668 号土坑を掘り込み、第 138A 号竪穴建物、第 1075 号土坑に掘り込まれている。

規模と形状 上部を第 138A 号竪穴建物に掘り込まれているため、確認できた規模は長軸 3.28 m、短軸 3.26 m である。主軸方向は N - 61° - E の方形である。壁は高さ 12cm ほどで、ほぼ直立している。

床 ほぼ平坦で、東部と西部は緩やかに高くなっている。竈前方部から中央部にかけて硬化している。貼床は、中央部から西部を中心に、ロームブロックやローム粒子を含む第 7・8 層を 22cm ほど埋土して構築している。



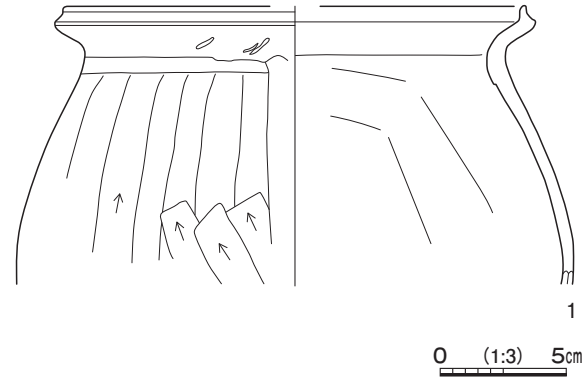
第 288 図 第 138 B 号竪穴建物跡実測図

貯蔵穴 東コーナー部に位置している。長径 118cm、短径 98cmの楕円形で、深さ 22cmである。底面は皿状で、壁は外傾している。3層に分層でき、ロームブロックを含んでいることから、人為堆積である。

覆土 2層に分層できる。大半の層がロームブロックを含んでいることから、人為堆積である。

遺物出土状況 土師器片 51 点（坏 16、椀 1、甕 34）、須恵器片 3 点（坏 1、甕 2）が出土している。

土器は主に南東部の覆土上層から、散在して出土している。1 は北壁際の掘方埋土から出土している。



第 289 図 第 138 B 号堅穴建物跡出土遺物実測図

所見 時期は、重複関係や出土土器から 9 世紀中～後葉である。本跡の上位で確認した第 138A 号堅穴建物跡とは、北・東壁の位置や主軸方向がほぼ一致しており、両者の出土遺物にも明確な時期差がみとめられないため、本跡は、第 138A 号堅穴建物の拡張前の建物の可能性がある。

第 160 表 第 138 B 号堅穴建物跡出土遺物一覧（第 289 図）

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	特徴	出土位置	備考
1	土師器	甕	[18.2]	(11.1)	-	長石・石英・雲母・細礫	普通	普通	口縁部内外面横ナデ 体部外面ヘラ削り 内面ヘラナデ	掘方埋土	10% PL90

第 140 号堅穴建物跡（第 290 図 PL41・90・101）

位置 E 区中央部の E 4 e6 区、標高 44 m ほどの平坦な台地上に位置している。

重複関係 第 152 号堅穴建物跡、第 763 号土坑を掘り込み、第 901 号土坑に掘り込まれている。

規模と形状 長軸 4.85 m、短軸 4.65 m で、主軸方向は N - 32° - W の方形である。壁は高さ 10cm ほどで、ほぼ直立している。

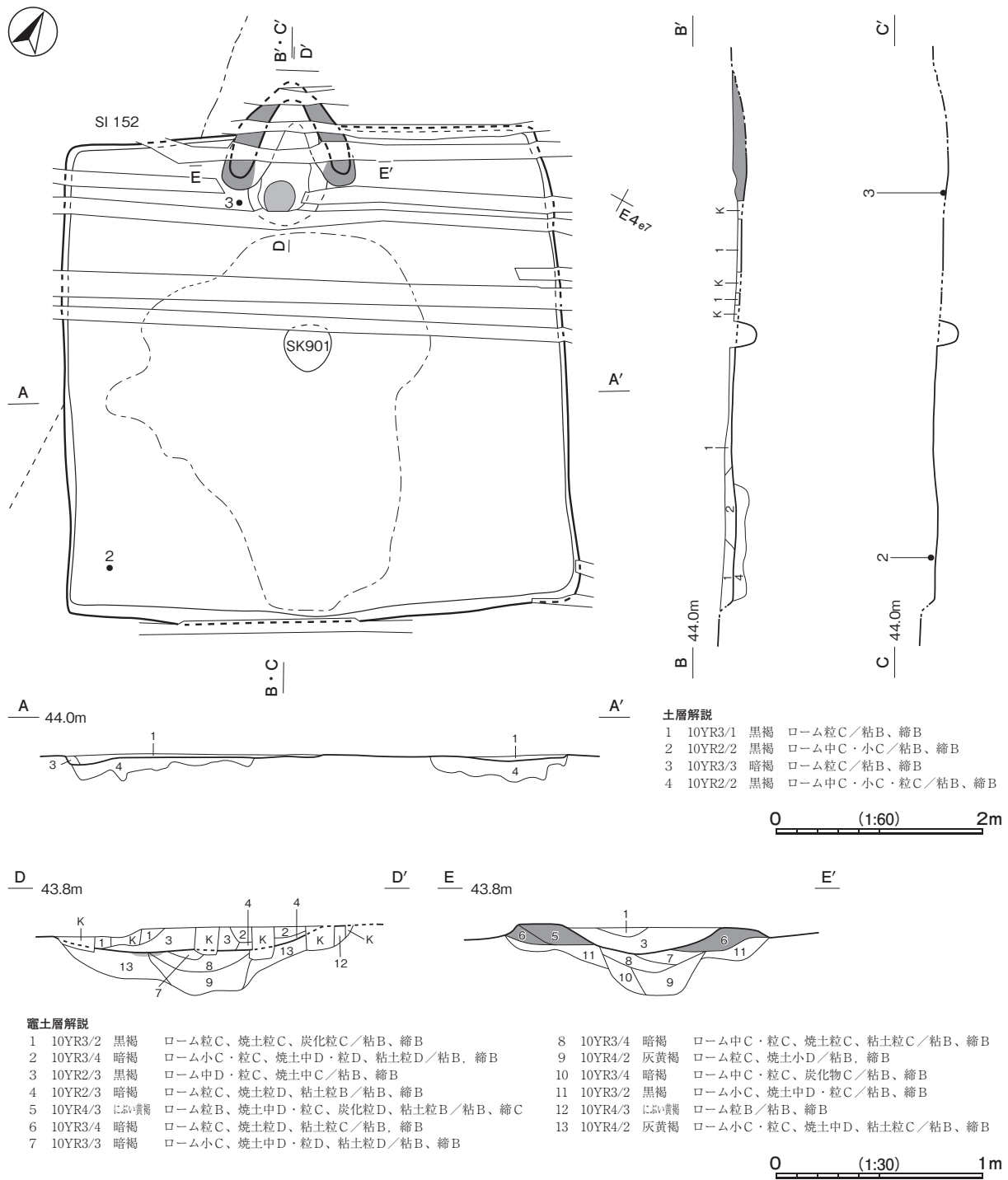
床 ほぼ平坦で、中央部から壁際に向かって緩やかに低くなっており、竈前方が最も低くなっている。南部は凹凸があり、中央部から南部にかけて硬化している。貼床はロームのブロックや粒子を含む第 4 層を 10～20 cm ほど埋土して構築している。

竈 北西壁の中央部に位置している。確認できた規模は、残存している煙道部から焚口部まで 120cm ほどで、燃焼部幅は 60cm である。袖部は、地山の上にロームブロックや粘土ブロックを含む第 5・6 層を積み上げて構築している。火床部は地山を 20cm ほど掘りくぼめ、第 7～11 層を埋土して構築している。火床面は、赤変硬化している。煙道部は、壁外に 40cm ほど張り出し、火床面から緩やかに立ち上がっている。

覆土 3層に分層できるが、層厚が薄く、堆積状況は不明である。

遺物出土状況 土師器片 224 点（坏 32、高台付坏 3、甕類 189）、須恵器片 44 点（坏 31、高台付坏 1、蓋 4、瓶 5、短頸壺 1、甕類 2）、灰釉陶器片 1 点（皿）、金属製品 1 点（不明鉄製品）が出土している。遺物は、主に竈周辺や南東部の覆土上層から、散在して出土している。1 は覆土中から、2 は南コーナー部付近の床面から、3 は竈前方部の床面からそれぞれ出土している。

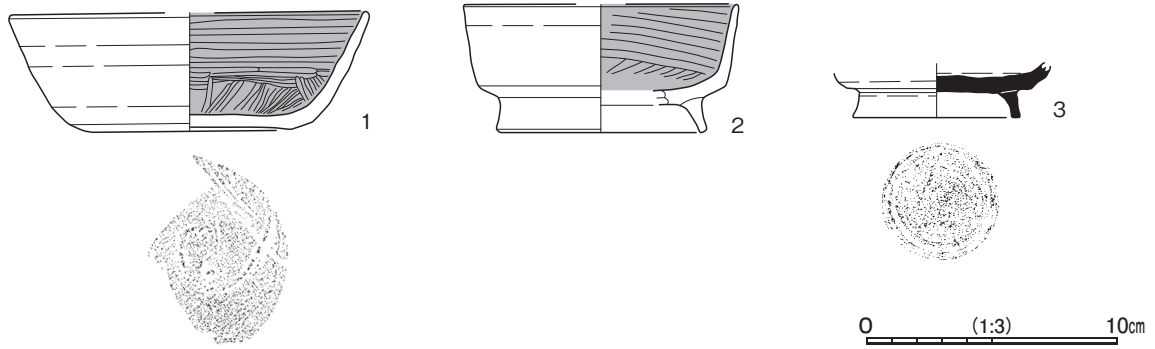
所見 時期は、重複関係や出土土器から 9 世紀前葉である。



第 290 図 第 140 号竪穴建物跡実測図

第 161 表 第 140 号竪穴建物跡出土遺物一覧 (第 291 図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	特徴	出土位置	備考
1	土師器	坏	[14.0]	4.7	[8.1]	長石・石英・雲母・赤色粒子	にがい黄褐	普通	体部外面ロクロナデ 内面ヘラ磨き 底部回転ヘラ切り後ヘラナデ	覆土	40% PL101
2	土師器	高台付坏	[10.8]	5.1	[8.3]	長石・石英・雲母・赤色粒子	橙	普通	口縁部・体部外面ロクロナデ 内面ヘラ磨き	床面	30% PL90
3	須恵器	高台付坏	-	(2.2)	6.7	長石・石英・細礫・針状物質	灰	良好	体部内外面ロクロナデ 底部回転系切り後高台貼付け	床面	20%



第 291 図 第 140 号竪穴建物跡出土遺物実測図

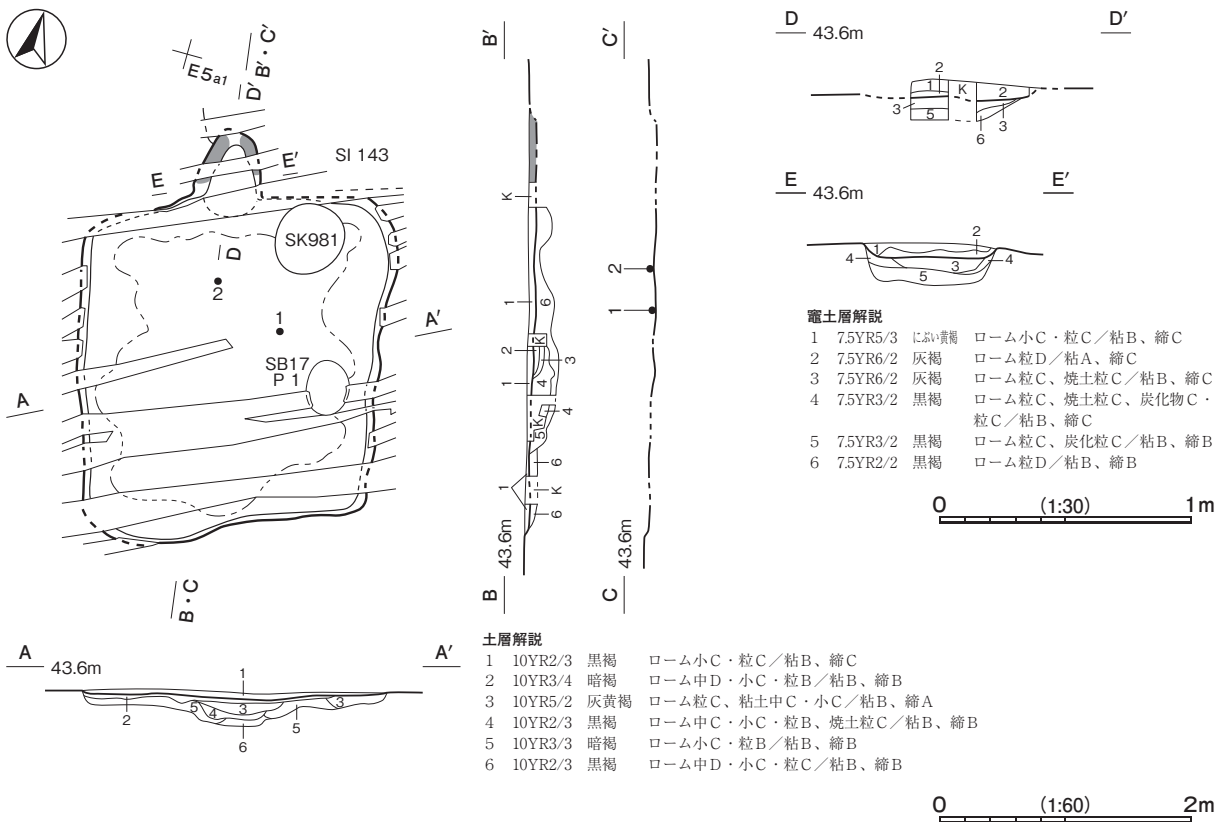
第 142 号竪穴建物跡 (第 292 図 PL42・90)

位置 E 区中央部の E 5a1 区、標高 44 m ほどの平坦な台地上に位置している。

重複関係 第 143 号竪穴建物跡を掘り込み、第 17 号掘立柱建物跡、第 981 号土坑に掘り込まれている。

規模と形状 長軸 2.63 m、短軸 2.51 m で、主軸方向は N - 19° - W の方形である。壁は高さ 4 cm ほどで、外傾している。

床 ほぼ平坦である。壁際を除いて硬化している。貼床は、ロームのブロックや粒子を含む第 2 ~ 6 層を 8 ~ 20cm 埋土して構築している。



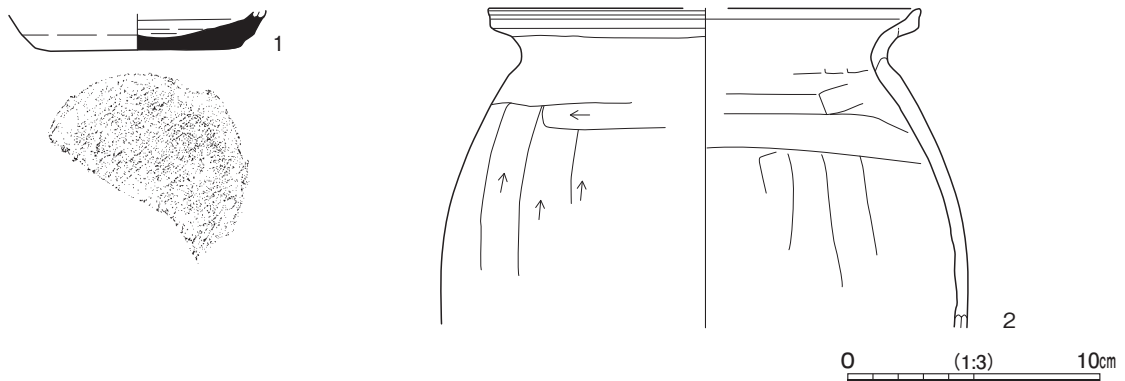
第 292 図 第 142 号竪穴建物跡実測図

竈 ほぼ北壁中央部に位置している。確認できた規模は焚口部から煙道部まで70cmで、燃焼部幅は40cmである。火床部は地山を10cmほど掘りくぼめ、ロームや焼土の粒子を含む第3～6層を埋土して整地している。火床面は、赤変硬化していない。袖部は確認できなかったが、煙道部奥の壁面に粘土ブロックからなる構築材の一部を確認した。確認できた煙道部は、壁外に55cmほど張り出し、火床面から緩やかに立ち上がっている。

覆土 単層で、層厚が薄いため、堆積状況は不明である。

遺物出土状況 土師器片106点（坏8、高台付坏2、甕96）、須恵器7点（坏6、甕1）が出土している。土器は、主に覆土上層から散在した状態で出土している。1・2は中央部の床面から出土している。

所見 時期は、重複関係や出土土器から9世紀中葉である。



第293図 第142号竪穴建物跡出土遺物実測図

第162表 第142号竪穴建物跡出土遺物一覧（第293図）

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	特徴	出土位置	備考
1	須恵器	坏	-	(14)	[7.0]	長石・石英・赤色粒子・針状物質	褐灰	普通	体部内外面ロクロナデ 底部回転ヘラ削り後横方向のヘラナデ	床面	10%
2	土師器	甕	[17.0]	(12.7)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子・細礫	明赤褐	普通	口縁部内外面横ナデ 体部外面ヘラ削り 内面ヘラナデ	床面	5% PL90

第146号竪穴建物跡（第294・295図 PL42・90）

位置 E区中央部のF4a8区、標高44mほどの平坦な台地上に位置している。

規模と形状 長軸3.18m、短軸2.91mで、主軸方向はN-18°-Wの方形である。壁は高さ15～25cmで、ほぼ直立している。

床 ほぼ平坦である。東壁と西壁際を除いて硬化している。壁溝は、北東コーナー部を除いて巡っている。

竈 北壁中央部東寄りに位置している。確認できた規模は焚口部から煙道部まで70cmで、燃焼部幅は32cmである。袖部は地山の上にロームブロックや粘土ブロックを含む第7～10層を積み上げ構築しており、左袖部内には凝灰質泥岩の芯材を補強材として使用している。火床部は楕円形状に地山を10cmほど掘りくぼめて、第11・12層を埋土して構築している。火床面は赤変硬化している。煙道部は壁外に60cmほど張り出し、火床面から緩やかに立ち上がっている。

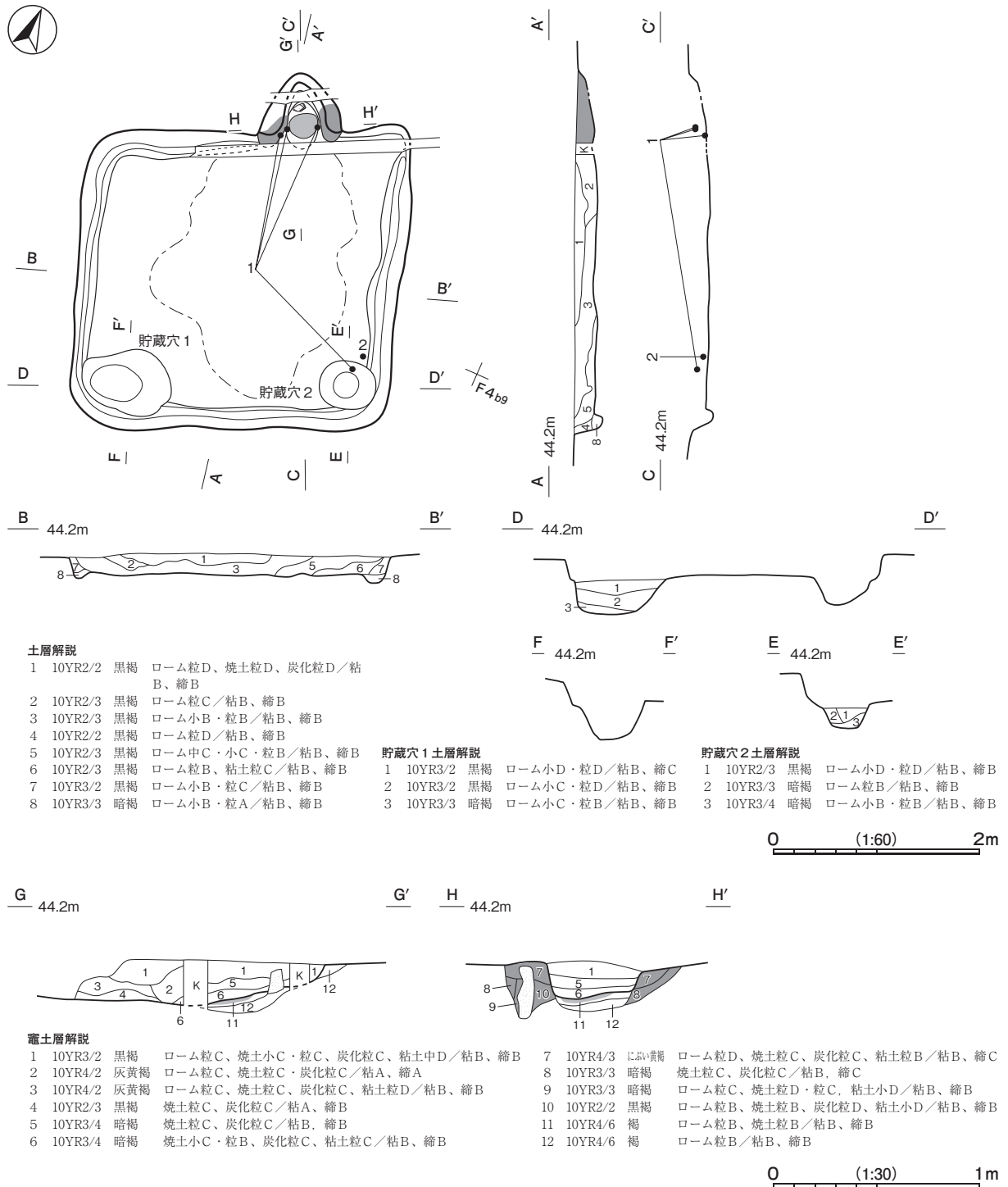
貯蔵穴 2か所。貯蔵穴1は、南西コーナー部に位置している。長径87cm、短径60cmの楕円形で、深さ35cmである。底面は皿状で、壁は外傾している。3層に分層でき、ロームブロックを含んでいることから、人為堆積である。貯蔵穴2は、南東コーナー部に位置している。長径54cm、短径45cmの楕円形で、深さ27cmである。

底面は皿状で、壁は外傾している。3層に分層でき、ロームブロックを含んでいることから、人為堆積である。

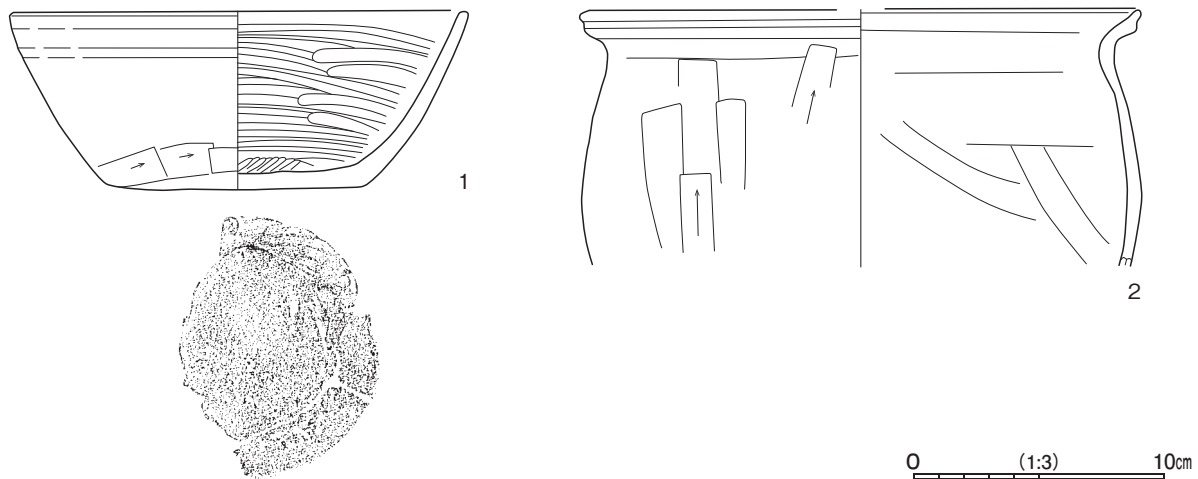
覆土 8層に分層できる。各層にロームのブロックや粒子を多くを含んでいることから、人為堆積である。

遺物出土状況 土師器片 96点 (坏6、高台付椀3、甕84、甑3)、須恵器片 16点 (坏9、蓋1、甕6)が出土している。遺物は、主に北西部の覆土上層から散在して出土している。1は竈の覆土上層と南東部の覆土上層から出土した破片が接合したものである。2は南東コーナー付近の覆土中層から出土している。

所見 時期は、出土土器から10世紀前葉である。



第 294 図 第 146 号 竪穴建物跡実測図



第 295 図 第 146 号竪穴建物跡出土遺物実測図

第 163 表 第 146 号竪穴建物跡出土遺物一覧 (第 295 図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	特徴	出土位置	備考	
1	土師器	坏	18.0	7.1	10.2	長石・石英・雲母・赤色粒子	明赤褐	普通	口縁部・体部外面 削り内面ヘラ磨き 底ナデ	体部下端ヘラ ナデ	竈覆土上層 覆土上層	50% PL90
2	土師器	甕	[22.4]	(10.1)	-	長石・石英	にぶい橙	普通	口縁部内外面横 ナデ	体部外面ヘラ削り 内面 ヘラナデ	覆土中層	5%

第 148 号竪穴建物跡 (第 296・297 図 PL42)

位置 E 区の D 4j1 区、標高 44 m ほどの平坦な台地上に位置している。

重複関係 第 157・158 号竪穴建物跡を掘り込み、第 782 号土坑に掘り込まれている。

規模と形状 北西部が調査区域外のため、確認できた規模は北西・南東軸 7.32 m、北東・南西軸 4.64 m である。平面形は方形か長方形と推定でき、主軸方向は N - 23° - W である。壁は高さ 10 ~ 22cm で、外傾している。

床 やや凹凸があり、中央部が硬化している。貼床は、ロームブロックを含む第 8 ~ 23 層を 20 ~ 44cm 埋土して構築している。壁溝は、南半部の壁直下に巡っている。

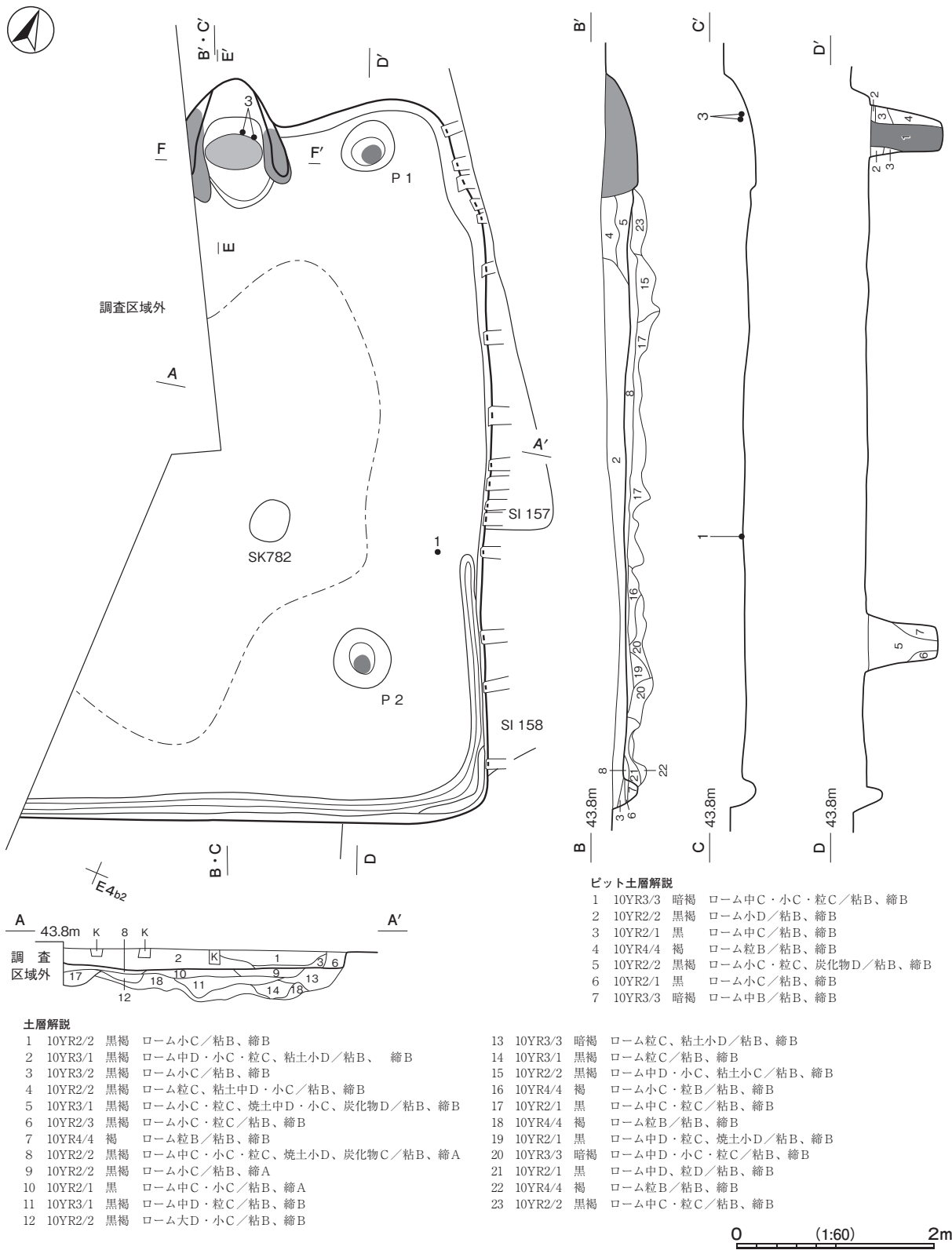
竈 北西壁に位置している。焚口部から煙道部まで 138cm で、燃焼部幅は 58cm である。火床部は地山を 16cm ほど掘りくぼめ、ロームブロックや焼土粒子を含む第 11 層を埋土して整地し、袖部は整地面上に、ロームブロックや粘土ブロックを含む第 7 ~ 10 層を積み上げて構築している。火床面は浅い皿状を呈する。第 11 層の上面で、赤変硬化している。煙道部は壁外に 50cm ほど張り出し、火床面から緩やかに立ち上がっている。

ピット 2 か所。P 1 は深さ 70cm、P 2 は深さ 72cm で、配置から主柱穴と考えられる。P 1・P 2 の底面から柱の当たりを確認した。P 1 は第 1 層が柱痕跡、第 2 ~ 4 層が掘方の埋土である。P 2 は第 5 層が柱抜き取り後の流入土、第 6・7 層が掘方の埋土である。

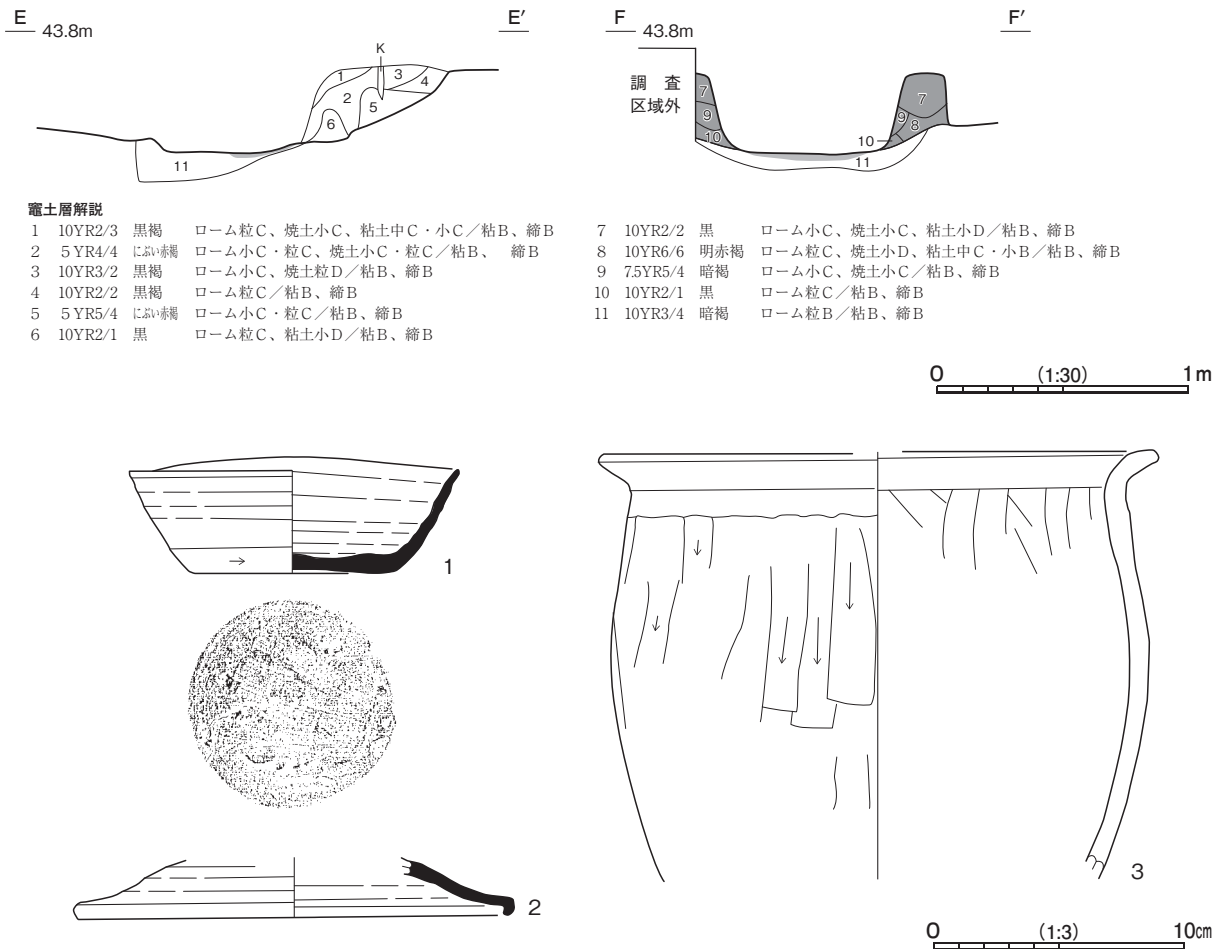
覆土 7 層に分層できる。各層にロームのブロックや粒子を含んでいることから、人為堆積である。

遺物出土状況 土師器片 540 点 (坏 43、高台付坏 9、甕 488)、須恵器片 72 点 (坏 50、高台付坏 1、蓋 6、甕 15) が出土している。遺物は、主に全域の覆土下層から中層にかけて出土している。1 は北東壁際中央部の床面から、2 は竈の覆土中から、3 は竈の覆土下層から、それぞれ出土している。

所見 時期は、重複関係や出土土器から 9 世紀前葉である。



第 296 図 第 148 号竪穴建物跡実測図



第 297 図 第 148 号竪穴建物跡・出土遺物実測図

第 164 表 第 148 号竪穴建物跡出土遺物一覧 (第 297 図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	特徴	出土位置	備考
1	須恵器	坏	[13.1]	4.6	8.2	長石・石英・針状物質・細礫	黄灰	良好	口縁部内外面ロクロナデ 体部下端回転ヘラ削り 底部回転ヘラ切り後一方向のヘラ削り	床面	60% PL90
2	須恵器	蓋	-	(22)	[17.2]	長石・石英・赤色粒子	褐灰	普通	天井部回転ヘラ削り	竈覆土	10%
3	土師器	甕	[21.8]	(17.0)	-	長石・石英・雲母	にぶい褐	普通	口縁部内外面横ナデ 体部外面ヘラ削り 内面ヘラナデ	竈覆土下層	20% PL90

第 149 号竪穴建物跡 (第 298 図)

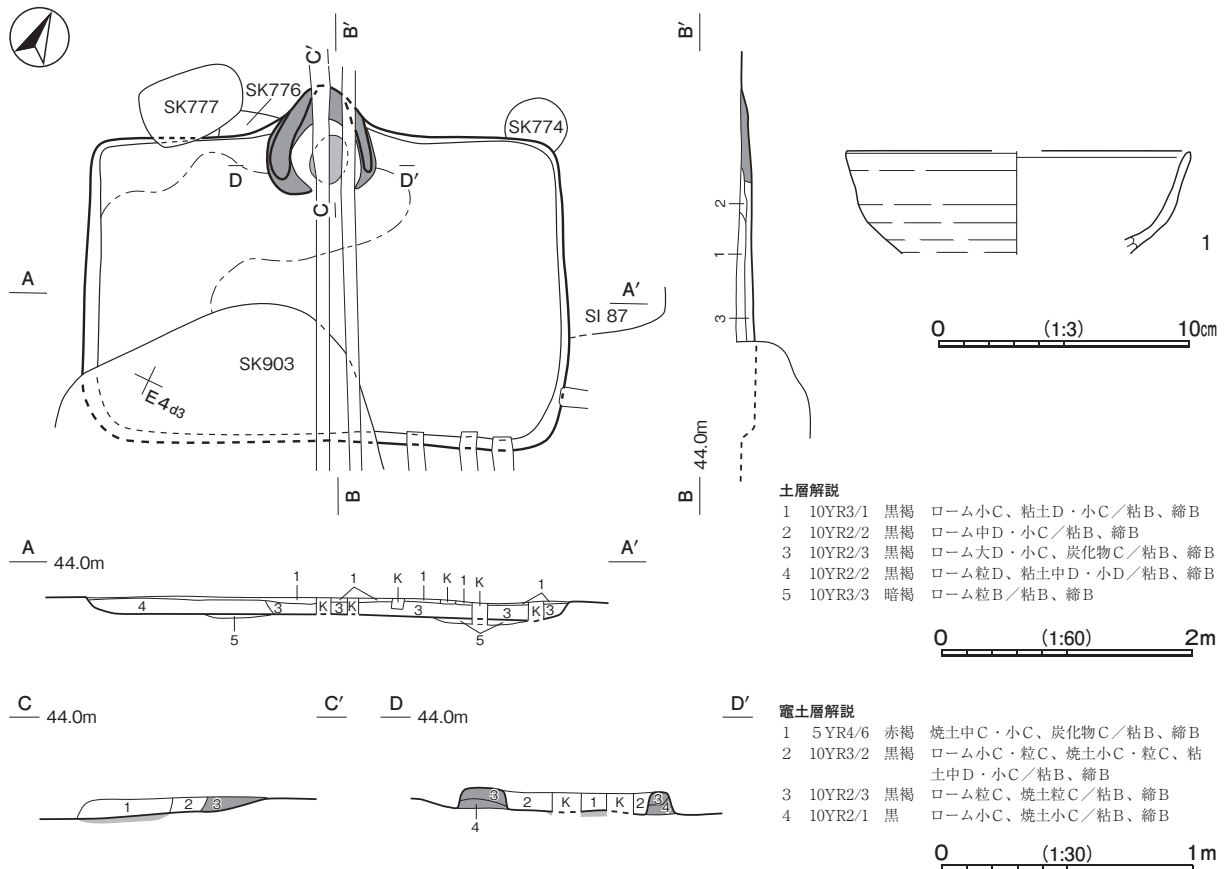
位置 E 区中央部の E 4c3 区、標高 44 m ほどの平坦な台地上に位置している。

重複関係 第 87 号竪穴建物跡、第 774・776 号土坑を掘り込み、第 777・903 号土坑に掘り込まれている。

規模と形状 長軸 3.86 m、短軸 2.46 m である。主軸方向は N - 25° - W の長方形である。壁は高さ 11cm ほどで、外傾している。

床 ほぼ平坦であるが、小さな起伏が見られる。南部が緩やかに低くなっている。竈前方部から西部にかけて硬化している。貼床は、ローム粒子を含む第 5 層を 4 cm ほど埋土して構築している。

竈 北西壁中央部に位置している。確認できた規模は焚口部から煙道部まで 83cm で、燃烧部幅は 55cm である。袖部は、地山の上にロームブロックを含む第 3・4 層を積み上げて構築している。火床部は床面とほぼ同じ高



第 298 図 第 149 号竪穴建物跡・出土遺物実測図

さである。火床面は赤変硬化している。煙道部は、壁外に 36cmほど張り出し、火床面から緩やかに立ち上がっている。

覆土 4層に分層できる。ロームブロックを含んでいることや不規則な堆積状況を呈することから、人為堆積である。

遺物出土状況 土師器片 74 点（坏 26、高台付坏 5、甕 43）、須恵器片 3 点（坏）、石器 1 点（砥石）が出土している。土器は主に北東から南西にかけて、散在して出土している。1 は覆土中から出土している。

所見 時期は、出土土器や重複関係から 9 世紀前葉である。

第 165 表 第 149 号竪穴建物跡出土遺物一覧（第 298 図）

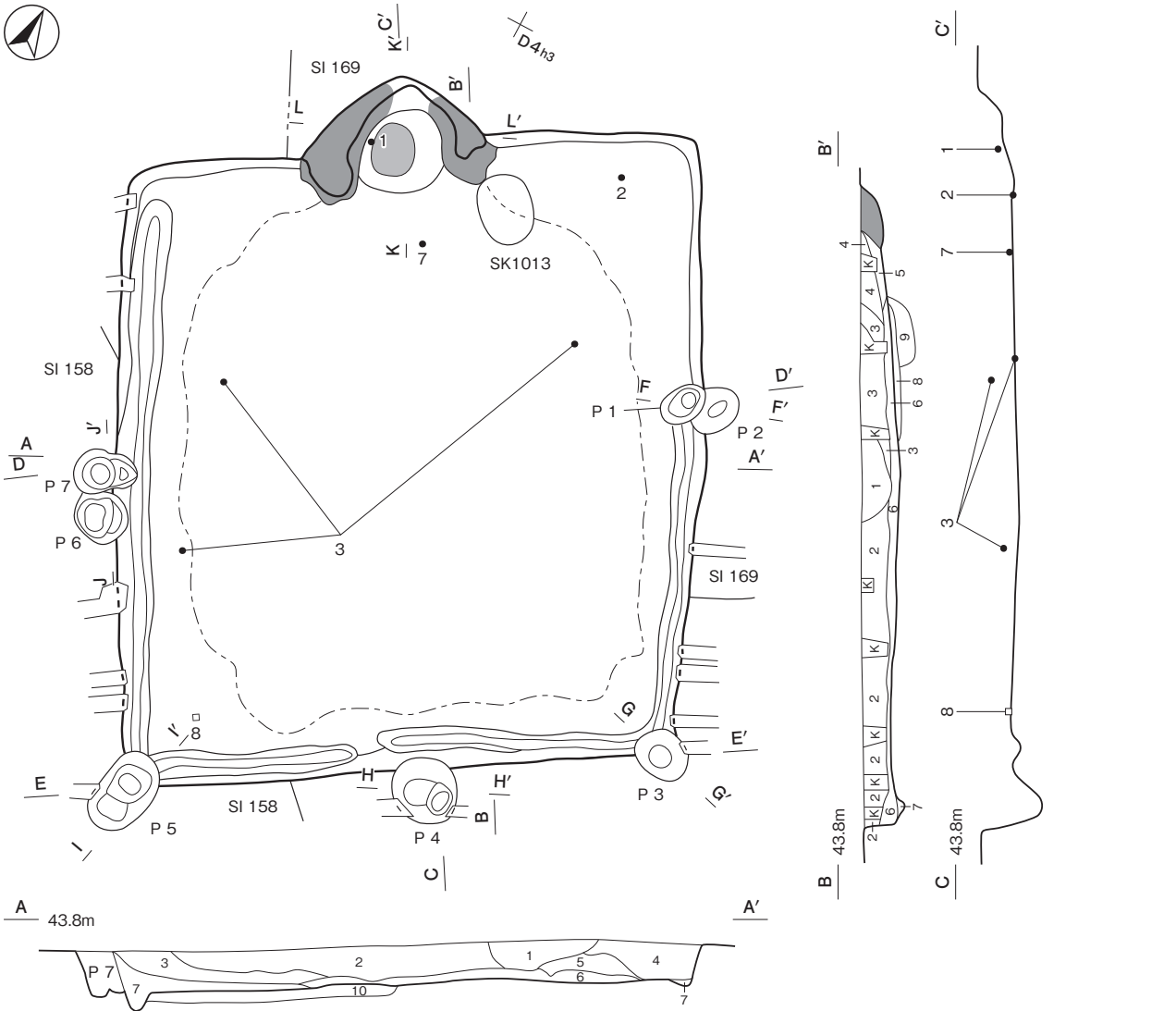
番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	特徴	出土位置	備考
1	土師器	坏	[13.5]	(4.1)	-	長石・石英・雲母・黒色粒子	灰黄褐	普通	体部外面ロクロナデ 内面ナデ	覆土中	20%

第 150 号竪穴建物跡（第 299・300 図 PL43・90・101・102）

位置 E 区中央部の D 4 h3 区、標高 44 m ほどの平坦な台地上に位置している。

重複関係 第 158・169 号竪穴建物跡を掘り込み、第 1013 号土坑に掘り込まれている。

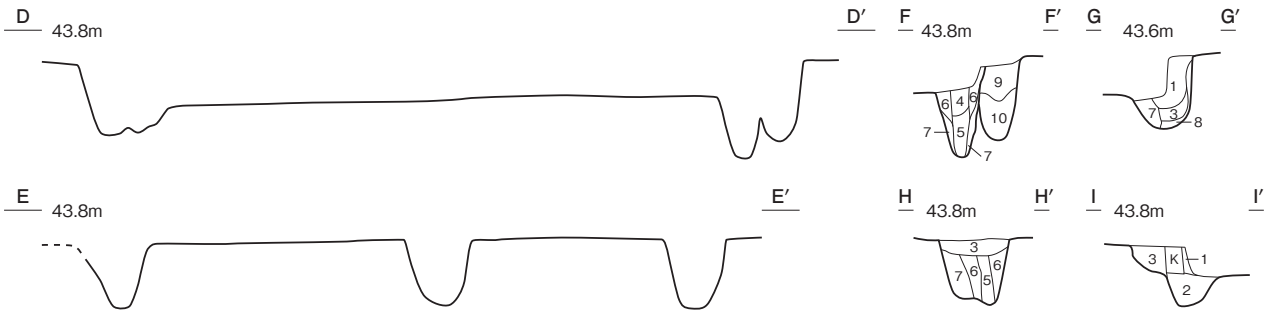
規模と形状 長軸 5.40 m、短軸 5.10 m の方形で、主軸方向は N - 26° - W である。壁は高さ 28 ~ 35cm で、ほぼ直立している。壁溝は、北西壁と北コーナー部を除いた壁下に巡っている。



土層解説

- | | | | |
|--------------|------------------------------|---------------|----------------------|
| 1 10YR2/3 黒褐 | ローム粒D/粘B、締A | 6 10YR4/4 褐 | ローム大D・中D・小B・粒A/粘B、締A |
| 2 10YR3/3 暗褐 | ローム大D・中D・小B・粒B、焼土小D・粒C/粘B、締A | 7 10YR4/4 褐 | ローム中D・小B・粒A/粘B、締B |
| 3 10YR3/4 暗褐 | ローム大C・中A・小A・粒B/粘B、締A | 8 10YR4/4 褐 | ローム大A・中B・小C・粒C/粘B、締B |
| 4 10YR3/3 暗褐 | ローム大D・中D・小B・粒B/粘B、締A | 9 10YR4/4 褐 | ローム中C・小C・粒B/粘B、締B |
| 5 10YR4/4 褐 | ローム大A・中D・小D・粒D/粘B、締A | 10 10YR3/4 暗褐 | ローム小C・粒B/粘B、締B |

0 (1:60) 2m



ビット土層解説 (各ビット共通)

- | | | | |
|---------------|----------------------|---------------|----------------------|
| 1 10YR3/2 黒褐 | ローム中D・小B・粒B/粘B、締B | 7 10YR3/4 暗褐 | ローム中C・小C・粒C/粘B、締B |
| 2 10YR2/3 黒褐 | ローム大C・中C・小C・粒C/粘B、締B | 8 10YR4/4 褐 | ローム小C・粒B/粘B、締B |
| 3 10YR2/2 黒褐 | ローム小C・粒C/粘B、締B | 9 10YR2/3 黒褐 | ローム小C・粒C/粘B、締B |
| 4 10YR2/3 黒暗褐 | ローム中D・小C・粒C/粘B、締B | 10 10YR3/3 暗褐 | ローム小C・粒B/粘B、締B |
| 5 10YR3/2 黒褐 | ローム小D・粒C/粘B、締B | 11 10YR2/2 黒褐 | ローム大D・中D・小D・粒C/粘B、締B |
| 6 10YR3/3 暗褐 | ローム大D・中C・小C・粒C/粘B、締B | | |

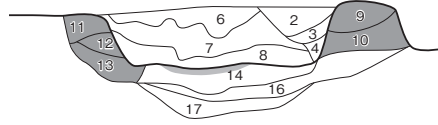
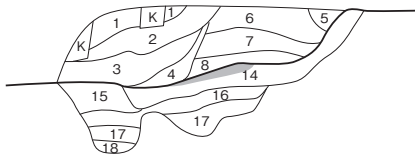
0 (1:60) 2m

第299図 第150号竪穴建物跡実測図

K 43.8m

K' L 43.8m

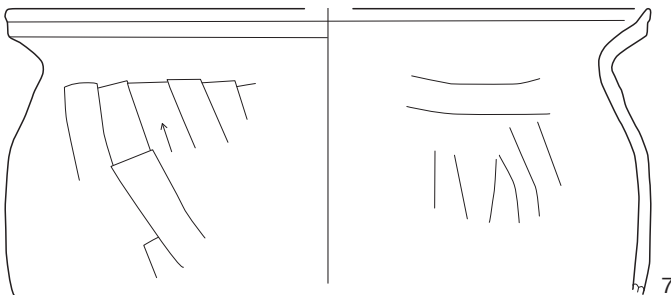
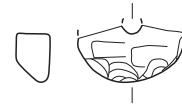
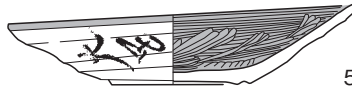
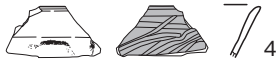
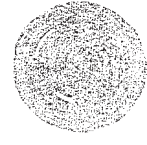
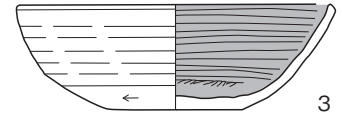
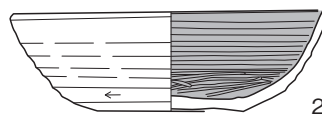
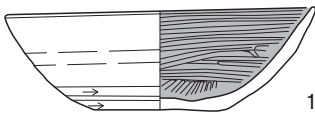
L'



電土層解説

1	10YR2/3	黒褐	ローム小C・粒C、焼土粒C/粘B、締B	10	10YR3/3	暗褐	ローム小C・粒B、焼土粒C、粘土大D・中D/粘B、締B
2	7.5YR3/3	暗褐	ローム粒B、焼土小C・粒C、炭化物C/粘A、締A	11	10YR4/3	にぶい黄褐	ローム粒C、焼土中D・小C、粘土中C/粘B、締B
3	10YR3/1	黒褐	ローム粒C、粘A、締A	12	10YR3/3	暗褐	ローム小C・粒C/粘B、締B
4	10YR2/1	黒	ローム中D・小C・粒C、焼土小D・粒D/粘B、締B	13	10YR4/4	褐	ローム小B・粒B、粘土粒B/粘B、締B
5	5YR4/6	赤褐	ローム粒C、焼土粒B/粘B、締B	14	10YR3/3	暗褐	ローム粒C、焼土小C・粒C/粘B、締C
6	10YR2/3	黒褐	ローム小C・粒C、焼土粒D、炭化粒D/粘B、締B	15	10YR2/3	黒褐	ローム中C・小C・粒C、焼土小C/粘B、締B
7	10YR3/3	暗褐	ローム粒D、焼土小C・粒C、炭化粒D、粘土粒C/粘A、締B	16	10YR2/2	黒褐	ローム小C・粒C/粘B、締B
8	10YR4/2	灰黄褐	ローム粒C、焼土小D・粒C/粘B、締B	17	10YR3/3	暗褐	ローム中C・小C・粒C/粘B、締B
9	10YR6/4	にぶい黄褐	ローム小C・粒C、焼土粒C、粘土粒B/粘B、締A	18	10YR4/4	褐	ローム小B・粒B/粘B、締B

0 (1:30) 1m



0 (1:3) 10cm

第 300 図 第 150 号 竪穴建物跡・出土遺物実測図

床 やや凹凸があり、壁際を除いて硬化している。貼床は、ロームブロックを含む第 8～10 層を 10～30cm ほど埋土して構築している。

ピット 7 か所。P 1～P 7 は深さ 45～75cm で、壁柱穴と考えられる。P 1 と P 2、P 6 と P 7 には重複関係があり、柱が建て替えられた可能性がある。

竈 北西壁の中央部に位置している。規模は焚口部から煙道部まで100cmで、燃焼部幅は67cmである。火床部は地山を19～28cm掘りくぼめ、ロームブロックや焼土ブロックを含む第14～18層を埋土し、袖部は整地面の上に、第9～13層を積み上げて構築している。火床部は浅い皿状を呈し、火床面は赤変硬化している。煙道部は壁外に60cmほど張り出し、火床面から外傾している。

覆土 7層に分層できる。各層にロームブロックを多く含んでいるから、人為堆積である。

遺物出土状況 土師器片1035点(坏318、高台付坏4、蓋2、皿2、甕709)、須恵器片124点(坏59、高台付坏9、蓋4、瓶類4、甕48)、石器2点(紡錘車、砥石)が出土している。遺物は、主に北西部の覆土上層から散在した状態で出土している。1は竈の覆土下層から、2は北コーナー部寄りの床面から、4・5・6・9は北東部から南西部にかけての覆土中から、7は竈前方部の床面から、8は南コーナー部寄りの床面から、それぞれ出土している。3は北部の床面と西部、南西壁際の覆土中層から出土した破片3点が接合したものである。

所見 時期は、重複関係や出土土器から9世紀後葉である。

第166表 第150号竪穴建物跡出土遺物一覧(第300図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	特徴	出土位置	備考
1	土師器	坏	12.2	4.1	5.2	長石・石英	にぶい褐	普通	体部外面ロクロナデ 下端回転ヘラ削り 内面ヘラ磨き 底部回転糸切り	竈覆土下層	100% PL90
2	土師器	坏	12.4	4.0	5.8	長石・石英・雲母・赤色粒子	橙	普通	体部外面ロクロナデ 内面ヘラ磨き 体部外面下端・底部回転ヘラ削り	床面	70% PL90・101 ヘラ記号「十」
3	土師器	坏	12.4	4.2	5.4	長石・石英	にぶい橙	普通	体部外面ロクロナデ 内面ヘラ磨き 体部外面下端・底部回転ヘラ削り	床面 覆土中層	70% PL90
4	土師器	坏	-	(2.0)	-	雲母・赤色粒子	にぶい橙	普通	体部内面ヘラ磨き	覆土	5% PL101 墨書「□」
5	土師器	皿	13.7	3.1	5.0	長石・石英・雲母・赤色粒子	灰黄褐	普通	体部外面ロクロナデ 内面ヘラ磨き 体部外面下端・底部回転ヘラ削り	覆土	60% PL90・101 墨書「大罎」
6	土師器	皿	-	(1.5)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	にぶい黄褐	普通	体部内面ヘラ磨き	覆土	5% PL102 墨書「□」
7	土師器	甕	[25.4]	(11.3)	-	長石・石英・赤色粒子	橙	普通	口縁部内外面横ナデ 体部外面ヘラ削り 内面ナデ	床面	5% PL90

番号	器種	径	孔径	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
8	紡錘車	上[4.4] 下[4.3]	1.5	(0.8)	(14.65)	粘板岩	一方向からの穿孔 側面ヘラ調整 断面逆台形	床面	

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
9	砥石	4.8	3.3	2.4	33.94	凝灰岩	砥面5面 筋状の刃先痕	覆土	

第151号竪穴建物跡 (第301・302図 PL43・90)

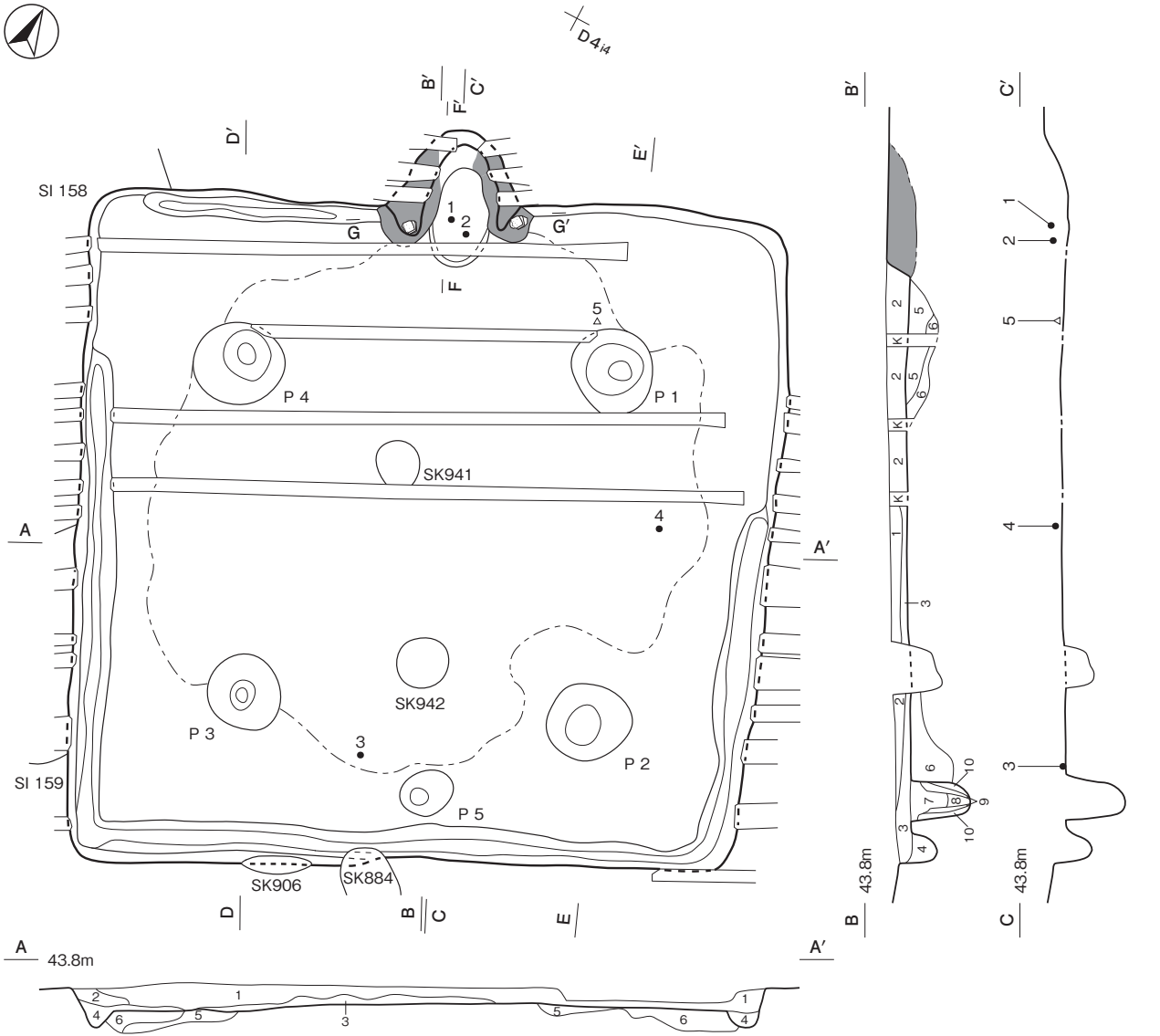
位置 E区中央部のD4i3区、標高44mほどの平坦な台地上に位置している。

重複関係 第158・159号竪穴建物跡を掘り込み、第884・906・941・942号土坑に掘り込まれている。

規模と形状 長軸6.10m、短軸5.85mの長方形で、主軸方向はN-28°-Wである。壁は高さ15～20cmで、外傾している。

床 ほぼ平坦で、壁際に向かって低くなっている。各コーナー部と壁際を除いて硬化している。貼床は、ロームブロックを含む第5・6層を10～25cm埋土して構築している。

竈 北西壁の中央部に位置している。規模は焚口部から煙道部まで118cm、燃焼部幅は50cmである。火床部は地山を20cmほど掘りくぼめ、ロームブロックを含む第8・9層を埋土して整地している。袖部は内側に凝灰質岩泥の切石を芯材として使用し、整地面の上にロームブロックや砂質粘土を含む第5～7層を積み上げて構築している。火床部は浅い皿状を呈している。火床面は赤変硬化していない。煙道部は壁外に63cmほど張り出し、火床面から外傾して立ち上がっている。



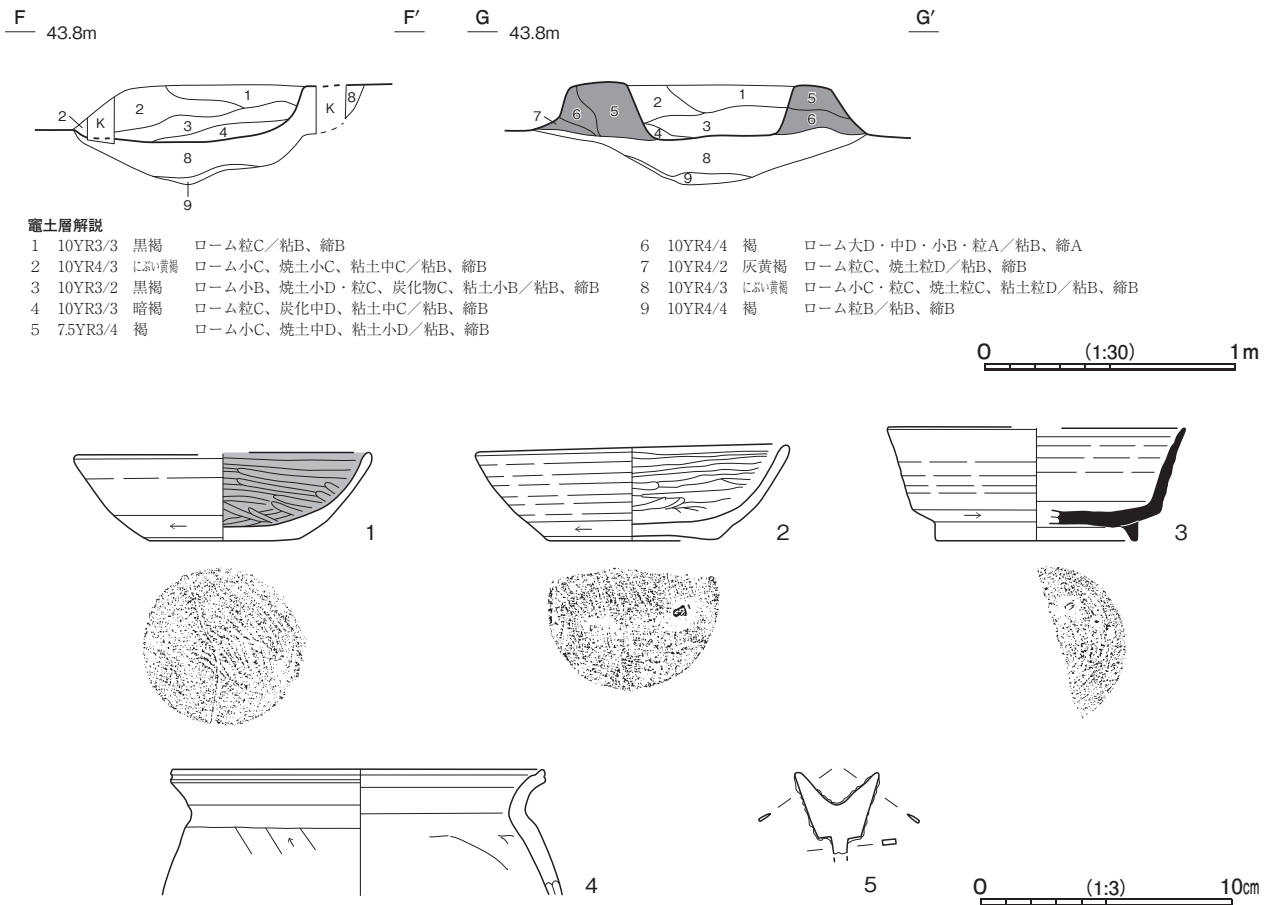
土層解説

- | | | | |
|--------------|------------------------|---------------|------------------------|
| 1 10YR3/1 黒褐 | ローム中D・小C、焼土中D・小C/粘B、締B | 6 10YR3/4 暗褐 | ローム大C・中B・小B・粒B/粘B、締B |
| 2 10YR2/1 黒 | ローム粒D/粘B、締B | 7 10YR3/2 黒褐 | ローム小C・粒C/粘B、締B (P5) |
| 3 10YR3/3 暗褐 | ローム大C・中C・小C/粘B、締B | 8 10YR3/3 暗褐 | ローム小C・粒B/粘B、締B (P5) |
| 4 10YR3/2 黒褐 | ローム小C・粒C/粘B、締B | 9 10YR3/4 暗褐 | ローム中C・小C・粒C/粘B、締B (P5) |
| 5 10YR4/4 褐 | ローム小C・粒B/粘B、締B | 10 10YR3/3 暗褐 | ローム小B・粒B/粘B、締B (P5) |

ピット土層解説 (P1~P4共通)

- | | | | |
|--------------|--------------------------|-------------|----------------|
| 1 10YR3/2 黒褐 | ローム小C・粒C、焼土粒C、炭化粒C/粘B、締C | 3 10YR4/4 褐 | ローム小B・粒A/粘B、締C |
| 2 10YR3/4 暗褐 | ローム小C・粒B/粘C、締B | 4 10YR4/4 褐 | ローム中B・粒C/粘B、締B |

第301図 第151号竪穴建物跡実測図



第 302 図 第 151 号竪穴建物跡・出土遺物実測図

ピット 5か所。P 1～P 4は深さ 45～73cmで、配置から支柱穴と考えられる。P 5は深さ 50cmで、出入口施設に伴うピットと考えられる。

覆土 4層に分層できる。ロームブロックを多く含んでいることから、人為堆積である。

遺物出土状況 土師器片 324 点（坏 37、高台付坏 8、甕 279）、須恵器片 71 点（坏 42、高台付坏 10、蓋 2、鉢 2、盤 1、甕 14）、金属製品 3 点（鉄鏃 1、釘 2）が出土している。遺物は、主に北東部から竈周辺の覆土上層にかけて散在した状態で出土している。1・2は竈の覆土下層から、3はP 5寄りの床面から、4は北東壁寄りの床面から、5はP 1寄りの床面から、それぞれ出土している。

所見 時期は、重複関係や出土土器から 9 世紀中葉である。

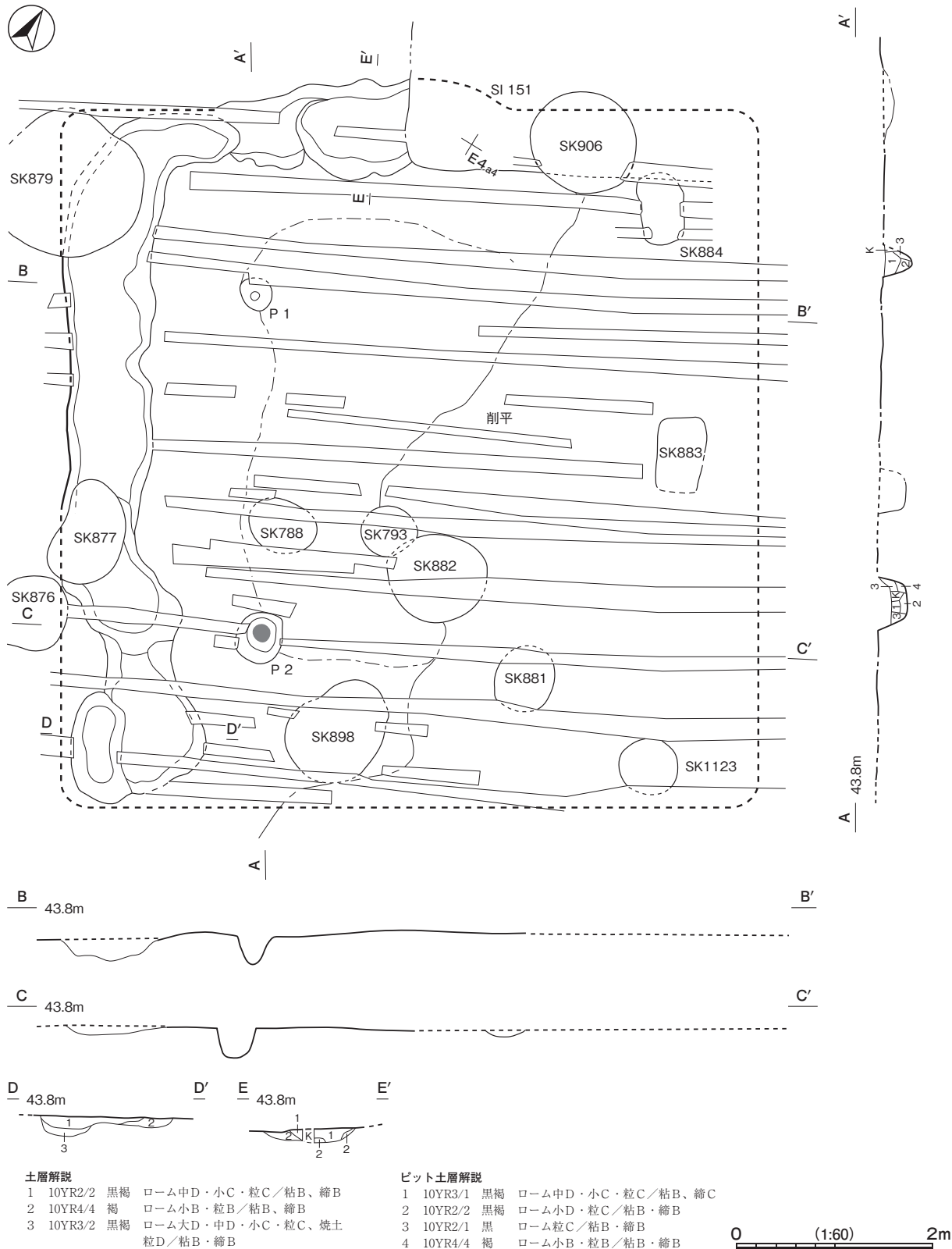
第 167 表 第 151 号竪穴建物跡出土遺物一覧（第 302 図）

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	特徴	出土位置	備考
1	土師器	坏	[11.6]	3.4	6.0	長石・石英・赤色粒子	にぶい橙	普通	体部外面ロクロナデ 内面ヘラ磨き 体部外面下端回転ヘラ削り 後多方向のヘラ削り	竈覆土下層	70%
2	土師器	坏	12.4	3.8	6.8	長石・石英	にぶい褐	普通	体部外面ロクロナデ 内面ヘラ磨き 体部下端回転ヘラ削り 底部多方向のヘラ削り	竈覆土下層	70% 被熱 PL90
3	須恵器	高台付坏	[11.8]	4.5	8.0	長石・細礫	黄灰	普通	体部内外面ロクロナデ 体部下端・底部回転ヘラ削り 後高台貼付け	床面	40%
4	土師器	甕	14.7	(5.0)	-	長石・石英・雲母	にぶい褐	普通	口縁部内外面横ナデ 体部外面ヘラ削り 内面ヘラナデ	床面	5%
番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴			出土位置	備考
5	鉄鏃	(3.4)	(3.3)	(0.2)	(5.38)	鉄	鏃身部～茎部分 雁股形			床面	PL90

第 159 号 竪穴建物跡 (第 303 図 PL44)

位置 E 区中央部の E 4a4 区、標高 44 m ほどの平坦な台地上に位置している。

重複関係 第 151 号 竪穴建物、第 788・793・876・877・879・881～884・898・906・1123 号 土坑に掘り込まれている。



第 303 図 第 159 号 竪穴建物跡実測図

規模と形状 西部は床が露出した状態で確認した。東半部が攪乱と削平のため、確認できた規模は、長軸 7.08 m、短軸 4.90 m である。北西・南北軸方向は N - 33° - W の方形か長方形と推定できる。

床 確認できた部分はほぼ平坦で、壁際に向かって低くなっている。主柱穴の内側が硬化している。貼床は、北西・南西壁際に幅 65 ~ 100cm、深さ 10 ~ 20cm の溝状に掘りくぼめた部分に、ロームブロックを含む黒褐色土を埋土して構築している。

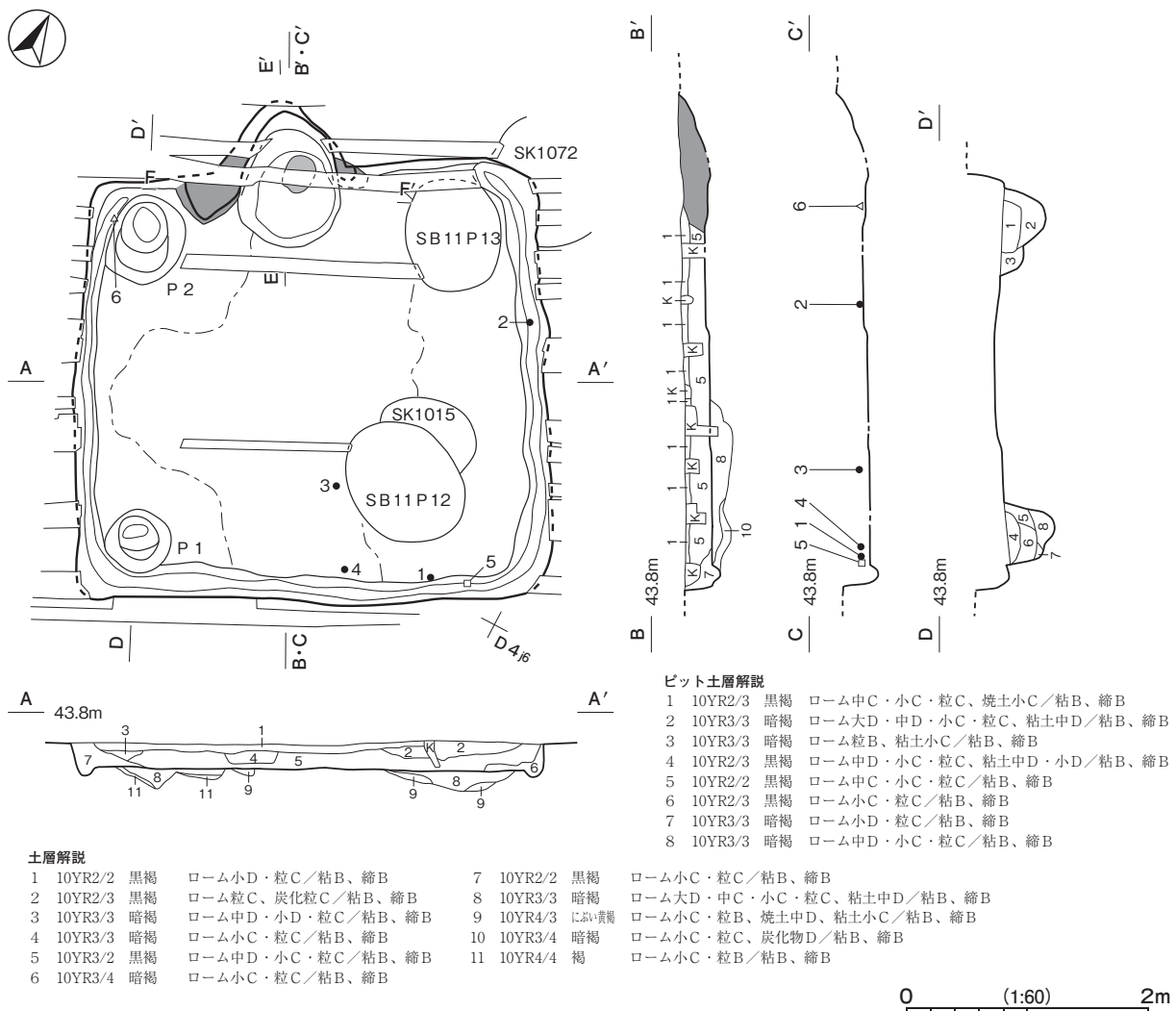
ピット 2 か所。P 1 は深さ 31cm、P 2 は深さ 30cm で、配置から主柱穴である。P 2 の底面から、柱の当たりを確認した。

所見 出土遺物がないため、時期は不明である。9 世紀中葉の第 151 号竪穴建物に掘り込まれていることから、9 世紀中葉以前と考えられる。

第 163 号竪穴建物跡 (第 304・305 図 PL44・90・91・102)

位置 E 区中央部の D 4 i5 区、標高 44 m ほどの平坦な台地上に位置している。

重複関係 第 1072 号土坑を掘り込み、第 11 号掘立柱建物、第 1015 号土坑に掘り込まれている。



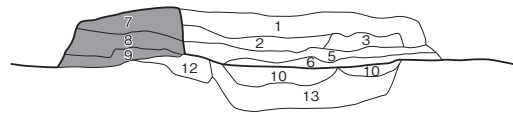
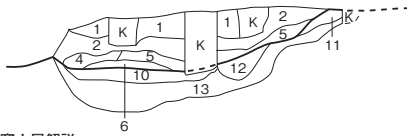
第 304 図 第 163 号竪穴建物跡実測図

E 43.8m

E'

F 43.8m

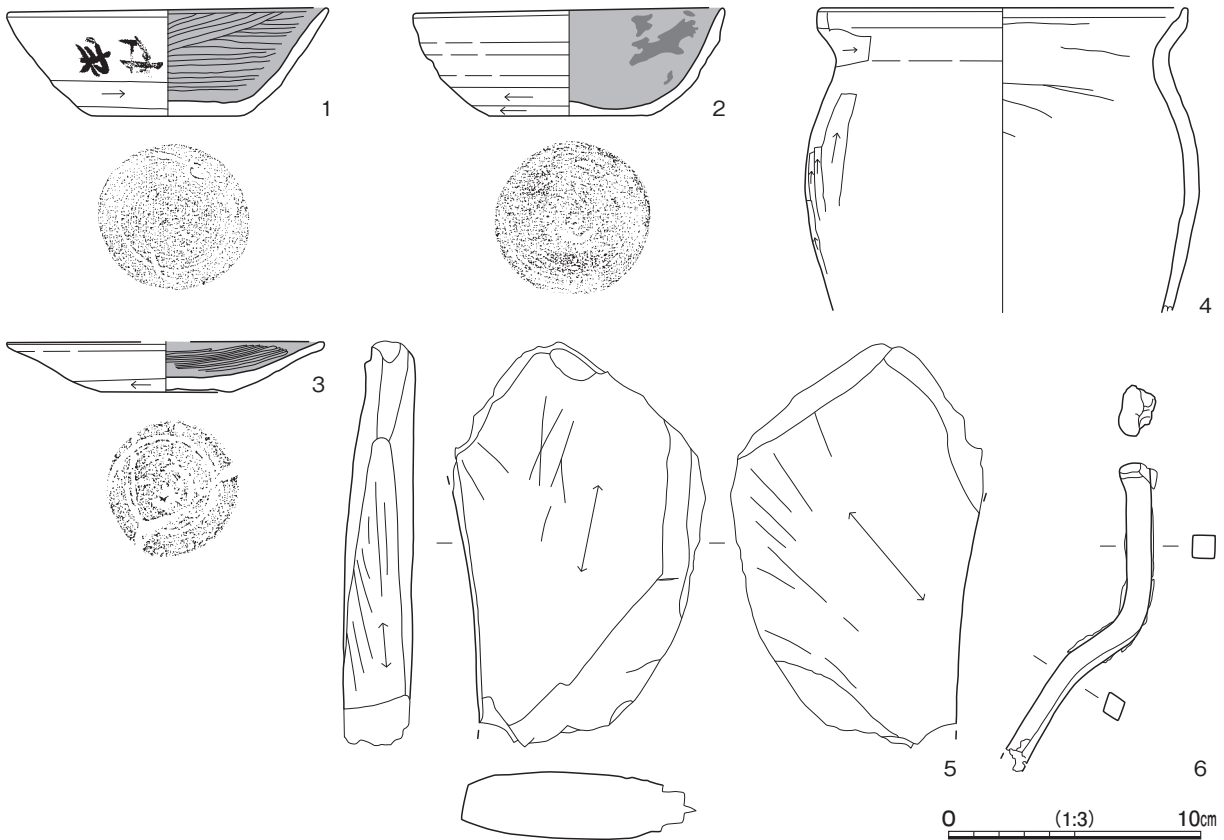
F'



竈土層解説

- | | | |
|----|----------------|---|
| 1 | 10YR3/3 暗褐 | ローム中D・小C・粒C、焼土大D・小C・粒C、炭化物C、粘土大D・小C/粘B、締B |
| 2 | 10YR3/2 黒褐 | ローム小C・粒C、焼土粒C/粘B、締B |
| 3 | 10YR3/2 黒褐 | ローム粒C、焼土粒D、粘土小D/粘B、締B |
| 4 | 10YR3/3 暗褐 | ローム小C・粒C、炭化物D/粘B、締B |
| 5 | 10YR6/2 灰黄褐 | ローム粒C、焼土粒C、炭化粒C、粘土中C・小B/粘B、締B |
| 6 | 10YR2/2 黒褐 | ローム小C・粒C、焼土粒D、炭化物C/粘B、締B |
| 7 | 10YR3/3 暗褐 | ローム小C・粒B、焼土粒D、炭化粒D、粘土小C/粘B、締B |
| 8 | 10YR3/2 黒褐 | ローム小D・粒D、焼土小D・粒D、炭化粒D、粘土小D/粘B、締B |
| 9 | 10YR5/4 におい黄褐 | ローム中D・小C・粒D、焼土小C・粒C、炭化粒D、粘土小C・粒C/粘B、締B |
| 10 | 10YR3/3 暗褐 | ローム小D・粒C、焼土小D・粒D、炭化粒D、粘土中C・粒C/粘B、締B |
| 11 | 7.5YR5/4 におい黄褐 | ローム小C・粒B、焼土小C・粒C、炭化粒D、粘土中B・粒B/粘B、締B |
| 12 | 10YR2/3 黒褐 | ローム小C・粒C、焼土中D・小C・粒C、炭化粒C、粘土大D・中D/粘B、締B |
| 13 | 10YR5/4 におい黄褐 | ローム粒D、焼土粒D、炭化粒D、粘土小B・粒A/粘B、締A |

0 (1:30) 1m



第 305 図 第 163 号 竪穴建物跡・出土遺物実測図

規模と形状 長軸 3.92 m、短軸 3.65 m の方形で、主軸方向は N - 26° - W である。壁は高さ 20cm ほどで、直立している。

床 ほぼ平坦である。竈前方部から南東壁にかけて硬化している。貼床は、壁際を含めた広範囲で確認し、ロームブロックを含む第 8～11 層を 20cm ほど埋土して構築している。壁溝は、北西部の一部を除いて巡っている。

竈 北西壁の中央部に位置している。規模は、焚口部から煙道部まで 114cm で、燃焼部幅は 63cm である。竈は地山を 20cm 掘りくぼめ、第 10～13 層を埋土して整地している。左袖部は地山の上に粘土ブロックを含む第

7～9層を積み上げて構築している。火床部は床面とほぼ同じ高さで、火床面は赤変硬化している。煙道部は壁外に60cmほど張り出し、緩やかに立ち上がっている。

ピット 2か所。P1は深さ40cm、P2は深さ36cmである。北・東コーナー部に対応するピットがないが、主柱穴と考えられる。

覆土 7層に分層できる。不自然な堆積状況を呈することから、人為堆積である。

遺物出土状況 土師器片553点（坏114、高台付坏10、皿1、甕428）、須恵器片31点（坏11、高台付坏1、蓋1、甕2、甕15、甕1）、灰釉陶器2点（瓶）、石器1点（砥石）、金属製品1点（不明鉄製品）が出土している。ほかに混入による弥生土器片13点（広口壺）、土師器片5点（埴2、高坏3）、石器2点（磨石）、剥片2点が出土している。遺物は、主に南部覆土上層から散在した状態で出土している。1・4・5は南東壁際の覆土中層から、2は北東壁際の覆土下層から、3は南壁寄りの覆土中層から、6は西コーナー部の覆土下層から、それぞれ出土している。

所見 時期は、重複関係や出土土器から9世紀後葉である。

第168表 第163号竪穴建物跡出土遺物一覧（第305図）

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	特徴	出土位置	備考
1	土師器	坏	12.6	4.3	6.2	長石・石英	明赤褐	普通	体部外面下端回転ヘラ削り 内面ヘラ磨き	覆土中層	100% PL91・102 墨書「仲家」
2	土師器	坏	12.2	4.3	6.2	長石・石英	橙	普通	体部外面口クロナデ 内面ヘラ磨き 摩滅のため不鮮明 体部外面下端回転ヘラ削り	覆土下層	100% PL91 油煙付着
3	土師器	皿	[12.6]	2.0	5.2	長石・石英・赤色粒子	にぶい褐	普通	体部外面口クロナデ 下端回転ヘラ削り 内面ヘラ磨き	覆土中層	70%
4	土師器	甕	14.6	(12.1)	-	長石・石英	にぶい赤褐	普通	口縁部内外面横ナデ 体部外面ヘラ削り 内面ナデ	覆土中層	20%

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
5	砥石	(16.0)	(10.0)	2.7	(578.6)	緑色片岩	砥面3面 筋状の研磨痕	覆土中層	

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
6	釘	(12.4)	1.2	0.7	(77.14)	鉄	先端部欠損 頭部・脚部断面方形	覆土下層	PL90

第165号竪穴建物跡（第306・307図 PL44・91・102）

位置 E区中央部のD4e6区、標高44mほどの平坦な台地上に位置している。

重複関係 第10号掘立柱建物、第954・1067号土坑に掘り込まれている。

規模と形状 北部と南部の壁上部が攪乱を受けているため、確認できた規模は長軸4.08m、短軸2.70mである。平面形は長方形で、主軸方向はN-61°-Eである。壁は高さ4～14cmで、外傾している。

床 ほぼ平坦である。壁際を除いて硬化している。

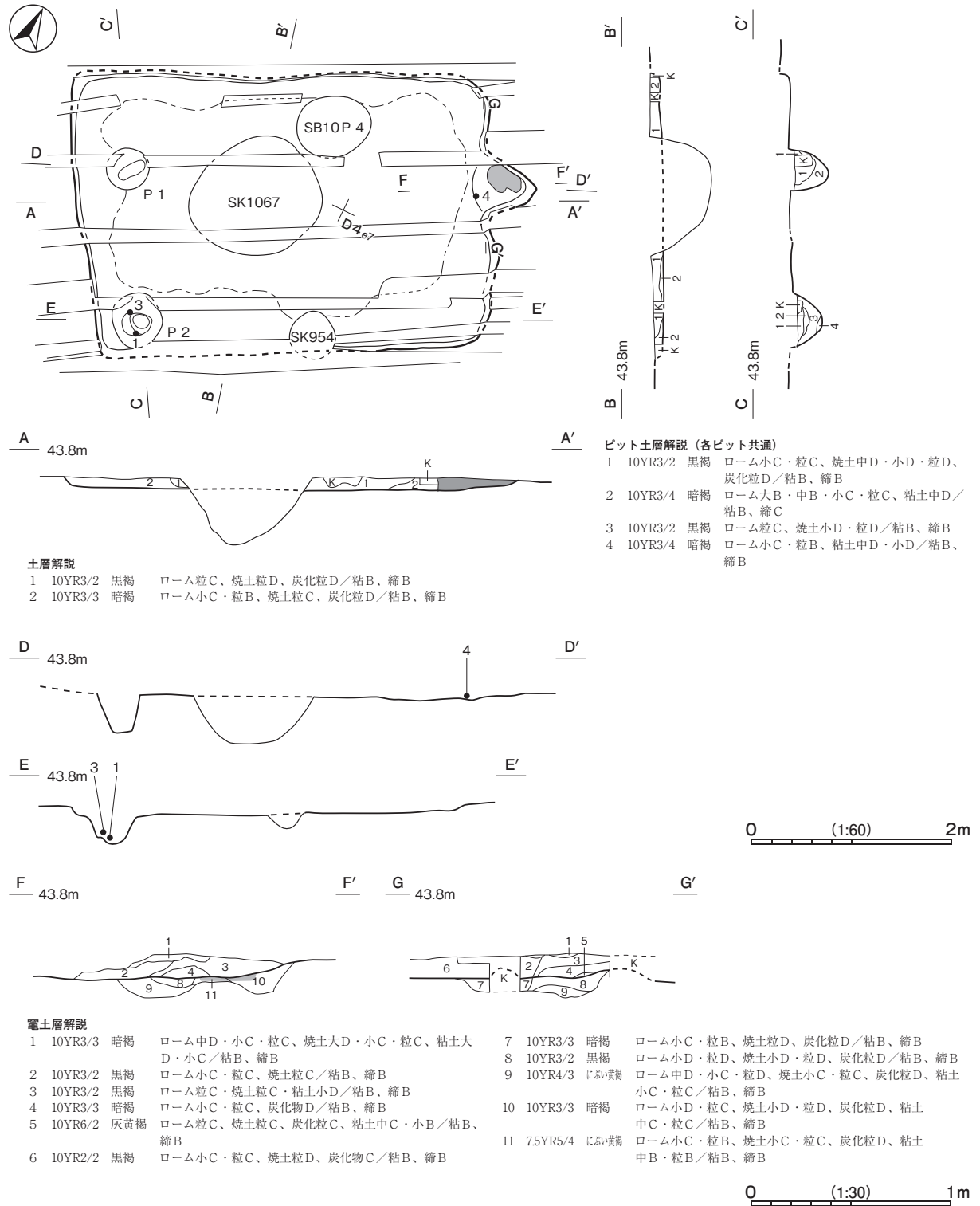
竈 東壁の中央部に位置している。焚口部から煙道部まで64cmで、燃焼部幅は58cmである。火床部は地山を14cmほど掘りくぼめ、第7～11層を埋土して整地している。火床面は床面とほぼ同じ高さで、第10・11層上面が赤変硬化している。袖部は確認できなかった。煙道部は壁外に50cmほど張り出し、火床面から緩やかに立ち上がっている。

ピット 2か所。P1は深さ36cmで、配置から出入口施設に伴うピットである。P2は南コーナー部に位置し、深さ28cmで、性格不明である。

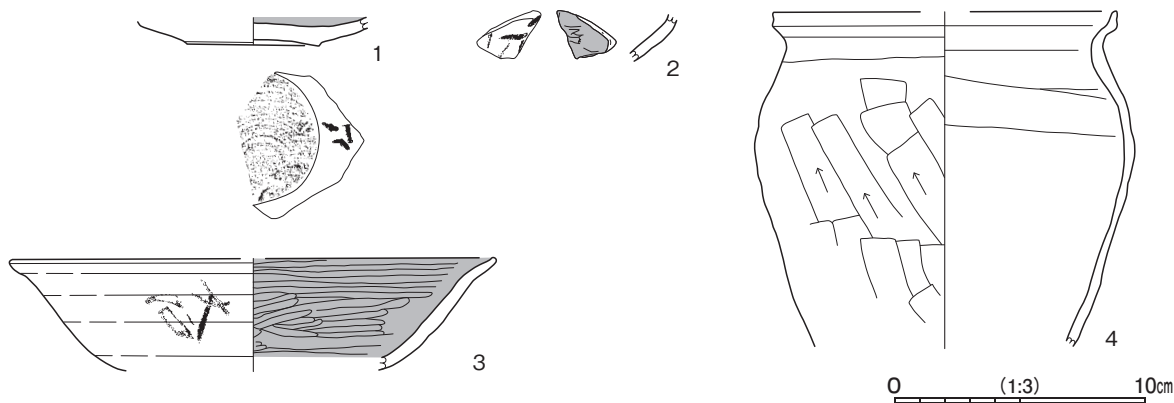
覆土 2層に分層できる。周囲からの流入を示す堆積状況を呈することから、自然堆積である。

遺物出土状況 土師器片 252 点（坏 59、高台付椀 2、甕 191）、須恵器片 11 点（坏 3、蓋 1、甕 7）、灰釉陶器片 1 点（瓶）が出土している。ほかに混入した縄文土器片 1 点（深鉢）、弥生土器片 7 点（広口壺）が出土している。1・3はP 2の覆土中層から、2は覆土中から、4は竈前方部の床面から、それぞれ出土している。

所見 時期は、重複関係や出土土器から 10 世紀前葉である。



第 306 図 第 165 号竪穴建物跡実測図



第 307 図 第 165 号竪穴建物跡出土遺物実測図

第 169 表 第 165 号竪穴建物跡出土遺物一覧 (第 307 図)

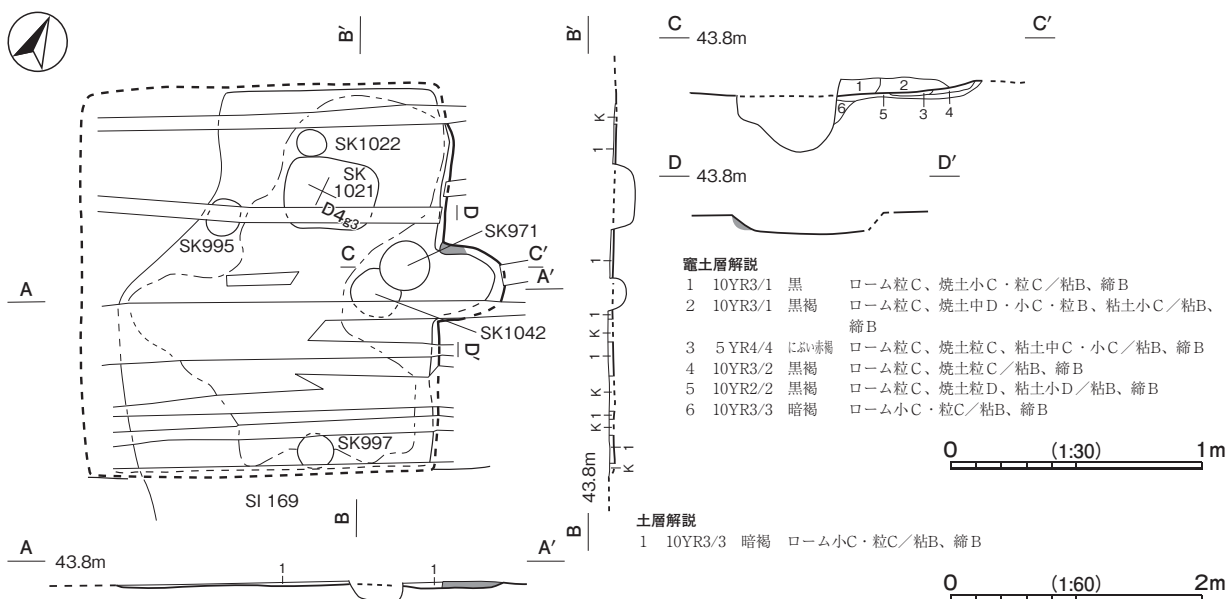
番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	特徴	出土位置	備考
1	土師器	坏	-	(1.10)	(5.40)	長石・石英	にぶい褐	普通	底部回転糸切り後ナデ	P 2 覆土中層	10% 墨書 PL102 「□」
2	土師器	坏	-	(1.90)	-	長石・石英	にぶい橙	普通	体部内面ヘラ磨き	覆土	5% 墨書 PL102 「正」
3	土師器	高台付碗	(1.92)	(4.50)	-	長石・石英	にぶい褐	普通	体部外面ロクロナデ 内面ヘラ磨き	P 2 覆土中層	20% 墨書 PL102 「□□」
4	土師器	甕	[13.6]	(13.3)	-	長石・石英・赤色 粒子・黒色粒子	にぶい赤褐	普通	口縁部内外面横ナデ 体部外面ヘラ削り 内 面ヘラナデ	床面	20% PL91

第 167 号竪穴建物跡 (第 308 図 PL45)

位置 E 区中央部の D 4g2 区、標高 44 m ほどの平坦な台地上に位置している。

重複関係 第 169 号竪穴建物跡、第 12・15 号掘立柱建物跡を掘り込み、第 971・995・997・1021・1022・1042 号土坑に掘り込まれている。

規模と形状 削平のため、遺存している硬化面の範囲から、確認できた規模は北西・南東軸 2.90 m、北東・南西軸 2.62 m である。主軸方向は N - 65° - E の方形か長方形と推定できる。壁は高さ 6 cm ほどで、外傾している。



第 308 図 第 167 号竪穴建物跡実測図

床 平坦で、壁際を除く全面が硬化している。

竈 北東壁に位置している。確認できた規模は焚口部から煙道部まで50cmで、燃焼部幅は40cmである。竈は地山を10cmほど掘りくぼめ、第3～6層を埋土して整地している。火床部は床面とほぼ同じ高さである。火床面は、赤変硬化していない。煙道部は壁外に50cmほど張り出し、緩やかに立ち上がっている。

覆土 単一層である。層厚がないため、堆積状況は不明である。

遺物出土状況 土師器片26点(坏18、高台付椀4、甕4)、須恵器片2点(坏1、甕1)が出土している。遺物は、竈周辺の覆土下層から散在した状態で出土している。遺物は、細片のため図示できない。

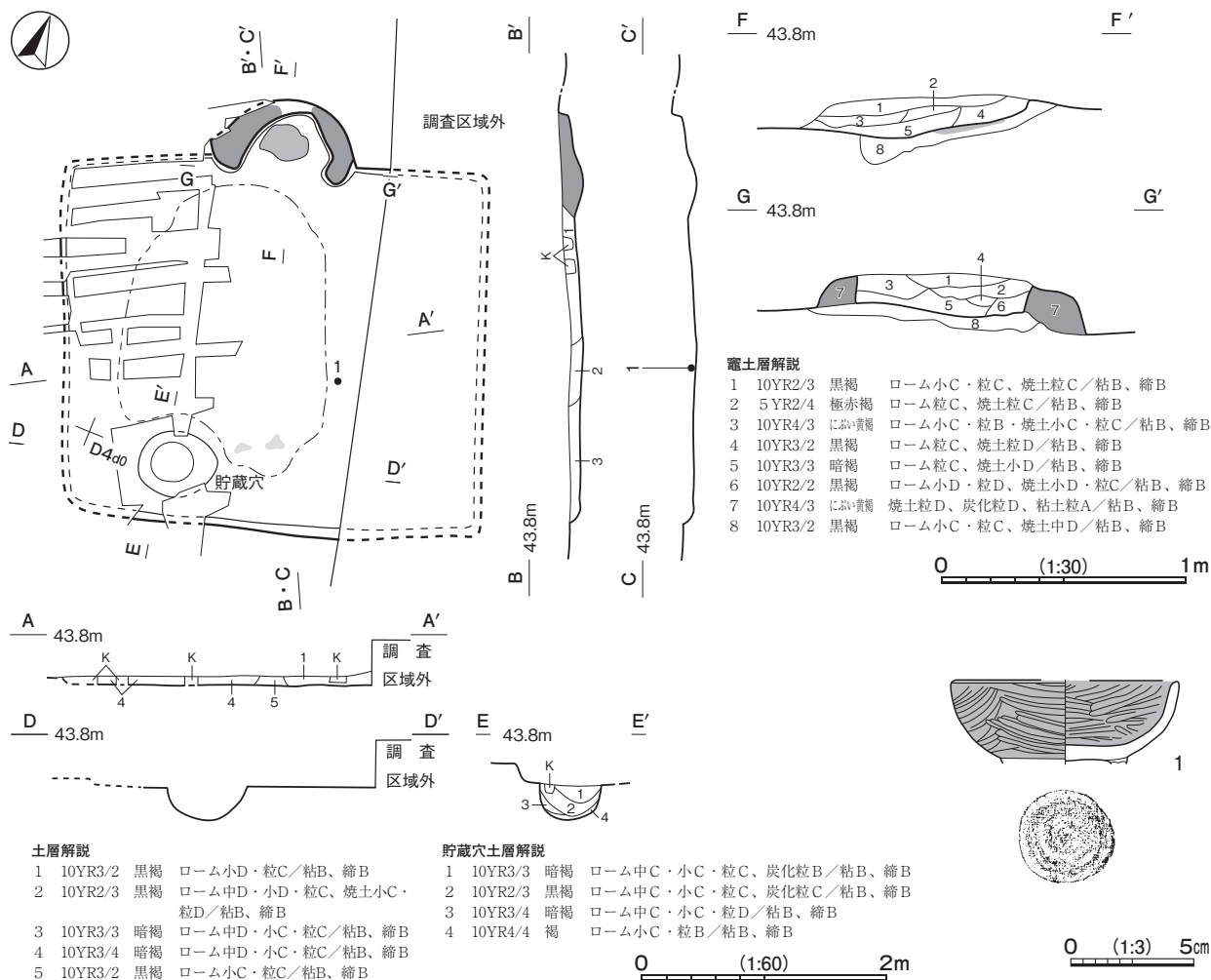
所見 時期は、出土土器から10・11世紀代と考えられる。

第178号竪穴建物跡 (第309図 PL45・91)

位置 E区中央部のD4c0区、標高44mほどの平坦な台地上に位置している。

規模と形状 西部は攪乱、東部が調査区域外のため、確認できた規模は、南北軸3.02m、東西軸2.58mである。主軸方向はN-20°-Wの方形か長方形と推定できる。壁は高さ8cmで、外傾している。

床 ほぼ平坦で、確認した範囲は竈に向かって高くなっている。中央部から西側寄りが硬化している。



第309図 第178号竪穴建物跡・出土遺物実測図

竈 北壁の中央部に位置していると推定できる。規模は焚口部から煙道部まで73cmで、燃烧部幅は68cmである。竈は地山を3～11cm掘りくぼめ、第8層を埋土して整地している。袖部は地山の上に粘土ブロックを含んだ第7層を積み上げて構築している。火床部は不定形で中央部がややくぼみ、火床面は赤変硬化している。煙道部は壁外に50cmほど張り出し、火床面から外傾して立ち上がっている。

貯蔵穴 南西コーナー部に位置している。長径65cm、短径55cmの楕円形で、深さ28cmである。底面は皿状で、壁は外傾している。4層に分層でき、ロームブロックを含んでいることから、人為堆積である。

覆土 5層に分層できる。ロームブロックを含んでいることや不規則な堆積状況を呈することから、人為堆積である。

遺物出土状況 土師器片65点（坏30、高台付坏3、高台坏碗2、甕30）、須器片3点（甕）、石器1点（砂岩製砥石）が出土している。遺物は、主に竈周辺の覆土上層から散在した状態で出土している。1は中央部の床面から出土している。

所見 時期は、出土土器から10世紀中葉である。

第170表 第178号竪穴建物跡出土遺物一覧（第309図）

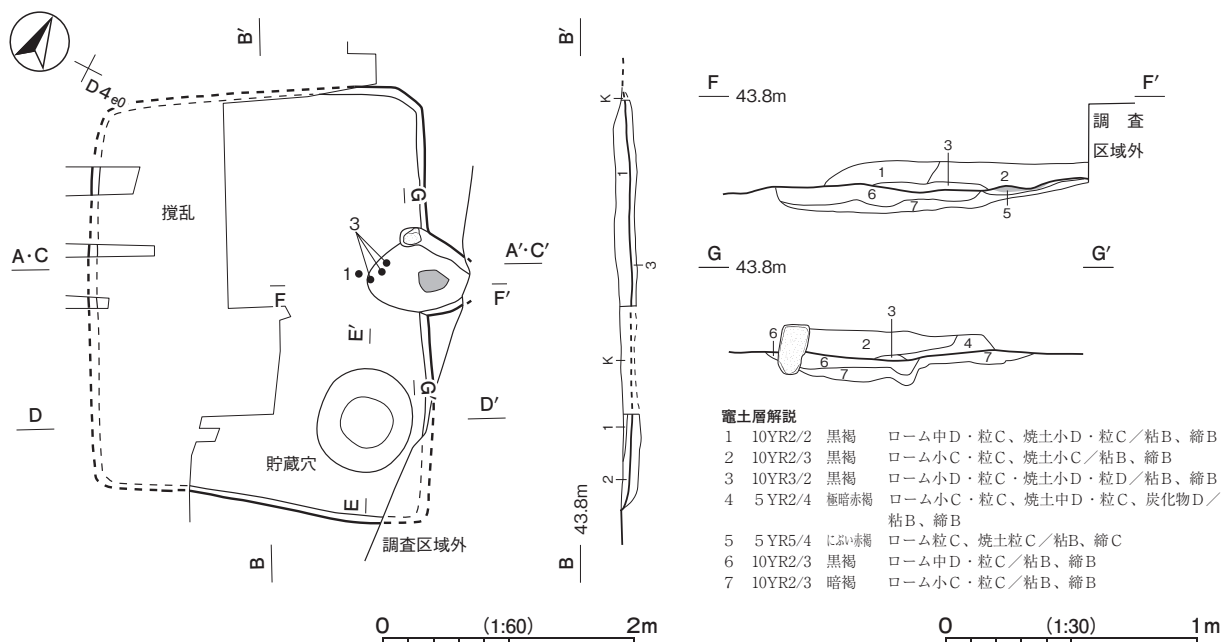
番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	特徴	出土位置	備考
1	土師器	高台坏碗	[9.2]	(3.4)	[4.8]	長石・石英	褐	普通	体部内外面ヘラ磨き 高台部欠損	床面	60% PL91

第180号竪穴建物跡（第310・311図 PL45・91・102）

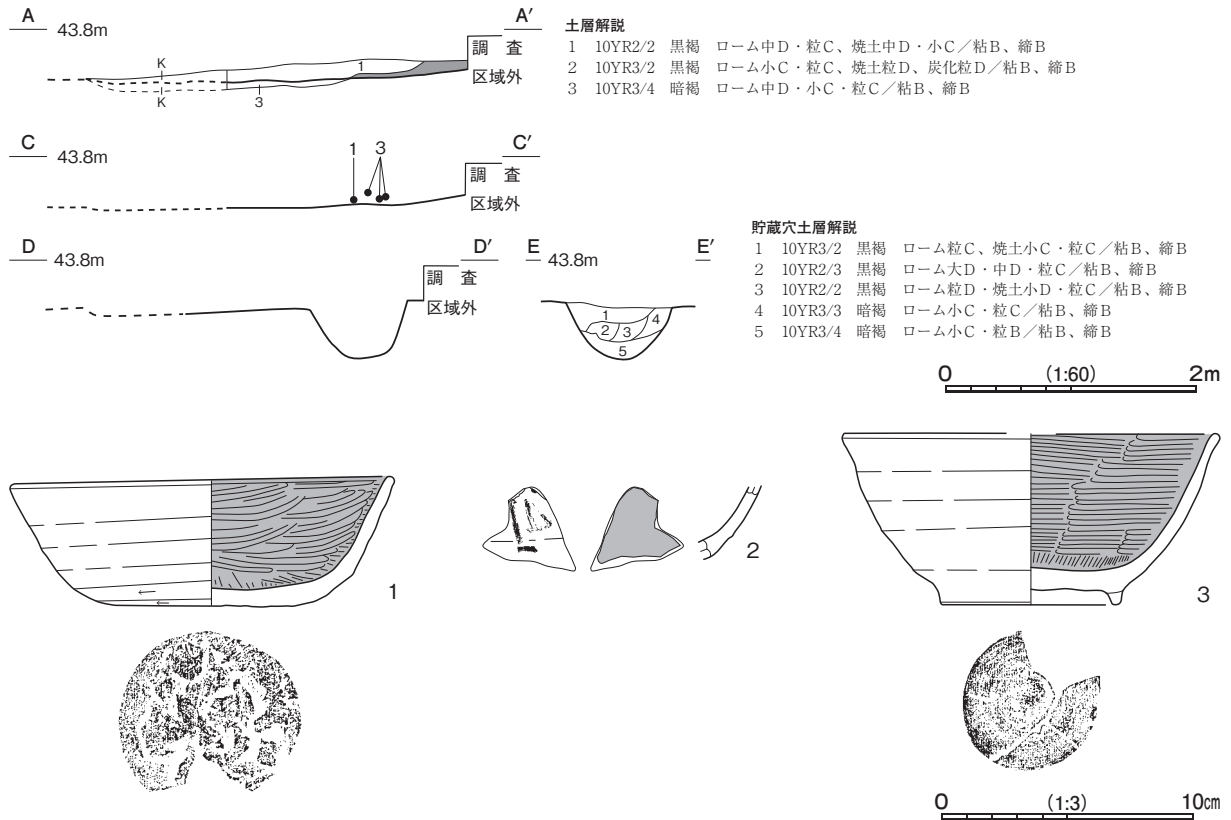
位置 E区中央部のD4e0区、標高44mほどの平坦な台地上に位置している。

規模と形状 西部は攪乱、南東部が調査区域外のため、確認できた規模は、長軸3.40m、短軸2.64mである。主軸方向はN-64°-Eの不整長方形と推定できる。壁は高さ5～10cmほどで、外傾している。

床 やや凹凸がある。硬化していない。



第310図 第180号竪穴建物跡実測図



第 311 図 第 180 号竪穴建物跡・出土遺物実測図

竈 北東壁の中央部に位置している。確認できた規模は焚口部から煙道部まで82cmで、燃焼部幅は52cmである。竈は地山を4～26cm掘りくぼめ、第5～7層を埋土して整地している。袖部は左袖部に、凝灰質泥岩の切石を芯材として使用している。火床部は中央部がややくぼみ、火床面は赤変硬化している。煙道部は壁外に約50cm張り出し、火床面から緩やかに立ち上がっていると推定できる。

貯蔵穴 南東壁コーナー部寄りに位置している。長径82cm、短径74cmの楕円形で、深さ42cmである。底面は皿状で、壁は外傾している。5層に分層でき、ロームブロックを含んでいることから、人為堆積である。

覆土 2層に分層できる。ロームブロックを含んでいることから、人為堆積である。

遺物出土状況 土師器片68点（坏36、高台付碗2、甕30）、須恵器片2点（坏、甕）が出土している。土器は、主に竈周辺の覆土上層から散在した状態で出土している。1は中央部の覆土下層から、2は竈付近の覆土中から、それぞれ出土している。3は中央部の覆土中層から下層にかけて破片3点が接合したものである。

所見 時期は、出土土器から9世紀中葉である。

第 171 表 第 180 号竪穴建物跡出土遺物一覧（第 311 図）

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	特徴	出土位置	備考
1	土師器	坏	14.8	5.2	7.2	長石・石英・赤色粒子	にぶい褐	普通	口縁部・体部外面ロクロナデ 体部下端ヘラ削り 内面ヘラ磨き 底部回転ヘラ切り後ヘラナデ	覆土下層	80% PL91
2	土師器	坏	-	(2.9)	-	長石・石英・雲母・黒色粒子・細礫	にぶい黄橙	普通	体部外面ロクロナデ 内面ヘラ磨き	覆土	5% 墨書「□」 PL102
3	土師器	高台付碗	[15.0]	6.7	7.2	長石・石英	にぶい橙	普通	口縁部・体部外面ロクロナデ 内面ヘラ磨き 体部下端ヘラ削り 底部回転ヘラ削り後高台貼付け	覆土中・下層	60% PL91

第 172 表 平安時代竪穴建物跡一覽

番号	位置	主軸方向	平面形	規模 長軸×短軸(m)	壁高 (cm)	床面	壁溝	内部施設					覆土	主な出土遺物	時期	備考
								主柱穴	出入口	ビット	炉・竈	貯蔵穴				
10	J 4e1	N-47°-W	長方形	3.58 × 3.16	37 ~ 43	ほぼ平坦	全周	-	1	-	北西壁	-	人為	土師器 須恵器	9世紀後葉	
11	J 4e4	N-39°-E	[長方形]	(2.50 × 2.20)	20 ~ 25	平坦	-	-	1	-	北東壁	-	人為	土師器 不明鉄製品	10世紀中葉	
18	I 4a2	N-119°-W	不整形	2.65 × 2.54	8 ~ 15	平坦	-	-	-	4	南西壁	-	人為	土師器 須恵器	9世紀後葉	SI19 → 本跡
19	I 4a3	N-26°-W	方形	5.54 × 5.13	38 ~ 52	平坦	全周	12	1	10	北西壁	-	人為	土師器 鎌 刀子 鐵釘 椀形滓	9世紀中葉	SI27 → 本跡 → SI18、 SK111・127
20	I 4a5	N-26°-W	方形	3.02 × 2.96	20 ~ 28	平坦	全周	4	1	-	北西壁	-	人為	土師器 須恵器	9世紀後葉	SI27 → 本跡
21	I 4b5	N-59°-E	長方形	2.65 × 2.22	5 ~ 12	平坦	全周	-	-	-	北東壁	-	人為	土師器 須恵器	10世紀前葉	本跡 → SK94・96・ 97
22	I 4b5	N-29°-W	長方形	3.05 × 2.64	14 ~ 20	凹凸	ほぼ全周	-	1	-	北西壁	-	人為	土師器	9世紀後葉	SI23・SK98 → 本跡
23	I 4b5	N-28°-W	長方形	2.90 × 2.55	20	平坦	[全周]	2	1	-	-	-	人為	土師器 須恵器 管状土錘	9世紀中葉	SK98 → 本跡 → SI22
24	H 4j6	N-71°-E	方形	3.60 × 3.32	20 ~ 30	平坦	一部	3	1	-	北東壁	-	人為	土師器 須恵器 石製紡錘車	9世紀後葉	SI26 → 本跡
26	H 4i6	N-39°-W	長方形	3.52 × 2.90	12 ~ 19	平坦	-	-	-	-	北西壁	-	自然	土師器 須恵器	9世紀中葉	本跡 → SI24、 SK150・151・156
28	H 4i3	N-20°-W	方形	2.85 × 2.85	16 ~ 24	平坦	-	4	-	-	北壁	-	人為	土師器 須恵器 管状土錘	9世紀後葉	
29	H 4h4	N-61°-E	長方形	3.48 × 2.91	3 ~ 10	ほぼ平坦	全周	-	-	-	北東壁	-	人為	土師器 刀子 不明鉄製品	10世紀後葉	本跡 → SI124 ・128・145
30	H 4h5	N-22°-W	方形	3.00 × 2.92	19	やや凹凸	ほぼ全周	-	-	-	北壁	-	人為	土師器 須恵器 灰釉陶器 石製支脚 釘 不明鉄製品	9世紀後葉	SI31 → 本跡 → SK130
32	H 4c5	N-20°-W	方形	3.28 × 3.10	14 ~ 20	ほぼ平坦	ほぼ全周	3	-	-	北壁	-	自然	土師器 須恵器 有孔丹板 石製支脚	9世紀中葉	SI33 → 本跡
34	H 4e6	N-30°-W	長方形	3.04 × 2.64	8 ~ 10	ほぼ平坦	-	2	-	-	北西壁	-	人為	土師器 須恵器 灰釉陶器	9世紀中葉	SI33 → 本跡 → SK142・143
35	H 4g2	N-73°-E	方形	2.74 × 2.72	3	傾斜	ほぼ全周	-	-	-	東壁	-	不明	土師器 須恵器	10世紀代	本跡 → SK123・ 144
36	H 4f4	N-58°-E	方形	4.03 × 4.02	30 ~ 35	平坦	-	-	1	-	北東壁	-	人為	土師器 須恵器 石製支脚	9世紀中葉	本跡 → SI40
38	H 4e3	N-27°-W	隅丸方形	2.46 × 2.37	4 ~ 8	ほぼ平坦	-	-	-	-	北西壁	-	不明	土師器 須恵器	9世紀後葉	本跡 → SK139
39	H 4d2	N-17°-W	[方形・長方形]	2.97 × (2.30)	34 ~ 38	ほぼ平坦	-	-	1	1	-	-	人為	土師器 須恵器 砥石 刀子 鏡前	9世紀中葉	本跡 → SK147
40	H 4f4	N-72°-E	長方形	2.42 × 2.12	4	凹凸	-	-	-	-	東壁	-	不明	土師器	9世紀中葉	SI36 → 本跡 → SK158
42	J 3e0	N-36°-W	長方形	3.06 × 2.58	28 ~ 40	やや凹凸	ほぼ全周	-	-	-	北西壁	-	人為	土師器 須恵器 灰釉陶器	9世紀中葉	SI75 → 本跡 → SK164
43	H 4b8	N-26°-W	長方形	3.92 × 3.28	24 ~ 36	平坦	ほぼ全周	-	1	-	北西壁	-	自然	土師器 須恵器 石製紡錘車	9世紀後葉	SI44 → 本跡
44	H 4b8	N-55°-E	長方形	3.68 × 3.30	32 ~ 37	平坦	ほぼ全周	-	1	-	-	-	人為	土師器 須恵器	9世紀中葉	本跡 → SI43
45	H 4i5	N-68°-E	方形	3.06 × 3.05	3 ~ 6	平坦	-	-	-	-	東壁	-	自然 人為	土師器 須恵器 石製支脚	9世紀後葉	本跡 → SK268 ~ 270、PG45
46	G 4j8	N-73°-E	方形	3.43 × 3.32	15 ~ 23	平坦	ほぼ全周	-	-	-	東壁	-	人為	土師器 須恵器 土製紡錘車	9世紀後葉	
47	G 4f5	N-72°-E	方形	3.43 × 3.36	16 ~ 25	平坦	ほぼ全周	-	-	-	南西壁 東壁	1	人為	土師器	10世紀中葉	本跡 → PG44
48	G 4f4	N-69°-E	方形	3.04 × 2.80	16 ~ 34	平坦	-	-	-	-	東壁	-	自然	土師器 石製支脚	10世紀後葉	SI49 → 本跡
49	G 4e4	N-33°-W	長方形	3.21 × 2.84	38 ~ 42	平坦	-	-	-	-	北西壁	-	人為	土師器 須恵器	9世紀後葉	本跡 → SI48
50	G 4d2	N-39°-W	方形	3.27 × 3.20	50	平坦	一部	-	1	-	北西壁	1	人為	土師器 須恵器 石製紡錘車	9世紀中葉	
51	G 4j4	N-62°-E	方形	2.60 × 2.55	6 ~ 15	有段	ほぼ全周	-	-	-	北西壁	1	自然	土師器 須恵器 石製支脚	9世紀中葉	本跡 → SK186
52	H 4c6	N-34°-W	方形	4.15 × 3.80	20 ~ 30	平坦	-	-	1	-	北西壁	-	人為	土師器 須恵器 灰釉陶器 刀子	9世紀後葉	SI33 → 本跡 → SI60、 SK251、SD16・17
53	G 4b4	-	不明	-	-	平坦	-	-	-	-	東壁	-	不明	土師器	10世紀後葉	本跡 → SD19
54	G 4d3	N-35°-W	方形	2.90 × 2.65	38 ~ 50	ほぼ平坦	-	-	1	-	北西壁	-	人為	土師器 須恵器	9世紀前葉	本跡 → PG44
55	G 4d8	N-77°-E	長方形	3.52 × 3.14	20	やや凹凸	-	-	-	-	東壁	1	人為	土師器 須恵器 石製支脚	9世紀中葉	SI78 → 本跡 → SB1
56	G 4b0	N-9°-W	[方形・長方形]	5.60 × (3.34)	42 ~ 55	平坦	一部	2	1	1	北壁	-	人為	土師器 須恵器 管 状土錘 刀子 鉄滓	9世紀中葉	本跡 → SI57・77、 SB 4、PG43
57	G 4b9	N-69°-E	方形	3.60 × 3.50	16 ~ 23	平坦	-	-	-	-	東壁	-	人為	土師器 須恵器	10世紀前葉	SI56、SB 4、SK287 → 本跡 → SK258 ~ 260
58	G 4a6	N-23°-W	[方形]	4.02 × 3.95	40	平坦	-	-	-	-	北西壁	-	人為	土師器 須恵器 土鈴	9世紀前葉	本跡 → SI79、SB 2・3
59	G 4c9	N-69°-E	隅丸長方形	3.74 × 2.82	8 ~ 23	平坦	-	-	-	-	東壁	-	人為	土師器	10世紀中葉	SI78、SB 4 → 本跡 → SK253、PG43
60	H 4c6	N-70°-E	隅丸方形	2.75 × 2.52	20 ~ 25	平坦	一部	-	-	-	東壁	-	人為	土師器 須恵器 石製支脚	10世紀前葉	SI52 → 本跡 → SD16・17
61	G 4a9	N-75°-E	方形	3.53 × 3.22	17 ~ 23	平坦	ほぼ全周	-	-	-	東壁	-	人為	土師器 須恵器 緑釉陶器 灰釉陶器	10世紀前葉	SI62 → 本跡 → SK196・273
64	F 4i9	N-28°-W	方形	3.70 × 3.55	23 ~ 28	平坦	全周	-	1	-	北西壁	-	人為	土師器 須恵器	9世紀中葉	本跡 → PG43
65	F 4j7	N-27°-W	[長方形]	(3.95) × (3.48)	23 ~ 30	ほぼ平坦	-	-	1	-	北西壁	-	人為	土師器 須恵器 刀子	9世紀前葉	SI63 → 本跡 → SI66
66	F 4i7	N-32°-W	方形	3.78 × 3.76	36 ~ 40	平坦	-	-	-	-	北西壁	-	人為	土師器 須恵器 刀子	9世紀中葉	SI65・79 → 本跡 → SI67、SK244
67	F 4i7	N-25°-W	[方形・長方形]	3.03 × (1.50)	10 ~ 16	平坦	-	-	-	-	北西壁	-	人為	土師器 刀子	10世紀中葉	SI66 → 本跡
69	F 4f8	N-5°-W	方形	4.10 × 4.00	28 ~ 30	平坦	一部	-	1	-	北壁	-	人為	土師器 須恵器	10世紀前葉	SI68・SK218 → 本跡
70	F 4f7	N-1°-E	方形	4.32 × 4.10	34 ~ 40	平坦	ほぼ全周	-	1	-	北壁	-	人為	土師器 須恵器	9世紀後葉	SI71A・B → 本跡
71 A	F 4f7	N-64°-E	長方形	4.38 × 3.97	15	平坦	-	-	-	-	北東壁	-	人為	土師器 須恵器	9世紀中葉	SI71B、SK283 → 本跡 → SI70、SK281
71 B	F 4f7	N-69°-E	方形	(3.70 × 3.55)	10 ~ 15	平坦	-	-	-	-	-	-	人為	土師器 須恵器	9世紀前葉	SK283 → 本跡 → SI70・ 71A、SK281

番号	位置	主軸方向	平面形	規模		壁高 (cm)	床面	壁溝	内部施設						覆土	主な出土遺物	時期	備考
				長軸×短軸(m)					主柱穴	出入口	ピット	炉・竈	貯蔵穴					
72	F 4e3	N-17°-W	方形	3.02 × 2.85	12~20	平坦	-	-	1	-	北壁	1	人為	土師器 須恵器	9世紀中葉	本跡→SB 5、PG42		
74	F 4d4	N-73°-E	方形	3.18 × 2.99	3~5	平坦	-	-	-	-	東壁	1	人為	土師器	10世紀中葉	本跡→SK275		
75	J 3e9	N-48°-W	長方形	(2.50) × 2.06	23~26	ほぼ平坦	-	-	-	-	北西壁	-	人為	土師器 須恵器	9世紀中葉	本跡→SI42		
77	G 4d9	N-68°-E	方形	2.65 × 2.55	10~32	平坦	-	-	-	-	東壁	-	自然	土師器 須恵器 灰釉陶器	9世紀後葉	SI56・78、SK291→ 本跡		
79	F 4j6	N-28°-W	長方形	3.44 × (2.82)	12~13	ほぼ平坦	-	-	-	-	-	-	人為	土師器 須恵器	9世紀中葉	SI58→本跡→SI66		
80	F 4a1	N-26°-W	[方形・長方形]	2.21 × 1.52	8~12	平坦	-	-	-	-	-	1	人為	土師器	10世紀前葉			
82	E 4f1	N-28°-W	[方形・長方形]	4.65 × (2.15)	36	平坦	全周	5	1	-	-	-	人為	土師器 須恵器	9世紀中葉	SK343・346→本跡 →SK321~323		
83	E 4i3	N-72°-E	[方形・長方形]	(3.00) × 2.85	6~10	平坦	-	-	-	-	東壁	-	不明	土師器 須恵器 灰釉陶器	9世紀後葉	SI85→本跡		
84	E 4c1	N-12°-W	長方形	5.15 × (4.60)	27	ほぼ平坦	-	-	-	-	-	-	人為	土師器	10世紀中葉	SI97→本跡→第5号壁穴遺蹟、 SK170・338・339・347・869		
88	C 4i9	N-38°-W	[方形・長方形]	4.35 × (2.02)	32~45	凹凸	-	-	-	-	-	-	自然	土師器 須恵器 鎌 鋤先 鍵 不明鉄製品	9世紀後葉	TM 3→本跡		
89	C 4c4	N-55°-E	長方形	2.80 × 2.65	4~20	ほぼ平坦	-	-	-	-	北東壁	2	自然	土師器 須恵器 鉄鎌 不明鉄製品	10世紀前葉	TM 2→本跡		
92	F 4g0	N-65°-E	方形	4.13 × 3.95	32	平坦	-	-	-	-	北東壁	1	人為	土師器 鉄鎌	10世紀後葉	SI110、SK404~406→ 本跡→SK683・685		
93	F 5g1	N-20°-W	長方形	(3.15) × 2.62	28~32	平坦	-	-	-	1	北壁	1	自然	土師器 手鎌	10世紀中葉	SI110→本跡		
94	F 4c8	N-67°-E	[長方形]	4.63 × 3.85	35	平坦	-	-	-	-	東壁	-	人為	土師器 須恵器 鑿 不明鉄製品	10世紀前葉	本跡→SK402・ 888		
95	B 3j9	N-5°-W	方形	3.77 × 3.44	10	ほぼ平坦	一部	-	-	-	北壁	-	自然	土師器 須恵器	9世紀後葉	SK428→本跡 →SK364・373		
96	C 3a0	N-71°-E	[長方形]	(2.58) × 2.40	14	ほぼ平坦	-	-	-	-	東壁	-	人為	土師器	10世紀後葉	SI97→本跡		
97	C 3b0	N-17°-W	方形	3.23 × 3.20	28	平坦	-	-	1	-	北壁	-	人為	土師器 刀子	10世紀中葉	SK496→本跡→SI96		
98	D 3d0	N-61°-E	[方形・長方形]	2.80 × (2.52)	-	平坦	-	-	-	-	北東壁	-	不明	土師器	10世紀中葉	SI128→本跡		
100	B 3h7	N-44°-E	[方形・長方形]	(2.37 × 1.60)	13~50	平坦	-	-	-	-	北東壁	-	自然	土師器	9世紀後葉	SK367→本跡		
102	F 5b2	N-2°-W	[方形・長方形]	3.55 × (1.88)	8~43	ほぼ平坦	-	-	-	1	-	-	自然	土師器 須恵器 鎌	10世紀後葉			
103	F 5a1	N-69°-E	長方形	3.10 × 2.68	8~14	平坦	-	-	-	2	東壁	1	不明	土師器 刀子 鉄鎌	10世紀後葉	SI104→本跡		
105	C 4a3	N-73°-E	[方形]	2.95 × 2.81	8~12	ほぼ平坦	-	-	-	-	東壁	1	自然	土師器	11世紀前葉	SI106、TM 2→本跡		
106	C 4a3	N-50°-E	[方形・長方形]	(2.80 × 1.90)	8	平坦	-	-	-	-	北東壁	-	人為	土師器	10世紀中葉	TM 2→本跡→SI105		
108	B 4j2	N-60°-E	長方形	3.95 × 2.88	12~14	ほぼ平坦	-	-	-	2	東壁	1	人為	土師器 灰釉陶器 鉄鎌 釘 椀形浮	10世紀後葉	SK493→本跡		
111	B 4h2	N-65°-E	[方形・長方形]	(2.73 × 2.62)	-	平坦	-	-	1	-	東壁	1	不明	土師器	10世紀代	TM 1→本跡		
113	C 4c3	N-61°-E	[方形・長方形]	(2.67 × 1.83)	-	凹凸	-	-	-	-	北西壁	-	不明	土師器 灰釉陶器 鉄鎌	10世紀中葉	TM 2→本跡		
116	C 4f2	N-77°-E	[方形・長方形]	(3.85 × 2.30)	-	ほぼ平坦	-	-	-	-	東壁	-	不明	土師器	11世紀前葉	SK555・556→本跡		
120	C 4c1	N-69°-E	[長方形]	4.50 × 3.67	6	平坦	-	3	-	4	東壁	-	人為	土師器 須恵器	10世紀前葉	SK510→本跡 →SK506・529		
121	C 4g2	N-76°-E	長方形	5.14 × 3.96	8~16	平坦	-	-	-	-	東壁	1	不明	土師器 灰釉陶器 鉄鎌 釘 不明鉄製品	11世紀前葉	SI134、SK511→本跡		
122	C 3h0	N-73°-E	長方形	(3.54) × 2.96	12	やや凹凸	-	-	-	-	東壁	2	人為	土師器 緑釉陶器 灰釉 陶器 砥石 鉄鎌	10世紀中葉	SI133、SK490→本跡		
131	D 3e0	N-92°-E	[長方形]	3.23 × (2.78)	24~30	平坦	-	-	-	-	東壁	-	自然	土師器 灰釉陶器 不明鉄製品 鉄滓	10世紀後葉	SK970・976・1023→ 本跡→SB14		
132	C 4e3	N-87°-E	長方形	4.45 × 3.42	20~25	平坦	ほぼ全周	-	-	-	東壁	1	人為	土師器	10世紀後葉			
133	C 4h1	N-35°-W	[長方形]	(3.28) × 3.10	20~25	平坦	-	-	-	1	北西壁	-	不明	土師器 須恵器 灰釉陶器	9世紀後葉	SI134→本跡→SI122、 SK545・546・551		
136	E 4e0	N-55°-E	[方形]	3.05 × (2.85)	2~14	ほぼ平坦	-	-	-	-	北東壁	-	人為	土師器 石製支脚	10世紀中葉			
138A	E 4b8	N-61°-E	隅丸方形	4.20 × (3.52)	10	ほぼ平坦	-	-	-	-	北東壁	-	人為	土師器 須恵器	9世紀中~後葉	SI138B・176・SK668・ 1130→本跡→SK1075		
138B	E 4b8	N-61°-E	方形	(3.28 × 3.26)	12	ほぼ平坦	-	-	-	-	-	1	人為	土師器 須恵器	9世紀中~後葉	SI176、SK668→本跡 →SI138A、SK1075		
140	E 4e6	N-32°-W	方形	4.85 × 4.65	10	ほぼ平坦	-	-	-	-	北西壁	-	不明	土師器 須恵器 灰釉 陶器 不明鉄製品	9世紀前葉	SI152、SK763→ 本跡→SK901		
142	E 5a1	N-19°-W	方形	2.63 × 2.51	4	ほぼ平坦	-	-	-	-	北壁	-	不明	土師器 須恵器	9世紀中葉	SI143→本跡 →SB17、SK981		
146	F 4a8	N-18°-W	方形	3.18 × 2.91	15~25	ほぼ平坦	全周	-	-	-	北壁	2	人為	土師器 須恵器	10世紀前葉			
148	D 4j1	N-23°-W	[方形・長方形]	7.32 × (4.64)	10~22	やや凹凸	一部	2	-	-	北西壁	-	人為	土師器 須恵器	9世紀前葉	SI157・158→本跡 →SK782		
149	E 4c3	N-25°-W	長方形	3.86 × 2.46	11	ほぼ平坦	-	-	-	-	北西壁	-	人為	土師器 須恵器 砥石	9世紀前葉	SI87、SK774・776→ 本跡→SK777・903		
150	D 4h3	N-26°-W	方形	5.40 × 5.10	28~35	やや凹凸	-	-	-	7	北西壁	-	人為	土師器 須恵器 石製紡錘車 砥石	9世紀後葉	SI158・169→本跡 →SK1013		
151	D 4i3	N-28°-W	長方形	6.10 × 5.85	15~20	平坦	一部	4	1	-	北西壁	-	人為	土師器 須恵器 釘 鉄鎌	9世紀中葉	SI158・159→本跡 →SK884・906・941・942		
159	E 4a4	N-33°-W	[方形・長方形]	(7.08 × 4.90)	4~14	平坦	一部	2	-	-	-	-	不明		9世紀中葉以前	本跡→SI151、SK788・789・876・877・ 879・881~884・888・906・1123		
163	D 4i5	N-26°-W	方形	3.92 × 3.65	20	ほぼ平坦	ほぼ全周	2	-	-	北西壁	-	人為	土師器 須恵器 灰釉陶 器 砥石 不明鉄製品	9世紀後葉	SK1072→本跡 →SB11、SK1015		
165	D 4e6	N-61°-E	長方形	4.08 × (2.70)	4~14	ほぼ平坦	-	-	1	1	北東壁	-	自然	土師器 須恵器 灰釉陶器	10世紀前葉	SB10→本跡 →SK954・1067		
167	D 4g2	N-65°-E	[方形・長方形]	(2.90 × 2.62)	6	平坦	-	-	-	-	東壁	-	不明	土師器 須恵器	10・11世紀代	SI189、SB12・15→本跡→SK971・ 995・997・1021・1022・1042		
178	D 4c0	N-20°-W	[方形・長方形]	3.02 × (2.58)	8	ほぼ平坦	-	-	-	-	北壁	1	人為	土師器 須恵器 砥石	10世紀中葉			
180	D 4e0	N-64°-E	[不整形方形]	3.40 × (2.64)	5~10	やや凹凸	-	-	-	-	北東壁	1	人為	土師器 須恵器	9世紀中葉			

(2) 掘立柱建物跡

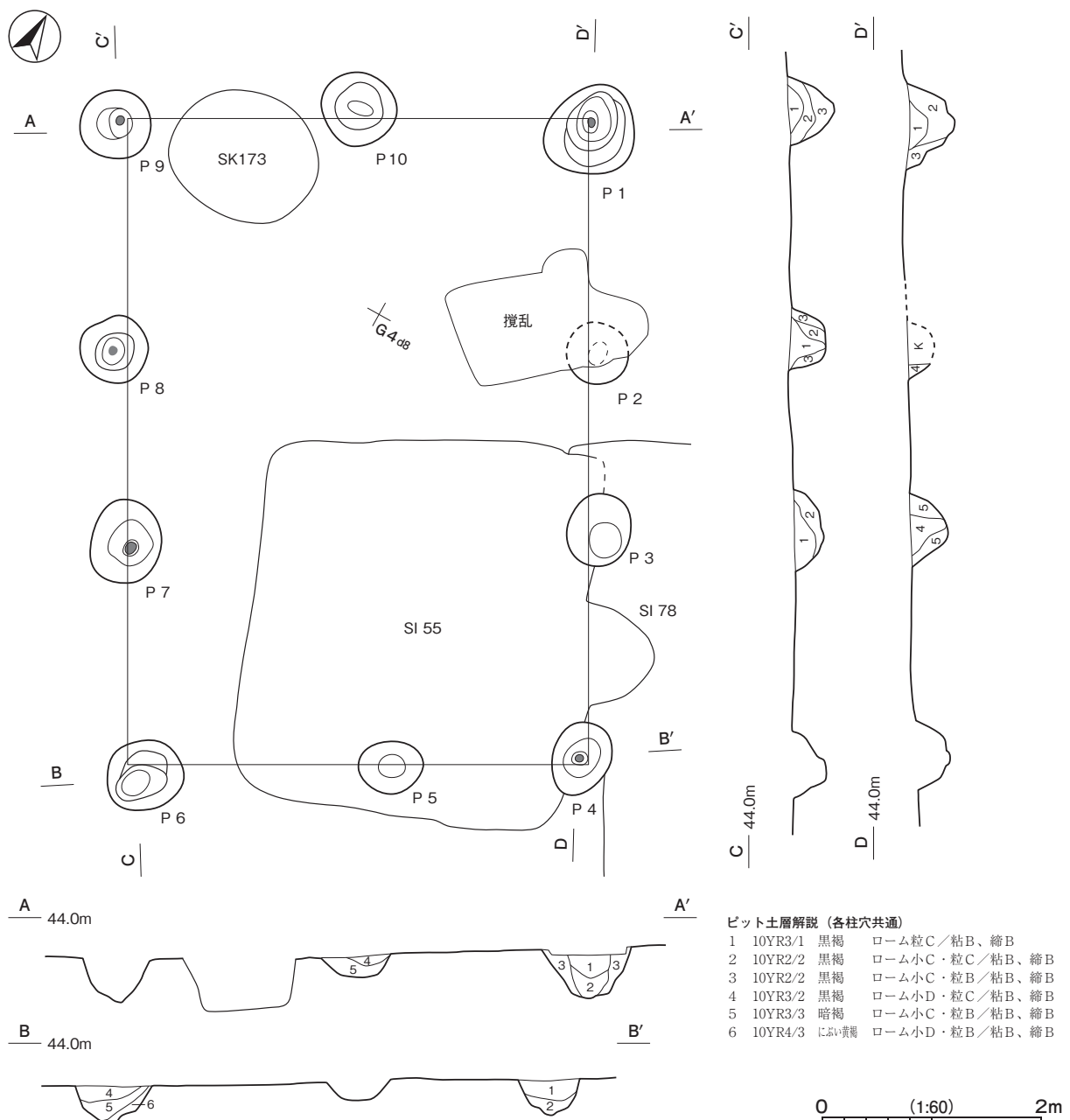
第1号掘立柱建物跡 (第312図)

位置 E区中央部のG4d7区、標高44mほどの平坦な台地上に位置している。

重複関係 第55・78号竪穴建物跡を掘り込んでいる。本跡範囲内の第173号土坑との関係は不明である。

規模と構造 桁行3間、梁行2間の側柱建物で、桁行方向がN-28°-Wの南北棟である。規模は、桁行5.84m、梁行4.20mで、面積は24.53㎡である。柱間寸法は、西桁行が北から2.11m、1.78m、1.95m、東桁行が北から2.15m、1.65m、2.04mで、北梁行が西から2.11m、2.09m、南梁行が西から2.39m、1.81mである。柱筋はやや不揃いである。

柱穴 10か所。平面形は円形と楕円形で、長径56~90cm、短径48~80cmである。深さは17~37cmである。覆土は、いずれも柱抜き取り後の流入土である。P1・P4・P7~P9の底面で、柱の当たりを確認した。



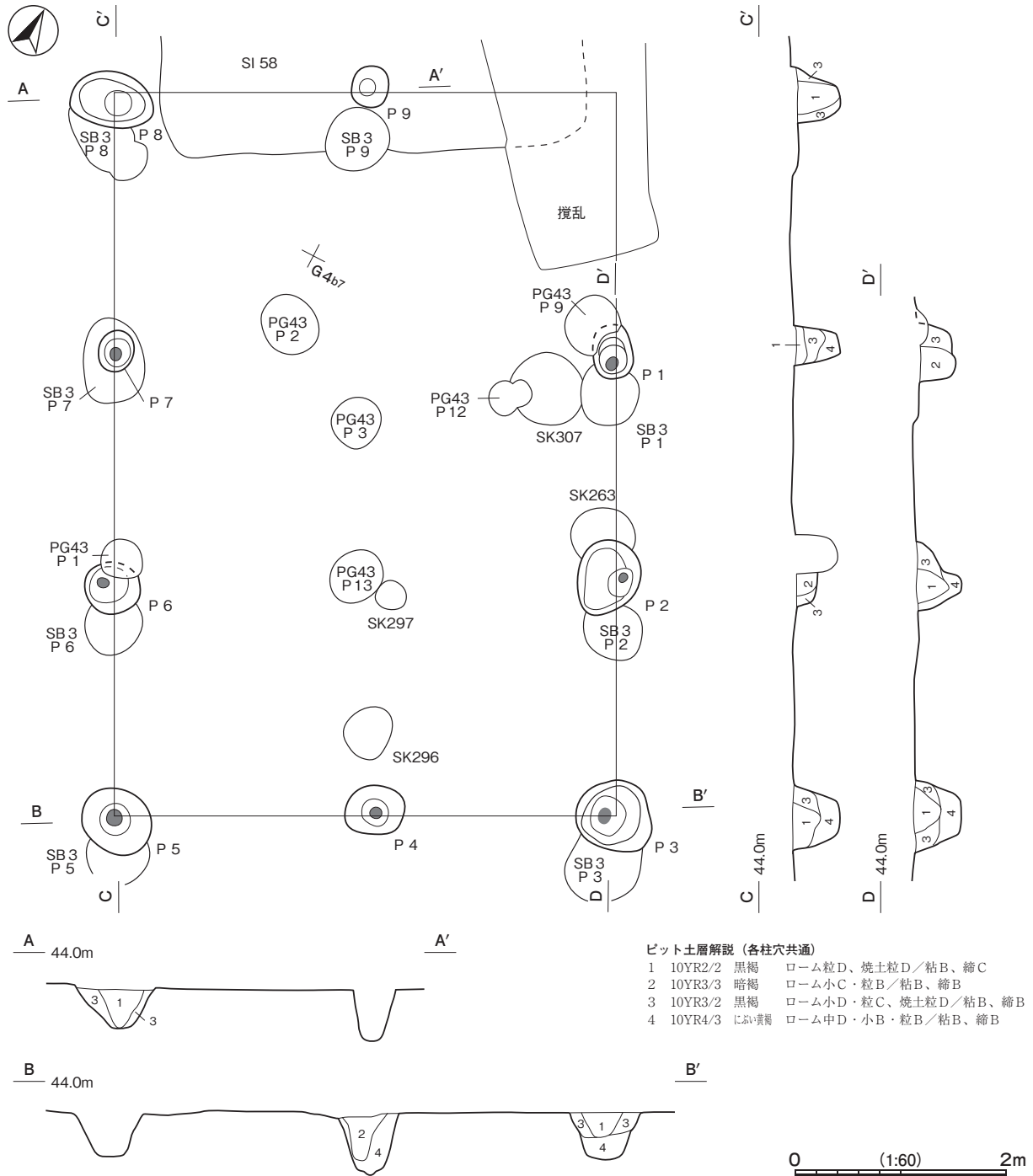
第312図 第1号掘立柱建物跡実測図

遺物出土状況 混入した土師器片2点(甕)が、P 9・P 10の覆土中から出土している。

所見 時期は、9世紀後葉の第55号竪穴建物跡との重複関係から、10世紀前葉である。

第2号掘立柱建物跡 (第313・314図 PL45)

位置 E区中央部のG 4 b7区、標高44 mほどの平坦な台地上に位置している。



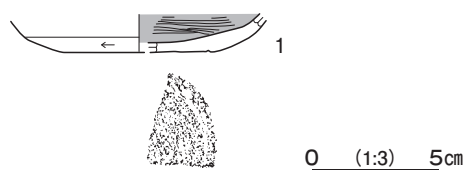
第313図 第2号掘立柱建物跡実測図

重複関係 第58号竪穴建物跡、第3号掘立柱建物跡、第263・307号土坑を掘り込み、第43号ピット群に掘り込まれている。本跡範囲内の第296・297号土坑との関係は不明である。

規模と構造 桁行3間、梁行2間の側柱建物で、桁行方向がN-27°-Wの南北棟である。規模は、桁行6.78m、梁行4.74mで、面積は32.14㎡である。柱間寸法は、西桁行が北から2.45m、2.14m、2.19m、東桁行が北から2.54m、2.00m、2.24mで、北梁行が西から2.36m、2.38m、南梁行が西から2.47m、2.27mである。柱筋はほぼ揃っている。

柱穴 北東部が攪乱のため、柱穴1か所を確認できず、9か所である。平面形は円形と楕円形で、長径38～78cm、短径31～65cmである。深さは38～54cmである。覆土は、いずれも柱抜き取り後の流入土である。P1～P7の底面で、柱の当たりを確認した。

遺物出土状況 土師器片21点(坏3、甕18)が、P3・P4・P5・P7の覆土中から出土している。1は、P7の柱抜き取り後の流入土から出土している。



第314図 第2号掘立柱建物跡出土遺物実測図

所見 時期は、出土遺物や9世紀中葉の第3号掘立柱建物跡との重複関係から、9世紀後葉と考えられ、第3号掘立柱建物からの建て替えが想定できる。

第173表 第2号掘立柱建物跡出土遺物一覧 (第314図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	特徴	出土位置	備考
1	土師器	坏	-	(15)	[6.0]	長石・石英・赤色粒子	橙	普通	体部外面ロクロナデヘラ磨き 下部回転ヘラ削り 内面 下部回転ヘラ削り	P7 柱抜き取り痕	5%

第3号掘立柱建物跡 (第315図 PL45)

位置 E区中央部のG4b7区、標高44mほどの平坦な台地上に位置している。

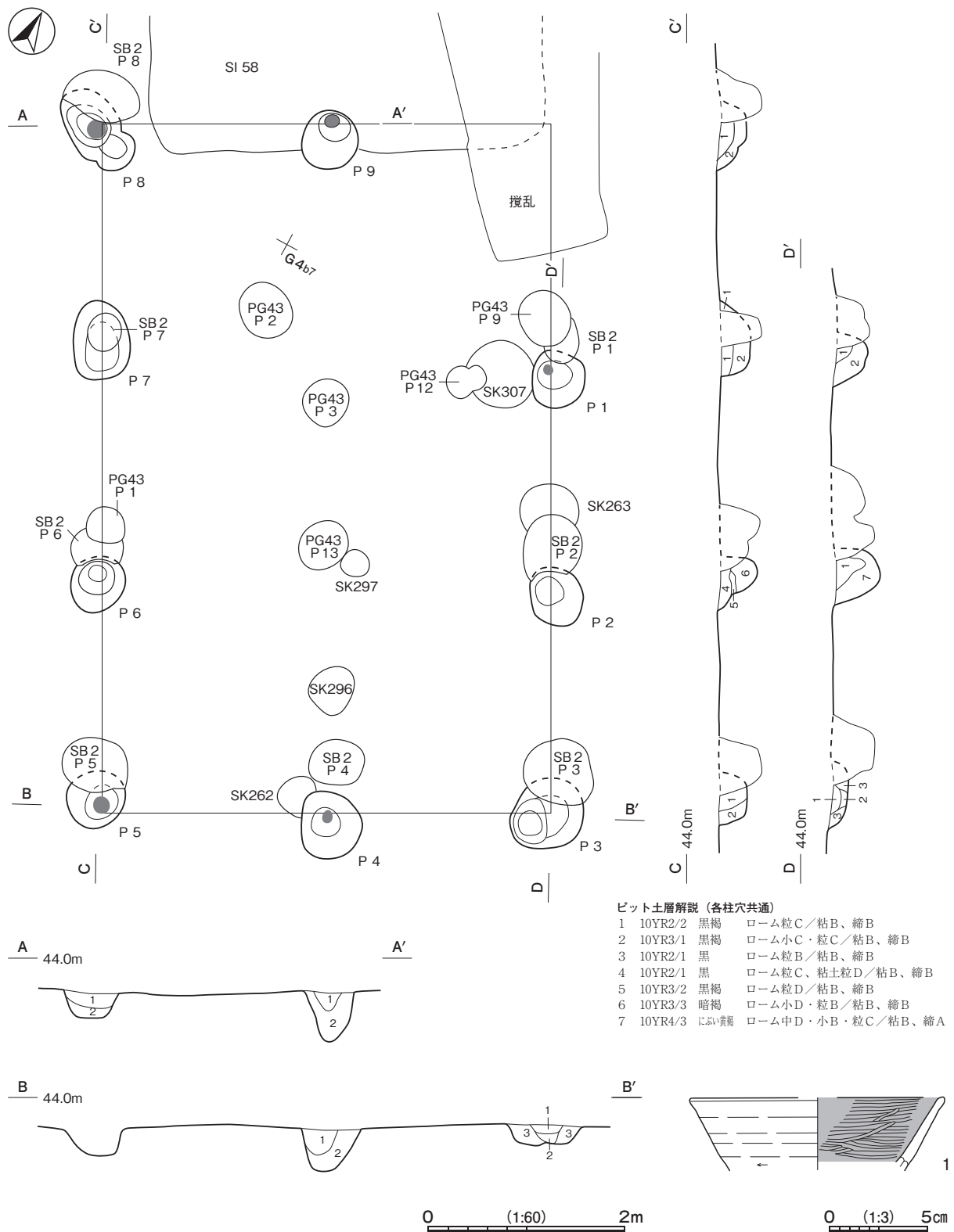
重複関係 第58号竪穴建物跡、第262・307号土坑を掘り込み、第2号掘立柱建物、第43号ピット群に掘り込まれている。本跡範囲内の第263・296・297号土坑との関係は不明である。

規模と構造 桁行3間、梁行2間の側柱建物で、桁行方向がN-30°-Wの南北棟である。規模は、桁行6.97m、梁行4.52mで、面積は31.50㎡である。柱間寸法は、西桁行が北から2.26m、2.27m、2.44m、東桁行が北から2.49m、2.22m、2.26mで、北梁行が西から2.32m、2.20m、南梁行が西から2.27m、2.25mである。柱筋はほぼ揃っている。

柱穴 北東部が攪乱のため、柱穴1か所を確認できず、9か所である。平面形は円形、楕円形、不整楕円形で、長径54～94cm、短径36～63cmである。深さは21～50cmである。覆土は、いずれも柱抜き取り後の流入土である。P1・P4・P5・P8・P9の底面で、柱の当たりを確認した。

遺物出土状況 土師器片5点(坏1、高台付坏1、甕3)が、P6の柱抜き取り後の流入土から出土している。坏類はいずれも内面に黒色処理を施している。

所見 時期は、出土遺物や9世紀前葉の第58号竪穴建物跡との重複関係から、9世紀中葉と考えられ、第2号掘立柱建物への建て替えが想定できる。



第 315 図 第 3 号掘立柱建物跡・出土遺物実測図

第 174 表 第 3 号掘立柱建物跡出土遺物一覧 (第 315 図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	特徴	出土位置	備考
1	土師器	高台付坏	[12.8]	(3.7)	-	長石・石英・雲母・針状物質	橙	普通	体部外面ロクロナデ ヘラ磨き	下端回転ヘラ削り 内面 P 6 柱抜き取り痕	5%

第4号掘立柱建物跡 (第316図 PL45)

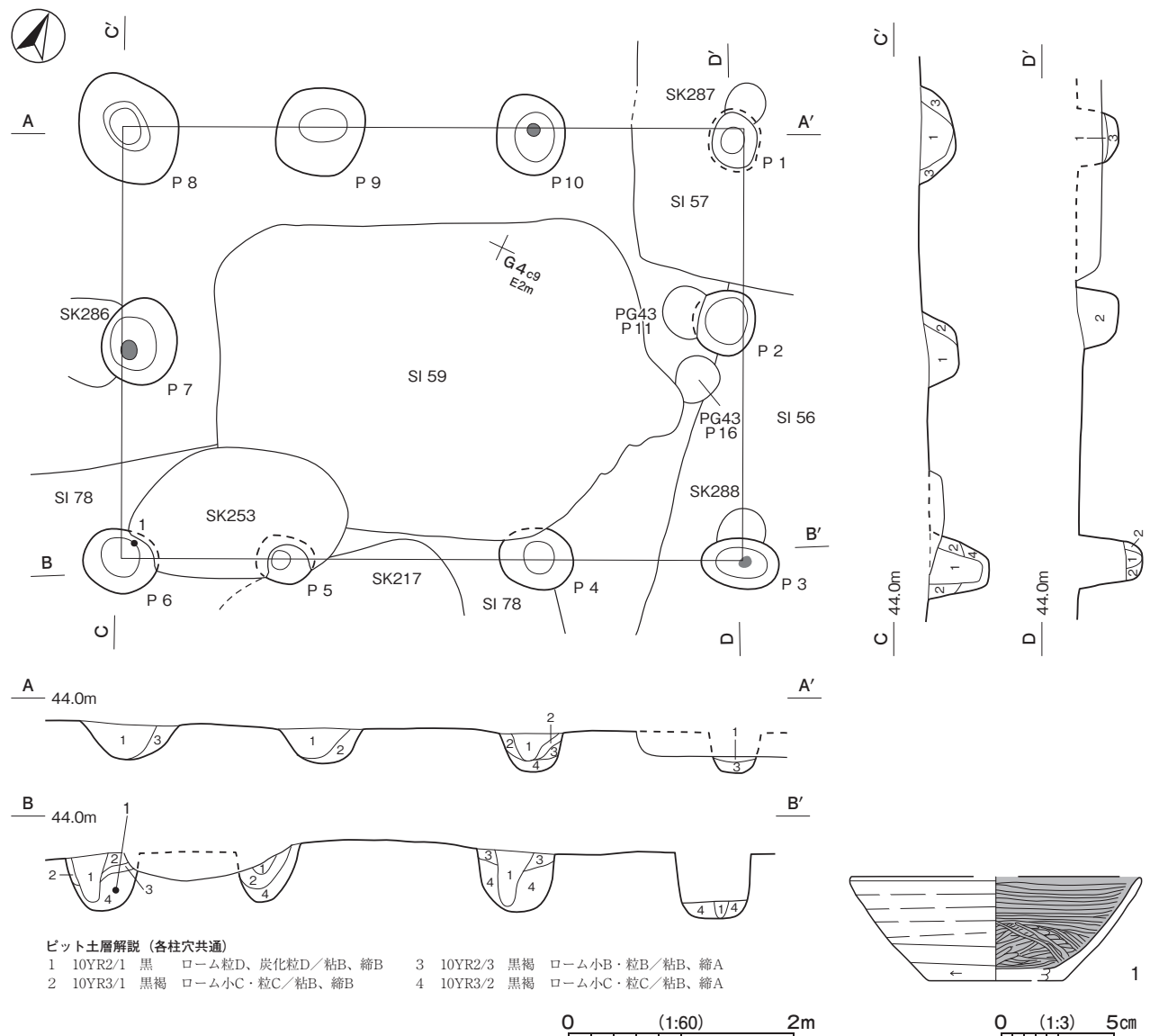
位置 E区中央部のG4c8区、標高44mほどの平坦な台地上に位置している。

重複関係 第56・78号竪穴建物跡、第217・286～288号土坑を掘り込み、第57・59号竪穴建物、第253号土坑、第43号ピット群に掘り込まれている。

規模と構造 桁行3間、梁行2間の側柱建物で、桁行方向がN-63°-Eの東西棟である。規模は、桁行5.49m、梁行3.80mで、面積は20.86㎡である。柱間寸法は、北桁行が西から1.78m、1.85m、1.86m、南桁行が西から1.42m、2.27m、1.80mで、西梁行が北から1.97m、1.83m、東梁行が北から1.69m、2.11mである。柱筋はほぼ揃っている。

柱穴 10か所。平面形は円形と楕円形で、長径50～105cm、短径45～85cmである。深さは12～55cmである。覆土は、第1層が柱抜き取り後の流入土で、第2～4層が掘方の埋土である。P3・P7・P10の底面で、柱の当たりを確認した。

遺物出土状況 土師器片8点(坏1、甕6、甑1)、須恵器片2点(坏、甕)がP6・P8～P10の覆土中から出土している。1はP6の掘方の埋土から出土している。



第316図 第4号掘立柱建物跡・出土遺物実測図

所見 時期は、出土遺物や9世紀中葉の第56号竪穴建物跡、10世紀前葉の第57号竪穴建物跡との重複関係から、9世紀後葉である。

第175表 第4号掘立柱建物跡出土遺物一覧（第316図）

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	特徴	出土位置	備考
1	土師器	坏	[12.8]	4.6	[6.0]	長石・石英・雲母	にぶい褐色	普通	口縁部・体部外面ロクロナデ内面ヘラ磨き 体部下端回転ヘラ削り	P 6 掘方埋土	30%

第5号掘立柱建物跡（第317図 PL46）

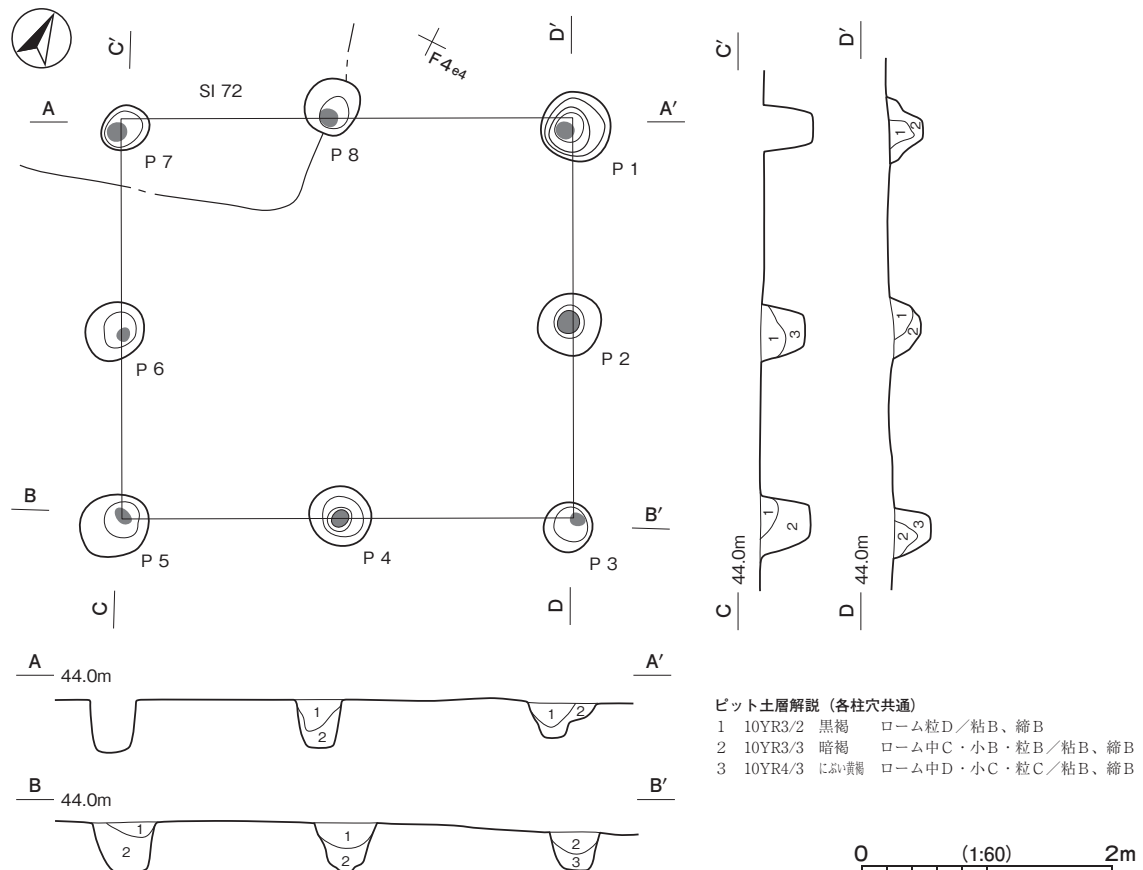
位置 E区中央部のF4e4区、標高44mほどの平坦な台地上に位置している。

重複関係 第72号竪穴建物跡を掘り込んでいる。

規模と構造 桁行2間、梁行2間の側柱建物で、桁行方向がN-64°-Eの東西棟である。規模は、桁行3.59m、梁行3.17mで、面積は11.38㎡である。柱間寸法は、北桁行が西から1.65m、1.94m、南桁行が西から1.73m、1.86mで、西梁行が北から1.71m、1.46m、東梁行が北から1.61m、1.56mである。柱筋はほぼ揃っている。

柱穴 8か所。平面形は円形と楕円形で、長径40~58cm、短径33~55cmである。深さ28~40cmである。覆土は、いずれも柱抜き取り後の流入土である。各柱穴の底面で、柱の当たりを確認した。

遺物出土状況 土師器片3点（甕）が、P1・P4・P5の覆土中から出土している。いずれも細片のため図示できなかった。



第317図 第5号掘立柱建物跡実測図

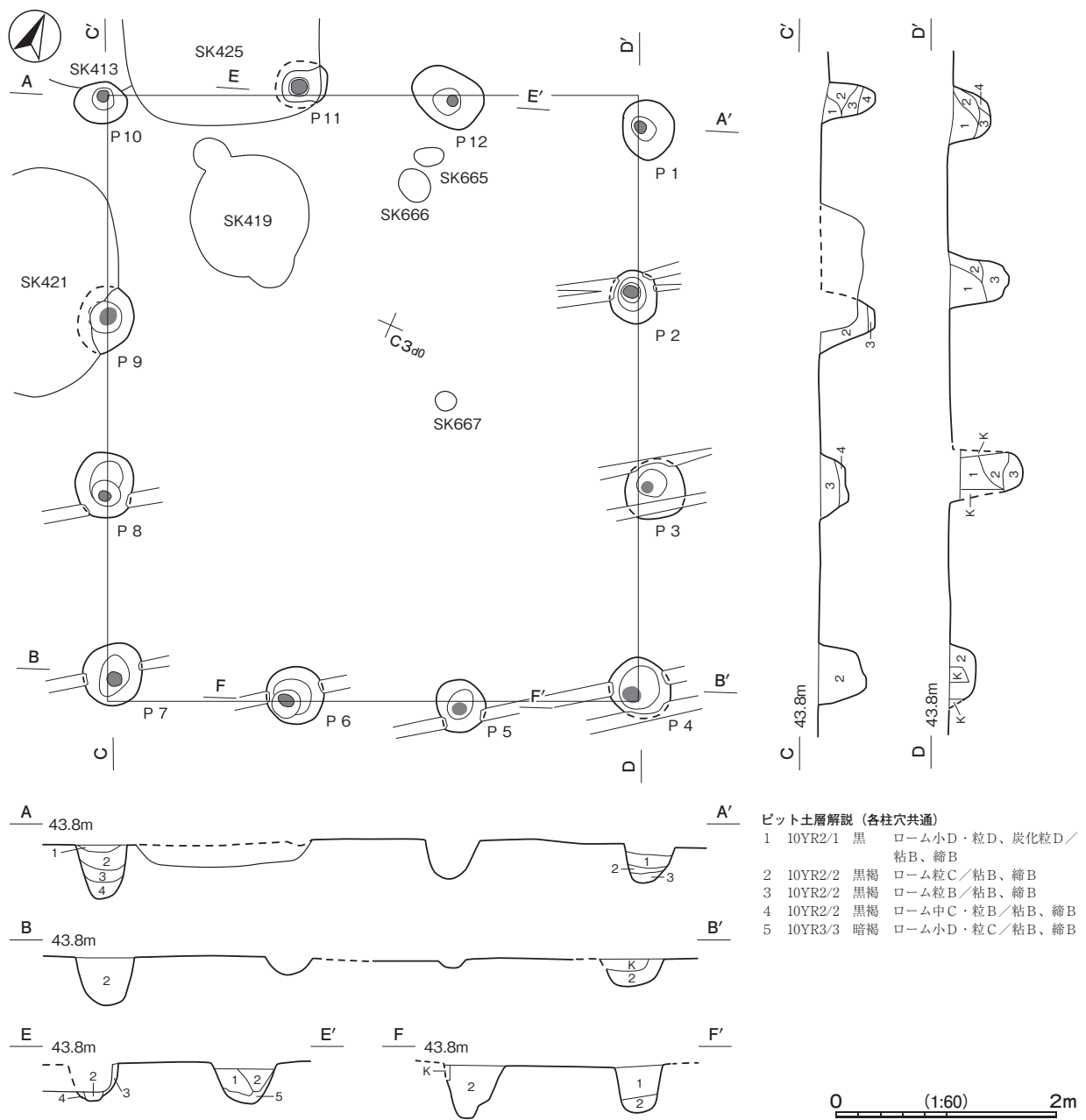
所見 時期は、9世紀中葉の第72号竪穴建物跡との重複関係や近接している遺構との位置関係などから、9世紀後葉～10世紀前半と考えられる。

第6号掘立柱建物跡 (第318図 PL46)

位置 E区北部のC3d0区、標高44mほどの平坦な台地上に位置している。

重複関係 第413号土坑を掘り込み、第421・425号土坑に掘り込まれている。本跡範囲内の第419・665～667号土坑との関係は不明である。

規模と構造 桁行3間、梁行3間の側柱建物で、桁行方向がN-24°-Wの南北棟である。規模は、桁行5.48m、梁行4.81mで、面積は26.36㎡である。柱間寸法は、西桁行が北から2.00m、1.62m、1.86m、東桁行が北から



第318図 第6号掘立柱建物跡実測図

1.79m、1.77m、1.92mで、北梁行が西から1.72m、1.41m、1.68m、南梁行が西から1.61m、1.58m、1.62mである。桁行の柱筋はほぼ揃っている。

柱穴 12か所。平面形は円形と楕円形で、長径46～68cm、短径38～54cmである。深さは24～64cmである。覆土は、いずれも柱抜き取り後の流入土である。各柱穴の底面で、柱の当たりを確認した。

遺物出土状況 土師器片15点（坏6、甕9）、須恵器片2点（高台付坏、甕）が、P4～P8・P10・P12の覆土中から出土している。細片のため図示できなかった。土師器坏はいずれも内面に黒色処理を施し、底部片は回転糸切り調整である。

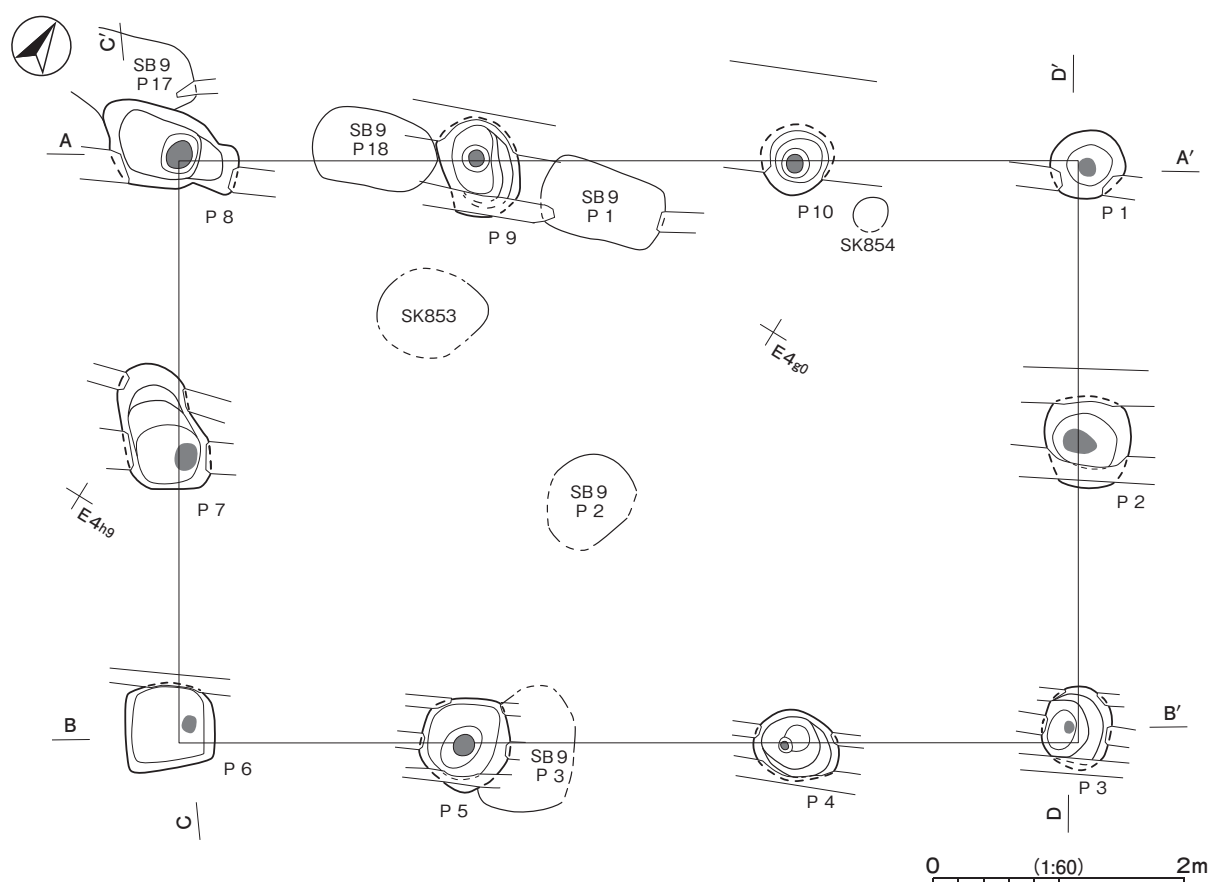
所見 詳細な時期は不明であるが、出土遺物や近接している遺構との関係などから、10世紀代と考えられる。

第7号掘立柱建物跡（第319・320図 PL46）

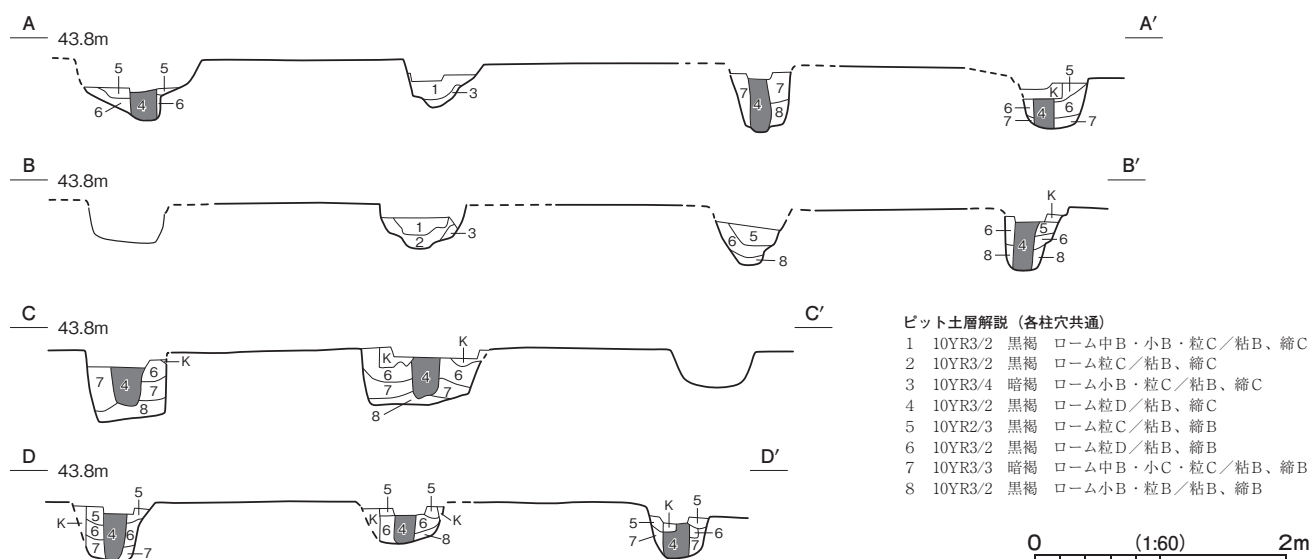
位置 E区中央部のE4g9区、標高44mほどの平坦な台地上に位置している。

重複関係 第9号掘立柱建物跡を掘り込んでいる。本跡範囲内の第853・854号土坑との関係は不明である。

規模と構造 桁行3間、梁行2間の側柱建物で、桁行方向がN-58°-Eの東西棟である。規模は、桁行7.16m、梁行4.57mで、面積は32.72㎡である。柱間寸法は、北桁行が西から2.38m、2.52m、2.26m、南桁行が西から2.25m、2.58m、2.33mで、西梁行が北から2.33m、2.24m、東梁行が北から2.22m、2.37mである。柱筋はほぼ揃っている。



第319図 第7号掘立柱建物跡実測図(1)



第 320 図 第 7 号掘立柱建物跡実測図 (2)

柱穴 10 か所。平面形は円形と楕円形で、長径 58 ～ 104cm、短径 54 ～ 68cm である。深さは 32 ～ 56cm である。覆土は、第 1 ～ 3 層が柱抜き取り後の流入土、第 4 層が柱痕跡、第 5 ～ 8 層が掘方の埋土である。各柱穴の底面で、柱の当たりを確認した。

遺物出土状況 土師器片 15 点 (甕) が P 7・P 8 から出土している。いずれも細片のため図示できなかった。

所見 詳細な時期は不明であるが、出土遺物や 9 世紀代の第 9 号掘立柱建物跡との重複関係から、9・10 世紀代と考えられる。

第 8 号掘立柱建物跡 (第 321・322 図 PL46・102)

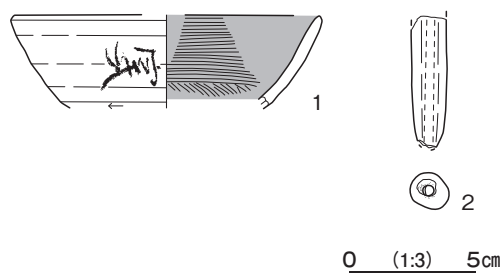
位置 E 区中央部の E 4 h7 区、標高 44 m ほどの平坦な台地上に位置している。

重複関係 第 155・156 号竪穴建物跡を掘り込んでいる。本跡範囲内の第 781・831・855 号土坑との関係は不明である。

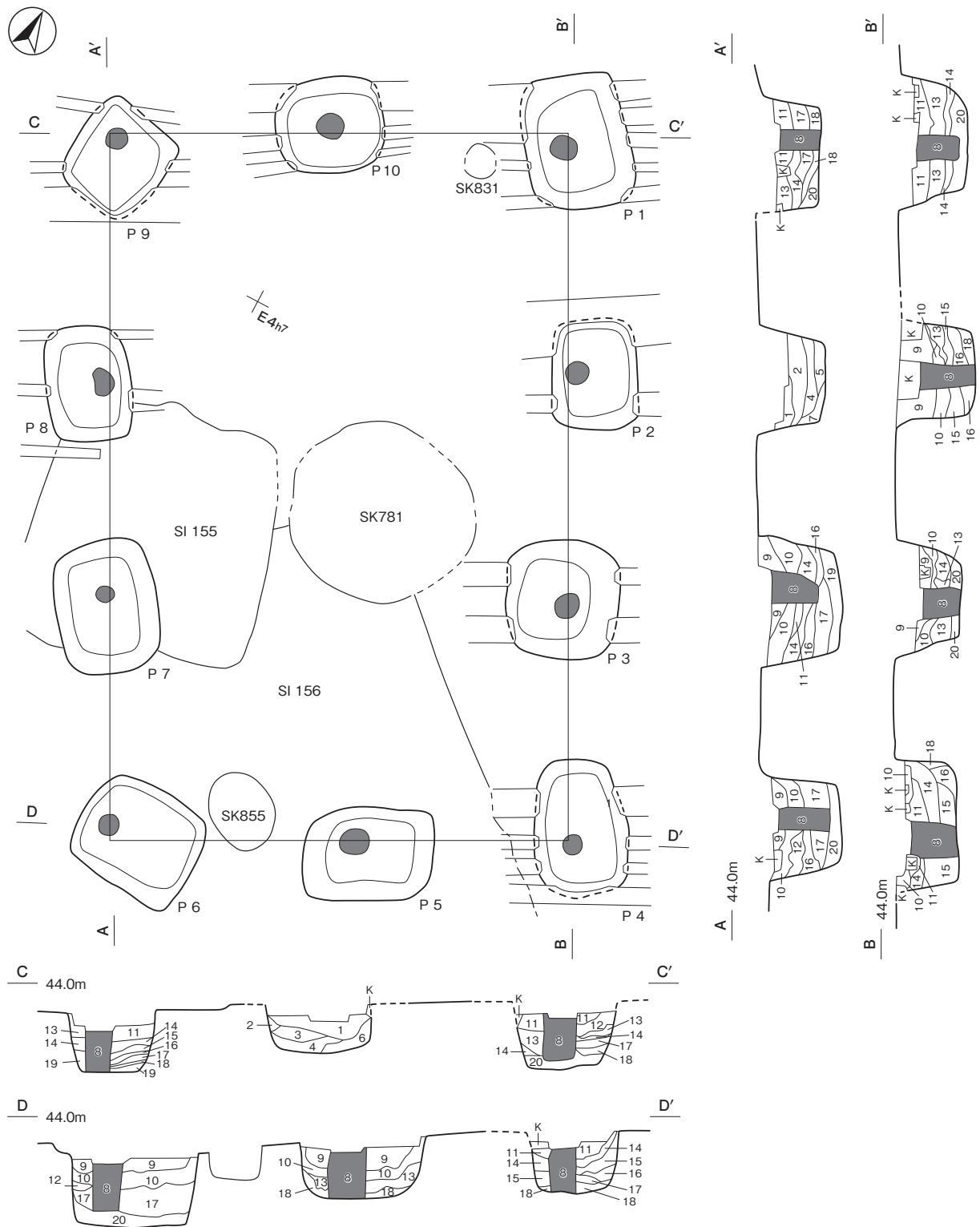
規模と構造 桁行 3 間、梁行 2 間の側柱建物で、桁行方向が N - 28° - W の南北棟である。規模は、桁行 7.00 m、梁行 4.55 m で、面積は 31.85㎡ である。柱間寸法は、西桁行が北から 2.47m、2.10m、2.43m、東桁行が北から 2.40m、2.30m、2.30m で、北梁行が西から 2.20m、2.35m、南梁行が西から 2.42m、2.13m である。柱筋はほぼ揃っている。

柱穴 10 か所。平面形は隅丸方形と隅丸長方形で、長軸 100 ～ 132cm、短軸 84 ～ 112cm である。深さは 50 ～ 78cm である。覆土は、第 1 ～ 7 層が柱抜き取り後の流入土、第 8 層が柱痕跡、第 9 ～ 20 層が掘方の埋土である。P 2 ～ P 5・P 8 ～ P 10 は底面で、P 1・P 6・P 7 は最下層の上面で柱の当たりを確認した。

遺物出土状況 土師器片 152 点 (坏 17、高台付椀 3、甕 132)、須恵器片 50 点 (坏 18、高台付坏 1、蓋 9、瓶 4、



第 321 図 第 8 号掘立柱建物跡出土遺物実測図



ピット土層解説 (各柱穴共通)

- | | | | | | | | |
|----|---------|----|----------------------|----|---------|----|-------------------|
| 1 | 10YR3/2 | 黒褐 | ローム小C・粒C/粘B、締C | 11 | 10YR3/3 | 暗褐 | ローム中C・小C・粒C/粘B、締B |
| 2 | 10YR3/3 | 暗褐 | ローム粒B/粘B、締C | 12 | 10YR4/4 | 褐 | ローム中A・小A・粒A/粘B、締B |
| 3 | 10YR3/2 | 黒褐 | ローム小D・粒C/粘B、締C | 13 | 10YR3/2 | 黒褐 | ローム小D・粒D/粘B、締B |
| 4 | 10YR3/3 | 暗褐 | ローム小C・粒B/粘B、締C | 14 | 10YR3/3 | 暗褐 | ローム小C・粒C/粘B、締B |
| 5 | 10YR4/4 | 褐 | ローム大C・中B・小B・粒B/粘B、締B | 15 | 10YR3/2 | 黒褐 | ローム小C・粒C/粘B、締B |
| 6 | 10YR2/2 | 黒褐 | ローム小D・粒C/粘B、締B | 16 | 10YR3/3 | 暗褐 | ローム小C・粒B/粘B、締B |
| 7 | 10YR3/4 | 暗褐 | ローム中C・小C・粒A/粘B、締B | 17 | 10YR3/2 | 黒褐 | ローム粒D/粘B、締B |
| 8 | 10YR3/2 | 黒褐 | ローム小D・粒C/粘C、締C | 18 | 10YR3/4 | 暗褐 | ローム小C・粒B/粘B、締B |
| 9 | 10YR3/2 | 黒褐 | ローム粒D/粘B、締B | 19 | 10YR2/3 | 黒褐 | ローム小C・粒C/粘B、締B |
| 10 | 10YR3/2 | 黒褐 | ローム小D、粒C/粘B、締B | 20 | 10YR4/4 | 褐 | ローム中A・小B・粒A/粘B、締A |

第 322 図 第 8 号掘立柱建物跡実測図

甕 18)、土製品 1 点 (管状土錘)、石器 1 点 (砥石) が、各柱穴の覆土中から出土している。1 は P 3 から、2 は P 7 から、それぞれ出土している。土師器坏類は、いずれも内面に黒色処理を施し、底部は回転ヘラ削り調整である。細片のため図示できなかった。

所見 時期は、出土遺物や 8 世紀後葉の第 155 号竪穴建物跡との重複関係から、9 世紀後半と考えられる。

第 176 表 第 8 号掘立柱建物跡出土遺物一覧 (第 321 図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	特徴	出土位置	備考	
1	土師器	坏	[12.0]	(3.8)	-	長石・石英	にぶい黄褐	普通	口縁部・体部内外面 削り 内面ヘラ磨き	ロクロナデ 下端回転ヘラ	P 3 覆土	5% PL102 墨書「□家」
番号	器種	長さ	径	孔径	重量	胎土	色調	特徴	出土位置	備考		
2	管状土錘	(5.3)	1.5	0.4	(12.5)	長石・石英	にぶい黄褐	端部欠損 ナデ 一方向からの穿孔	P 7 覆土			

第 9 号掘立柱建物跡 (第 323・324 図 PL46)

位置 E 区中央部の E 4 h9 区、標高 44 m ほどの平坦な台地上に位置している。

重複関係 第 156 号竪穴建物跡、第 773 号土坑を掘り込み、第 7 号掘立柱建物、第 23 号溝に掘り込まれている。本跡範囲内の第 770・771・853 号土坑との関係は不明である。

規模と構造 桁行 6 間、梁行 3 間の側柱建物で、桁行方向が N - 20° - W の南北棟である。規模は、桁行 12.94 m、梁行 6.60 m で、面積は 85.40 m² である。柱間寸法は、西桁行が北から 2.00m、2.20m、2.12m、1.97m、2.25m、2.40m、東桁行が北から 2.25m、2.05m、2.35m、2.00m、2.04m、2.25m で、北梁行が西から 2.46m、1.97m、2.17m、南梁行が西から 2.19m、2.06m、2.35m である。柱筋はほぼ揃っている。

柱穴 18 か所。平面形は円形、楕円形、隅丸長方形で、長径 74 ~ 150cm、短径 44 ~ 84cm である。深さは 50 ~ 100cm である。覆土は、第 1 ~ 7 層が柱抜き取り後の流入土、第 8 層が柱痕跡、第 9 ~ 18 層が掘方の埋土である。各柱穴の底面で、柱の当たりを確認した。

遺物出土状況 土師器片 37 点 (坏 5、甕 32)、須恵器片 5 点 (坏 2、高台付坏 1、甕 2) が、P 1・P 2・P 4・P 6・P 8・P 10 ~ P 12・P 14・P 16・P 18 の覆土中から出土している。土師器坏は、いずれも内面に黒色処理を施している。細片のため図示できなかった。

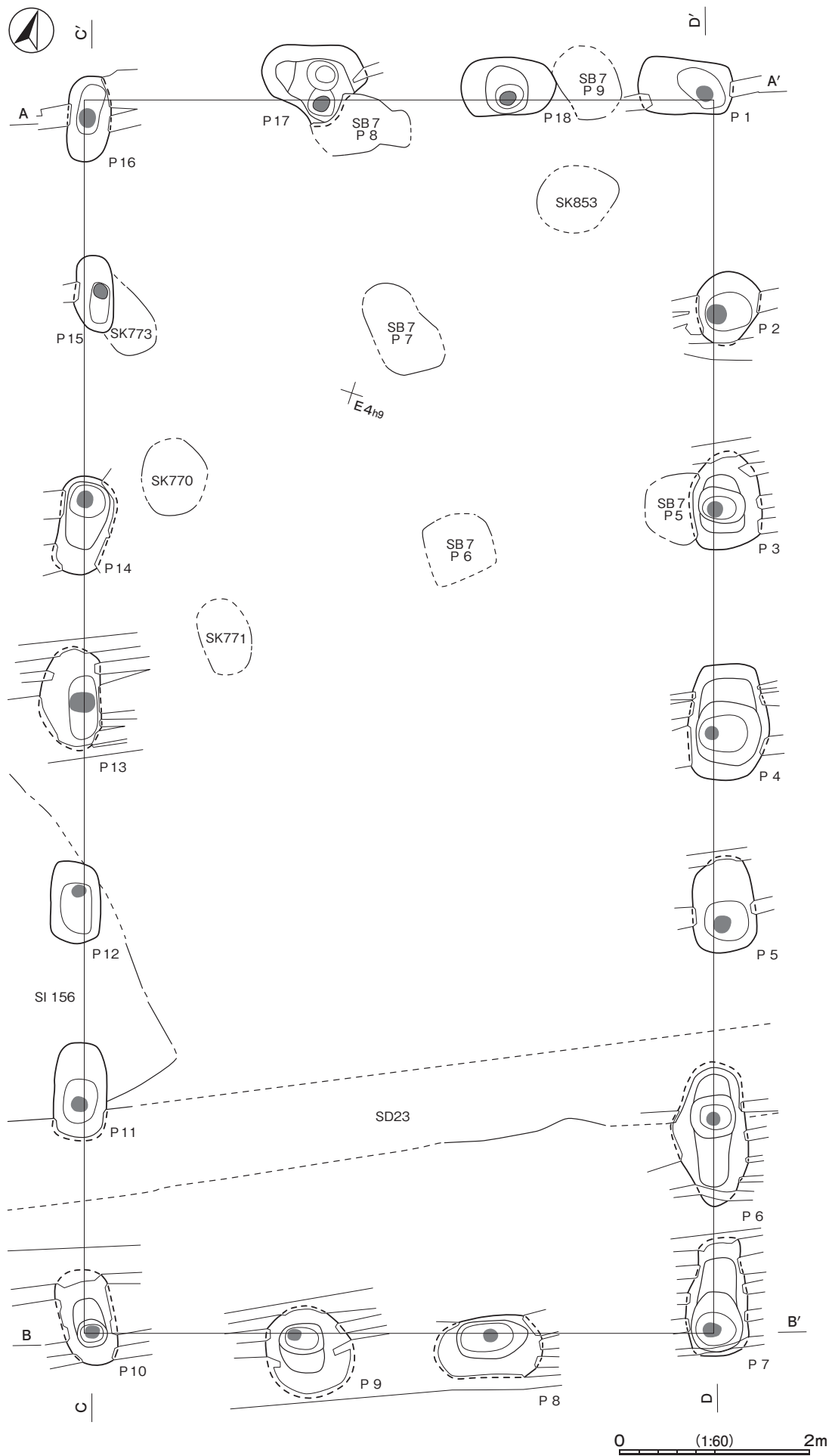
所見 詳細な時期は不明であるが、出土遺物や 9・10 世紀代の第 7 号掘立柱建物跡との重複関係から、9 世紀代と考えられる。

第 10 号掘立柱建物跡 (第 325 図 PL46)

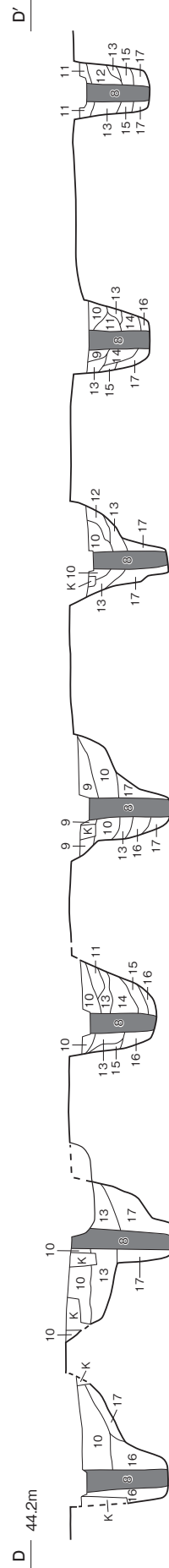
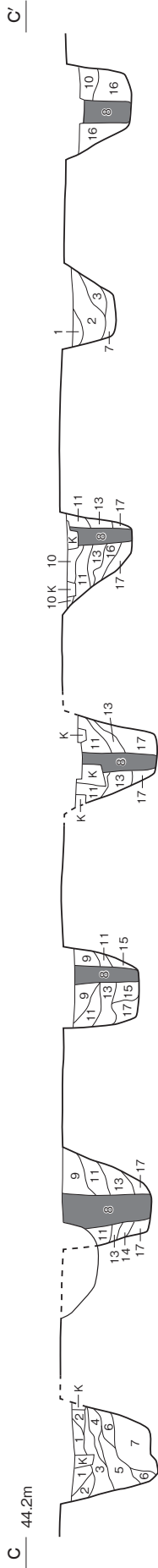
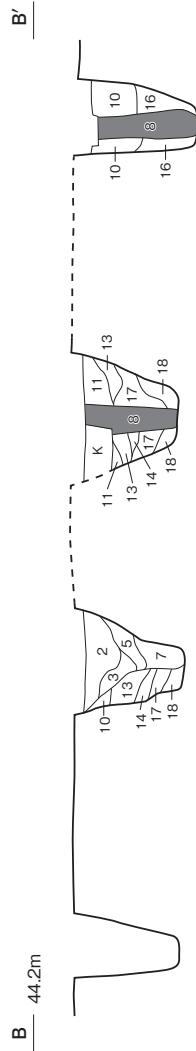
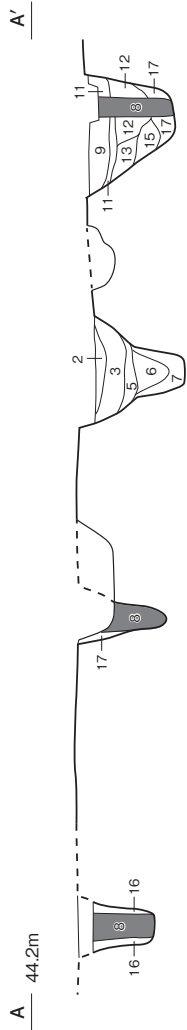
位置 E 区中央部の D 4 d6 区、標高 44 m ほどの平坦な台地上に位置している。

重複関係 第 126・165・171 号竪穴建物跡、第 950 号土坑を掘り込んでいる。本跡範囲内の第 952・957 号土坑、第 14 号ピット群との関係は不明である。

規模と構造 桁行 3 間、梁行 2 間の側柱建物で、桁行方向が N - 25° - W の南北棟である。規模は、桁行 6.25 m、梁行 4.87 m で、面積は 30.44 m² である。柱間寸法は、西桁行の P 6・P 7 間が 2.12m、東桁行が北から 1.96m、2.12m、2.17m で、北梁行が西から 2.40m、2.47m である。柱筋はやや不揃いである。



第 323 图 第 9 号掘立柱建物跡実測图 (1)

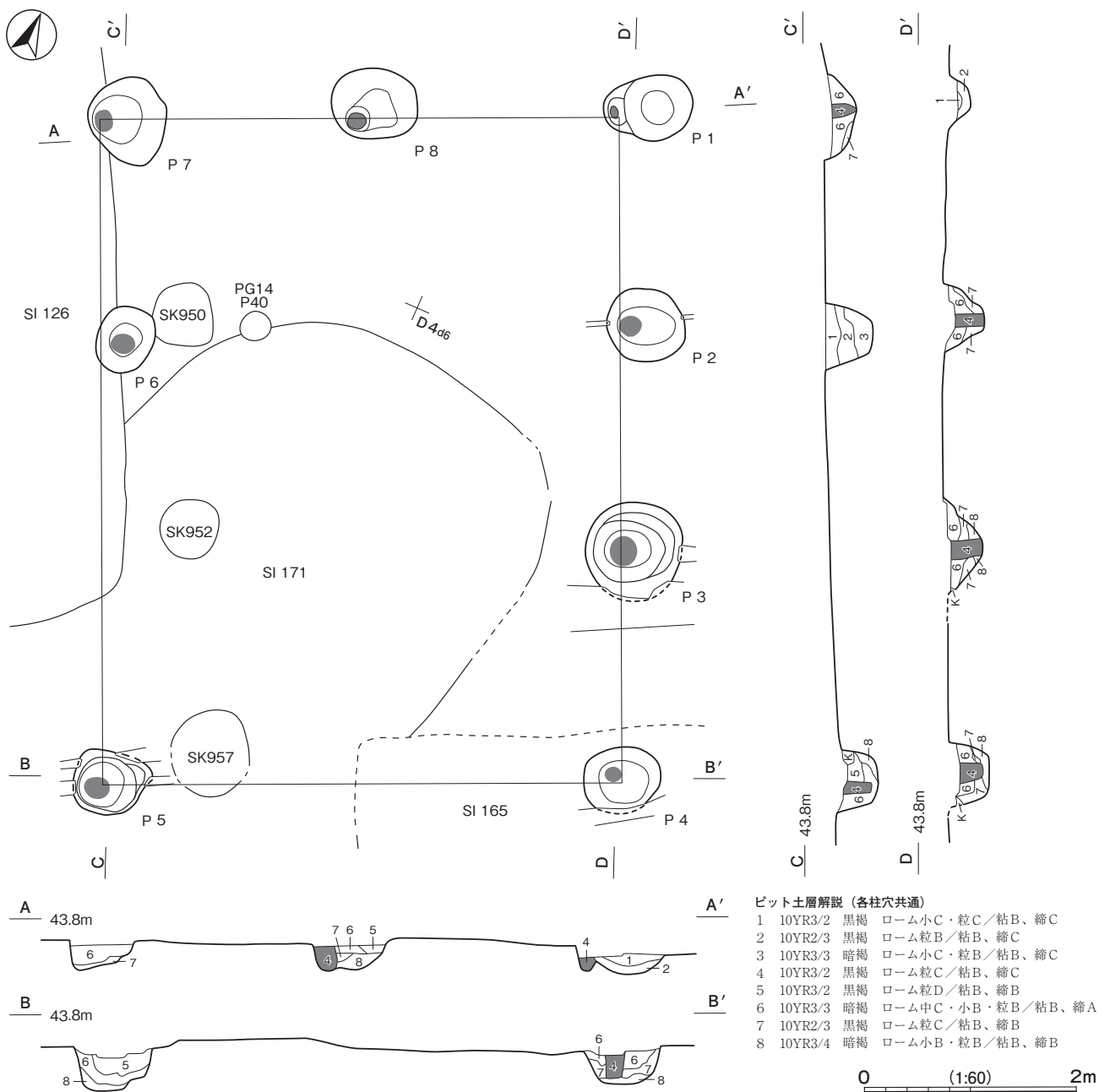


ピット土層解説 (各柱穴共通)

- 1 10YR3/2 黒褐色 10YR3/2 黒褐色 10YR3/2 黒褐色 10YR3/2 黒褐色
- 2 10YR3/3 暗褐色 10YR3/3 暗褐色 10YR3/3 暗褐色 10YR3/3 暗褐色
- 3 10YR3/2 黒褐色 10YR3/2 黒褐色 10YR3/2 黒褐色 10YR3/2 黒褐色
- 4 10YR3/4 暗褐色 10YR3/4 暗褐色 10YR3/4 暗褐色 10YR3/4 暗褐色
- 5 10YR2/2 暗褐色 10YR2/2 暗褐色 10YR2/2 暗褐色 10YR2/2 暗褐色
- 6 10YR3/4 暗褐色 10YR3/4 暗褐色 10YR3/4 暗褐色 10YR3/4 暗褐色
- 7 10YR3/2 黒褐色 10YR3/2 黒褐色 10YR3/2 黒褐色 10YR3/2 黒褐色
- 8 10YR3/2 黒褐色 10YR3/2 黒褐色 10YR3/2 黒褐色 10YR3/2 黒褐色
- 9 10YR3/2 黒褐色 10YR3/2 黒褐色 10YR3/2 黒褐色 10YR3/2 黒褐色
- 10 10YR3/3 暗褐色 10YR3/3 暗褐色 10YR3/3 暗褐色 10YR3/3 暗褐色
- 11 10YR3/2 黒褐色 10YR3/2 黒褐色 10YR3/2 黒褐色 10YR3/2 黒褐色
- 12 10YR3/2 黒褐色 10YR3/2 黒褐色 10YR3/2 黒褐色 10YR3/2 黒褐色
- 13 10YR3/3 暗褐色 10YR3/3 暗褐色 10YR3/3 暗褐色 10YR3/3 暗褐色
- 14 10YR3/2 黒褐色 10YR3/2 黒褐色 10YR3/2 黒褐色 10YR3/2 黒褐色
- 15 10YR4/4 褐色 10YR4/4 褐色 10YR4/4 褐色 10YR4/4 褐色
- 16 10YR3/4 暗褐色 10YR3/4 暗褐色 10YR3/4 暗褐色 10YR3/4 暗褐色
- 17 10YR3/3 暗褐色 10YR3/3 暗褐色 10YR3/3 暗褐色 10YR3/3 暗褐色
- 18 10YR4/4 褐色 10YR4/4 褐色 10YR4/4 褐色 10YR4/4 褐色



第 324 図 第 9 号掘立柱建物跡実測図 (2)



第 325 図 第 10 号掘立柱建物跡実測図

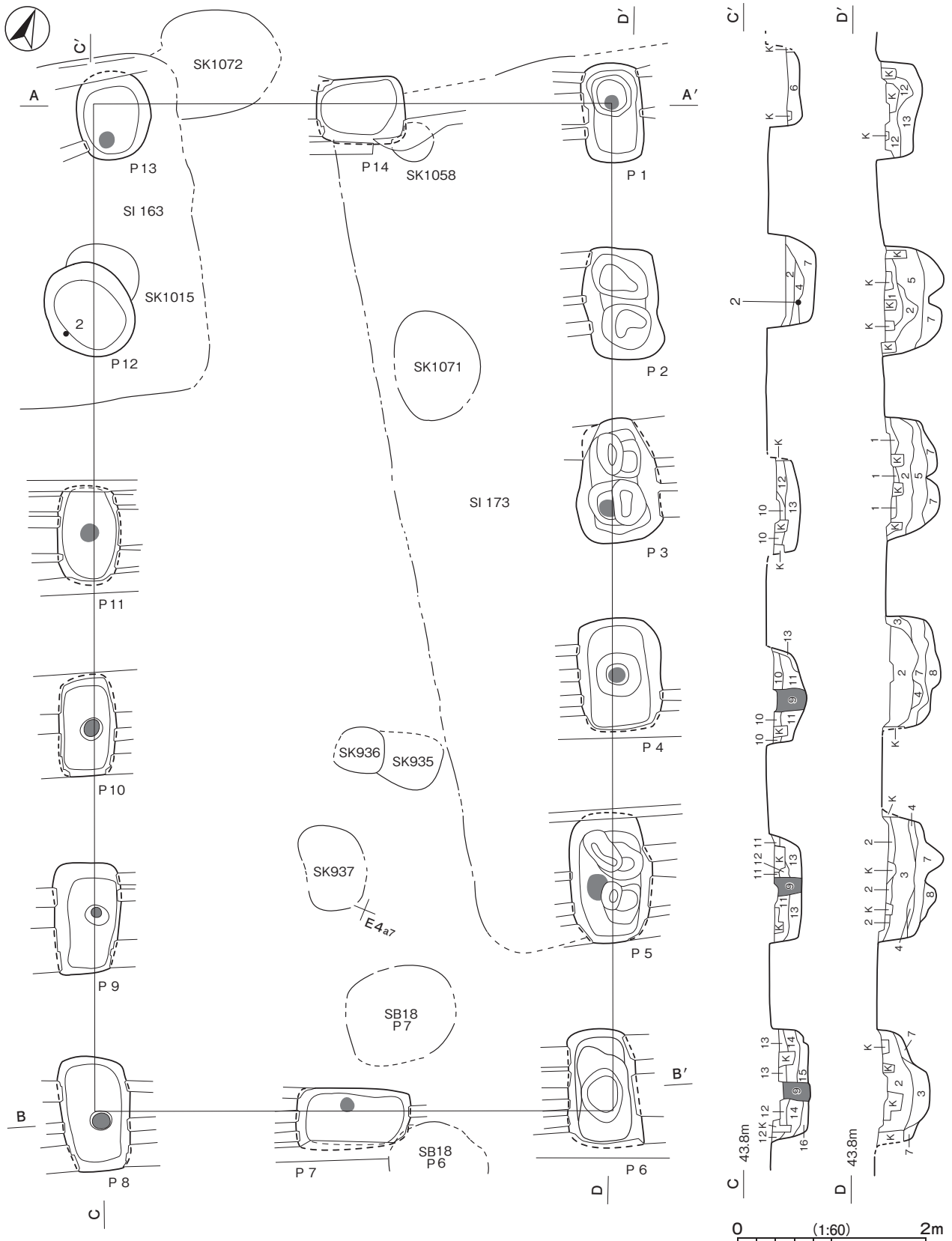
柱穴 西桁行と南梁行で、それぞれ柱穴 1 か所を確認できず、8 か所である。平面形は円形、楕円形、隅丸長方形で、長径 65 ~ 93cm、短径 51 ~ 90cm である。深さは 19 ~ 42cm である。覆土は、第 1 ~ 3 層が柱抜き取り後の流入土、第 4 層が柱痕跡、第 5 ~ 8 層が掘方の埋土である。P 1 ~ P 3・P 5 ~ P 8 は底面で、P 4 は最下層の上面で柱の当たりを確認した。

遺物出土状況 土師器片 31 点 (坏 4、高台付椀 2、甕 25)、須恵器片 5 点 (坏 4、甕 1) が、P 1・P 3 ~ P 5・P 7・P 8 の覆土中から出土している。土師器坏・椀は内面に黒色処理を施したものとそうでないものがあり、高台は低い三角形状である。いずれも細片のため図示できなかった。

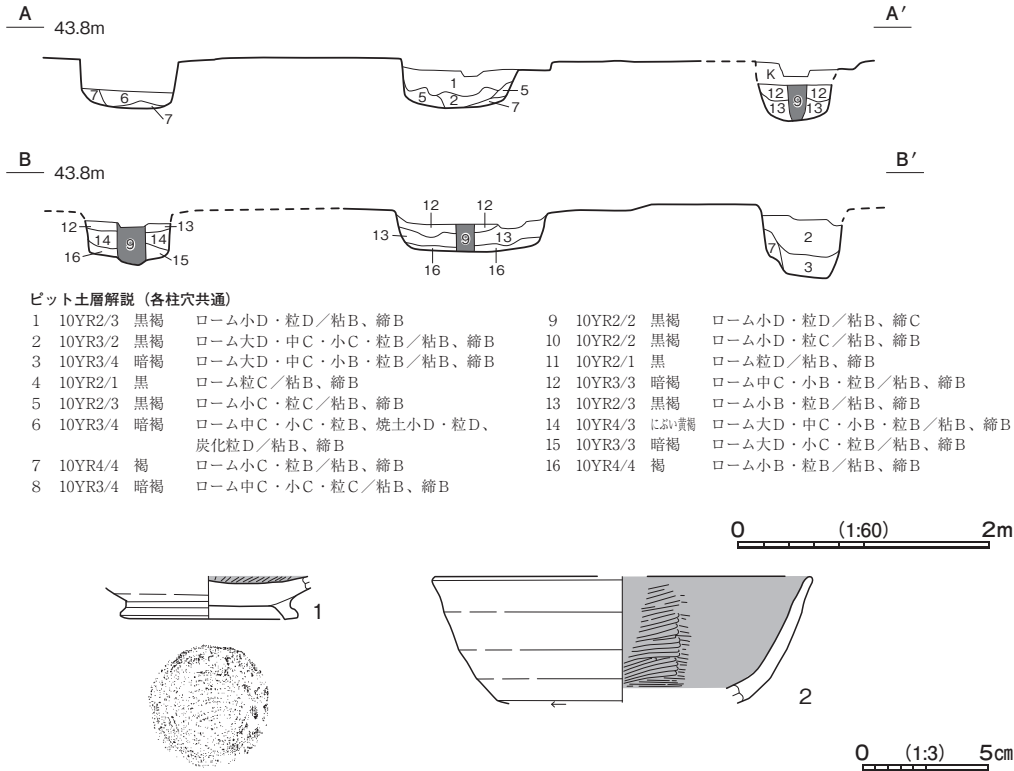
所見 時期は、出土遺物や 10 世紀前葉の第 165 号竪穴建物跡との重複関係から、10 世紀後半と考えられる。

第 11 号掘立柱建物跡 (第 326・327 図 PL46・47・48・91)

位置 E 区中央部の D 4 j6 区、標高 44 m ほどの平坦な台地上に位置している。



第 326 図 第 11 号掘立柱建物跡実測図



第 327 図 第 11 号掘立柱建物跡・出土遺物実測図

重複関係 第 163・173 号竪穴建物跡、第 18 号掘立柱建物跡、第 1015・1072 号土坑を掘り込んでいる。本跡範囲内の第 935～937・1058・1071 号土坑との関係は不明である。

規模と構造 桁行 5 間、梁行 2 間の側柱建物で、桁行方向が N - 25° - W の南北棟である。規模は、桁行 10.66 m、梁行 5.50 m で、面積は 58.63㎡ である。柱間寸法は、西桁行が北から 2.26m、2.28m、2.07m、1.96m、2.09m、東桁行が北から 2.14m、2.16m、1.76m、2.24m、2.36m で、北梁行が西から 2.75m、2.75m、南梁行が西から 2.67m、2.83m である。柱筋はほぼ揃っている。

柱穴 14 か所。平面形は楕円形と隅丸長方形で、長軸 96～134cm、短軸 60～93cm である。深さは 30～66cm である。覆土は、第 1～8 層が柱抜き取り後の流入土、第 9 層が柱痕跡、第 10～16 層が掘方の埋土である。P 2・P 6・P 12・P 14 を除いた各柱穴の底面で、柱の当たりを確認した。

遺物出土状況 土師器片 82 点（坏 9、高台付椀 3、甕 68、甑 2）、須恵器片 8 点（坏 3、瓶 4、甕 1）が、P 1～P 6・P 9～P 12・P 14 の覆土中から出土している。1・2 は P 12 の柱抜き取り後の流入土から出土している。

所見 時期は、出土遺物や 10 世紀前半の第 18 号掘立柱建物跡との重複関係から、10 世紀後半と考えられる。

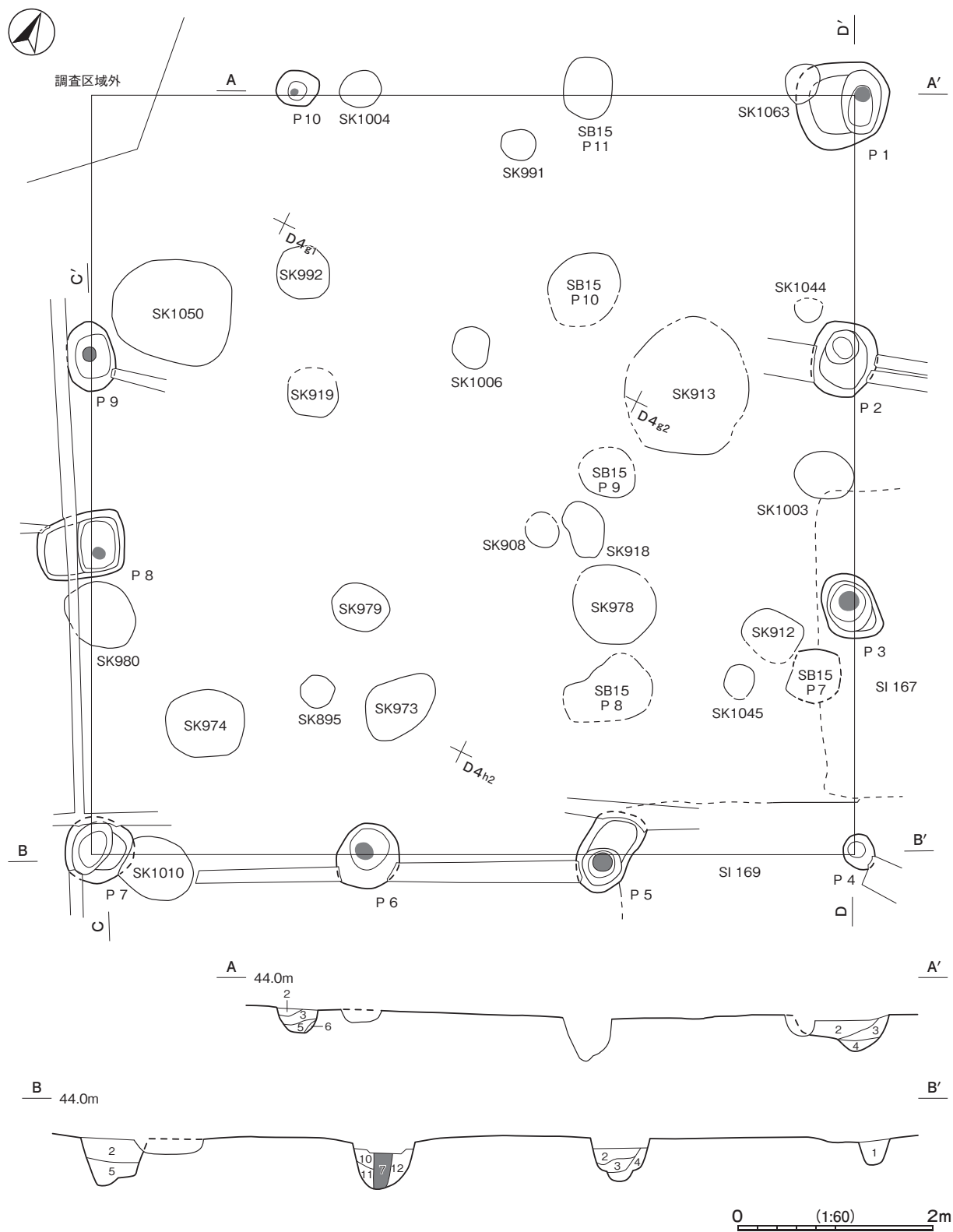
第 177 表 第 11 号掘立柱建物跡出土遺物一覧（第 327 図）

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	特徴	出土位置	備考
1	土師器	高台付椀	-	(1.7)	7.2	長石・石英・針状物質	浅黄橙	普通	体部内面ヘラ磨き 底部回転糸切り後高台貼付け	P 12 柱抜き取り痕	20% PL91
2	土師器	高台付椀	[15.0]	(5.0)	-	長石・石英・赤色粒子	にぶい褐	普通	体部外面ロクロナデ 下端回転ヘラ削り体部内面ヘラ磨き	P 12 柱抜き取り痕	5%

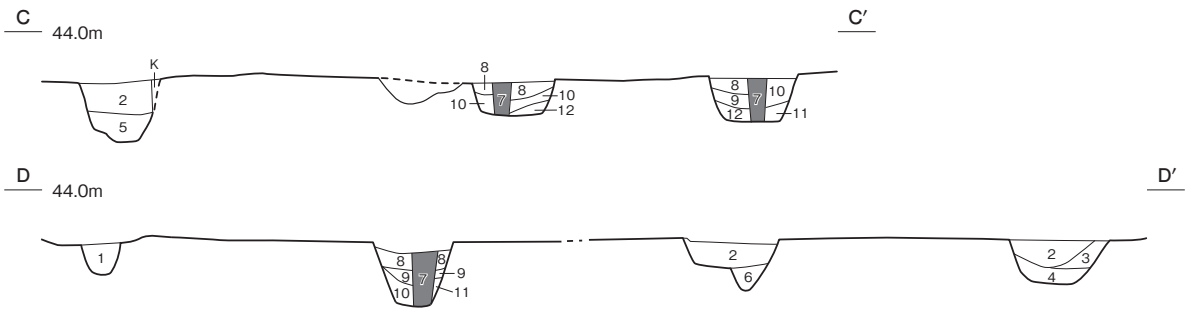
第 12 号掘立柱建物跡 (第 328・329 図 PL47)

位置 E 区中央部の D 4 g1 区、標高 44 m ほどの平坦な台地上に位置している。

重複関係 第 169 号竪穴建物跡を掘り込み、第 167 号竪穴建物、第 15 号掘立柱建物、第 1010・1063 号土坑に掘



第 328 図 第 12 号掘立柱建物跡実測図(1)



ピット土層解説 (各柱穴共通)

1	10YR2/3	黒褐	ローム中D・小C・粒C、焼土粒C、粘土小C/粘B、締B	7	10YR2/2	黒褐	ローム粒C/粘B、締B
2	10YR2/1	黒	ローム粒C/粘B、締B	8	10YR3/2	黒褐	ローム中D・小C・粒C/粘B、締B
3	10YR2/3	黒褐	ローム粒C/粘B、締B	9	10YR2/1	黒	ローム中D・小D・粒C/粘B、締B
4	10YR4/4	褐	ローム粒B/粘B、締B	10	10YR2/3	黒褐	ローム中D・粒D/粘B、締B
5	10YR3/3	暗褐	ローム中D・小C・粒B/粘B、締B	11	10YR3/3	暗褐	ローム中D・粒C/粘B、締B
6	10YR4/4	褐	ローム小B/粘B、締B	12	10YR4/4	褐	ローム小C・粒B/粘B、締B

第 329 図 第 12 号掘立柱建物跡実測図(2)

り込まれている。本跡範囲内の第 895・908・912・913・918・919・973・974・978～980・991・992・1003・1004・1006・1044・1045・1050 号土坑との関係は不明である。

規模と構造 桁行 3 間、梁行 3 間の側柱建物で、桁行方向が N - 62° - E の東西棟である。規模は、桁行 7.78 m、梁行 7.73 m で、面積は 60.14㎡である。柱間寸法は、北桁行が西から 2.07 m、2.97m、2.74m、南桁行が西から 2.78m、2.43m、2.57m で、西梁行が北から 2.64 m、2.03m、3.06m、東梁行が北から 2.57m、2.62m、2.54m である。柱筋はほぼ揃っている。

柱穴 北西部が調査区域外で、北桁行が第 15 号掘立柱建物跡に掘り込まれているため、柱穴 2 か所を確認できず、10 か所である。平面形は円形、楕円形、隅丸長方形で、長径 36～90cm、短径 30～66cm である。深さは 25～50cm である。覆土は、第 1～6 層が柱抜き取り後の流入土、第 7 層が柱痕跡、第 8～12 層が掘方の埋土である。P 1・P 3・P 5・P 6・P 8～P 10 の底面で、柱の当たりを確認した。

遺物出土状況 土師器片 14 点 (坏 1、甕 13)、須恵器片 3 点 (甕) が、P 4・P 6・P 8・P 9 の覆土中から出土している。土師器坏は内面に黒色処理を施している。いずれも細片のため図示できなかった。

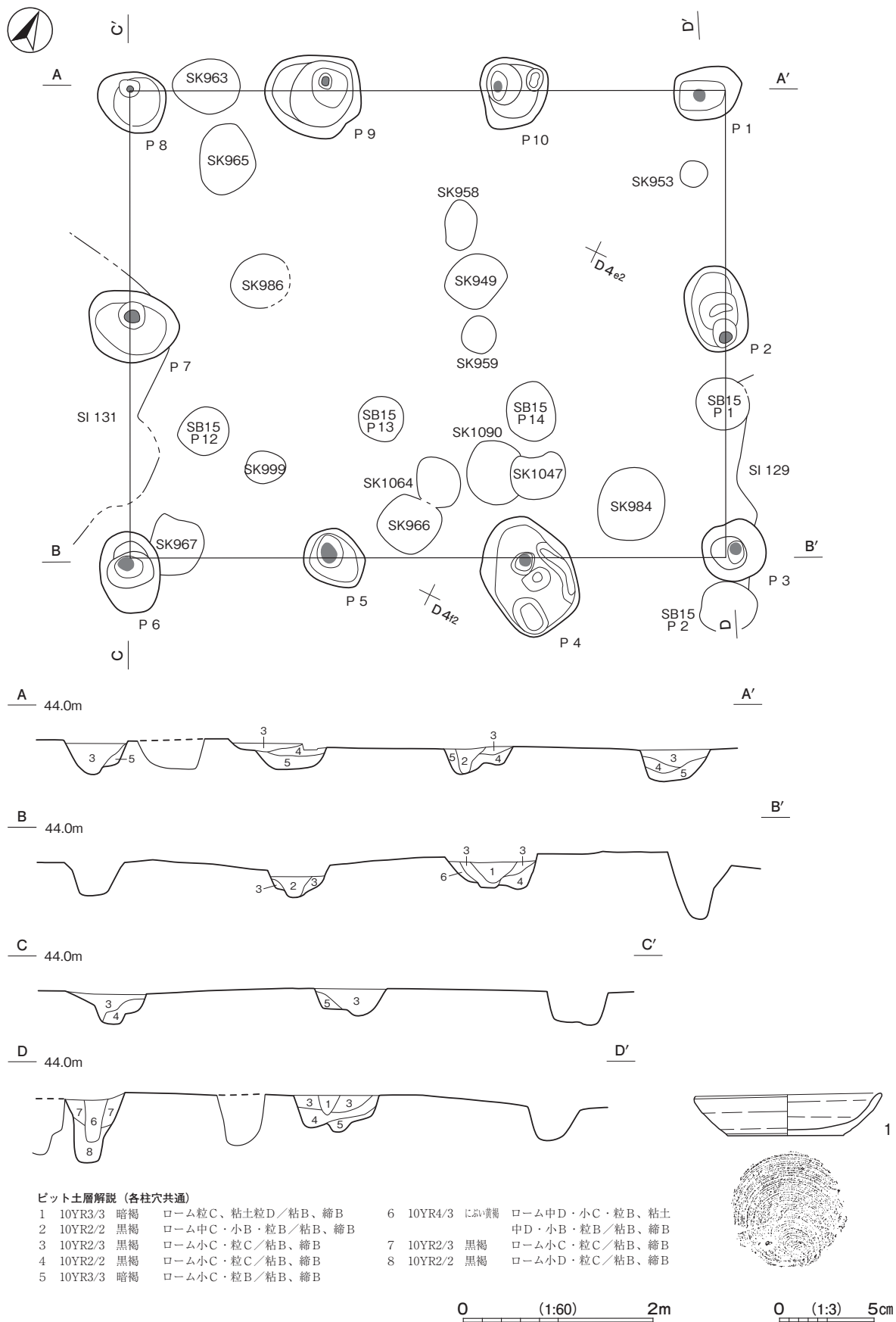
所見 詳細な時期は不明であるが、出土遺物や 8 世紀後葉の第 169 号竪穴建物跡との重複関係から 9・10 世紀代と考えられる。

第 14 号掘立柱建物跡 (第 330 図 PL47・91)

位置 E 区中央部の D 4 e1 区、標高 44 m ほどの平坦な台地上に位置している。

重複関係 第 129・131 号竪穴建物跡、第 15 号掘立柱建物跡、第 967 号土坑を掘り込んでいる。本跡範囲内の第 949・953・958・959・963・965・966・984・986・1047・1064・1090 号土坑との関係は不明である。

規模と構造 桁行 3 間、梁行 2 間の側柱建物で、桁行方向が N - 62° - E の東西棟である。規模は、桁行 6.24 m、梁行 4.90 m で、面積は 30.58㎡である。柱間寸法は、北桁行が西から 2.04m、1.82 m、2.38 m、南桁行が西から 2.06m、2.06 m、2.12 m で、西梁行が北から 2.38 m、2.52 m、東梁行が北から 2.60 m、2.30m である。柱筋はほぼ揃っている。



第330図 第14号掘立柱建物跡・出土遺物実測図

柱穴 10か所。平面形は円形、楕円形、不整楕円形で、長径66～122cm、短径55～83cmである。深さは28～74cmである。覆土は、第1～6層が柱抜き取り後の流入土、第7・8層が掘方の埋土である。各柱穴の底面で、柱の当たりを確認した。

遺物出土状況 土師器片24点（坏8、高台付椀2、小皿1、甕13）、須恵器片15点（坏4、蓋3、短頸壺1、甕7）がP2・P3・P4・P5・P7～P10の覆土中から出土している。土師器坏は、底部が回転糸切り調整のものが主体で、1はP10の柱抜き取り後の流入土から出土している。

所見 時期は、出土遺物や10世紀後葉の第131号竪穴建物跡との重複関係から、11世紀前葉である。

第178表 第14号掘立柱建物跡出土遺物一覧（第330図）

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	特徴	出土位置	備考
1	土師器	小皿	9.2	2.2	6.0	長石・石英・赤色粒子	明赤褐	普通	体部内外面ロクロナデ 底部回転糸切り	P10 柱抜き取り痕	95% PL91

第15号掘立柱建物跡（第331図 PL47）

位置 E区中央部のD4f2区、標高44mほどの平坦な台地上に位置している。

重複関係 第129号竪穴建物跡、第12号掘立柱建物跡、第1043号土坑を掘り込み、第167号竪穴建物、第14号掘立柱建物、第971・1042号土坑に掘り込まれている。本跡範囲内の第911～913・955・956・966・978・984・995・999・1003・1005・1021・1022・1044～1047・1063・1064・1090号土坑との関係は不明である。

規模と構造 桁行4間、梁3行間の側柱建物で、桁行方向がN-31°-Wの南北棟である。規模は、桁行8.24m、梁行5.40mで、面積は44.50㎡である。柱間寸法は、西桁行が北から2.22m、1.90m、1.95m、2.17m、東桁行が北から2.17m、2.02m、2.00m、2.05mで、北梁行が西から1.87m、1.60m、1.93m、南梁行が西から1.96m、1.58m、1.86mである。柱筋は揃っている。

柱穴 14か所。平面形は円形と楕円形で、長径47～90cm、短径46～67cmである。深さは38～65cmである。覆土は、第1～5層が柱抜き取り後の流入土、第6層が柱痕跡、第7～9層が掘方の埋土である。各柱穴の底面で、柱の当たりを確認した。

遺物出土状況 土師器片17点（坏1、甕16）がP1・P3・P4・P6・P7・P14の覆土中から出土している。土師器坏は内面に黒色処理を施している。いずれも細片のため図示できなかった。

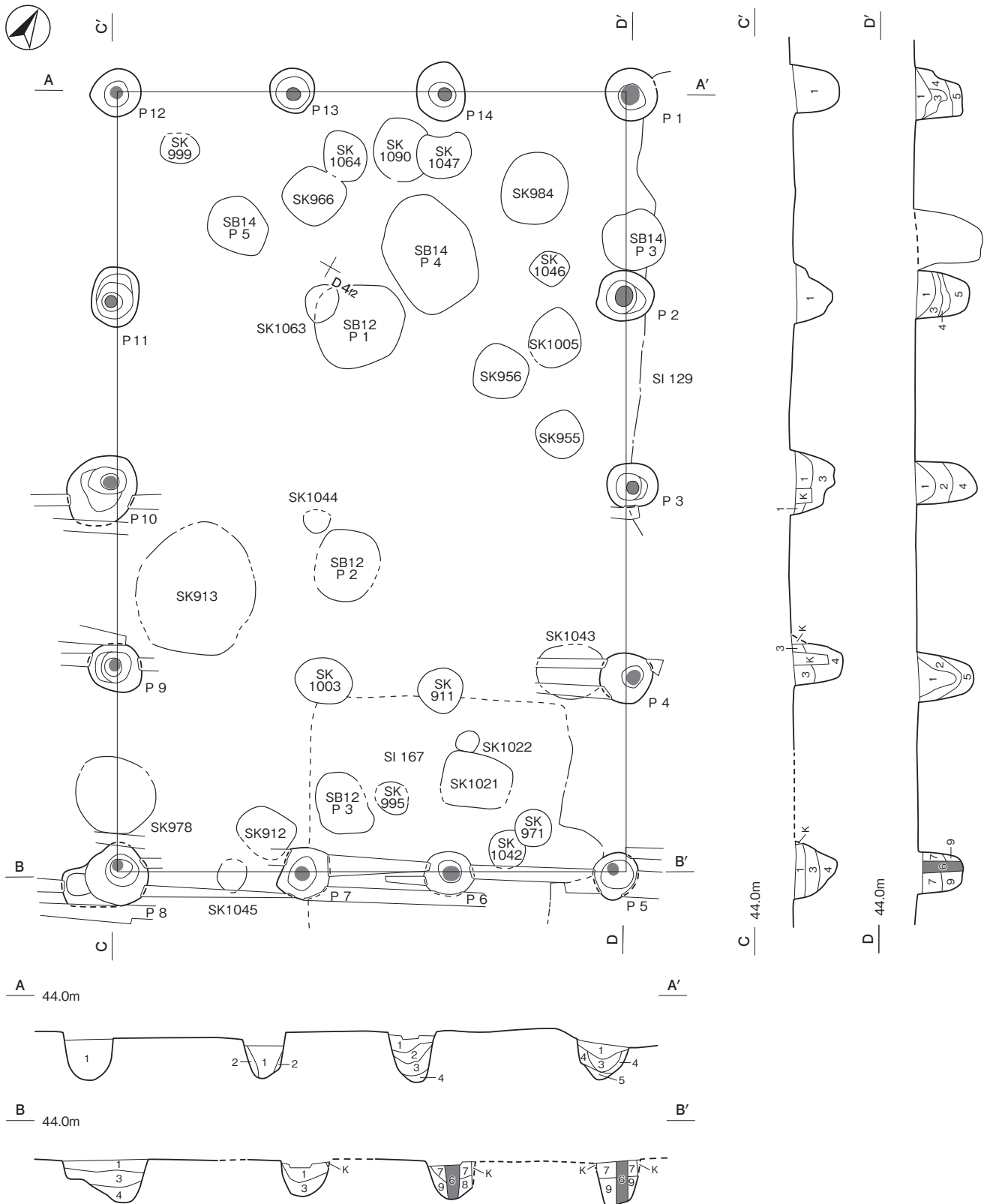
所見 時期は、出土遺物や9・10世紀代の第12号掘立柱建物跡や11世紀前葉の第14号掘立柱建物との重複関係から、9・10世紀代と考えられる。

第16号掘立柱建物跡（第332図 PL47）

位置 E区中央部D4f7区、標高44mほどの平坦な台地上に位置している。

重複関係 第166・181号竪穴建物跡、第6号竪穴遺構を掘り込み、第1040号土坑に掘り込まれている。本跡範囲内の第1082・1114号土坑との関係は不明である。

規模と構造 桁行3間、梁行2間の側柱建物で、桁行方向がN-58°-Eの東西棟である。規模は、桁行5.38m、梁行4.20mで、面積は22.60㎡である。柱間寸法は、北桁行が西から1.68m、2.25m、1.45m、南桁行が西から1.70m、1.90m、1.78mで、西梁行が北から1.98m、2.22m、東梁行が北から2.32m、1.88mである。柱筋はやや不揃いである。

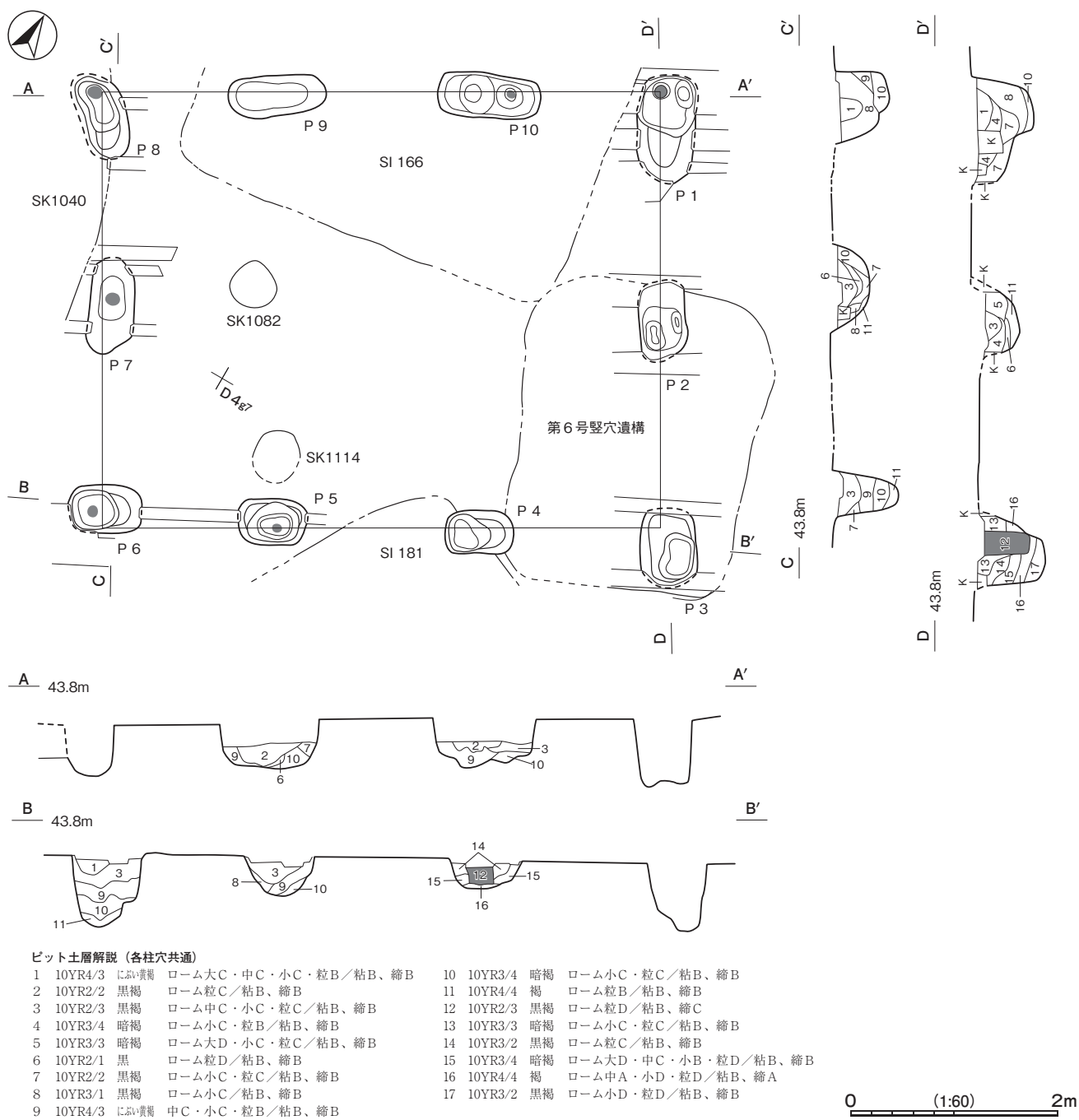


ピット土層解説 (各柱穴共通)

- | | |
|---------------------------------|------------------------------------|
| 1 10YR3/2 黒褐色 ローム粒C/粘B、締B | 6 10YR2/3 黒褐色 ローム小D・粒C/粘B、締B |
| 2 10YR3/3 暗褐色 ローム中C・小C・粒B/粘B、締B | 7 10YR3/3 暗褐色 ローム大D・中C・小C・粒C/粘B、締B |
| 3 10YR2/3 黒褐色 ローム小D・粒C/粘B、締B | 8 10YR3/2 黒褐色 ローム中C・小C・粒C/粘B、締B |
| 4 10YR2/1 黒 ローム中D・小C・粒C/粘B、締B | 9 10YR3/3 暗褐色 ローム小C・粒B/粘B、締B |
| 5 10YR2/2 黒褐色 ローム小C・粒C/粘B、締B | |

0 (1:60) 2m

第331図 第15号掘立柱建物跡実測図



第332図 第16号掘立柱建物跡実測図

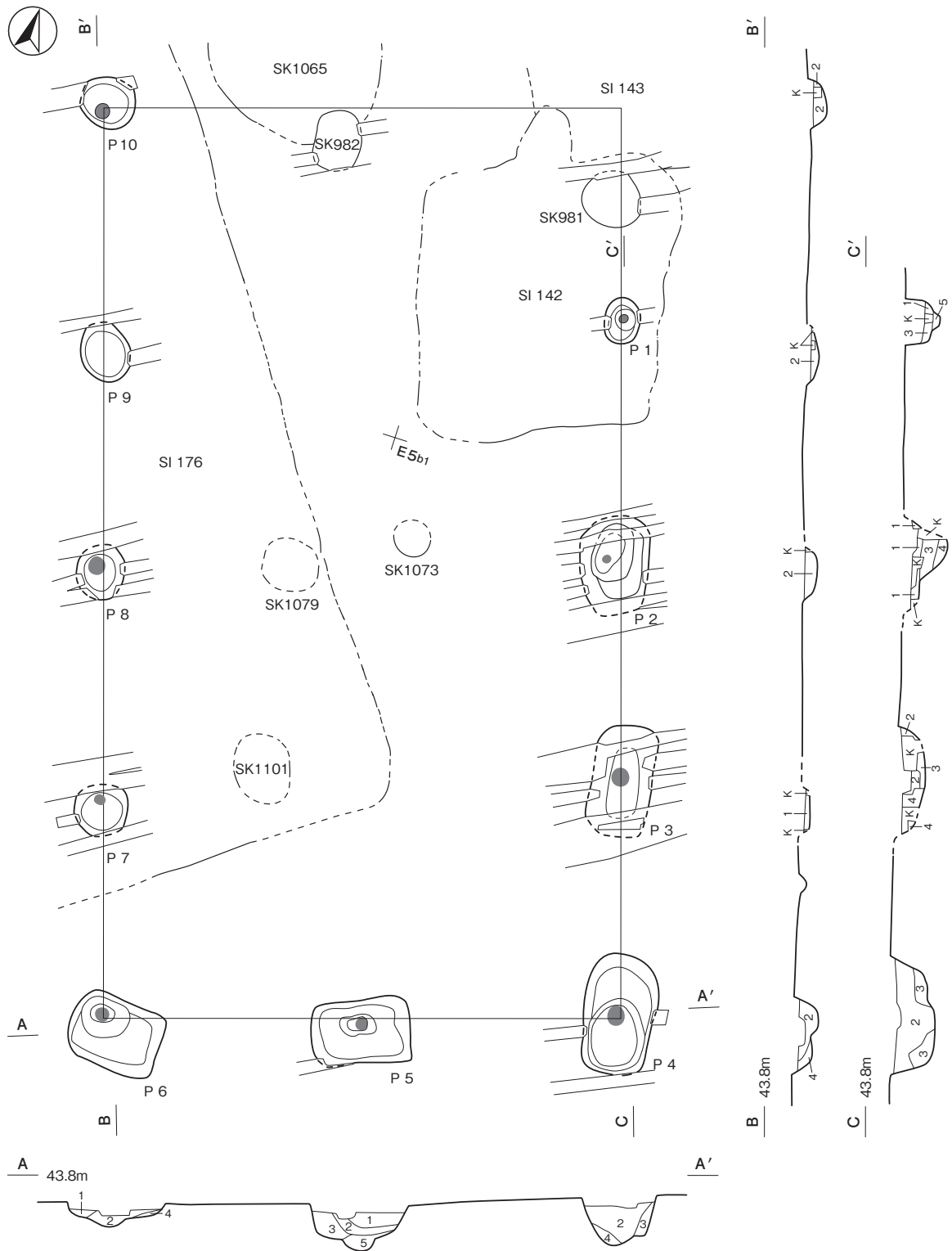
柱穴 10か所。平面形は楕円形と隅丸長方形で、長径65～102cm、短径38～54cmである。深さは24～64cmである。覆土は、第1～11層が柱抜き取り後の流入土、第12層が柱痕跡、第13～17層が掘方の埋土である。P1・P5～P8・P10の底面で、柱の当たりを確認した。

遺物出土状況 土師器片6点(甕)、須恵器片2点(蓋、甕)が、P3・P5・P7・P9の覆土中から出土している。いずれも細片のため図示できなかった。

所見 詳細な時期は不明であるが、10世紀代の第6号竪穴遺構との重複関係から、10・11世紀代と考えられる。

第17号掘立柱建物跡 (第333図 PL47)

位置 E区中央部E5b1区、標高44mほどの平坦な台地上に位置している。



ピット土層解説 (各柱穴共通)

- | | | | |
|--------------|-------------------|--------------|-------------------|
| 1 10YR3/3 暗褐 | ローム小C・粒B/粘B、締B | 4 10YR4/4 褐 | ローム小B・粒B/粘B、締B |
| 2 10YR2/3 黒褐 | ローム中C・小C・粒C/粘B、締B | 5 10YR2/3 黒褐 | ローム中D・小C・粒C/粘B、締B |
| 3 10YR3/4 暗褐 | ローム小C・粒B/粘B、締B | | |

0 (1:60) 2m

第333図 第17号掘立柱建物跡実測図

重複関係 第142・143・176号竪穴建物跡を掘り込んでいる。本跡範囲内の第981・982・1065・1073・1079・1101号土坑との関係は不明である。

規模と構造 桁行4間、梁行2間の側柱建物で、桁行方向がN-17°-Wの南北棟である。規模は、桁行8.83m、梁行5.03mで、面積は44.41㎡である。柱間寸法は、西桁行が北から2.40m、2.05m、2.26m、2.12m、東桁行が北から2.05m、2.33m、2.10m、2.35mで、南梁行が西から2.52m、2.51mである。柱筋はほぼ揃っている。

柱穴 北梁行の柱穴2か所を確認できず、10か所である。平面形は楕円形と隅丸長方形で、長径48～118cm、短径32～72cmである。深さは10～48cmである。覆土は、いずれも柱抜き取り後の流入土である。P9を除いた各柱穴の底面で、柱の当たりを確認した。

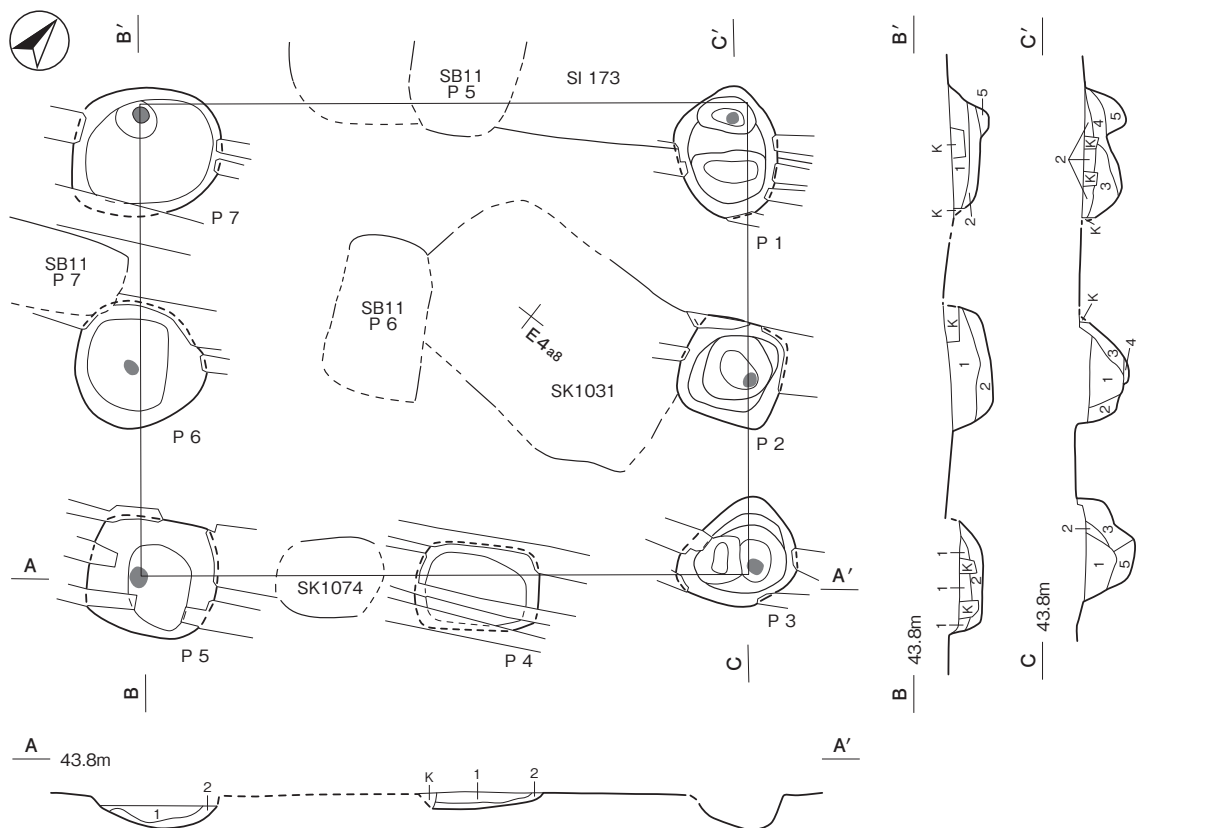
遺物出土状況 土師器片3点(甕)が出土している。いずれも細片のため図示できなかった。

所見 詳細な時期は不明であるが、9世紀中葉の第142号竪穴建物跡との重複関係から、9世紀後半～10世紀代と考えられる。

第18号掘立柱建物跡 (第334図 PL47)

位置 E区中央部のE4a7区、標高44mほどの平坦な台地上に位置している。

重複関係 第173号竪穴建物跡、第1031号土坑を掘り込み、第11号掘立柱建物に掘り込まれている。本跡範囲内の第1074号土坑との関係は不明である。



ピット土層解説 (各柱穴共通)

- | | | | |
|--------------|-------------------|--------------|-------------------|
| 1 10YR3/2 黒褐 | ローム小B・粒B/粘B、締C | 4 10YR3/4 暗褐 | ローム中B・小B・粒C/粘B、締B |
| 2 10YR3/3 暗褐 | ローム中C・小C・粒C/粘B、締C | 5 10YR3/3 暗褐 | ローム中C・小B・粒A/粘B、締B |
| 3 10YR2/3 黒褐 | ローム小D・粒D/粘B、締C | | |

0 (1:60) 2m

第334図 第18号掘立柱建物跡実測図

規模と構造 桁行2間、梁行2間の側柱建物で、桁行方向がN - 52° - Eの東西棟である。規模は、桁行4.80m、梁行3.78mで、面積は18.14㎡である。柱間寸法は、南桁行が西から2.65m、2.18mで、西梁行が北から2.01m、1.63m、東梁行が北から2.30m、1.50mである。柱筋はほぼ揃っている。

柱穴 北桁行の柱穴1か所が確認できず、7か所である。平面形は楕円形と隅丸長方形で、長径80～116cm、短径68～106cmである。深さは13～48cmである。覆土は、いずれも柱抜き取り後の流入土である。P4を除いた各柱穴の底面で、柱の当たりを確認した。

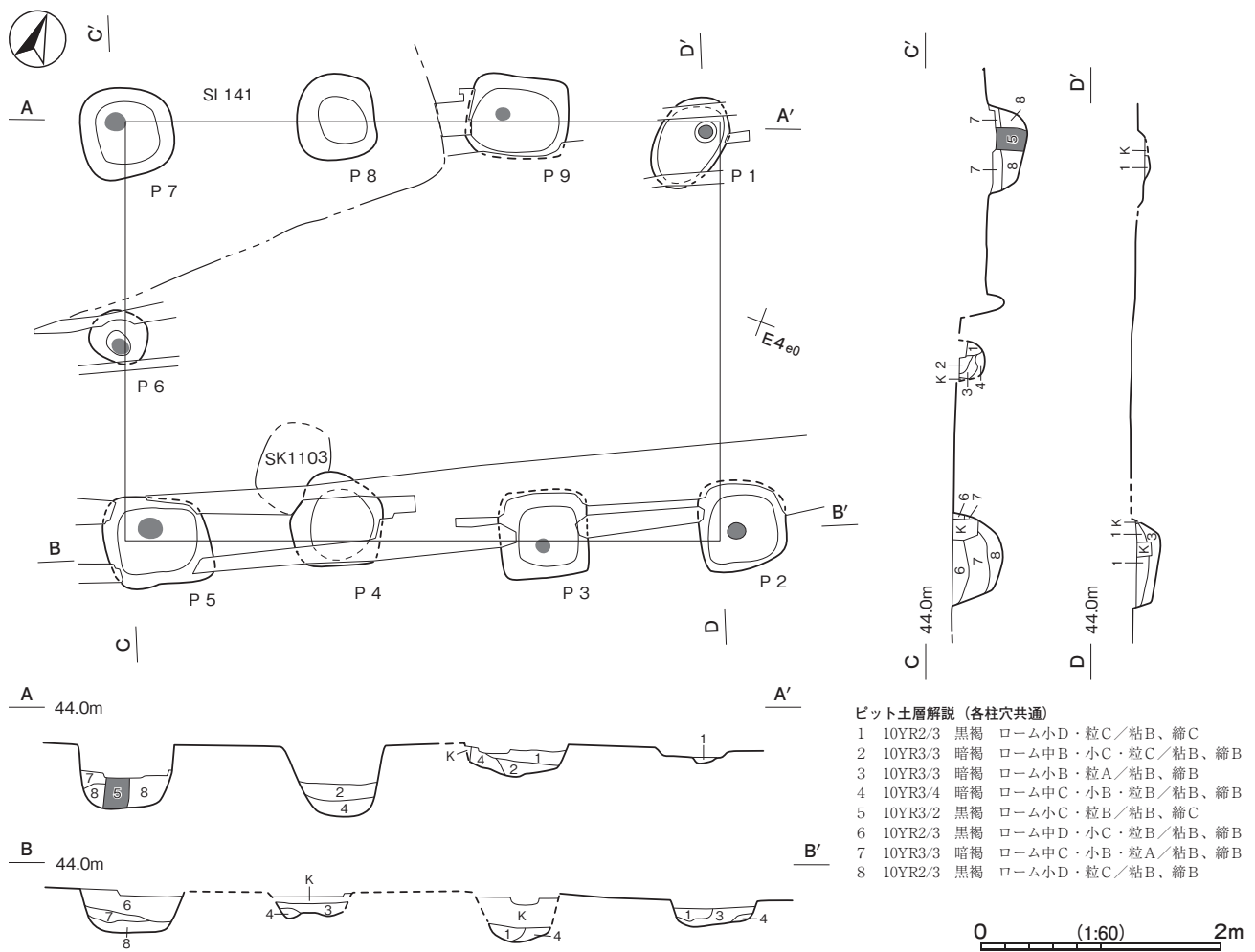
遺物出土状況 土師器片14点（坏2、高台付椀1、鉢1、甕10）、須恵器片8点（坏4、高台付坏1、甕3）が出土している。土師器高台付椀は内面に黒色処理を施している。いずれも細片のため図示できなかった。

所見 詳細な時期は不明であるが、出土遺物や10世紀後半の第11号掘立柱建物との重複関係から、10世紀前半と考えられる。

第19号掘立柱建物跡（第335図 PL47）

位置 E区中央部のE4e9区、標高44mほどの平坦な台地上に位置している。

重複関係 第141号竪穴建物跡、第1103号土坑を掘り込んでいる。



第335図 第19号掘立柱建物跡実測図

規模と構造 桁行3間、梁行2間の側柱建物で、桁行方向がN-67°-Eの東西棟である。規模は、桁行4.92m、梁行3.45mで、面積は16.97㎡である。柱間寸法は、北桁行が西から1.78m、1.34m、1.80m、南桁行が西から1.80m、1.65m、1.47mで、西梁行が北から1.85m、1.60mである。柱筋はやや不揃いである。

柱穴 東梁行の柱穴1か所を確認できなかったため、9か所である。平面形は楕円形、方形、長方形で、長径48~84cm、短径42~78cmである。深さは12~50cmである。覆土は、第1~4層が柱抜き取り後の流入土、第5層が柱痕跡、第6~8層が掘方の埋土である。P4・P8を除いた各柱穴の底面で、柱の当たりを確認した。

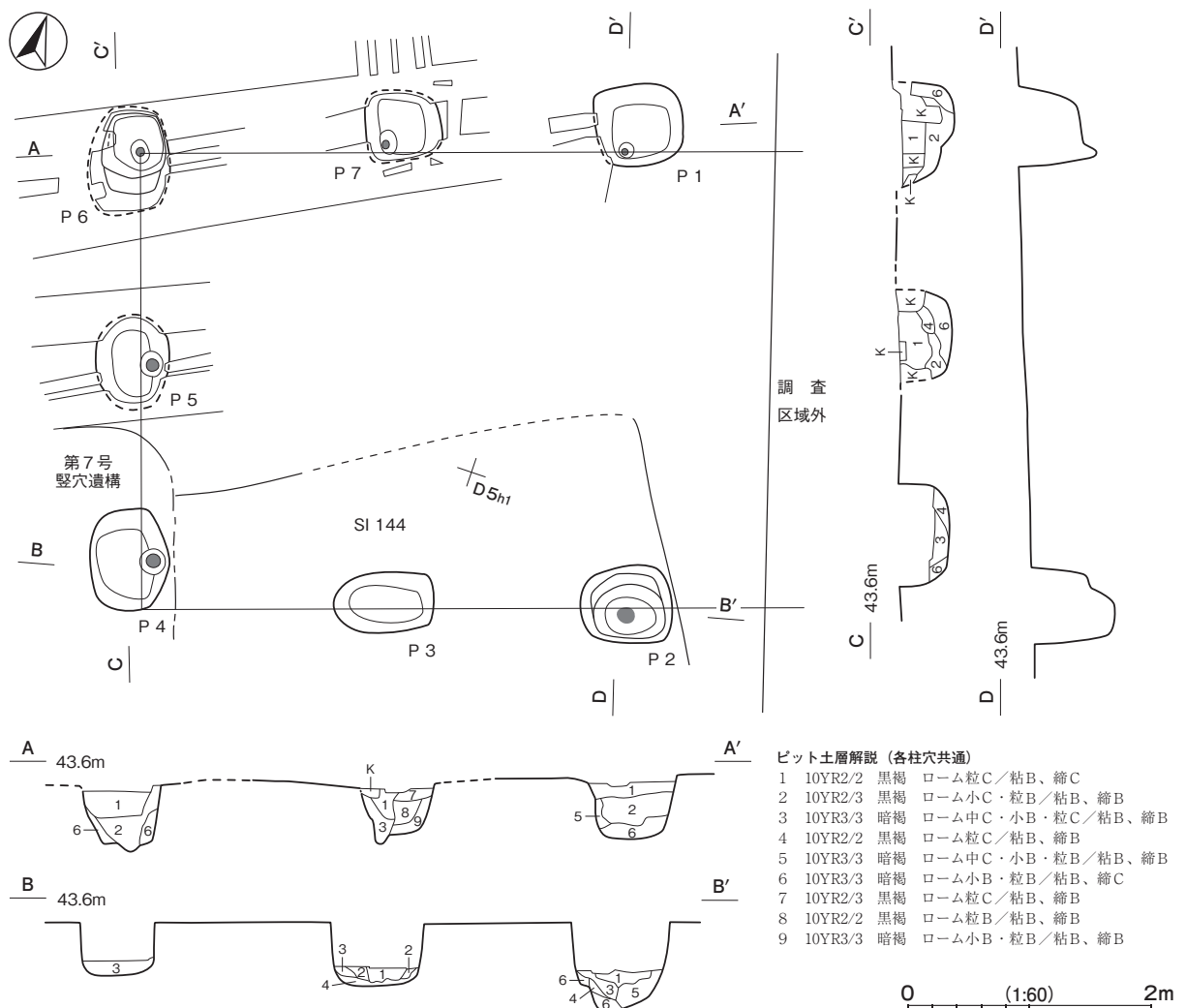
遺物出土状況 土師器片24点(坏2、甕22)、須恵器片7点(坏5、瓶1、甕1)が、P2~P4・P6・P7の覆土中から出土している。土師器杯は内面に黒色処理を施している。いずれも細片のため図示できなかった。

所見 詳細な時期は不明であるが、出土遺物や8世紀中葉の第141号竪穴建物跡との重複関係から、9・10世紀代と考えられる。

第20号掘立柱建物跡 (第336図 PL48)

位置 E区中央部のD4g0区、標高44mほどの平坦な台地上に位置している。

重複関係 第144号竪穴建物跡、第7号竪穴遺構を掘り込んでいる。



第336図 第20号掘立柱建物跡実測図

規模と構造 東部が調査区域外のため、桁行は2間以上で、梁行2間の側柱建物である。桁行方向がN-71°-Eの東西棟である。桁行は4.00m以上、梁行3.72mで、面積は14.88㎡以上である。柱間寸法は、桁行がいずれも2.00mで、西梁行が北から1.72m、2.00mである。柱筋はやや不揃いである。

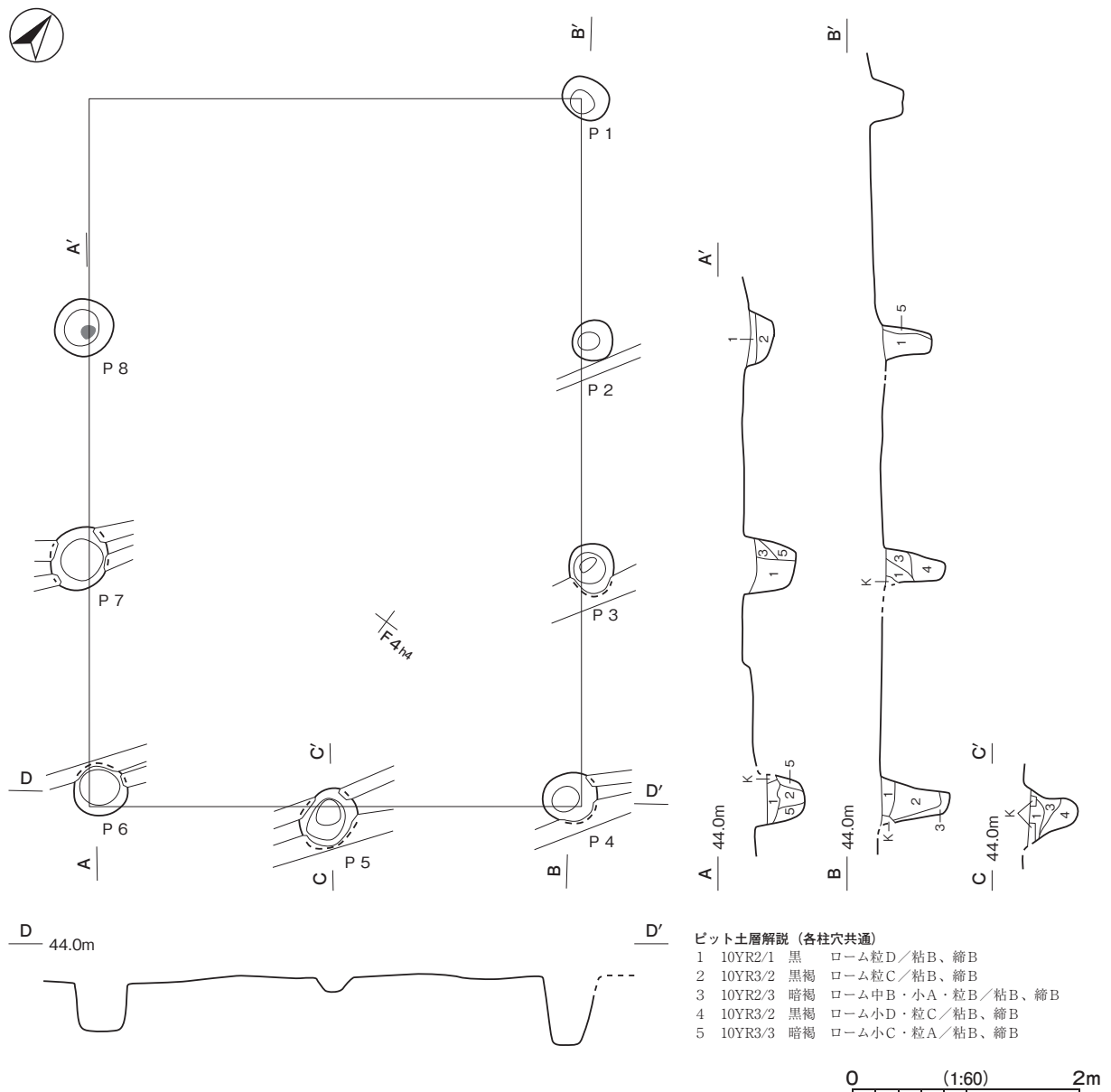
柱穴 7か所。平面形は楕円形と隅丸長方形で、長径62~84cm、短径58~70cmである。深さは44~72cmである。覆土は、いずれも柱抜き取り後の流入土である。P3を除いた各柱穴の底面で、柱の当たりを確認した。

遺物出土状況 土師器片3点(坏1、甕2)が出土している。土師器杯は内面に黒色処理を施している。いずれも細片のため図示できなかった。

所見 詳細な時期は不明であるが、出土遺物から9・10世紀代と考えられる。

第29号掘立柱建物跡 (第337図)

位置 E区南部のF4g3区、標高44mほどの平坦な台地上に位置している。



第337図 第29号掘立柱建物跡実測図

規模と構造 桁行3間、梁行2間の側柱建物で、桁行方向がN - 39° - Wの南北棟である。規模は、桁行6.20 m、梁行4.33 mで、面積は26.85㎡である。柱間寸法は、西桁行が北から2.04 m、2.00 m、2.16 m、東桁行が北から2.14 m、1.96 m、2.10 mで、南梁行が西から2.09 m、2.24 mである。柱筋はほぼ揃っている。

柱穴 北梁行の柱穴2か所は確認できず、8か所である。平面形は円形と楕円形で、長径37～58cm、短径37～52cmである。深さは28～59cmである。覆土は、いずれも柱抜き取り後の流入土である。P 8の底面で、柱の当たりを確認した。

遺物出土状況 土師器片6点(坏1、甕5)、須恵器片1点(坏)がP 1・P 2・P 4・P 5・P 8の覆土中から出土している。いずれも細片のため図示できなかったが、土師器坏は内面に黒色処理を施している。土師器甕は、口縁部がくの字状に屈曲し、端部の断面形が角型を呈する。

所見 詳細な時期は不明であるが、出土遺物から9・10世紀代と考えられる。

第179表 平安時代掘立柱建物跡一覧

番号	位置	桁行方向	柱間数	規模	面積	柱間寸法		柱 穴				主な出土遺物	時 期	備 考
						桁×梁(間)	桁×梁(m)	(㎡)	桁間(m)	梁間(m)	構造			
1	G 4 d7	N - 28° - W	3 × 2	5.84 × 4.20	24.53	1.65 ~ 2.15	1.81 ~ 2.39	側柱	10	円形・楕円形	17 ~ 37	土師器	10世紀前半	SI55・78 → 本跡
2	G 4 b7	N - 27° - W	3 × 2	6.78 × 4.74	32.14	2.00 ~ 2.54	2.27 ~ 2.47	側柱	9	円形・楕円形	38 ~ 54	土師器	9世紀後葉	SI58, SB 3, SK263・307 → 本跡 → PG43
3	G 4 b7	N - 30° - W	3 × 2	6.97 × 4.52	31.50	2.22 ~ 2.49	2.20 ~ 2.32	側柱	9	円形・楕円形・不整楕円形	21 ~ 50	土師器	9世紀中葉	SI58, SK262・307 → 本跡 → SB 2, PG43
4	G 4 c8	N - 63° - E	3 × 2	5.49 × 3.80	20.86	1.42 ~ 2.27	1.69 ~ 2.11	側柱	10	円形・楕円形	12 ~ 55	土師器 須恵器	9世紀後葉	SI56・78, SK217・286 ~ 288 → 本跡 → SI57・59, SK253, PG43
5	F 4 e4	N - 64° - E	2 × 2	3.59 × 3.17	11.38	1.65 ~ 1.94	1.46 ~ 1.71	側柱	8	円形・楕円形	28 ~ 40	土師器	9世紀後葉 ~ 10世紀前半	SI72 → 本跡
6	C 3 d0	N - 24° - W	3 × 3	5.48 × 4.81	26.36	1.62 ~ 2.00	1.41 ~ 1.72	側柱	12	円形・楕円形	24 ~ 64	土師器 須恵器	10世紀代	SK413 → 本跡 → SK421・425
7	E 4 g9	N - 58° - E	3 × 2	7.16 × 4.57	32.72	2.25 ~ 2.58	2.22 ~ 2.37	側柱	10	円形・楕円形	32 ~ 56	土師器	9・10世紀代	SB 9 → 本跡
8	E 4 h7	N - 28° - W	3 × 2	7.00 × 4.55	31.85	2.10 ~ 2.47	2.13 ~ 2.42	側柱	10	隅丸方形・隅丸長方形	50 ~ 78	土師器 須恵器 管状土錘 砥石	9世紀後半	SI155・156 → 本跡
9	E 4 h9	N - 20° - W	6 × 3	12.94 × 6.60	85.40	1.97 ~ 2.40	1.97 ~ 2.46	側柱	18	円形・楕円形・隅丸長方形	50 ~ 100	土師器 須恵器	9世紀代	SI156, SK773 → 本跡 → SB 7, SD23
10	D 4 d6	N - 25° - W	3 × 2	6.25 × 4.87	30.44	1.96 ~ 2.17	2.40 ~ 2.47	側柱	8	円形・楕円形・隅丸長方形	19 ~ 42	土師器 須恵器	10世紀後半	SI126・165・171, SK950 → 本跡
11	D 4 j6	N - 25° - W	5 × 2	10.66 × 5.50	58.63	1.76 ~ 2.36	2.67 ~ 2.83	側柱	14	楕円形・隅丸長方形	30 ~ 66	土師器 須恵器	10世紀後半	SI63・173, SB18, SK1015・1072 → 本跡
12	D 4 g1	N - 62° - E	3 × 3	7.78 × 7.73	60.14	2.07 ~ 2.97	2.03 ~ 3.06	側柱	10	円形・楕円形・隅丸長方形	25 ~ 50	土師器 須恵器	9・10世紀代	SI169 → 本跡 → SI167, SB15, SK1010・1063
14	D 4 e1	N - 62° - E	3 × 2	6.24 × 4.90	30.58	1.82 ~ 2.38	2.30 ~ 2.60	側柱	10	円形・楕円形・不整楕円形	28 ~ 74	土師器 須恵器	11世紀前半	SI129・131, SB15, SK967 → 本跡
15	D 4 f2	N - 31° - W	4 × 3	8.24 × 5.40	44.50	1.90 ~ 2.22	1.58 ~ 1.96	側柱	14	円形・楕円形	38 ~ 65	土師器	9・10世紀代	SI129, SB12, SK1043 → 本跡 → SI167, SB14
16	D 4 f7	N - 58° - E	3 × 2	5.38 × 4.20	22.60	1.45 ~ 2.25	1.88 ~ 2.32	側柱	10	楕円形・隅丸長方形	24 ~ 64	土師器 須恵器	10・11世紀代	SI166・181, 第6号竪穴遺構 → 本跡 → SK1040
17	E 5 b1	N - 17° - W	4 × 2	8.83 × 5.03	44.41	2.05 ~ 2.40	2.51 ~ 2.52	側柱	10	楕円形・隅丸長方形	10 ~ 48	土師器	9世紀後半 ~ 10世紀代	SI142・143・176 → 本跡
18	E 4 a7	N - 52° - E	2 × 2	4.80 × 3.78	18.14	2.18 ~ 2.65	1.50 ~ 2.30	側柱	7	楕円形・隅丸長方形	13 ~ 48	土師器 須恵器	10世紀前半	SI173, SK1031 → 本跡 → SB11
19	E 4 e9	N - 67° - E	3 × 2	4.92 × 3.45	16.97	1.34 ~ 1.80	1.60 ~ 1.85	側柱	9	楕円形・方形・長方形	12 ~ 50	土師器 須恵器	9・10世紀代	SI141, SK1103 → 本跡
20	D 4 g0	N - 71° - E	(2) × 2	(4.00) × 3.72	(14.88)	2.00	1.72 ~ 2.00	側柱	7	楕円形・隅丸長方形	44 ~ 72	土師器	9・10世紀代	SI144, 第7号竪穴遺構 → 本跡
29	F 4 g3	N - 39° - W	3 × 2	6.20 × 4.33	26.85	1.96 ~ 2.16	2.09 ~ 2.24	側柱	8	円形・楕円形	28 ~ 59	土師器 須恵器	9・10世紀代	

(3) 竪穴遺構

第1号竪穴遺構 (第338・339図 PL48・91)

位置 E区中央部のD4e3区、標高44mほどの平坦な台地上に位置している。

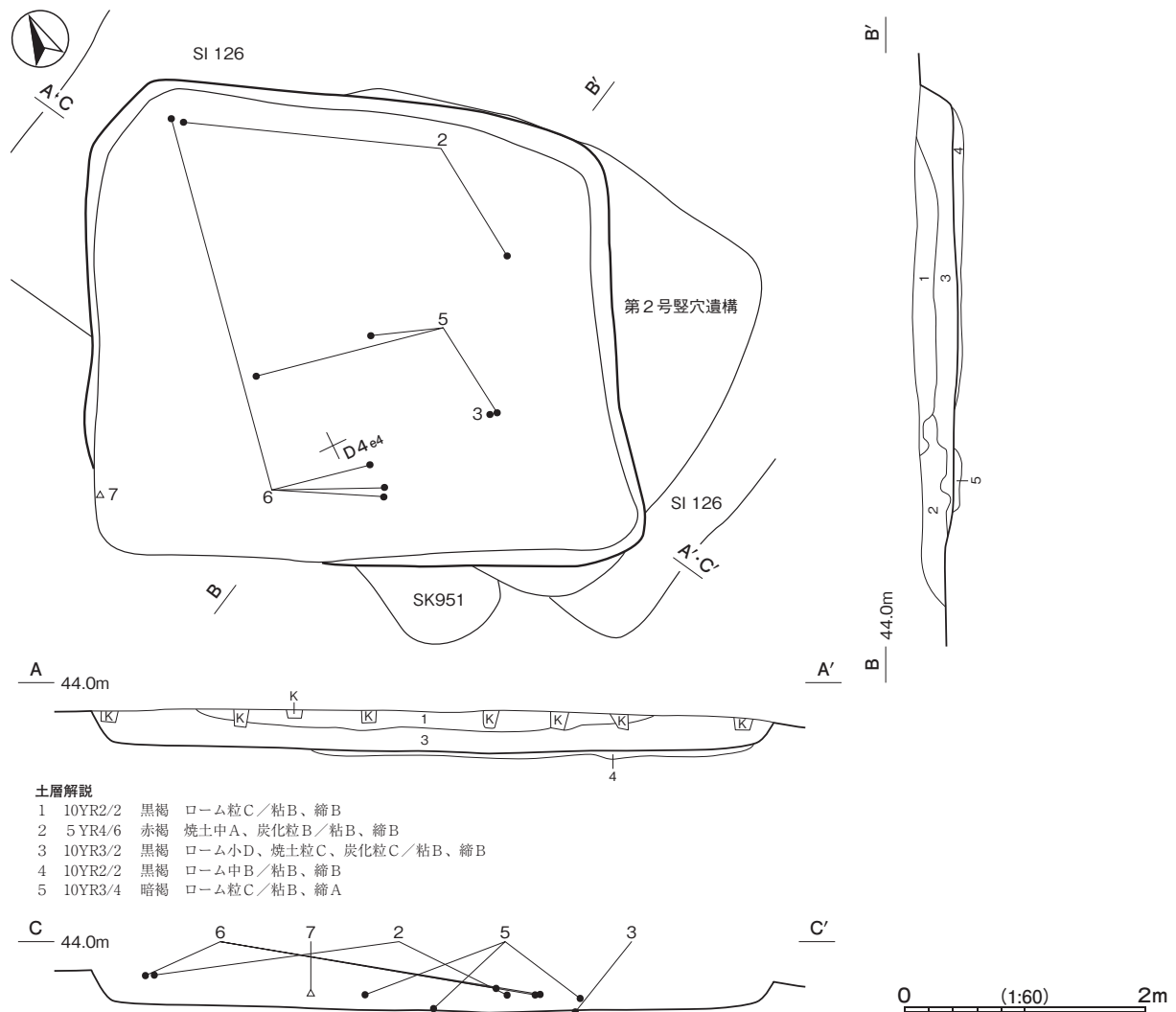
重複関係 第126号竪穴建物跡、第2号竪穴遺構、第951号土坑を掘り込んでいる。

規模と形状 長軸4.44m、短軸3.96mで、長軸方向はN-53°-Wの長方形である。壁は高さ26cmで、外傾している。

床 平坦である。貼床は、ロームブロックを含む第4・5層を4~8cmほど埋土して構築している。

覆土 3層に分層できる。焼土ブロックや炭化粒子を含んでいることから、人為堆積である。

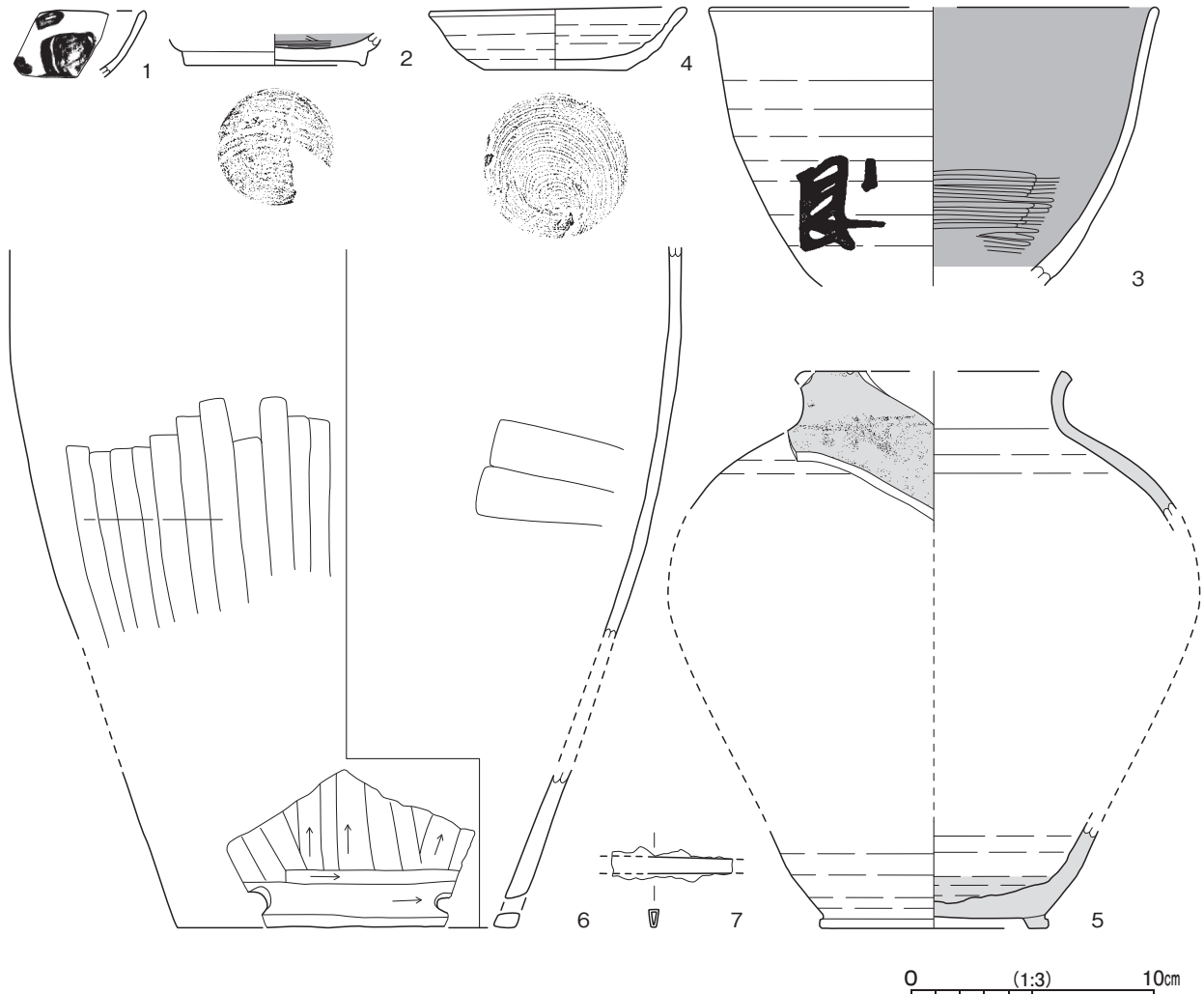
遺物出土状況 土師器片474点(坏124、高台付椀55、小皿2、鉢1、甕291、甌1)、須恵器片55点(坏36、蓋3、甕15、大甕1)、灰釉陶器片1点(短頸壺)、金属製品3点(刀子1、不明鉄製品2)、鉄滓2点、礫10点、粘土塊1点、自然遺物2点(炭化材)が出土している。1は覆土中から出土している。2は東部の覆土中層と北コーナー部付近の覆土上層から出土した破片2点が接合したものである。3は中央部南寄りの床面から、4は覆土中から、それぞれ出土している。5は中央部の床面と中央部西寄り、中央部南寄りの覆土中層から出土した破片3点が接合したものである。6は西部の覆土中層と北コーナー部の覆土上層から出土した破片4点が



第338図 第1号竪穴遺構実測図

接合したものである。7は西コーナー部の覆土中層から出土している。

所見 時期は、出土土器から10世紀後葉である。



第 339 図 第 1 号竪穴遺構出土遺物実測図

第 180 表 第 1 号竪穴遺構出土遺物一覧 (第 339 図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	特徴	出土位置	備考
1	土師器	坏	-	(2.8)	-	長石・石英・雲母	にぶい橙	普通	体部内外面ロクロナデ	覆土	5% 墨書「□」
2	土師器	高台付椀	-	(1.3)	7.4	長石・石英・雲母・ 赤色粒子	にぶい橙	普通	体部外面ナデ 内面ヘラ磨き 底部静止糸切り 後周縁部ロクロナデ 底部造り出し	覆土中層 覆土上層	20%
3	土師器	鉢	[18.4]	(11.4)	-	長石・石英・雲母	橙	普通	体部外面ロクロナデ 内面ヘラ磨き	床面	30% PL91 墨書「□」
4	土師器	小皿	10.5	2.6	6.0	長石・石英・雲母・ 礫・赤色粒子	にぶい橙	普通	体部内外面ロクロナデ 底部回転糸切り	覆土	100% PL91
5	灰釉陶器	短頸壺	[10.6]	[22.9]	9.2	長石	灰白	普通	体部内外面ロクロナデ 底部回転ヘラ削り後高 台貼付け 体部内外面一部施釉	床面 覆土中層	30%
6	土師器	甌	-	(28.0)	[13.8]	長石・石英・雲母	にぶい橙	普通	体部外面縦位のヘラナデ 下端縦位のヘラ削り 内面ナデ 4か所穿孔	覆土中層 覆土上層	20%
番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴			出土位置	備考
7	刀子	(5.0)	(0.7)	0.4	(5.63)	鉄	両端部欠損 断面三角形			覆土中層	

第2号竖穴遺構 (第340図 PL48)

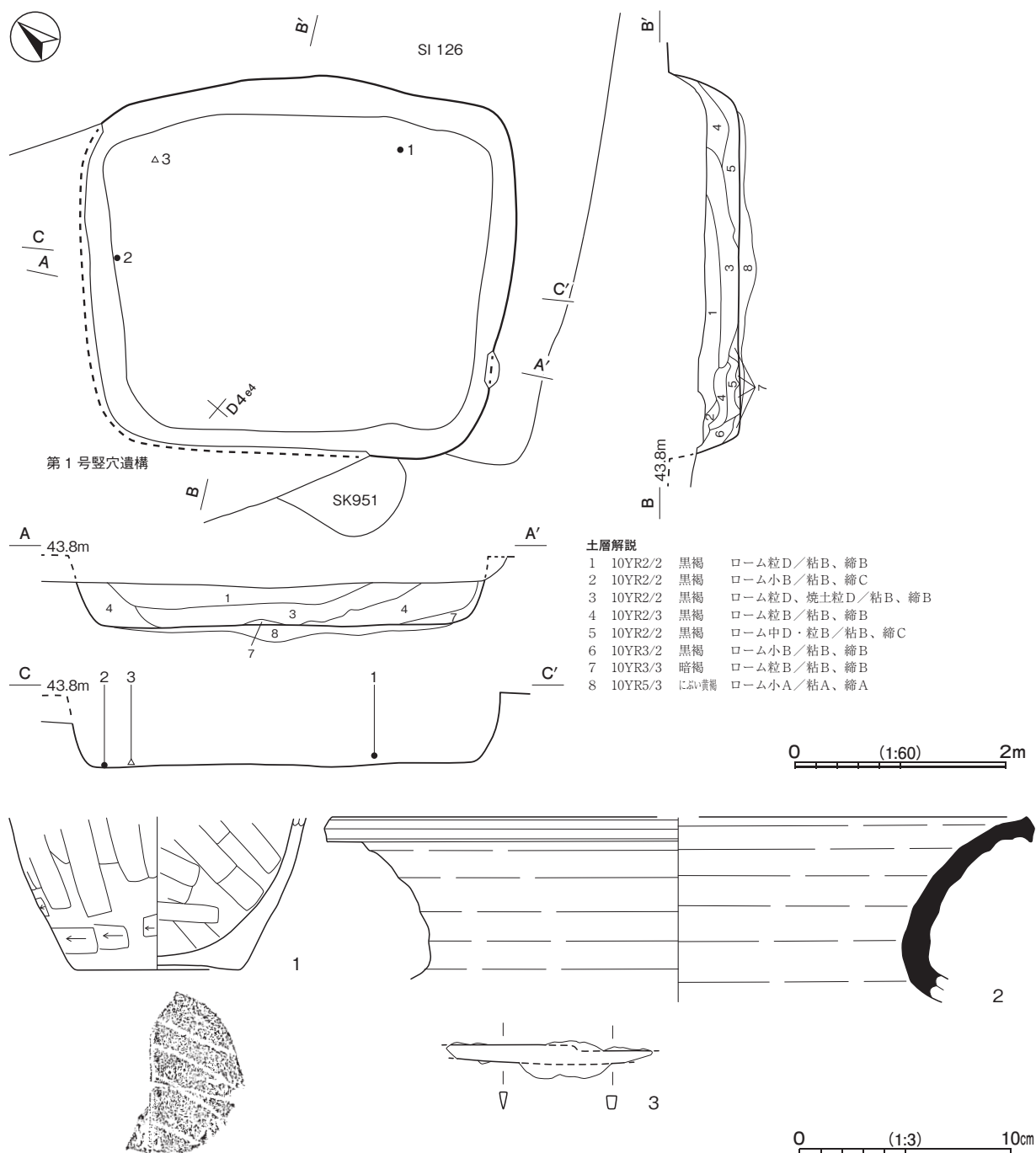
位置 E区中央部のD4e3区、標高43mほどの平坦な台地上に位置している。

重複関係 第126号竖穴建物跡、第951号土坑を掘り込み、第1号竖穴遺構に掘り込まれている。

規模と形状 長軸4.06m、短軸3.48mで、長軸方向はN-39°-Wの長方形である。壁は高さ42cmほどで、外傾している。

床 平坦である。貼床はロームブロックを含む第8層を5~16cmほど埋土して構築している。

覆土 7層に分層できる。各層にローム粒子を多く含んでいることから、人為堆積である。



第340図 第2号竖穴遺構・出土遺物実測図

遺物出土状況 土師器片 416 点（坏 59、碗 14、甕 343）、須恵器片 128 点（坏 46、蓋 11、盤 1、長頸瓶 6、甕 63、大甕 1）、金属製品 4 点（刀子 1、釘 1、不明鉄製品 2）、礫 9 点が出土している。1 は北東壁際東寄りの覆土下層、2 は北西壁際中央部の床面から、3 は北コーナー部の覆土下層からそれぞれ出土している。

所見 時期は、重複関係や出土土器から 9・10 世紀代と考えられる。

第 181 表 第 2 号竪穴遺構出土遺物一覧（第 340 図）

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	特徴	出土位置	備考
1	土師器	甕	-	(7.2)	7.8	長石・石英・雲母	にぶい赤褐	普通	体部内外面斜位のヘラナデ 体部下端横位のヘラ削り 底部木葉痕	覆土下層	20%
2	須恵器	大甕	[33.0]	(8.7)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	灰	普通	口縁部内外面ロクロナデ	床面	30%

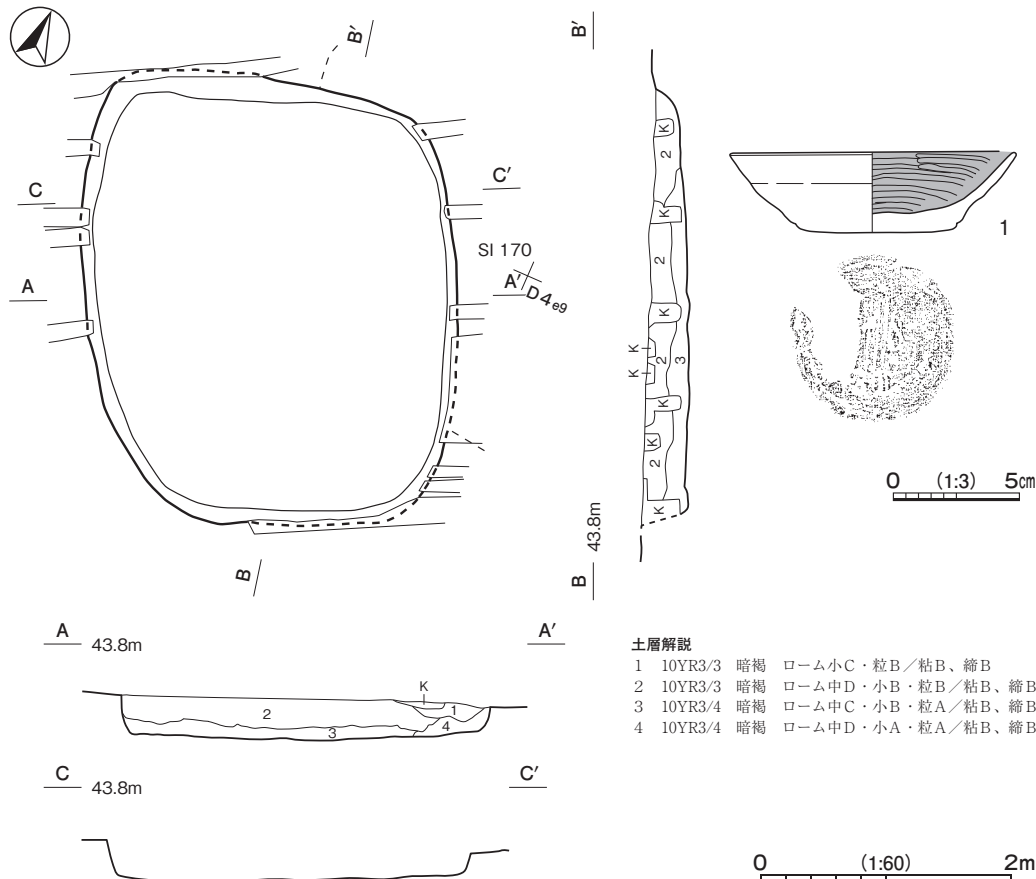
番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
3	刀子	(9.7)	0.9	0.4~0.5	(14.41)	鉄	両端部欠損 刃身部断面三角形 茎部断面逆台形	覆土下層	

第 3 号竪穴遺構（第 341 図 PL48・91）

位置 E 区中央部の D 4 e8 区、標高 44 m ほどの平坦な台地上に位置している。

重複関係 第 170 号竪穴建物跡を掘り込んでいる。

規模と形状 長軸 3.54 m、短軸 2.96 m で、長軸方向は N - 22° - W の長方形である。壁は高さ 18 ~ 36 cm ほどで、ほぼ直立している。



第 341 図 第 3 号竪穴遺構・出土遺物実測図

床 平坦で、硬化した範囲は確認できなかった。

覆土 4層に分層できる。各層にロームブロックを含んでいることから、人為堆積である。

遺物出土状況 土師器片 52点（坏 26、高台付坏 9、甕 17）、須恵器片 2点（甕）、鉄滓 1点が出土している。遺物は、北東部の覆土上層から散在した状態で出土している。1は北東部の覆土中から出土している。

所見 時期は、重複関係や出土土器から 10 世紀前葉である。

第 182 表 第 3 号 竪穴遺構出土遺物一覧（第 341 図）

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	特徴	出土位置	備考
1	土師器	坏	[11.2]	3.2	6.5	長石・石英	にぶい橙	普通	体部外面ロクロナデ ヘラ切り後ヘラナデ 内面ヘラ磨き 底部回転	覆土	80% PL91

第 4 号 竪穴遺構（第 342 図 PL48・102）

位置 E 区中央部の D 4i9 区、標高 44 m ほどの平坦な台地上に位置している。

重複関係 第 7 号 竪穴遺構を掘り込んでいる。

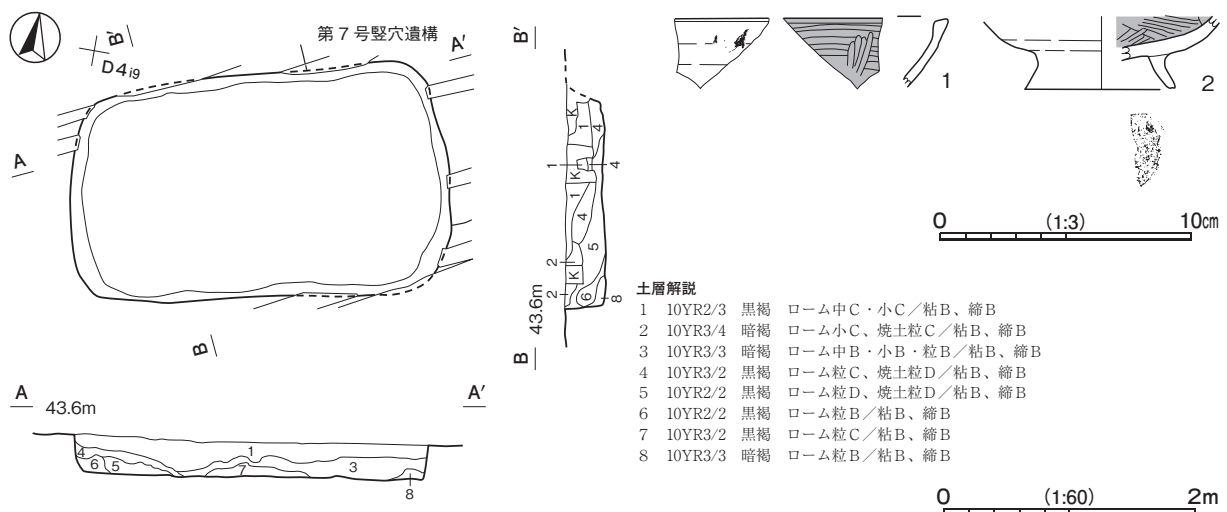
規模と形状 長軸 3.01 m、短軸 1.80 m で、長軸方向は N - 73° - E の長方形である。壁は高さ 26 ~ 36 cm ほどで、ほぼ直立している。

床 平坦で、硬化した範囲は確認できなかった。

覆土 8層に分層できる。ロームブロックを含んでいることや不規則な堆積状況を呈することから、人為堆積である。

遺物出土状況 土師器片 25 点（坏 8、高台付椀 2、甕 14、甑 1）、須恵器片 8 点（坏 4、蓋 2、甕 2）が出土している。遺物は東部の覆土上層から散在した状態で出土している。1・2 は南東部の覆土中から出土している。

所見 時期は、重複関係や出土土器から 10 世紀後葉である。



第 342 図 第 4 号 竪穴遺構・出土遺物実測図

第 183 表 第 4 号竖穴遺構出土遺物一覧 (第 342 図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	特徴	出土位置	備考
1	土師器	坏	-	(2.9)	-	長石・石英	にぶい黄褐	普通	口縁部・体部外面ロクロナデ 内面ヘラ磨き	覆土	5% PL102 墨書「□」
2	土師器	高台付椀	-	(2.6)	[6.0]	長石・石英	浅黄橙	普通	体部外面ロクロナデ 内面ヘラ磨き 底部高台貼付け	覆土	10%

第 5 号竖穴遺構 (第 343 図)

位置 E 区中央部の E 4e1 区、標高 44 m ほどの平坦な台地上に位置している。

重複関係 第 84 号竖穴建物跡、第 334・335・340 号土坑を掘り込み、第 324 号土坑に掘り込まれている。

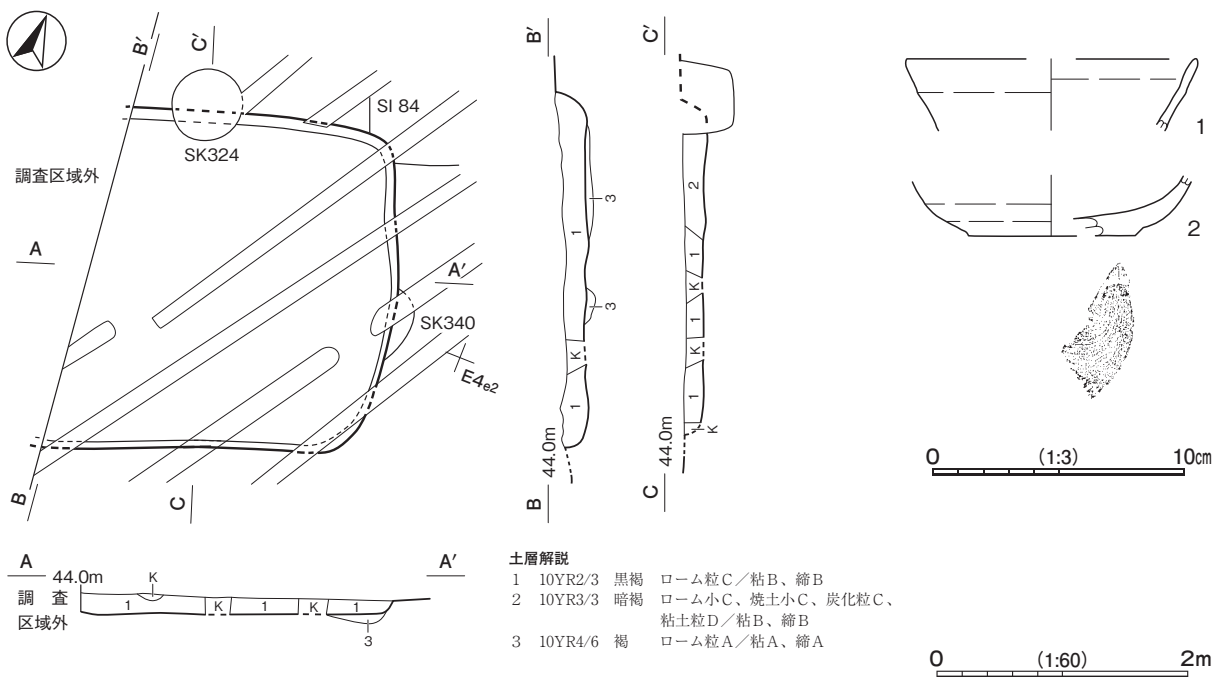
規模と形状 西部が調査区域外のため、確認できた規模は南北軸 2.72 m、東西軸 2.50 m である。南北軸方向は N - 19° - W の方形か長方形と推定できる。壁は高さ 10 ~ 23cm ほどで、ほぼ直立している。

床 平坦である。貼床は一部の地山を 6 ~ 10cm ほど掘り下げ、ローム粒子を含む第 3 層を埋土して構築している。

覆土 2 層に分層できる。覆土はほぼ第 1 層が占める自然堆積である。

遺物出土状況 土師器片 99 点 (坏 26、高台付坏 5、甕 68)、須恵器片 7 点 (甕) が出土している。出土土器は主に北西部の覆土上層から散在して出土している。1・2 は、覆土中からそれぞれ出土している。

所見 時期は、出土土器から 10 世紀中葉である。



第 343 図 第 5 号竖穴遺構・出土遺物実測図

第 184 表 第 5 号竖穴遺構出土遺物一覧 (第 343 図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	特徴	出土位置	備考
1	土師器	坏	[11.6]	(2.8)	-	長石・石英	浅黄橙	普通	口縁部・体部内外面ロクロナデ	覆土	5%
2	土師器	坏	-	(2.4)	[6.6]	長石・石英・雲母・針状物質	浅黄橙	普通	体部内外面ロクロナデ 底部回転糸切り	覆土	10%

第6号竖穴遺構 (第344図 PL48)

位置 E区中央部のD4f7区、標高44mほどの平坦な台地上に位置している。

重複関係 第16号掘立柱建物に掘り込まれている。

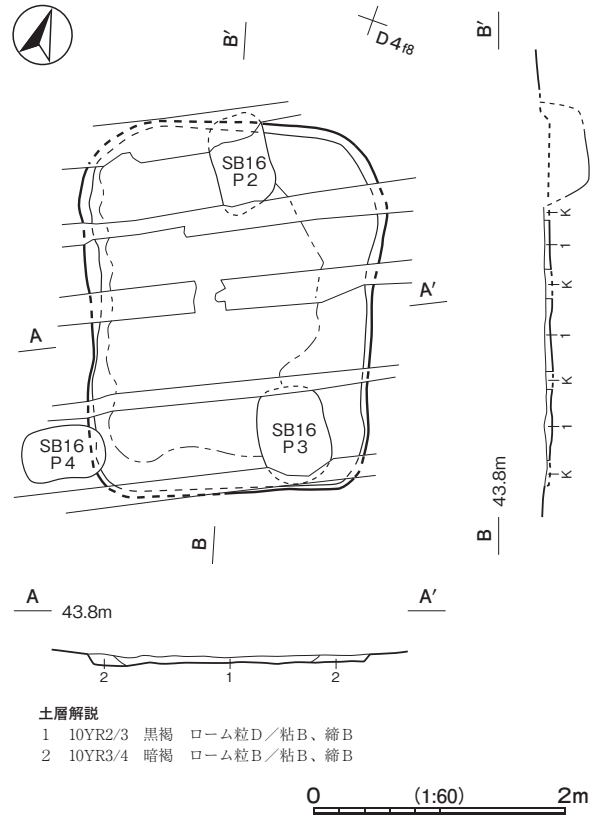
規模と形状 長軸2.90m、短軸2.35mで、長軸方向はN-19°-Wの隅丸長方形である。壁は高さ6~8cmで、外傾している。

床 平坦である。東・南壁際を除いて硬化している。

覆土 2層に分層できる。黒色土でほぼ覆われ、含有物は粒子主体であることから、自然堆積である。

遺物出土状況 土師器片15点(坏1、高台付椀1、甕13)、須恵器片1点(甕)が出土している。ほかに混入した弥生土器片1点(広口壺)が出土している。遺物は、主に覆土上層から出土している。細片のため図示できない。

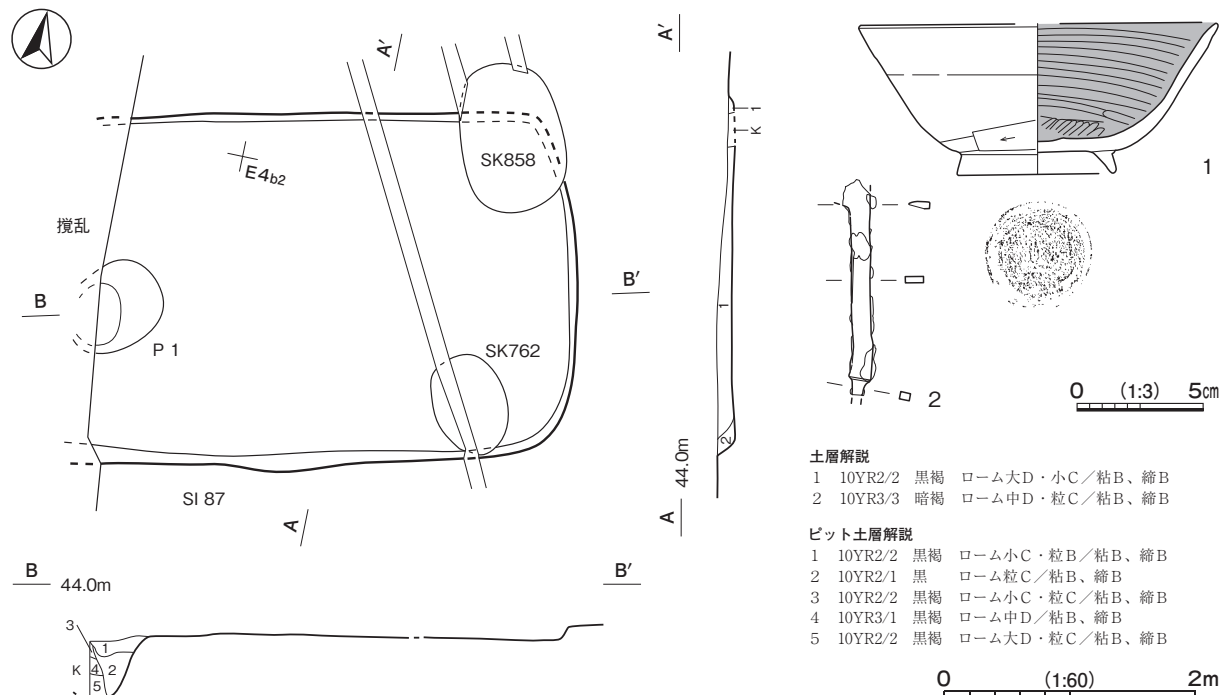
所見 時期は、重複関係や出土土器から9世紀代と考えられる。



第344図 第6号竖穴遺構実測図

第8号竖穴遺構 (第345図 PL48・91)

位置 E区南部のE4b2区、標高44mほどの平坦な台地上に位置している。



第345図 第8号竖穴遺構・出土遺物実測図

重複関係 第 87 号竪穴建物跡を掘り込み、第 762・858 号土坑に掘り込まれている。

規模と形状 西部が攪乱のため、確認できた規模は長軸 3.80 m、短軸 2.78 m である。長軸方向は N - 75° - E の長方形である。壁は高さ 4 ~ 14cm で、外傾している。

床 平坦である。硬化していない。

ピット P 1 は深さ 50cm で、性格は不明である。

覆土 2 層に分層できる。ロームブロックを多く含んでいることから、人為堆積である。

遺物出土状況 土師器片 38 点（坏 4、高台付坏 3、甕 31）、須恵器片 5 点（坏 4、甕 1）、金属製品 1 点（鉄鏃）が出土している。遺物は、主に南西部の覆土中から出土している。1 は東部から、2 は南西部の覆土中から、それぞれ出土している。

所見 時期は、出土土器から 10 世紀後葉である。

第 185 表 第 8 号竪穴遺構出土遺物一覧（第 345 図）

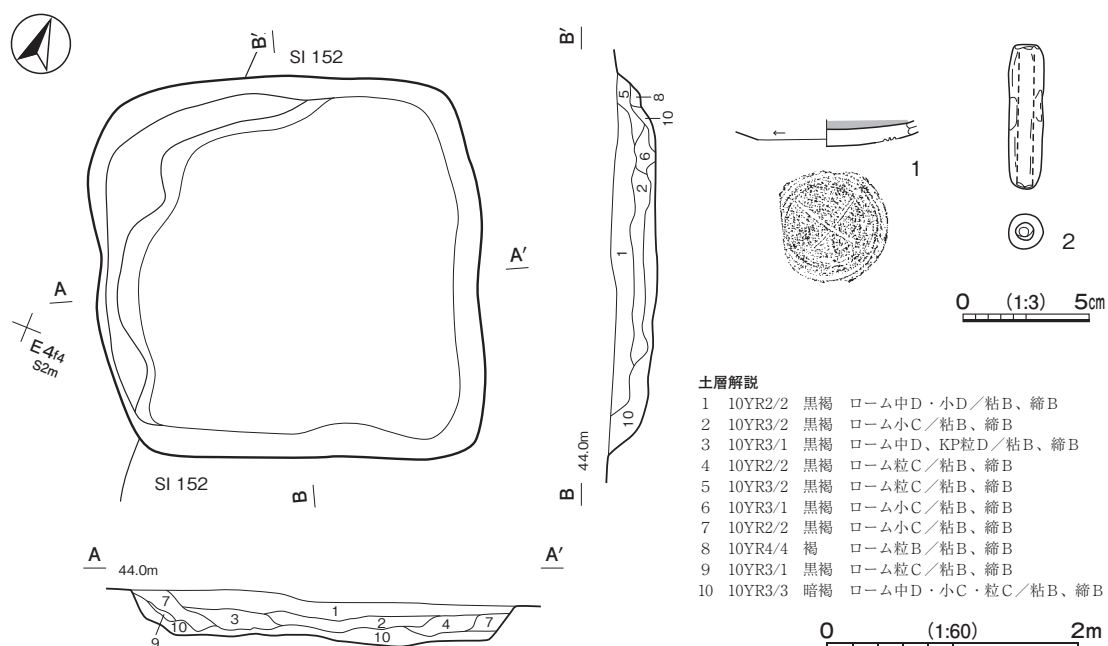
番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	特徴	出土位置	備考
1	土師器	高台付坏	[14.0]	6.0	6.4	長石・石英	にぶい赤褐色	普通	口縁部・体部外面ロクロナデ 内面ヘラ磨き 体部下端手持ちヘラ削り 底部回転ヘラ切り後 高台貼付け	覆土	50% PL91
番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴			出土位置	備考
2	鉄鏃	(8.6)	(1.0)	0.3	(12.0)	鉄	鏃身部～茎部分 断面長方形			覆土	

第 9 号竪穴遺構（第 346 図 PL102）

位置 E 区中央部の E 4 f4 区、標高 44 m ほどの平坦な台地上に位置している。

重複関係 第 152 号竪穴建物跡、第 860 号土坑を掘り込んでいる。

規模と形状 一辺 3.05 m の方形である。南北軸方向は N - 25° - W である。深さは 31cm で、壁は、北西部が底面から高さ 12cm ほどの段を有し、その他は外傾している。底面はやや凹凸がある。



第 346 図 第 9 号竪穴遺構・出土遺物実測図

覆土 10層に分層できる。各層にロームのブロックや粒子を含んでいることから、人為堆積である。

遺物出土状況 土師器片 161点（坏43、高台付坏1、高台付皿1、甕116）、須恵器片 27点（坏15、蓋1、長頸瓶1、甕10）、土製品1点（管状土錘）が出土している。1は北西部、2は南東部の覆土中からそれぞれ出土している。

所見 時期は、出土土器から9世紀後半と考えられる。

第186表 第9号竪穴遺構出土遺物一覧（第346図）

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	特徴	出土位置	備考
1	土師器	高台付皿	-	(0.9)	-	長石・石英	にぶい橙	普通	体部外面下端回転ヘラ削り 内面ヘラ磨き	覆土中	5% PL102 ヘラ書き「x」
番号	器種	長さ	径	孔径	重量	胎土	色調	特徴	出土位置	備考	
2	管状土錘	5.7	1.4	0.6	11.3	長石・石英・赤色 粒子	にぶい黄橙	ナア 一方向からの穿孔	覆土中		

第187表 平安時代竪穴遺構一覧

番号	位置	長軸方向	平面形	規模		壁高 (cm)	床面	壁溝	内部施設					覆土	主な出土遺物	時期	備考
				長軸×短軸(m)					主柱穴	出入口	ピット	炬・竈	貯蔵穴				
1	D4 e3	N-53°-W	長方形	4.44 × 3.96	26	平坦	-	-	-	-	-	-	人為	土師器 灰釉陶器 刀子 不明鉄製品	10世紀後葉	SI126、第2号竪穴遺構、 SK951 → 本跡	
2	D4 e3	N-39°-W	長方形	4.06 × 3.48	42	平坦	-	-	-	-	-	-	人為	土師器 須恵器 刀子 釘 不明鉄製品	9・10世紀代	SI126、SK951 → 本跡 → 第1号竪穴遺構	
3	D4 e8	N-22°-W	長方形	3.54 × 2.96	18~36	平坦	-	-	-	-	-	-	人為	土師器 須恵器 鉄滓	10世紀前葉	SI170 → 本跡	
4	D4 i9	N-73°-E	長方形	3.01 × 1.80	26~36	平坦	-	-	-	-	-	-	人為	土師器	10世紀後葉	第7号竪穴遺構 → 本跡	
5	E4 e1	N-19°-W	[方形・矩形]	2.72 × (2.50)	10~23	平坦	-	-	-	-	-	-	自然	土師器	10世紀中葉	SI84、SK334・335・ 340 → 本跡 → SK324	
6	D4 f7	N-19°-W	隅丸長方形	2.90 × 2.35	6~8	平坦	-	-	-	-	-	-	自然	土師器 須恵器	9世紀代	本跡 → SB16	
8	E4 b2	N-75°-E	長方形	3.80 × 2.78	4~14	平坦	-	-	-	-	-	-	人為	土師器 鉄鏝	10世紀後葉	SI87 → 本跡 → SK762・858	
9	E4 f4	N-25°-W	方形	3.05 × 3.05	31	やや 凹凸	-	-	-	-	-	-	人為	土師器 須恵器 管状土錘	9世紀後半	SI152、SK860 → 本跡	

(4) 道路跡

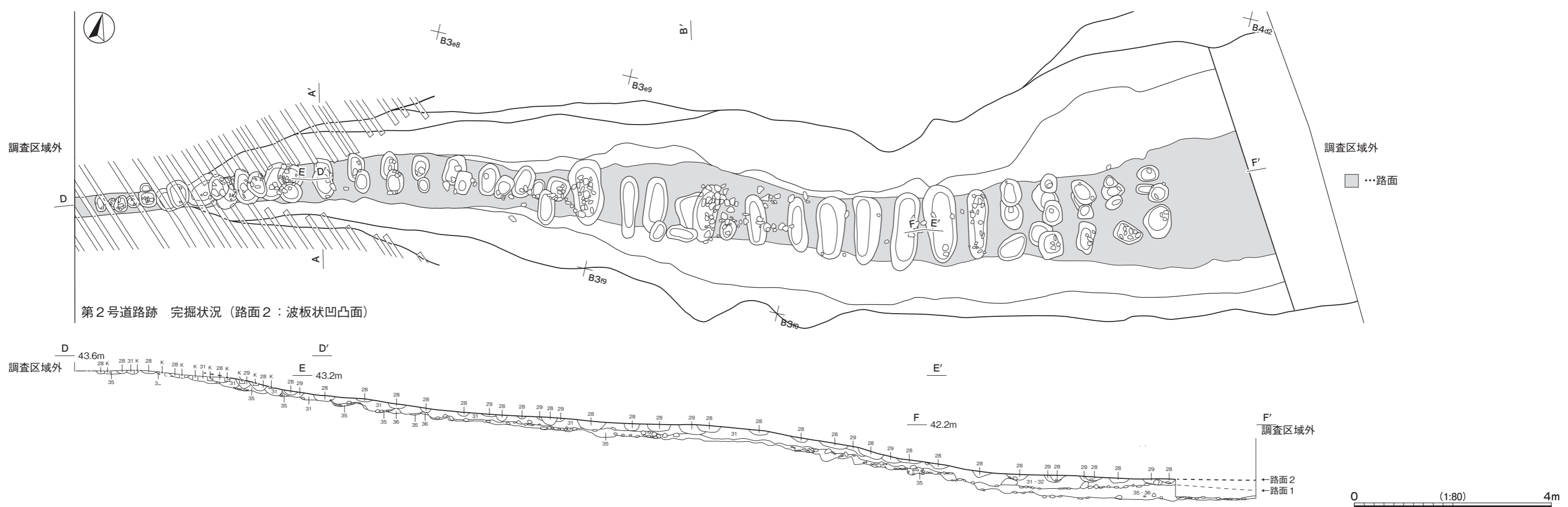
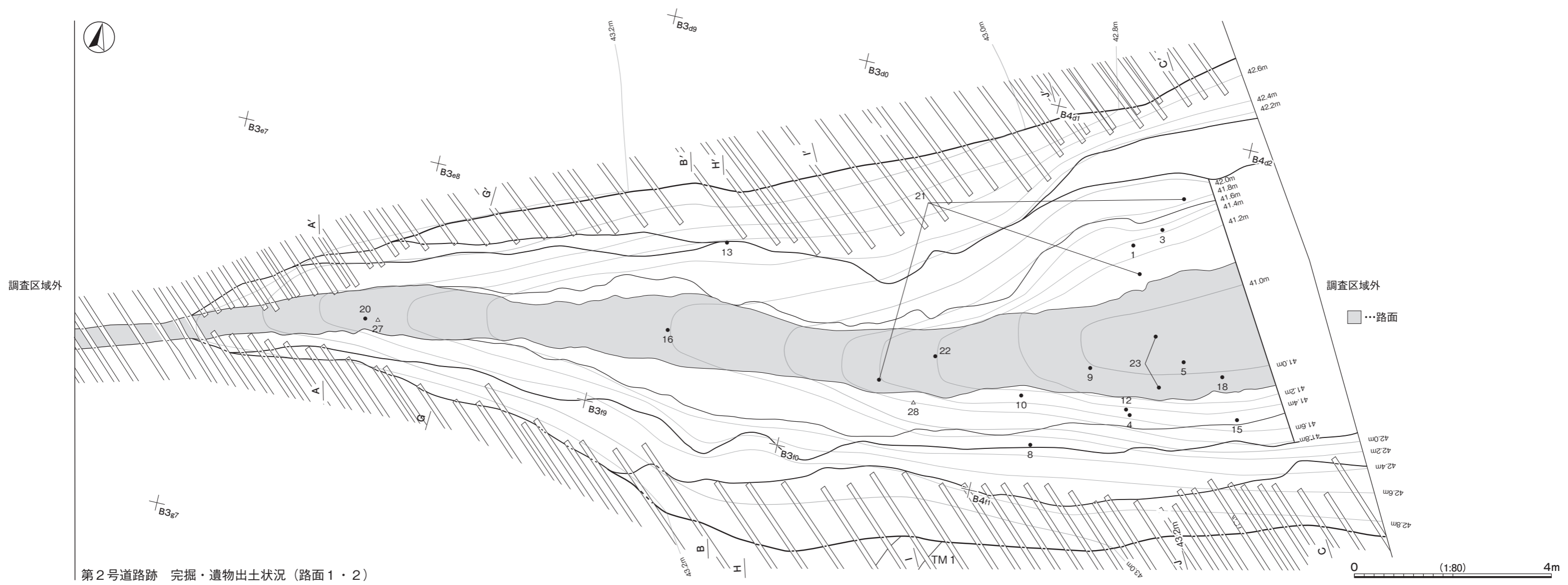
第2号道路跡（第347～351図 PL49・92）

位置 E区北部のB3f6～B4e2区、標高43mほどの台地縁辺部に位置し、調査区域から東側へ約25mで急峻な段丘崖になっている。

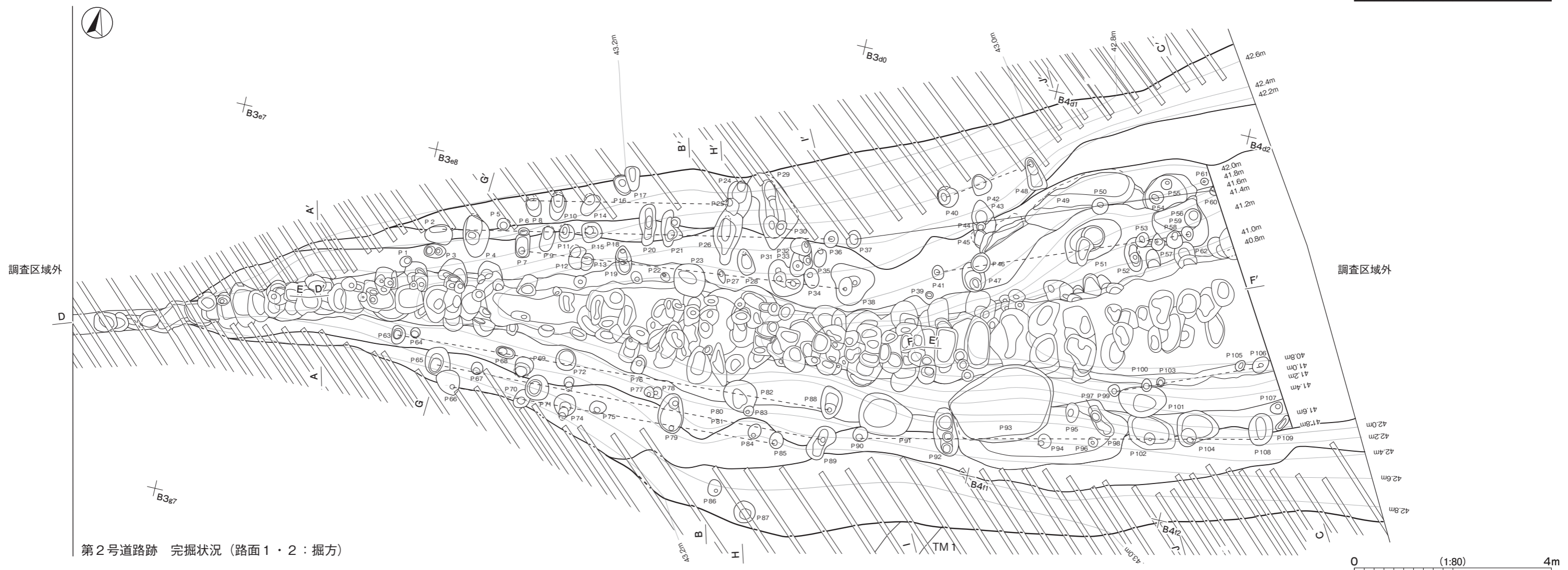
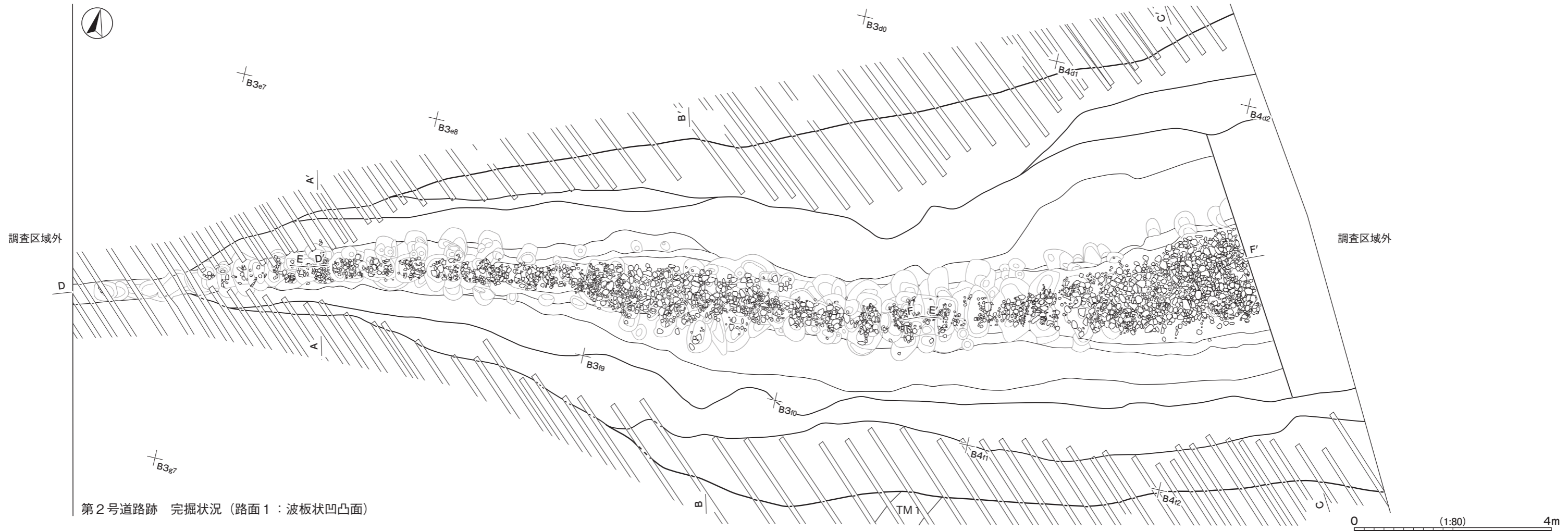
重複関係 第1号方形周溝墓を掘り込んでいる。

規模と形状 東北東方向(N-77°-E)へ緩やかに蛇行しており、西部がN-73°-E、中央部がN-83°-E、東部がN-70°-Eである。東西が調査区域外のため、確認できた規模は、長さ25.82m、上幅0.40～9.56mで、路面幅が0.38～2.64m、掘方底面の下幅が0.24～2.12mである。深さは、東端の最深部で路面までが1.76m、掘方底面までが2.08mである。断面形は逆台形である。

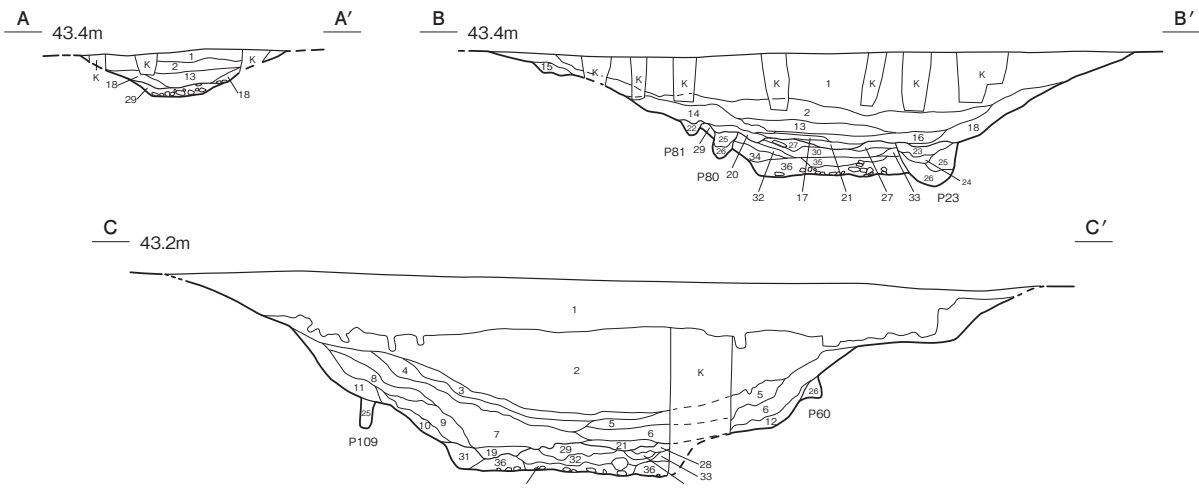
路面 2面。路面の傾斜は、西部から中央部が7°で、中央部東寄り11°でやや急になり、東部が2°で緩やかになっている。標高は43.31～41.00mで、比高差2.31mである。路面の掘方は溝状を呈し、深さ10～38cmで、断面形は逆台形である。掘方底面には、走行方向と直交する長径0.38～1.42m、短径0.28～0.72m、深さ5～12cmの楕円形の土坑を連続的に構築している（波板状凹凸面）。土坑内には多量の径4～22cm大の円礫・亜円礫と締まりの強い黒褐色土（第35・36層）を充填・敷設している。礫や第35・36層に鉄分の沈着が著しいことから、地下水による泥濘化対策や補修・補強のためと考えられる。その上部に締まりの弱い黒・暗褐色土（第31・32・34層）が堆積している。第27～30・33・35・36層は締まりが強い。土層の硬化状況から判断すると、



第347図 第2号道路跡実測図(1)

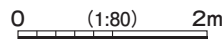
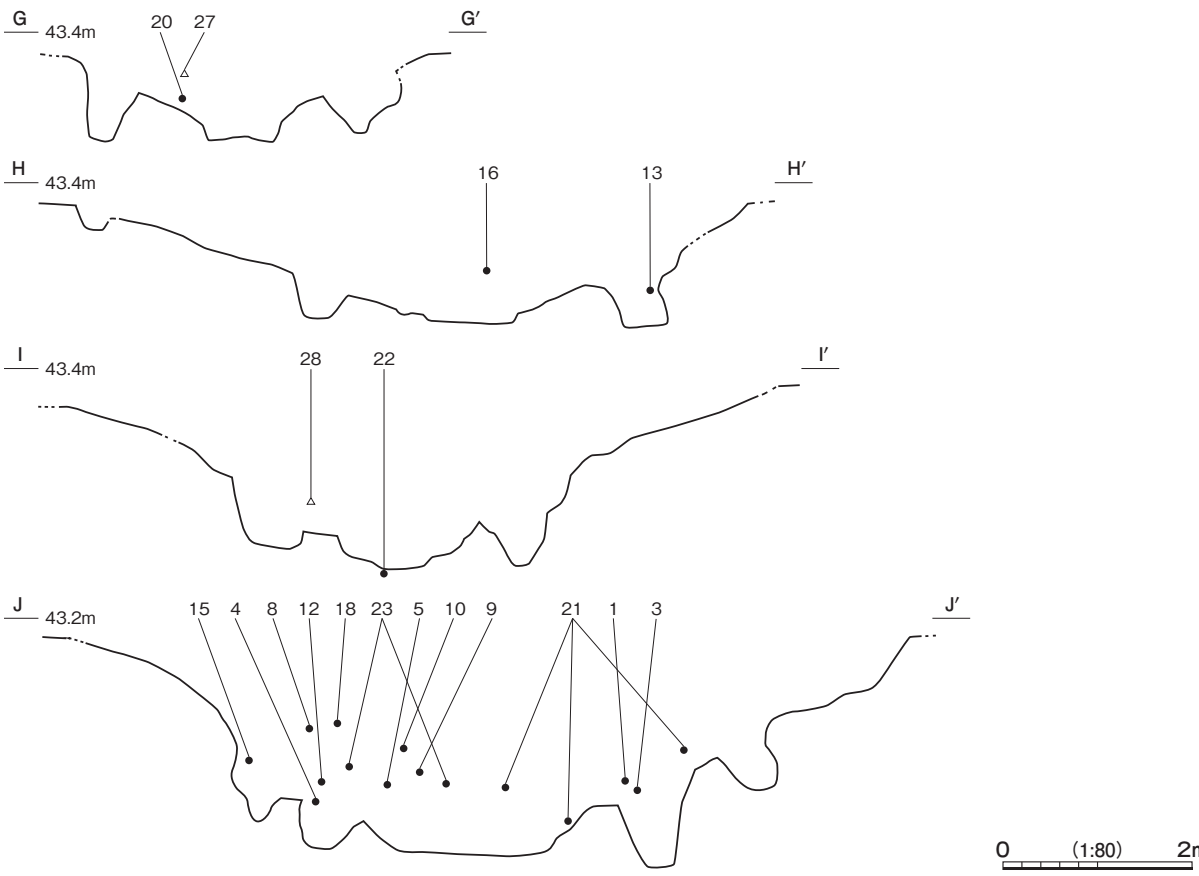


第348図 第2号道路跡実測図(2)



土層解説

1	10YR3/2	黒褐	ローム粒D、KP粒D、炭化粒D/粘C、締B	18	10YR2/3	黒褐	ローム粒B、KP粒B/粘B、締B
2	10YR3/3	暗褐	ローム小D・粒D、焼土粒D、炭化粒D、KP粒D/粘B、締B	19	10YR3/2	黒褐	ローム小D・粒D、KP粒D/粘C、締B
3	10YR3/2	黒褐	ローム粒C、焼土小C、炭化物B/粘B、締B	20	10YR2/2	黒褐	ローム小C・粒C、KP粒D/粘B、締B
4	10YR3/3	暗褐	ローム粒D、焼土粒D、炭化粒D、KP粒D/粘C、締B	21	10YR2/3	黒褐	ローム粒D、KP粒D、下部に鉄分集積/粘C、締B
5	10YR3/3	暗褐	ローム中D・小D・粒D、KP粒D/粘C、締B	22	10YR4/6	褐	ローム大A/粘B、締B
6	10YR3/4	暗褐	ローム粒B、KP粒B/粘B、締A	23	10YR2/3	黒褐	ローム粒B、KP粒B/粘B、締C
7	10YR3/3	暗褐	ローム粒C、焼土粒D、炭化粒D、KP粒B/粘C、締B	24	10YR2/3	黒褐	ローム小B、KP粒B/粘B、締C
8	10YR3/2	黒褐	ローム粒D、KP粒D/粘C、締B	25	10YR3/2	黒褐	ローム粒D、KP粒D/粘B、締C
9	10YR2/3	黒褐	ローム粒D、KP粒D/粘C、締B	26	10YR2/2	黒褐	ローム粒B、KP粒D/粘C、締C
10	10YR3/3	暗褐	ローム粒C、KP粒D/粘C、締B	27	10YR2/2	黒褐	ローム粒B、KP粒B/粘B、締A
11	10YR3/2	黒褐	ローム小D・粒C、KP小C・粒B/粘C、締B	28	10YR4/4	褐	ローム中A、KP粒D/粘B、締A
12	10YR3/3	暗褐	ローム中B、小B、粒D、KP粒D/粘A、締B	29	10YR3/2	黒褐	KP粒C、下部に鉄分集積/粘A、締A
13	10YR4/4	褐	ローム中B・小B/粘B、締A	30	10YR2/3	黒褐	ローム粒C、KP粒D、鉄分斑状に集積/粘A、締A
14	10YR4/4	褐	ローム中A、層中に10YR2/3 黒褐 ローム粒Cを互層状に挟む/粘B、締A	31	10YR2/3	黒褐	KP粒A/粘C、締C
15	10YR4/3	にじみ黄褐	ローム粒A/粘B、締C	32	10YR2/2	黒褐	ローム粒D/粘B、締C
16	10YR2/3	黒褐	ローム粒D、炭化粒C、KP粒D/粘C、締A	33	10YR2/3	黒褐	ローム中C・小C・粒C/粘B、締A
17	10YR3/4	暗褐	ローム粒C/粘B、締A	34	10YR3/4	暗褐	ローム小C・粒B/粘B、締C
				35	10YR2/3	黒褐	ローム粒D、KP粒D、礫B、鉄分集積多量/粘A、締A
				36	10YR3/2	黒褐	ローム小D、礫A、鉄分斑状に集積/粘A、締A



第 349 図 第 2 号道路跡実測図 (3)

路面1が第35・36層上面で構築当初の硬化面、路面2が第27～30・33層上面で二次的な硬化面と考えられる。また、路面2の上面には、路面1の掘方底面と同様、走行方向と直交する長径0.36～1.58m、短径0.18～0.66m、深さ4～13cmの楕円形の土坑を連続的に構築している。土坑内には径3～16cm大の円礫・亜円礫と締まりの強い黒褐色土（第29・30層）を充填・敷設している。補修・補強のためと考えられる。

ピット 109か所。径0.16～2.24mの円形、楕円形、不整形円形、不整形楕円形、不整形で、深さ8～82cmである。柱などの痕跡が確認できたものがあり、土留め柵などの構造物が存在していた可能性がある。土層観察の結果、配列などから10条ほどの柵列が想定できるが、詳細は不明である。

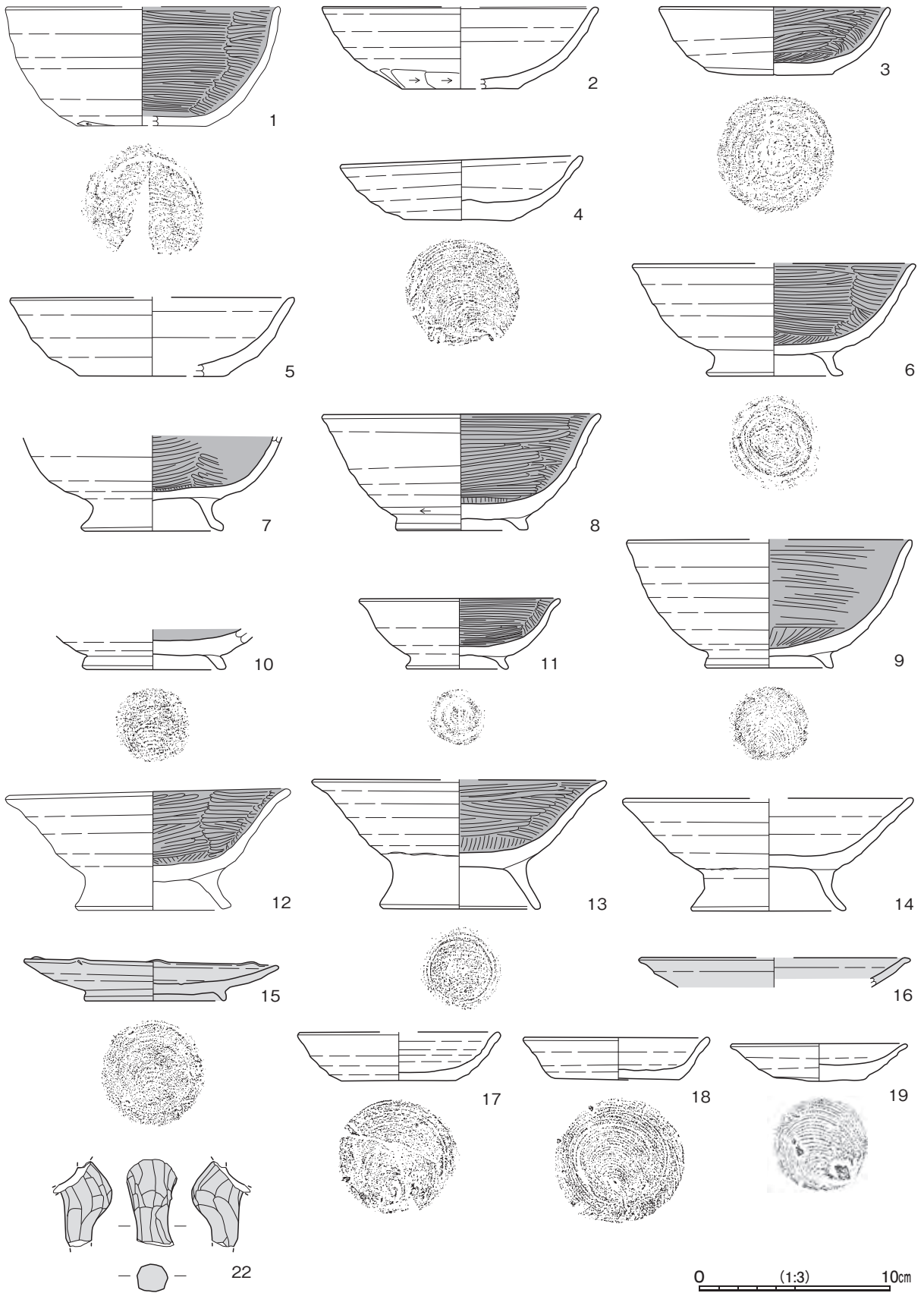
覆土 24層に分層できる。第1～3層は含有物が少ない黒褐色土、第4～11層はローム粒子を中～少量含む黒・暗褐色土である。第12～21層はロームブロックを多く含む黒褐色土や褐色土などで、壁面の崩落土を含んでいる。いずれも周囲からの流入を示す堆積状況から自然堆積である。第31・32・34層は締まりの弱い黒・暗褐色土で、路面1と路面2に挟まれた土層である。含有物が少ないことから、自然堆積と考えられる。

遺物出土状況 土師器片1003点（坏128・高台付碗388・小皿38・甑6・甕443）、須恵器片121点（坏7・高盤1・長頸瓶3・甕110）、緑釉陶器2点（輪花皿・皿）、灰釉陶器3点（碗2・壺₁（獸脚））、土製品2点（管状土錘・不明土製品）、金属製品3点（鎌・錫杖・不明鉄製品）、鉄滓1点が出土している。ほかに混入した縄文土器片574点（深鉢）、弥生土器片462点（広口壺）、古墳時代の土師器片83点（坏4・高坏49・埴8・壺9・甕13）、陶器片11点（碗1・甕10）、磁器片1点（碗）、土製品1点（土器片円盤）、石器16点（チャート製石鎌5・ホルンフェルス製打製石斧1、粘板岩製打製石斧1、砂岩製磨石2、砂岩製敲石2・安山岩製石皿1・砂岩製凹石2、ホルンフェルス製不明石器2）、石製品1点（滑石製剣形模造品）、が出土している。遺物は、主に全域の覆土中層から散在した状態で出土している。1・5・12は東部の覆土中層から、2・6・7・19・24は覆土上層から、3・4・15は東部の覆土下層から、8・9・10・18は東部の覆土上層から、11・14・17は覆土中層から、13はP26の覆土上層から、16は中央部の覆土中層から、20は西部の覆土下層から、22は中央部東寄りの掘方底面から、26は中央部の覆土中から、27は西部の覆土上層から、28は中央部東寄りの覆土中層から、それぞれ出土している。21は中央部東寄りと東部の覆土中層から下層にかけて出土した破片3点が接合したものである。23は東部の覆土中層から出土した破片2点が接合したものである。25は中央部の覆土上層から下層にかけて散在した破片が接合したものである。

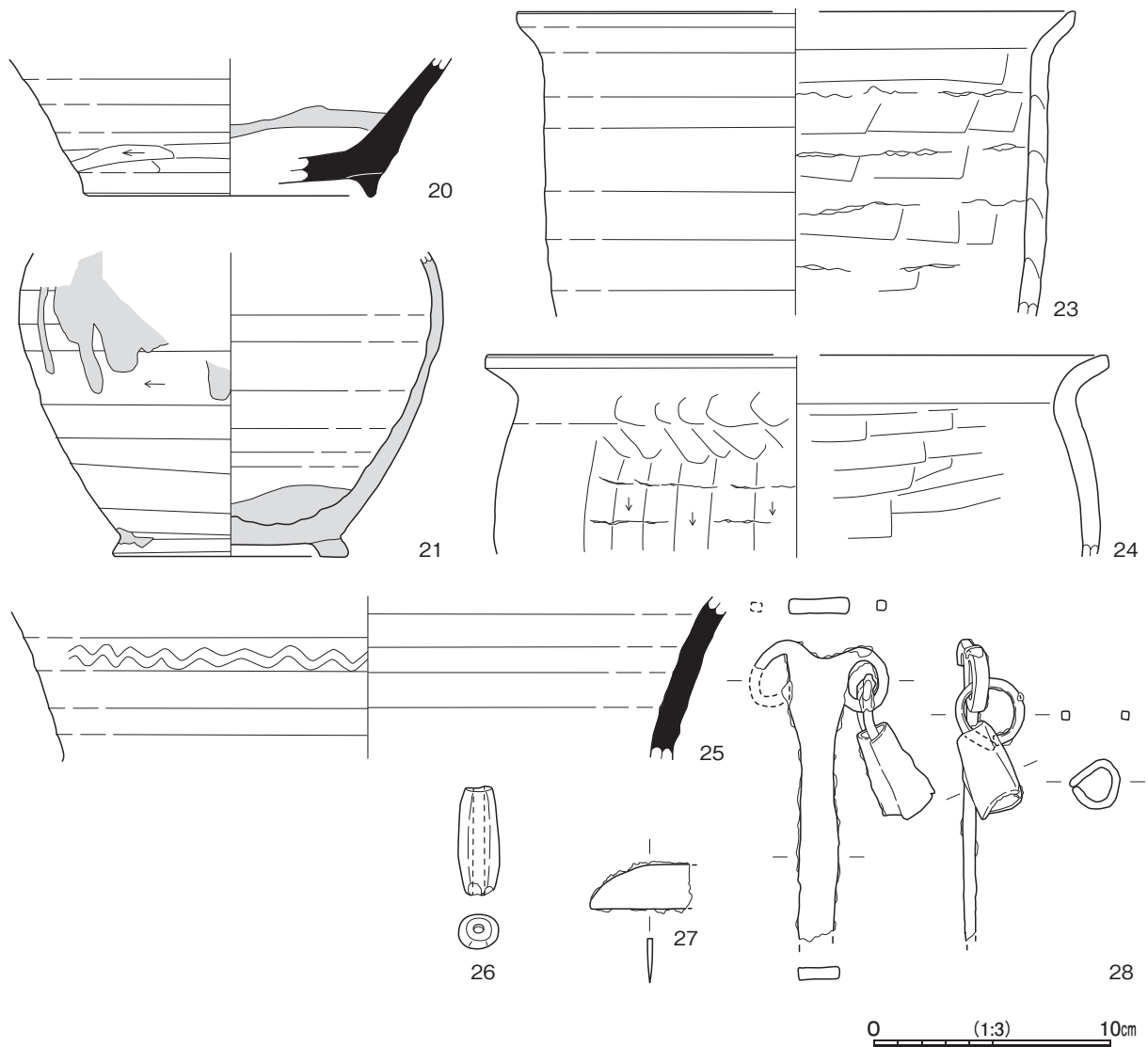
所見 構築時期は、路面1の掘方底面から出土した22から、9世紀後半以降と考えられる。廃絶時期は、P26から出土した13から、10世紀中葉以降と考えられる。

第188表 第2号道路跡ピット計測表（第348図）

ピット 番号	形 状	規 模 (cm)			ピット 番号	形 状	規 模 (cm)			ピット 番号	形 状	規 模 (cm)			ピット 番号	形 状	規 模 (cm)		
		長径	短径	深さ			長径	短径	深さ			長径	短径	深さ			長径	短径	深さ
1	楕円形	26	18	20	10	楕円形	50	32	26	19	[楕円形]	(34)	32	56	28	不整形楕円形	54	30	36
2	不整形楕円形	57	41	16	11	不整形円形	34	32	64	20	不整形楕円形	83	32	56	29	不整形楕円形	(78)	52	52
3	楕円形	44	28	14	12	[楕円形]	45	(26)	60	21	不整形	74	44	56	30	不整形楕円形	102	80	66
4	不整形楕円形	83	54	43	13	楕円形	34	23	36	22	楕円形	20	15	45	31	不整形楕円形	75	66	50
5	円形	25	25	16	14	不整形楕円形	48	30	61	23	円形	71	66	44	32	[円形・楕円形]	46	(42)	42
6	楕円形	22	14	47	15	不整形円形	38	36	59	24	[楕円形]	(74)	50	45	33	楕円形	50	40	34
7	楕円形	45	30	24	16	[楕円形]	42	(26)	10	25	不整形楕円形	35	37	72	34	楕円形	38	27	54
8	楕円形	36	30	48	17	楕円形	49	30	30	26	不整形楕円形	(111)	54	80	35	楕円形	38	22	17
9	楕円形	47	25	48	18	不整形円形	32	30	60	27	楕円形	30	14	43	36	楕円形	35	26	30



第 350 图 第 2 号道路跡出土遺物実測図 (1)



第 351 図 第 2 号道路跡出土遺物実測図 (2)

ピット 番号	形 状	規 模 (cm)		
		長径	短径	深さ
37	楕円形	34	28	33
38	不整形	90	88	48
39	円形	16	14	12
40	不整形	42	41	48
41	不整形	28	25	18
42	円形	40	36	12
43	不整形	48	43	22
44	[円形・楕円形]	46	(22)	8
45	[楕円形]	36	(16)	40
46	円形	38	36	30
47	楕円形	60	45	16
48	楕円形	66	35	52
49	不整形	224	63	40
50	不整形楕円形	46	36	40

ピット 番号	形 状	規 模 (cm)		
		長径	短径	深さ
51	不整形楕円形	138	73	58
52	楕円形	53	20	13
53	円形	30	27	16
54	楕円形	28	23	24
55	[楕円形]	108	(63)	55
56	不整形楕円形	116	92	58
57	[楕円形]	(35)	26	33
58	楕円形	36	32	31
59	楕円形	37	22	30
60	[円形・楕円形]	22	(16)	12
61	円形	16	14	23
62	[円形・楕円形]	36	(32)	32
63	楕円形	36	28	26
64	円形	18	18	27

ピット 番号	形 状	規 模 (cm)		
		長径	短径	深さ
65	[楕円形]	(58)	20	66
66	楕円形	53	44	56
67	円形	23	22	39
68	楕円形	40	22	39
69	不整形	41	37	76
70	[円形]	(33)	31	16
71	円形	50	48	48
72	円形	46	45	12
73	円形	19	19	43
74	円形	43	43	65
75	楕円形	35	26	13
76	楕円形	30	25	13
77	円形	20	18	16
78	[円形・楕円形]	23	(18)	13

ピット 番号	形 状	規 模 (cm)		
		長径	短径	深さ
79	楕円形	82	52	38
80	円形	22	20	40
81	円形	20	18	18
82	不整形楕円形	70	62	44
83	円形	20	19	42
84	楕円形	30	26	48
85	楕円形	43	38	54
86	楕円形	34	26	47
87	円形	43	42	17
88	楕円形	67	40	58
89	不整形楕円形	74	42	59
90	円形	30	28	15
91	不整形楕円形	105	82	37
92	楕円形	98	48	26

ピット 番号	形 状	規 模 (cm)			ピット 番号	形 状	規 模 (cm)			ピット 番号	形 状	規 模 (cm)			ピット 番号	形 状	規 模 (cm)		
		長径	短径	深さ			長径	短径	深さ			長径	短径	深さ			長径	短径	深さ
93	不整形	208	148	82	98	楕円形	40	26	28	103	円形	18	16	10	108	楕円形	66	48	18
94	円形	28	26	37	99	円形	23	23	37	104	楕円形	83	68	30	109	[楕円形]	(28)	16	18
95	楕円形	36	26	30	100	楕円形	26	19	14	105	楕円形	23	16	18					
96	円形	20	18	16	101	楕円形	96	64	34	106	楕円形	40	27	38					
97	[楕円形]	(33)	32	22	102	楕円形	102	66	58	107	[円形・楕円形]	23	(22)	42					

第 189 表 第 2 号道路跡出土遺物一覧 (第 350・351 図)

番号	種 別	器種	口径	器高	底径	胎 土	色 調	焼成	特 徴	出土位置	備 考
1	土師器	坏	[14.4]	6.2	[6.8]	長石・石英	灰黄褐	普通	体部外面ロクロナデ 下端手持ちヘラ削り 内面ヘラ磨き	覆土中層	40%
2	土師器	坏	[14.4]	4.3	[6.0]	長石・石英	橙	普通	体部内外面ロクロナデ 外面下端手持ちヘラ削り	覆土上層	60%
3	土師器	坏	11.8	3.6	6.2	長石・石英・針状物質	にぶい橙	普通	体部外面ロクロナデ 内面ヘラ磨き 底部回転 ヘラ削り後ナデ	覆土下層	90% PL92
4	土師器	坏	12.6	3.4	5.6	長石・石英	にぶい橙	普通	体部内外面ロクロナデ 底部回転糸切り	覆土下層	80% PL92
5	土師器	坏	[14.8]	4.1	[7.6]	長石・石英・針状物質	にぶい黄橙	普通	体部内外面ロクロナデ 底部回転糸切り	覆土中層	10%
6	土師器	高台付椀	[14.6]	5.9	6.8	長石・石英	にぶい橙	普通	体部外面ロクロナデ 内面ヘラ磨き 底部回転 糸切り後高台貼付け	覆土上層	50% PL92
7	土師器	高台付椀	-	(5.0)	7.1	長石・石英	灰白	普通	体部外面ロクロナデ 内面ヘラ磨き 底部ロク ロナデ後高台貼付け	覆土上層	30%
8	土師器	高台付椀	14.5	6.1	6.9	長石・石英・針状物質	にぶい黄橙	普通	体部外面ロクロナデ 内面ヘラ磨き 体部下 端・底部回転ヘラ削り後高台貼付け	覆土上層	100% PL92
9	土師器	高台付椀	[14.6]	6.7	6.4	長石・石英・雲母・針状物質	にぶい褐	普通	体部外面ロクロナデ 内面ヘラ磨き 底部回転 糸切り後高台貼付け	覆土上層	40%
10	土師器	高台付椀	-	(2.1)	7.5	長石・石英	にぶい黄橙	普通	体部外面ロクロナデ 内面ヘラ磨き 底部回転 糸切り後高台貼付け	覆土上層	20%
11	土師器	高台付椀	10.3	3.7	5.1	長石・石英・針状物質	にぶい橙	普通	体部外面ロクロナデ 内面ヘラ磨き 底部ロク ロナデ後高台貼付け	覆土中層	70% PL92
12	土師器	高台付椀	14.5	6.4	[7.5]	長石・石英	橙	普通	体部外面ロクロナデ 内面ヘラ磨き 底部ロク ロナデ後高台貼付け	覆土中層	90% PL92
13	土師器	高台付椀	[15.4]	6.7	8.4	長石・石英	にぶい黄橙	普通	体部外面ロクロナデ 内面ヘラ磨き 底部回転 糸切り後高台貼付け	P 26 覆土上層	70% PL92
14	土師器	高台付椀	[15.1]	5.9	[8.0]	長石・石英	にぶい黄橙	普通	体部内外面ロクロナデ 底部回転ロクロナデ後 高台貼付け	覆土中層	40%
15	緑釉陶器	輪花皿	13.2	2.1	7.3	長石・石英	オリーブ灰	良好	口縁部わずかな折り返しによる輪花表現 5単位。体部 内外面ロクロナデ 底部回転糸切り後高台貼付け 全面施釉	覆土下層	80% PL92
16	緑釉陶器	皿	[14.2]	(1.6)	-	長石	灰オリーブ	良好	口縁部内外面ロクロナデ 内外面施釉	覆土中層	5%
17	土師器	小皿	[10.4]	2.6	6.0	長石・石英	浅黄橙	普通	体部内外面ロクロナデ 底部回転糸切り	覆土中層	70%
18	土師器	小皿	9.8	2.1	6.6	長石・石英	橙	普通	体部内外面ロクロナデ 底部回転糸切り	覆土上層	80%
19	土師器	小皿	9.0	2.0	4.9	長石・石英	にぶい褐	普通	体部内外面ロクロナデ 底部回転糸切り	覆土上層	70%
20	須恵器	短頸壺	-	(5.8)	[12.0]	長石・石英	灰黄褐	普通	体部内外面ロクロナデ 外面下端・底部手持ち ヘラ削り後高台貼付け 内面径 12cmの自然釉	覆土下層	5%
21	灰釉陶器	長頸瓶	-	(12.8)	9.6	長石・石英・黒色 粒子	灰白	良好	体部内外面ロクロナデ 底部回転ヘラ削り後高 台貼付け 外面上半施釉	覆土中層 ～下層	30% PL92
22	灰釉陶器	壺	-	(4.5)	-	長石	黄灰	良好	脚部片 外面ヘラ削り 全面施釉	掘方底面	5% PL92
23	土師器	甕	23.4	(12.8)	-	長石・石英・雲母・ 針状物質	橙	普通	口縁部・体部外面ロクロナデ 内面ヘラナデ 輪積み痕	覆土中層	40%
24	土師器	甕	[26.0]	(8.5)	-	長石・石英・針状 物質	灰褐	普通	口縁部コロナデ 頸部外面ナデ 指頭痕 体部外 面縦位ヘラ削り 内面横位ヘラナデ 輪積み痕	覆土上層	5%
25	須恵器	大甕	-	(6.9)	-	長石・石英	黄灰	良好	頸部単沈線による波状文 内外面ロクロナデ	覆土上層 ～下層	5%

番号	器 種	長さ	径	孔径	重量	胎 土	色 調	特 徴	出土位置	備 考
26	管状土錘	4.6	1.5	0.4	(9.9)	長石・石英	にぶい黄橙	ナデ 一方向からの穿孔	覆土	

番号	器 種	長さ	幅	厚さ	重量	材 質	特 徴	出土位置	備 考
27	鎌	(4.3)	1.9	0.2	(8.1)	鉄	刃部先端部片 断面三角形	覆土上層	
28	錫杖	(12.7)	5.7	0.4	(67.8)	鉄	鍛造製 頭部羊角状、一部欠損 基部扁平板状、先端部欠損 鉄鐔部円筒状 長さ 3.5cm 幅 2.1cm 厚さ 3mm 鉄輪部径 2.8cm 厚さ 3mm 断面方形	覆土中層	PL92

(4) 土 坑

第 101 号土坑 (第 352 図 PL50・93・102)

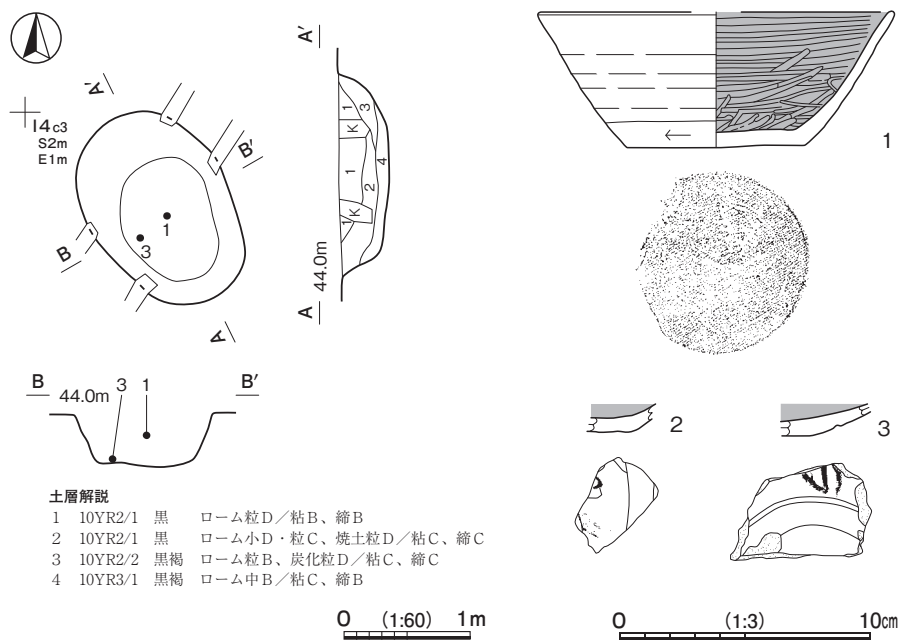
位置 E区南部のI 4c3区、標高44mほどの平坦な台地上に位置している。

規模と形状 長径1.60m、短径1.10mの楕円形で、長径方向はN-27°-Wである。深さは43cmで、壁は外傾している。底面はほぼ平坦である。

覆土 4層に分層できる。各層にロームのブロックや粒子を含んでいることから、人為堆積である。

遺物出土状況 土師器片33点(坏13、皿1、甕19)、須恵器片4点(坏)が出土している。1は中央部の覆土中層から、2は覆土中から、3は西部の底面から、それぞれ出土している。

所見 時期は、出土土器から9世紀後葉である。



第 352 図 第 101 号土坑・出土遺物実測図

第 190 表 第 101 号土坑出土遺物一覧 (第 352 図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	特徴	出土位置	備考	
1	土師器	坏	[14.0]	(5.4)	7.20	長石・石英	にぶい褐	普通	口縁部・体部外面ロクロナデ 体部下端・底部回転ヘラ削り	内面ヘラ磨き	覆土中層	40% PL93
2	土師器	坏	-	(1.1)	-	長石・石英・赤色粒子	にぶい橙	普通	体部内面ヘラ磨き		覆土	5% 墨書 □
3	土師器	皿	-	(1.3)	-	長石・石英・赤色粒子	浅黄橙	普通	体部内面ヘラ磨き	体部下端・底部回転ヘラ削り	底面	10% 墨書 □

第 126 号土坑 (第 353 図 PL50・93)

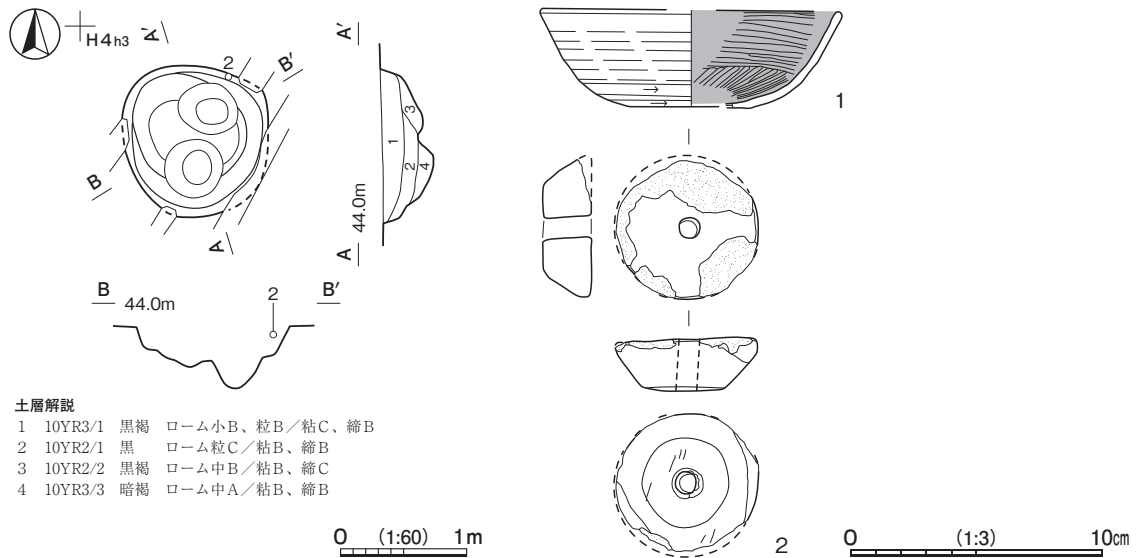
位置 E区南部のH 4h3区、標高44mほどの平坦な台地上に位置している。

規模と形状 径1.17~1.22mの円形である。深さは25~48cmで、壁は外傾している。底面は凹凸がある。

覆土 4層に分層できる。各層にロームブロックを多く含んでいることから、人為堆積である。

遺物出土状況 土師器片19点(坏13、甕6)、須恵器片2点(坏、高台付坏)、土製品1点(紡錘車)、金属製品1点(不明鉄製品)が出土している。1は覆土中から、2は北部壁際の覆土上層から、それぞれ出土している。

所見 時期は、出土土器から9世紀後葉である。



第 353 図 第 126 号土坑・出土遺物実測図

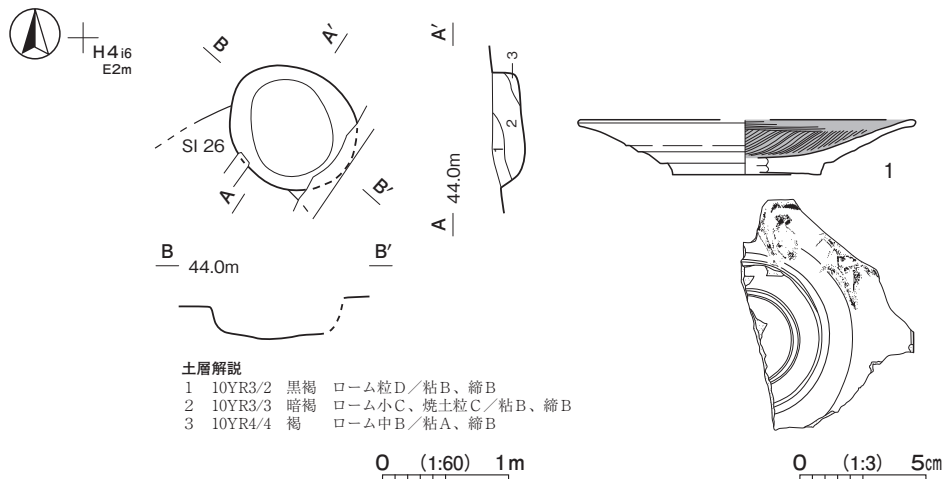
第 191 表 第 126 号土坑出土遺物一覧 (第 353 図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	特徴	出土位置	備考
1	土師器	坏	[11.8]	3.8	[4.8]	長石・石英・赤色粒子	にぶい橙	普通	口縁部・体部外面ロクロナデ 内面ヘラ磨き	覆土	10%
番号	器種	径	厚さ	孔径	重量	胎土	色調	特徴	出土位置	備考	
2	紡錘車	5.5~(5.6)	2.0	0.8	(61.0)	長石・石英	灰褐	上・下面一部摩滅 片面研磨 一方向からの穿孔	覆土上層	PL93	

第 150 号土坑 (第 354 図 PL50・93・102)

位置 E区南部のH4i6区、標高44mほどの平坦な台地上に位置している。

重複関係 第26号竪穴建物跡を掘り込んでいる。



第 354 図 第 150 号土坑・出土遺物実測図

規模と形状 南東壁の上部が攪乱のため、確認できた規模は、長径 0.97 m、短径 0.92 m である。長径方向 N - 49° - W の楕円形と推定できる。深さは 30cm で、壁は外傾している。底面は皿状である。

覆土 3層に分層できる。ロームブロックや焼土粒子を含んでいることから、人為堆積である。

遺物出土状況 土師器片 6 点（坏 1、皿 1、甕 4）が出土している。1 は覆土中から出土している。

所見 時期は、重複関係や出土土器から、9 世紀後葉である。

第 192 表 第 150 号土坑出土遺物一覧（第 354 図）

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	特徴	出土位置	備考
1	土師器	皿	[13.2]	2.2	[6.8]	長石・石英・雲母・赤色粒子	にぶい橙	普通	口縁部・体部外面ロクロナデ 底部回転ヘラ削り	覆土	30% PL93・102 墨書「前□」

第 253 号土坑（第 355 図 PL50）

位置 E 区南部の G 4 c9 区、標高 44 m ほどの平坦な台地上に位置している。

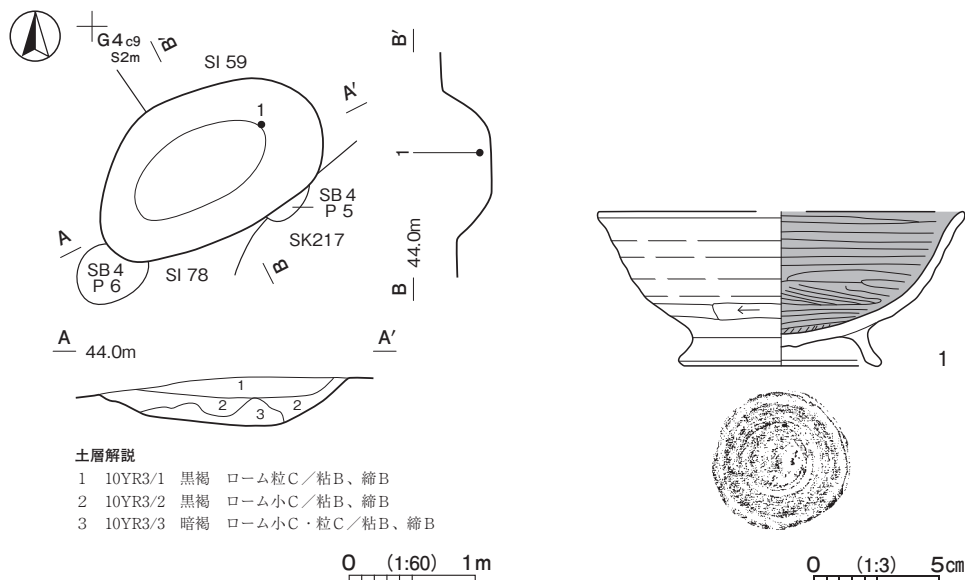
重複関係 第 59・78 号堅穴建物跡、第 4 号掘立柱建物跡、第 217 号土坑を掘り込んでいる。

規模と形状 長径 1.95 m、短径 1.15 m の楕円形で、長径方向は N - 48° - E である。深さは 38cm で、壁は外傾している。底面は皿状である。

覆土 3層に分層できる。各層にロームブロックを含んでいることから、人為堆積である。

遺物出土状況 土師器片 14 点（坏 3、高台付碗 2、甕 9）が出土している。1 は北東部の覆土下層から出土している。

所見 時期は、重複関係や出土土器から 10 世紀前葉である。



第 355 図 第 253 号土坑・出土遺物実測図

第 193 表 第 253 号土坑出土遺物一覧（第 355 図）

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	特徴	出土位置	備考
1	土師器	高台付碗	[14.6]	6.2	7.8	長石・石英	にぶい褐	普通	口縁部外面ロクロナデ 内面ヘラ磨き 体部外面下端手持ちヘラ削り 底部回転ヘラ切り後高台貼り付け	覆土下層	60%

第 320 号土坑 (第 356 図)

位置 E 区中央部の E 4 i2 区、標高 44 m ほどの平坦な台地上に位置している。

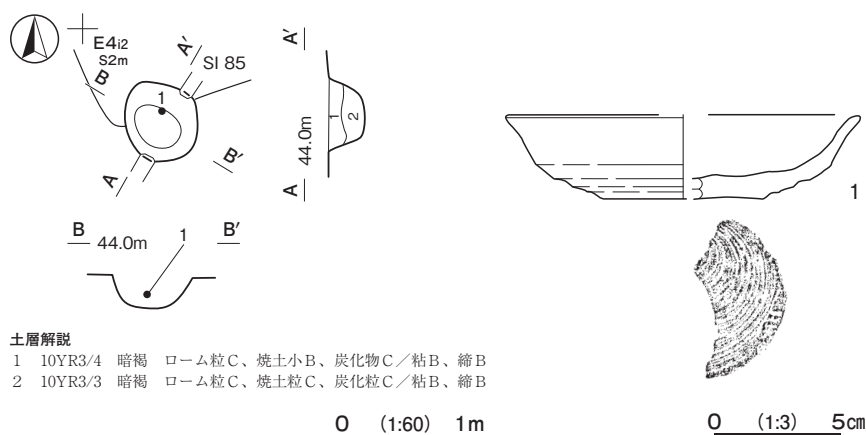
重複関係 第 85 号竪穴建物跡を掘り込んでいる。

規模と形状 長径 0.66 m、短径 0.57 m の楕円形で、長径方向は N - 28° - W である。深さは 30cm で、壁は外傾している。底面はほぼ平坦である。

覆土 2 層に分層できる。各層にローム粒子や焼土ブロック、炭化物を含んでいることから、人為堆積である。

遺物出土状況 土師器片 1 点 (坏) が出土している。1 は中央部の覆土下層から出土している。

所見 時期は、出土土器から、11 世紀前葉である。



土層解説
 1 10YR3/4 暗褐 ローム粒C、焼土小B、炭化物C/粘B、締B
 2 10YR3/3 暗褐 ローム粒C、焼土粒C、炭化粒C/粘B、締B

第 356 図 第 320 号土坑・出土遺物実測図

第 194 表 第 320 号土坑出土遺物一覧 (第 356 図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	特徴	出土位置	備考
1	土師器	坏	[13.8]	3.2	[6.4]	長石・石英・針状物質	灰白	普通	口縁部・体部内外面ロクロナデ 底部回転糸切り	覆土下層	30%

第 325 号土坑 (第 357 図 PL50)

位置 E 区中央部の E 4 g2 区、標高 44 m ほどの平坦な台地上に位置している。

規模と形状 径 0.89 ~ 0.93 m の円形である。深さは 27cm で、壁は外傾している。底面はほぼ平坦である。

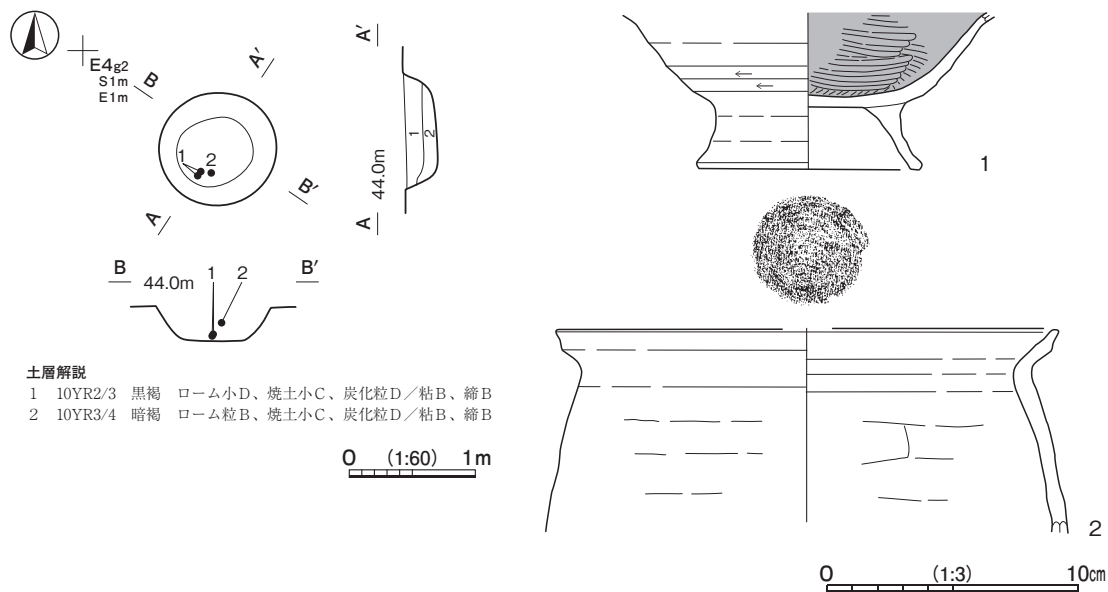
覆土 2 層に分層できる。各層に焼土ブロックを含んでいることから、人為堆積である。

遺物出土状況 土師器片 16 点 (坏 1、高台付椀 2、甕 13) が出土している。1 は南西部の覆土下層、2 は南部の覆土上層から、それぞれ出土している。

所見 時期は、出土土器から 10 世紀前葉である。

第 195 表 第 325 号土坑出土遺物一覧 (第 357 図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
1	土師器	高台付椀	-	(6.2)	8.9	長石・石英・黒色粒子	にぶい褐	普通	体部外面ロクロナデ 内面ヘラ磨き、体部外面下端回転ヘラ削り 底部回転糸切り後高台貼付け	覆土下層	40%
2	土師器	甕	[19.8]	(7.7)	-	長石・石英・赤色粒子	灰褐	普通	口縁部内外面横ナデ 体部内外面ヘラナデ	覆土上層	5%



第 357 図 第 325 号土坑・出土遺物実測図

第 377 号土坑 (第 358 図 PL50)

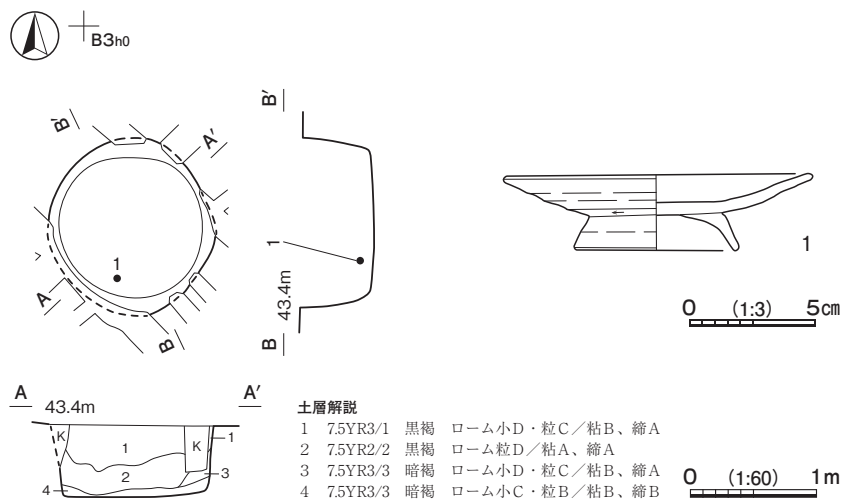
位置 E 区北部の B 3h0 区、標高 44 m ほどの平坦な台地上に位置している。

規模と形状 径 1.28 ~ 1.34 m の円形である。深さは 59cm で、壁は直立している。底面はほぼ平坦である。

覆土 4 層に分層できる。含有物の少ない黒褐色土が流れ込んでいることから、自然堆積である。

遺物出土状況 土師器片 68 点 (坏 42、高台付椀 3、高台付皿 1、甕 22) が出土している。1 は南西部壁際の覆土下層から、斜位の状態で出土している。

所見 時期は、出土土器から 10 世紀中葉である。



第 358 図 第 377 号土坑・出土遺物実測図

第 196 表 第 377 号土坑出土遺物一覧 (第 358 図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
1	土師器	高台付皿	12.0	3.1	6.4	長石・石英	橙	普通	体部内外面ロクロナデ ラ削り後高台貼付け	覆土下層	80%

第 382 号土坑 (第 359 図)

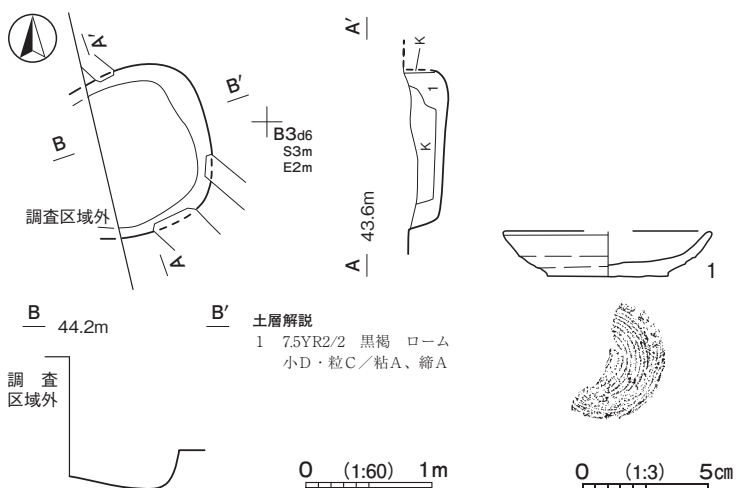
位置 E 区北部の B 3 d6 区、標高 43 m ほどの平坦な台地上に位置している。

規模と形状 西部が調査区域外のため、確認できた規模は、南北径 1.35 m、東西径 0.80 m である。円形か楕円形と推定できる。深さは 32cm で、壁は外傾している。底面は北東部へ緩やかに低くなっている。

覆土 単一層である。含有物の少ない黒褐色土が流れ込んでいることから、自然堆積である。

遺物出土状況 土師器片 7 点 (高台付椀 1、小皿 1、甕 5) が出土している。1 は覆土中から出土している。

所見 時期は、出土土器から 10 世紀後葉である。



第 359 図 第 382 号土坑・出土遺物実測図

第 197 表 第 382 号土坑出土遺物一覧 (第 359 図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
1	土師器	小皿	[8.4]	1.8	[4.8]	長石・石英・針状物質	にぶい黄橙	普通	口縁部・体部内外面ロクロナデ 底部回転糸切り	覆土	50%

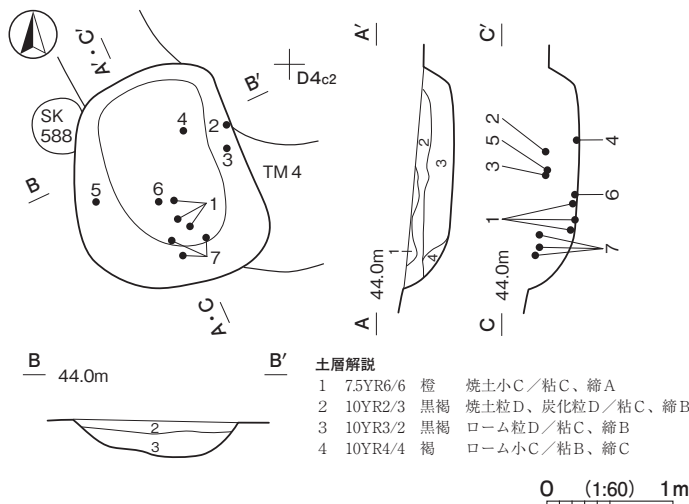
第 407 号土坑 (第 360・361 図 PL50・93)

位置 E 区中央部の D 4 c1 区、標高 44 m ほどの平坦な台地上に位置している。

重複関係 第 4 号方形周溝墓、第 588 号土坑を掘り込んでいる。

規模と形状 長径 1.75 m、短径 1.40 m の不整楕円形で、長径方向は N - 18° - W である。深さは 30cm で、壁は外傾している。底面は皿状である。

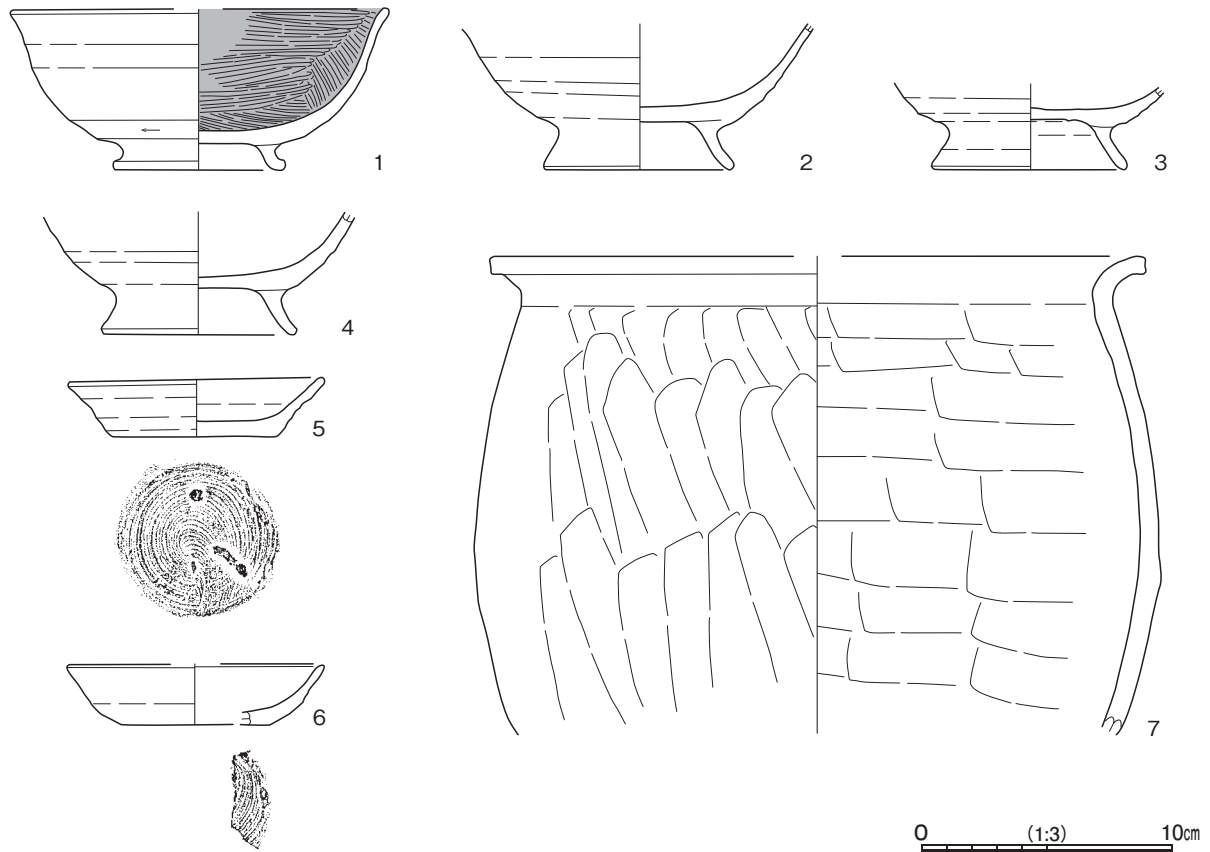
覆土 4 層に分層できる。上層に焼土ブロックを多く含んでいることから、人為堆積である。



第 360 図 第 407 号土坑実測図

遺物出土状況 土師器片 202 点（坏 46、高台付椀 31、小皿 10、甕 115）、須恵器片 8 点（坏 1、瓶 1、甕 6）、土製品 1 点（支脚）が出土している。ほかに混入した縄文土器片 5 点（深鉢）、弥生土器片 30 点（広口壺）、古墳時代の土師器片 27 点（埴 2、高杯 25）が出土している。遺物は、全域から散在した状態で出土している。1 は中央部から南部にかけての底面から破片の状態で、2・3 は東壁際の覆土上層から、4 は北部の底面から逆位でつぶれた状態で、5 は西壁際の覆土上層から逆位の状態で、6 は中央部の底面から、7 は南部の覆土上層から、それぞれ出土している。

所見 時期は、出土土器から 10 世紀中葉である。



第 361 図 第 407 号土坑出土遺物実測図

第 198 表 第 407 号土坑出土遺物一覧（第 361 図）

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
1	土師器	高台坏椀	[15.0]	6.4	6.8	長石・石英	橙	普通	口縁部・体部外面ロクロナデ 内面へラ磨き 体部外面下端回転へラ削り 底部回転糸切り後 高台貼付け	底面	50% PL93
2	土師器	高台坏椀	-	(5.8)	7.3	長石・石英・ 赤色粒子	橙	普通	体部内外面ロクロナデ 底部回転糸切り後高台 貼付け	覆土上層	70% PL93
3	土師器	高台坏椀	-	(3.4)	7.6	長石・石英・ 赤色粒子	橙	普通	体部内外面ロクロナデ 底部回転糸切り後高台 貼付け	覆土上層	30%
4	土師器	高台坏椀	-	(4.9)	[7.6]	長石・石英・ 赤色粒子	橙	普通	体部内外面ロクロナデ 底部回転糸切り後高台 貼付け	底面	30%
5	土師器	小皿	10.2	2.3	6.5	長石・石英・ 赤色粒子	橙	普通	口縁部・体部内外面ロクロナデ 底部回転糸切り	覆土上層	80%
6	土師器	小皿	[10.0]	2.4	[6.0]	長石・石英・ 赤色粒子	にぶい褐	普通	口縁部・体部内外面ロクロナデ 底部回転糸切り	底面	10%
7	土師器	甕	[26.0]	(19.0)	-	長石・石英・ 細礫	灰褐	普通	口縁部内外面横ナデ 体部内外面へラナデ	覆土上層	10% PL93

第 430 号土坑 (第 362 図 PL50・93)

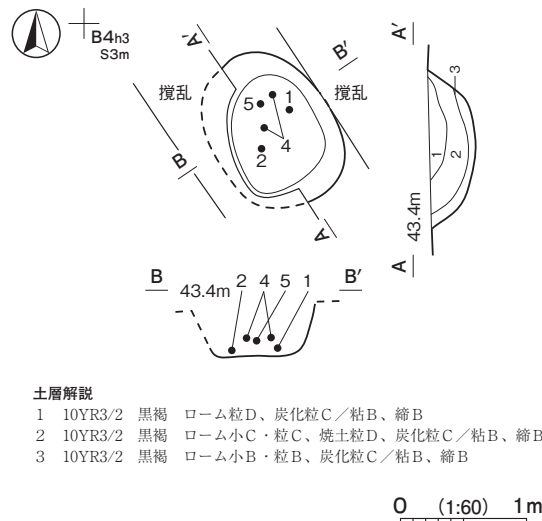
位置 E 区北部の B 4h3 区、標高 43 m ほどの平坦な台地上に位置している。

規模と形状 東西壁が攪乱のため、確認できた規模は、長径 1.30 m、短径 0.90 m である。長径方向 N - 32° - W の楕円形と推定できる。深さは 37cm で、壁は外傾している。底面は皿状である。

覆土 3 層に分層できる。各層に炭化粒子を含んでいることから、人為堆積である。

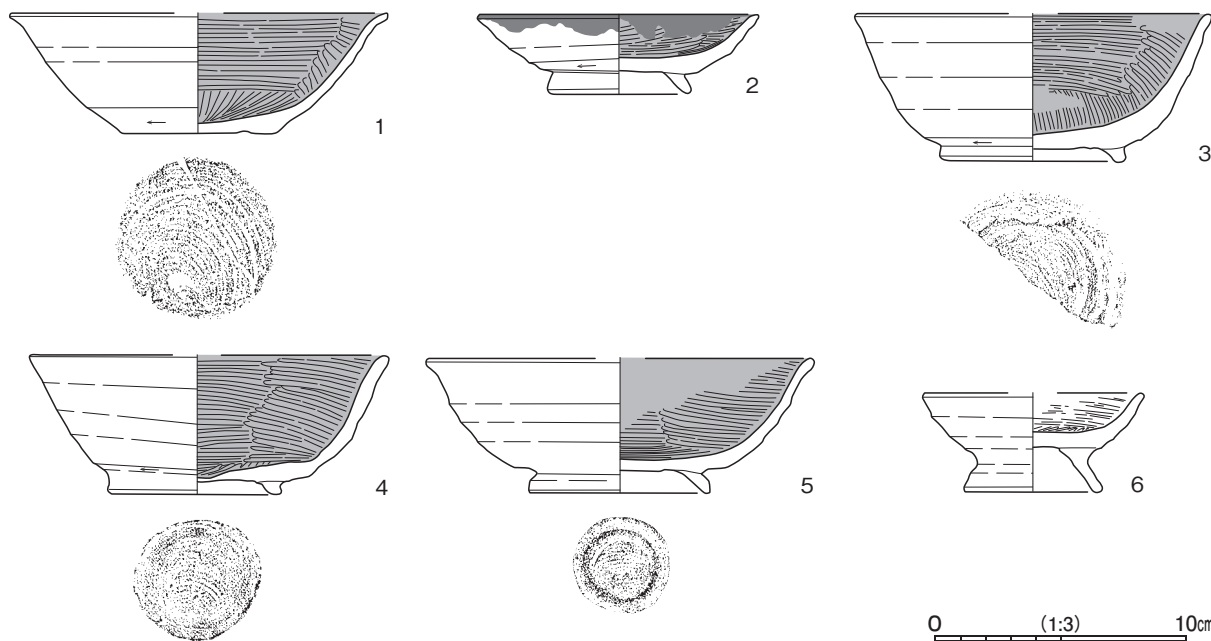
遺物出土状況 土師器片 34 点 (坏 12、高台付椀 6、甕 16) が出土している。土器片は、中央部の覆土下層を中心に散在して出土している。1 は東部の覆土下層から逆位の状態で、2 は南西部の覆土下層から正位の状態で、3・6 は覆土中から、4 は北部と中央部の覆土中層から 2 点に分かれた状態で、5 は北部の覆土中層から逆位の状態でそれぞれ出土している。

所見 時期は、出土土器から 10 世紀後葉である。



土層解説

- 1 10YR3/2 黒褐 ローム粒D、炭化粒C / 粘B、締B
- 2 10YR3/2 黒褐 ローム小C・粒C、焼土粒D、炭化粒C / 粘B、締B
- 3 10YR3/2 黒褐 ローム小B・粒B、炭化粒C / 粘B、締B



第 362 図 第 430 号土坑・出土遺物実測図

第 199 表 第 430 号土坑出土遺物一覧 (第 362 図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
1	土師器	坏	[14.8]	4.8	6.0	長石・石英	にぶい黄褐	普通	口縁部・体部外面ロクロナデ 内面ヘラ磨き 底部回転糸切り	覆土下層	40%
2	土師器	高台付椀	10.9	3.2	5.4	長石・石英・雲母・赤色粒子・針状物質	にぶい黄褐	普通	口縁部・体部外面ロクロナデ 内面ヘラ磨き 底部回転ヘラ削り後高台貼付け	覆土下層	100% PL93 油煙 灯明具転用
3	土師器	高台付椀	[14.2]	5.9	[7.4]	長石・石英	にぶい黄橙	普通	口縁部・体部外面ロクロナデ 内面ヘラ磨き 体部 外面下端ヘラ削り 底部回転糸切り後高台貼付け	覆土	40%
4	土師器	高台付椀	[13.9]	5.6	6.7	長石・石英	浅黄橙	普通	口縁部・体部外面ロクロナデ 内面ヘラ磨き 体部 外面下端ヘラ削り 底部回転糸切り後高台貼付け	覆土中層	50% PL93
5	土師器	高台付椀	[15.2]	5.4	6.8	長石・石英・雲母・赤色粒子・針状物質	にぶい橙	普通	口縁部・体部外面ロクロナデ 内面ヘラ磨き 底部回転糸切り後高台貼付け	覆土中層	40%
6	土師器	高台付椀	[8.8]	3.9	5.5	長石・石英	にぶい橙	普通	口縁部・体部外面ロクロナデ 内面ヘラ磨き 底部回転糸切り後高台貼付け	覆土	70%

第 433 号土坑 (第 363 図 PL51)

位置 E 区北部の C 4 a4 区、標高 43 m ほどの平坦な台地上に位置している。

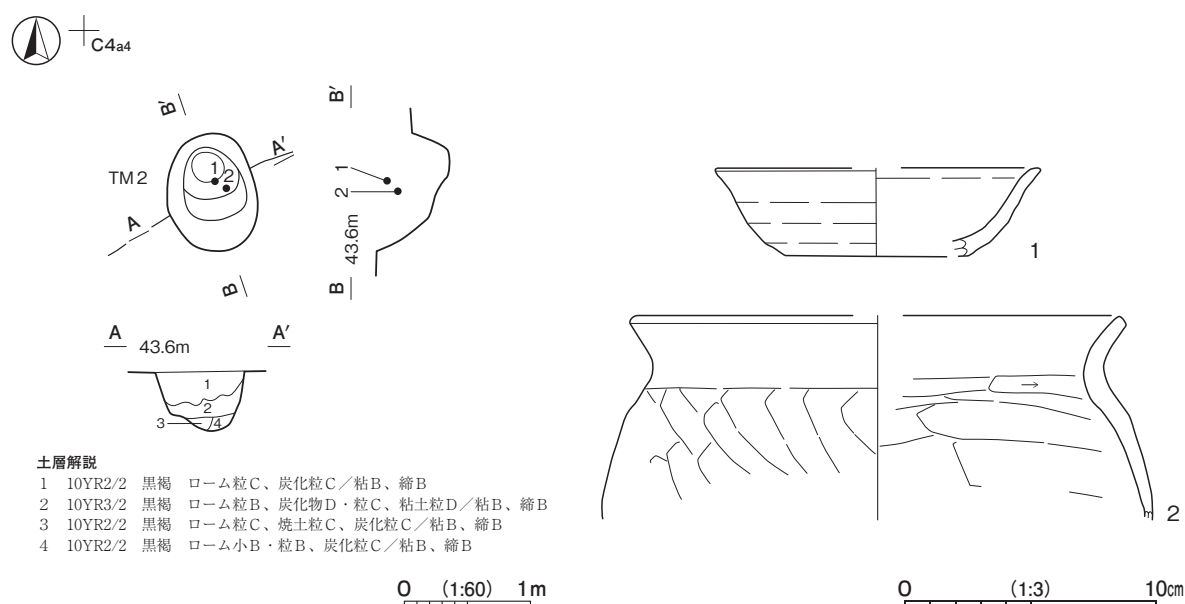
重複関係 第 2 号方形周溝墓を掘り込んでいる。

規模と形状 長径 0.94 m、短径 0.70 m の楕円形で、長径方向は N - 18° - W である。深さは 48cm で、壁は外傾している。底面は北部が一段低くなっている。

覆土 4 層に分層できる。ロームのブロックや粒子を含んでいることから、人為堆積である。

遺物出土状況 土師器片 34 点 (坏 16、甕 18) が出土している。1・2 は中央部の覆土上層から出土している。

所見 時期は、出土土器から 11 世紀前葉である。



第 363 図 第 433 号土坑・出土遺物実測図

第 200 表 第 433 号土坑出土遺物一覧 (第 363 図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
1	土師器	坏	[13.0]	3.5	[7.4]	長石・石英	にぶい橙	普通	口縁部・体部内外面ロクロナデ 底部回転糸切り	覆土上層	20%
2	土師器	甕	[19.2]	(8.2)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子・針状物質	にぶい赤褐	普通	口縁部内外面横ナデ 体部外面ヘラナデ 内面ヘラ削り	覆土上層	5%

第 440 号土坑 (第 364 図 PL51・93)

位置 E 区北部の C 4 j3 区、標高 44 m ほどの平坦な台地上に位置している。

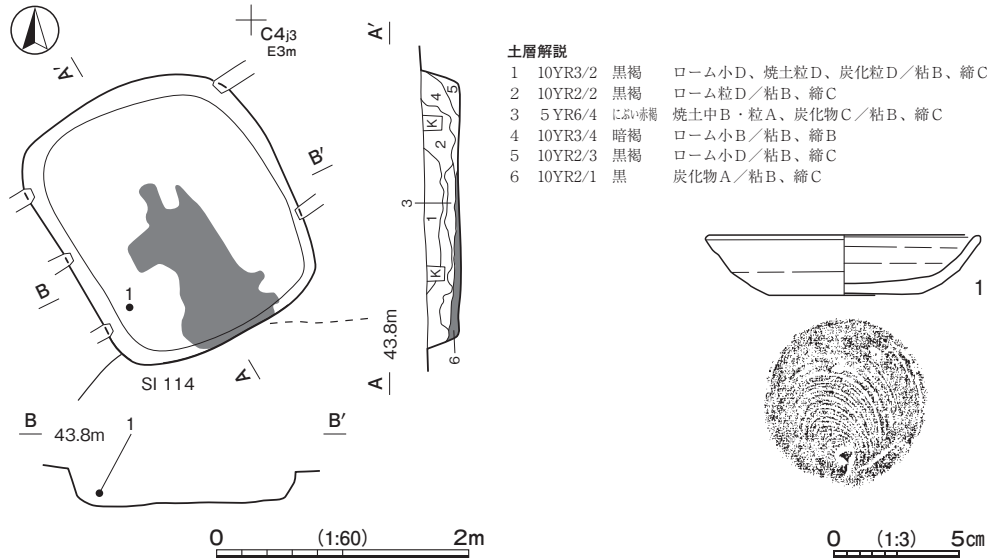
重複関係 第 114 号竪穴建物跡を掘り込んでいる。

規模と形状 長軸 2.18 m、短軸 1.86 m の隅丸長方形で、長軸方向は N - 28° - W である。深さは 28cm で、壁は外傾している。底面はほぼ平坦である。

覆土 6 層に分層できる。各層にロームブロックを含んでいることから、人為堆積である。また、最下層の第 6 層は、炭化材を含む炭化物層で、その上部には、第 3 層の焼土層が堆積している。

遺物出土状況 土師器片 129 点（坏 52、高台付椀 4、小皿 1、甕 72）、須恵器片 12 点（坏 2、瓶 1、甕 9）のほか、混入した縄文土器片 12 点（深鉢）、弥生土器片 19 点（広口壺）が出土している。土器片は、全域から散在した状態で出土している。1 は南西壁際の覆土下層から正位の状態出土している。

所見 時期は、出土土器から 10 世紀後葉である。堆積状況から、坑内で焼却行為が行われたと考えられる。



第 364 図 第 440 号土坑・出土遺物実測図

第 201 表 第 440 号土坑出土遺物一覧（第 364 図）

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
1	土師器	小皿	10.7	2.4	6.0	長石・石英・赤色粒子	橙	普通	口縁部・体部内外面ロクロナデ 底部回転糸切り	覆土下層	100% PL93

第 506 号土坑（第 365 図 PL51・94）

位置 E 区北部の C 4b1 区、標高 44 m ほどの平坦な台地上に位置している。

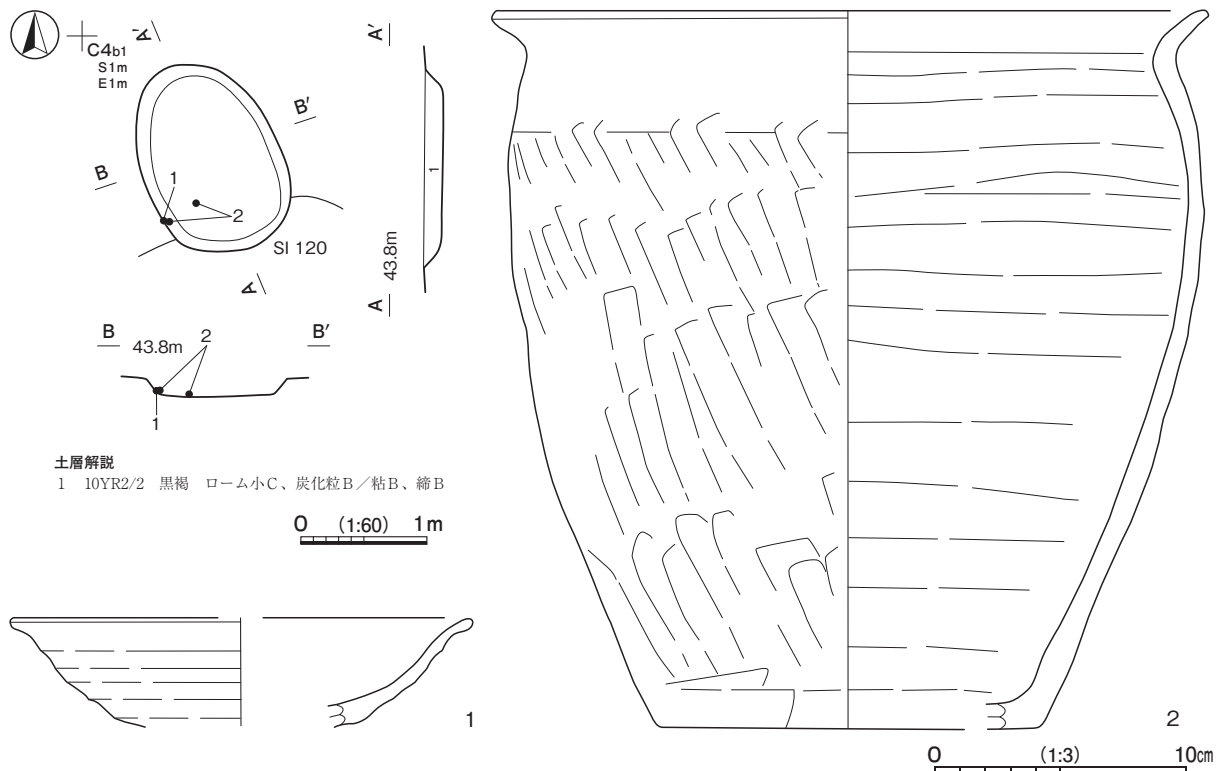
重複関係 第 120 号竪穴建物跡を掘り込んでいる。

規模と形状 長径 1.58 m、短径 1.10 m の楕円形で、長径方向は N - 24° - W である。深さは 15cm で、壁は外傾している。底面は平坦である。

覆土 単一層である。炭化粒子を多く含んでいることから、人為堆積である。

遺物出土状況 土師器片 14 点（坏 3、高台付椀 1、甕 10）、須恵器片 1 点（坏）が出土している。1 は南西壁際の底面、2 は南西部の底面から、横位でつぶれた状態で出土している。

所見 時期は、重複関係や出土土器から、10 世紀中葉である。



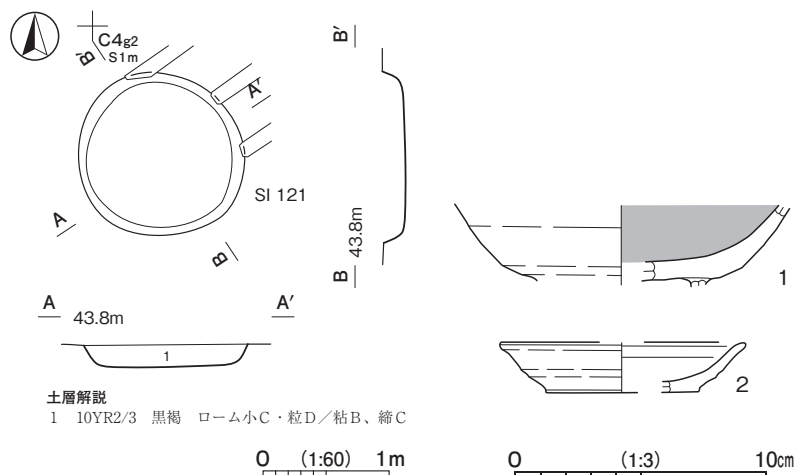
第 365 図 第 506 号土坑・出土遺物実測図

第 202 表 第 506 号土坑出土遺物一覧 (第 365 図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
1	土師器	高台付椀	(18.2)	(4.3)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子・針状物質	にぶい橙	普通	口縁部・体部外面ロクロナデ	底面	20%
2	土師器	甕	28.0	28.5	[15.2]	長石・石英・雲母	にぶい橙	普通	口縁部内外面横ナデ 体部内外面ヘラナデ	底面	70% PL94

第 511 号土坑 (第 366 図 PL51)

位置 E 区北部の C 4 g2 区、標高 43 m ほどの平坦な台地上に位置している。



第 366 図 第 511 号土坑・出土遺物実測図

重複関係 上部を第121号竪穴建物に掘り込まれている。

規模と形状 径1.30～1.36mの円形である。深さは18cmで、壁は外傾している。底面はほぼ平坦である。

覆土 単一層である。ロームブロックを含んでいることから、人為堆積である。

遺物出土状況 土師器片35点（坏18、高台付椀7、小皿1、甕9）が出土している。1・2は覆土中から出土している。

所見 時期は、重複関係や出土土器から、10世紀後葉である。

第203表 第511号土坑出土遺物一覧（第366図）

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
1	土師器	高台付椀	-	(3.3)	-	長石・石英・雲母	にぶい橙	普通	体部外面ロクロナデ 内面ヘラ磨き摩滅	覆土	10%
2	土師器	小皿	[9.6]	2.0	[6.0]	長石・石英・雲母・赤色粒子	にぶい橙	普通	口縁部内外面ロクロナデ 底部回転糸切り	覆土	20%

第533号土坑（第367図 PL93）

位置 E区中央部のD3a9区、標高44mほどの平坦な台地上に位置している。

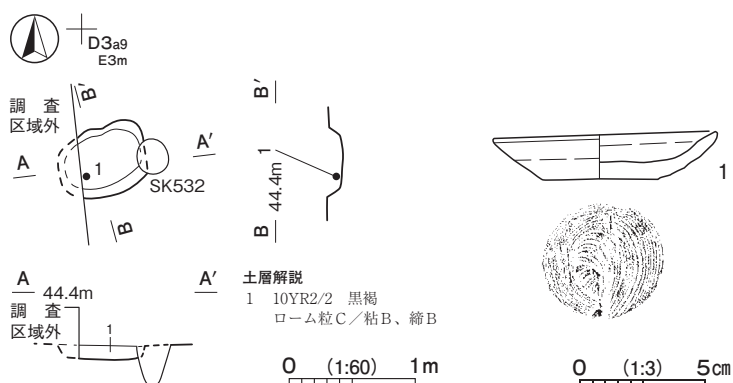
重複関係 第532号土坑に掘り込まれている。

規模と形状 西部が調査区域外のため、確認できた規模は、長径0.54m、短径0.54mである。長径方向N-62°-Eの不整楕円形と推定できる。深さは12cmで、壁は外傾している。底面は平坦である。

覆土 単一層である。層厚が薄いため、堆積状況は不明である。

遺物出土状況 土師器片19点（坏3、小皿1、甕15）、須恵器片2点（坏1、甕1）が出土している。1は西部の覆土下層から、正位の状態で出土している。

所見 時期は、出土土器から10世紀後葉である。



第367図 第533号土坑・出土遺物実測図

第204表 第533号土坑出土遺物一覧（第367図）

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
1	土師器	小皿	8.8	1.9	4.6	長石・石英	にぶい橙	普通	口縁部・体部内外面ロクロナデ 底部回転糸切り	覆土下層	95% PL93

第 551 号土坑 (第 368 図)

位置 E 区北部の C 4 g1 区、標高 44 m ほどの平坦な台地上に位置している。

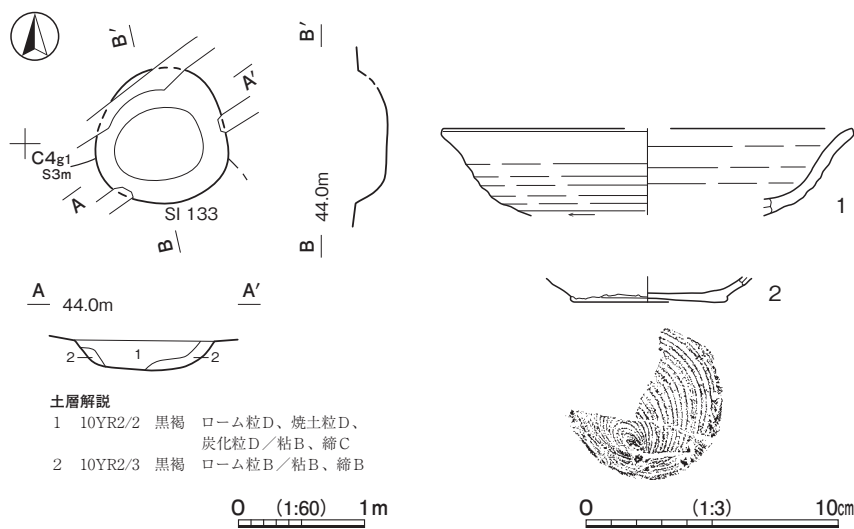
重複関係 第 133 号竪穴建物跡を掘り込んでいる。

規模と形状 径 1.00 ~ 1.08 m の円形である。深さは 25cm で、壁は外傾している。底面は皿状である。

覆土 2 層に分層できる。含有物の少ない黒褐色土が流れ込んでいることから、自然堆積である。

遺物出土状況 土師器片 45 点 (坏 26、高台付椀 15、小皿 1、甕 3)、須恵器片 2 点 (甕) が出土している。ほかに混入した縄文土器片 5 点 (深鉢)、弥生土器片 1 点 (広口壺) が出土している。1・2 は覆土中から出土している。

所見 時期は、重複関係や出土土器から、10 世紀後葉である。



第 368 図 第 551 号土坑・出土遺物実測図

第 205 表 第 551 号土坑出土遺物一覧 (第 368 図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
1	土師器	高台付椀	[16.2]	(3.4)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	にぶい橙	普通	口縁部・体部内外面ロクロナデ ヘラ削り	覆土	10%
2	土師器	小皿	-	(1.0)	6.0	長石・石英・雲母	にぶい橙	普通	体部外面ロクロナデ 底部回転糸切り	覆土	20%

第 556 号土坑 (第 369 図)

位置 E 区北部の C 4 f2 区、標高 44 m ほどの平坦な台地上に位置している。

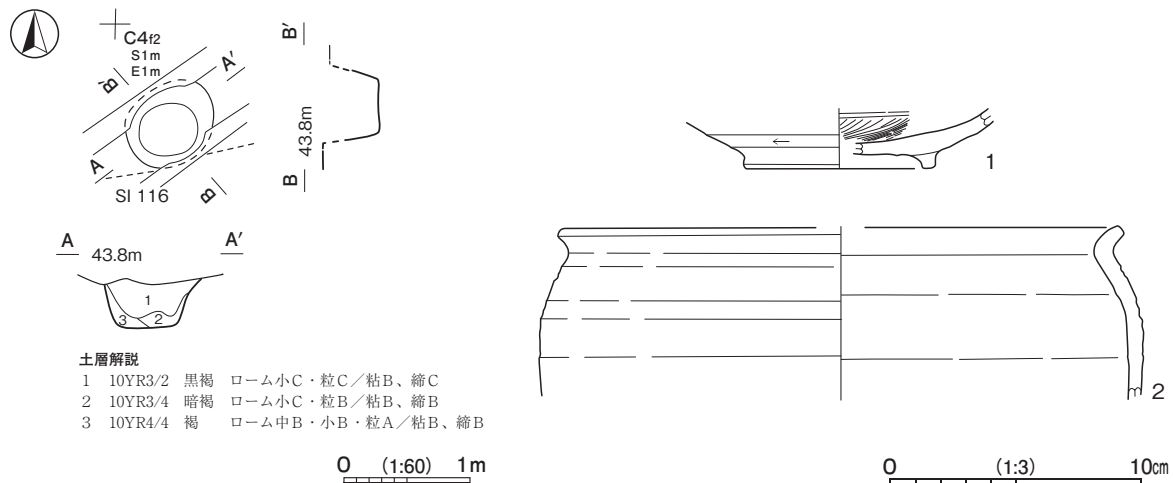
重複関係 第 116 号竪穴建物に掘り込まれている。

規模と形状 北・南壁の上部が攪乱のため、確認できた規模は長径 0.75 m、短径 0.54 m である。長径方向 N - 52° - E の楕円形と推定できる。深さは 36cm で、壁は外傾している。底面は平坦である。

覆土 3 層に分層できる。各層にロームのブロックや粒子を多く含んでいることから、人為堆積である。

遺物出土状況 土師器片 10 点 (坏 5、高台付椀 1、甕 4) が出土している。1・2 は覆土中から出土している。

所見 時期は、重複関係や出土土器から、10 世紀後葉である。



第 369 図 第 556 号土坑・出土遺物実測図

第 206 表 第 556 号土坑出土遺物一覧 (第 369 図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
1	土師器	高台付椀	-	(2.4)	[7.4]	長石・石英・針状物質	にぶい黄橙	普通	体部外面ロクロナデ 下端回転ヘラ削り、内面ヘラ磨き、底部回転ヘラ削り後高台貼付け	覆土	5%
2	土師器	甕	[22.0]	(6.9)	-	長石・石英・赤色粒子	灰色	普通	口縁部内外面横ナデ 体部内外面ヘラナデ	覆土	5%

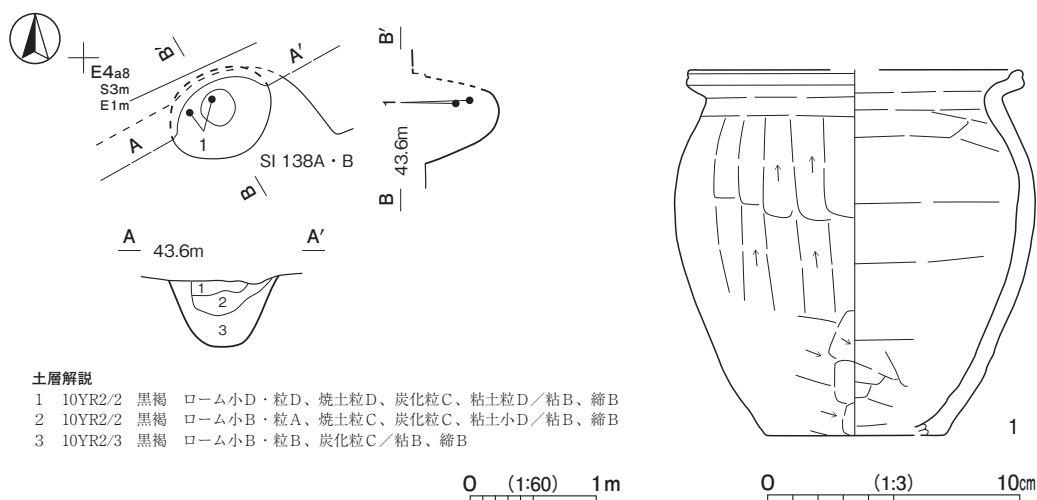
第 668 号土坑 (第 370 図 PL51・94)

位置 E 区中央部の E 4 a8 区、標高 43 m ほどの平坦な台地上に位置している。

重複関係 第 138A・B 号竪穴建物に掘り込まれている。

規模と形状 上部を第 138 A・B 号竪穴建物に掘り込まれ、北半部は攪乱のため、確認できた規模は、長径 0.87 m、短径 0.61 m である。長径方向 N - 62° - E の楕円形と推定できる。深さは 55cm で、壁は外傾している。底面は皿状である。

覆土 3 層に分層できる。各層にロームのブロックや粒子、炭化粒子を含んでいることから、人為堆積である。



第 370 図 第 668 号土坑・出土遺物実測図

遺物出土状況 土師器片 26 点（坏 2、甕 24）が出土している。1 は中央部と西部の覆土下層から、2 点に分かれた状態で出土している。

所見 時期は、重複関係や出土土器から、9 世紀前半である。

第 207 表 第 668 号土坑出土遺物一覧（第 370 図）

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
1	土師器	甕	[13.2]	14.6	[7.0]	長石・石英・細礫	褐	普通	口縁部内外面横ナデ 体部外面へラ削り 内面へラナデ	覆土下層	20% PL94

第 867 号土坑（第 371 図 PL51・94）

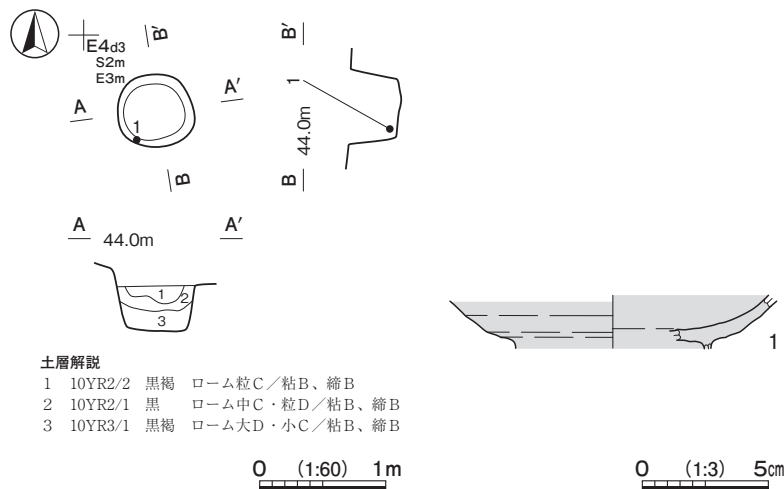
位置 E 区中央部の E 4 d3 区、標高 44 m ほどの平坦な台地上に位置している。

規模と形状 径 0.57～0.60 m の円形である。深さは 40cm で、壁はほぼ直立している。底面は平坦である。

覆土 3 層に分層できる。各層にロームブロックを含んでいることから、人為堆積である。

遺物出土状況 土師器片 8 点（坏 4、甕 4）、須恵器片 1 点（甕）、緑釉陶器片 1 点（椀）が出土している。1 は南西壁際の覆土下層から出土している。

所見 時期は、出土土器から 10 世紀前葉である。



第 371 図 第 867 号土坑・出土遺物実測図

第 208 表 第 867 号土坑出土遺物一覧（第 371 図）

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
1	緑釉陶器	椀	-	(2.1)	-	長石	オリーブ灰	良好	体部内外面ロクロナデ 全面施釉	覆土下層	10% PL94

第 882 号土坑（第 372 図 PL52）

位置 E 区中央部の E 4 a4 区、標高 44 m ほどの平坦な台地上に位置している。

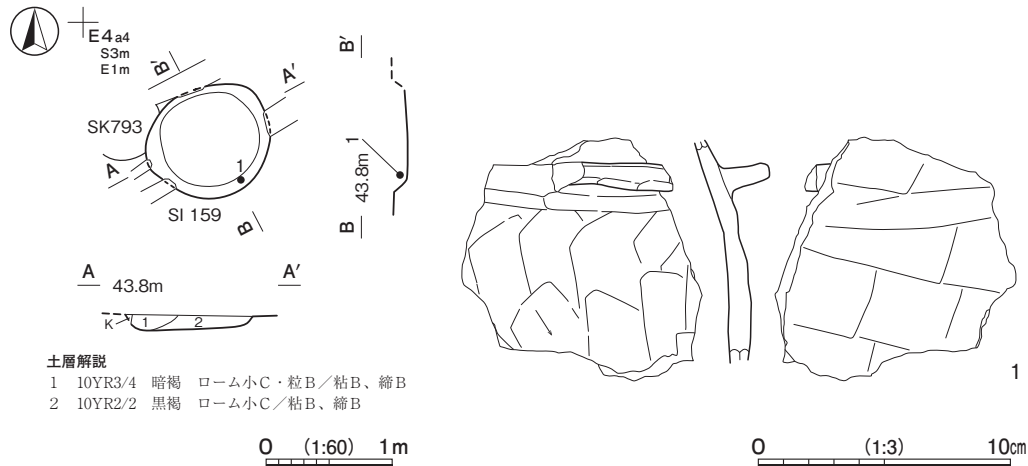
重複関係 第 159 号竪穴建物跡、第 793 号土坑を掘り込んでいる。

規模と形状 長径 1.02 m、短径 0.89 mの楕円形で、長径方向はN - 64° - Eである。深さは12cmで、壁は外傾している。底面は平坦である。

覆土 2層に分層できる。各層にロームブロックを含んでいることから、人為堆積である。

遺物出土状況 土師器片7点（坏1、高台付椀1、甕4、置き竈1）が出土している。1は南部の覆土上層から出土している。

所見 時期は、出土土器から10世紀代と考えられる。



第 372 図 第 882 号土坑・出土遺物実測図

第 209 表 第 882 号土坑出土遺物一覧（第 372 図）

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
1	土師器	置き竈	-	(8.9)	-	長石・石英・赤色 粒子	にぶい橙	普通	体部へラ削り 鏝部貼付け	覆土上層	10%

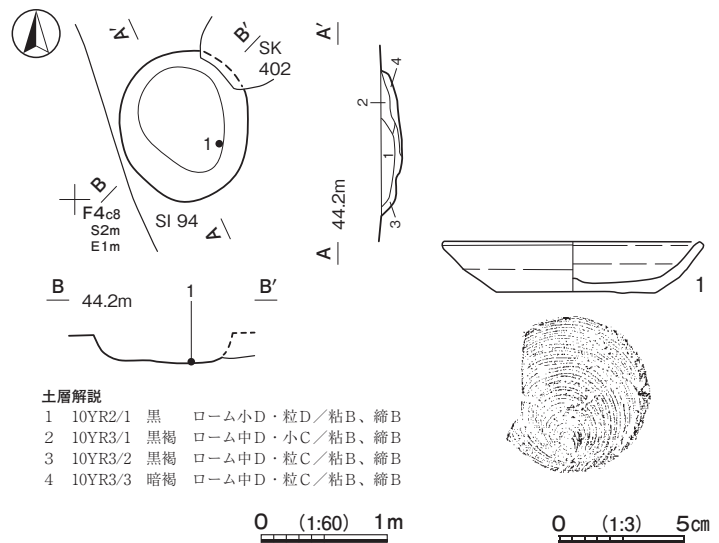
第 888 号土坑（第 373 図 PL94）

位置 E 区中央部の F 4 c8 区、標高 44 m ほどの平坦な台地上に位置している。

重複関係 第 94 号竪穴建物跡を掘り込み、第 402 号土坑に掘り込まれている。

規模と形状 長径 1.18 m、短径 1.05 m の楕円形で、長径方向はN - 21° - W である。深さは21cmで、壁は外傾している。底面はわずかに凹凸がある。

覆土 4層に分層できる。各層にロームブロックを含んでいることから、人為堆積である。



第 373 図 第 888 号土坑・出土遺物実測図

遺物出土状況 土師器片 1 点（小皿）が出土している。1 は南東部の覆土下層から逆位の状態で出土している。
所見 時期は、重複関係や出土土器から、10 世紀後葉である。

第 210 表 第 888 号土坑出土遺物一覧（第 373 図）

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
1	土師器	小皿	10.3	2.1	6.2	長石・石英	にぶい橙	普通	口縁部・体部内外面ロクロナテ 底部回転糸切り	覆土下層	80% PL94

第 898 号土坑（第 374 図 PL52）

位置 E 区中央部の E 4 b4 区、標高 44 m ほどの平坦な台地上に位置している。

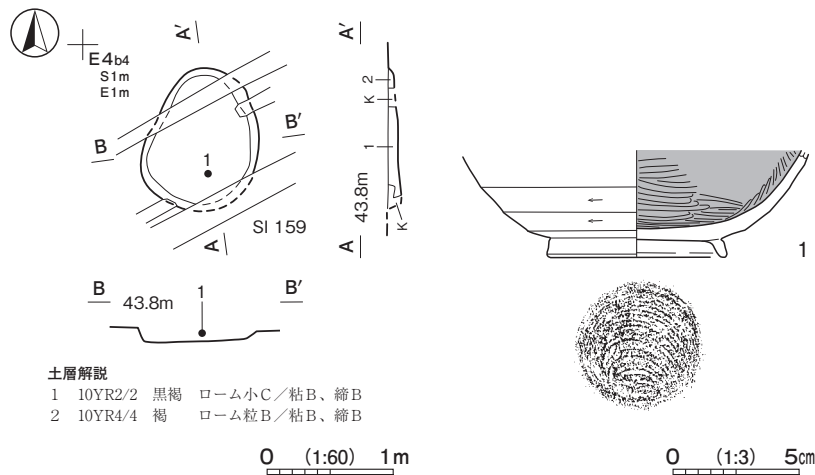
重複関係 第 159 号竪穴建物跡を掘り込んでいる。

規模と形状 長径 1.06 m、短径 0.90 m の楕円形で、長径方向は N - 13° - E である。深さは 12cm で、壁は外傾している。底面は南西部へ緩やかに傾斜している。

覆土 2 層に分層できる。ロームのブロックや粒子を含んでいることから、人為堆積である。

遺物出土状況 土師器片 3 点（高台付椀、高台付皿、甕）、須恵器片 1 点（甕）が出土している。1 は南部の覆土中から出土している。

所見 時期は、重複関係や出土土器から、10 世紀後葉である。



第 374 図 第 898 号土坑・出土遺物実測図

第 211 表 第 898 号土坑出土遺物一覧（第 374 図）

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
1	土師器	高台付椀	-	(42)	6.8	長石・石英・雲母	にぶい橙	普通	体部外面ロクロナテ 内面ヘラ磨き 体部外面下端回転ヘラ削り 底部回転糸切り 後高台貼付け	覆土	70%

第 903 号土坑 (第 375 図 PL102)

位置 E 区中央部の E 4 d3 区、標高 44 m ほどの平坦な台地上に位置している。

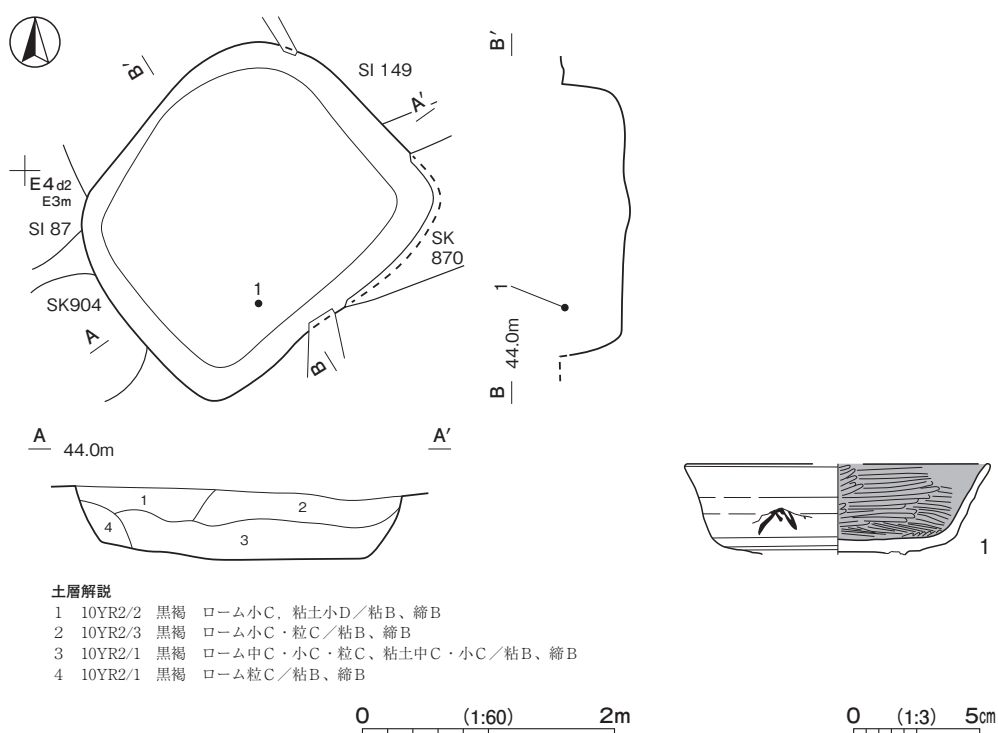
重複関係 第 87・149 号竪穴建物跡、第 904 号土坑を掘り込み、第 870 号土坑に掘り込まれている。

規模と形状 長軸 2.55 m、短軸 2.15 m の長方形で、長軸方向は N - 47° - E である。深さは 50cm で、壁は外傾している。底面はやや凹凸がある。

覆土 4 層に分層できる。各層にロームブロックを含んでいることから、人為堆積である。

遺物出土状況 土師器片 27 点 (坏 3、高台付坏 2、甕 22)、須恵器片 6 点 (坏 2、蓋 1、甕 3) が出土している。ほかに混入した縄文土器片 3 点 (深鉢) が出土している。1 は南東部の覆土上層から逆位の状態で出土している。

所見 時期は、重複関係や出土土器から、9 世紀中葉である。



第 375 図 第 903 号土坑・出土遺物実測図

第 212 表 第 903 号土坑出土遺物一覧 (第 375 図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
1	土師器	高台付坏	[12.0]	3.6	-	長石・石英・赤色粒子	にぶい橙	普通	口縁部・体部外面ロクロナデ 内面ヘラ磨き	覆土上層	40% PL102 墨書「家」

第 905 号土坑 (第 376 図 PL52・94)

位置 E 区中央部の E 4 d3 区、標高 44 m ほどの平坦な台地上に位置している。

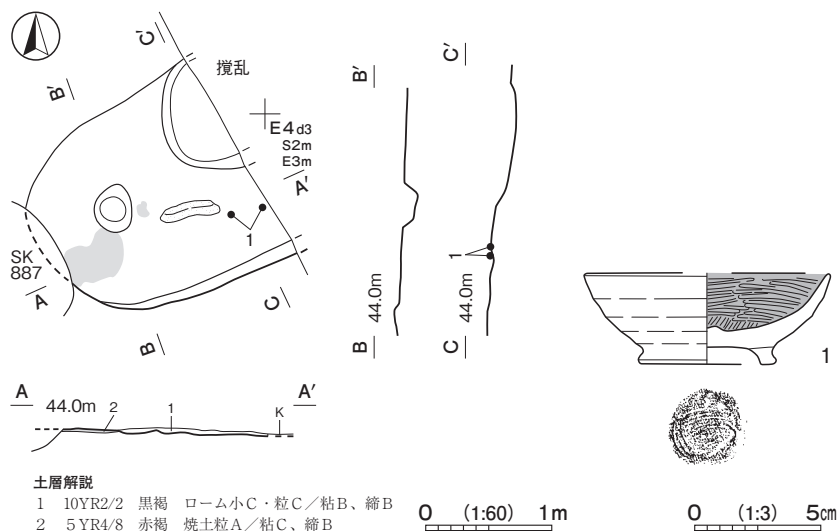
重複関係 第 765・766 号土坑を掘り込み、第 887 号土坑に掘り込まれている。

規模と形状 北半部が削平され、東部が攪乱のため、確認できた規模は、長径 1.65 m、短径 1.75 m である。長径方向 N - 67° - E の楕円形と推定できる。深さは 12cm で、確認できた南壁は外傾している。底面は凹凸があり、南西部の壁際が赤変硬化している。

覆土 単一層である。ロームのブロックや粒子を含んでいることから、人為堆積である。

遺物出土状況 土師器片1点（高台付椀）、凝灰質泥岩1点が出土している。1は南東部の底面から、破片が散在した状態で出土している。凝灰質泥岩は、中央部の底面から出土している。長さ48cm、幅12cmで、角柱状に面取りしている。全体が火を受けて赤変しており、竈の部材が廃棄されたものと考えられる。

所見 時期は、出土土器から10世紀中葉である。



第376図 第905号土坑・出土遺物実測図

第213表 第905号土坑出土遺物一覧（第376図）

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考	
1	土師器	高台付椀	[12.0]	3.6	5.4	長石・石英・雲母	橙	普通	口縁部・体部外面ロクロナデ 底部回転糸切り後高台貼付け	内面へラ磨き	底面	60% PL94

第996号土坑（第377図 PL52・94）

位置 E区中央部のD4e9区、標高44mほどの平坦な台地上に位置している。

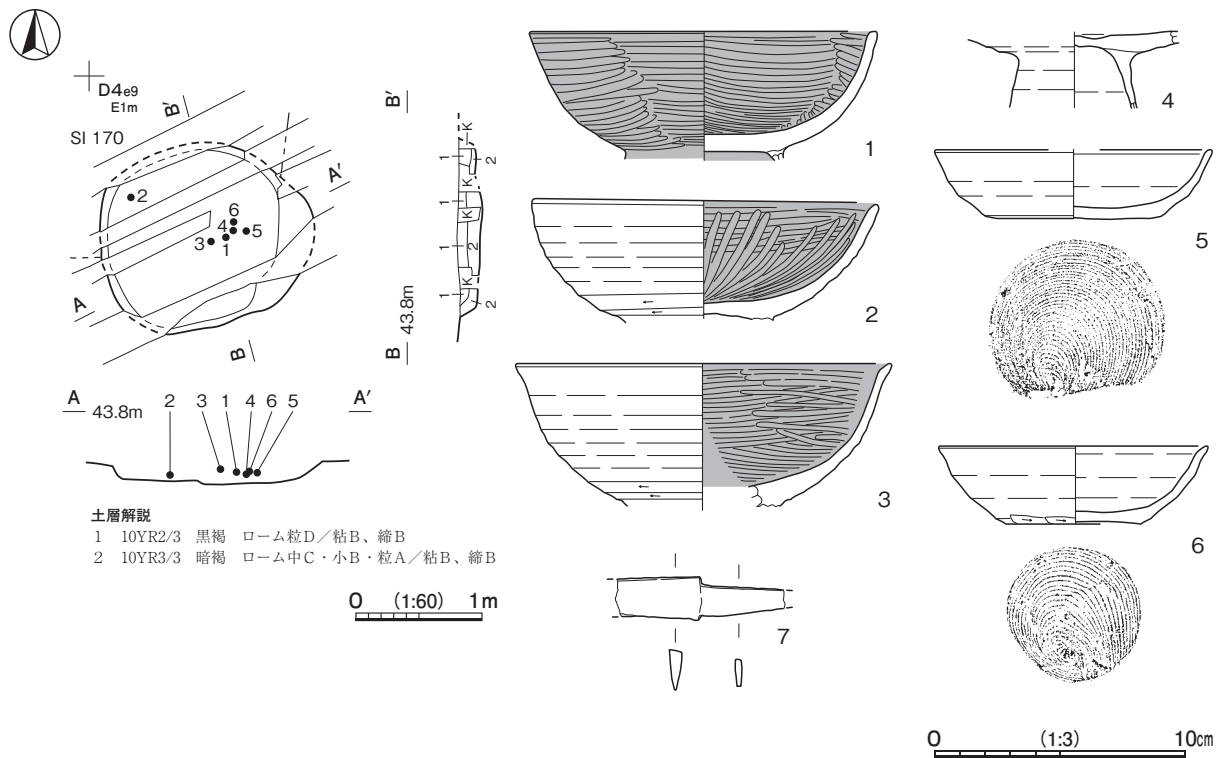
重複関係 第170号竪穴建物跡を掘り込んでいる。

規模と形状 北部が攪乱のため、確認できた規模は、長径1.70m、短径1.33mである。長径方向N-79°-Eの楕円形と推定できる。深さは16cmで、壁は外傾している。底面は凹凸がある。

覆土 2層に分層できる。覆土下層にロームブロックを多く含んでいることから、人為堆積である。

遺物出土状況 土師器片71点（坏45、高台付椀16、小皿2、甕8）、須恵器片2点（坏）、金属製品1点（刀子）が出土している。ほかに混入した弥生土器片1点（広口壺）が出土している。土器片は、特に残存率の高い土師器の坏・椀類が中央部の覆土上層からまとまって出土している。1・3～6は、中央部の覆土上層からまとまって出土しており、1は逆位、3～6は斜位の状態で、それぞれ出土している。2は北西部の覆土上層から、正位でつぶれた状態で出土している。7は覆土中から出土している。

所見 時期は、出土土器から10世紀中葉である。



土層解説
 1 10YR2/3 黒褐 ローム粒D/粘B、締B
 2 10YR3/3 暗褐 ローム中C・小B・粒A/粘B、締B

第 377 図 第 996 号土坑・出土遺物実測図

第 214 表 第 996 号土坑出土遺物一覧 (第 377 図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
1	土師器	高台付椀	13.7	(5.1)	-	長石・石英	黒	普通	口縁部・体部内外面ヘラ磨き 底部回転糸切り 高台剥離	覆土上層	80% PL94
2	土師器	高台付椀	13.5	(4.7)	-	長石・石英	にぶい黄橙	普通	口縁部・体部外面ロクロナデ 内面ヘラ磨き 体部外面下端回転ヘラ削り 高台剥離	覆土上層	70%
3	土師器	高台付椀	15.0	(5.7)	-	長石・石英・赤色 粒子・黒色粒子	にぶい橙	普通	口縁部・体部外面ロクロナデ 内面ヘラ磨き 体部外面下端回転ヘラ削り 高台剥離	覆土上層	20%
4	土師器	高台付椀	-	(3.0)	-	長石・石英・赤色 粒子	浅黄橙	普通	体部外面ロクロナデ 高台貼付け	覆土上層	20%
5	土師器	小皿	[10.9]	2.8	7.0	長石・雲母	にぶい褐	普通	口縁部・体部内外面ロクロナデ 底部回転糸切り	覆土上層	50%
6	土師器	小皿	10.6	3.1	5.2	長石・石英・雲母	にぶい橙	普通	口縁部・体部内外面ロクロナデ 体部外面下端 手持ちヘラ削り 底部回転糸切り	覆土上層	50%

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
7	刀子	(6.7)	1.8	0.5	11.24	鉄	刃部・茎部欠損 両関	覆土	

第 1010 号土坑 (第 378 図 PL94・102)

位置 E区中央部のD4h1区、標高44mほどの平坦な台地上に位置している。

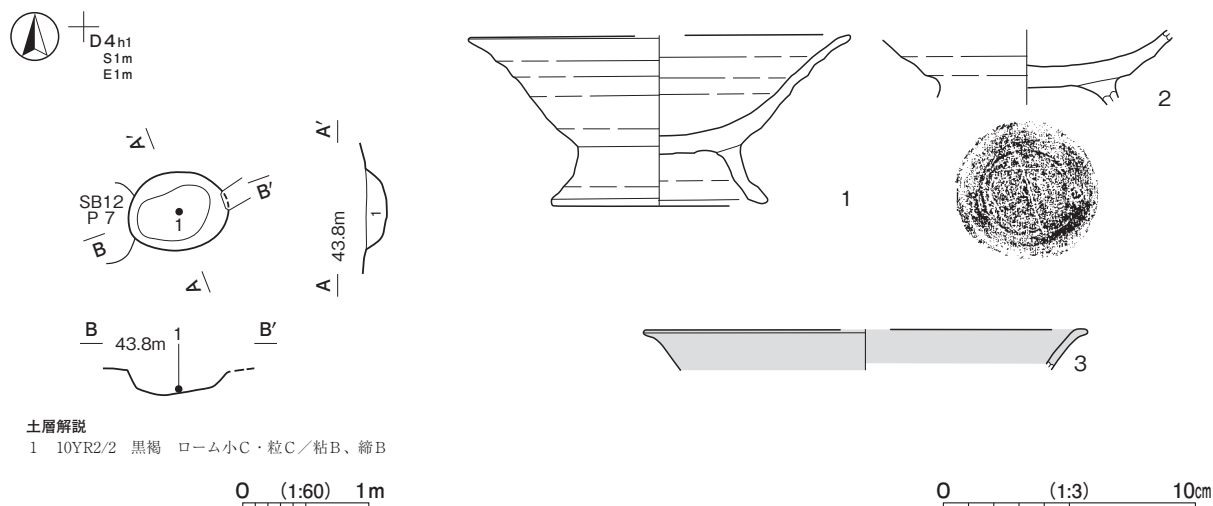
重複関係 第12号掘立柱建物跡を掘り込んでいる。

規模と形状 長径0.78m、短径0.63mの楕円形で、長径方向はN-72°-Eである。深さは21cmで、壁は外傾している。底面は皿状である。

覆土 単一層である。ロームのブロックや粒子を含んでいることから、人為堆積である。

遺物出土状況 土師器片15点(坏6、高台付椀3、甕6)、須恵器片1点(坏)、緑陶陶器片1点(椀)が出土している。ほかに混入した弥生土器片1点(広口壺)が出土している。1は中央部の底面から、2・3は覆土中から、それぞれ出土している。

所見 時期は、重複関係や出土土器から10世紀中葉である。



土層解説
1 10YR2/2 黒褐 ローム小C・粒C/粘B、締B

第378図 第1010号土坑・出土遺物実測図

第215表 第1010号土坑出土遺物一覧（第378図）

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
1	土師器	高台付椀	[15.0]	6.8	8.4	長石・石英・雲母	橙	普通	口縁部・体部内外面ロクロナデ 底部回転ヘラ切り後高台貼付け	底面	70% PL94
2	土師器	高台付椀	-	(2.9)	-	長石・石英・礫	にぶい黄橙	普通	体部外面ロクロナデ 底部回転ヘラ切り	覆土	70% PL102 ヘラ書「大」
3	緑釉陶器	椀	[17.5]	(1.6)	-	長石・石英	暗オリーブ	良好	口縁部内外面ロクロナデ 内外面施釉	覆土	5%

第1039号土坑（第379・380図 PL52・94・95）

位置 E区中央部のD4f4区、標高44mほどの平坦な台地上に位置している。

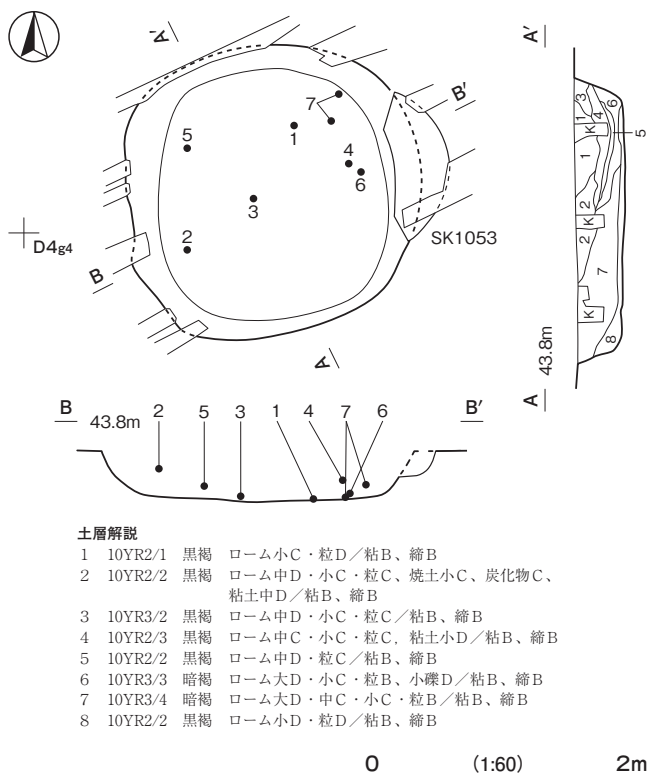
重複関係 第1053号土坑に掘り込まれている。

規模と形状 径2.42～2.50mの円形である。深さは40cmで、壁は外傾している。底面はほぼ平坦である。

覆土 8層に分層できる。各層にロームブロックを多く含んでいることから、人為堆積である。

遺物出土状況 土師器片92点（坏21、高台付椀21、皿3、高台付皿1、小皿14、甕32）、須恵器片3点（坏2、甕1）が出土している。

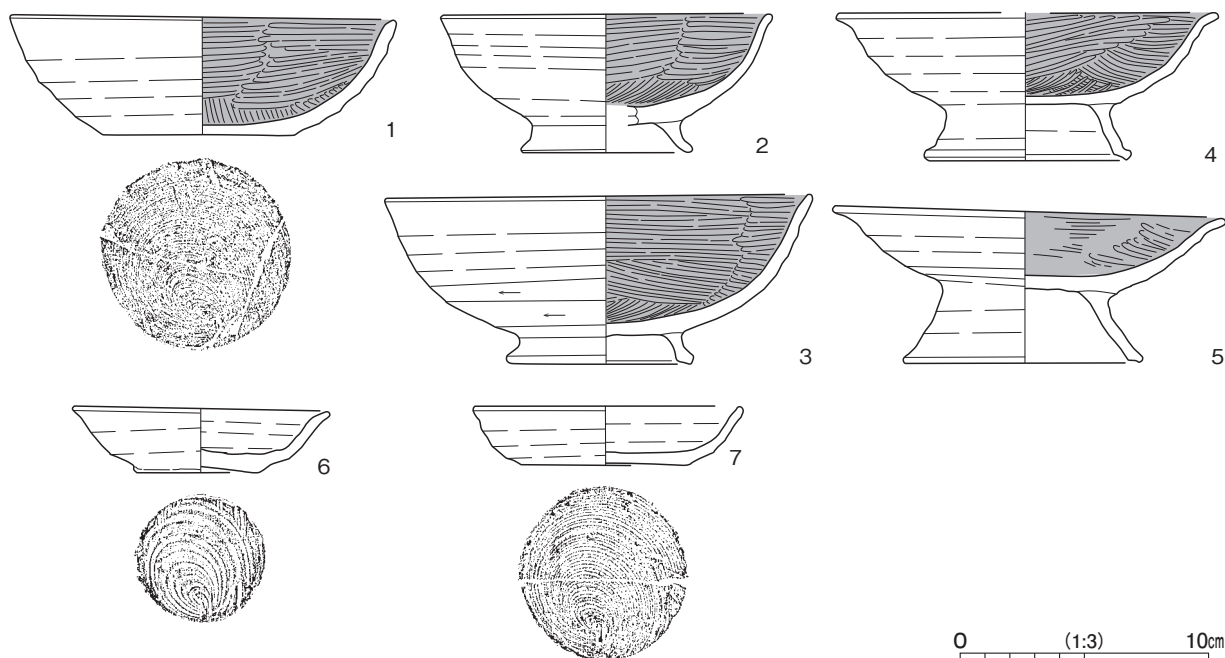
ほかに混入した縄文土器片2点（深鉢）、弥生土器片7点（広口壺）が出土している。1は北部の底面から正位の状態で出土している。4・6は東部の覆土下層から、4は正位、6は逆位の状態で一部が重なって出土している。2は南西部の覆土中層から、3は中央部、5は北西部、



第379図 第1039号土坑実測図

7は北東部の覆土下層から、それぞれ出土している。

所見 時期は、重複関係や出土土器から、10世紀中葉である。



第 380 図 第 1039 号土坑出土遺物実測図

第 216 表 第 1039 号土坑出土遺物一覧 (第 380 図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
1	土師器	坏	15.6	5.8	7.7	長石・石英・黒色粒子・細礫	浅黄橙	普通	口縁部・体部外面ロクロナデ 内面ヘラ磨き 底部回転糸切り	底面	100% PL94
2	土師器	高台付椀	13.1	5.6	[6.6]	長石・石英・赤色粒子	にぶい黄橙	普通	口縁部・体部外面ロクロナデ 内面ヘラ磨き 底部回転ヘラ切り後高台貼付け	覆土中層	50% PL94
3	土師器	高台付椀	17.2	6.8	7.5	長石・石英	にぶい黄橙	普通	口縁部・体部外面ロクロナデ 内面ヘラ磨き 体部外面 下端回転ヘラ削り 底部回転ヘラ切り後高台貼付け	覆土下層	60% PL94
4	土師器	高台付椀	[15.1]	6.0	8.0	長石・石英・赤色粒子	橙	普通	口縁部・体部外面ロクロナデ 内面ヘラ磨き 底部回転ヘラ切り後高台貼付け	覆土下層	80%
5	土師器	高台付椀	15.9	6.4	9.6	長石・石英	にぶい黄橙	普通	口縁部・体部外面ロクロナデ 内面ヘラ磨き 底部回転ヘラ切り後高台貼付け	覆土下層	80% PL94
6	土師器	小皿	10.4	2.7	5.0	長石・石英	にぶい橙	普通	口縁部・体部内外面ロクロナデ 底部回転糸切り	覆土下層	100% PL95
7	土師器	小皿	10.8	2.4	6.8	長石・石英・赤色粒子・黒色粒子	橙	普通	口縁部・体部内外面ロクロナデ 底部回転糸切り	覆土下層	60%

第 1053 号土坑 (第 381・382 図 PL52・95)

位置 E区中央部のD4f4区、標高44mほどの平坦な台地上に位置している。

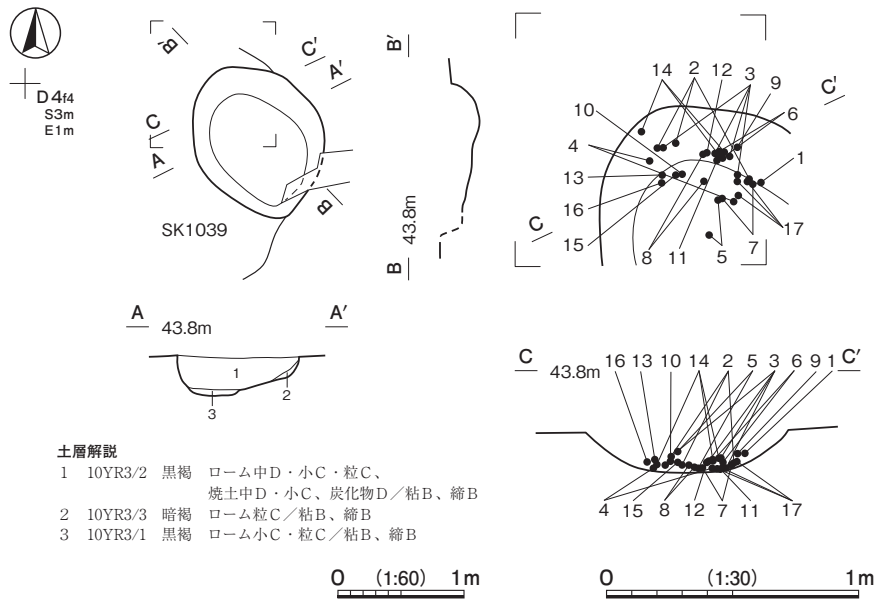
重複関係 第1039号土坑を掘り込んでいる。

規模と形状 長径1.20m、短径1.02mの楕円形で、長径方向はN-24°-Wである。深さは32cmで、壁は外傾している。底面は凹凸がある。

覆土 3層に分層できる。各層にロームのブロックや粒子を含んでいることから、人為堆積である。

遺物出土状況 土師器片72点(坏10、高台付椀18、小皿35、甕9)が出土している。ほかに混入した弥生土器片2点(広口壺)が出土している。土器片は、主に完形や残存率の高い土師器小皿が、北部の覆土下層からまとまって出土している。それらは、大形破片が正位の状態で重なり合い、その周囲に小破片が散在した状態で出土している。

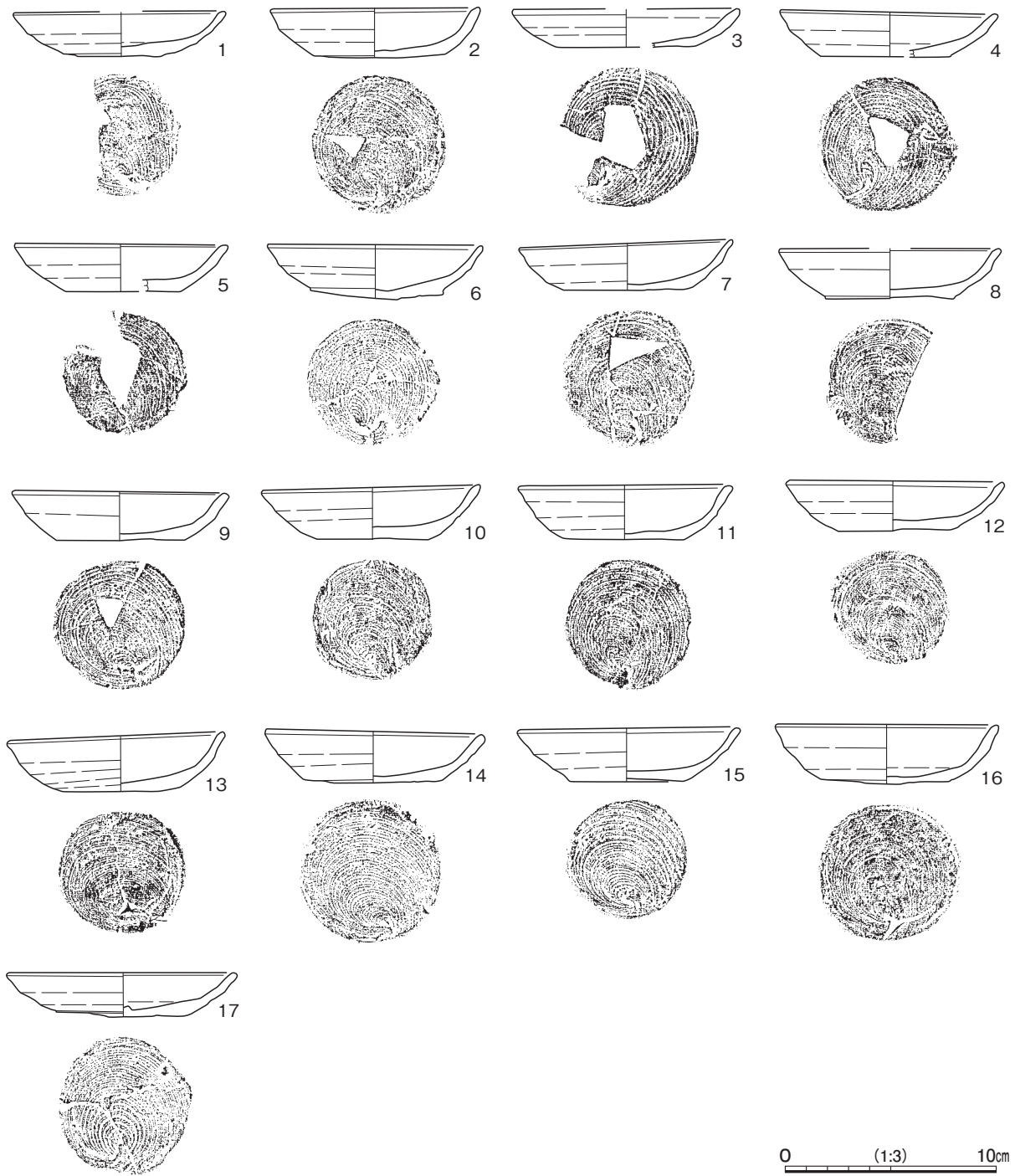
所見 17 個体以上の土師器小皿がまとまって出土しており、饗宴などで用いられたものが使用後に廃棄されたと考えられる。時期は、重複関係や出土土器から、10 世紀後葉である。



第 381 図 第 1053 号土坑実測図

第 217 表 第 1053 号土坑出土遺物一覧 (第 382 図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
1	土師器	小皿	[10.0]	2.6	5.3	長石・石英・赤色 粒子・細礫	橙	普通	口縁部・体部内外面ロクロナデ 底部回転糸切り	覆土下層	40%
2	土師器	小皿	10.0	2.4	6.3	長石・石英	橙	普通	口縁部・体部内外面ロクロナデ 底部回転糸切り	覆土下層	95% PL95
3	土師器	小皿	[10.6]	1.8	6.4	長石・石英・赤色 粒子・針状物質	灰黄褐	普通	口縁部・体部内外面ロクロナデ 底部回転糸切り	覆土下層	50%
4	土師器	小皿	10.4	2.3	6.2	長石・石英	灰黄褐	普通	口縁部・体部内外面ロクロナデ 底部回転糸切り	覆土下層	90% PL95
5	土師器	小皿	10.2	2.2	[5.5]	長石・石英	橙	普通	口縁部・体部内外面ロクロナデ 底部回転糸切り	覆土下層	80% PL95
6	土師器	小皿	10.1	3.0	6.3	長石・石英・赤色 粒子・細礫	橙	普通	口縁部・体部内外面ロクロナデ 底部回転糸切り	覆土下層	95% PL95
7	土師器	小皿	10.0	2.4	6.0	長石・石英・赤色 粒子・細礫	橙	普通	口縁部・体部内外面ロクロナデ 底部回転糸切り	覆土下層	60%
8	土師器	小皿	[10.4]	2.4	6.0	長石・石英・赤色 粒子・細礫	橙	普通	口縁部・体部内外面ロクロナデ 底部回転糸切り	覆土下層	50%
9	土師器	小皿	10.0	2.4	6.1	長石・石英・赤色 粒子・細礫	橙	普通	口縁部・体部内外面ロクロナデ 底部回転糸切り	覆土下層	80% PL95
10	土師器	小皿	10.2	2.6	5.3	長石・石英・赤色 粒子・細礫	橙	普通	口縁部・体部内外面ロクロナデ 底部回転糸切り	覆土下層	70% PL95
11	土師器	小皿	10.0	2.6	5.8	長石・石英・赤色 粒子・細礫	橙	普通	口縁部・体部内外面ロクロナデ 底部回転糸切り	覆土下層	95% PL95
12	土師器	小皿	10.0	2.4	5.3	長石・石英・赤色 粒子・細礫	にぶい橙	普通	口縁部・体部内外面ロクロナデ 底部回転糸切り	覆土下層	95% PL95
13	土師器	小皿	10.1	2.8	5.6	長石・石英・赤色 粒子・細礫	橙	普通	口縁部・体部内外面ロクロナデ 底部回転糸切り	覆土下層	80% PL95
14	土師器	小皿	10.2	2.6	6.6	長石・石英・赤色 粒子・細礫	橙	普通	口縁部・体部内外面ロクロナデ 底部回転糸切り	覆土下層	95% PL95
15	土師器	小皿	10.3	2.6	5.4	長石・石英・赤色 粒子・細礫	橙	普通	口縁部・体部内外面ロクロナデ 底部回転糸切り	覆土下層	95% PL95
16	土師器	小皿	10.3	2.8	6.4	長石・石英・赤色 粒子・黒色粒子	橙	普通	口縁部・体部内外面ロクロナデ 底部回転糸切り	覆土下層	80%
17	土師器	小皿	10.7	2.1	6.4	長石・石英・赤色 粒子・黒色粒子	橙	普通	口縁部・体部内外面ロクロナデ 底部回転糸切り	覆土下層	100% PL95



第 382 図 第 1053 号土坑出土遺物実測図

第 1056 号土坑 (第 383 図 PL52・96)

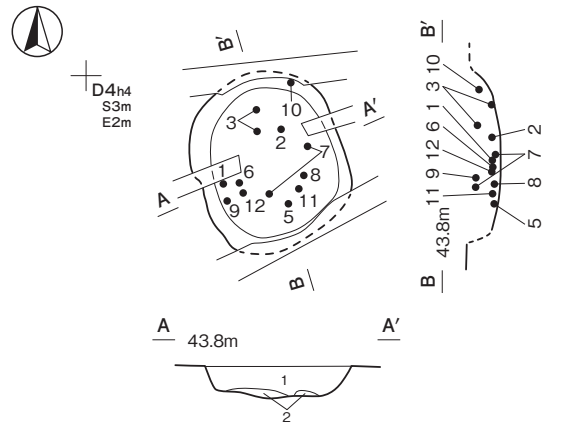
位置 E 区中央部の D 4 h4 区、標高 44 m ほどの平坦な台地上に位置している。

規模と形状 北・南壁の上部が攪乱のため、確認できた規模は、長径 1.30 m、短径 1.16 m である。長径方向 N - 15° - W の楕円形と推定できる。深さは 26cm で、壁は外傾している。底面は皿状である。

覆土 2 層に分層できる。各層にロームや焼土、炭化物の粒子を含んでいることから、人為堆積である。

遺物出土状況 土師器片 191 点（坏 27、高台付椀 25、皿 1、高台付皿 3、小皿 105、甕 30）、須恵器片 2 点（坏、甕）が出土している。完形や残存率の高い土師器坏・椀は全域の覆土下層から、また、破片は主に北東部の覆土下層から散在した状態で出土している。1・2・5・6・8・11・12 は覆土下層から斜位や逆位の状態で、9・10 は覆土上層から斜位や逆位の状態で、それぞれ出土している。3 は北部、7 は東部の覆土下層と南部の覆土上層から 2 点に分かれた状態で、それぞれ出土している。4 は覆土中から出土している。

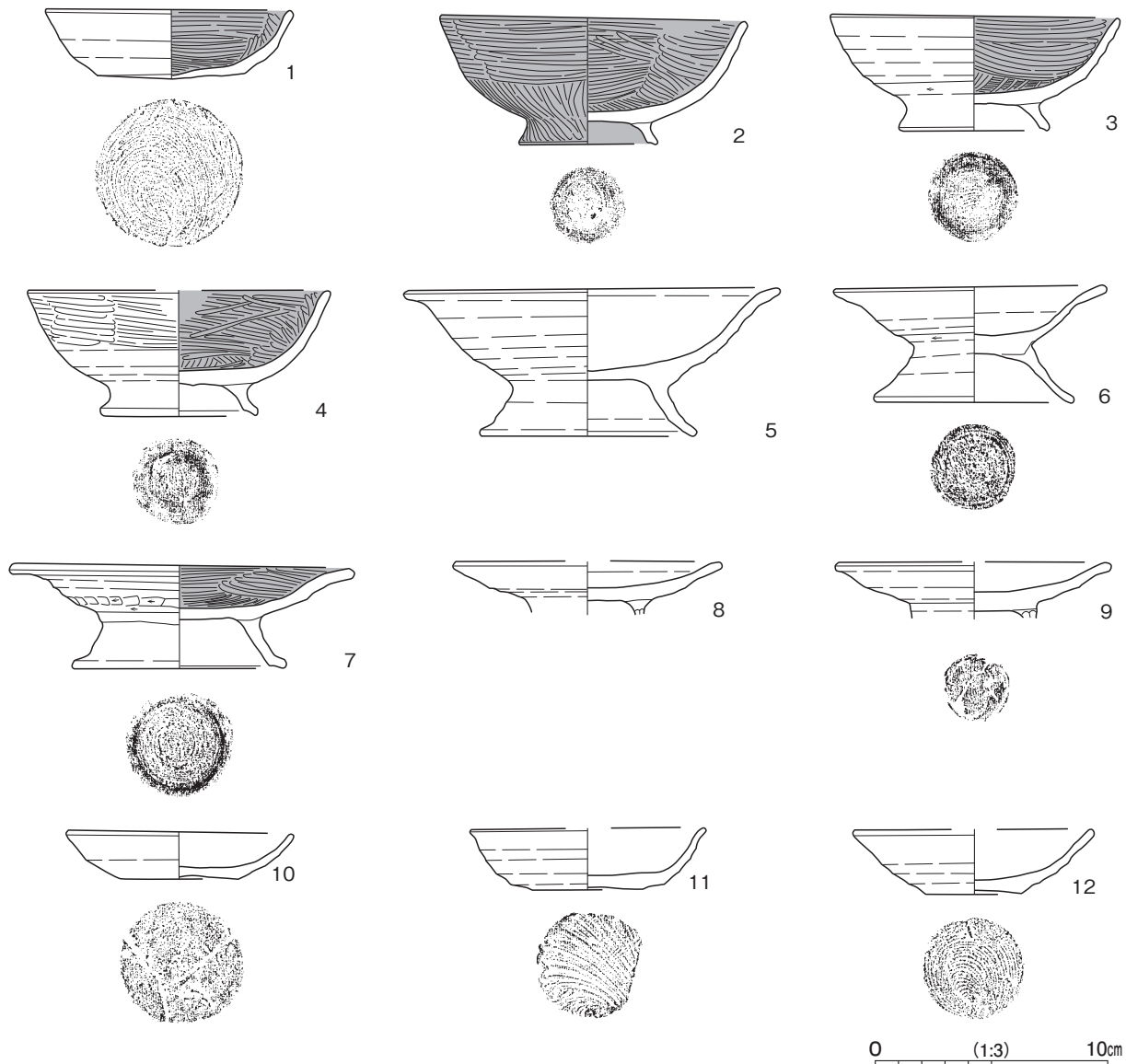
所見 時期は、出土土器から 10 世紀中葉である。



土層解説

- 1 10YR2/3 黒褐 ローム小C・粒C、焼土小C・粒C、炭化物D・粒C、粘土粒C/粘B、締B
- 2 10YR2/2 黒褐 ローム粒D、焼土粒D、炭化粒D/粘B、締B

0 (1:60) 1m



第 383 図 第 1056 号土坑・出土遺物実測図

第 218 表 第 1056 号土坑出土遺物一覧 (第 383 図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
1	土師器	坏	10.5	3.7	6.3	長石・石英・赤色 粒子	にぶい黄橙	普通	口縁部・体部外面ロクロナデ 内面ヘラ磨き 底部回転糸切り	覆土下層	100% PL96
2	土師器	高台付椀	13.0	5.6	6.0	長石・石英	黒	普通	口縁部・体部内外面ヘラ磨き 底部回転ヘラ切り 後高台貼付け	覆土下層	90% PL96
3	土師器	高台付椀	12.3	5.1	6.4	長石・石英・赤色	橙	普通	口縁部・体部外面ロクロナデ 内面ヘラ磨き 底部回転糸切り後高台貼付け	覆土下層 ～上層	70% PL96
4	土師器	高台付椀	[12.8]	5.4	6.6	長石・石英・赤色 粒子	橙	普通	口縁部・体部内外面ヘラ磨き 体部外面下端ヘ ラナデ 底部回転ヘラ切り後高台貼付け	覆土	50%
5	土師器	高台付椀	15.9	6.4	9.2	長石・石英・赤色 粒子	橙	普通	口縁部・体部内外面ロクロナデ 底部回転ヘラ 切り後高台貼付け	覆土下層	90% PL96
6	土師器	高台付椀	11.5	5.1	8.5	長石・石英・赤色 粒子・細礫	にぶい橙	普通	口縁部・体部内外面ロクロナデ 体部外面下端 回転ヘラ削り 底部回転ヘラ切り後高台貼付け	覆土下層	70% PL96
7	土師器	高台付皿	14.6	4.6	9.1	長石・石英・赤色 粒子	橙	普通	口縁部・体部外面ロクロナデ 内面ヘラ磨き 体部外面 下端手持ちヘラ削り 底部回転ヘラ切り後高台貼付け	覆土下層 ～上層	95% PL96
8	土師器	高台付皿	[11.4]	(2.3)	-	長石・石英	にぶい橙	普通	口縁部・体部内外面ロクロナデ 体部外面下端 ヘラナデ 底部回転ヘラ切り 高台欠損	覆土下層	80% PL96
9	土師器	高台付皿	[11.6]	(2.5)	-	長石・石英	にぶい橙	普通	口縁部・体部内外面ロクロナデ 底部回転糸切り 高台欠損	覆土上層	60% PL96
10	土師器	小皿	9.6	2.1	5.1	長石・石英・赤色 粒子	橙	普通	口縁部・体部内外面ロクロナデ 底部回転糸切り	覆土上層	60%
11	土師器	小皿	[10.0]	2.6	4.7	長石・石英	にぶい褐	普通	口縁部・体部内外面ロクロナデ 底部回転糸切り	覆土下層	50%
12	土師器	小皿	[10.1]	2.8	4.3	長石・石英・雲母	橙	普通	口縁部・体部内外面ロクロナデ 底部回転糸切り	覆土下層	60%

第 1058 号土坑 (第 384 図 PL53)

位置 E 区中央部の D 4 i6 区、標高 43 m ほどの平坦な台地上に位置している。

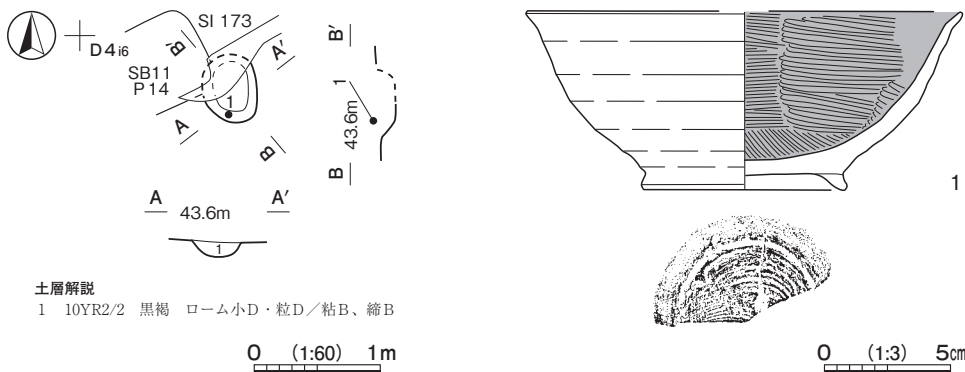
重複関係 第 173 号竪穴建物跡を掘り込んでいる。また、攪乱を受けているが、第 11 号掘立柱建物跡を掘り込んでいると推定できる。

規模と形状 北半部が攪乱のため、確認できた規模は、長径 0.43 m、短径 0.40 m で、長径方向 N - 17° - W の楕円形と推定できる。深さは 12cm で、壁は外傾している。底面は皿状である。

覆土 単一層である。ロームのブロックや粒子を含んでいることから、人為堆積である。

遺物出土状況 土師器片 2 点 (高台付椀、甕) が出土している。1 は南壁際の覆土上層から横位の状態で出土している。

所見 時期は、出土土器や重複関係から、10 世紀後葉である。



土層解説

1 10YR2/2 黒褐 ローム小D・粒D/粘B、縮B

第 384 図 第 1058 号土坑・出土遺物実測図

第 219 表 第 1058 号土坑出土遺物一覧 (第 384 図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	特徴	出土位置	備考
1	土師器	高台付椀	[17.2]	7.1	[8.0]	長石・石英・赤色 粒子	にぶい橙	普通	口縁部・体部外面ロクロナデ 内面ヘラ磨き 底部回転糸切り後高台貼り付け	覆土上層	40%

第 1066 号土坑 (第 385 図 PL53)

位置 E 区中央部の D 4 h6 区、標高 44 m ほどの平坦な台地上に位置している。

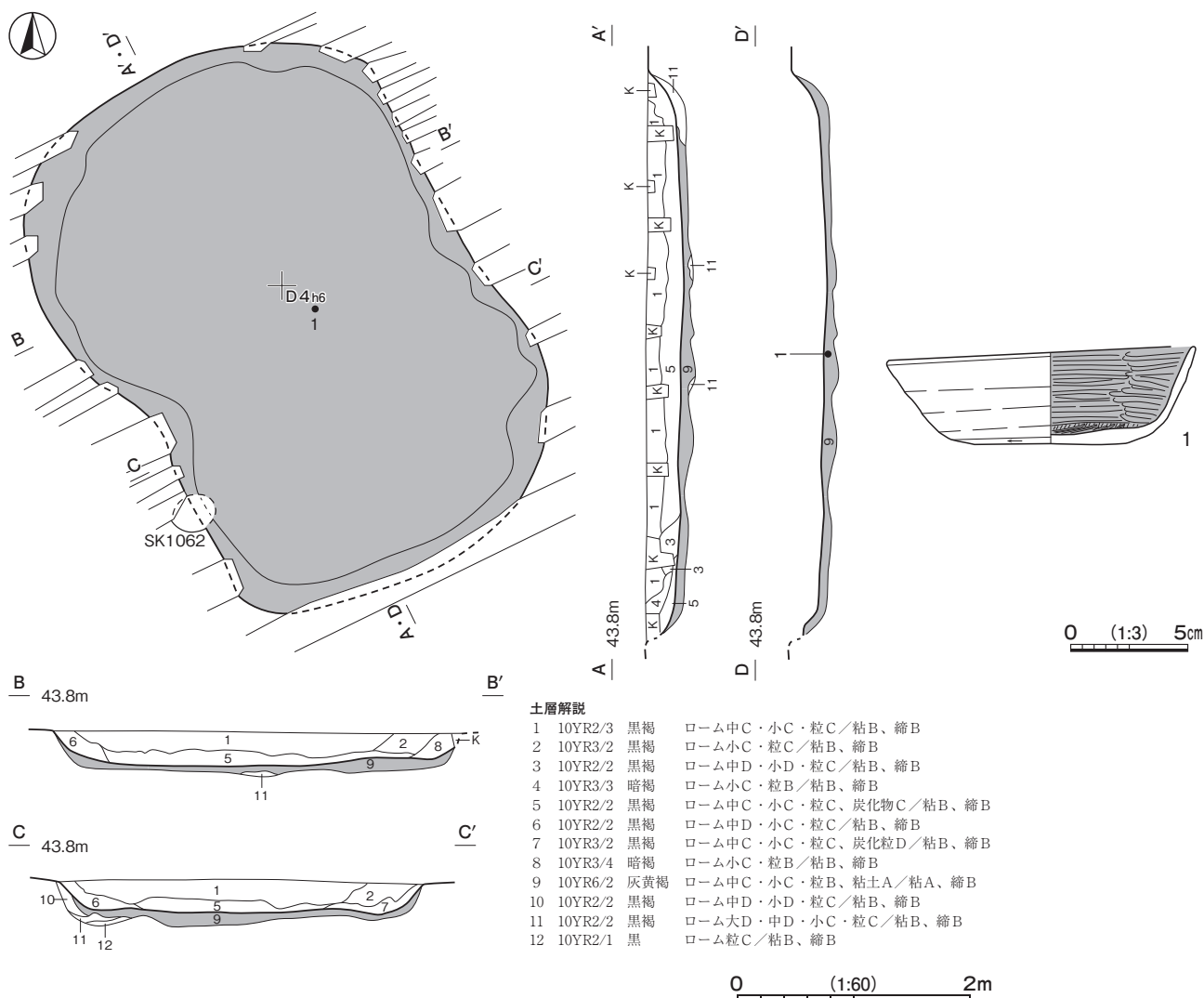
重複関係 第 1062 号土坑に掘り込まれている。

規模と形状 南壁の上部が攪乱のため、確認できた規模は、長径 4.75 m、短径 3.44 m である。長径方向 N - 34° - W の楕円形と推定できる。深さは 30cm で、壁は外傾している。底面は凹凸がある。

覆土 8 層に分層できる。ロームブロックを多く含んでいることから、人為堆積である。第 9 ~ 12 層は掘方の埋土で、主に第 9 層の灰黄褐色粘土層を底面全体に貼っている。層厚は 4 ~ 12cm である。

遺物出土状況 土師器片 223 点 (坏 41、高台付椀 1、皿 1、甕 180)、須恵器片 58 点 (坏 25、高台付坏 2、蓋 5、盤 2、甕 24) が出土している。ほかに混入した縄文土器片 22 点 (深鉢)、弥生土器片 19 点 (広口壺) が出土している。土器片は、南東部の覆土上層から散在した状態で出土している。1 は中央部の底面から正位でつづれた状態で出土している。

所見 時期は、出土土器から 10 世紀前葉である。



第 385 図 第 1066 号土坑・出土遺物実測図

第 220 表 第 1066 号土坑出土遺物一覧 (第 385 図)

番号	種 別	器種	口径	器高	底径	胎 土	色 調	焼成	特 徴	出土位置	備 考
1	土師器	坏	13.0	4.2	6.5	長石・石英・赤色 粒子	にぶい橙	普通	口縁部・体部外面 外面下回転ヘラ削り 口縁部・体部外面 外面下回転ヘラ削り 内面ヘラ磨き 底部回転ヘラ切り 体部 後ナデ	底面	60%

第 221 表 平安時代土坑一覧

番号	位 置	長径(軸)方向	平面形	規 模			壁 面	底 面	覆 土	主 な 出 土 遺 物	時 期	備 考
				長径(軸) × 短径(軸) (m)	深 さ (cm)							
101	I 4 c3	N - 27° - W	楕円形	1.60 × 1.10	43	外傾	ほぼ 平坦	人為	土師器 須恵器	9世紀後葉		
126	H 4 h3	-	円形	1.22 × 1.17	25~48	外傾	凹凸	人為	土師器 須恵器 土製紡錘車	9世紀後葉		
150	H 4 i6	N - 49° - W	[楕円形]	(0.97) × 0.92	30	外傾	皿状	人為	土師器	9世紀後葉	SI26 → 本跡	
253	G 4 c9	N - 48° - E	楕円形	1.95 × 1.15	38	外傾	皿状	人為	土師器	10世紀前葉	SI59・78、SB 4、 SK217 → 本跡	
320	E 4 i2	N - 28° - W	楕円形	0.66 × 0.57	30	外傾	ほぼ 平坦	人為	土師器	11世紀前葉	SI85 → 本跡	
325	E 4 g2	-	円形	0.93 × 0.89	27	外傾	ほぼ 平坦	人為	土師器	10世紀前葉		
377	B 3 h0	-	円形	1.34 × 1.28	59	直立	ほぼ 平坦	自然	土師器	10世紀中葉		
382	B 3 d6	-	[円形・楕円形]	1.35 × (0.80)	32	外傾	緩斜	自然	土師器	10世紀後葉		
407	D 4 c1	N - 18° - W	不整楕円形	1.75 × 1.40	30	外傾	皿状	人為	土師器 土製支脚	10世紀中葉	TM 4、SK588 → 本跡	
430	B 4 h3	N - 32° - W	[楕円形]	1.30 × (0.90)	37	外傾	皿状	人為	土師器	10世紀後葉		
433	C 4 a4	N - 18° - W	楕円形	0.94 × 0.70	48	外傾	有段	人為	土師器	11世紀前葉	TM 2 → 本跡	
440	C 4 j3	N - 28° - W	隅丸長方形	2.18 × 1.86	28	外傾	ほぼ 平坦	人為	土師器	10世紀後葉	SI114 → 本跡	
506	C 4 b1	N - 24° - W	楕円形	1.58 × 1.10	15	外傾	平坦	人為	土師器	10世紀中葉	SI120 → 本跡	
511	C 4 g2	-	円形	1.36 × 1.30	18	外傾	ほぼ 平坦	人為	土師器	10世紀後葉	本跡 → SI121	
533	D 3 a9	N - 62° - E	[不整楕円形]	(0.54) × 0.54	12	外傾	平坦	不明	土師器	10世紀後葉	本跡 → SK532	
551	C 4 g1	-	円形	1.08 × 1.00	25	外傾	皿状	自然	土師器	10世紀後葉	SI133 → 本跡	
556	C 4 f2	N - 52° - E	[楕円形]	0.75 × (0.54)	36	外傾	平坦	人為	土師器	10世紀後葉	本跡 → SI116	
668	E 4 a8	N - 62° - E	[楕円形]	0.87 × (0.61)	55	外傾	皿状	人為	土師器	9世紀前半	本跡 → SI138A・B	
867	E 4 d3	-	円形	0.60 × 0.57	40	ほぼ 直立	平坦	人為	土師器 須恵器 緑釉陶器	10世紀前葉		
882	E 4 a4	N - 64° - E	楕円形	1.02 × 0.89	12	外傾	平坦	人為	土師器	10世紀代	SI159、SK793 → 本跡	
888	F 4 c8	N - 21° - W	楕円形	1.18 × 1.05	21	外傾	凹凸	人為	土師器	10世紀後葉	SI94 → 本跡 → SK402	
898	E 4 b4	N - 13° - E	楕円形	1.06 × 0.90	12	外傾	緩斜	人為	土師器	10世紀後葉	SI159 → 本跡	
903	E 4 d3	N - 47° - E	長方形	2.55 × 2.15	50	外傾	やや 凹凸	人為	土師器 須恵器	9世紀中葉	SI87・149、SK904 → 本跡 → SK870	
905	E 4 d3	N - 67° - E	[楕円形]	(1.65) × 1.75	12	外傾	凹凸	人為	土師器 凝灰質泥岩	10世紀中葉	SK765・766 → 本跡 → SK887	
996	D 4 e9	N - 79° - E	[楕円形]	1.70 × (1.33)	16	外傾	凹凸	人為	土師器 刀子	10世紀中葉	SI170 → 本跡	
1010	D 4 h1	N - 72° - E	楕円形	0.78 × 0.63	21	外傾	皿状	人為	土師器 緑釉陶器	10世紀中葉	SB12 → 本跡	
1039	D 4 f4	-	円形	2.50 × 2.42	40	外傾	ほぼ 平坦	人為	土師器	10世紀中葉	本跡 → SK1053	
1053	D 4 f4	N - 24° - W	楕円形	1.20 × 1.02	32	外傾	凹凸	人為	土師器	10世紀後葉	SK1039 → 本跡	
1056	D 4 h4	N - 15° - W	[楕円形]	(1.30) × 1.16	26	外傾	皿状	人為	土師器	10世紀中葉		
1058	D 4 i6	N - 17° - W	[楕円形]	(0.43) × 0.40	12	外傾	皿状	人為	土師器	10世紀後葉	SI173、SB11 → 本跡	
1066	D 4 h6	N - 34° - W	[楕円形]	(4.75) × 3.44	30	外傾	凹凸	人為	土師器 須恵器	10世紀前葉	本跡 → SK1062	

7 江戸時代の遺構と遺物

土坑2基を確認した。以下、遺構及び遺物について記述する。

土 坑

第840土坑（第386図 PL53・96）

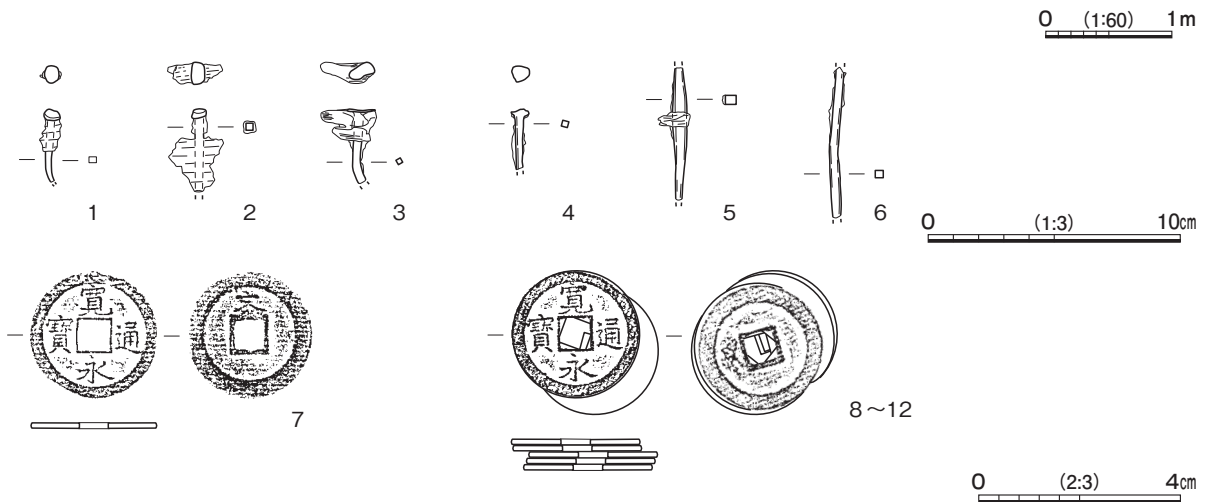
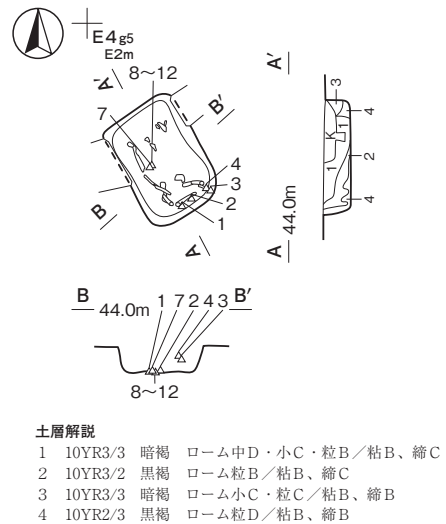
位置 E区中央部のE4g5区、標高44mほどの平坦な台地上に位置している。

規模と形状 長軸0.93m、短軸0.65mの長方形で、長軸方向はN-30°-Wである。深さは20cmである。底面は平坦で、壁は直立している。

覆土 4層に分層できる。第1・2層は棺内への自然流入土、第3・4層は棺の裏込め土である。

遺物出土状況 金属製品12点（釘6、寛永通寶6）、人骨1体が出土している。1・2は南壁際の底面から、3・4は南東壁際の覆土中層から、5・6は覆土中から、7～12は中央部の底面から、5枚が錆びて付着した状態で出土している。人骨は北部から上腕骨、南部から左右の腸骨と大腿骨、脛骨が出土しており、頭蓋骨は確認できなかった。

所見 時期は、出土遺物から江戸時代である。性格は木棺墓で、葬位は仰臥屈葬と推定できる。



第386図 第840号土坑・出土遺物実測図

第222表 第840号土坑出土遺物一覧（第386図）

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
1	釘	(2.9)	0.5	0.7	(0.79)	鉄	頭部残存 脚部欠損 断面方形	底面	
2	釘	(3.3)	0.5	0.9	(2.22)	鉄	頭部残存 脚部欠損 断面方形	底面	
3	釘	(3.0)	1.1	0.3	(1.69)	鉄	頭部残存 脚部欠損 断面方形	覆土中層	
4	釘	(2.4)	0.7	0.3	(0.61)	鉄	頭部残存 脚部欠損 断面方形	覆土中層	
5	釘	(5.2)	0.5	0.3	(2.48)	鉄	頭部・脚部欠損 断面長方形	覆土	
6	釘	(6.0)	0.4	0.3	(1.72)	鉄	頭部・脚部欠損 断面長方形	覆土	

番号	銭種	径	孔幅	厚さ	重量	材質	初鑄年	特徴	出土位置	備考
7	寛永通宝	2.6	0.6	0.1	2.84	銅	1668	正字 背文入り「文」	底面	PL96
8~12	寛永通宝	2.5	0.6	0.6	18.61	銅	1668	錆のため5枚附着 正字 背文入り「文」	底面	PL96

第 859 号土坑 (第 387 図 PL53・96)

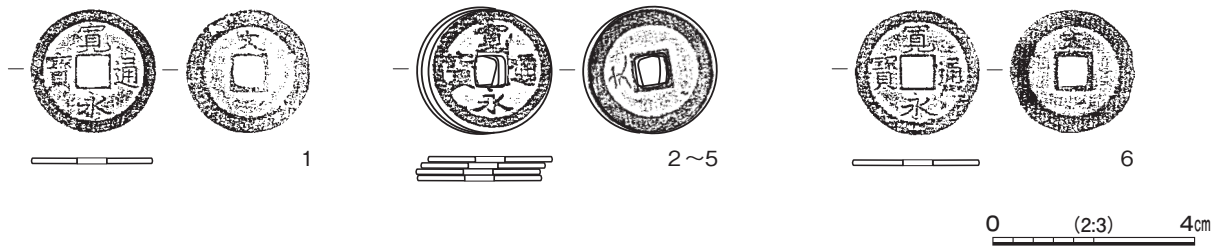
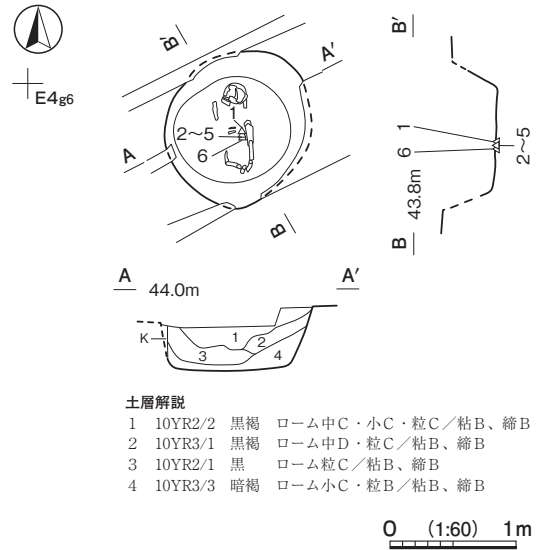
位置 E 区中央部の E 4 g6 区、標高 44 m ほどの平坦な台地上に位置している。

規模と形状 長径 1.22 m、短径 1.00 m の楕円形で、長径方向は N - 55° - E である。深さは 40cm である。底面は平坦で、壁は外傾している。

覆土 4 層に分層できる。各層にロームのブロックや粒子を含んでいることから、人為堆積である。

遺物出土状況 金属製品 6 点 (寛永通宝)、人骨 1 体が出土している。1~6 は、中央部の底面から、6 枚が錆びて附着した状態で出土している。人骨は、北部から頭蓋骨、中央部から下肢骨の一部が出土している。

所見 時期は、出土遺物から江戸時代である。性格は土坑墓で、葬位は側臥屈葬と推定できる。



第 387 図 第 859 号土坑・出土遺物実測図

第 223 表 第 859 号土坑出土遺物一覧 (第 387 図)

番号	銭種	径	孔幅	厚さ	重量	材質	初鑄年	特徴	出土位置	備考
1	寛永通宝	2.5	0.6	0.1	2.96	銅	1668	正字 背文入り「文」	底面	PL96
2~5	寛永通宝	2.7	0.6	0.5	14.32	銅	1668	錆のため4枚附着 正字 背文入り「文」	底面	PL96
6	寛永通宝	2.6	0.6	0.1	3.19	銅	1668	正字 背文入り「文」	底面	PL96

第 224 表 江戸時代土坑一覧

番号	位置	長径(軸)方向	平面形	規模		壁面	底面	覆土	主な出土遺物	時期	備考
				長径(軸) × 短径(軸) (m)	深さ (cm)						
840	E 4 g5	N - 30° - W	長方形	0.93 × 0.65	20	直立	平坦	人為	釘 寛永通寶 人骨	江戸	
859	E 4 g6	N - 55° - E	楕円形	1.22 × 1.00	40	外傾	平坦	人為	寛永通寶 人骨	江戸	

8 時期不明の遺構と遺物

時期不明の竪穴建物跡1棟、溝跡6条、土坑744基、ピット群6か所を確認した。以下、竪穴建物跡は記述と実測図、その他の遺構は実測図と一覧表、計測表を記載する。

(1) 竪穴建物跡

第181号竪穴建物跡 (第388図 PL 9)

位置 E区中央部のD4g7区、標高44mほどの平坦な台地上に位置している。

重複関係 第173号竪穴建物、第16号掘立柱建物、第1113・1116号土坑に掘り込まれている。

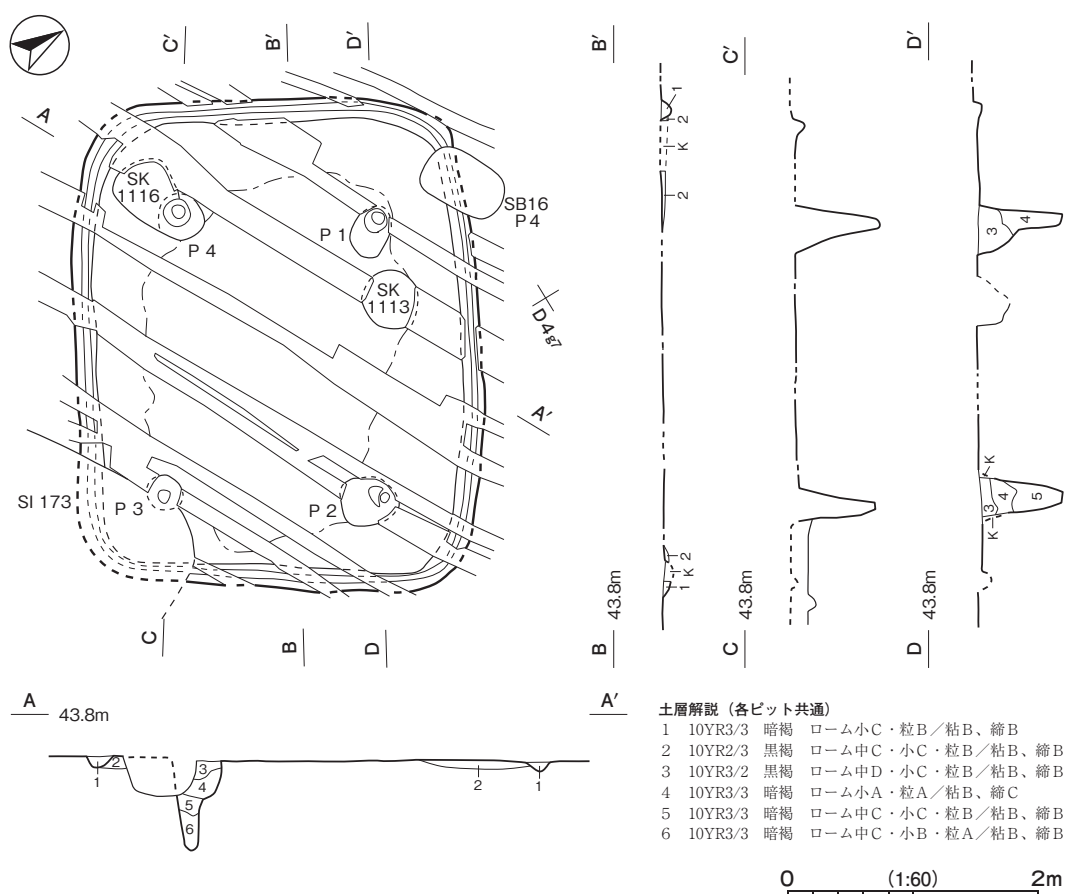
規模と形状 削平のため、床面が露出した状態で確認した。長軸3.90m、短軸3.20mの隅丸長方形で、主軸方向はN-61°-Wである。壁は高さ3~5cmで、外傾している。

床 平坦である。壁際は緩やかに低くなっている。支柱穴で囲まれた中央部を中心に硬化している。貼床は、壁際を溝状に掘り込み、ロームブロックを含む第2層を7cmほど埋土して構築している。壁溝は全周している。

ピット 4か所。P1~P4は深さ64~67cmで、配置から支柱穴と考えられる。いずれも柱抜き取り後の流入土である。

覆土 削平のため確認できなかった。第1層は壁溝の覆土である。

所見 出土遺物がないため、時期は限定できない。5世紀前葉の第173号竪穴建物に掘り込まれていることや平面形などから、弥生時代後期から古墳時代前期と考えられる。

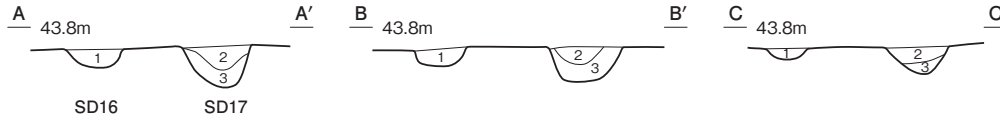


第388図 第181号竪穴建物跡実測図

(2) 溝 跡 (第 389・390 図 PL53)

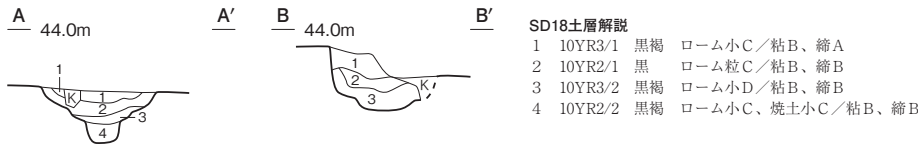
断面図と一覧表を記載し、平面図は遺構全体図(付図)に示した。

SD16・17



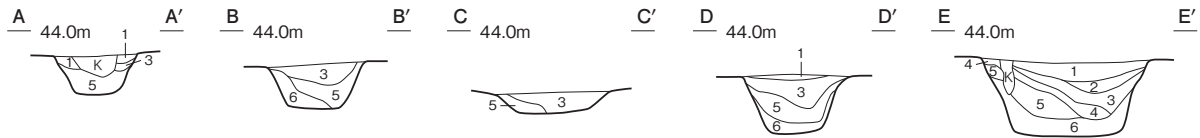
- SD16・17土層解説**
 1 10YR3/2 黒褐 ローム小D・粒D、炭化物D/粘B、締B
 2 10YR4/1 褐灰 ローム粒D/粘B、締A
 3 10YR3/3 暗褐 ローム小C/粘B、締B

SD18



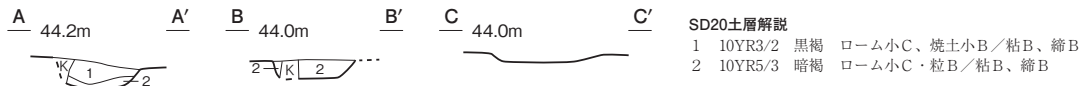
- SD18土層解説**
 1 10YR3/1 黒褐 ローム小C/粘B、締A
 2 10YR2/1 黒 ローム粒C/粘B、締B
 3 10YR3/2 黒褐 ローム小D/粘B、締B
 4 10YR2/2 黒褐 ローム小C、焼土小C/粘B、締B

SD19



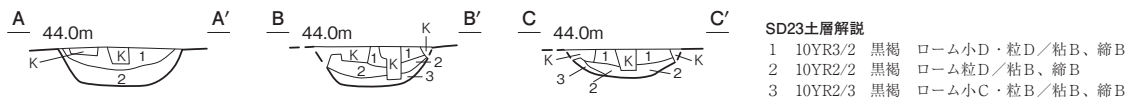
- SD19土層解説**
 1 10YR2/1 黒 ローム小D・粒B/粘B、締B
 2 10YR2/1 黒 ローム粒C/粘B、締A
 3 10YR3/2 黒褐 ローム小C・粒B/粘B、締A
 4 10YR3/3 暗褐 ローム小D・粒B/粘B、締B
 5 10YR4/3 におい黄褐 ローム中D・小B・粒A/粘B、締B
 6 10YR5/6 黄褐 ローム小C・粒A/粘B、締A

SD20

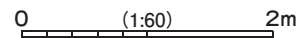


- SD20土層解説**
 1 10YR3/2 黒褐 ローム小C、焼土小B/粘B、締B
 2 10YR5/3 暗褐 ローム小C・粒B/粘B、締B

SD23



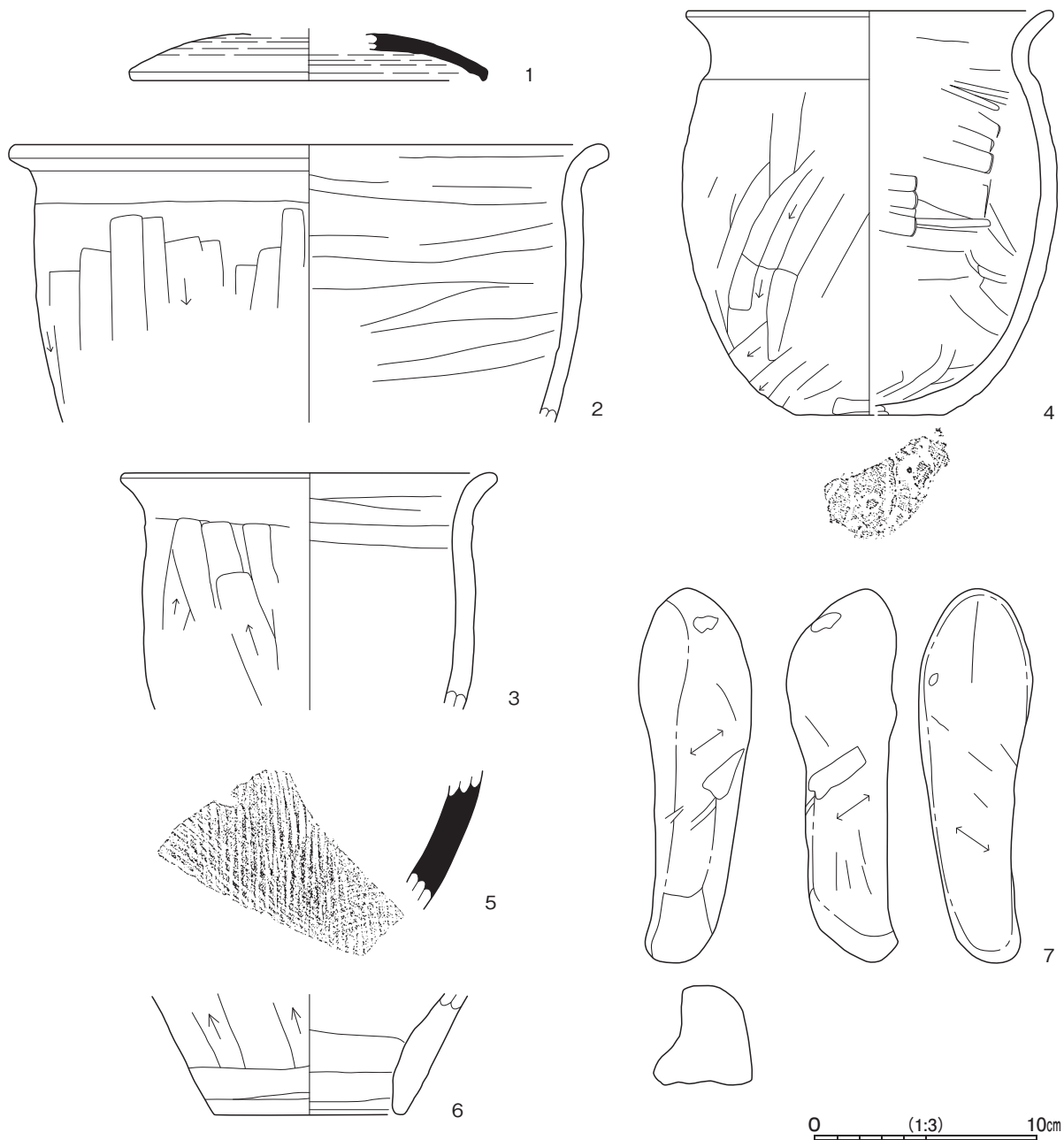
- SD23土層解説**
 1 10YR3/2 黒褐 ローム小D・粒D/粘B、締B
 2 10YR2/2 黒褐 ローム粒D/粘B、締B
 3 10YR2/3 黒褐 ローム小C・粒B/粘B、締B



第 389 図 第 16・17・18・19・20・23 号溝跡実測図

第 225 表 時期不明溝跡一覧

番号	位置	方向	平面形	規 模				断 面	壁 面	覆 土	主 な 出 土 遺 物	備 考
				長さ(m)	上幅(cm)	下幅(cm)	深さ(cm)					
16	H 4b5 ~ H 4d7	N - 130° - E	直線状	(13.90)	20 ~ 49	4 ~ 27	18 ~ 30	U 字状	外傾	人為	土師器 須恵器	SI33・52・60 → 本跡 → SK185
17	H 4a4 ~ H 4d8	N - 132° - E	直線状	(21.10)	38 ~ 62	13 ~ 50	42 ~ 63	V 字状	外傾 緩斜	人為	土師器 須恵器	SI52・60、SK251 → 本跡
18	G 4j2	N - 142° - W	直線状	(2.24)	86 ~ 94	28 ~ 34	30 ~ 50	逆台形	外傾 緩斜	人為	土師器 須恵器	
19	F 4j2 ~ G 4j2	N - 39° - W ~ N - 59° - E	L 字状	(58.50)	50 ~ 97	18 ~ 48	18 ~ 60	逆台形	外傾	自然	土師器 須恵器 砥石	
20	F 4a5 ~ F 4d1	N - 115° - W	直線状	(1.70)	45 ~ 58	10 ~ 43	10 ~ 40	U 字状	緩斜	人為	土師器 須恵器	
23	E 5h2 ~ F 4a6	N - 116° - W	直線状	(26.00)	108 ~ 88	58 ~ 28	23 ~ 30	U 字状	外傾	自然		SI139・156、SB 9 → 本跡



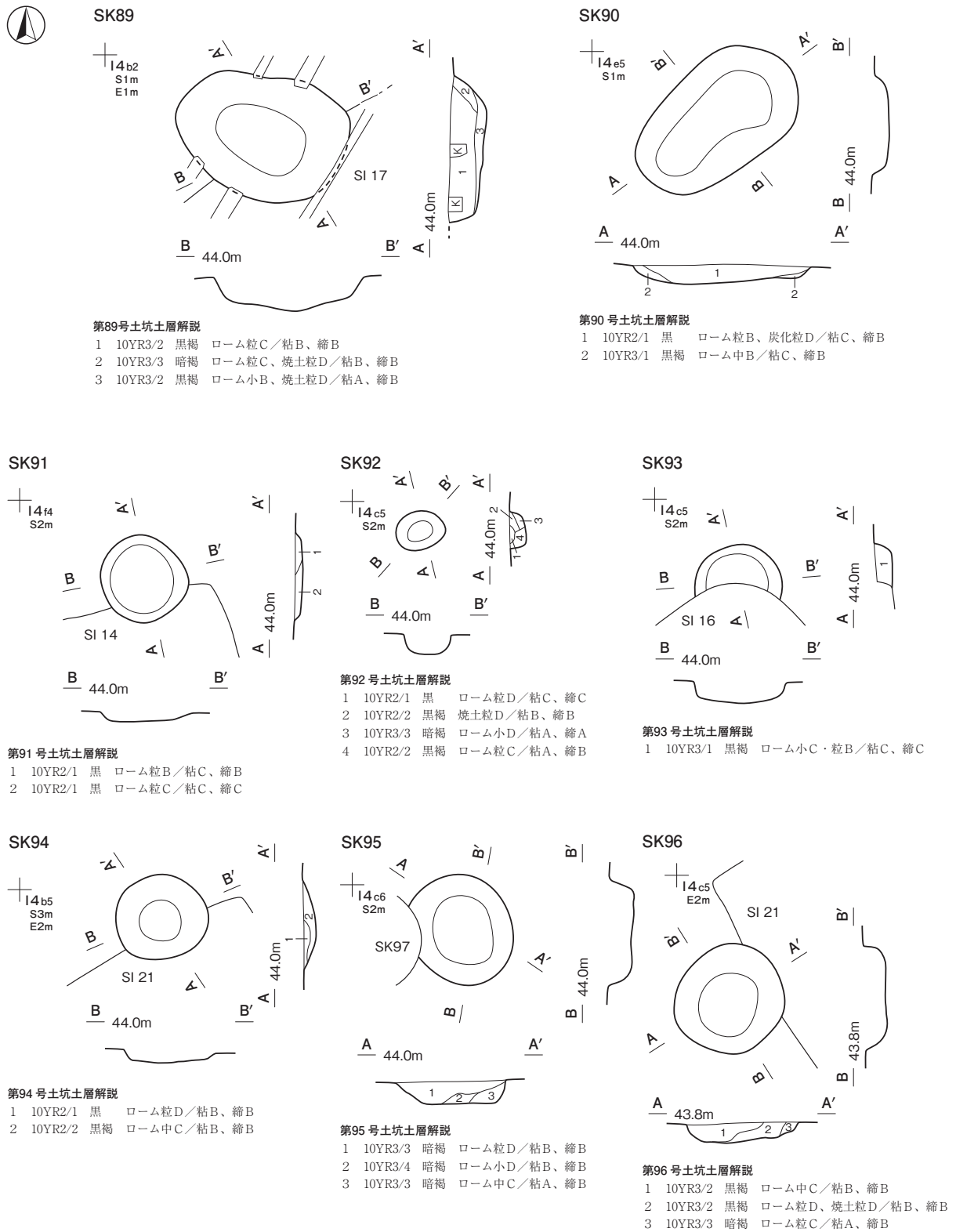
第 390 図 第 19 号溝跡出土遺物実測図

第 226 表 第 19 号溝跡出土遺物一覧 (第 390 図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
1	須恵器	蓋	-	(2.1)	[15.8]	石英・黒色粒子・白色粒子	灰	普通	天井部 回転ヘラ削り	覆土中	30%
2	土師器	甕	[26.2]	(12.5)	-	長石・石英・赤色粒子	にぶい橙	普通	口縁部内外面横ナデ 体部外面ヘラ削り 内面ヘラナデ	覆土上層	10%
3	土師器	甕	[16.6]	(10.7)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子・細礫	橙	普通	口縁部内外面横ナデ 体部外面ヘラ削り 内面ヘラナデ	覆土上層	10%
4	土師器	甕	[16.2]	18.2	[6.8]	長石・石英・赤色粒子・細礫	にぶい黄褐	普通	口縁部内外面横ナデ 体部外面ヘラ削り 内面ヘラナデ 底部木葉痕	覆土上層	20%
5	須恵器	甕	-	(6.3)	-	長石・石英	灰白	普通	体部外面擬格子叩き	覆土中層	5%
6	土師器	甕	-	5.4	[8.6]	長石・石英・雲母・赤色粒子・黒色粒子	にぶい橙	普通	体部外面下半縦位のヘラ削り 内面ヘラナデ	覆土上層	30%
番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴		出土位置	備考	
7	砥石	16.9	5.0	4.3	452.15	硬砂岩	砥面3面	筋状の研磨痕	掘方埋土		

(3) 土 坑 (第 389 ~ 449 図)

実測図と一覧表で記載する。

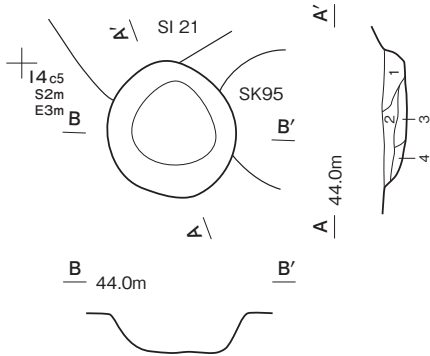


0 (1:60) 2m

第 391 図 時期不明の土坑実測図 (1)



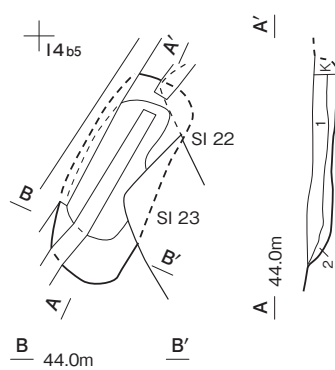
SK97



第97号土坑土層解説

- 1 10YR4/3 におい黄褐 ローム中B/粘A、縮B
- 2 10YR3/2 黒褐 ローム粒D/粘B、縮B
- 3 10YR3/2 黒褐 ローム小B/粘A、縮B
- 4 10YR3/3 暗褐 ローム粒C/粘B、縮B

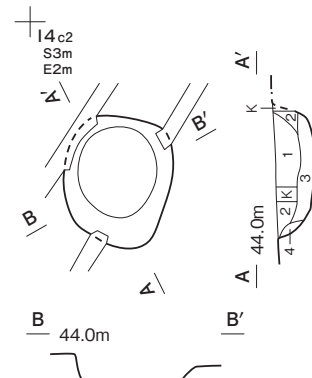
SK98



第98号土坑土層解説

- 1 10YR3/2 黒褐 ローム小C、焼土粒D/粘B、縮B
- 2 10YR2/1 黒 ローム粒D/粘B、縮B

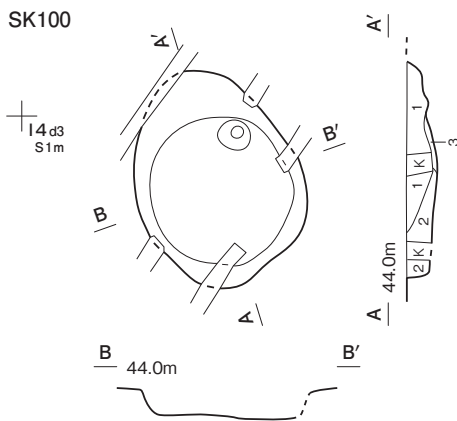
SK99



第99号土坑土層解説

- 1 10YR2/1 黒 ローム粒B、焼土粒D/粘A、縮B
- 2 10YR3/1 黒褐 ローム小D・粒B、焼土粒D/粘B、縮B
- 3 10YR2/2 黒褐 ローム小B・粒B/粘B、縮B
- 4 10YR4/4 褐 ローム大B/粘A、縮A

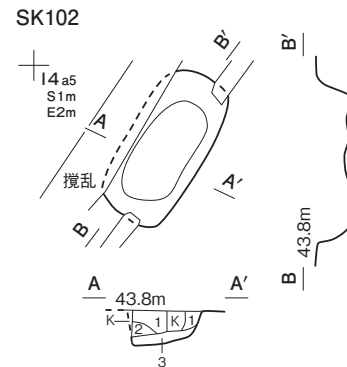
SK100



第100号土坑土層解説

- 1 10YR2/1 黒 ローム粒D/粘C、縮C
- 2 10YR2/1 黒 ローム小D・粒C/粘C、縮B
- 3 10YR2/2 黒褐 ローム中D・粒C、焼土粒D/粘C、縮C

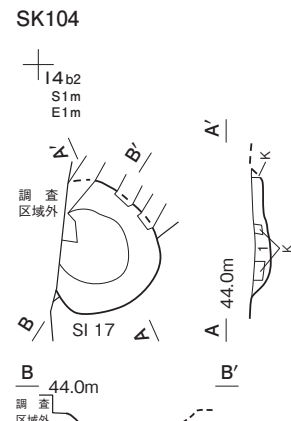
SK102



第102号土坑土層解説

- 1 10YR3/3 暗褐 ローム中B/粘B、縮B
- 2 10YR3/2 黒褐 ローム粒D/粘B、縮B
- 3 10YR3/2 黒褐 ローム小C/粘B、縮B

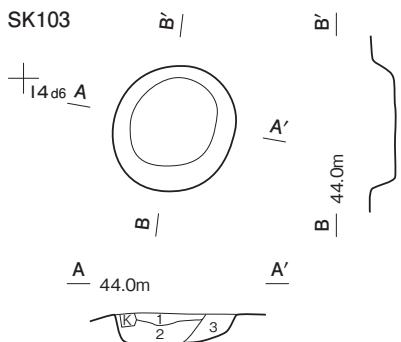
SK104



第104号土坑土層解説

- 1 10YR2/2 黒褐 ローム粒D/粘B、縮B

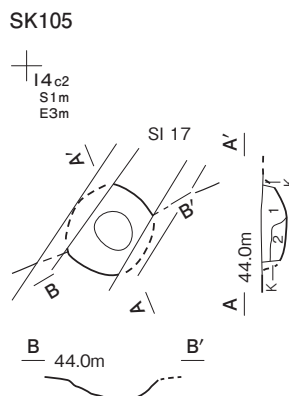
SK103



第103号土坑土層解説

- 1 10YR2/1 黒 ローム粒B/粘B、縮B
- 2 10YR3/2 黒褐 ローム粒D/粘B、縮B
- 3 10YR3/2 黒褐 ローム小C/粘B、縮B

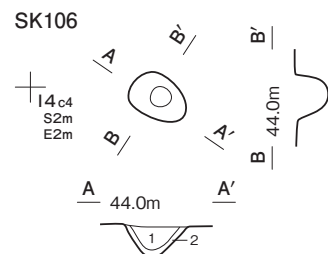
SK105



第105号土坑土層解説

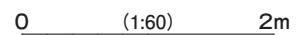
- 1 10YR3/1 黒褐 ローム粒D/粘B、縮B
- 2 10YR4/3 におい黄褐 ローム小C/粘B、縮B

SK106



第106号土坑土層解説

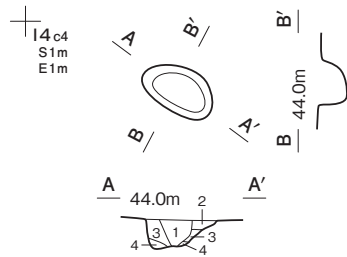
- 1 10YR2/2 黒褐 ローム粒D/粘C、縮C
- 2 10YR3/3 暗褐 ローム大B/粘C、縮C



第392図 時期不明の土坑実測図(2)



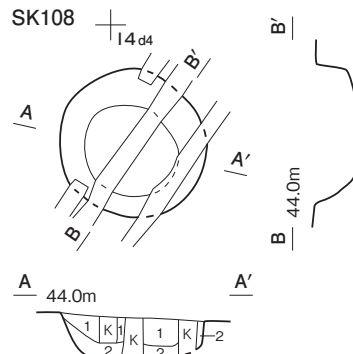
SK107



第107号土坑土層解説

- 1 10YR2/2 黒褐 ローム粒C/粘C、締C
- 2 10YR3/1 黒褐 ローム粒D/粘C、締B
- 3 10YR3/4 暗褐 ローム中B/粘C、締C
- 4 10YR4/6 褐 ローム大C/粘B、締C

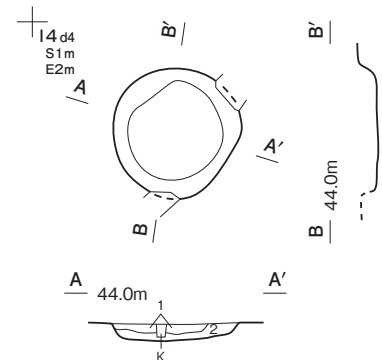
SK108



第108号土坑土層解説

- 1 10YR3/1 黒褐 ローム小B/粘C、締B
- 2 10YR2/2 黒褐 ローム小B/粘C、締B

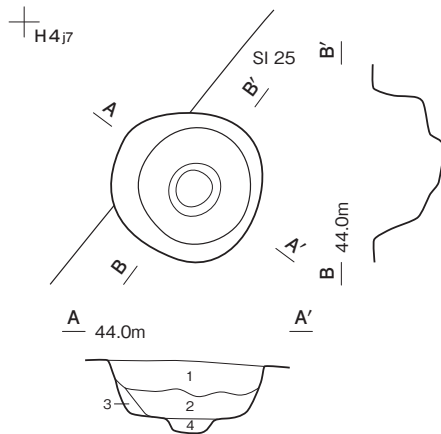
SK109



第109号土坑土層解説

- 1 10YR2/1 黒 ローム粒D/粘B、締B
- 2 10YR2/2 黒褐 ローム中C/粘B、締C

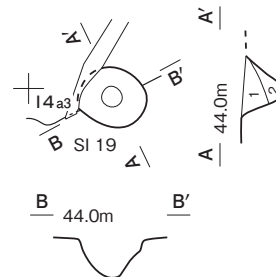
SK110



第110号土坑土層解説

- 1 10YR3/2 黒褐 ローム小C/粘B、締B
- 2 10YR3/2 黒褐 ローム小D/粘B、締A
- 3 10YR3/3 暗褐 ローム小B/粘B、締B
- 4 10YR3/3 暗褐 ローム粒C、炭化粒C/粘A、締B

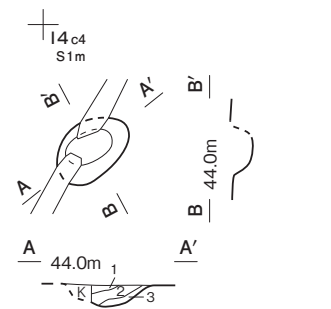
SK111



第111号土坑土層解説

- 1 10YR3/2 黒褐 ローム粒D/粘B、締B
- 2 10YR4/3 にい噴 口 ローム中B/粘B、締A

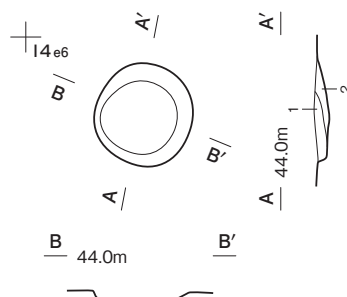
SK112



第112号土坑土層解説

- 1 10YR2/1 黒 ローム粒D/粘C、締B
- 2 10YR2/2 黒褐 ローム粒B/粘C、締C
- 3 10YR3/1 黒褐 ローム中B/粘B、締B

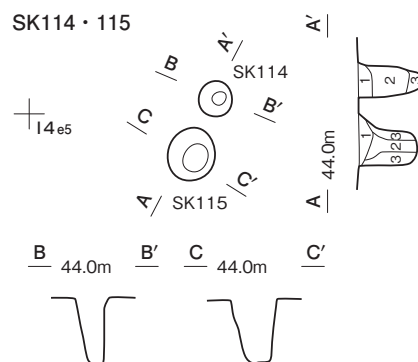
SK113



第113号土坑土層解説

- 1 10YR2/1 黒 ローム粒D/粘C、締C
- 2 10YR3/1 黒褐 ローム小D/粘C、締C

SK114・115



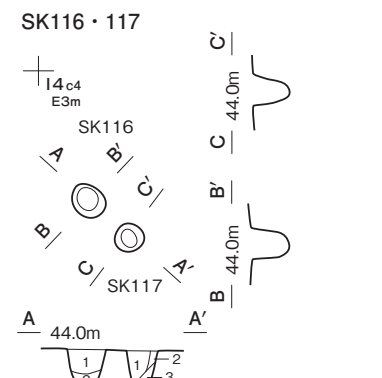
第114号土坑土層解説

- 1 10YR2/1 黒 ローム粒B/粘C、締C
- 2 10YR2/1 黒 ローム中B/粘C、締C
- 3 10YR4/4 褐 ローム大B/粘B、締C

第115号土坑土層解説

- 1 10YR2/2 黒褐 ローム粒C/粘C、締B
- 2 10YR3/1 黒褐 ローム小C/粘C、締B
- 3 10YR3/1 黒褐 ローム大D、中B/粘B、締B

SK116・117

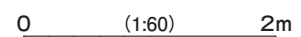


第116号土坑土層解説

- 1 10YR3/1 黒褐 ローム粒B/粘C、締C
- 2 10YR3/4 暗褐 ローム小B/粘C、締C

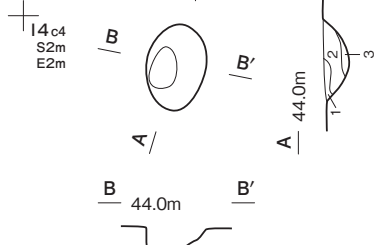
第117号土坑土層解説

- 1 10YR3/1 黒褐 ローム中D、粒C/粘C、締C
- 2 10YR2/2 黒褐 ローム粒B/粘C、締C
- 3 10YR3/1 黒褐 ローム小B/粘C、締C





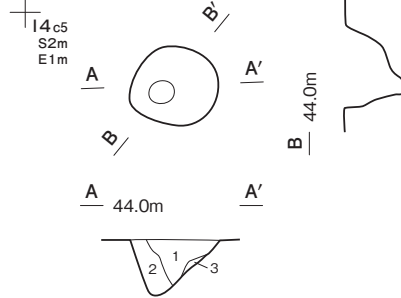
SK118



第118号土坑土層解説

- 1 10YR2/1 黒 ローム粒D/粘C、締A
- 2 10YR2/2 黒褐 ローム大D、小B/粘C、締C
- 3 10YR4/6 褐 ローム中B/粘B、締B

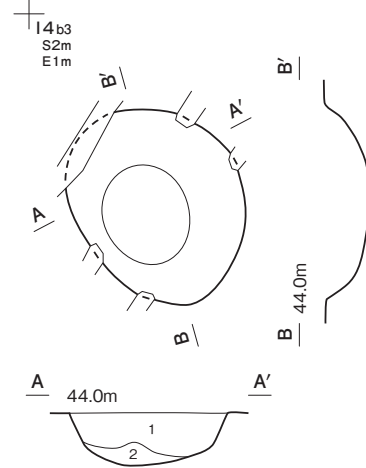
SK119



第119号土坑土層解説

- 1 10YR3/1 黒褐 ローム粒D/粘A、締A
- 2 10YR3/2 黒褐 ローム大C/粘A、締A
- 3 10YR2/2 黒褐 ローム大B/粘A、締A

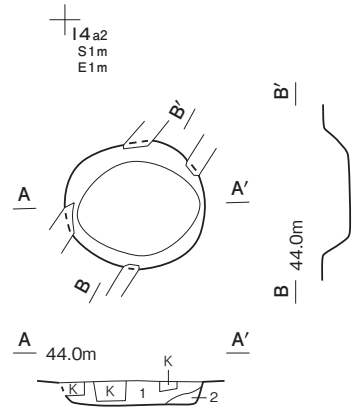
SK120



第120号土坑土層解説

- 1 10YR2/1 黒 ローム粒D、炭化粒D/粘C、締A
- 2 10YR2/2 黒褐 ローム粒D/粘B、締A

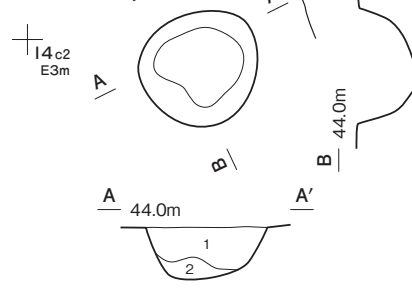
SK121



第121号土坑土層解説

- 1 10YR4/3 にぶい黄褐 ローム小B、焼土粒D /粘A、締A
- 2 10YR4/4 褐 ローム中B/粘B、締A

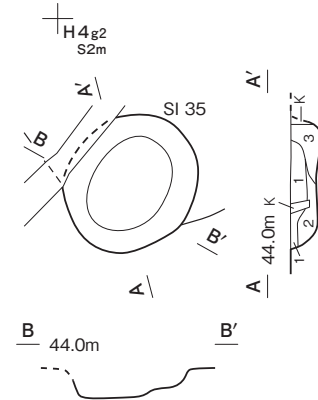
SK122



第122号土坑土層解説

- 1 10YR3/2 黒褐 ローム粒C、焼土粒D/粘B、締B
- 2 10YR3/3 暗褐 ローム粒D/粘B、締B

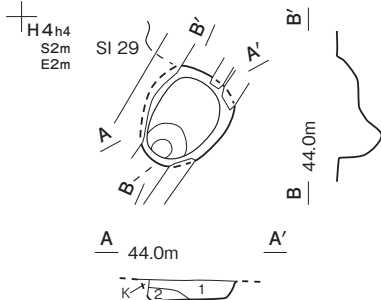
SK123



第123号土層解説

- 1 10YR3/3 暗褐 ローム粒D/粘B、締B
- 2 10YR4/3 にぶい黄褐 ローム中B/粘A、締B
- 3 10YR4/4 褐 ローム小B/粘A、締B

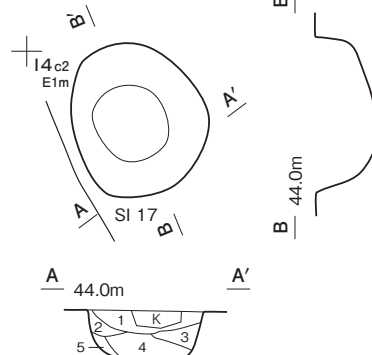
SK124



第124号土坑土層解説

- 1 10YR3/2 黒褐 ローム粒D/粘B、締B
- 2 10YR3/3 暗褐 ローム小D/粘B、締B

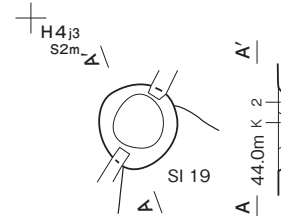
SK125



第125号土坑土層解説

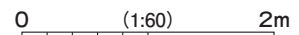
- 1 10YR3/2 黒褐 ローム粒D、焼土粒D/粘B、締B
- 2 10YR3/3 暗褐 ローム粒D、焼土粒D/粘B、締B
- 3 10YR3/3 暗褐 ローム小C/粘B、締B
- 4 10YR3/3 暗褐 ローム粒C、焼土粒C、炭化粒D/粘B、締B
- 5 10YR3/4 暗褐 ローム中B/粘A、締B

SK127



第127号土坑土層解説

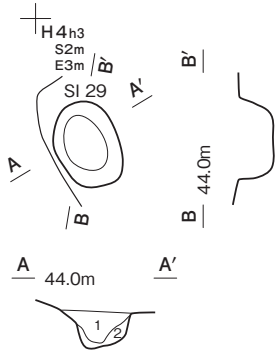
- 1 10YR4/3 にぶい黄褐 ローム小B/粘A、締B
- 2 10YR3/4 暗褐 ローム粒C/粘B、締B



第394図 時期不明の土坑実測図 (4)



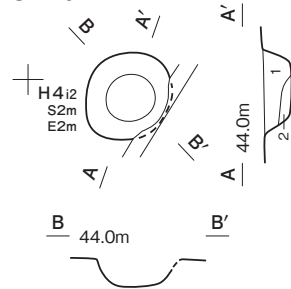
SK128



第128号土坑土層解説

- 1 10YR3/3 黒褐 ローム粒D/粘B、締B
- 2 10YR4/3 に近い黄褐 ローム中B/粘A、締B

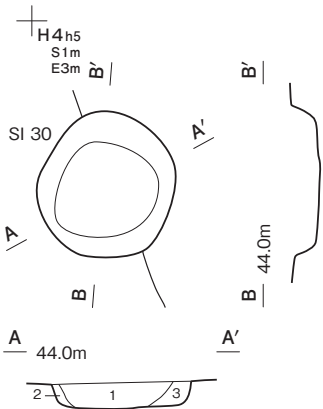
SK129



第129号土坑土層解説

- 1 10YR3/3 暗褐 ローム小B/粘B、締A
- 2 10YR4/3 に近い黄褐 ローム中C/粘A、締B

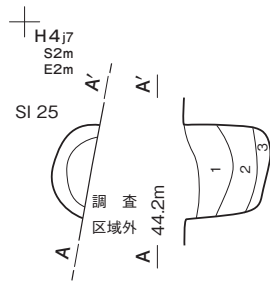
SK130



第130号土坑土層解説

- 1 10YR3/2 黒褐 ローム粒C、焼土小C、炭化粒D/粘B、締B
- 2 10YR2/1 黒 ローム中B/粘B、締B
- 3 10YR4/3 に近い黄褐 ローム中B/粘A、締B

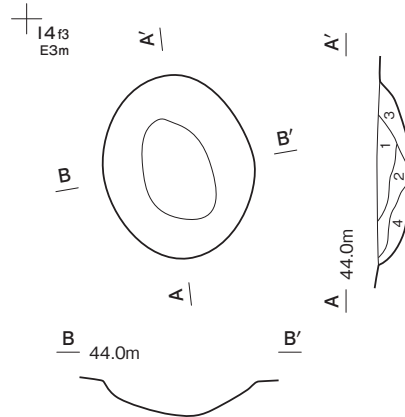
SK131



第131号土坑土層解説

- 1 10YR3/2 黒褐 ローム粒C、焼土小C、炭化粒D/粘B、締B
- 2 10YR2/1 黒 ローム中B/粘B、締B
- 3 10YR4/3 に近い黄褐 ローム中B/粘A、締B

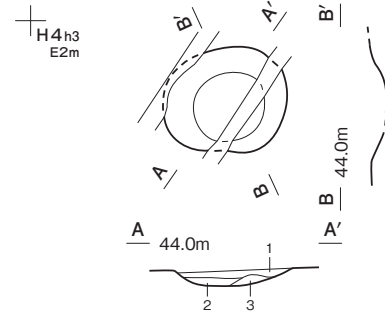
SK133



第133号土坑土層解説

- 1 10YR2/1 黒 ローム粒D/粘C、締A
- 2 10YR2/3 黒褐 ローム小C/粘C、締A
- 3 10YR3/3 暗褐 ローム小C/粘C、締B
- 4 10YR3/4 暗褐 ローム小B/粘B、締B

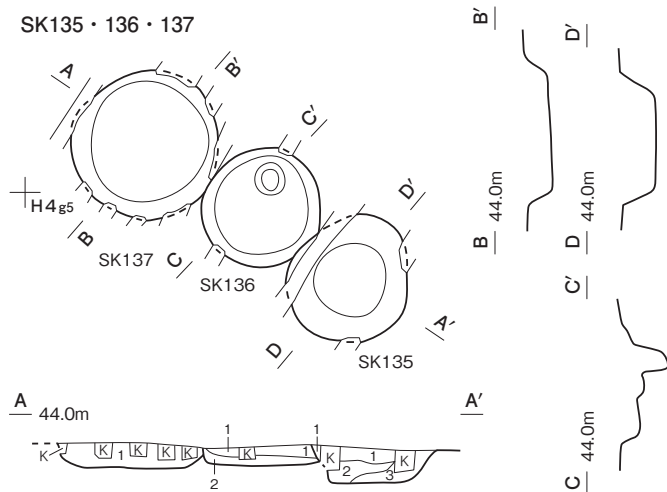
SK134



第134号土坑土層解説

- 1 10YR2/1 黒 ローム粒D/粘C、締C
- 2 10YR3/1 黒褐 ローム小C/粘B、締A
- 3 10YR4/3 に近い黄褐 ローム中D/粘B、締A

SK135・136・137



第135号土坑土層解説

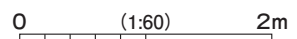
- 1 10YR3/3 暗黒 ローム粒D、焼土粒D/粘B、締B
- 2 10YR4/3 に近い黄褐 ローム中B/粘B、締B
- 3 10YR3/3 暗褐 ローム大C/粘B、締B

第136号土坑土層解説

- 1 10YR3/2 黒褐 ローム粒D/粘B、締B
- 2 10YR4/4 褐 ローム中B/粘A、締A

第137号土坑土層解説

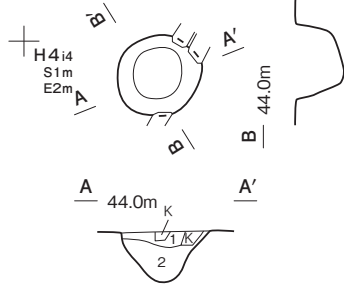
- 1 10YR3/2 黒褐 ローム小C/粘B、締B



第 395 図 時期不明の土坑実測図 (5)



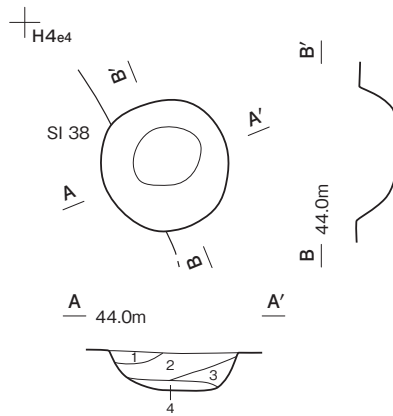
SK138



第138号土坑土層解説

- 1 10YR2/1 黒 ローム粒D/粘C、締C
- 2 10YR3/1 黒褐 ローム粒C/粘C、締C

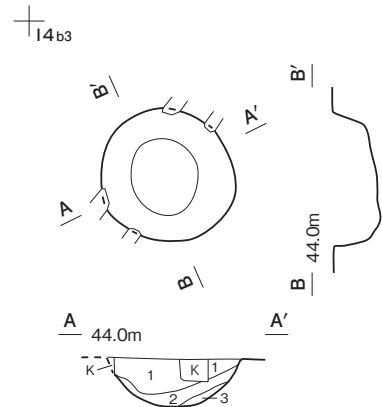
SK139



第139号土坑土層解説

- 1 10YR2/2 黒褐 ローム小B/粘C、締C
- 2 10YR3/2 黒褐 ローム小C・粒B/粘C、締C
- 3 10YR3/1 黒褐 ローム粒C/粘C、締C
- 4 10YR4/4 褐 ローム中A、炭化粒C/粘A、締A

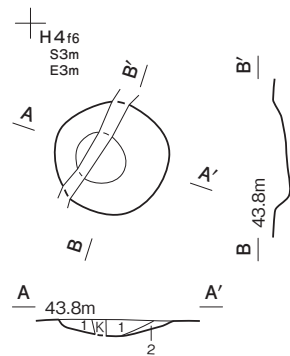
SK140



第140号土坑土層解説

- 1 10YR3/4 暗褐 ローム粒C、焼土粒A/粘C、締A
- 2 10YR3/4 暗褐 ローム粒C/粘B、締A
- 3 10YR4/4 褐 ローム小B/粘B、締A

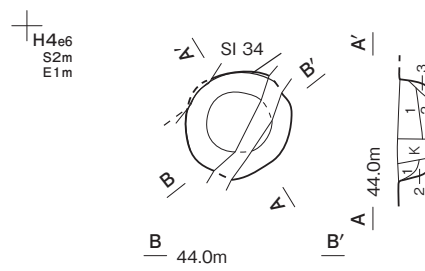
SK141



第141号土坑土層解説

- 1 10YR2/1 黒 ローム粒D/粘C、締B
- 2 10YR2/1 黒 ローム小D/粘C、締B

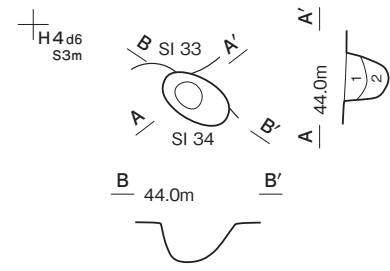
SK142



第142号土坑土層解説

- 1 10YR2/1 黒 ローム小C/粘C、締B
- 2 10YR2/1 黒 ローム小D/粘B、締B
- 3 10YR2/2 黒褐 ローム粒B/粘C、締C

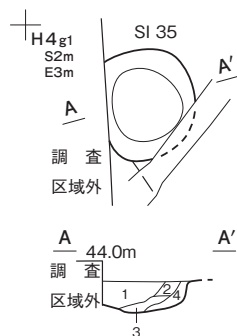
SK143



第143号土坑土層解説

- 1 10YR2/1 黒 ローム小D、粒D/粘C、締B
- 2 10YR2/1 黒 ローム粒D/粘C、締C

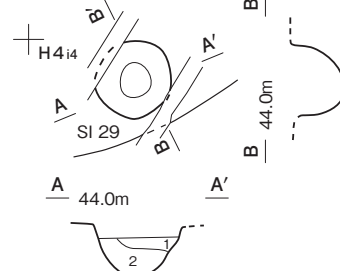
SK144



第144号土坑土層解説

- 1 10YR3/4 暗褐 ローム粒C、焼土粒D/粘B、締B
- 2 10YR3/4 暗褐 ローム粒D/粘B、締B
- 3 10YR4/3 にぶい黄褐 ローム小B/粘B、締A
- 4 10YR4/3 にぶい黄褐 ローム中B/粘A、締A

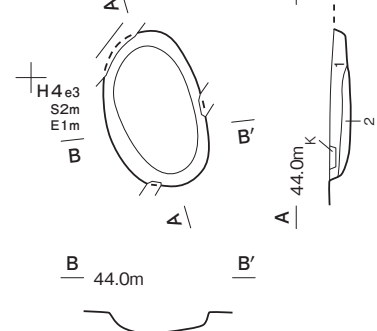
SK145



第145号土坑土層解説

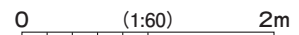
- 1 10YR3/2 黒褐 ローム中D/粘B、締B
- 2 10YR4/3 にぶい黄褐 ローム中B/粘A、締B

SK146



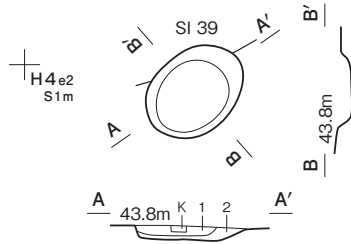
第146号土坑土層解説

- 1 10YR3/3 暗褐 ローム粒D/粘C、締C
- 2 10YR3/3 暗褐 ローム粒B/粘C、締C





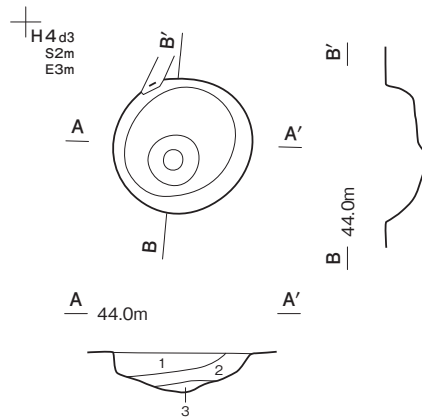
SK147



第147号土坑土層解説

- 1 10YR2/1 黒 ローム小C/粘C、締C
- 2 10YR2/1 黒 ローム粒C/粘C、締C

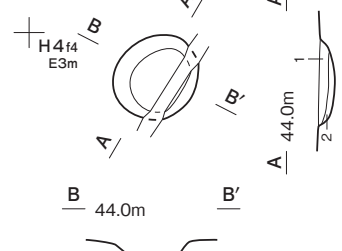
SK148



第148号土坑土層解説

- 1 10YR2/1 黒 ローム小B/粘C、締C
- 2 10YR2/1 黒 ローム小A/粘C、締C
- 3 10YR2/2 黒褐 ローム中B/粘A、締B

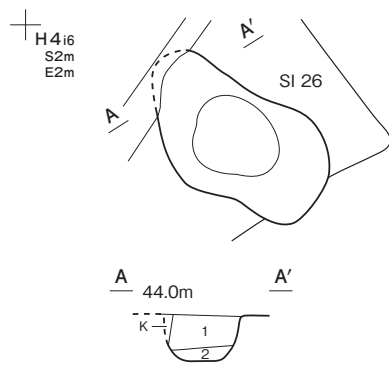
SK149



第149号土坑土層解説

- 1 10YR2/1 黒 ローム粒C/粘C、締C
- 2 10YR3/4 暗褐 ローム小B/粘C、締C

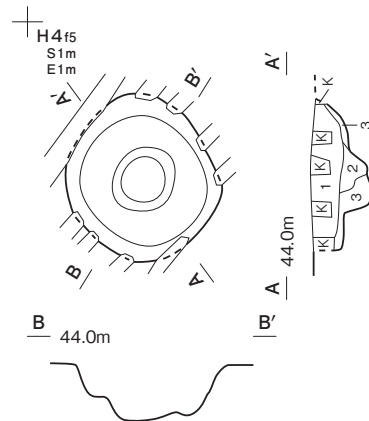
SK151



第151号土坑土層解説

- 1 10YR3/3 暗褐 ローム小C、焼土粒D、炭化粒D/粘B、締B
- 2 10YR3/3 暗褐 ローム中B/粘B、締A

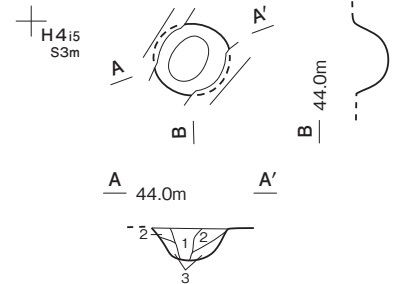
SK152



第152号土坑土層解説

- 1 10YR3/2 黒褐 ローム中D、焼土小D/粘B、締A
- 2 10YR3/3 暗褐 ローム小B、焼土粒D/粘A、締B
- 3 10YR3/4 暗褐 ローム小C、粒D/粘B、締B

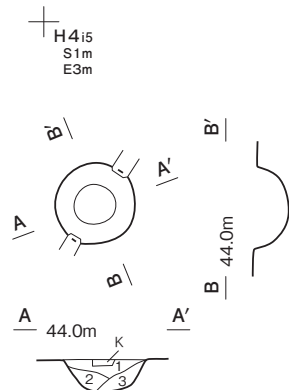
SK153



第153号土坑土層解説

- 1 10YR3/2 黒褐 ローム粒D/粘B、締B
- 2 10YR3/3 暗褐 ローム小C、焼土粒D/粘B、締B
- 3 10YR3/4 暗褐 ローム小C/粘A、締B

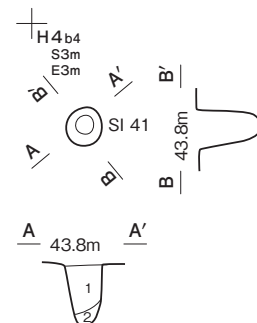
SK154



第154号土坑土層解説

- 1 10YR2/1 黒 ローム粒D/粘B、締B
- 2 10YR3/2 黒褐 ローム中B/粘B、締B
- 3 10YR4/4 褐 ローム中B/粘A、締B

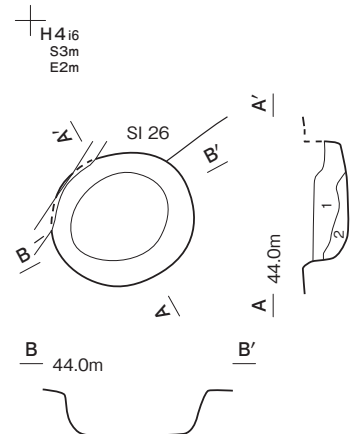
SK155



第155号土坑土層解説

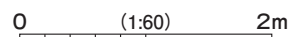
- 1 10YR2/1 黒 ローム粒B/粘C、締C
- 2 10YR2/1 黒 ローム粒C/粘C、締C

SK156



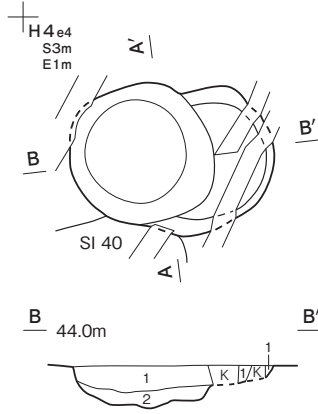
第156号土坑土層解説

- 1 10YR2/1 黒 ローム粒D/粘B、締C
- 2 10YR2/1 黒 ローム小C/粘A、締B





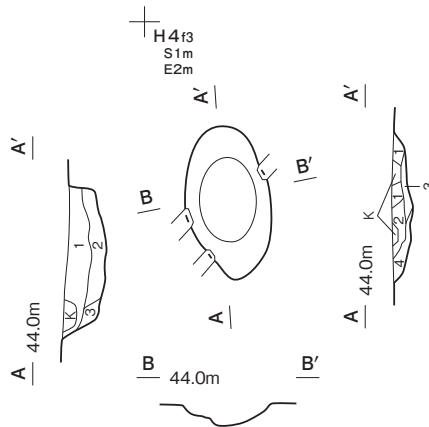
SK158



第158号土坑土層解説

- 1 10YR2/2 黒褐 ローム小C/粘B、締B
- 2 10YR3/3 暗褐 ローム中C/粘C、締C
- 3 10YR4/4 褐 ローム中C/粘C、締C

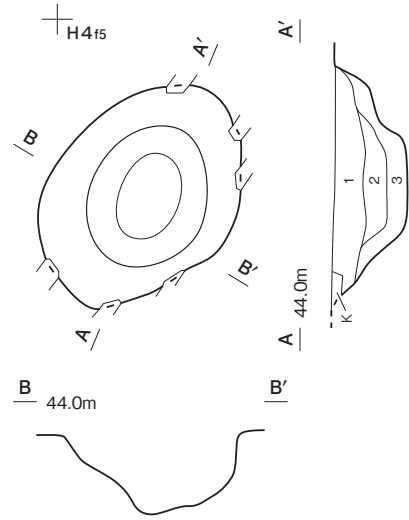
SK157



第157号土坑土層解説

- 1 10YR2/1 黒 ローム粒C/粘C、締C
- 2 10YR3/3 暗褐 ローム粒B/粘C、締C
- 3 10YR2/2 黒褐 ローム粒D/粘C、締C
- 4 10YR4/3 におい潰 羅ーム小C/粘B、締B

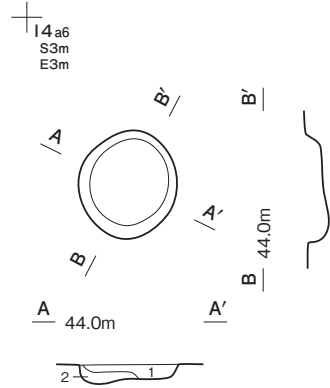
SK159



第159号土坑土層解説

- 1 10YR2/2 黒褐 ローム粒D/粘B、締A
- 2 10YR2/3 黒褐 ローム粒C/粘B、締B
- 3 10YR4/4 褐 ローム粒B/粘A、締A

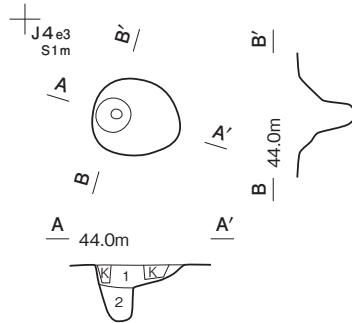
SK160



第160号土坑土層解説

- 1 10YR2/2 黒褐 ローム小C/粘B、締C
- 2 10YR3/1 黒褐 ローム中C/粘B、締C

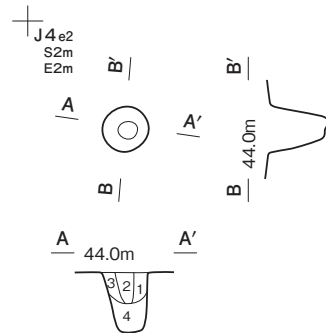
SK162



第162号土坑土層解説

- 1 10YR3/1 黒褐 ローム粒D、炭化粒D/粘B、締B
- 2 10YR2/3 黒褐 ローム小D・粒C、焼土粒D、炭化粒D/粘B、締B

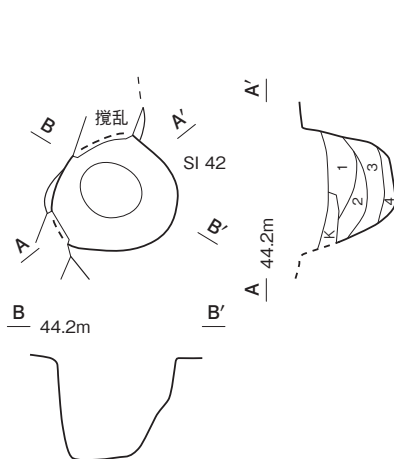
SK163



第163号土坑土層解説

- 1 10YR3/1 黒褐 ローム粒D、炭化粒D/粘B、締B
- 2 10YR2/2 黒褐 ローム粒C/粘B、締B
- 3 10YR3/3 暗褐 ローム小C・粒D/粘B、締B
- 4 10YR2/3 黒褐 ローム小B・粒C/粘B、締B

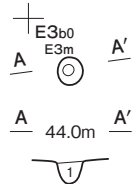
SK164



第164号土坑土層解説

- 1 10YR3/2 黒褐 ローム小D・粒C、焼土粒D/粘B、締B
- 2 10YR3/3 暗褐 ローム小B・粒B、焼土粒D/粘B、締B
- 3 10YR4/3 におい潰 羅ーム中D・小C・粒B、焼土粒D、炭化粒D/粘B、締B
- 4 10YR2/2 黒褐 ローム中B・小C・粒A、焼土中C、炭化粒C/粘B、締B

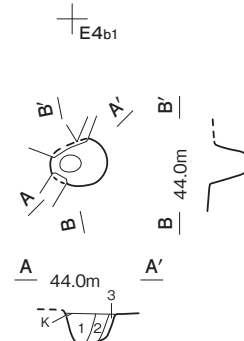
SK165



第165号土坑土層解説

- 1 10YR2/3 黒褐 ローム粒C/粘B、締C

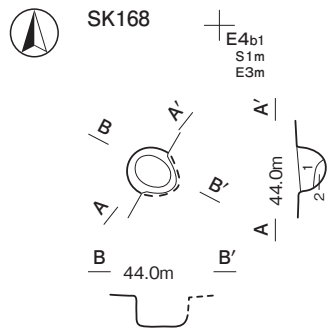
SK167



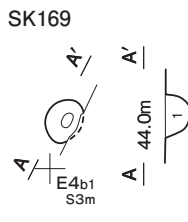
第167号土坑土層解説

- 1 10YR2/3 黒褐 ローム中C/粘B、締C
- 2 10YR2/2 黒褐 ローム粒C/粘B、締C
- 3 10YR2/3 黒褐 ローム中B/粘B、締C

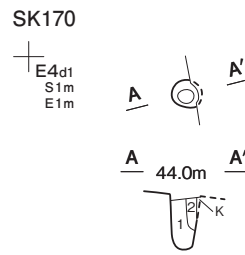
0 (1:60) 2m



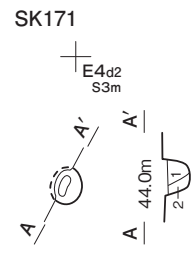
第168号土坑土層解説
 1 10YR2/2 黒褐 ローム粒C/粘B、縮C
 2 10YR3/3 暗褐 ローム小B/粘B、縮B



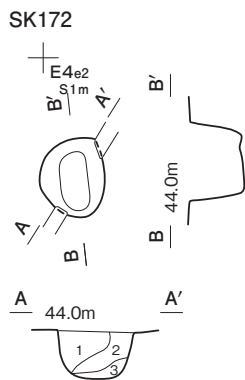
第169号土坑土層解説
 1 10YR2/2 黒褐
 ローム粒B/粘B、縮C



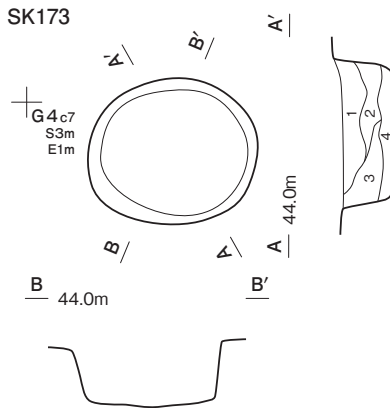
第170号土坑土層解説
 1 10YR2/3 黒褐
 ローム粒C/粘B、縮C
 2 10YR3/3 暗褐
 ローム中B/粘B、縮B



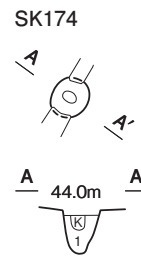
第171号土坑土層解説
 1 10YR2/2 黒褐
 ローム粒C/粘B、縮B
 2 10YR3/3 暗褐
 ローム粒B/粘B、縮B



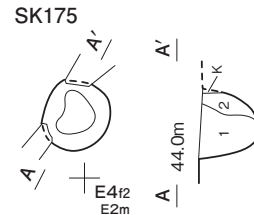
第172号土坑土層解説
 1 10YR2/3 黒褐 ローム粒C/粘B、縮B
 2 10YR3/4 暗褐 ローム中A/粘B、縮B
 3 10YR2/2 黒褐 ローム粒D/粘B、縮C



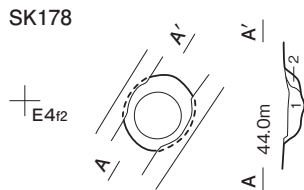
第173号土坑土層解説
 1 10YR2/1 黒 ローム小C・粒C/粘B、縮B
 2 10YR3/1 黒褐 ローム小B・粒B/粘B、縮B
 3 10YR2/2 黒褐 ローム小C・粒B/粘B、縮B
 4 10YR3/1 黒褐 ローム小C・粒C/粘B、縮B



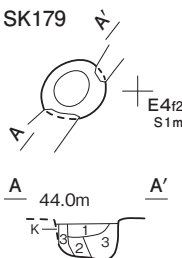
第174号土坑土層解説
 1 10YR2/2 黒褐 ローム粒C/粘B、縮B



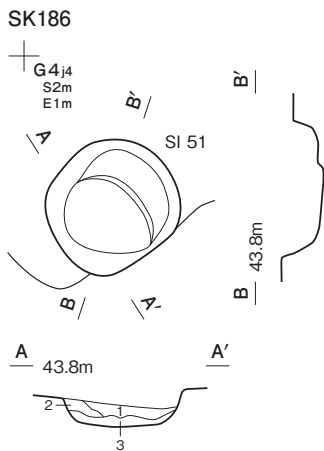
第175号土坑土層解説
 1 10YR2/2 黒褐 ローム粒C/粘B、縮C
 2 10YR3/4 暗褐 ローム中B/粘B、縮B



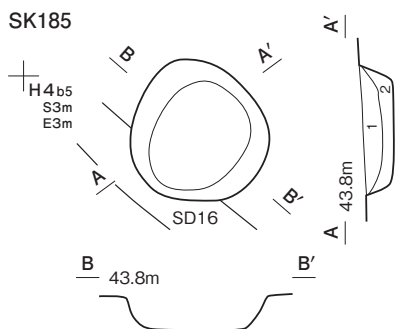
第178号土坑土層解説
 1 10YR2/3 黒褐 ローム粒C/粘B、縮C
 2 10YR3/4 暗褐 ローム中B/粘B、縮B



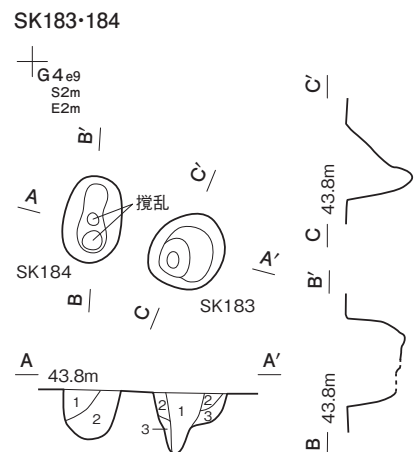
第179号土坑土層解説
 1 10YR2/3 黒褐 ローム粒C/粘B、縮C
 2 10YR2/2 黒褐 ローム粒C/粘B、縮C
 3 10YR3/4 暗褐 ローム中B/粘B、縮B



第186号土坑土層解説
 1 10YR2/1 黒 ローム粒C/粘B、縮B
 2 10YR2/1 黒 ローム小D・粒B/粘B、縮B
 3 10YR3/1 黒褐 ローム小C・粒B/粘B、縮B

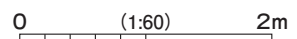


第185号土坑土層解説
 1 10YR2/1 黒 ローム粒D/粘B、縮B
 2 10YR3/1 黒褐 ローム小D・粒C/粘B、縮B



第183号土坑土層解説
 1 10YR3/3 暗褐 ローム小B・粒C/粘B、縮C
 2 10YR4/3 濃い黄褐 ローム小D・粒B/粘B、縮B
 3 10YR5/6 黄褐 ローム粒C/粘B、縮A

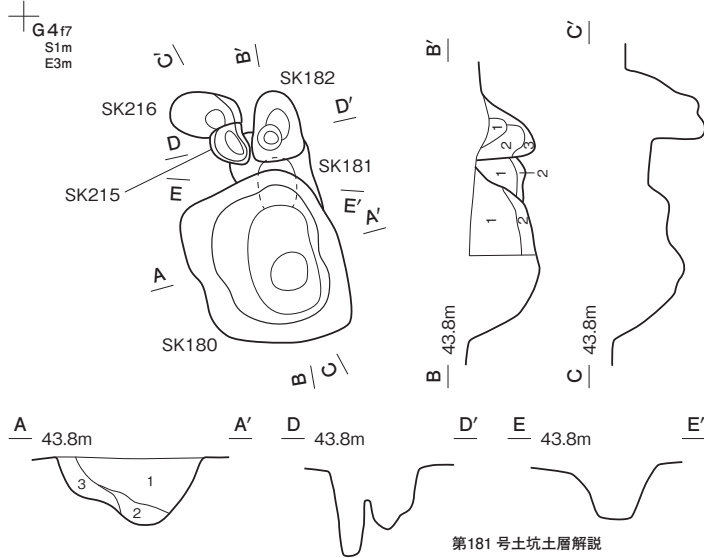
第184号土坑土層解説
 1 10YR3/2 黒褐 ローム小D・粒B/粘B、縮B
 2 10YR3/3 暗褐 ローム粒C/粘B、縮B



第 399 図 時期不明の土坑実測図 (9)



SK180・181・182・215・216



第180号土坑土層解説

- 1 10YR3/2 黒褐 ローム小B・粒B/粘B、縮B
- 2 10YR4/3 にぶい黄褐 ローム小D・粒A/粘B、縮B
- 3 10YR3/3 暗褐 ローム中D・小C・粒C/粘B、縮B

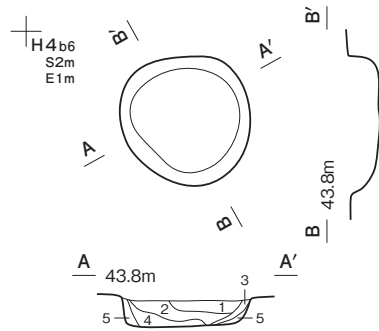
第181号土坑土層解説

- 1 10YR3/2 黒褐 ローム中C・粒C/粘B、縮B
- 2 10YR3/2 黒褐 ローム中C/粘B、縮B
- 3 10YR4/3 にぶい黄褐 ローム粒B/粘B、縮B
- 4 10YR3/1 黒褐 ローム小C・粒C/粘B、縮B
- 5 10YR4/3 にぶい黄褐 ローム小B/粘B、縮B

第182号土坑土層解説

- 1 10YR3/2 黒褐 ローム粒D/粘B、縮B
- 2 10YR3/1 黒褐 ローム小D/粘B、縮C
- 3 10YR3/3 暗褐 ローム小C・粒C/粘B、縮B

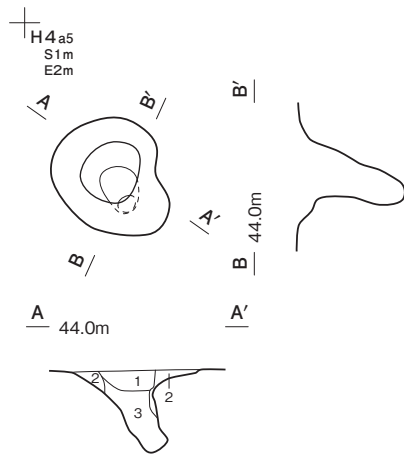
SK187



第187号土坑土層解説

- 1 10YR2/1 黒褐 ローム小B・粒B、焼土粒D/粘B、縮B
- 2 10YR3/3 暗褐 ローム中D・小C・粒B、焼土粒D、炭化物D・粒D/粘C、縮B
- 3 10YR3/2 黒褐 ローム小D・粒C、焼土粒C/粘B、縮B
- 4 10YR3/4 暗褐 ローム中D・小B・粒C、焼土粒D/粘B、縮B
- 5 10YR4/4 褐 ローム小A・粒B、焼土粒D/粘B、縮B

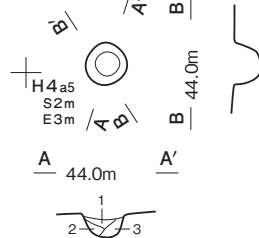
SK189



第189号土坑土層解説

- 1 10YR2/1 黒 ローム粒B/粘B、縮B
- 2 10YR3/2 黒褐 ローム小D・粒C、焼土粒C/粘B、縮B
- 3 10YR3/3 暗褐 ローム大C・中D・小B・粒B/粘B、縮B

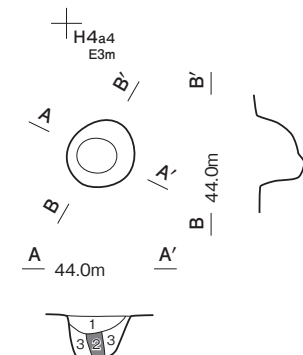
SK188



第188号土坑土層解説

- 1 10YR2/1 黒 ローム粒C/粘B、縮B
- 2 10YR3/3 暗褐 ローム小D・粒C/粘B、縮C
- 3 10YR4/2 灰黄褐 ローム粒C/粘B、縮A

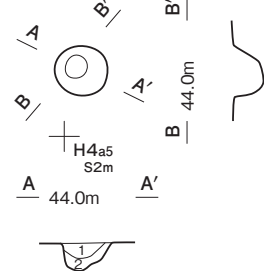
SK190



第190号土坑土層解説

- 1 10YR3/2 黒褐 ローム小C・粒C/粘B、縮B
- 2 10YR4/4 褐 ローム粒D/粘B、縮A
- 3 10YR3/1 黒 ローム粒D/粘B、縮B

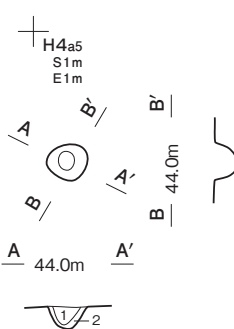
SK191



第191号土坑土層解説

- 1 10YR3/2 黒褐 ローム小C・粒C/粘B、縮B
- 2 10YR3/3 暗褐 ローム小B・粒B/粘B、縮B

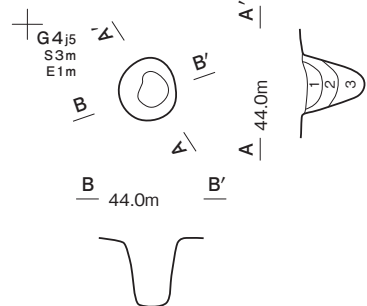
SK192



第192号土坑土層解説

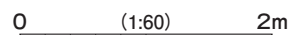
- 1 10YR3/2 黒褐 ローム小C・粒C/粘B、縮B
- 2 10YR3/3 暗褐 ローム小B・粒B/粘B、縮B

SK193



第193号土坑土層解説

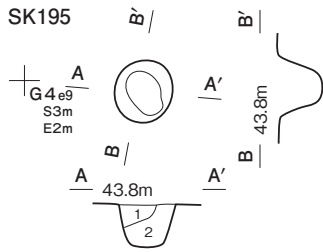
- 1 10YR2/1 黒 ローム粒D/粘B、縮C
- 2 10YR3/2 黒褐 ローム小C/粘B、縮B
- 3 10YR3/3 暗褐 ローム中D・粒B/粘B、縮B



第400図 時期不明の土坑実測図(10)



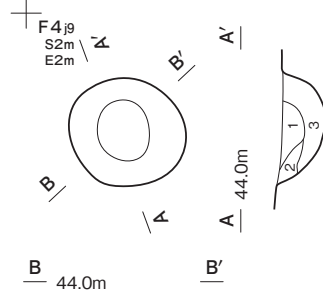
SK195



第195号土坑土層解説

- 1 10YR3/3 暗褐 ローム小B・粒D/粘B、締B
- 2 10YR4/3 にぶ黄褐 ローム粒C/粘B、締B

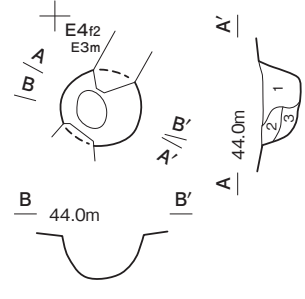
SK196



第196号土坑土層解説

- 1 10YR2/2 黒褐 ローム小C・粒C/粘B、締B
- 2 10YR2/2 黒褐 ローム粒D/粘B、締B
- 3 10YR2/3 黒褐 ローム中C・小C・粒B/粘B、締B

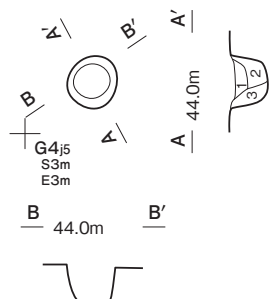
SK197



第197号土坑土層解説

- 1 10YR2/3 黒褐 ローム粒C/粘B、締C
- 2 10YR3/4 暗褐 ローム小B/粘B、締C
- 3 10YR5/8 橙 ローム大A/粘B、締B

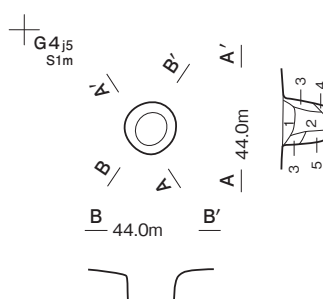
SK198



第198号土坑土層解説

- 1 10YR2/1 黒 ローム粒C/粘B、締B
- 2 10YR3/2 黒褐 ローム小B・粒D/粘B、締B
- 3 10YR3/3 暗褐 ローム中D・小C・粒C/粘B、締B

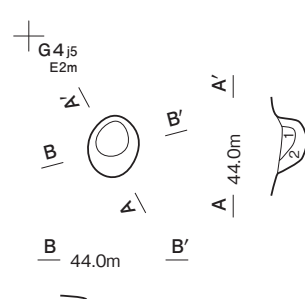
SK199



第199号土坑土層解説

- 1 10YR2/1 黒 ローム粒C/粘B、締B
- 2 10YR3/3 暗褐 ローム小D・粒C/粘B、締C
- 3 10YR4/2 灰黄褐 ローム粒C/粘B、締A
- 4 10YR4/3 にぶ黄褐 ローム小B・粒C/粘B、締A
- 5 10YR3/1 黒褐 ローム小C・粒D/粘B、締A

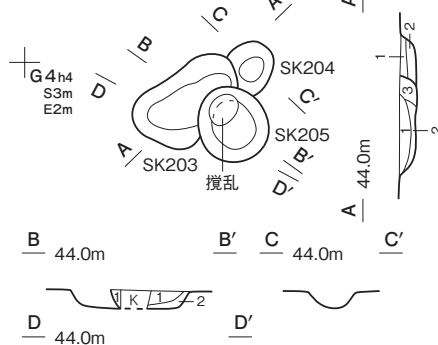
SK206



第206号土坑土層解説

- 1 10YR3/3 暗褐 ローム小D・粒C、焼土粒D、粘土粒D/粘B、締B
- 2 10YR4/3 にぶ黄褐 ローム小B・粒B、粘土小C・粒D/粘B、締A

SK203・204・205



第203号土坑土層解説

- 1 10YR3/2 黒褐 ローム小C・粒D/粘B、締B
- 2 10YR4/3 にぶ黄褐 ローム小D・粒B/粘B、締C
- 3 10YR4/2 灰黄褐 ローム粒D/粘B、締A

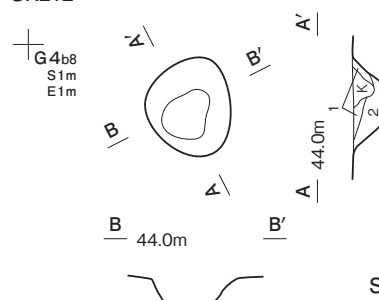
第204号土坑土層解説

- 1 10YR3/3 暗褐 ローム小C・粒D/粘B、締B
- 2 10YR4/3 にぶ黄褐 ローム中D・小B・粒C/粘B、締A

第205号土坑土層解説

- 1 10YR3/2 黒褐 ローム小C・粒D/粘B、締B
- 2 10YR3/3 暗褐 ローム小D・粒B/粘B、締A

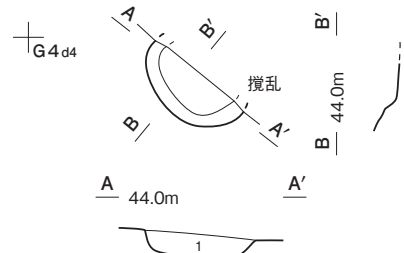
SK212



第212号土坑土層解説

- 1 10YR3/2 黒褐 ローム粒D/粘B、締B
- 2 10YR3/3 暗褐 ローム中D・小B・粒B/粘B、締B

SK213



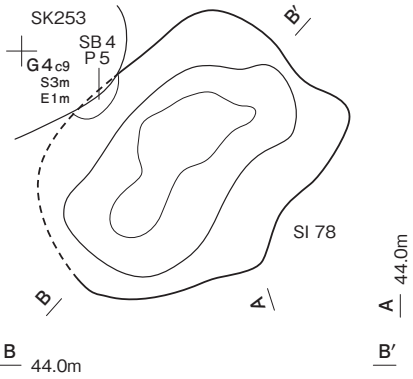
第213号土坑土層解説

- 1 10YR2/1 黒褐 ローム小C・粒C/粘D、締B

0 (1:60) 2m



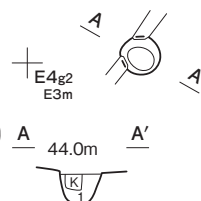
SK217



第217号土坑土層解説

- 1 10YR3/3 暗褐 ローム小B・粒B/粘B、縮B
- 2 10YR3/2 黒褐 ローム小D・粒C、炭化粒D/粘B、縮B
- 3 10YR3/1 黒褐 ローム中D・小C・粒B/粘B、縮B
- 4 10YR2/1 黒 ローム小C・粒C、焼土粒D、炭化粒C、粘土粒D/粘B、縮B
- 5 10YR4/3 にぶい黄褐 ローム小B・粒A/粘B、縮B

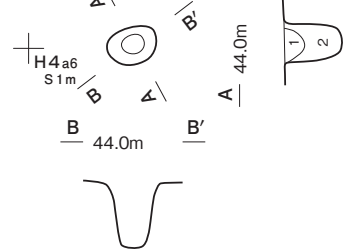
SK228



第228号土坑土層解説

- 1 10YR3/3 暗褐 ローム粒B/粘B、縮C

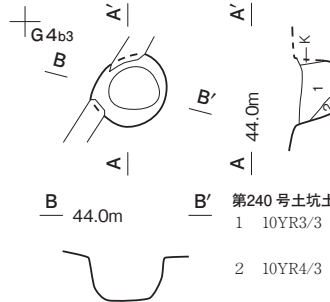
SK249



第249号土坑土層解説

- 1 10YR3/2 黒褐 ローム粒D/粘B、縮B
- 2 10YR3/3 暗褐 ローム小D・粒D/粘B、縮B

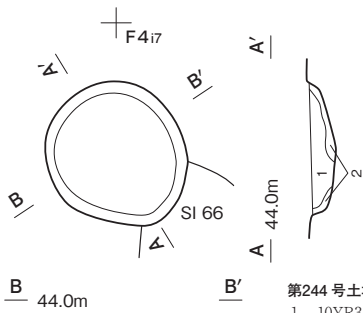
SK240



第240号土坑土層解説

- 1 10YR3/3 暗褐 ローム中D・小C・粒C/粘B、縮B
- 2 10YR4/3 にぶい黄褐 ローム中C・小B・粒C/粘B、縮B

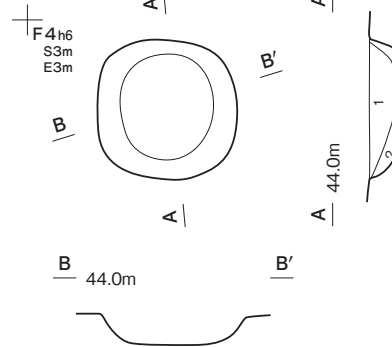
SK244



第244号土坑土層解説

- 1 10YR3/2 黒褐 ローム小B・粒A/粘B、縮B
- 2 10YR4/3 にぶい黄褐 ローム小D・粒C/粘B、縮A

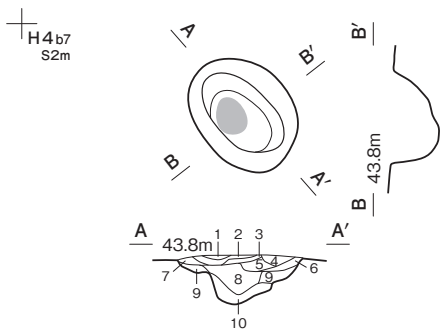
SK245



第245号土坑土層解説

- 1 10YR3/2 黒褐 ローム小C・粒B/粘B、縮B
- 2 10YR3/3 暗褐 ローム中D・小B・粒A/粘B、縮B

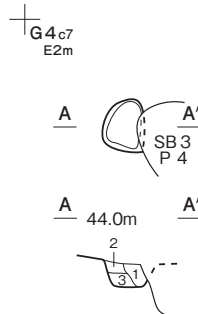
SK254



第254号土坑土層解説

- 1 5YR5/3 灰ナリーブ ローム粒B、粘土小/粘A、縮B
- 2 5YR3/4 暗赤褐 焼土小C・粒A、炭化粒D、粘土小C/粘B、縮C
- 3 5YR5/2 灰ナリーブ ローム粒C、粘土小B/粘A、縮B
- 4 5YR3/2 暗赤褐 焼土小C・粒B、炭化粒D/粘B、縮C
- 5 5YR3/2 暗赤褐 焼土粒B、炭化粒D、粘土粒D/粘B、縮C
- 6 5YR3/2 暗赤褐 焼土小C・粒C、炭化粒D、粘土小D/粘B、縮B
- 7 5YR2/2 黒褐 ローム粒D、焼土粒D/粘B、縮B
- 8 5YR3/2 黒褐 ローム粒C、焼土粒C、炭化粒D/粘B、縮B
- 9 5YR2/2 黒褐 ローム粒C/粘B、縮B
- 10 5YR3/1 黒褐 ローム粒B/粘B、縮B

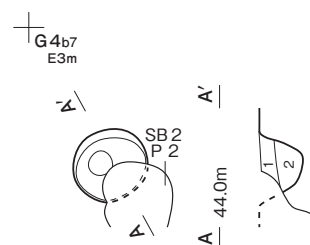
SK262



第262号土坑土層解説

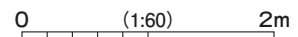
- 1 10YR3/1 黒褐 ローム粒C、焼土粒D、炭化粒D/粘B、縮B
- 2 10YR3/1 黒褐 ローム粒D/粘B、縮A
- 3 10YR3/3 暗褐 ローム粒B/粘B、縮A

SK263



第263号土坑土層解説

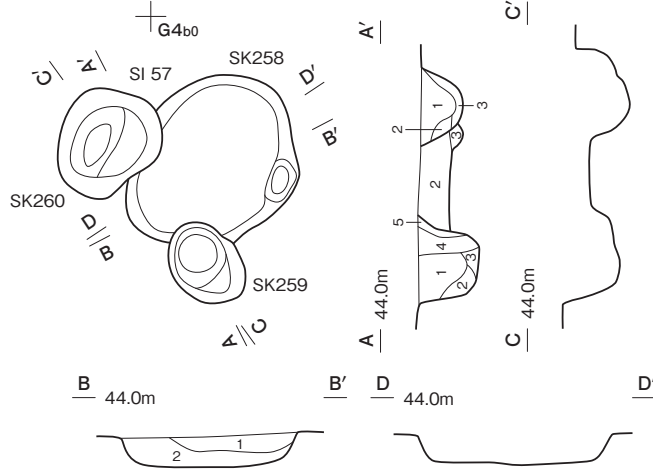
- 1 10YR2/3 黒褐 ローム粒C、炭化粒D/粘B、縮B
- 2 10YR2/1 黒 ローム中C・粒C/粘B、縮A



第402図 時期不明の土坑実測図(12)



SK258・259・260



第258号土坑土層解説

- 1 10YR2/2 黒褐 ローム中D・小C・粒C/粘B、縮B
- 2 10YR3/1 黒褐 ローム小C・粒C/粘B、縮B
- 3 10YR3/4 暗褐 ローム小C・粒B、炭化粒C/粘B、縮B

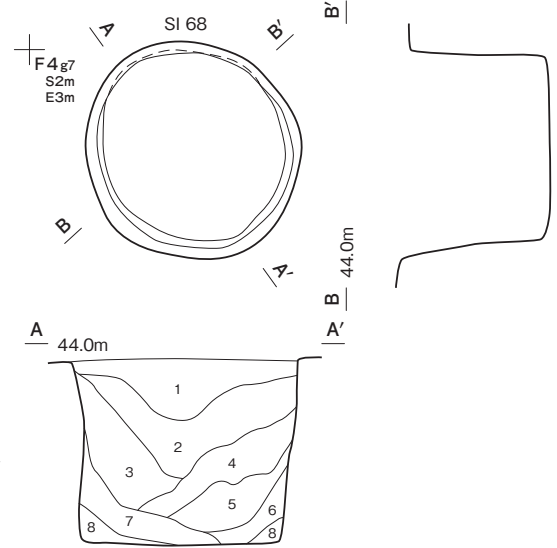
第259号土坑土層解説

- 1 10YR2/2 黒褐 ローム小D・粒C/粘B、縮B
- 2 10YR2/3 黒褐 ローム小C・粒C/粘B、縮B
- 3 10YR3/2 黒褐 ローム小C・粒B/粘B、縮B
- 4 10YR2/2 黒褐 ローム小C・粒D/粘B、縮B
- 5 10YR3/1 黒褐 ローム中C・小C・粒C/粘B、縮B

第260号土坑土層解説

- 1 10YR3/1 黒褐 ローム粒D/粘B、縮B
- 2 10YR2/3 黒褐 ローム小C・粒B/粘B、縮B
- 3 10YR2/2 黒褐 ローム小C・粒C/粘B、縮A

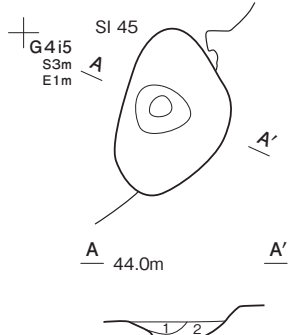
SK261



第261号土坑土層解説

- 1 10YR3/1 黒褐 ローム粒D、焼土粒D/粘B、縮B
- 2 10YR3/1 黒褐 ローム粒C、焼土粒D/粘B、縮B
- 3 10YR2/2 黒褐 ローム粒B、炭化粒C/粘B、縮B
- 4 10YR2/2 黒褐 ローム粒B、焼土粒D/粘B、縮B
- 5 10YR4/3 におい黄褐 ローム小B・粒B/粘B、縮B
- 6 10YR3/1 黒褐 ローム中C・小B・粒B/粘B、縮B
- 7 10YR3/4 暗褐 ローム中C・小B・粒A/粘B、縮B
- 8 10YR3/4 暗褐 ローム小B・粒A/粘B、縮B

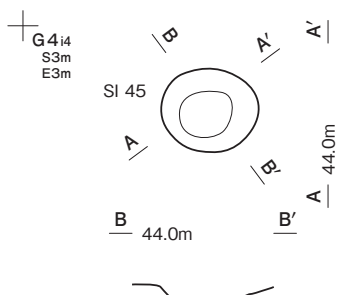
SK268



第268号土坑土層解説

- 1 10YR3/3 暗褐 ローム小D・粒C/粘B、縮B
- 2 10YR4/3 におい黄褐 ローム粒D/粘B、縮A

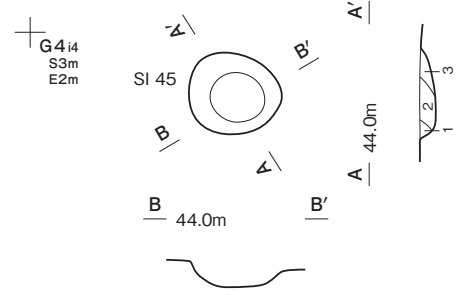
SK269



第269号土坑土層解説

- 1 10YR3/2 黒褐 ローム小D・粒C/粘B、縮B
- 2 10YR3/3 暗褐 ローム小C・粒B/粘B、縮B

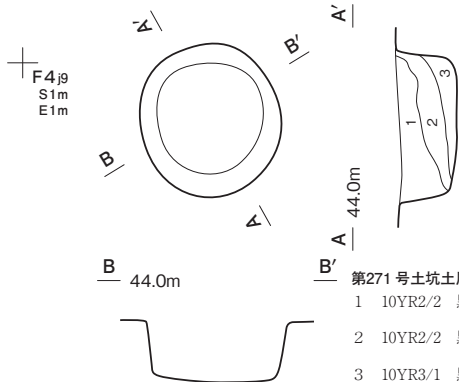
SK270



第270号土坑土層解説

- 1 10YR3/3 暗褐 ローム粒C/粘B、縮B
- 2 10YR3/2 黒褐 ローム 粒C/粘B、縮B
- 3 10YR4/3 におい黄褐 ローム粒B/粘B、縮B

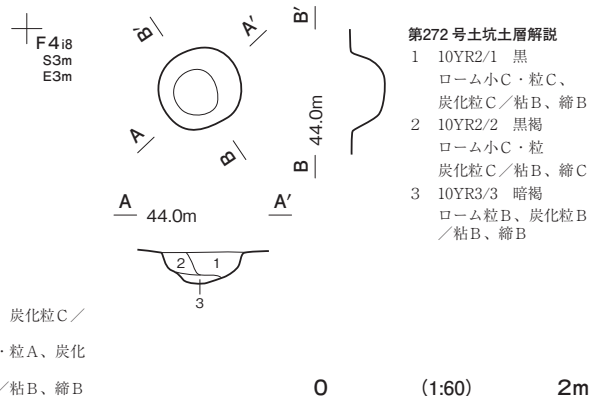
SK271



第271号土坑土層解説

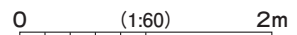
- 1 10YR2/2 黒褐 ローム小B・粒B、炭化粒C/粘B、縮B
- 2 10YR2/2 黒褐 ローム中C・小B・粒A、炭化粒C/粘B、縮C
- 3 10YR3/1 黒褐 ローム小C・粒C/粘B、縮B

SK272



第272号土坑土層解説

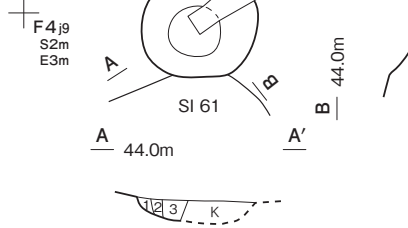
- 1 10YR2/1 黒 ローム小C・粒C、炭化粒C/粘B、縮B
- 2 10YR2/2 黒褐 ローム小C・粒炭化粒C/粘B、縮C
- 3 10YR3/3 暗褐 ローム粒B、炭化粒B/粘B、縮B



第 403 図 時期不明の土坑実測図 (13)



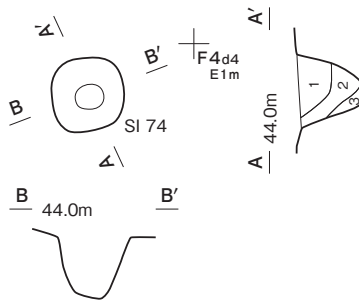
SK273



第273号土坑土層解説

- 1 10YR2/1 黒 ローム小C/粘B、縮B
- 2 10YR2/1 黒 ローム小C、炭化粒C/粘B、縮B
- 3 10YR3/1 黒褐 ローム小C・粒C、炭化粒C/粘B、縮B

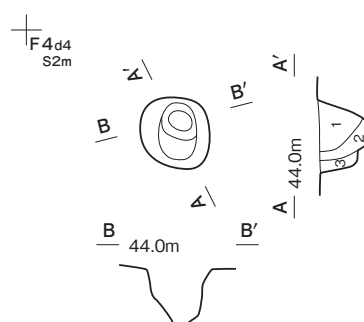
SK275



第275号土坑土層解説

- 1 10YR3/2 黒褐 ローム粒D/粘B、縮C
- 2 10YR3/3 暗褐 ローム小D・粒B/粘B、縮B
- 3 10YR4/3 におい黄褐 ローム小B・粒C/粘B、縮A

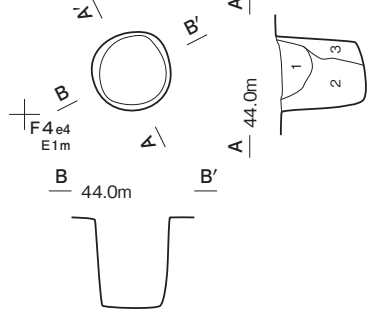
SK276



第276号土坑土層解説

- 1 10YR3/3 暗褐 ローム中D・小C・粒A/粘B、縮C
- 2 10YR4/3 におい黄褐 ローム中C・小B・粒B/粘B、縮C
- 3 10YR3/1 黒褐 ローム小C・粒C/粘B、縮B

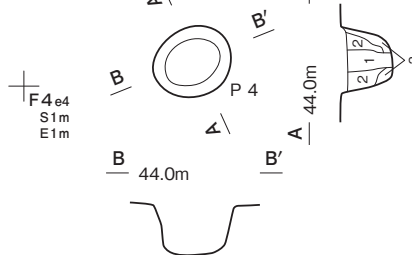
SK277



第277号土坑土層解説

- 1 10YR3/2 黒褐 ローム粒D/粘B、縮C
- 2 10YR3/3 暗褐 ローム小D・粒B/粘B、縮B
- 3 10YR4/3 におい黄褐 ローム小B・粒C/粘B、縮A

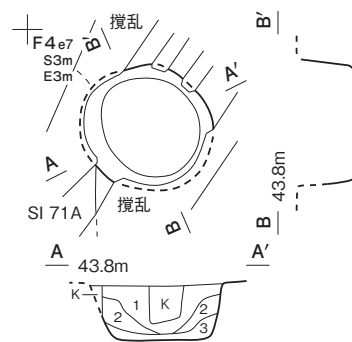
SK278



第278号土坑土層解説

- 1 10YR3/3 暗褐 ローム中D・小C・粒A/粘B、縮C
- 2 10YR4/3 におい黄褐 ローム中C・小B・粒B/粘B、縮C
- 3 10YR3/1 黒褐 ローム小C・粒C/粘B、縮B

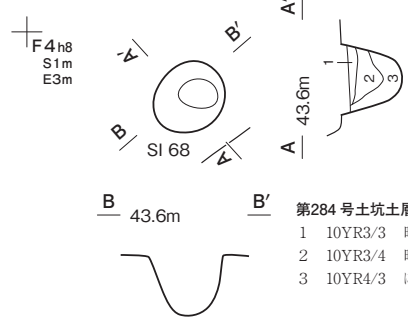
SK281



第281号土坑土層解説

- 1 10YR2/1 黒 ローム粒D/粘B、縮B
- 2 10YR3/2 黒褐 ローム小D・粒B/粘B、縮B
- 3 10YR3/3 暗褐 ローム小C・粒A/粘B、縮B

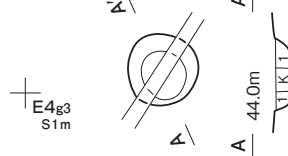
SK284



第284号土坑土層解説

- 1 10YR3/3 暗褐 ローム小A・粒B/粘B、縮B
- 2 10YR3/4 暗褐 ローム小C・粒C/粘B、縮B
- 3 10YR4/3 におい黄褐 ローム中D・小B・粒C/粘B、縮B

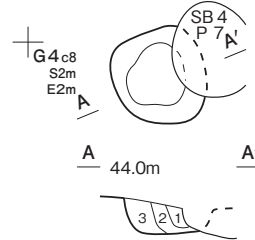
SK285



第285号土坑土層解説

- 1 10YR3/4 暗褐 ローム小B/粘B、縮C

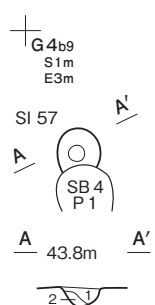
SK286



第286号土坑土層解説

- 1 10YR2/1 黒 ローム粒C/粘B、縮B
- 2 10YR3/1 黒褐 ローム小C・粒B/粘B、縮B
- 3 10YR3/3 暗褐 ローム小B・粒B/粘B、縮B

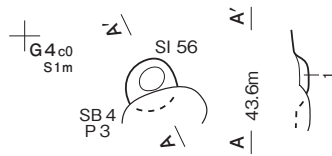
SK287



第287号土坑土層解説

- 1 10YR2/1 黒 ローム小D・粒D/粘B、縮B
- 2 10YR2/1 黒 ローム小C・粒C/粘B、縮B

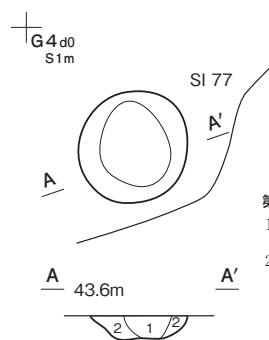
SK288



第288号土坑土層解説

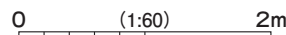
- 1 10YR3/1 黒褐 ローム小C・粒C/粘B、縮B

SK291

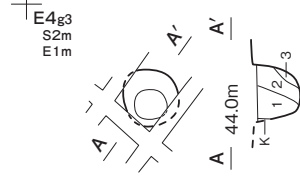


第291号土層解説

- 1 10YR2/2 黒褐 ローム中C・小C・粒B/粘B、縮B
- 2 10YR2/2 黒褐 ローム粒D、焼土粒D/粘B、縮B



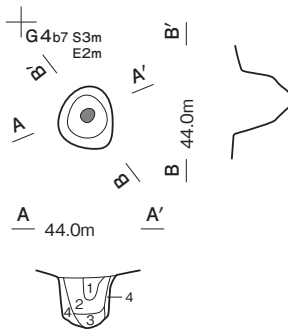
SK294



第294号土坑土層解説

- 1 10YR2/3 黒褐 ローム小C / 粘B、締C
- 2 10YR3/4 暗褐 ローム小B / 粘B、締C
- 3 10YR2/2 黒褐 ローム粒C / 粘B、締C

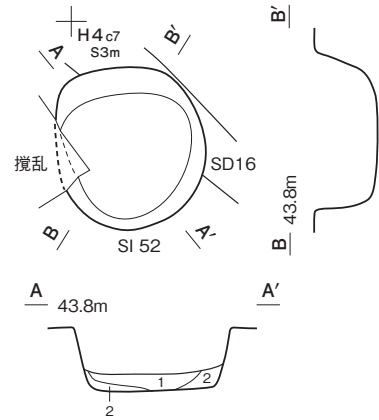
SK296



第296号土層解説

- 1 10YR2/1 黒 ローム粒C、炭化粒C / 粘B、締B
- 2 10YR3/1 黒褐 ローム大C・粒C、炭化粒B / 粘B、締B
- 3 10YR3/1 黒褐 ローム小C・粒B / 粘B、締B
- 4 10YR3/1 黒褐 ローム小B・粒B / 粘B、締B

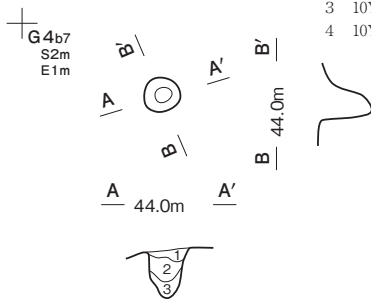
SK251



第251号土坑土層解説

- 1 10YR2/2 黒褐 ローム中C・粒C、焼土粒D / 粘B、締B
- 2 10YR3/1 黒褐 ローム小B・粒B / 粘B、締B

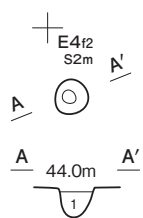
SK297



第297号土坑土層解説

- 1 10YR2/2 黒褐 ローム粒C、炭化粒C / 粘B、締B
- 2 10YR2/3 黒褐 ローム粒B、炭化粒C / 粘B、締C
- 3 10YR2/2 黒褐 ローム中B・小B・粒C / 粘B、締B

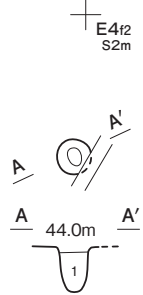
SK299



第299号土坑土層解説

- 1 10YR2/3 黒褐 ローム粒C / 粘B、締C

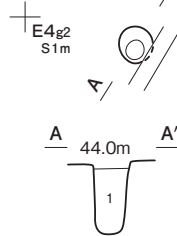
SK300



第300号土坑土層解説

- 1 10YR2/2 黒褐 ローム粒C / 粘B、締C

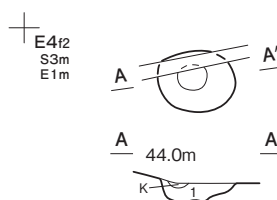
SK301



第301号土坑土層解説

- 1 10YR2/2 黒褐 ローム粒C / 粘B、締C

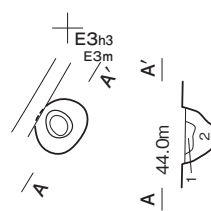
SK302



第302号土坑土層解説

- 1 10YR2/3 黒褐 ローム粒C / 粘B、締C

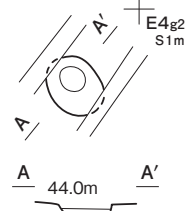
SK303



第303号土坑土層解説

- 1 10YR2/3 黒褐 ローム粒C、炭化粒C / 粘B、締C
- 2 10YR3/3 暗褐 ローム小B / 粘B、締C

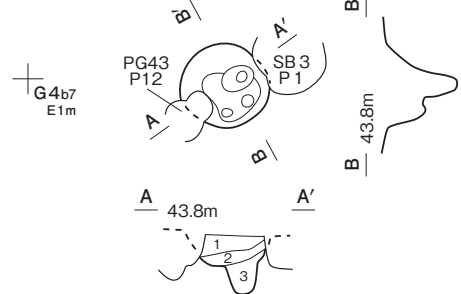
SK304



第304号土坑土層解説

- 1 10YR2/2 黒褐 ローム粒C / 粘B、締C

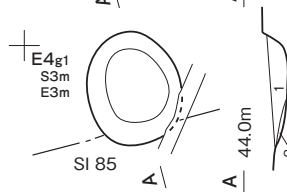
SK307



第307号土層解説

- 1 10YR2/3 黒褐 ローム小C・粒C / 粘B、締B
- 2 10YR5/6 黄褐 ローム小A・粒A、炭化粒D / 粘B、締C
- 3 10YR3/1 黒褐 ローム小C・粒C、炭化粒D / 粘B、締C

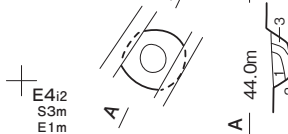
SK305



第305号土坑土層解説

- 1 10YR2/2 黒褐 ローム粒C / 粘B、締C
- 2 10YR3/3 暗褐 ローム粒B / 粘B、締B

SK306

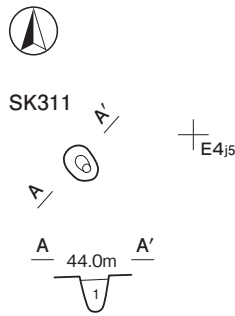


第306号土坑土層解説

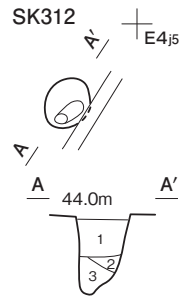
- 1 10YR2/3 黒褐 ローム粒C / 粘B、締C
- 2 10YR2/2 黒褐 ローム粒C / 粘B、締C
- 3 10YR3/3 暗褐 ローム粒B / 粘B、締C

0 (1:60) 2m

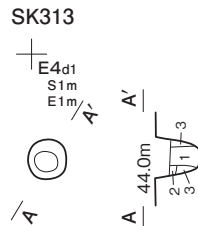
第 405 図 時期不明の土坑実測図 (15)



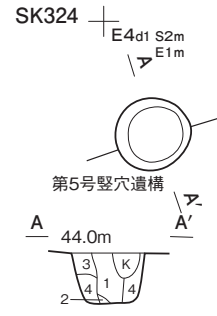
第311号土坑土層解説
1 10YR2/2 黒褐
ローム粒D/粘B、縮C



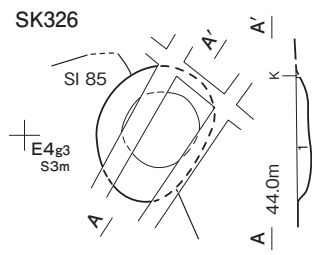
第312号土坑土層解説
1 10YR2/2 黒褐
ローム粒C/粘B、縮C
2 10YR4/4 褐
ローム粒A/粘B、縮C
3 10YR3/3 暗褐
ローム粒B/粘B、縮C



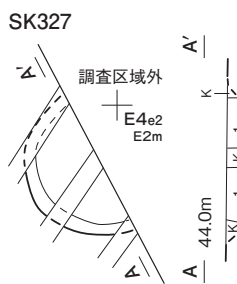
第313号土坑土層解説
1 10YR2/3 黒褐
ローム粒C/粘B、縮C
2 10YR2/2 黒褐
ローム粒C/粘B、縮A
3 10YR4/4 褐
ローム粒A/粘B、縮A



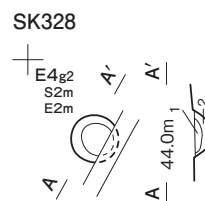
第324号土坑土層解説
1 10YR2/3 黒褐 ローム粒D/粘B、縮C
2 10YR4/6 褐 ローム小A/粘A、縮C
3 10YR2/2 黒褐 ローム粒C/粘B、縮B
4 10YR3/4 暗褐 ローム小A/粘B、縮A



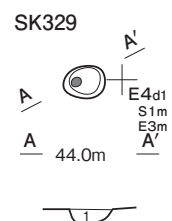
第326号土坑土層解説
1 10YR2/2 黒褐 ローム粒D/
粘B、縮C



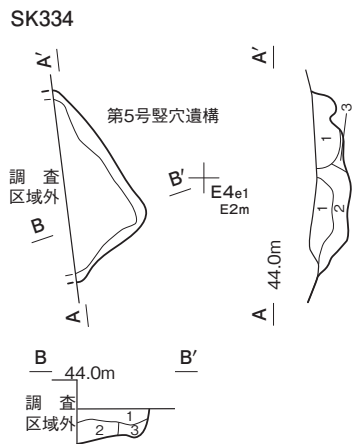
第327号土坑土層解説
1 10YR2/2 黒褐 ローム小C/
粘B、縮C



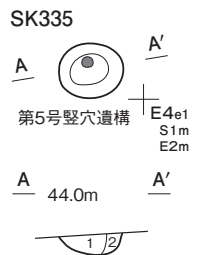
第328号土坑土層解説
1 10YR2/2 黒褐
ローム粒D、焼土小B、
炭化粒C/粘B、縮B
2 10YR4/4 褐
ローム粒B/粘B、縮B



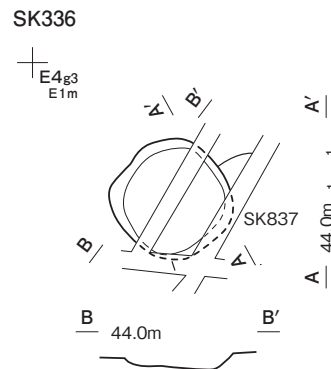
第329号土坑土層解説
1 10YR3/3 暗褐
ローム粒C/粘B、縮B



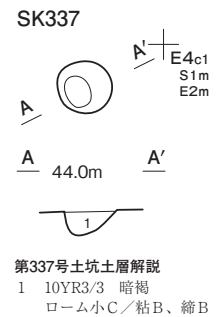
第334号土坑土層解説
1 10YR3/3 暗褐 ローム粒D/粘B、縮B
2 10YR3/3 暗褐 ローム小D・粒D/粘B、縮B
3 10YR3/4 暗褐 ローム小C・粒C/粘B、縮B



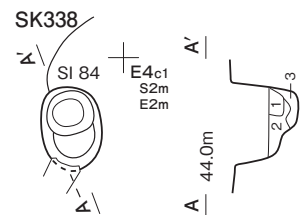
第335号土坑土層解説
1 10YR2/2 黒褐
ローム小C/粘C、縮C
2 10YR4/4 褐
ローム小B/粘C、縮C



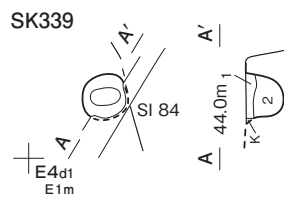
第336号土坑土層解説
1 10YR2/2 黒褐 ローム小C/粘B、縮B



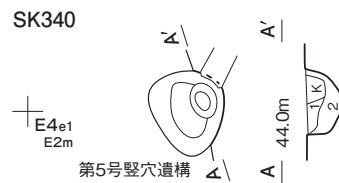
第337号土坑土層解説
1 10YR3/3 暗褐
ローム小C/粘B、縮B



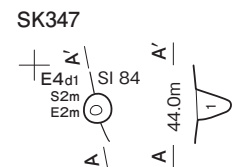
第338号土坑土層解説
1 10YR3/3 暗褐 ローム小C/粘B、縮B
2 10YR4/4 褐 ローム中B/粘B、縮A
3 10YR4/6 褐 ローム中A/粘B、縮A



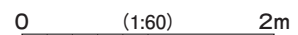
第339号土坑土層解説
1 10YR3/4 暗褐
ローム小C/粘B、縮B
2 10YR2/3 黒褐
ローム小C/粘B、縮B



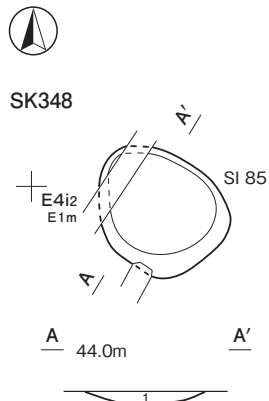
第340号土坑土層解説
1 10YR2/3 黒褐 ローム小C/粘B、縮B
2 10YR3/4 暗褐 ローム小B/粘B、縮B



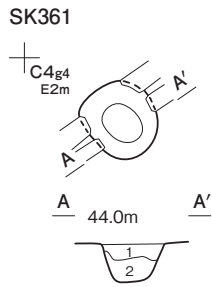
第347号土坑土層解説
1 10YR2/2 黒褐
ローム小C/粘C、縮C



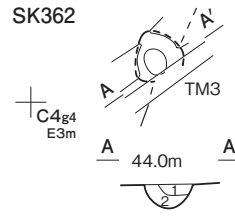
第406図 時期不明の土坑実測図(16)



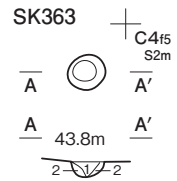
第348号土坑土層解説
1 10YR2/3 黒褐 ローム粒B / 粘B、縮B



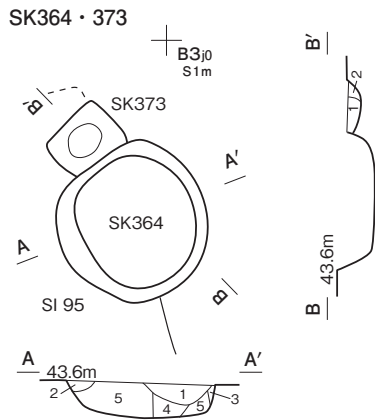
第361号土坑土層解説
1 10YR2/2 黒褐 ローム粒C、炭化粒C / 粘B、縮B
2 10YR2/3 黒褐 ローム小C、粒B、炭化粒C / 粘B、縮B



第362号土坑土層解説
1 10YR3/2 黒褐 ローム小C、粒D / 粘B、縮B
2 10YR2/3 黒褐 ローム小D、粒D / 粘B、縮B

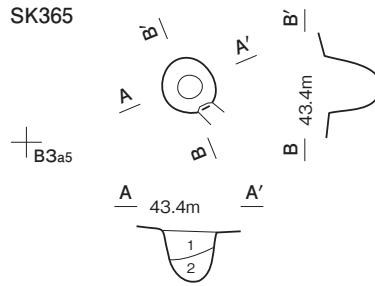


第363号土坑土層解説
1 10YR3/1 黒褐 ローム粒D、炭化粒D / 粘B、縮B
2 10YR2/2 黒褐 ローム粒C、焼土粒D、炭化粒D / 粘B、縮B

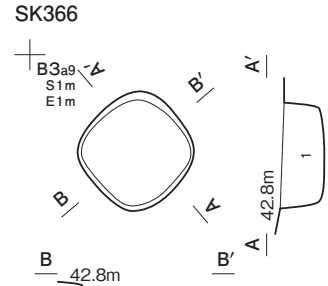


第364号土坑土層解説
1 10YR3/1 黒褐 ローム小C、粒B、炭化粒C / 粘B、縮B
2 10YR2/2 黒褐 ローム粒D、炭化粒D / 粘B、縮B
3 10YR3/3 暗褐 ローム粒B / 粘B、縮B
4 10YR2/2 黒褐 ローム小C、粒D、炭化粒D / 粘B、縮B
5 10YR2/2 黒褐 ローム小C、粒C、炭化粒C / 粘B、縮B

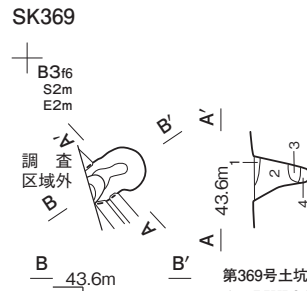
第373号土坑土層解説
1 10YR2/2 黒褐 ローム粒C、炭化粒C / 粘B、縮B
2 10YR3/1 黒褐 ローム小C、粒C、炭化粒C / 粘B、縮B



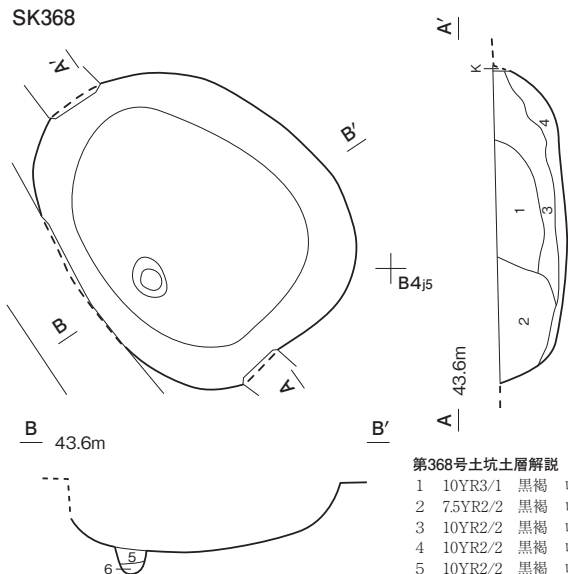
第365号土坑土層解説
1 7.5YR3/1 黒褐 ローム小D、粒C / 粘B、縮C
2 7.5YR3/1 黒褐 ローム中D、粒C / 粘B、縮A



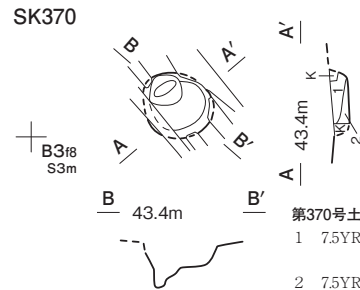
第366号土坑土層解説
1 7.5YR3/3 暗褐 ローム小C、粒B / 粘B、縮C



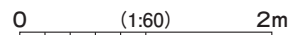
第369号土坑土層解説
1 7.5YR3/1 黒褐 ローム粒D / 粘B、縮B
2 7.5YR3/3 暗褐 ローム小D、粒C / 粘B、縮C
3 7.5YR4/4 褐 ローム小B、粒A / 粘A、縮B
4 7.5YR3/1 黒褐 ローム粒D / 粘B、縮B



第368号土坑土層解説
1 10YR3/1 黒褐 ローム粒D、炭化粒D / 粘B、縮B
2 7.5YR2/2 黒褐 ローム粒B、炭化粒C / 粘B、縮C
3 10YR2/2 黒褐 ローム粒C、炭化粒C / 粘B、縮B
4 10YR2/2 黒褐 ローム中C、小C、粒B、炭化粒C / 粘B、縮B
5 10YR2/2 黒褐 ローム小D、粒D / 粘B、縮A
6 10YR4/4 褐 ローム小A、粒A / 粘B、縮A



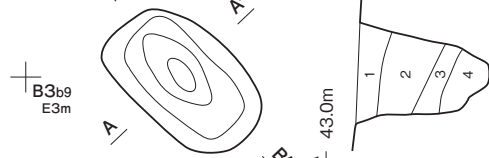
第370号土坑土層解説
1 7.5YR3/1 黒褐 ローム小D、粒B / 粘B、縮B
2 7.5YR3/3 暗褐 ローム小B、粒B / 粘B、縮B



第 407 図 時期不明の土坑実測図 (17)



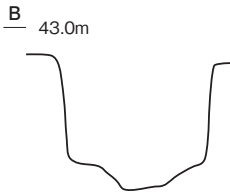
SK371



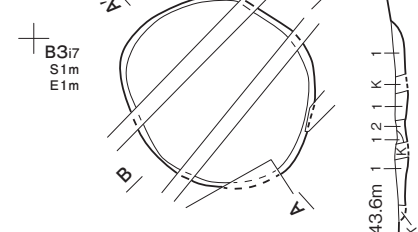
43.0m

第371号土坑土層解説

- 1 7.5YR3/1 黒褐 ローム粒D、炭化材D/粘B、締B
- 2 7.5YR3/1 黒褐 ローム小D・粒C/粘B、締C
- 3 7.5YR4/4 褐 ローム粒A、粘土粒C/粘A、締C
- 4 7.5YR3/2 黒褐 ローム小D・粒C/粘B、締B



SK372

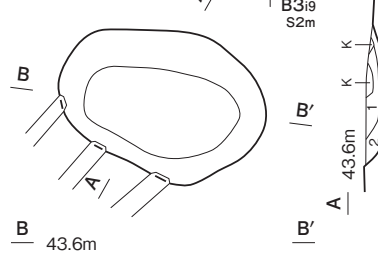


43.6m

第372号土坑土層解説

- 1 7.5YR3/1 黒褐 ローム小D・粒C、焼土粒D、炭化材D/粘B、締B
- 2 7.5YR4/4 褐 ローム大A/粘A、締B

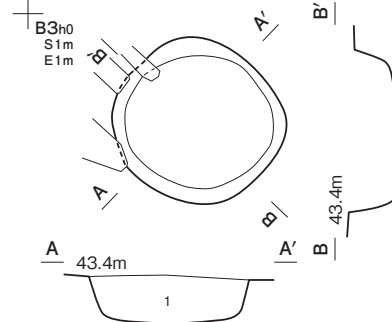
SK376



第376号土坑土層解説

- 1 7.5YR2/2 黒褐 ローム粒D、焼土粒D/粘B、締A
- 2 7.5YR3/1 黒褐 ローム粒C、焼土粒C/粘B、締A

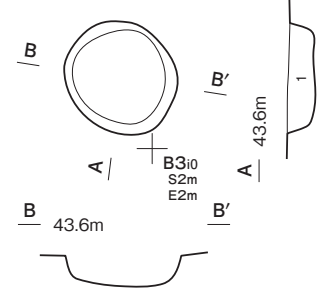
SK378



第378号土坑土層解説

- 1 7.5YR3/3 暗褐 ローム中D・小D・粒C/粘B、締B

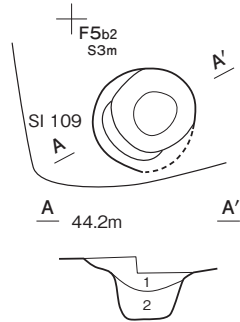
SK379



第379号土坑土層解説

- 1 7.5YR3/3 暗褐 ローム粒C、焼土粒C、炭化粒D/粘B、締A

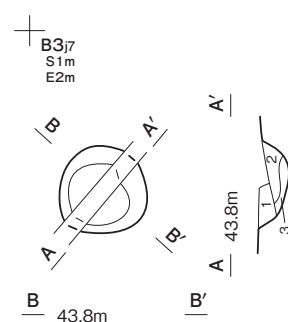
SK380



第380号土坑土層解説

- 1 10YR3/2 黒褐 ローム粒D/粘B、締C
- 2 10YR3/2 暗褐 ローム小D/粘B、締B

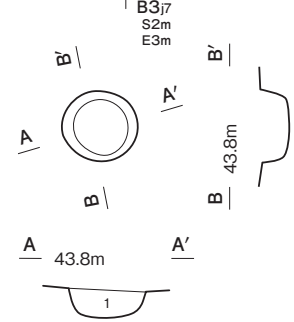
SK383



第383号土坑土層解説

- 1 7.5YR3/1 黒褐 ローム小D・粒C/粘B、締B
- 2 7.5YR4/4 褐 ローム小D・粒C、焼土粒B/粘B、締B
- 3 7.5YR3/1 黒褐 ローム粒D/粘A、締A

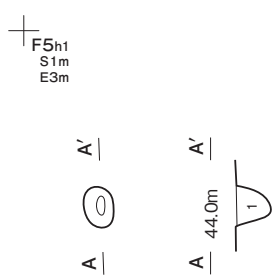
SK384



第384号土坑土層解説

- 1 7.5YR4/4 褐 ローム小C・粒B、粘土小C/粘B、締B

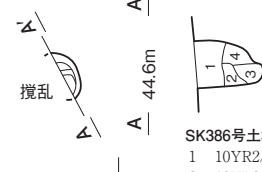
SK385



SK385号土坑土層解説

- 1 10YR4/4 褐 ローム粒B/粘B、締B

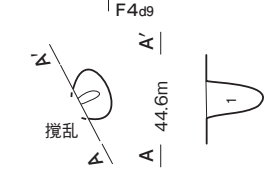
SK386



SK386号土坑土層解説

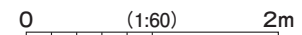
- 1 10YR2/1 黒 ローム粒D/粘B、締B
- 2 10YR2/2 黒褐 ローム粒D/粘B、締B
- 3 10YR2/3 黒褐 ローム粒C/粘B、締B
- 4 10YR3/3 暗褐 ローム小C/粘B、締B

SK387

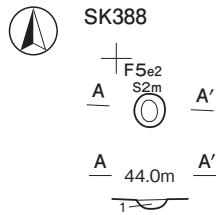


SK387土層解説

- 1 10YR2/1 黒 ローム小D/粘B、締B



第 408 図 時期不明の土坑実測図 (18)

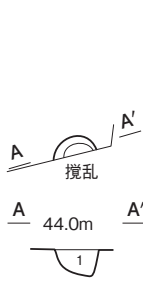


SK388

第388号土坑土層解説

- 10YR3/2 黒褐
ローム粒D、焼土粒D/
粘B、締B

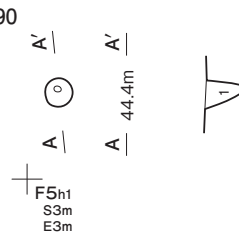
SK389



第389号土坑土層解説

- 10YR3/1 黒褐
ローム粒C/粘B、締C

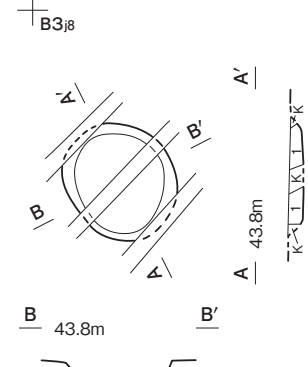
SK390



第390号土坑土層解説

- 10YR3/1 黒褐
ローム粒D/粘B、締C

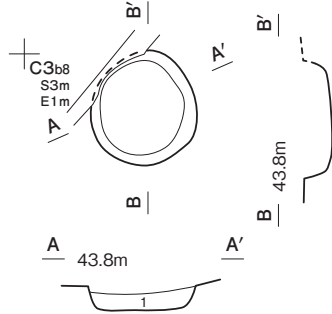
SK391



第391号土坑土層解説

- 7.5YR3/2 黒褐 ローム粒C/粘B、締A

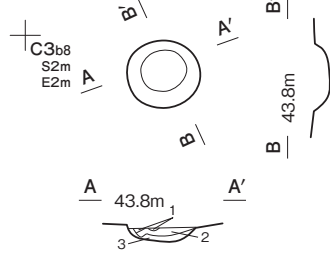
SK392



第392号土坑土層解説

- 7.5YR2/3 極暗褐 ローム小D・粒C/粘B、締B

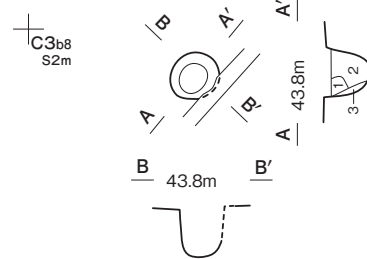
SK393



第393号土坑土層解説

- 7.5YR6/6 橙 粘土大A/粘A、締A
- 7.5YR3/2 黒褐 ローム粒C、粘土粒C/粘B、締B
- 7.5YR3/4 暗褐 ローム小C・粒B/粘A、締B

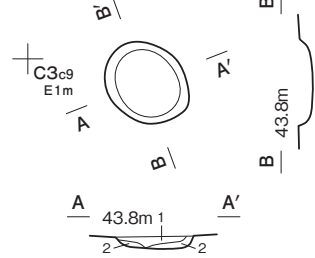
SK394



第394号土坑土層解説

- 7.5YR3/4 暗褐 ローム中B・粒B/粘B、締A
- 7.5YR3/2 黒褐 ローム粒C/粘A、締A
- 7.5YR4/4 褐 ローム小C・粒B/粘A、締B

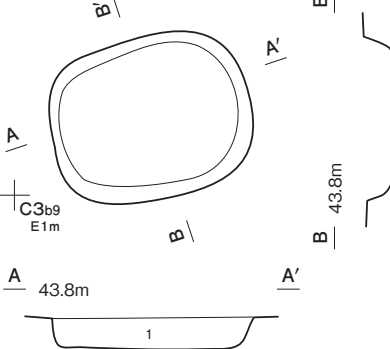
SK395



第395号土坑土層解説

- 7.5YR2/2 黒褐 ローム粒C/粘B、締A
- 7.5YR4/4 褐 ローム小C・粒B/粘A、締A

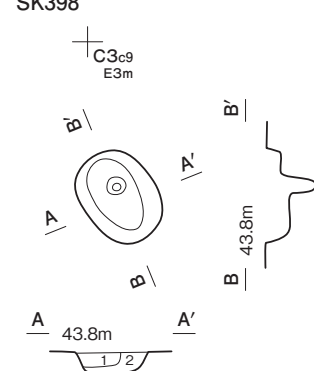
SK397



第397号土坑土層解説

- 7.5YR3/3 暗褐 ローム小C・粒C/粘B、締A

SK398

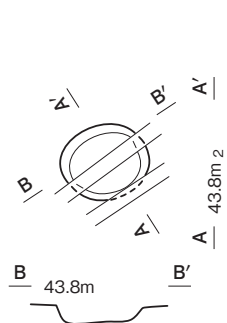


第398号土坑土層解説

- 7.5YR3/2 黒褐 ローム粒C/粘B、締A
- 7.5YR4/3 褐 ローム小D・粒B/粘A、締B

SK400

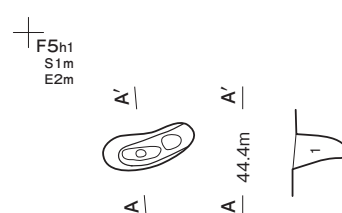
C4d1



第400号土坑土層解説

- 7.5YR3/1 黒褐 ローム小D・粒C/粘B、締B
- 7.5YR4/4 褐 ローム小C・粒B/粘A、締B

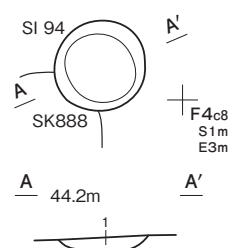
SK401



SK401土層解説

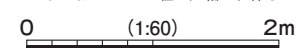
- 10YR4/2 灰黄褐 焼土粒D、炭化粒D、
粘土粒C/粘B、締C

SK402

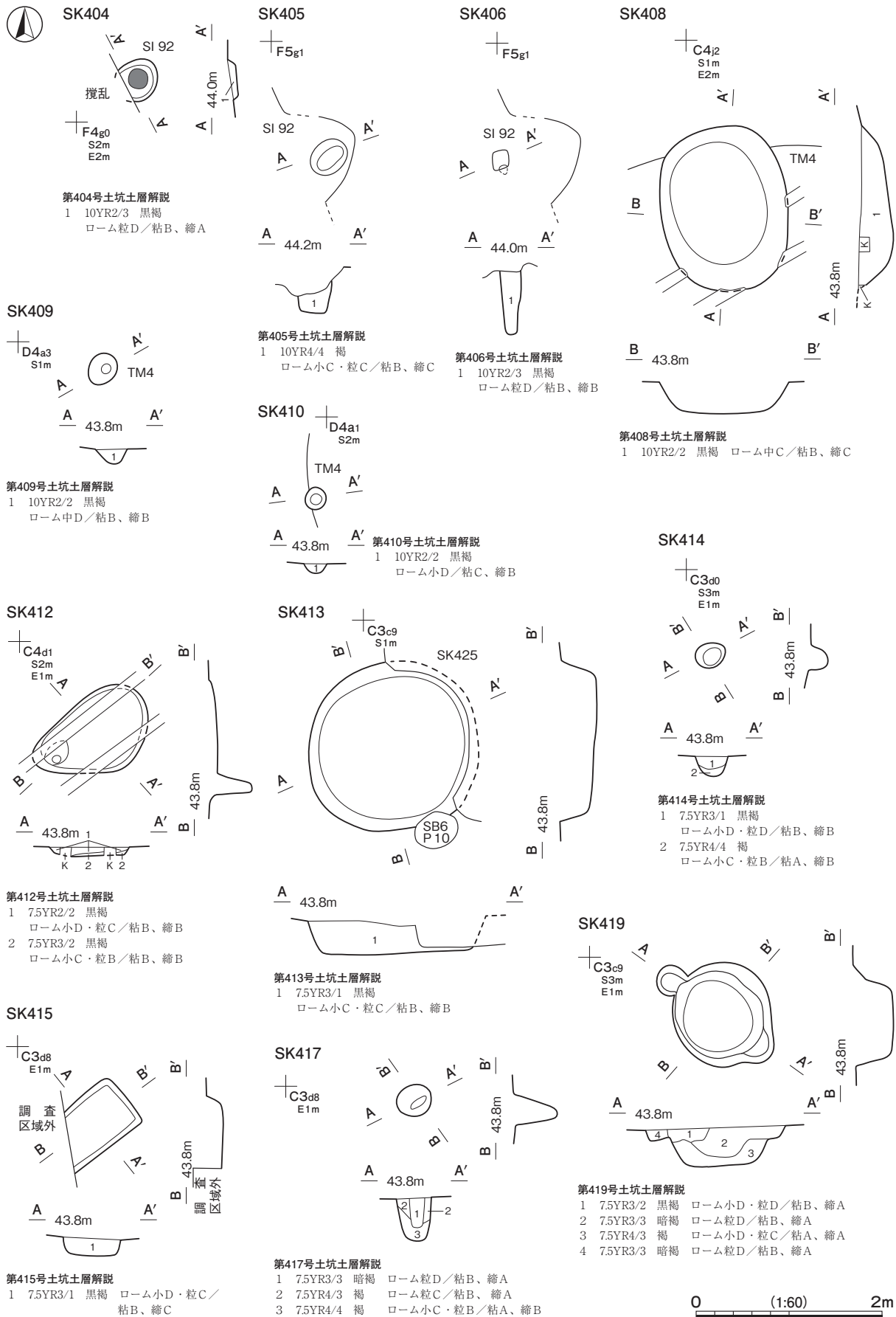


SK402土層解説

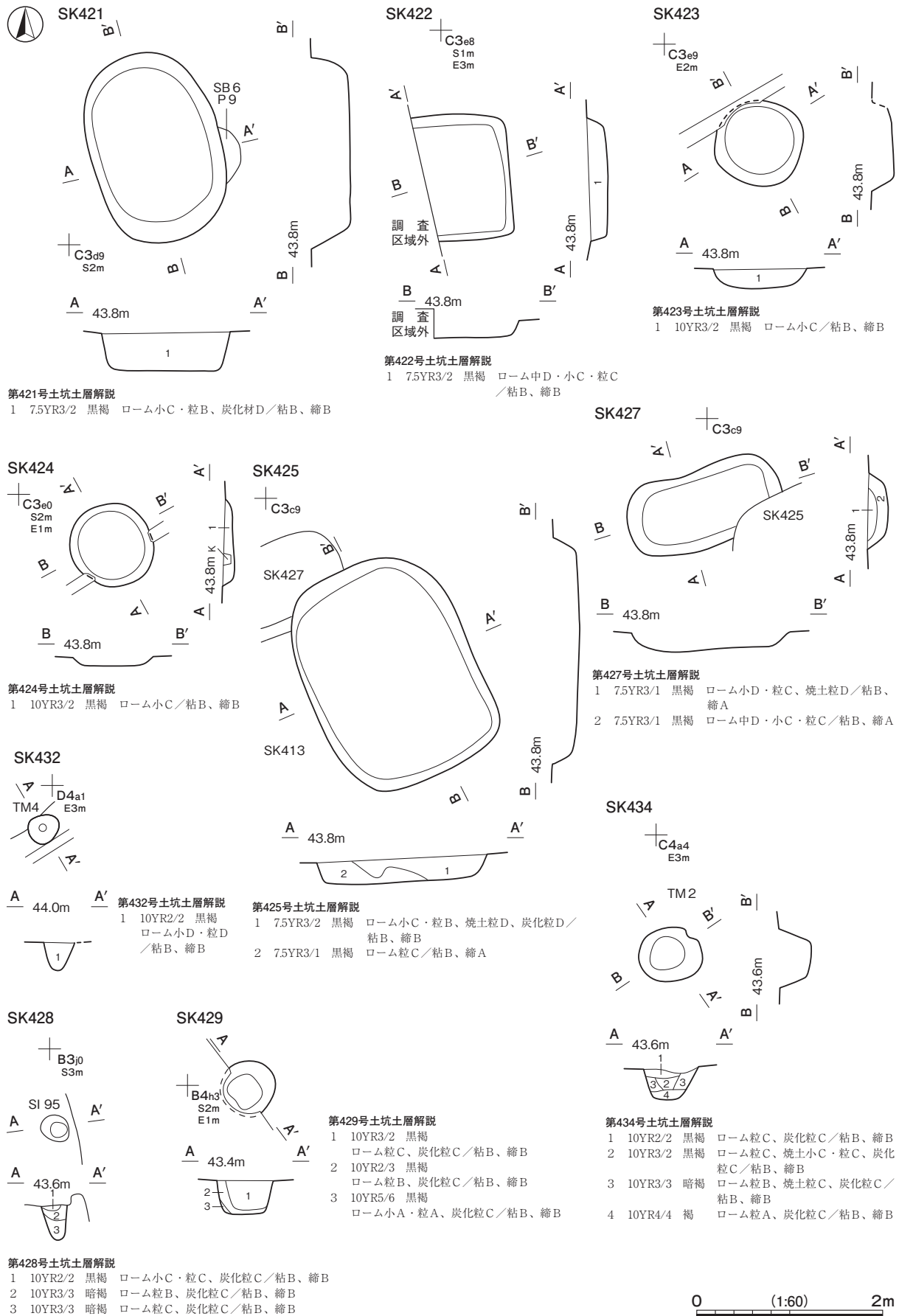
- 10YR3/2 ローム粒D/粘B、締C



第 409 図 時期不明の土坑実測図 (19)



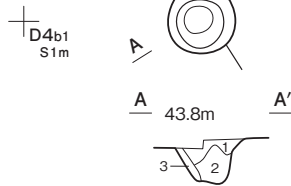
第410図 時期不明の土坑実測図(20)



第 411 図 時期不明の土坑実測図 (21)



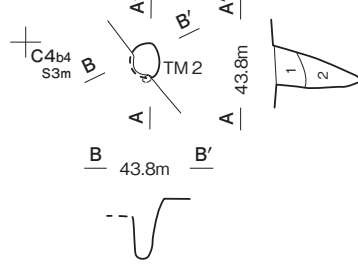
SK436



SK436号土坑土層解説

- 1 10YR2/2 黒褐 ローム小D/粘C、締B
- 2 10YR2/3 黒褐 ローム中D/粘B、締B
- 3 10YR3/3 暗褐 ローム小C/粘B、締B

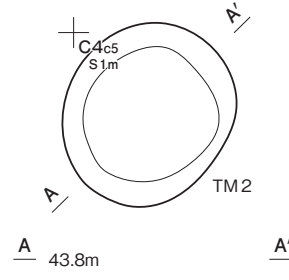
SK435



第435号土坑土層解説

- 1 10YR3/1 黒褐 ローム粒C/粘B、締B
- 2 10YR3/1 黒褐 ローム小C・粒B/粘B、締C

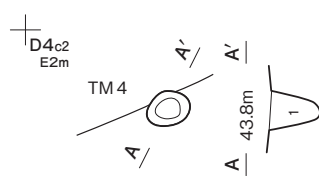
SK438



第438号土坑土層解説

- 1 10YR3/1 黒褐 ローム粒C/粘B、締B
- 2 10YR2/3 黒褐 ローム小C/粘B、締C
- 3 10YR2/3 黒褐 ローム中B/粘B、締C
- 4 10YR4/4 褐 ローム小B・粒B/粘B、締C

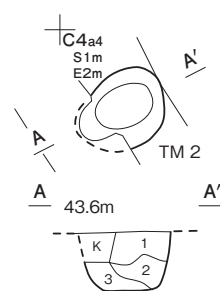
SK437



SK437号土坑土層解説

- 1 10YR2/2 黒褐 ローム小D/粘C、締B

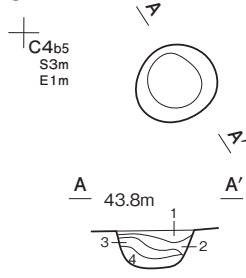
SK439



第439号土坑土層解説

- 1 10YR3/1 黒褐 ローム粒C、炭化粒D/粘B、締B
- 2 10YR2/2 黒褐 ローム粒B、炭化粒C/粘B、締B
- 3 10YR2/3 黒褐 ローム粒B、炭化粒B/粘B、締B

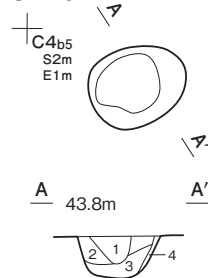
SK442



第442号土坑土層解説

- 1 10YR2/2 黒褐 ローム小D・粒D、炭化粒C/粘B、締B
- 2 10YR2/3 黒褐 ローム小D・粒C/粘B、締B
- 3 10YR2/2 黒褐 ローム小C・粒B/粘B、締A
- 4 10YR2/2 黒褐 ローム中D・小C・粒C/粘B、締B

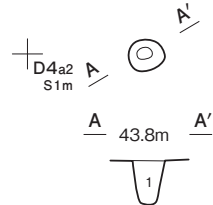
SK443



第443号土坑土層解説

- 1 10YR2/1 黒 ローム粒C、炭化粒D/粘B、締C
- 2 10YR3/1 黒褐 ローム粒B、炭化粒B/粘B、締C
- 3 10YR3/4 暗褐 ローム小C・粒A、炭化粒D/粘B、締B
- 4 10YR3/2 黒褐 ローム粒B/粘B、締C

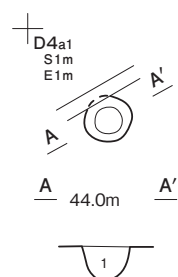
SK446



第446号土坑土層解説

- 1 10YR2/3 黒褐 ローム粒D/粘B、締C

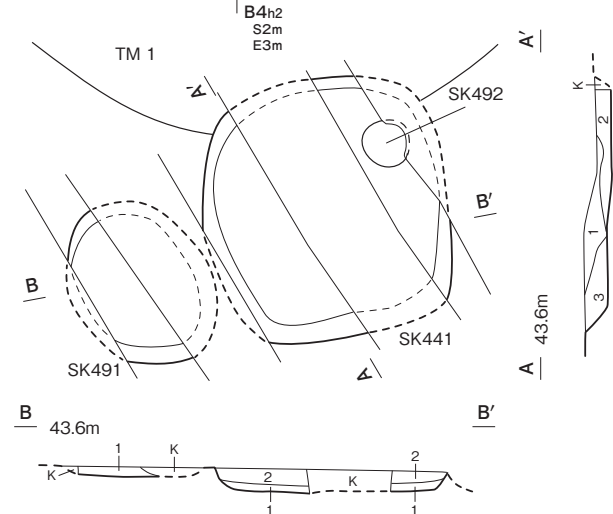
SK450



第450号土坑土層解説

- 1 10YR2/2 黒褐 ローム中D/粘B、締B

SK441・491



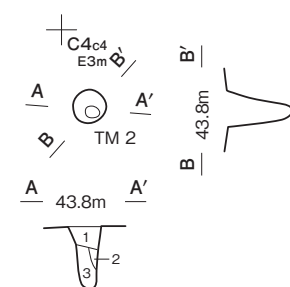
第441号土坑土層解説

- 1 10YR2/1 黒褐 ローム粒D/粘B、締B
- 2 10YR3/1 黒褐 ローム小B・粒B/粘B、締C
- 3 10YR2/1 黒褐 ローム粒C/粘B、締B

第491号土坑土層解説

- 1 10YR2/2 黒褐 ローム粒B/粘B、締B

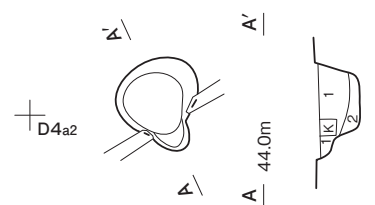
SK444



第444号土坑土層解説

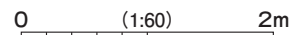
- 1 10YR3/1 黒褐 ローム小C・粒C/粘B、締B
- 2 10YR2/2 黒褐 ローム粒C、炭化粒C/粘B、締C
- 3 10YR3/1 黒褐 ローム小D・粒B/粘B、締C

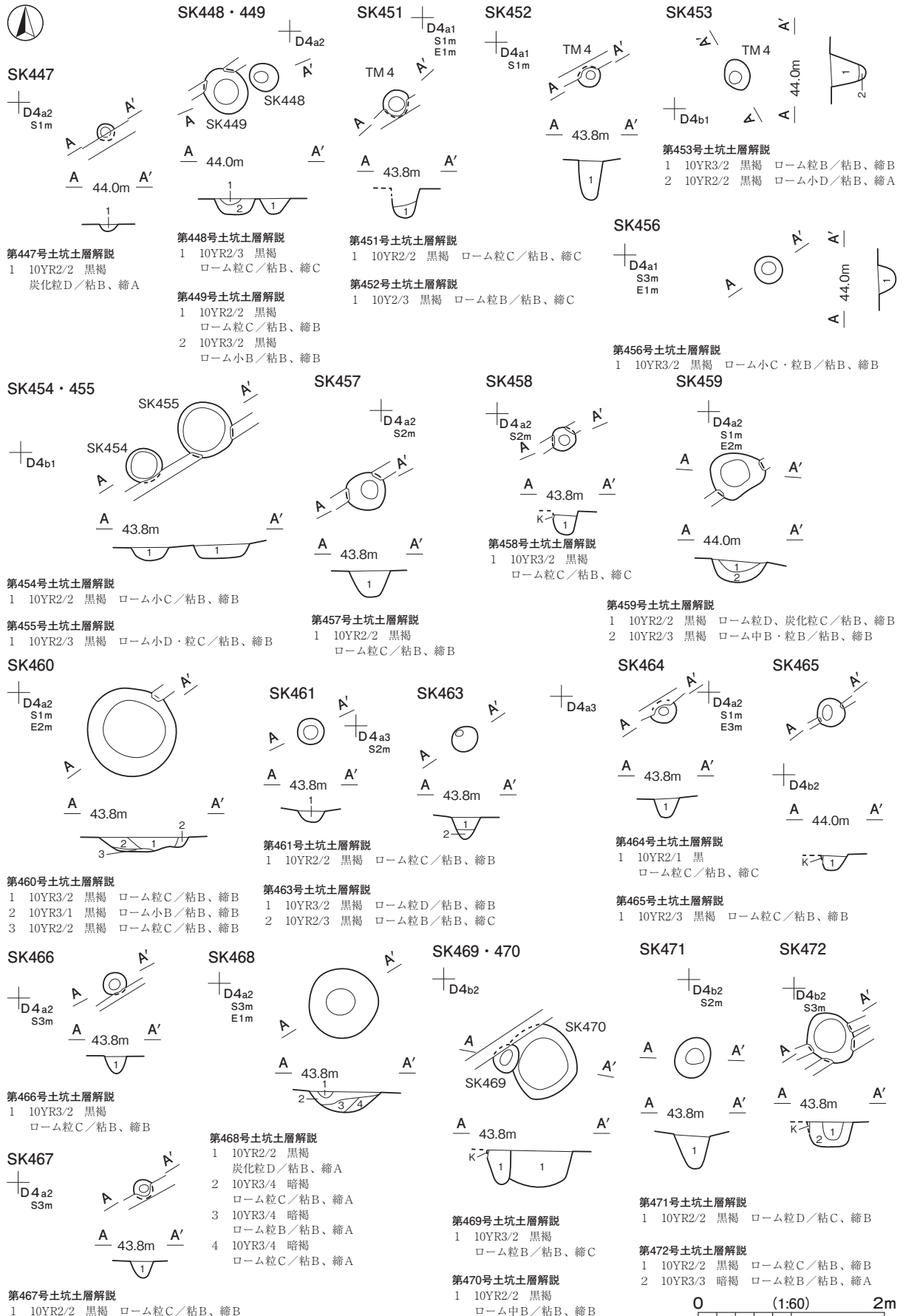
SK445



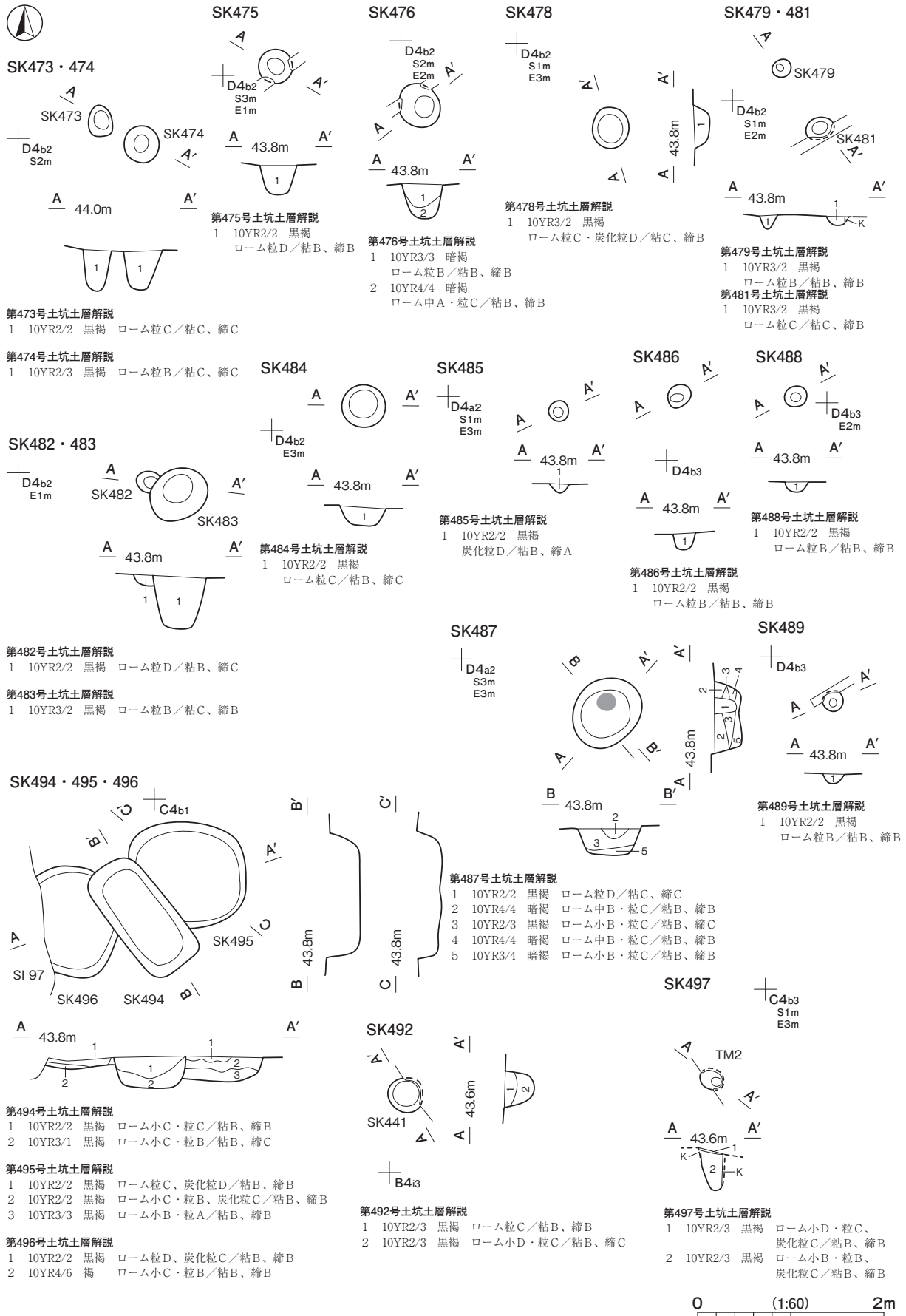
第445号土坑土層解説

- 1 10YR2/2 黒褐 ローム中B・粒C、炭化粒C/粘B、締B
- 2 10YR2/3 黒褐 ローム中C・粒B/粘B、締B

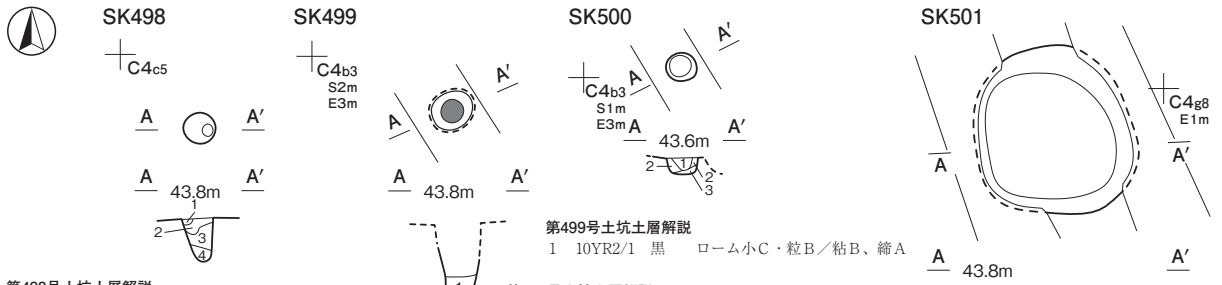




第 413 図 時期不明の土坑実測図 (23)



第414図 時期不明の土坑実測図 (24)



第498号土坑土層解説

- 1 10YR5/6 黄褐 ローム粒A/粘B、縮B
- 2 10YR2/2 黒褐 ローム粒C/粘B、縮B
- 3 10YR2/2 黒 ローム粒C/粘B、縮C
- 4 10YR2/3 褐 ローム小B・粒B/粘B、縮B

第499号土坑土層解説

- 1 10YR2/1 黒 ローム小C・粒B/粘B、縮A

第500号土坑土層解説

- 1 10YR2/2 黒褐 ローム粒C/粘B、縮B
- 2 10YR2/2 黒褐 ローム小D・粒C/粘B、縮B
- 3 10YR2/2 黒褐 ローム小B・粒B/粘B、縮A

第501号土坑土層解説

- 1 10YR2/2 黒褐 ローム粒D、炭化粒C/粘B、縮B
- 2 10YR3/4 暗褐 ローム小D・粒C、炭化粒C/粘B、縮B
- 3 10YR4/6 褐 ローム小C・粒B、炭化粒C/粘B、縮B

SK502



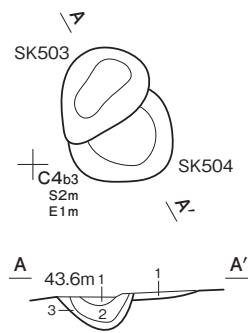
第503号土坑土層解説

- 1 10YR2/2 黒褐 ローム小C・粒B、炭化粒D/粘B、縮B
- 2 10YR2/2 黒褐 ローム小C・粒B、炭化粒C/粘B、縮B
- 3 10YR3/4 暗褐 ローム小B・粒B/粘B、縮B

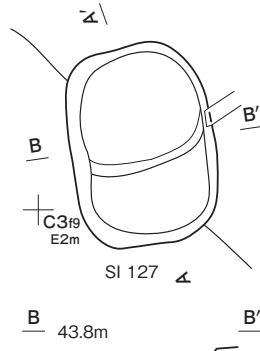
第504号土坑土層解説

- 1 10YR2/2 黒褐 ローム粒B、炭化物C・粒C/粘B、縮B

SK503・504



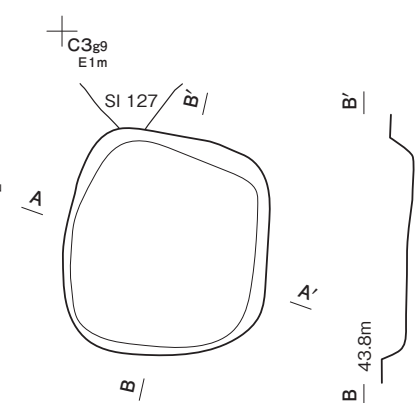
SK507



第507号土坑土層解説

- 1 10YR2/2 黒褐 ローム中C・小C・粒B、炭化粒C/粘B、縮B
- 2 10YR2/2 黒褐 ローム粒B、焼土粒C/粘B、縮B
- 3 10YR3/4 暗褐 ローム小B・粒B、焼土粒C/粘B、縮B

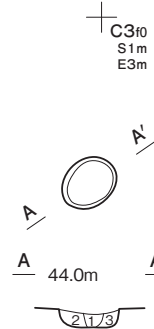
SK508



第508号土坑土層解説

- 1 10YR2/2 黒褐 ローム小C・粒B、焼土粒C/粘B、縮B
- 2 10YR3/1 黒褐 ローム中C・小B・粒A、焼土粒C/粘B、縮B

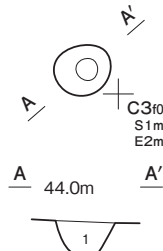
SK513



SK513土層解説

- 1 10YR2/2 黒褐 ローム粒C、炭化粒C/粘B、縮B
- 2 10YR2/2 黒褐 ローム粒B、炭化粒D/粘B、縮B
- 3 10YR2/2 黒褐 ローム小C・粒C/粘B、縮B

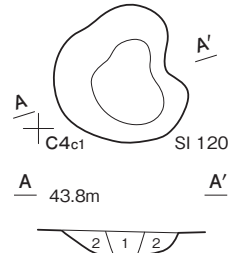
SK514



第514号土坑土層解説

- 1 10YR3/1 黒褐 ローム粒B/粘B、縮B

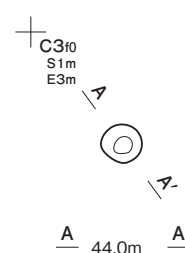
SK510



第510号土坑土層解説

- 1 10YR2/2 黒褐 ローム小C・粒C、炭化粒C/粘B、縮B
- 2 10YR2/2 黒褐 ローム小C・粒B、炭化粒B/粘B、縮B

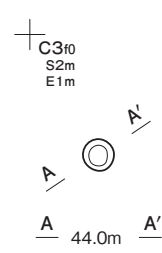
SK512



第512号土坑土層解説

- 1 10YR2/2 黒褐 ローム小C・粒C、炭化粒C/粘B、縮B

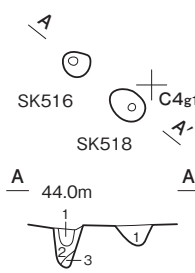
SK515



第515号土坑土層解説

- 1 10YR2/2 黒褐 ローム小C/粘B、縮B
- 2 10YR2/3 黒褐 ローム小B・粒C/粘B、縮C

SK516・518

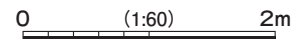


第516号土坑土層解説

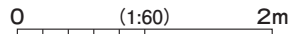
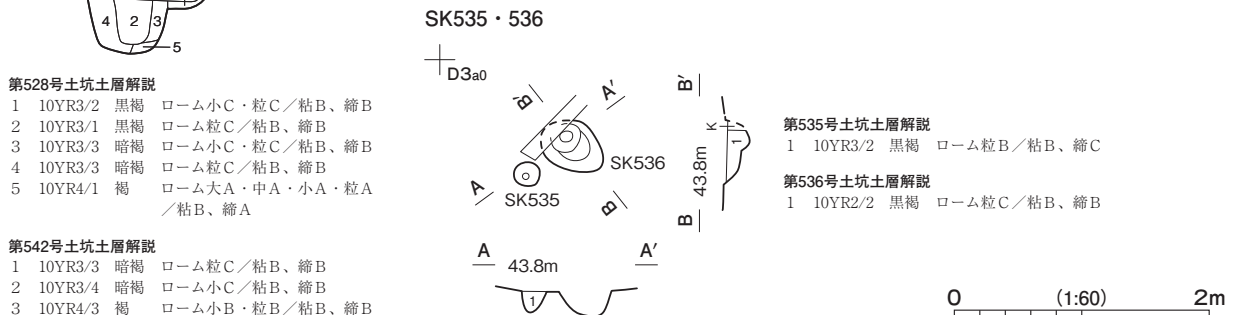
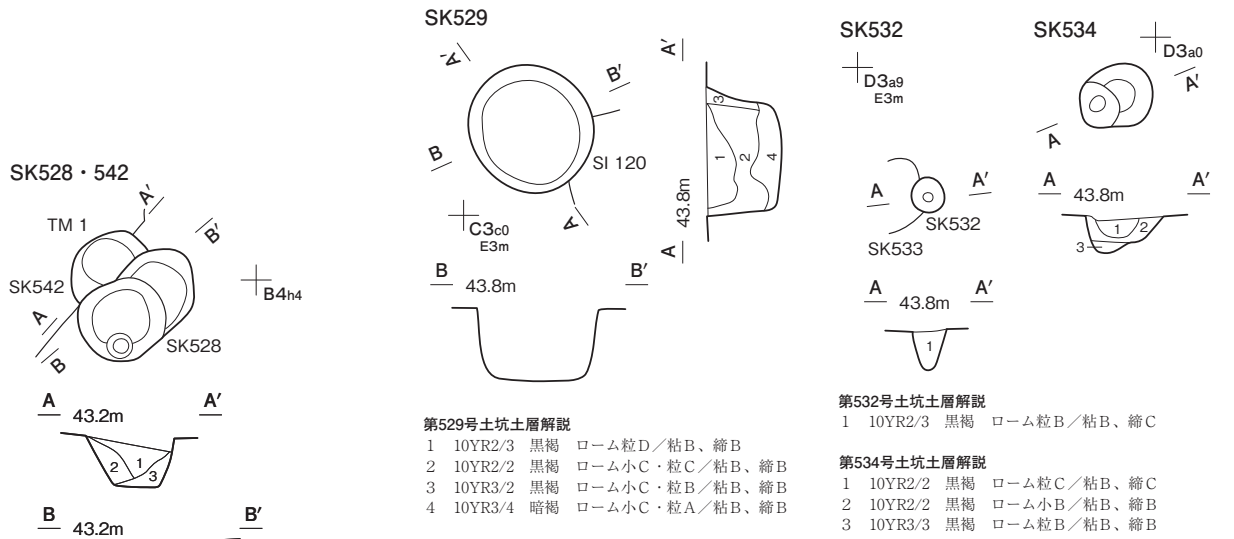
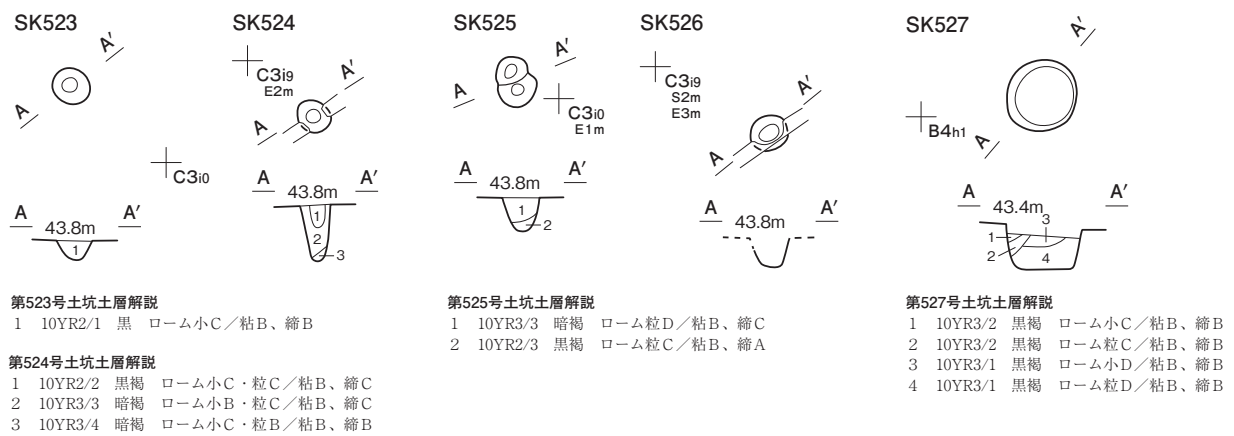
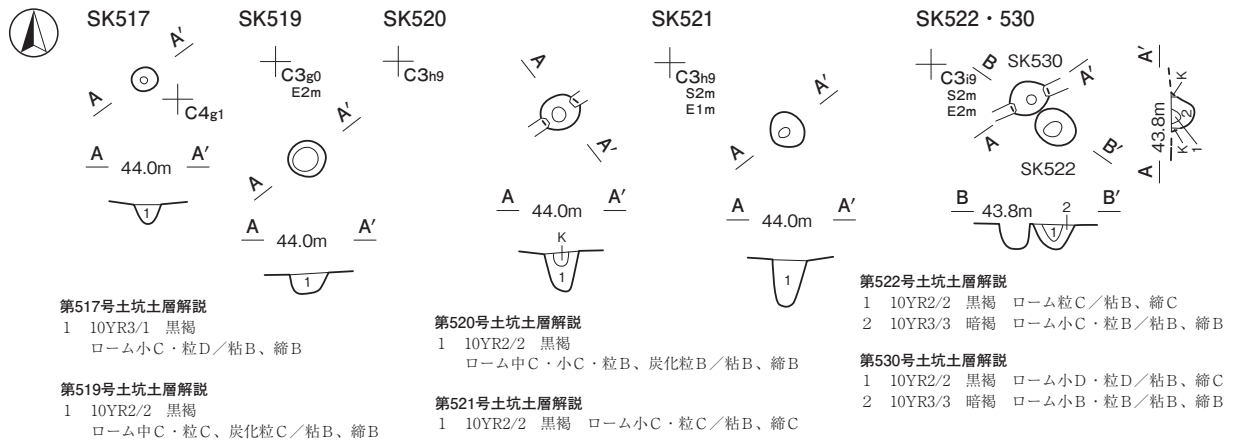
- 1 10YR4/4 褐 ローム粒A、炭化粒C/粘B、縮B
- 2 10YR2/1 黒 ローム粒C/粘B、縮C
- 3 10YR2/1 黒 ローム中C・粒B/粘B、縮C

第518号土坑土層解説

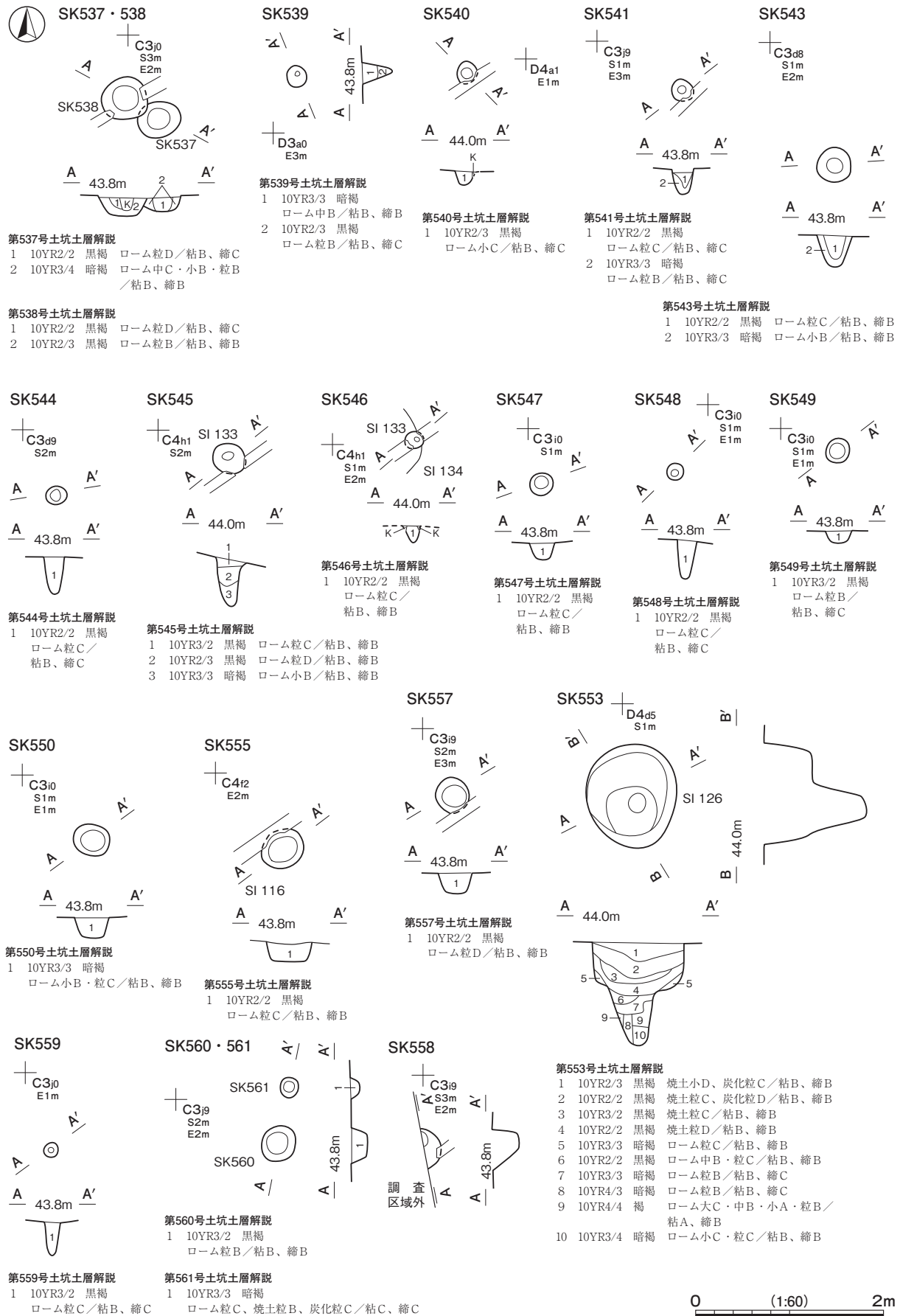
- 1 10YR3/1 黒褐 ローム小D・粒C、炭化粒C/粘B、縮B



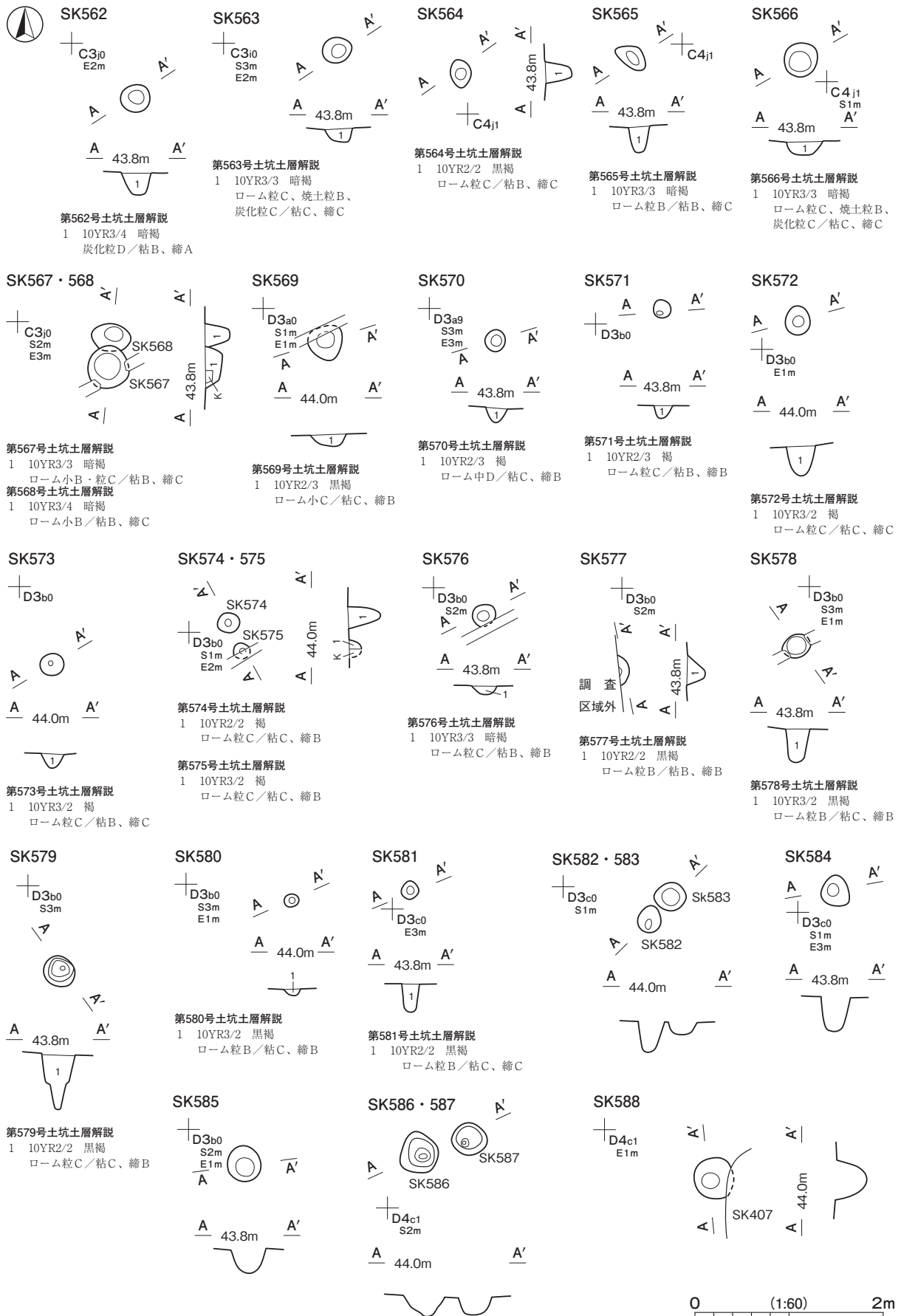
第 415 図 時期不明の土坑実測図 (25)



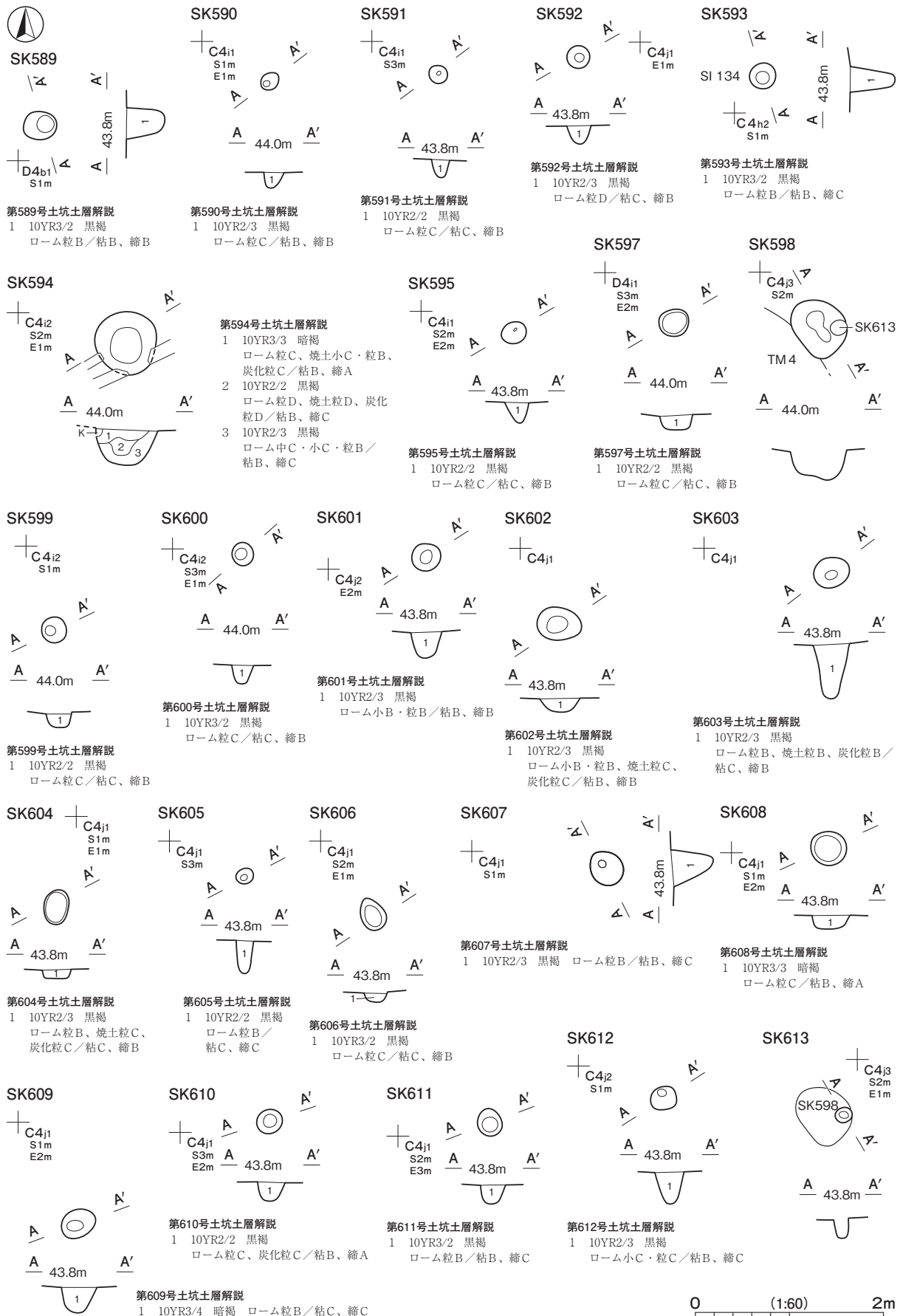
第416図 時期不明の土坑実測図 (26)



第 417 図 時期不明の土坑実測図 (27)



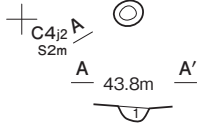
第418図 時期不明の土坑実測図(28)



第 419 図 時期不明の土坑実測図 (29)



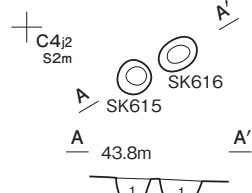
SK614



第614号土坑土層解説

- 1 10YR2/2 黒褐
ローム粒D、焼土粒D/
粘B、縮A

SK615・616



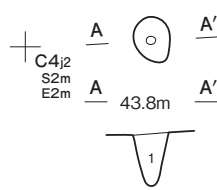
第615号土坑土層解説

- 1 10YR3/2 黒褐
焼土粒B/粘B、縮C

第616号土坑土層解説

- 1 10YR3/2 黒褐
ローム粒D、焼土粒D/
粘C、縮B

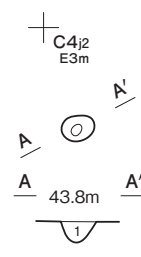
SK617



第617号土坑土層解説

- 1 10YR2/2 黒褐
ローム粒C/粘C、縮C

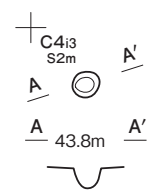
SK618



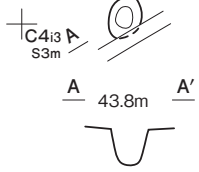
第618号土坑土層解説

- 1 10YR3/2 黒褐
ローム粒B/粘B、縮C

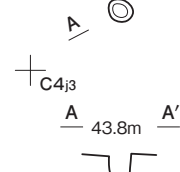
SK619



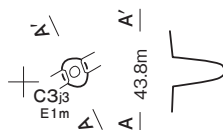
SK620



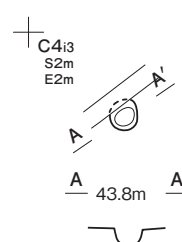
SK621



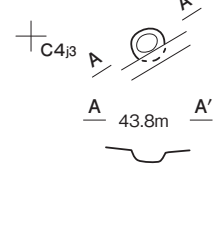
SK622



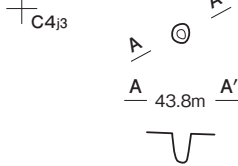
SK623



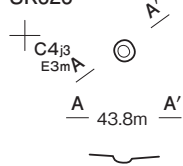
SK624



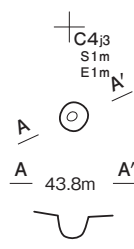
SK625



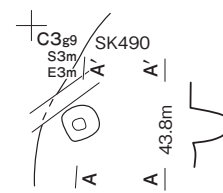
SK626



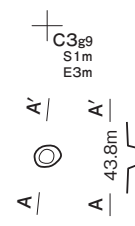
SK627



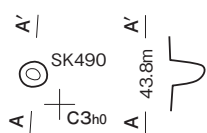
SK646



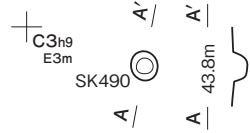
SK643



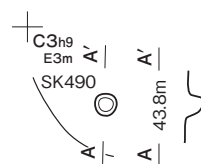
SK648



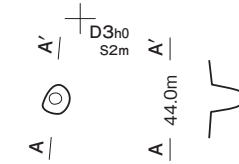
SK649



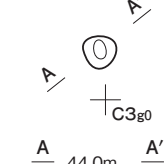
SK650



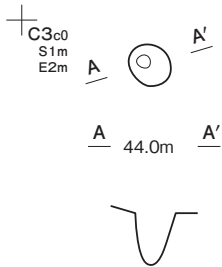
SK651



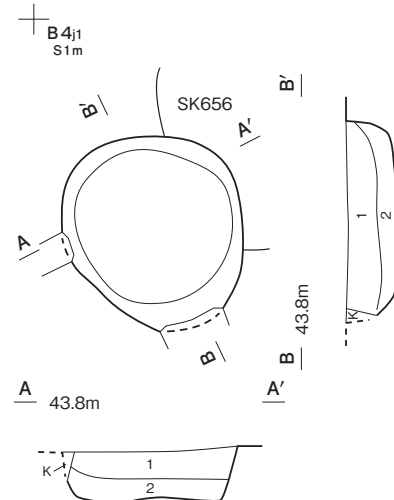
SK653



SK659



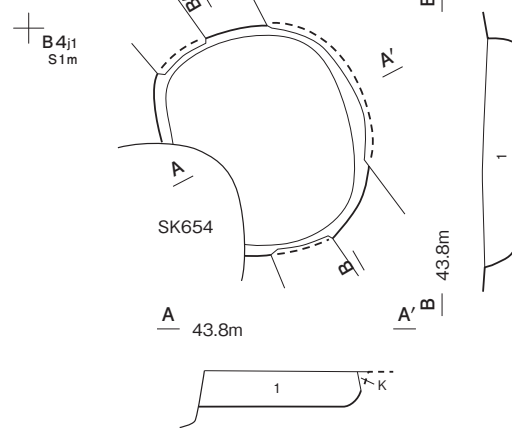
SK654



第654号土坑土層解説

- 1 10YR2/2 黒褐 ローム粒C/粘B、縮B
- 2 10YR3/3 暗褐 ローム粒C/粘B、縮B

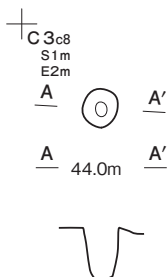
SK656



第656号土坑土層解説

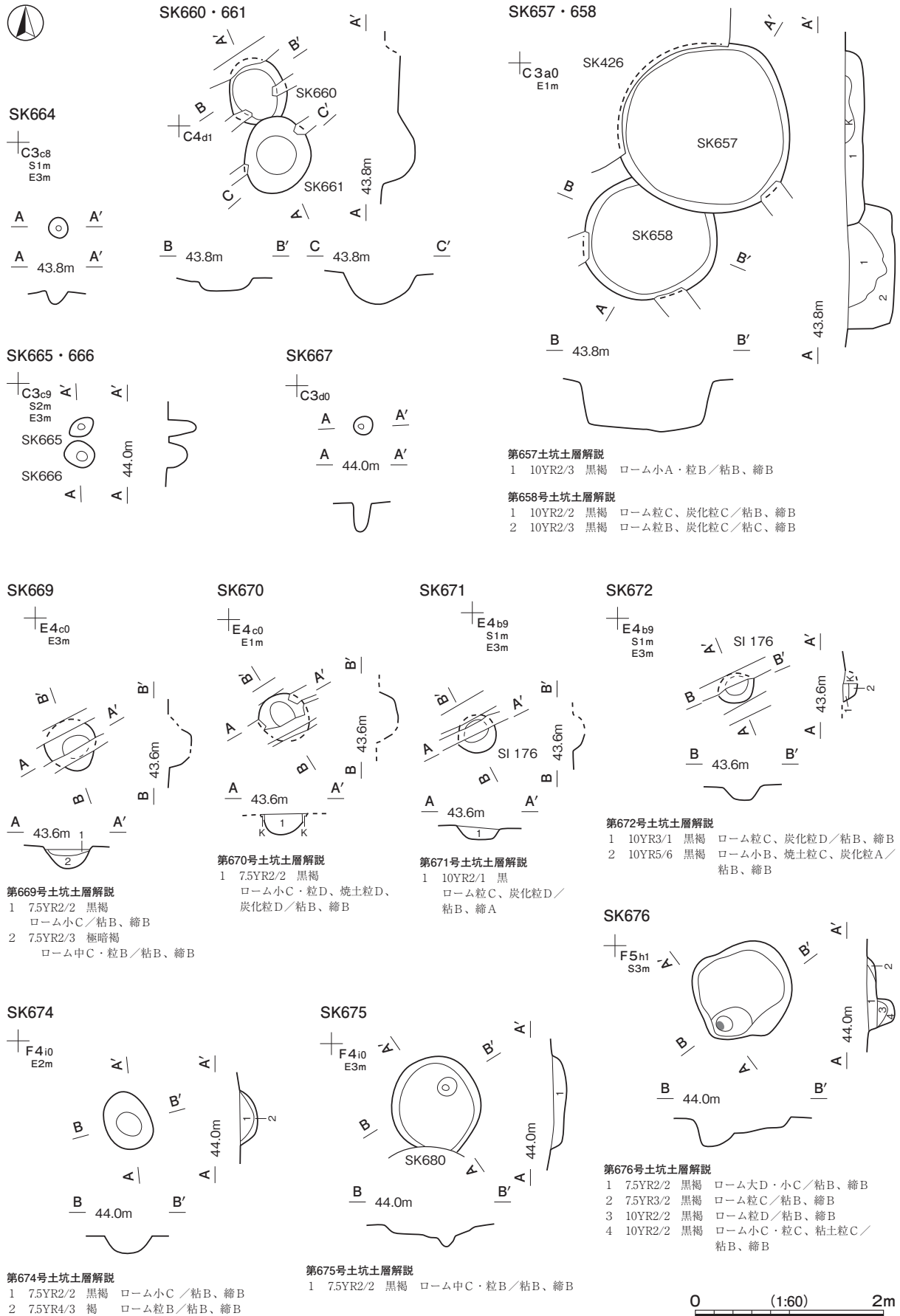
- 1 10YR2/3 黒褐 ローム小B・粒B/粘B、縮B

SK663

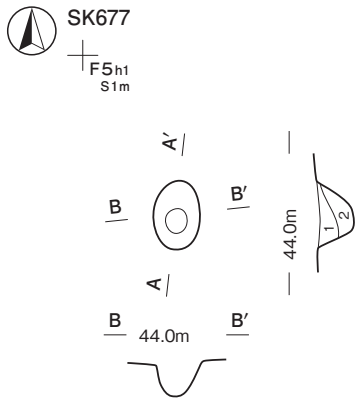


0 (1:60) 2m

第420図 時期不明の土坑実測図 (30)

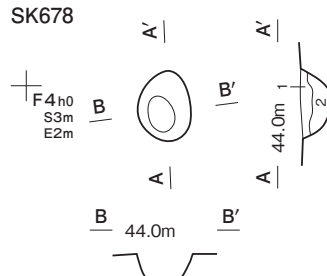


第 421 図 時期不明の土坑実測図 (31)



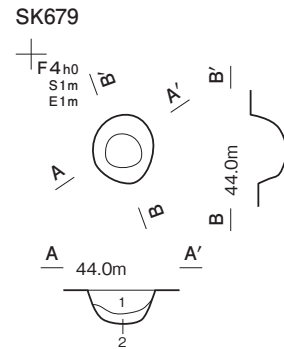
第677号土坑土層解説

- 1 7.5YR3/1 黒褐 ローム粒C/粘B、締B
- 2 7.5YR3/3 暗褐 ローム小D・粒D/粘B、締B



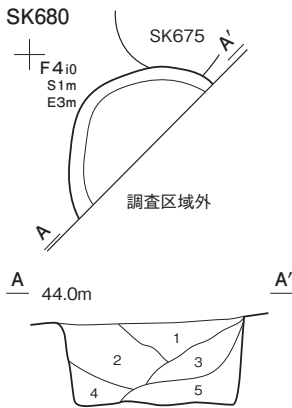
第678号土坑土層解説

- 1 7.5YR2/2 黒褐 ローム小D/粘B、締B
- 2 7.5YR2/3 黒褐 ローム粒C/粘B、締B



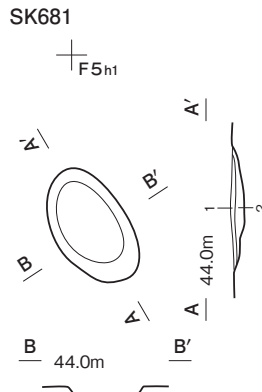
第679号土坑土層解説

- 1 7.5YR2/2 黒褐 ローム小D/粘B、締B
- 2 7.5YR3/3 暗褐 ローム粒C/粘B、締B



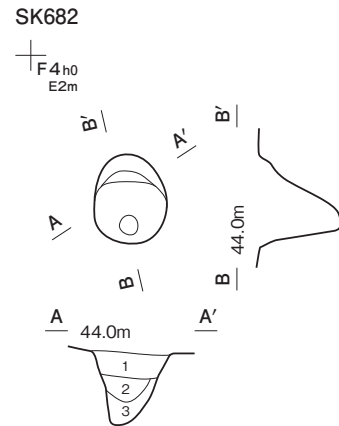
第680号土坑土層解説

- 1 7.5YR2/2 黒褐 ローム小D・粒D/粘B、締B
- 2 7.5YR3/2 黒褐 ローム中D・粒C/粘B、締B
- 3 7.5YR2/1 黒褐 ローム小C/粘B、締B
- 4 7.5YR2/2 黒褐 ローム中D・粒C、炭化粒D/粘B、締B
- 5 7.5YR3/1 黒褐 ローム大D・粒C/粘B、締B



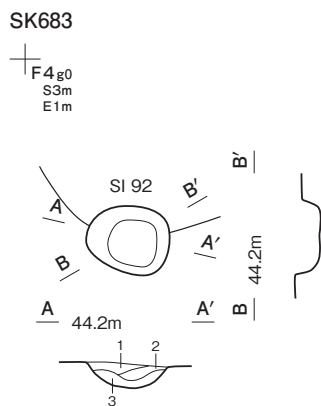
第681号土坑土層解説

- 1 7.5YR2/2 黒褐 ローム小C/粘B、締B
- 2 7.5YR3/4 暗褐 ローム粒C/粘B、締B



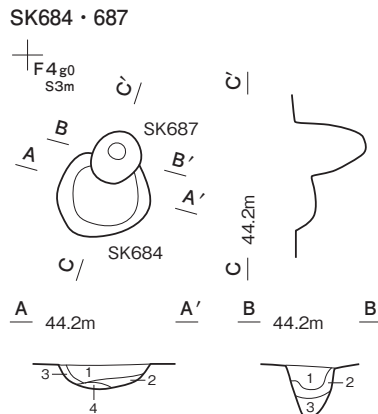
第682号土坑土層解説

- 1 7.5YR2/2 黒褐 ローム小C/粘B、締B
- 2 7.5YR2/1 黒褐 ローム粒D、炭化粒D/粘B、締B
- 3 7.5YR3/1 黒褐 ローム粒C/粘B、締B



第683号土坑土層解説

- 1 7.5YR2/2 黒褐 ローム小C/粘B、締B
- 2 7.5YR3/2 黒褐 ローム粒C/粘B、締B
- 3 7.5YR3/3 暗褐 ローム粒C/粘B、締B

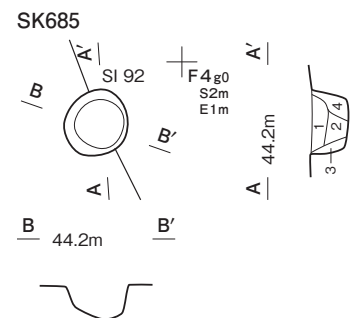


第684号土坑土層解説

- 1 7.5YR2/2 黒褐 ローム小C/粘B、締B
- 2 7.5YR3/2 黒褐 ローム中C、炭化粒D/粘B、締B
- 3 7.5YR3/4 暗褐 ローム粒C/粘B、締B
- 4 7.5YR2/3 暗褐 ローム小C/粘B、締B

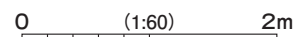
第687号土坑土層解説

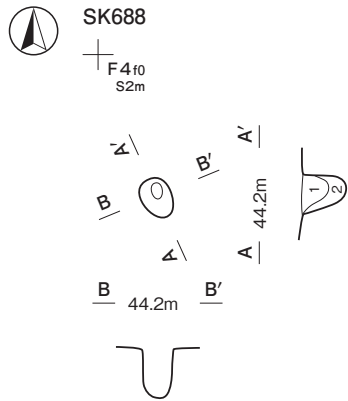
- 1 10YR3/1 黒褐 ローム小D・粒C/粘B、締B
- 2 10YR3/1 黒褐 ローム小D・粒D/粘B、締B
- 3 10YR3/2 黒褐 ローム小C・粒C/粘B、締B



第685号土坑土層解説

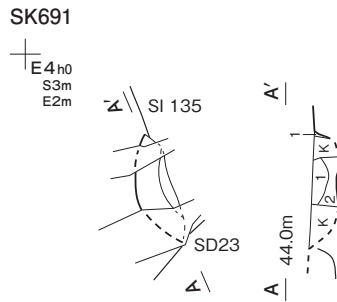
- 1 7.5YR2/2 黒褐 ローム小C/粘B、締B
- 2 7.5YR3/2 黒褐 ローム粒C/粘B、締B
- 3 7.5YR4/4 褐 ローム粒B/粘B、締B
- 4 7.5YR3/4 暗褐 ローム小C/粘B、締B





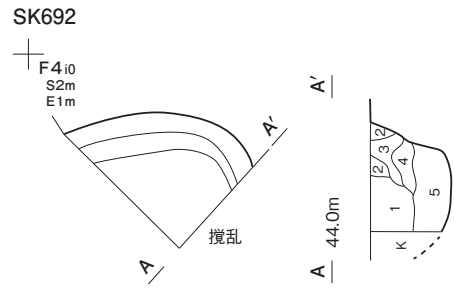
第688号土坑土層解説

- 1 7.5YR2/2 黒褐 ローム小C／粘B、締B
- 2 7.5YR3/1 黒褐 ローム粒B／粘B、締B



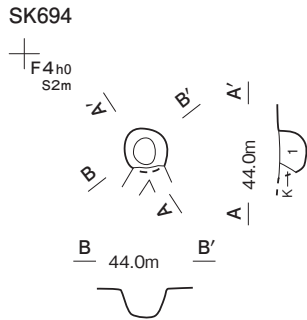
第691号土坑土層解説

- 1 10YR2/2 黒褐 ローム小D・粒C、炭化粒D／粘B、締B
- 2 10YR2/3 黒褐 ローム粒B、炭化粒C／粘B、締B



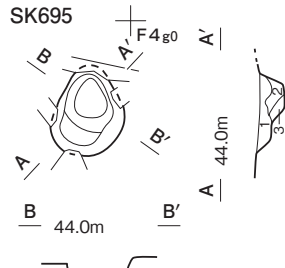
第692号土坑土層解説

- 1 10YR3/1 黒褐 ローム小D・粒C、炭化粒D／粘B、締B
- 2 10YR3/1 黒褐 ローム小C・粒B／粘B、締B
- 3 10YR3/1 黒褐 ローム小B・粒A、炭化粒C／粘B、締B
- 4 10YR2/1 黒 ローム小D・粒C／粘B、締B
- 5 10YR2/2 黒褐 ローム中B・小C・粒B、焼土粒C／粘B、締B



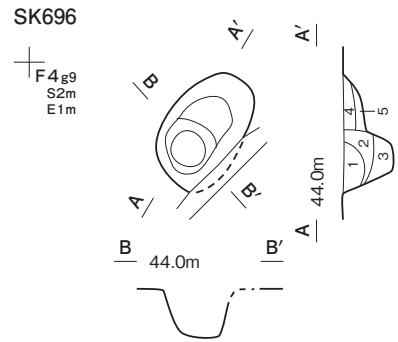
第694号土坑土層解説

- 1 10YR2/3 黒褐 ローム粒D／粘B、締B



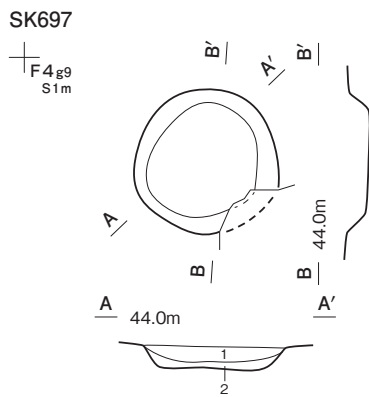
第695号土坑土層解説

- 1 10YR2/3 黒褐 ローム粒D／粘B、締B
- 2 10YR3/2 黒褐 ローム小C／粘B、締B
- 3 10YR3/3 暗褐 ローム小B／粘B、締B



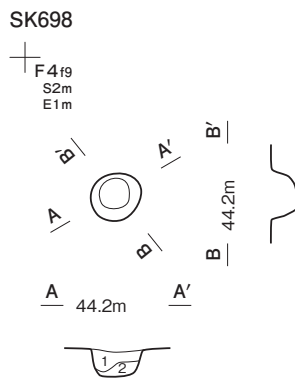
第696号土坑土層解説

- 1 7.5YR2/2 黒褐 ローム粒C／粘B、締B
- 2 7.5YR3/1 黒褐 ローム小C・粒D／粘B、締B
- 3 7.5YR3/2 黒褐 ローム小D・粒C／粘B、締B
- 4 7.5YR2/1 黒 ローム粒C／粘B、締B
- 5 7.5YR3/3 暗褐 ローム粒B、赤色粒子D／粘B、締B



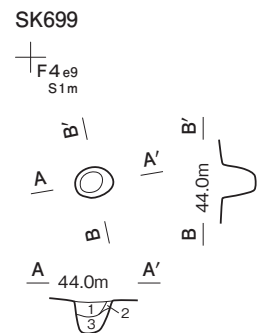
第697号土坑土層解説

- 1 7.5YR2/1 黒 ローム粒C、赤色ブロック小D／粘B、締B
- 2 7.5YR3/1 黒褐 ローム中D・粒C／粘B、締B



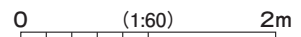
第698号土坑土層解説

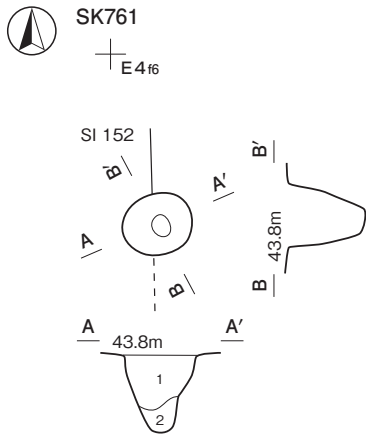
- 1 7.5YR2/1 黒 ローム小C／粘B、締B
- 2 7.5YR3/1 黒褐 ローム粒C／粘B、締B



第699号土坑土層解説

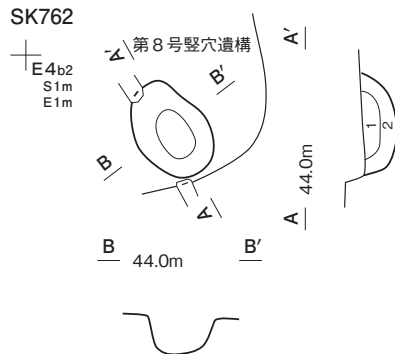
- 1 7.5YR2/1 黒褐 ローム小C／粘B、締B
- 2 7.5YR2/2 黒褐 ローム粒D／粘B、締B
- 3 7.5YR3/1 黒褐 ローム中D・粒C／粘B、締B





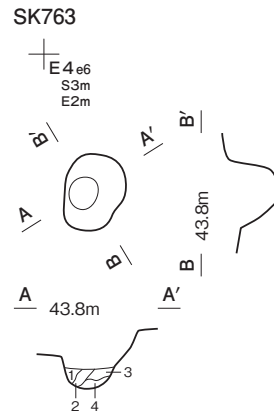
第761号土坑土層解説

- 1 10YR2/2 黒褐 ローム小C・粒C/粘B、縮A
- 2 10YR3/1 黒褐 ローム中D・粒C/粘B、縮B



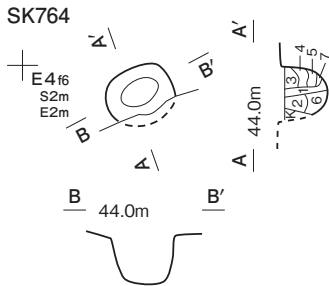
第762号土坑土層解説

- 1 10YR2/1 黒 ローム小D・粒C/粘B、縮B
- 2 10YR2/3 黒褐 ローム中C・小C・粒C/粘B、縮B



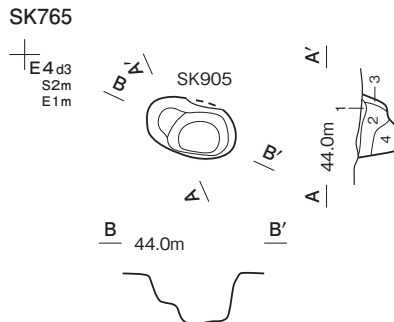
第763号土坑土層解説

- 1 10YR2/1 黒 ローム小C/粘B、縮B
- 2 10YR3/3 暗褐 ローム中C・粒C/粘B、縮B
- 3 10YR2/1 黒 ローム粒D/粘B、縮B
- 4 10YR2/3 黒褐 ローム小C・粒C/粘B、縮B



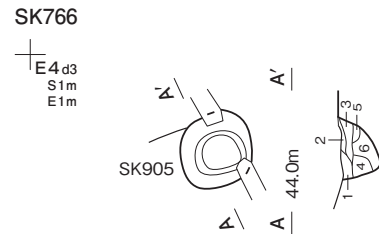
第764号土坑土層解説

- 1 10YR3/1 黒褐 ローム粒D/粘B、縮B
- 2 10YR3/1 黒褐 ローム小D/粘B、縮B
- 3 10YR3/1 黒褐 ローム小C/粘B、縮B
- 4 10YR3/2 黒褐 ローム粒C/粘B、縮B
- 5 10YR2/1 黒 ローム小D・粒C/粘B、縮B
- 6 10YR2/2 黒褐 ローム小C・粒C/粘B、縮B
- 7 10YR3/1 黒褐 ローム粒B/粘B、縮B



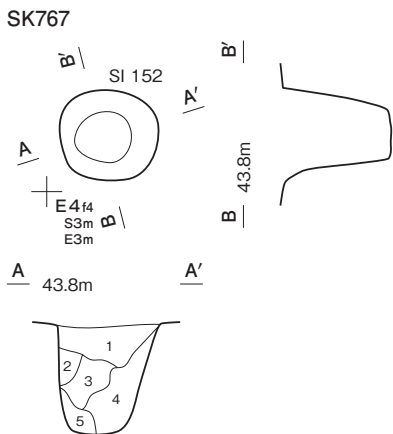
第765号土坑土層解説

- 1 10YR3/2 黒褐 ローム小C、焼土粒D/粘B、縮B
- 2 10YR2/1 黒褐 ローム中D・粒C/粘B、縮B
- 3 10YR4/4 褐 ローム粒B/粘B、縮B
- 4 10YR3/3 暗褐 ローム小C・粒C/粘B、縮B



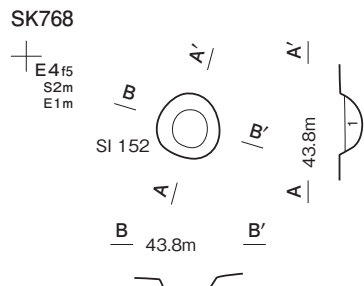
第766号土坑土層解説

- 1 10YR2/2 黒褐 ローム粒C/粘B、縮B
- 2 10YR3/3 暗褐 ローム小C/粘B、縮B
- 3 10YR2/3 黒褐 ローム小C・粒C/粘B、縮B
- 4 10YR3/2 黒褐 ローム中C・粒D/粘B、縮B
- 5 10YR2/1 黒 ローム粒D/粘B、縮B
- 6 10YR2/2 黒褐 ローム小D/粘B、縮B



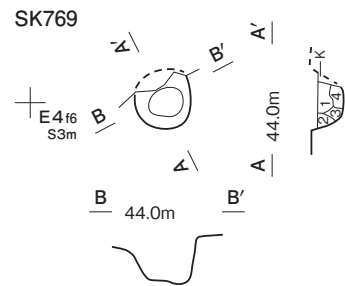
第767号土坑土層解説

- 1 10YR2/2 黒褐 ローム大D・粒D/粘B、縮B
- 2 10YR3/3 暗褐 ローム小C・粒C/粘B、縮B
- 3 10YR3/2 黒褐 ローム中D・粒C/粘B、縮B
- 4 10YR3/4 暗褐 ローム粒C/粘B、縮B
- 5 10YR4/3 ぶい貴褐 ローム粒C/粘B、縮B



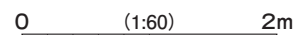
第768号土坑土層解説

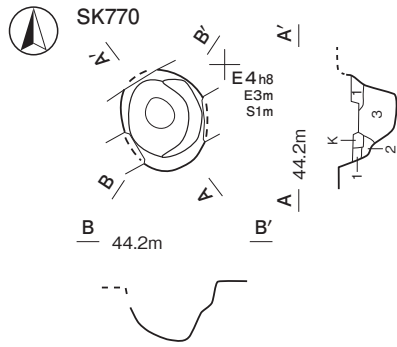
- 1 10YR3/1 黒褐 ローム粒C/粘B、縮B



第769号土坑土層解説

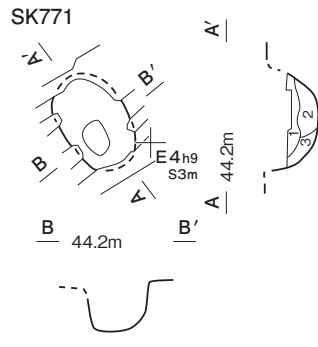
- 1 10YR2/2 黒褐 ローム粒C/粘B、縮B
- 2 10YR3/4 暗褐 ローム中D・粒C/粘B、縮B
- 3 10YR2/1 黒 ローム粒C、粘土中D/粘B、縮B
- 4 10YR3/3 暗褐 ローム中D・小C・粒B/粘B、縮B





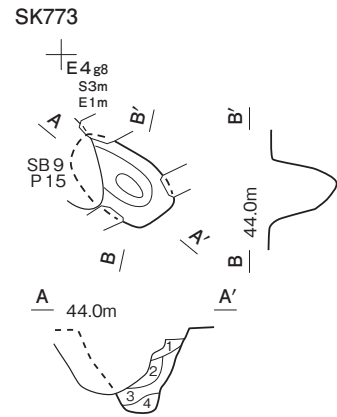
第770号土坑土層解説

- 1 10YR3/3 暗褐 ローム中D・小C・粒C/
粘B、縮B
- 2 10YR4/4 褐 ローム粒B/粘B、縮B
- 3 10YR2/3 黒褐 ローム大D・中D・小C・
粒C/粘B、縮B



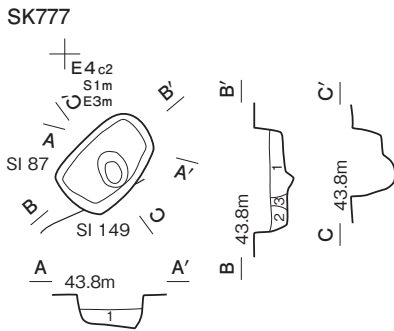
第771号土坑土層解説

- 1 10YR2/2 黒褐 ローム中D・小C・粒C/
粘B、縮B
- 2 10YR3/3 暗褐 ローム大C・中C・小C・
粒C/粘B、縮B
- 3 10YR4/4 褐 ローム粒B/粘B、縮B



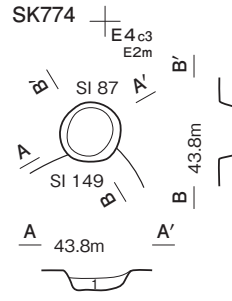
第773号土坑土層解説

- 1 10YR2/3 黒褐 ローム小C・粒C/粘B、縮B
- 2 10YR2/3 黒褐 ローム小D・粒B/粘B、縮B
- 3 10YR2/2 黒褐 ローム粒D/粘B、縮B
- 4 10YR2/2 黒褐 ローム粒C/粘B、縮B



第777号土坑土層解説

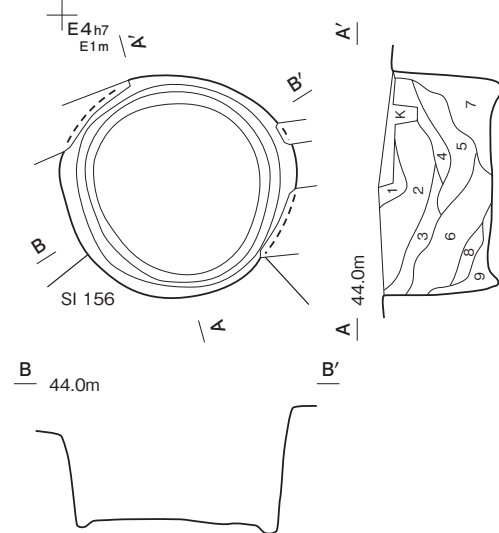
- 1 10YR2/2 黒褐 ローム小C・粒C/粘B、縮B
- 2 10YR3/2 黒褐 ローム小D/粘B、縮B
- 3 10YR3/4 暗褐 ローム粒C/粘B、縮B



第774号土坑土層解説

- 1 10YR2/3 黒褐 ローム粒C/粘B、縮B

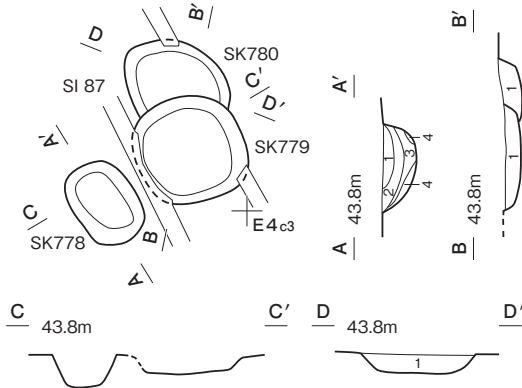
SK781



第781号土坑土層解説

- 1 10YR3/1 黒褐 ローム小D、粘土中D/粘B、縮B
- 2 10YR2/1 黒 ローム粒D/粘B、縮B
- 3 10YR2/2 黒褐 ローム粒C/粘B、縮B
- 4 10YR3/2 黒褐 ローム小D・粒C/粘B、縮B
- 5 10YR2/1 黒 ローム大D・粒C/粘B、縮B
- 6 10YR3/3 暗褐 ローム小D・粒C/粘B、縮B
- 7 10YR3/4 暗褐 ローム中C・小C・粒D/粘B、縮B
- 8 10YR3/1 黒褐 ローム中D・小D/粘B、縮B
- 9 10YR3/4 暗褐 ローム中D・粒C/粘B、縮B

SK778・779・780



第778号土坑土層解説

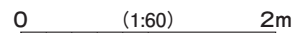
- 1 10YR3/2 黒褐 ローム中D・小C/粘B、縮B
- 2 10YR2/3 黒褐 ローム小C・粒C/粘B、縮B
- 3 10YR2/1 黒 ローム粒C/粘B、縮B
- 4 10YR4/4 褐 ローム粒B/粘B、縮B

第779号土坑土層解説

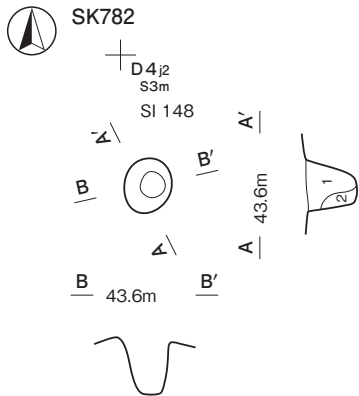
- 1 10YR3/1 黒褐 ローム中D・小C/粘B、縮B

第780号土坑土層解説

- 1 10YR2/1 黒 ローム小C・粒C/粘B、縮B

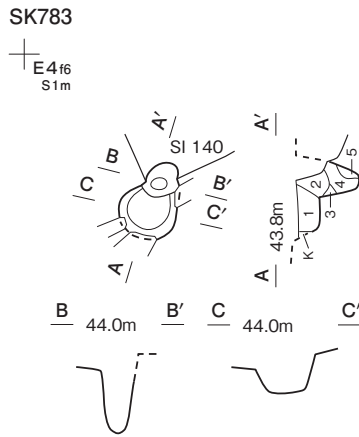


第 425 図 時期不明の土坑実測図 (35)



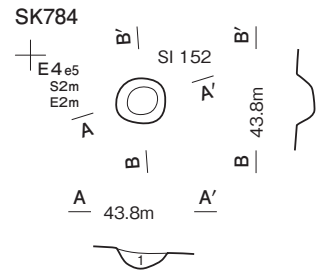
第782号土坑土層解説

- 1 10YR2/2 黒褐 ローム中D・小C・粒C/粘B、締B
- 2 10YR3/3 暗褐 ローム中D・粒C/粘B、締B



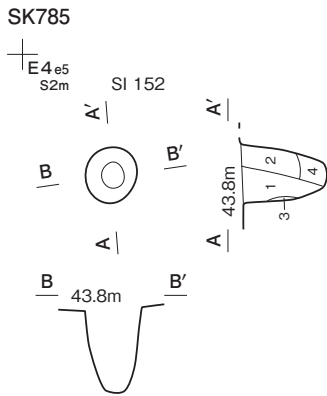
第783号土坑土層解説

- 1 10YR2/2 黒褐 ローム小C・粒C、炭化物D/粘B、締B
- 2 10YR3/2 黒褐 ローム粒D/粘B、締B
- 3 10YR4/4 褐 ローム粒B/粘B、締B
- 4 10YR2/2 黒褐 ローム粒C/粘B、締B
- 5 10YR3/3 暗褐 ローム中D・粒C/粘B、締B



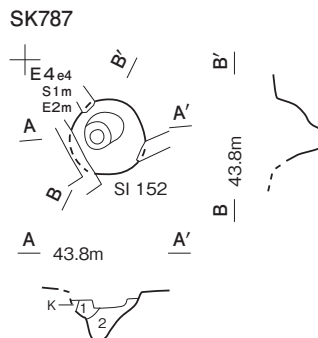
第784号土坑土層解説

- 1 10YR2/3 黒褐 ローム中D・粒C/粘B、締B



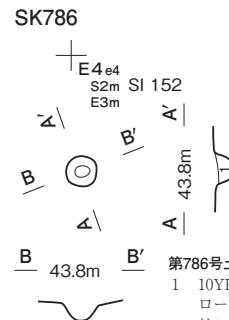
第785号土坑土層解説

- 1 10YR3/1 黒褐 ローム粒D/粘B、締B
- 2 10YR3/3 暗褐 ローム粒C/粘B、締B
- 3 10YR3/4 暗褐 ローム小C・粒C/粘B、締B
- 4 10YR2/2 黒褐 ローム小C・粒D/粘B、締B



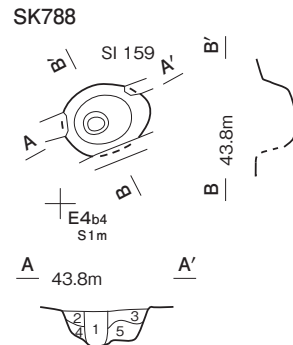
第787号土坑土層解説

- 1 10YR2/3 黒褐 ローム小C/粘B、締B
- 2 10YR3/4 暗褐 ローム粒B/粘B、締B



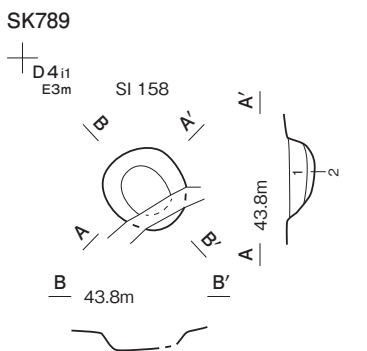
第786号土坑土層解説

- 1 10YR2/2 黒褐 ローム小C・粒D/粘B、締B



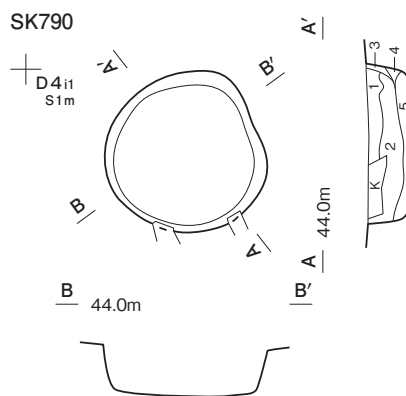
第788号土坑土層解説

- 1 10YR2/2 黒褐 ローム小C・粒C/粘B、締B
- 2 10YR2/3 黒褐 ローム小D・粒C/粘B、締B
- 3 10YR3/2 黒褐 ローム中D・粒C/粘B、締B
- 4 10YR3/4 暗褐 ローム小C・粒B/粘B、締B
- 5 10YR3/3 暗褐 ローム小C・粒C/粘B、締B



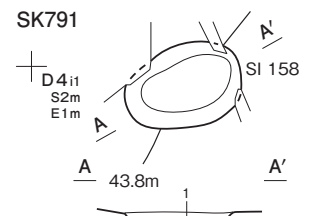
第789号土坑土層解説

- 1 10YR2/2 黒褐 ローム小C/粘B、締B
- 2 10YR4/4 褐 ローム中D・粒C/粘B、締B



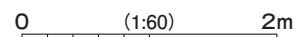
第790号土坑土層解説

- 1 10YR2/3 黒褐 ローム中C・小C・粒C/粘B、締B
- 2 10YR2/1 黒 ローム小C/粘B、締B
- 3 10YR4/4 褐 ローム粒B/粘B、締B
- 4 10YR3/3 暗褐 ローム小C/粘B、締B
- 5 10YR2/2 黒褐 ローム小C/粘B、締B

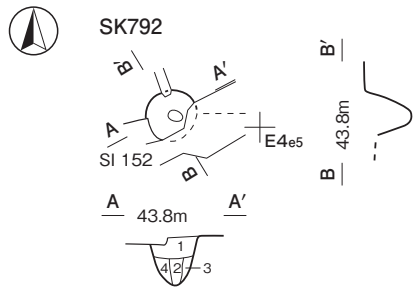


第791号土坑土層解説

- 1 10YR2/2 黒褐 ローム大D・粒C/粘B、締B

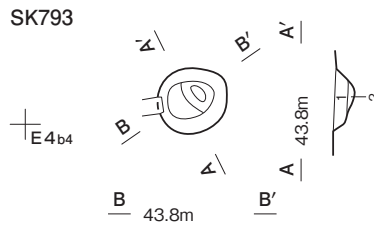


第426図 時期不明の土坑実測図 (36)



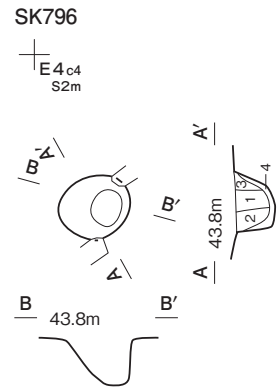
第792号土坑土層解説

- 1 10YR2/2 黒褐 ローム中D・小B・粒B/粘B、締B
- 2 10YR2/1 黒 ローム中D・粒B/粘B、締B
- 3 10YR2/1 黒 ローム粒D/粘B、締B
- 4 10YR4/4 褐 ローム中D・小C・粒A/粘B、締B



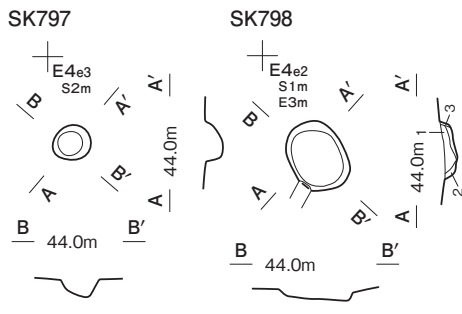
第793号土坑土層解説

- 1 10YR2/2 黒褐 ローム小C・粒C/粘B、締B
- 2 10YR4/4 褐 ローム小C・粒B/粘B、締B



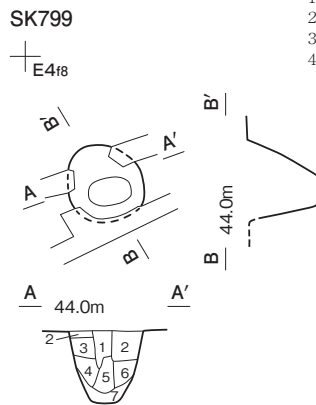
第796号土坑土層解説

- 1 10YR2/3 黒褐 ローム小C・粒C/粘B、締B
- 2 10YR3/1 黒褐 ローム中C・小B・粒C/粘B、締B
- 3 10YR2/2 黒褐 ローム小B・粒B/粘B、締B
- 4 10YR3/4 暗褐 ローム小B・粒A/粘B、締B



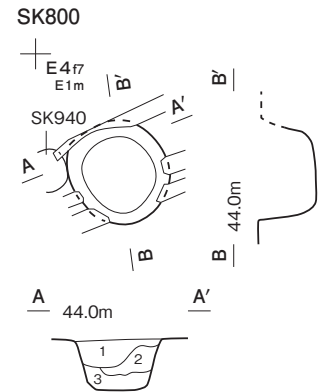
第798号土坑土層解説

- 1 10YR2/3 黒褐 ローム粒C/粘B、締B
- 2 10YR3/3 暗褐 ローム小D・粒B/粘B、締B
- 3 10YR3/4 暗褐 ローム小B・粒B/粘B、締B



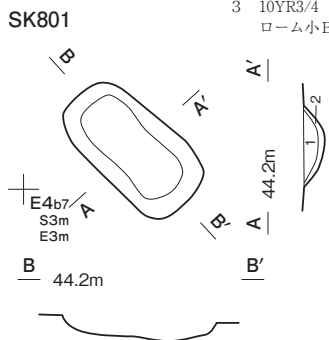
第799号土坑土層解説

- 1 10YR2/2 黒褐 ローム小C・粒C/粘B、締B
- 2 10YR2/1 黒褐 ローム小C・粒B/粘B、締B
- 3 10YR2/1 黒 ローム中D・粒C/粘B、締B
- 4 10YR2/1 黒 ローム小C・粒C/粘B、締B
- 5 10YR2/2 黒褐 ローム粒D/粘B、締C
- 6 10YR2/2 黒褐 ローム中D・粒D/粘B、締B
- 7 10YR2/1 黒 ローム小C・粒C/粘B、締B



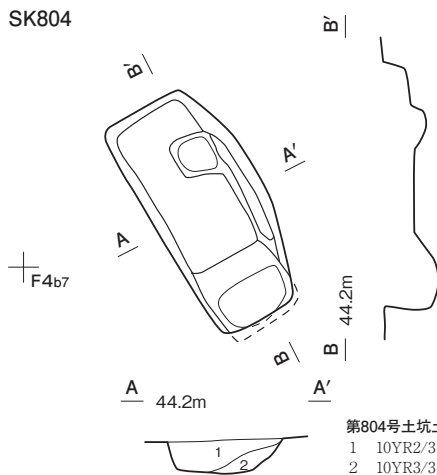
第800号土坑土層解説

- 1 10YR3/3 暗褐 ローム中C・小C・粒B/粘B、締C
- 2 10YR2/2 黒褐 ローム中D・小C・粒C/粘B、締B
- 3 10YR3/2 黒褐 ローム中C・小B・粒B/粘B、締B



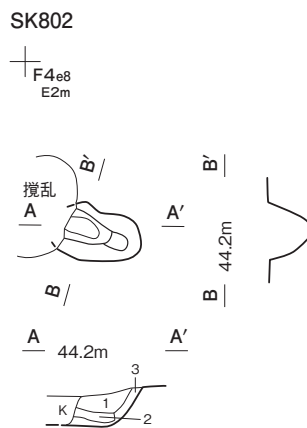
第801号土坑土層解説

- 1 7.5YR2/1 黒 ローム粒D、炭化粒D/粘B、締B
- 2 7.5YR2/3 極暗褐 ローム小C/粘B、締B



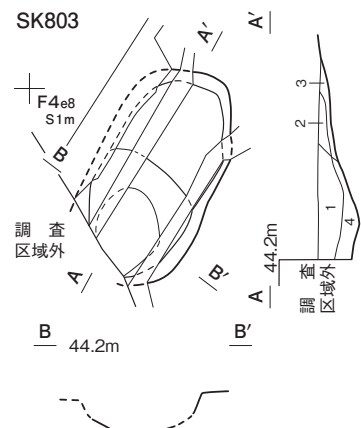
第804号土坑土層解説

- 1 10YR2/3 黒褐 ローム小C・粒C、炭化物C/粘B、締B
- 2 10YR3/3 暗褐 ローム中C・小B・粒B/粘B、締B



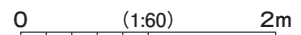
第802号土坑土層解説

- 1 7.5YR2/2 黒褐 ローム小C/粘B、締B
- 2 7.5YR3/2 黒褐 ローム粒C/粘B、締B
- 3 7.5YR3/3 暗褐 ローム小C・粒C/粘B、締B

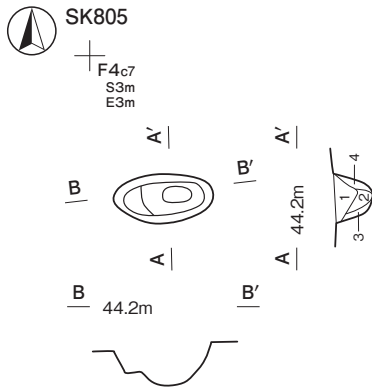


第803号土坑土層解説

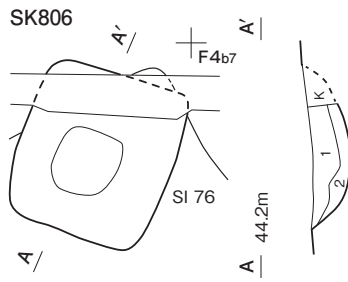
- 1 7.5YR2/2 黒褐 ローム小D/粘B、締B
- 2 7.5YR3/2 黒褐 ローム粒C/粘B、締B
- 3 7.5YR3/3 暗褐 ローム小D・粒C/粘B、締B
- 4 7.5YR3/1 黒褐 ローム粒C/粘B、締B



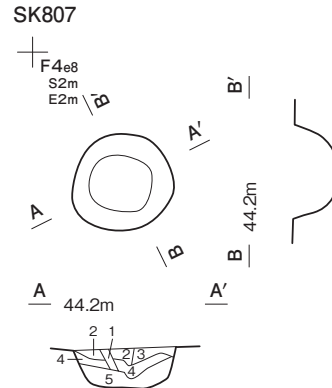
第 427 図 時期不明の土坑実測図 (37)



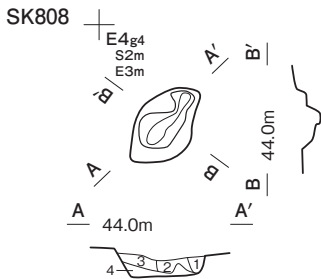
- 第805号土坑土層解説**
- 1 7.5YR2/1 黒 ローム小D/粘B、締B
 - 2 7.5YR3/2 黒褐 ローム粒C/粘B、締B
 - 3 7.5YR3/3 暗褐 ローム中D・小C/粘B、締B
 - 4 7.5YR3/1 黒褐 ローム粒C/粘B、締B



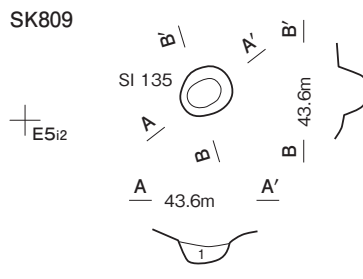
- 第806号土坑土層解説**
- 1 10YR2/3 黒褐 ローム粒D、炭化粒D/粘B、締B
 - 2 10YR3/2 黒褐 ローム粒C、炭化粒D/粘B、締B



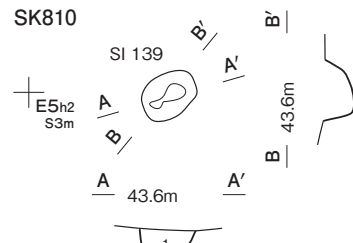
- 第807号土坑土層解説**
- 1 7.5YR3/1 黒褐 ローム粒C/粘B、締B
 - 2 7.5YR2/2 黒褐 ローム小C/粘B、締B
 - 3 7.5YR2/1 黒 ローム粒C/粘B、締B
 - 4 7.5YR2/3 極暗褐 ローム粒C/粘B、締B
 - 5 7.5YR3/3 暗褐 ローム中D・粒B/粘B、締B



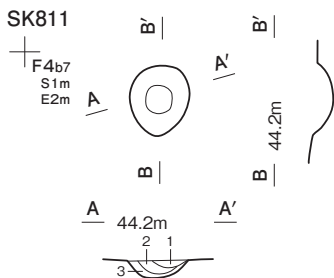
- 第808号土坑土層解説**
- 1 7.5YR3/2 黒褐 ローム小C/粘B、締B
 - 2 7.5YR3/3 暗褐 ローム小B/粘B、締B
 - 3 7.5YR2/2 黒褐 ローム粒D/粘B、締B
 - 4 7.5YR4/3 褐 ローム粒B/粘B、締B



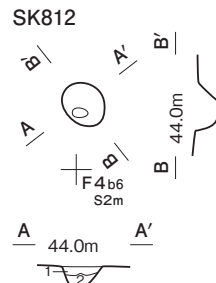
- 第809号土坑土層解説**
- 1 7.5YR2/2 黒褐 ローム大D・小C・粒C/粘B、締B



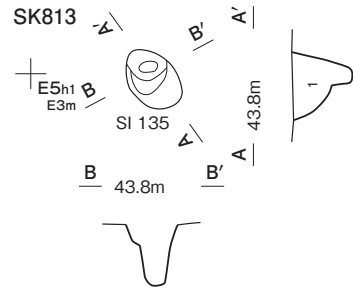
- 第810号土坑土層解説**
- 1 7.5YR2/2 黒褐 ローム大D・小C・粒B/粘B、締B



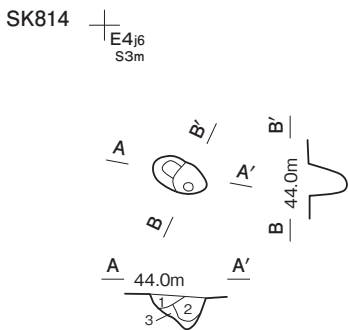
- 第811号土坑土層解説**
- 1 7.5YR2/1 黒 ローム中D/粘B、締B
 - 2 7.5YR2/2 黒褐 ローム小D・粒C/粘B、締B
 - 3 7.5YR3/3 暗褐 ローム粒B/粘B、締B



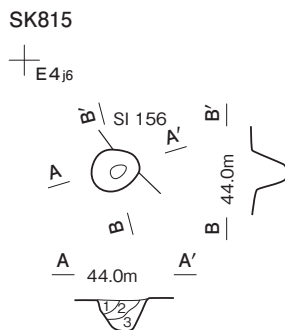
- 第812号土坑土層解説**
- 1 7.5YR2/1 黒 ローム小C/粘B、締B
 - 2 7.5YR3/2 黒褐 ローム小C・粒C/粘B、締B



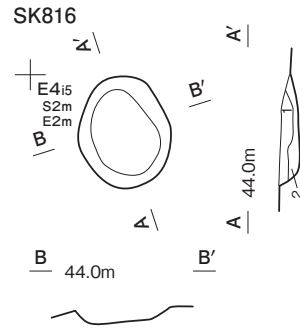
- 第813号土坑土層解説**
- 1 7.5YR2/1 黒 ローム小C・粒C/粘B、締B



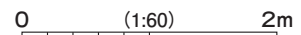
- 第814号土坑土層解説**
- 1 7.5YR2/2 黒褐 ローム小C・粒C/粘B、締B
 - 2 7.5YR2/1 黒 ローム小C/粘B、締B
 - 3 7.5YR3/1 黒褐 ローム粒B/粘B、締B



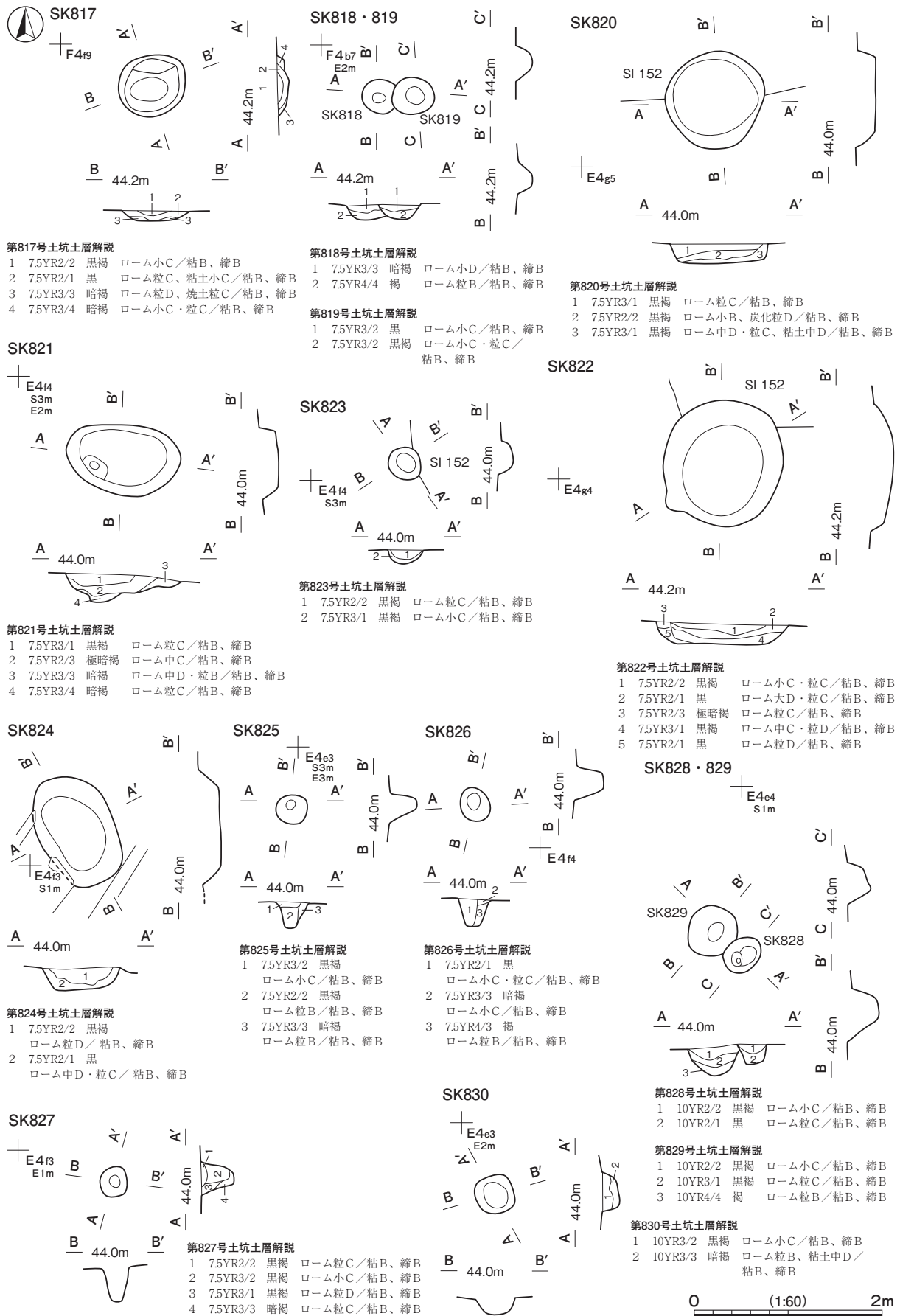
- 第815号土坑土層解説**
- 1 7.5YR2/2 黒褐 ローム中D・小C/粘B、締B
 - 2 7.5YR2/1 黒 ローム粒D/粘B、締B
 - 3 7.5YR3/1 黒褐 ローム粒C/粘B、締B



- 第816号土坑土層解説**
- 1 7.5YR3/2 黒褐 ローム粒C・炭化粒C/粘B、締B
 - 2 7.5YR3/3 黒 ローム粒C・赤色粒D/粘B、締B



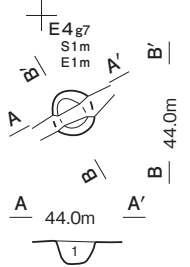
第428図 時期不明の土坑実測図 (38)



第 429 図 時期不明の土坑実測図 (39)



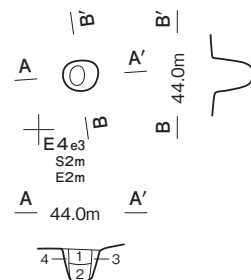
SK831



第831号土坑土層解説

- 1 10YR3/1 黒褐
ローム中D・粒C/
粘B、縮B

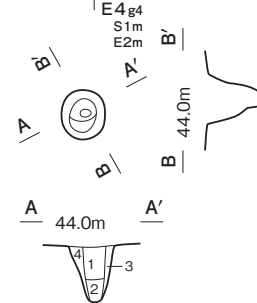
SK832



第832号土坑土層解説

- 1 7.5YR2/2 黒褐
ローム小C/粘B、縮B
- 2 7.5YR2/1 黒
ローム粒D/粘B、縮A
- 3 7.5YR2/3 極暗褐
ローム中D・粒C/粘B、
縮B
- 4 7.5YR3/2 黒褐
ローム粒C/粘B、縮B

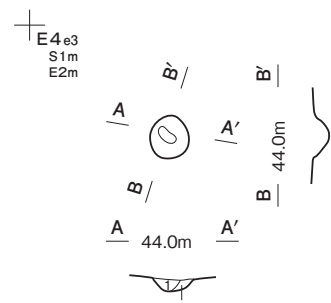
SK833



第833号土坑土層解説

- 1 7.5YR2/2 黒褐
ローム粒D/粘B、縮B
- 2 7.5YR3/1 黒褐
ローム小C/粘B、縮B
- 3 7.5YR3/2 黒褐
ローム粒C/粘B、縮B
- 4 7.5YR3/1 黒褐
ローム中D・粒C/粘B、
縮A

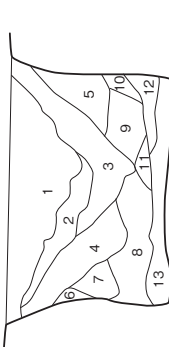
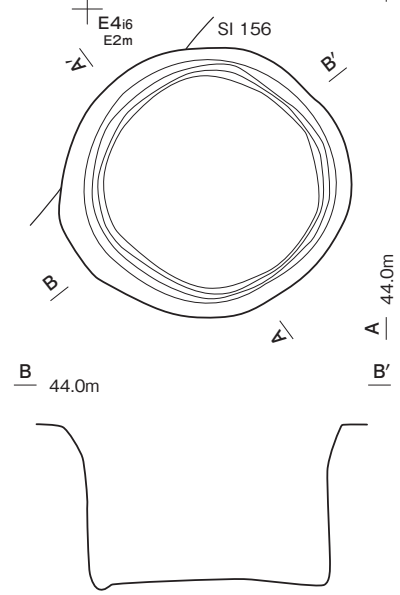
SK836



第836号土坑土層解説

- 1 10YR3/2 黒褐
ローム粒C/粘B、縮B
- 2 10YR3/4 暗褐
ローム小C・粒A/粘B、縮B

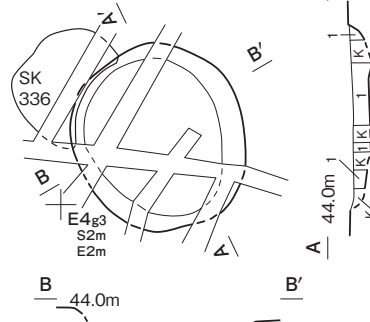
SK834



第834号土坑土層解説

- 1 7.5YR2/1 黒
ローム小C・粒D/粘B、縮B
- 2 7.5YR2/2 黒褐
ローム粒C、炭化粒D/粘B、縮B
- 3 7.5YR3/1 黒褐
ローム小C・粒C/粘B、縮B
- 4 7.5YR3/3 暗褐
ローム小C・粒B/粘B、縮B
- 5 7.5YR3/3 暗褐
ローム中D・粒B/粘B、縮B
- 6 7.5YR4/3 褐
ローム粒B/粘B、縮B
- 7 7.5YR3/3 暗褐
ローム粒C/粘B、縮B
- 8 7.5YR3/4 暗褐
ローム中C・粒C、炭化粒D/粘B、縮B
- 9 7.5YR2/3 極暗褐
ローム中C・粒C/粘B、縮B
- 10 7.5YR4/4 褐
ローム小C・粒B/粘B、縮B
- 11 7.5YR3/3 暗褐
ローム小C・粒C、炭化粒D/粘B、縮B
- 12 7.5YR4/3 褐
ローム粒B/粘B、縮B
- 13 7.5YR2/2 黒褐
ローム小C/粘B、縮B

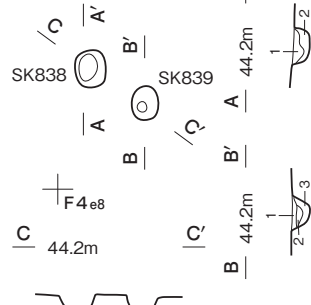
SK837



第837号土坑土層解説

- 1 7.5YR2/2 黒褐
ローム小C/粘B、縮B

SK838・839



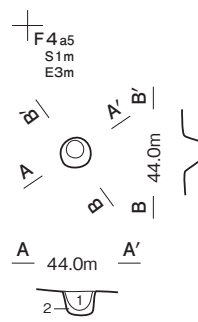
第838号土坑土層解説

- 1 7.5YR2/1 黒
ローム中C・小C/粘B、縮B
- 2 7.5YR3/4 暗褐
ローム粒B/粘B、縮B

第839号土坑土層解説

- 1 7.5YR2/1 黒
ローム粒C/粘B、縮B
- 2 7.5YR3/1 黒褐
ローム小C/粘B、縮B
- 3 7.5YR3/4 暗褐
ローム粒B/粘B、縮B

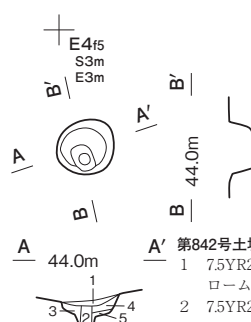
SK841



第841号土坑土層解説

- 1 7.5YR2/2 黒褐
ローム小C/粘B、縮B
- 2 7.5YR4/3 褐
ローム粒B/粘B、縮B

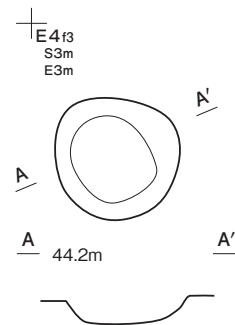
SK842



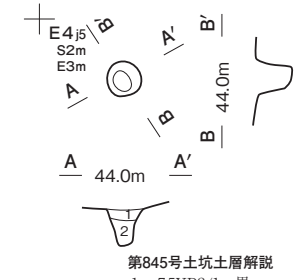
第842号土坑土層解説

- 1 7.5YR2/2 黒褐
ローム粒C/粘B、縮B
- 2 7.5YR2/1 黒
ローム小C/粘B、縮B
- 3 7.5YR2/2 黒褐
ローム小C/粘B、縮B
- 4 7.5YR2/3 極暗褐
ローム粒C/粘B、縮B
- 5 7.5YR4/3 褐

SK844

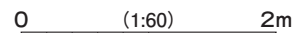


SK845



第845号土坑土層解説

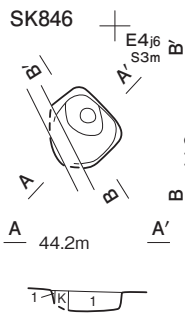
- 1 7.5YR2/1 黒
ローム粒C/粘B、縮B
- 2 7.5YR2/2 黒褐
ローム中D・小C/粘B、縮B





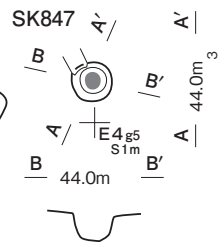
第843号土坑土層解説

- 1 7.5YR3/1 黒褐 ローム中C・粒C/粘B、締B



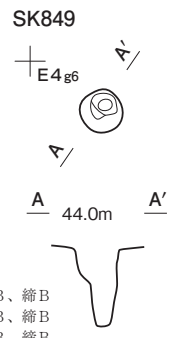
第846号土坑土層解説

- 1 7.5YR2/2 黒褐
ローム小D・粒C/粘B、締B

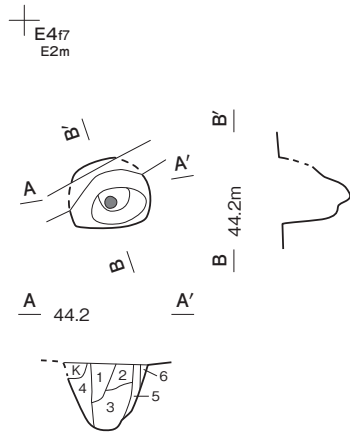


第847号土坑土層解説

- 1 10YR2/1 黒 ローム粒D/粘B、締B
2 10YR2/2 黒褐 ローム粒D/粘B、締B
3 10YR2/3 黒褐 ローム粒C/粘B、締B
4 10YR4/3 褐 ローム粒B/粘B、締B



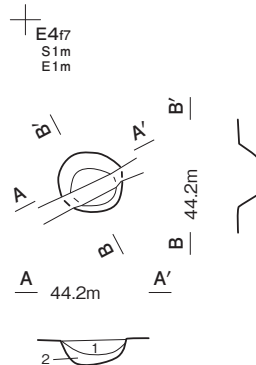
SK850



第850号土坑土層解説

- 1 10YR2/2 黒褐 ローム小C・粒C/粘B、締B
2 10YR2/1 黒 ローム中D・粒C/粘B、締B
3 10YR3/1 黒褐 ローム粒C/粘B、締B
4 10YR3/3 暗褐 ローム小B/粘B、締B
5 10YR3/2 黒褐 ローム小B/粘B、締B
6 10YR4/4 褐 ローム粒B/粘B、締B

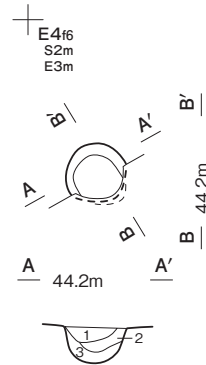
SK851



第851号土坑土層解説

- 1 10YR2/1 黒褐
ローム小C・粒C/粘B、締B
2 10YR4/4 褐
ローム小C・粒B/粘B、締B

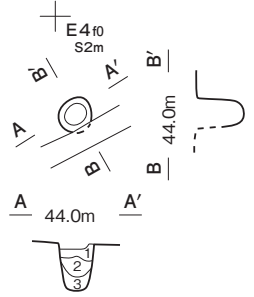
SK852



第852号土坑土層解説

- 1 10YR2/2 黒褐
ローム粒C/粘B、締B
2 10YR2/1 黒
ローム中D・粒C/粘B、締B
3 10YR3/1 黒褐
ローム中C・粒C/粘B、締B

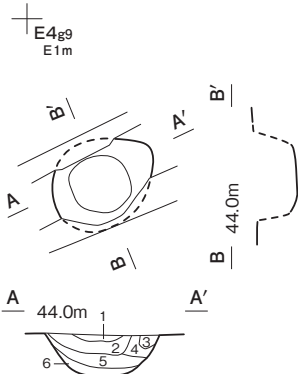
SK854



第854号土坑土層解説

- 1 10YR2/3 黒褐
ローム小C・粒C/粘B、締B
2 10YR2/1 黒
ローム中D・小D/粘B、締B
3 10YR3/2 黒褐
ローム粒C/粘B、締B

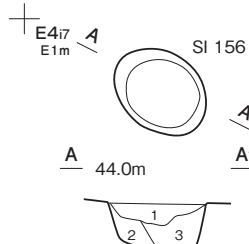
SK853



第853号土坑土層解説

- 1 10YR2/2 黒褐 ローム小C/粘B、締B
2 10YR3/2 黒褐 ローム中D・粒C/粘B、締B
3 10YR2/1 黒 ローム小C/粘B、締B
4 10YR3/4 暗褐 ローム小B/粘B、締B
5 10YR2/3 黒褐 ローム粒C/粘B、締B
6 10YR3/3 暗褐 ローム粒C/粘B、締B

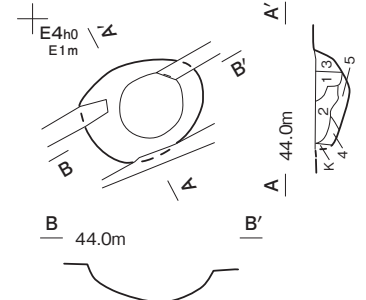
SK855



第855号土坑土層解説

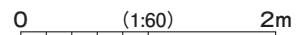
- 1 10YR2/2 黒褐 ローム小C・粒C/粘B、締B
2 10YR2/1 黒 ローム粒D/粘B、締B
3 10YR2/3 黒褐 ローム中D・粒C/粘B、締B

SK856

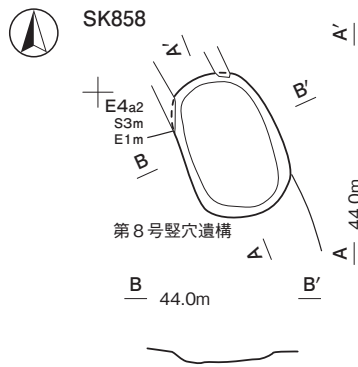


第856号土坑土層解説

- 1 10YR2/1 黒 ローム粒C/粘B、締B
2 10YR3/2 黒褐 ローム小C・粒C/粘B、締B
3 10YR3/2 黒褐 ローム粒C/粘B、締B
4 10YR4/4 褐 ローム中C・小D/粘B、締B
5 10YR3/3 暗褐 ローム小C・粒C/粘B、締B

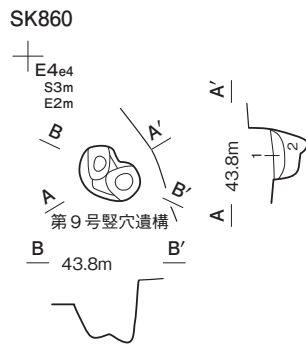


第 431 図 時期不明の土坑実測図 (41)



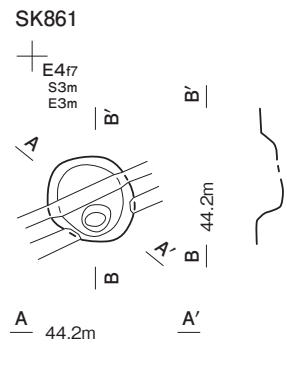
第858号土坑土層解説

- 1 10YR2/3 黒褐 ローム中C・小C/粘B、締B
- 2 10YR3/4 暗褐 ローム粒B/粘B、締B



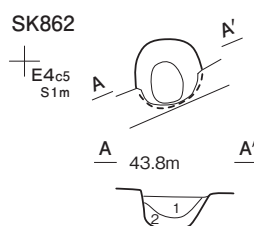
第860号土坑土層解説

- 1 10YR3/2 黒褐 ローム小D・粒C/粘B、締C
- 2 10YR2/2 暗褐 ローム粒D/粘B、締B



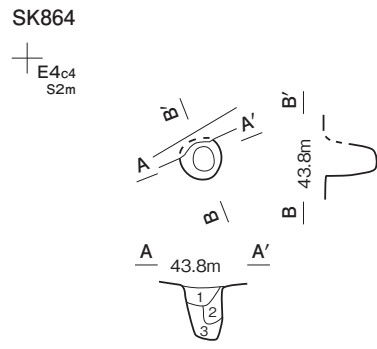
第861号土坑土層解説

- 1 10YR2/2 黒褐 ローム小C・粒C/粘B、締C



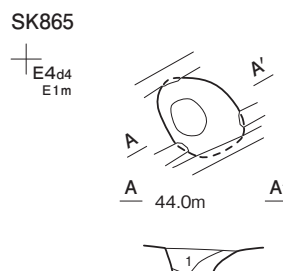
第862号土坑土層解説

- 1 10YR2/1 黒 ローム小C/粘B、締C
- 2 10YR2/2 黒褐 ローム小C・粒C/粘B、締B



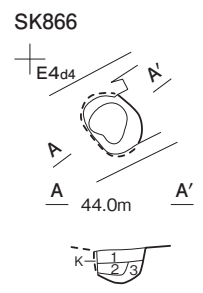
第864号土坑土層解説

- 1 10YR2/1 黒 ローム小C・粒C/粘B、締B
- 2 10YR2/2 黒褐 ローム小D/粘B、締B
- 3 10YR3/1 黒褐 ローム中D・小C/粘B、締B



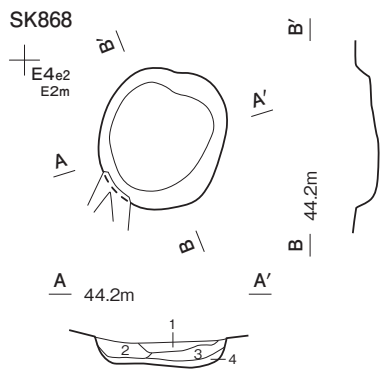
第865号土坑土層解説

- 1 10YR2/1 黒 ローム粒C/粘B、締C
- 2 10YR2/2 黒褐 ローム小C・粒C/粘B、締B



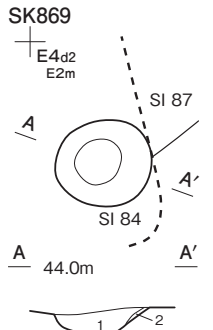
第866号土坑土層解説

- 1 10YR2/2 黒褐 ローム粒C/粘B、締B
- 2 10YR2/1 黒 ローム中C・粒C/粘B、締B
- 3 10YR3/3 暗褐 ローム粒B/粘B、締B



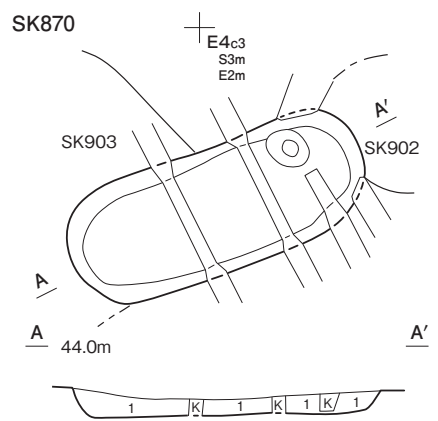
第868号土坑土層解説

- 1 10YR2/2 黒褐 ローム粒C/粘B、締B
- 2 10YR2/3 黒褐 ローム小C・粒D/粘B、締B
- 3 10YR2/1 黒 ローム中D・粒C/粘B、締B
- 4 10YR4/4 褐 ローム粒B/粘B、締B



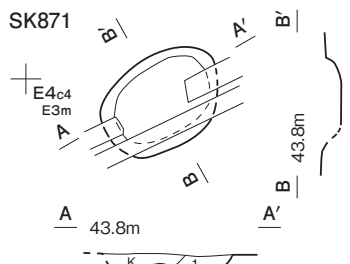
第869号土坑土層解説

- 1 10YR2/2 黒褐 ローム中C・小C/粘B、締B
- 2 10YR4/4 褐 ローム粒B/粘B、締B



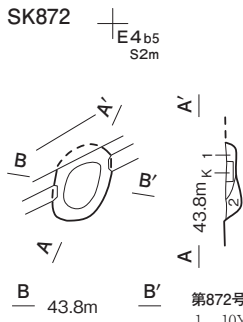
第870号土坑土層解説

- 1 10YR3/1 黒褐 ローム中C・小C・粒C/粘B、締B



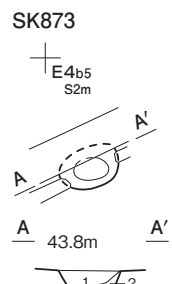
第871号土坑土層解説

- 1 10YR3/3 暗褐 ローム小C・粒C/粘B、締B



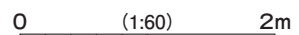
第872号土坑土層解説

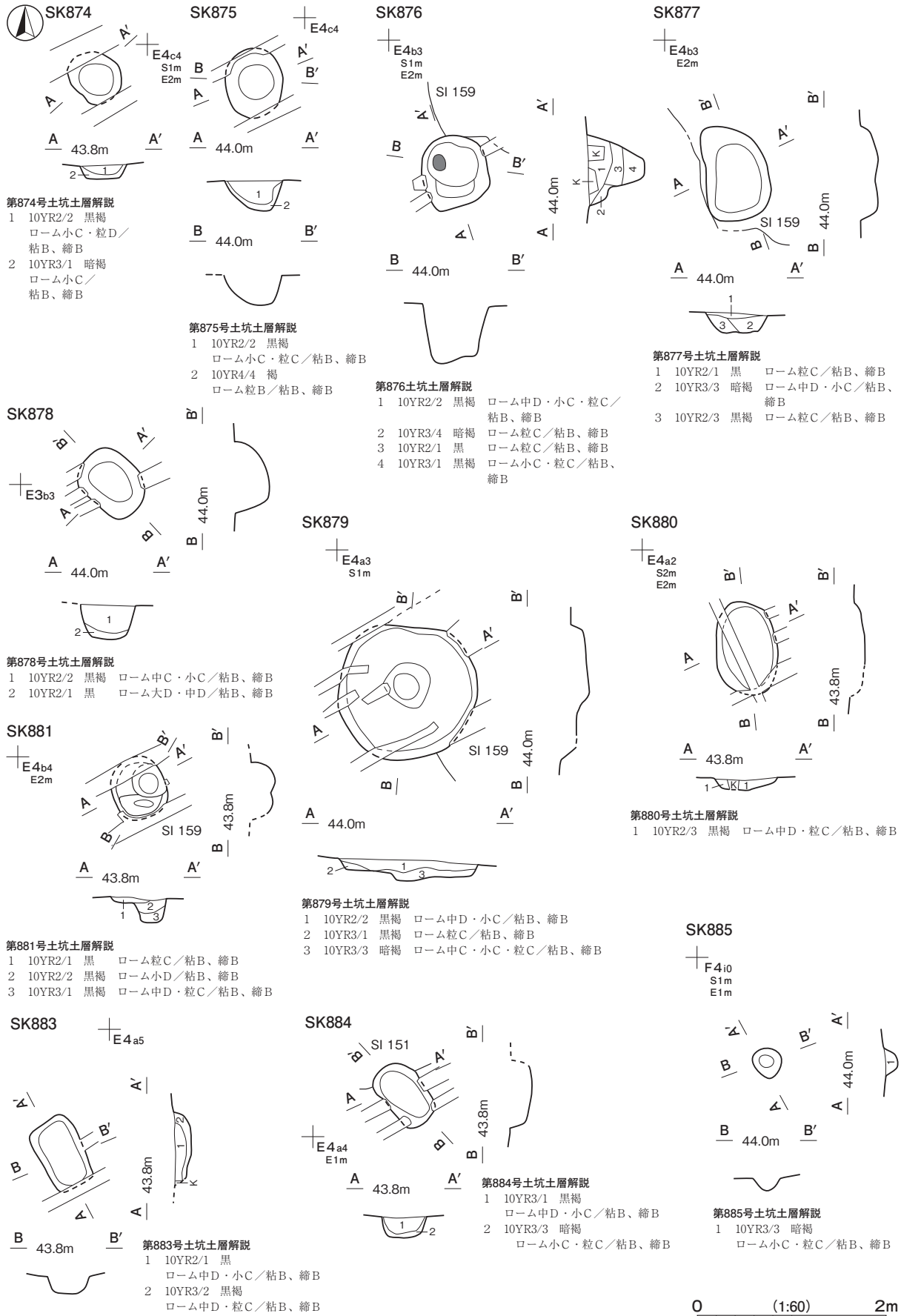
- 1 10YR2/2 黒褐 ローム中D・小C/粘B、締B
- 2 10YR3/3 暗褐 ローム小C・粒C/粘B、締B



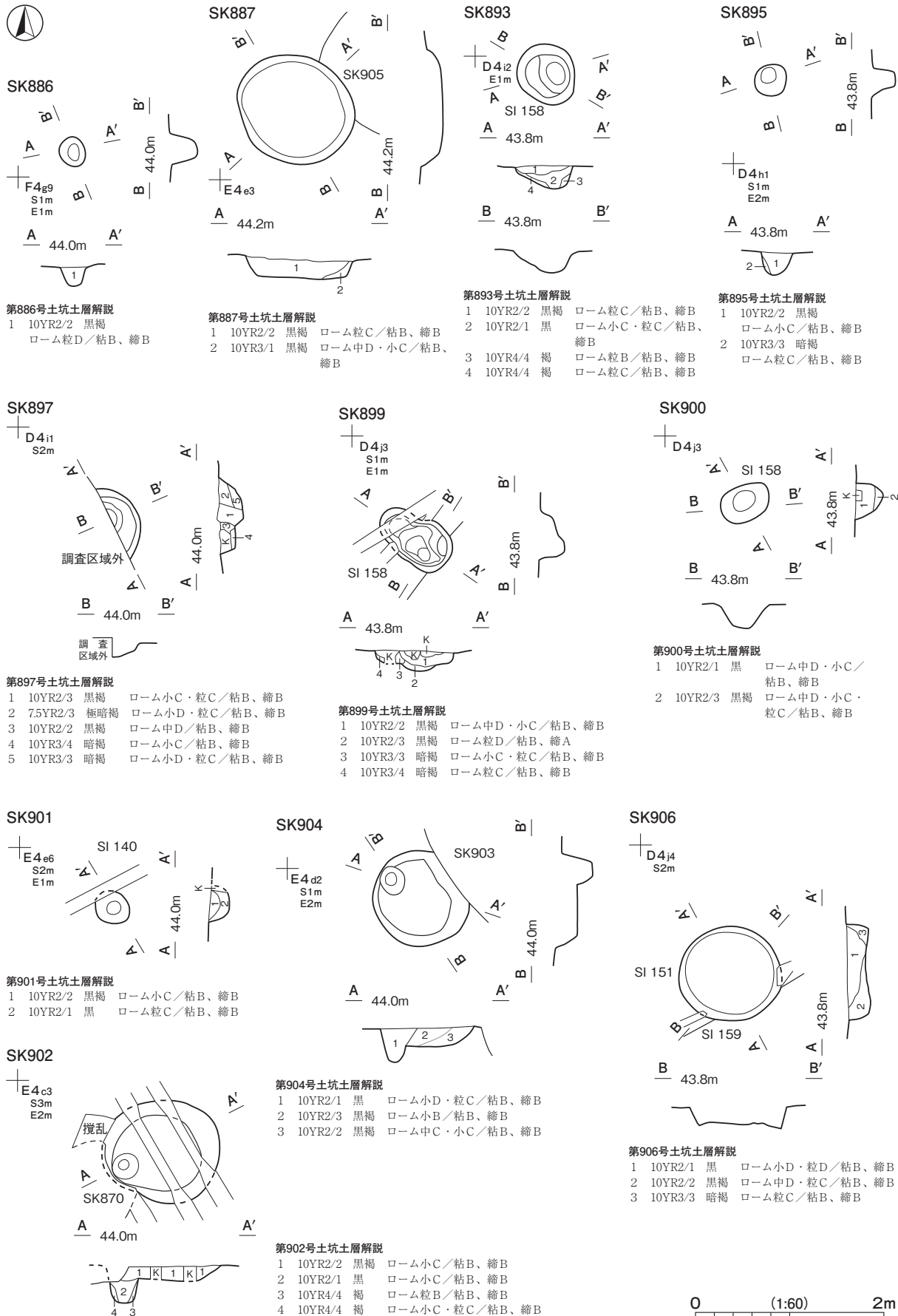
第873号土坑土層解説

- 1 10YR2/2 黒褐 ローム小C、焼土粒C/粘B、締B
- 2 10YR4/3 褐 ローム粒B/粘B、締B





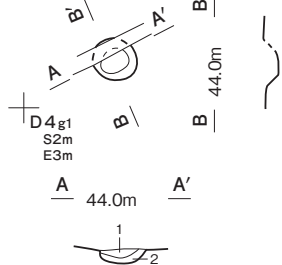
第 433 図 時期不明の土坑実測図 (43)



第 434 図 時期不明の土坑実測図 (44)



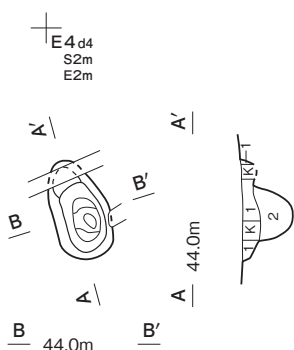
SK908



第908号土坑土層解説

- 1 10YR2/2 黒褐 ローム中D/粘B、締B
- 2 10YR4/4 褐 ローム粒B/粘B、締B

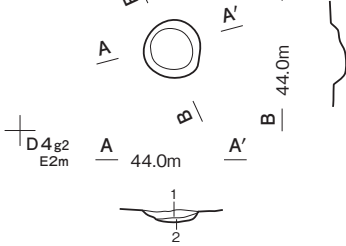
SK910



第910号土坑土層解説

- 1 7.5YR3/3 暗褐 ローム中D・小B・粒B、焼土粒D、炭化粒D/粘B、締C
- 2 7.5YR4/4 褐 ローム大D・中C・小B・粒B/粘C、締C

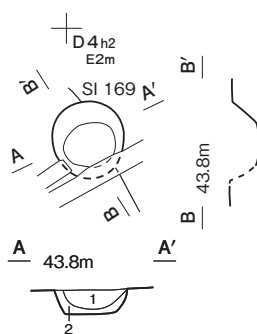
SK911



第911号土坑土層解説

- 1 10YR2/3 黒褐 ローム小C・粒C/粘B、締B
- 2 10YR4/4 褐 ローム粒B、赤色粒子D/粘B、締B

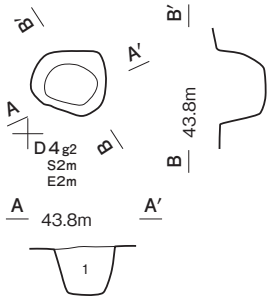
SK916



第916号土坑土層解説

- 1 10YR3/1 黒褐 ローム粒C/粘B、締B
- 2 10YR3/3 暗褐 ローム小B/粘B、締B

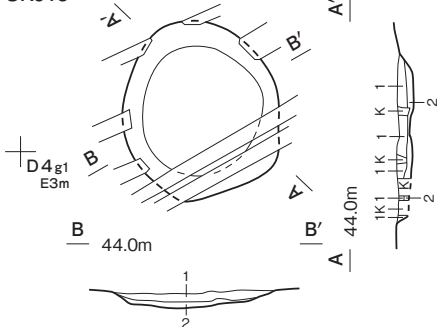
SK912



第912号土坑土層解説

- 1 10YR1/2 黒褐 ローム粒C/粘B、締B
- 2 10YR4/4 褐 ローム粒B/粘B、締B

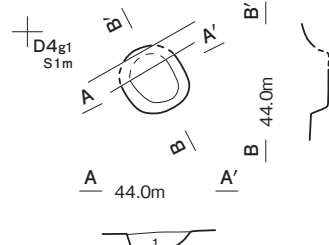
SK913



第913号土坑土層解説

- 1 10YR3/1 黒褐 ローム小C/粘B、締B
- 2 10YR3/3 暗褐 ローム中D・粒C/粘B、締B

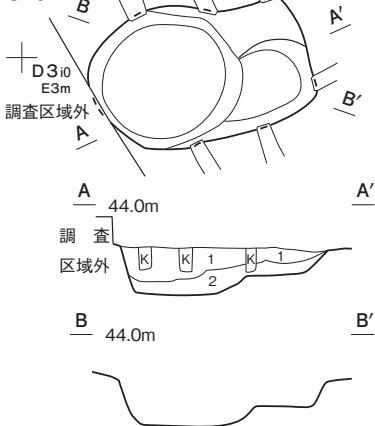
SK919



第919号土坑土層解説

- 1 10YR2/2 黒褐 ローム小D・粒D/粘B、締B

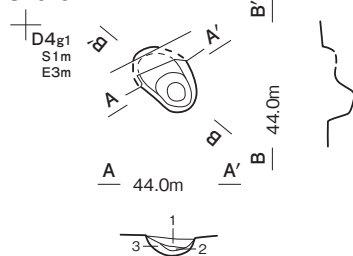
SK917



第917号土坑土層解説

- 1 10YR3/2 黒褐 ローム小C・粒C/粘B、締B
- 2 10YR2/2 黒褐 ローム粒D/粘B、締B

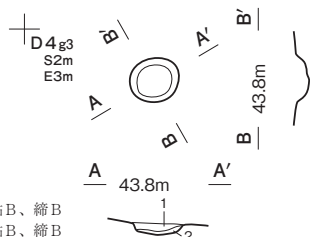
SK918



第918号土坑土層解説

- 1 10YR3/2 黒褐 ローム小C/粘B、締B
- 2 10YR3/4 暗褐 ローム粒B/粘B、締B
- 3 10YR4/4 褐 ローム粒B/粘B、締B

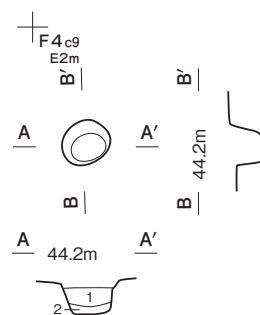
SK920



第920号土坑土層解説

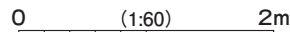
- 1 10YR2/2 黒褐 ローム粒D/粘B、締B
- 2 10YR4/4 褐 ローム粒B/粘B、締B

SK923

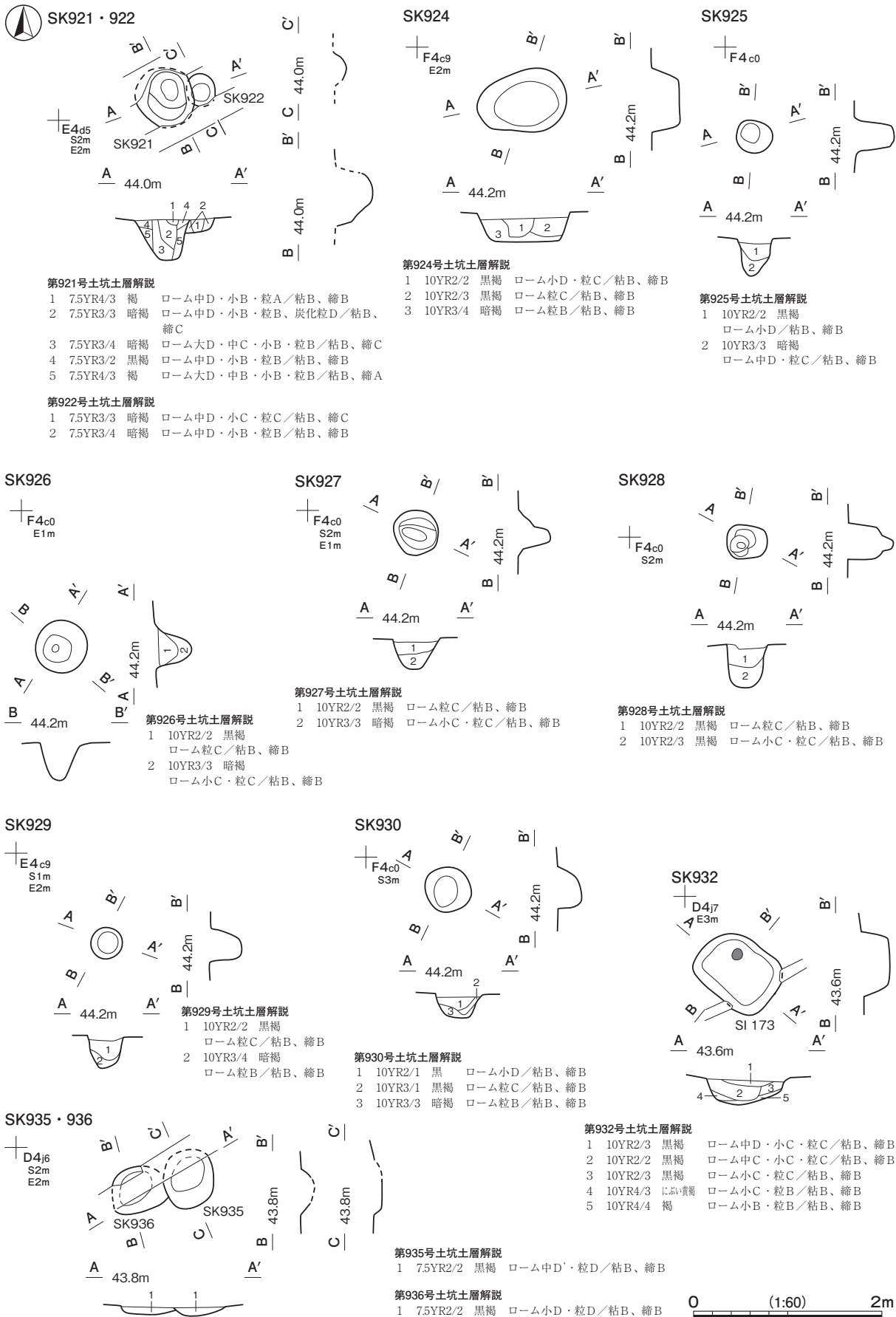


第923号土坑土層解説

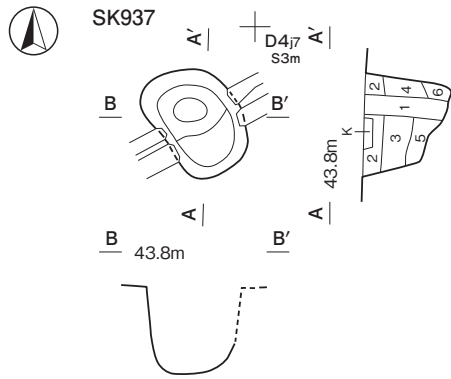
- 1 10YR3/2 黒褐 ローム粒C/粘B、締B
- 2 10YR4/4 褐 ローム小C/粘B、締B



第 435 図 時期不明の土坑実測図 (45)

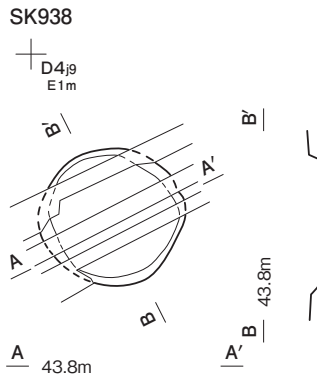


第 436 図 時期不明の土坑実測図 (46)



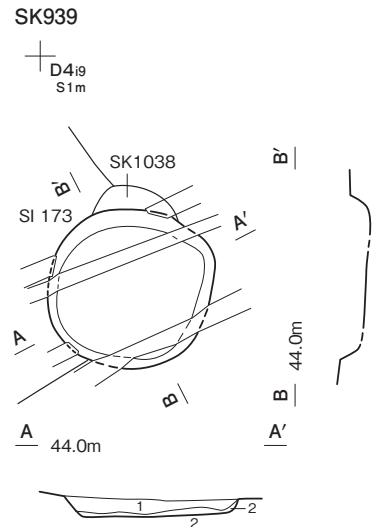
第937号土坑土層解説

- 1 10YR2/2 黒褐 ローム小C・粒D/粘B、締B
- 2 10YR3/1 黒褐 ローム小B・粒C/粘B、締B
- 3 10YR3/2 黒褐 ローム中D・小C・粒C/粘B、締B
- 4 10YR2/2 黒褐 ローム粒C/粘B、締B
- 5 10YR3/4 暗褐 ローム小C・粒B/粘B、締B
- 6 10YR4/3 暗褐 ローム小C・粒C/粘B、締B



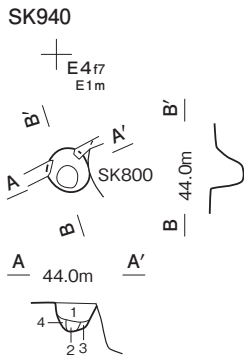
第938号土坑土層解説

- 1 10YR3/3 暗褐 ローム小C・粒B/粘B、締B



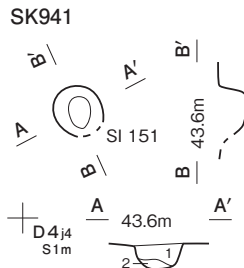
第939号土坑土層解説

- 1 10YR2/3 黒褐 ローム粒C/粘B、締B
- 2 10YR3/4 暗褐 ローム中B・小C・粒C/粘B、締B



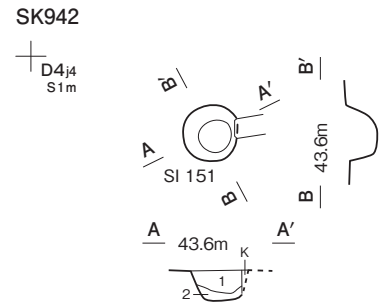
第940号土坑土層解説

- 1 10YR3/3 暗褐 ローム中D・小C・粒B/粘B、締B
- 2 10YR2/2 黒褐 ローム小C・粒C/粘B、締B
- 3 10YR4/4 褐 ローム小C・粒B/粘B、締B
- 4 10YR3/4 暗褐 ローム小C・粒C/粘B、締B



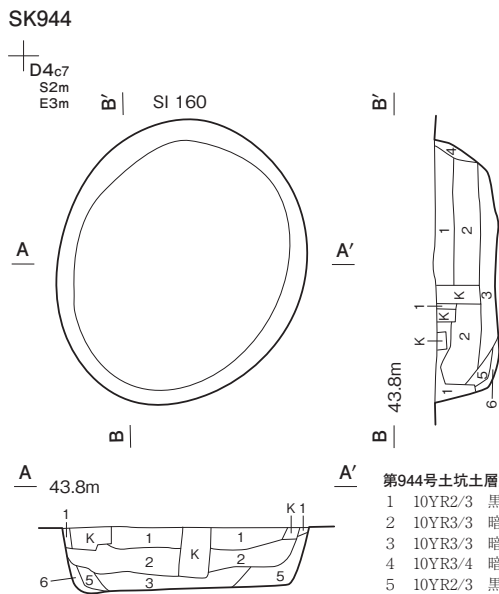
第941号土坑土層解説

- 1 10YR2/3 黒褐 ローム粒C、焼土粒C、炭化粒D/粘B、締A
- 2 10YR3/1 黒褐 ローム粒C、礫中D/粘B、締B



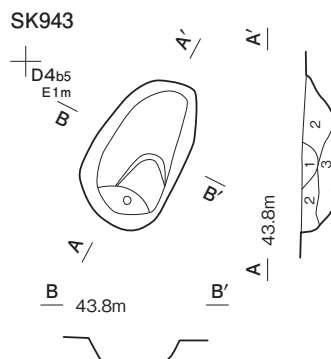
第942号土坑土層解説

- 1 10YR2/2 黒褐 ローム小C・粒C、焼土粒D、炭化粒C/粘B、締B
- 2 10YR2/1 黒褐 ローム中C・小C・粒C/粘B、締B



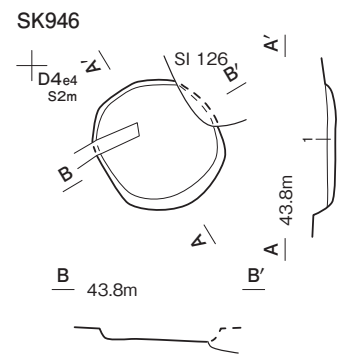
第944号土坑土層解説

- 1 10YR2/3 黒褐 ローム小C・粒B/粘B、締B
- 2 10YR3/3 暗褐 ローム中C・小B・粒B/粘B、締B
- 3 10YR3/3 暗褐 ローム中B・小B・粒B/粘B、締B
- 4 10YR3/4 暗褐 ローム小C・粒A/粘B、締B
- 5 10YR2/3 黒褐 ローム小C・粒C/粘B、締B
- 6 10YR3/4 暗褐 ローム小C・粒A/粘B、締B



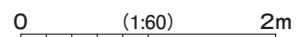
第943号土坑土層解説

- 1 10YR3/2 黒褐 ローム粒D/粘B、締B
- 2 10YR3/3 暗褐 ローム粒B/粘B、締B
- 3 10YR3/4 暗褐 ローム小C・粒B/粘B、締B

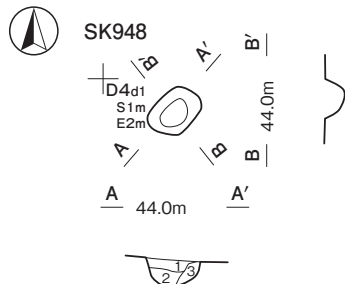


第946号土坑土層解説

- 1 10YR3/3 暗褐 ローム粒C/粘B、締B

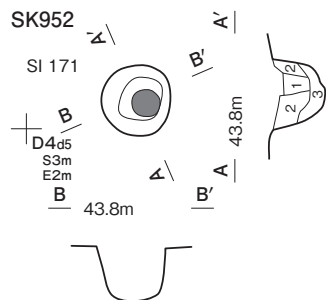


第 437 図 時期不明の土坑実測図 (47)



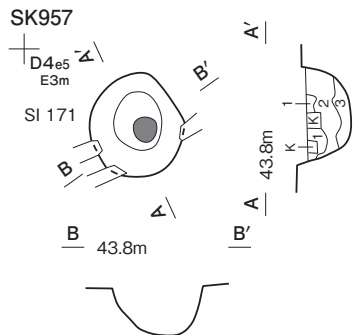
第948号土坑土層解説

- 10YR2/2 黒褐 ローム小D・粒C、炭化粒D/粘B、締B
- 10YR3/1 黒褐 ローム中D・小C・粒C/粘B、締B
- 10YR3/3 暗褐 ローム粒C/粘B、締B



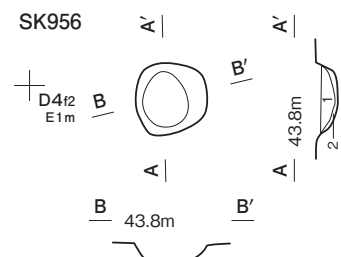
第952号土坑土層解説

- 10YR3/2 黒褐 ローム粒C/粘B、締C
- 10YR2/3 黒褐 ローム粒B/粘B、締B
- 10YR3/3 暗褐 ローム小B・粒B/粘B、締B



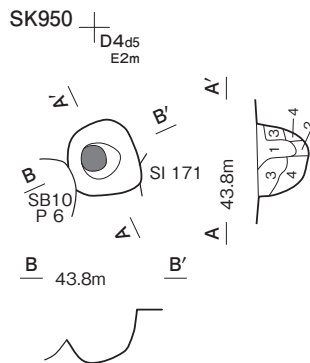
第957号土坑土層解説

- 10YR3/2 黒褐 ローム粒C/粘B、締B
- 10YR3/3 暗褐 ローム中D・小B・粒B/粘B、締B
- 10YR3/4 暗褐 ローム大D・中C・小B・粒C/粘B、締A



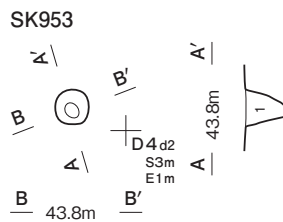
第956号土坑土層解説

- 10YR2/2 黒褐 ローム小C・粒C/粘B、締B
- 10YR4/4 褐 ローム小C・粒B/粘B、締B



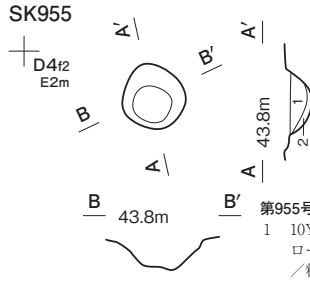
第950号土坑土層解説

- 10YR3/2 黒褐 ローム粒C/粘B、締B
- 10YR3/2 黒褐 ローム粒D/粘B、締B
- 10YR3/4 暗褐 ローム中D・小B・粒C/粘B、締B
- 10YR2/3 黒褐 ローム小D・粒C/粘B、締B



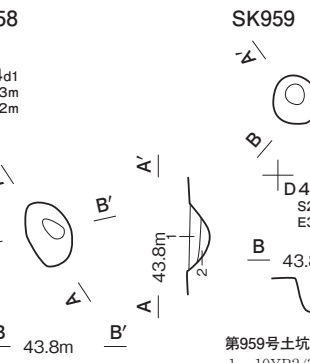
第953号土坑土層解説

- 10YR2/2 黒褐 ローム粒C/粘B、締B



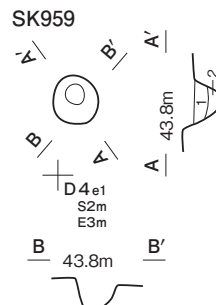
第955号土坑土層解説

- 10YR2/2 黒褐 ローム中D・小C・粒C/粘B、締B
- 10YR4/4 褐 ローム小C・粒B/粘B、締A



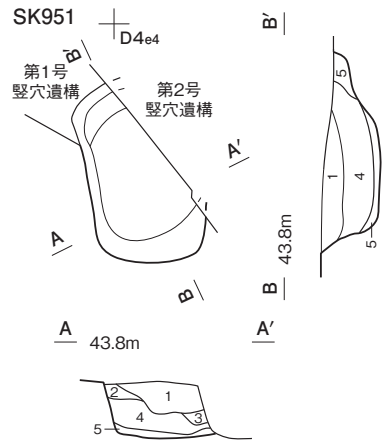
第958号土坑土層解説

- 10YR2/2 黒褐 ローム小C・粒C/粘B、締B
- 10YR4/4 褐 ローム小B・粒B/粘B、締B



第959号土坑土層解説

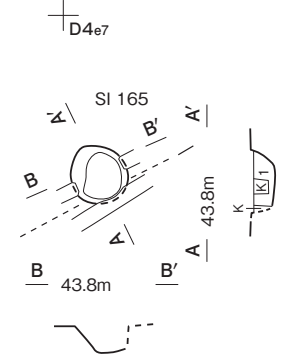
- 10YR2/3 黒褐 ローム小C・粒C/粘B、締B
- 10YR4/4 褐 ローム中D、小C、粒B/粘B、締B



第951号土坑土層解説

- 10YR3/3 暗褐 ローム小C・粒B/粘B、締B
- 10YR3/3 暗褐 ローム粒C/粘B、締B
- 10YR3/2 暗褐 ローム粒D/粘B、締B
- 10YR3/4 暗褐 ローム大C・中B・小B・粒B、焼土粒D/粘B、締B
- 10YR2/3 黒褐 ローム粒C、炭化粒C/粘B、締B

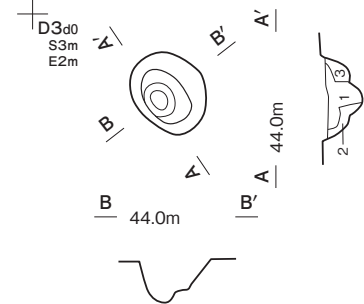
SK954



第954号土坑土層解説

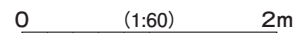
- 10YR3/2 黒褐 ローム粒C、焼土粒D、炭化物D・粒D/粘B、締B

SK960

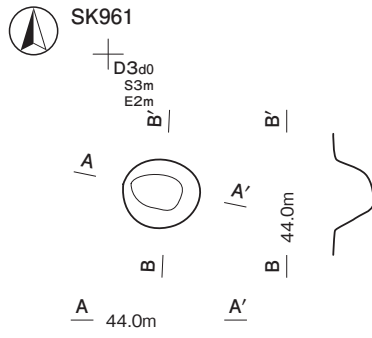


第960号土坑土層解説

- 10YR2/2 黒褐 ローム中D・小D・粒C/粘B、締B
- 10YR3/4 暗褐 ローム中C・小C・粒C/粘B、締B
- 10YR3/2 黒褐 ローム中C・小C・粒D/粘B、締B

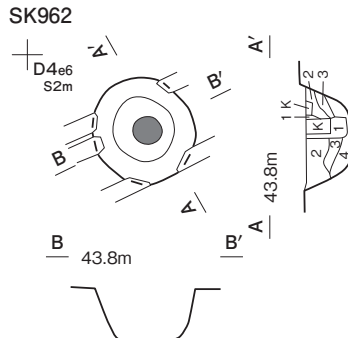


第 438 図 時期不明の土坑実測図 (48)



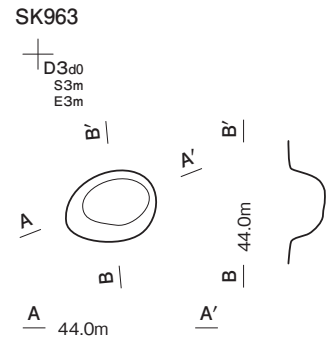
第961号土坑土層解説

- 1 10YR2/2 黒褐 ローム大D・中C・小C・粒C/粘B、締B
- 2 10YR4/4 褐 ローム小C・粒B/粘B、締B



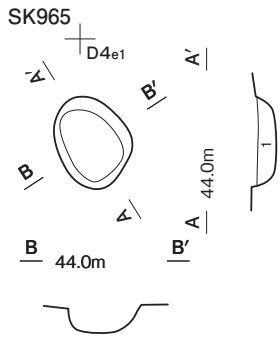
第962号土坑土層解説

- 1 10YR2/2 黒褐 ローム粒D/粘B、締B
- 2 10YR3/3 暗褐 ローム小C・粒C/粘B、締B
- 3 10YR3/3 暗褐 ローム小B・粒C/粘B、締B
- 4 10YR3/4 暗褐 ローム小C・粒A/粘B、締B



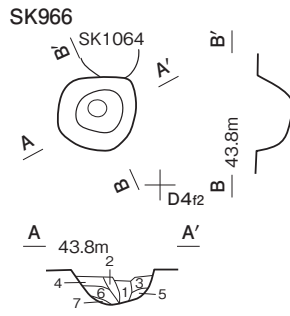
第963号土坑土層解説

- 1 10YR3/3 暗褐 ローム中D・小C・粒C/粘B、締B
- 2 10YR3/3 赤褐 ローム粒C/粘B、締B
- 3 10YR4/3 におい黄褐 ローム粒C/粘B、締B



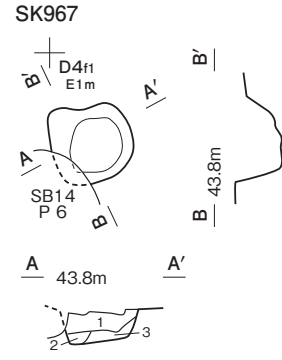
第965号土坑土層解説

- 1 10YR2/2 黒褐 ローム小D・粒C/粘B、締B



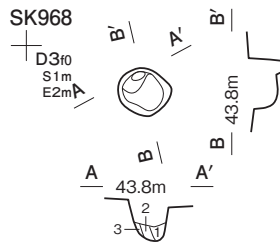
第966号土坑土層解説

- 1 10YR3/3 暗褐 ローム小C/粘B、締B
- 2 10YR2/2 黒褐 ローム粒C/粘B、締B
- 3 10YR2/3 黒褐 ローム小C・粒C/粘B、締B
- 4 10YR3/2 黒褐 ローム中C・粒D/粘B、締B
- 5 10YR2/1 黒 ローム粒D/粘B、締B
- 6 10YR2/2 黒褐 ローム小D/粘B、締B
- 7 10YR3/3 暗褐 ローム中D・小C・粒C/粘B、締B



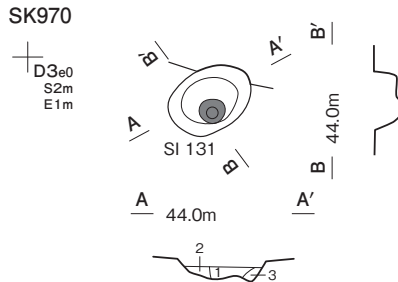
第967号土坑土層解説

- 1 10YR2/3 黒褐 ローム小D・粒C、焼土小/粘B、締B
- 2 10YR2/3 黒褐 ローム小D・粒C/粘B、締B
- 3 10YR4/3 におい黄褐 ローム小C・粒B/粘B、締B



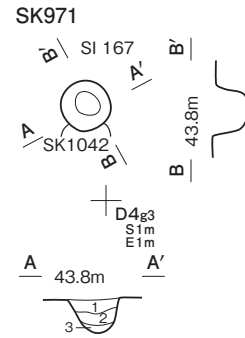
第968号土坑土層解説

- 1 10YR2/1 黒 ローム小D・粒C/粘B、締B
- 2 10YR2/2 黒褐 ローム小C・粒C/粘B、締B
- 3 10YR4/4 褐 ローム小C・粒B/粘B、締B



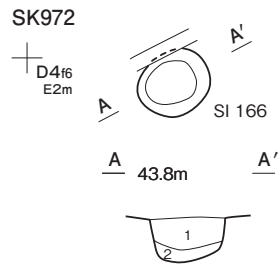
第970号土坑土層解説

- 1 10YR2/2 黒褐 ローム小D・粒C/粘B、締B
- 2 10YR2/2 黒褐 ローム小C・粒C/粘B、締B
- 3 10YR3/3 暗褐 ローム小C・粒B/粘B、締B



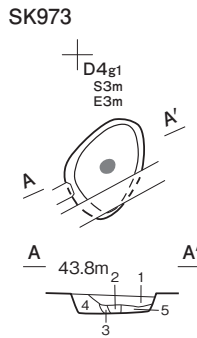
第971号土坑土層解説

- 1 10YR2/2 黒褐 ローム小D・粒C、炭化物C・粒D/粘B、締B
- 2 10YR2/1 黒 ローム粒C、焼土中B・小C/粘B、締B
- 3 10YR3/3 暗褐 ローム小C・粒C/粘B、締B



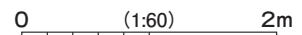
第972号土坑土層解説

- 1 10YR2/2 黒褐 ローム小C・粒C/粘B、締B
- 2 10YR3/3 暗褐 ローム小C・粒B/粘B、締B

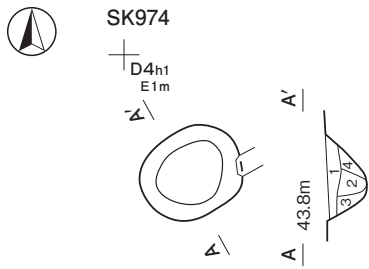


第973号土坑土層解説

- 1 10YR2/2 黒褐 ローム粒D/粘B、締B
- 2 10YR3/2 黒褐 ローム粒C/粘B、締B
- 3 10YR3/3 暗褐 ローム中D/粘B、締B
- 4 10YR2/3 黒褐 ローム小C/粘B、締B
- 5 10YR4/4 褐 ローム粒B/粘B、締B

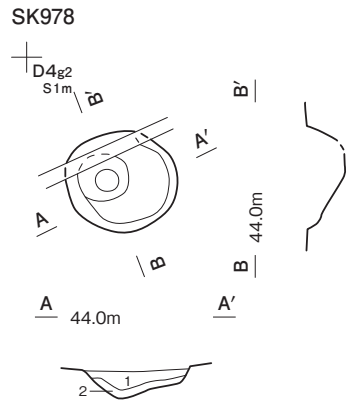


第 439 図 時期不明の土坑実測図 (49)



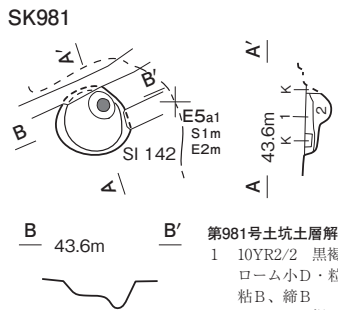
第974号土坑土層解説

- 1 10YR2/1 黒 ローム小C・粒C/粘B、締B
- 2 10YR2/2 黒褐 ローム小C・粒C/粘B、締B
- 3 10YR2/3 黒褐 ローム小C/粘B、締B
- 4 10YR2/3 黒褐 ローム粒C/粘B、締B



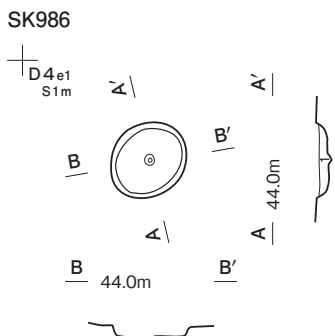
第978号土坑土層解説

- 1 10YR2/3 黒褐 ローム小C・粒C/粘B、締B
- 2 10YR4/4 褐 ローム小C・粒B/粘B、締B



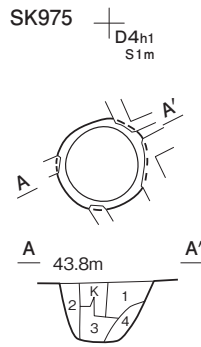
第981号土坑土層解説

- 1 10YR2/2 黒褐 ローム小D・粒C/粘B、締B
- 2 10YR4/4 褐 ローム小C・粒B/粘B、締B



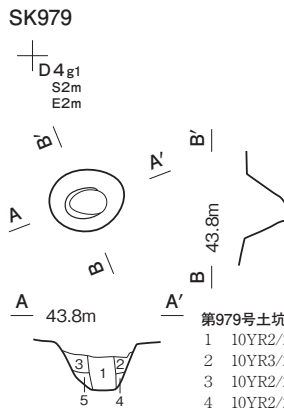
第986号土坑土層解説

- 1 10YR2/2 黒褐 ローム大D・小D・粒C/粘B、締B



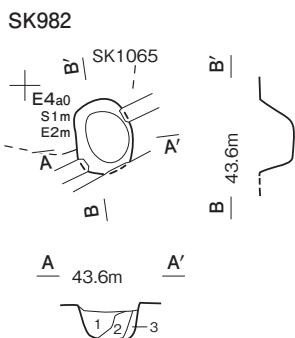
第975号土坑土層解説

- 1 10YR3/1 黒褐 ローム小C/粘B、締B
- 2 10YR3/1 黒褐 ローム中D・粒C/粘B、締B
- 3 10YR2/1 黒 ローム中C・粒C/粘B、締B
- 4 10YR3/3 暗褐 ローム小D・粒C/粘B、締B



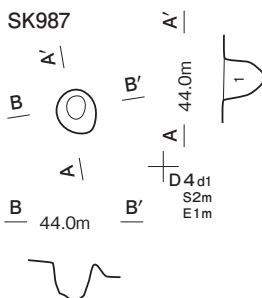
第979号土坑土層解説

- 1 10YR2/2 黒褐 ローム小C・粒C/粘B、締B
- 2 10YR3/2 黒褐 ローム粒D/粘B、締B
- 3 10YR2/2 黒褐 ローム中D・小C・粒C/粘B、締B
- 4 10YR2/2 黒褐 ローム大D・粒D/粘B、締B
- 5 10YR3/3 暗褐 ローム中D・小C・粒B/粘B、締B



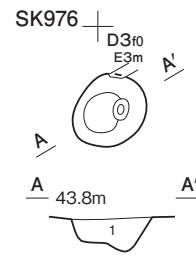
第982号土坑土層解説

- 1 10YR2/2 黒褐 ローム粒C/粘B、締B
- 2 10YR3/4 暗褐 ローム中C・小C・粒C/粘B、締B
- 3 10YR2/3 黒褐 ローム中C・小C・粒C/粘B、締B



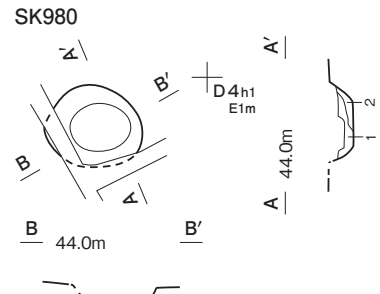
第987号土坑土層解説

- 1 10YR2/2 黒褐 ローム中D・小C・粒C/粘B、締B



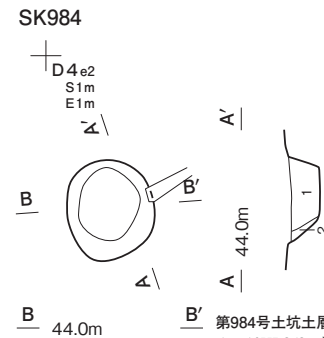
第976号土坑土層解説

- 1 10YR3/1 黒褐 ローム小C・粒C/粘B、締B



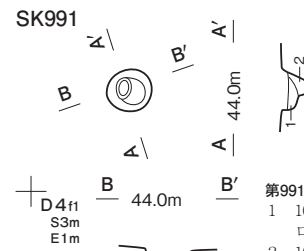
第980号土坑土層解説

- 1 10YR2/3 黒褐 ローム中D・小C・粒C/粘B、締B
- 2 10YR3/3 暗褐 ローム小C・粒C/粘B、締B



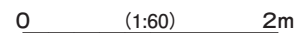
第984号土坑土層解説

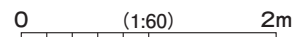
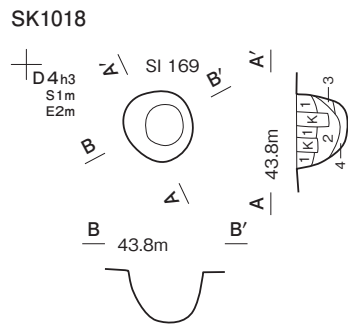
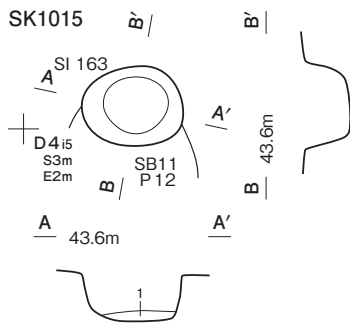
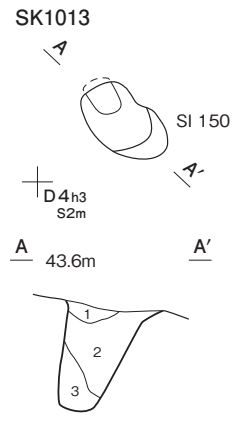
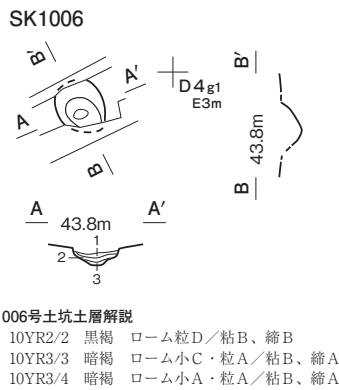
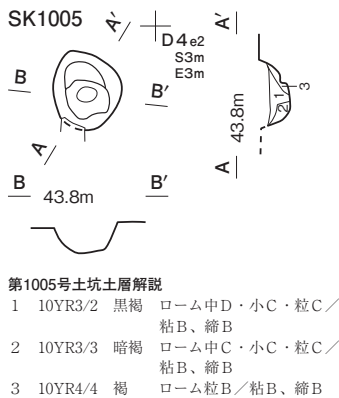
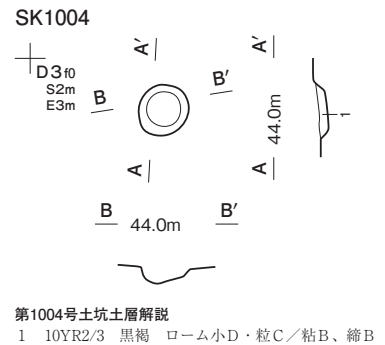
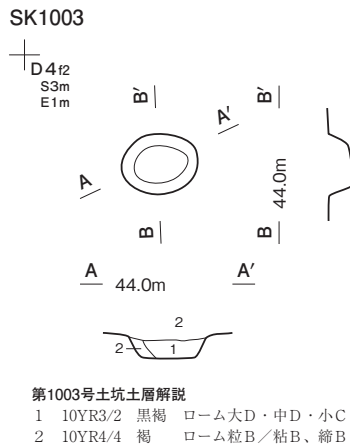
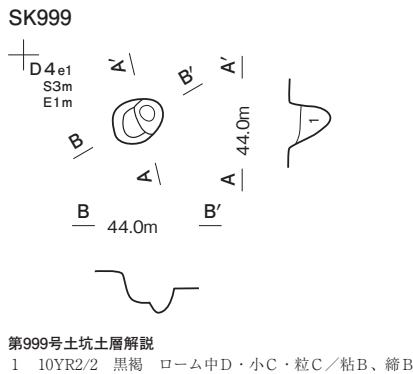
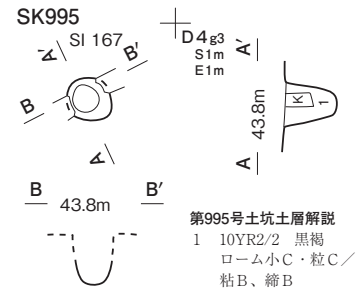
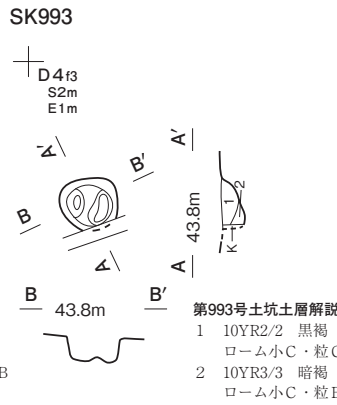
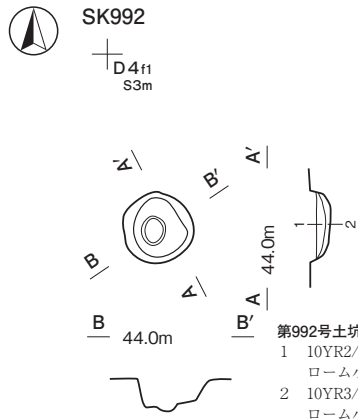
- 1 10YR2/2 黒褐 ローム中D・小C・粒C/粘B、締B
- 2 10YR3/3 暗褐 ローム小C・粒C/粘B、締B



第991号土坑土層解説

- 1 10YR3/3 暗褐 ローム小C・粒B/粘B、締B
- 2 10YR2/3 黒褐 ローム小C・粒C/粘B、締B

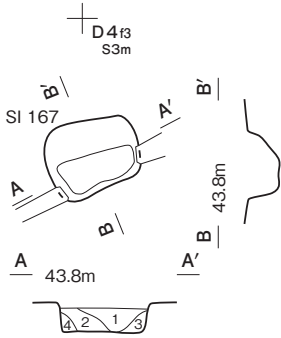




第 441 図 時期不明の土坑実測図 (51)



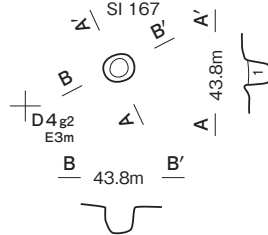
SK1021



第1021号土坑土層解説

- 1 10YR2/2 黒褐 ローム中C・小C・粒C/粘B、締B
- 2 10YR2/3 暗褐 ローム中D・小C・粒C/粘B、締B
- 3 10YR4/4 褐 ローム粒B/粘B、締B
- 4 10YR4/4 褐 ローム小C・粒C/粘B、締B

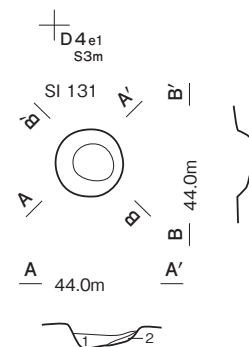
SK1022



第1022号土坑土層解説

- 1 10YR2/3 黒褐 ローム大D・中D・小C・粒C/粘B、締B

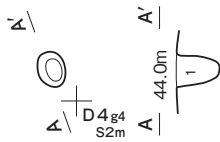
SK1023



第1023号土坑土層解説

- 1 10YR3/2 黒褐 ローム中D・小C・粒C、焼土中D・小C/粘B、締B
- 2 10YR4/4 褐 ローム粒B、炭化物C/粘B、締B

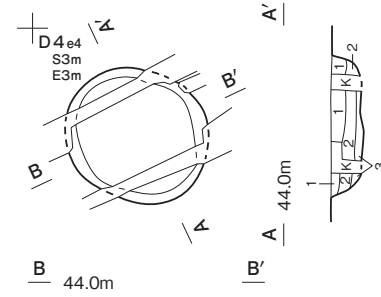
SK1024



第1024号土坑土層解説

- 1 10YR2/3 黒褐 ローム小C・粒C/粘B、締B

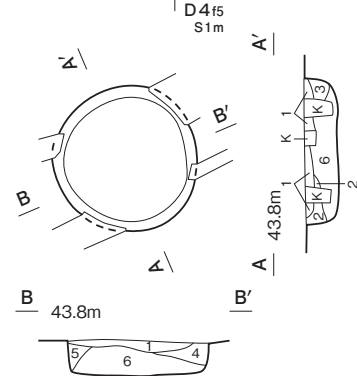
SK1026



第1026号土坑土層解説

- 1 10YR2/2 黒褐 ローム小D・粒C、炭化物D/粘B、締B
- 2 10YR3/3 暗褐 ローム中D・小C・粒C/粘B、締B
- 3 10YR3/1 黒褐 ローム小D・粒C/粘B、締A

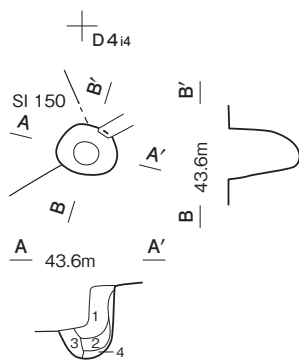
SK1027



第1027号土坑土層解説

- 1 10YR3/4 暗褐 ローム中C・小C・粒B/粘B、締B
- 2 10YR2/3 黒褐 ローム中D・小D・粒C/粘B、締B
- 3 10YR2/2 黒褐 ローム小C・粒C/粘B、締B
- 4 10YR3/3 暗褐 ローム中D・小C・粒C/粘B、締B
- 5 10YR2/1 黒 ローム粒D/粘B、締B
- 6 10YR2/2 黒褐 ローム大D・中C・小C・粒C/粘B、締B

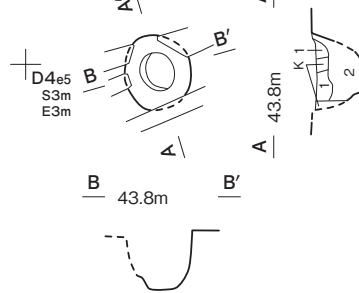
SK1028



第1028号土坑土層解説

- 1 10YR2/3 黒褐 ローム中D・小C・粒C/粘B、締B
- 2 10YR3/2 黒褐 ローム小C・粒C/粘B、締B
- 3 10YR3/3 暗褐 ローム中D・小C・粒C/粘B、締B
- 4 10YR4/4 褐 ローム小C・粒B/粘B、締B
- 5 10YR3/4 暗褐 ローム中C・小C・粒C/粘B、締B

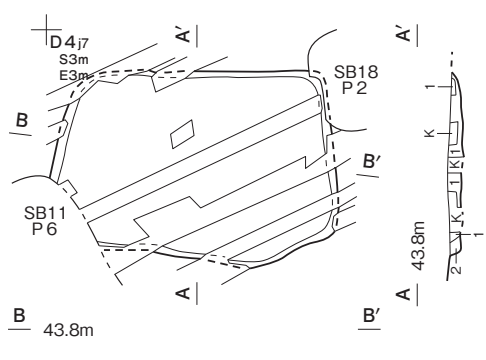
SK1029



第1029号土坑土層解説

- 1 10YR2/3 黒褐 ローム中D・小C・粒C/粘B、締B
- 2 10YR2/2 黒褐 ローム小D・粒C/粘B、締B

SK1031



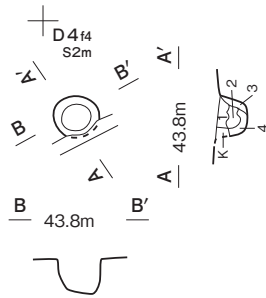
第1031号土坑土層解説

- 1 10YR2/3 黒褐 ローム中C・小C・粒C/粘B、締B
- 2 10YR3/4 暗褐 ローム大D・小C・粒C/粘B、締B

0 (1:60) 2m



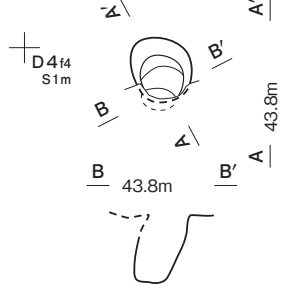
SK1032



第1032号土坑土層解説

- 1 10YR2/3 黒褐 ローム粒C/粘B、締B
- 2 10YR3/3 暗褐 ローム中D・小C・粒C/粘B、締B
- 3 10YR3/4 暗褐 ローム小C・粒B/粘B、締B
- 4 10YR3/2 黒褐 ローム小C・粒C/粘B、締B

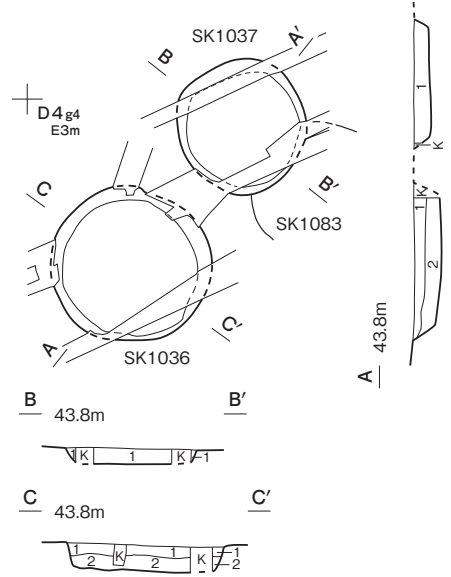
SK1033



第1033号土坑土層解説

- 1 10YR2/3 黒褐 ローム粒C/粘B、締B
- 2 10YR3/3 暗褐 ローム中D・小C・粒C/粘B、締B
- 3 10YR2/2 黒褐 ローム粒D/粘B、締B

SK1036・1037



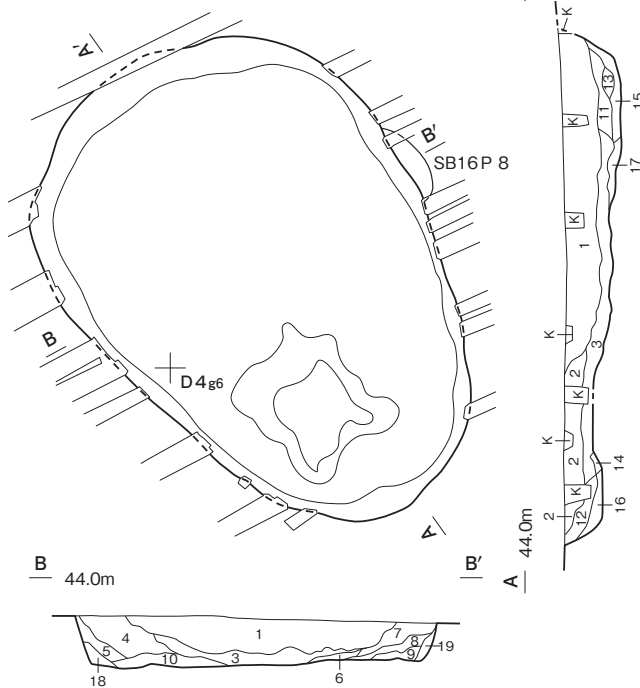
第1036号土坑土層解説

- 1 10YR2/2 黒褐 ローム小D・粒B/粘B、締B
- 2 10RY2/3 黒褐 ローム小B・粒B/粘B、締B

第1037号土坑土層解説

- 1 10YR2/3 黒褐 ローム小C・粒C/粘B、締B

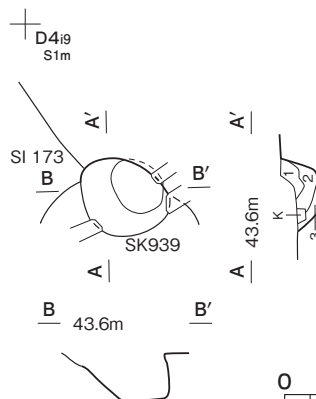
SK1040



第1040号土坑土層解説

- 1 10YR2/2 黒褐 ローム大D・中C・小C・粒C/粘B、締B
- 2 10YR3/2 黒褐 ローム層C・粒C/粘B、締B
- 3 10YR2/3 黒褐 ローム中D・小C・粒C/粘B、締B
- 4 10YR3/4 暗褐 ローム中D・小C・粒B/粘B、締B
- 5 10YR2/2 黒褐 ローム小D・粒C/粘B、締B
- 6 10YR2/1 黒 ローム小C・粒C/粘B、締B
- 7 10YR2/1 黒 ローム小D・粒D/粘B、締B
- 8 10YR2/3 黒褐 ローム小D・粒C/粘B、締B
- 9 10YR3/3 暗褐 ローム中D・小C・粒C/粘B、締B
- 10 10YR2/1 黒褐 ローム中C・小C・粒C/粘B、締B
- 11 10YR3/2 黒褐 ローム中D・小D・粒C、赤色粒子D/粘B、締B
- 12 10YR3/3 暗褐 ローム中C・小C・粒C/粘B、締B
- 13 10YR3/4 暗褐 ローム中D・小C・粒C、赤色粒子C/粘B、締B
- 14 10YR4/4 褐 ローム小C・粒B/粘B、締B
- 15 10YR2/2 黒褐 ローム小C・粒C、赤色粒子D/粘B、締B
- 16 10YR3/2 黒褐 ローム小C・粒C/粘B、締B
- 17 10YR2/2 黒褐 ローム小D・粒C/粘B、締B
- 18 10YR2/2 黒褐 ローム中D・小D・粒C/粘B、締B
- 19 10YR3/3 暗褐 ローム大D・小C・粒C/粘B、締B

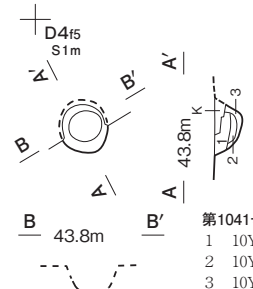
SK1038



第1038号土坑土層解説

- 1 10YR3/2 黒褐 ローム粒C/粘B、締B
- 2 10YR2/2 黒褐 ローム粒D/粘B、締B
- 3 10YR3/3 暗褐 ローム粒C/粘B、締B

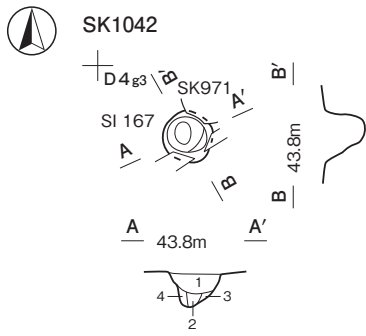
SK1041



第1041号土坑土層解説

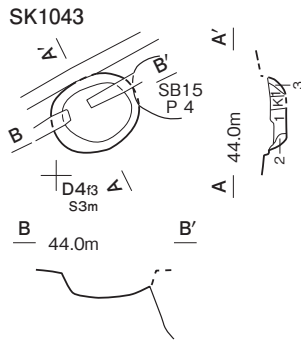
- 1 10YR2/2 黒褐 ローム小D・粒C/粘B、締B
- 2 10YR3/3 暗褐 ローム小C・粒C/粘B、締B
- 3 10YR4/4 褐 ローム小C・粒B/粘B、締B

第 443 図 時期不明の土坑実測図 (53)



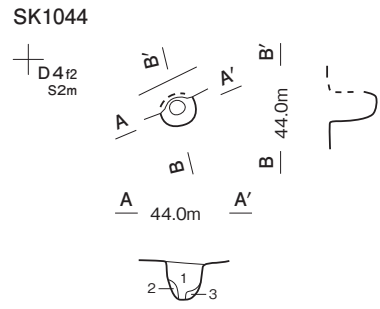
第1042号土坑土層解説

- 1 10YR2/3 黒褐 ローム中D・小C・粒C/粘B、締B
- 2 10YR2/2 黒褐 ローム小C・粒C/粘B、締B
- 3 10YR3/4 暗褐 ローム小C・粒B/粘B、締B
- 4 10YR3/3 暗褐 ローム小C・粒C/粘B、締B



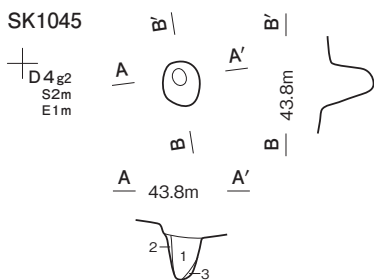
第1043号土坑土層解説

- 1 10YR2/2 黒褐 ローム小C・粒C/粘B、締B
- 2 10YR3/3 暗褐 ローム中D・小C・粒C/粘B、締B
- 3 10YR3/3 暗褐 ローム小C・粒C/粘B、締B



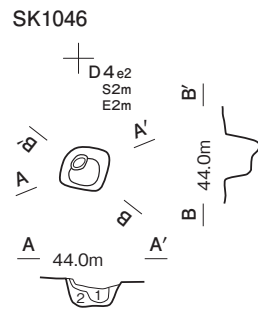
第1044号土坑土層解説

- 1 10YR2/3 黒褐 ローム小C・粒C/粘B、締B
- 2 10YR3/3 暗褐 ローム小C・粒C/粘B、締B
- 3 10YR4/4 褐 ローム小C・粒B/粘B、締B



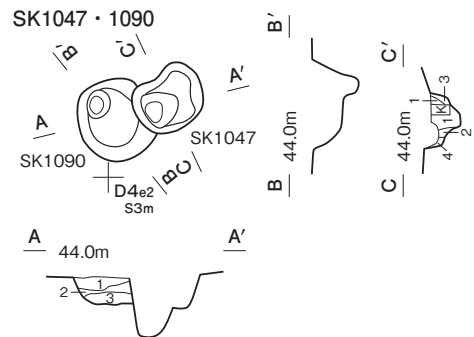
第1045号土坑土層解説

- 1 10YR2/2 黒褐 ローム小C・粒C/粘B、締B
- 2 10YR4/4 褐 ローム小C・粒B/粘B、締B
- 3 10YR4/3 近い黄褐 ローム中D・小C・粒C/粘B、締B



第1046号土坑土層解説

- 1 10YR2/3 黒褐 ローム中D・小C・粒C/粘B、締B
- 2 10YR4/4 褐 ローム小C・粒B/粘B、締B

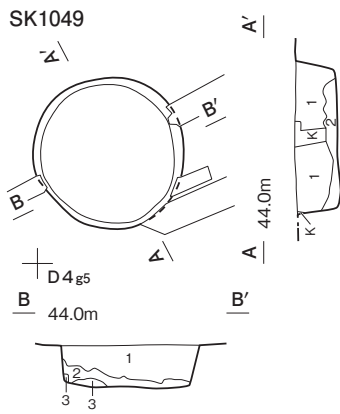


第1047号土坑土層解説

- 1 10YR2/3 黒褐 ローム中D・小C・粒C/粘B、締B
- 2 10YR2/2 黒褐 ローム小D・粒C/粘B、締B
- 3 10YR4/4 褐 ローム粒B/粘B、締B
- 4 10YR4/4 褐 ローム小C・粒B/粘B、締B

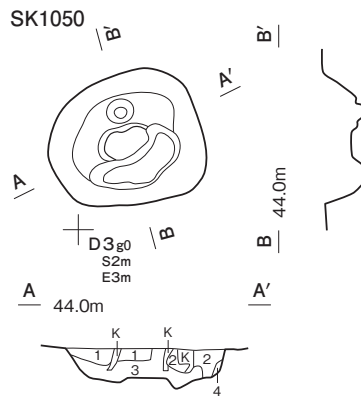
第1090号土坑土層解説

- 1 10YR2/2 黒褐 ローム小C・粒C/粘B、締B
- 2 10YR2/3 暗褐 ローム中D・小C・粒C/粘B、締B
- 3 10YR4/4 褐 ローム小B・粒B/粘B、締B



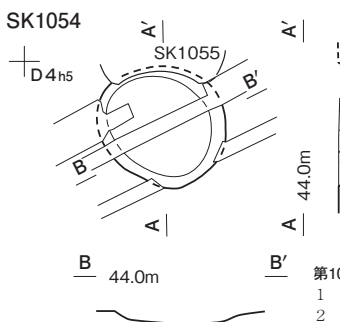
第1049号土坑土層解説

- 1 10YR3/3 暗褐 ローム大D・中B・小B・粒B/粘B、締B
- 2 10YR2/3 黒褐 ローム小B・粒B/粘B、締B
- 3 10YR3/3 暗褐 ローム小C・粒D/粘B、締B



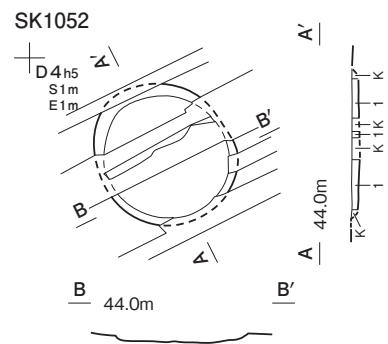
第1050号土坑土層解説

- 1 10YR3/2 黒褐 ローム粒C、焼土粒D/粘B、締B
- 2 10YR3/3 暗褐 ローム小C・粒C/粘B、締B
- 3 10YR4/4 褐 ローム小B・粒B/粘B、締B
- 4 10YR3/4 暗褐 ローム中D・粒C/粘B、締B



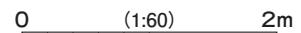
第1054号土坑土層解説

- 1 10YR2/3 黒褐 ローム粒C/粘B、締B
- 2 10YR3/3 暗褐 ローム中B・小C・粒B/粘B、締B



第1052号土坑土層解説

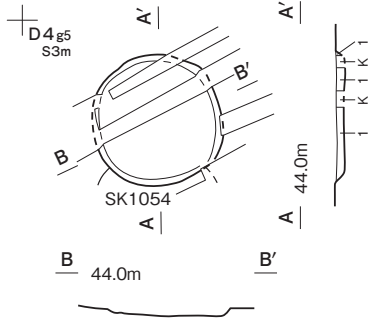
- 1 10YR2/2 黒褐 ローム小D・粒B/粘B、締B



第444図 時期不明の土坑実測図 (54)



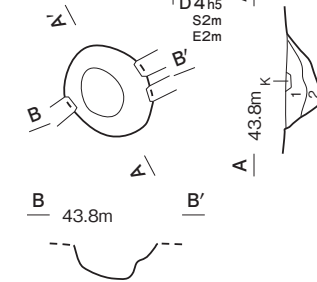
SK1055



第1055号土坑土層解説

- 1 10YR2/3 黒褐 ローム粒B / 粘B、締B

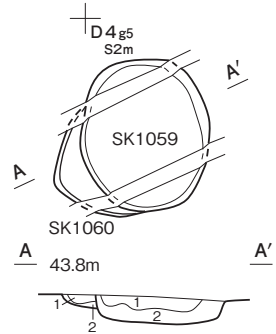
SK1057



第1057号土坑土層解説

- 1 10YR2/3 黒褐 ローム小C・粒C / 粘B、締B
- 2 10YR3/3 暗褐 ローム中B・小C・粒C / 粘B、締A

SK1059・1060



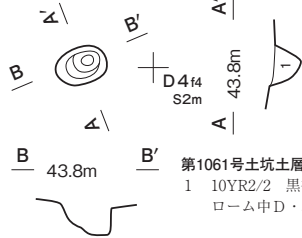
第1059号土坑土層解説

- 1 10YR3/2 黒褐 ローム粒C、焼土粒D、炭化粒D / 粘B、締B
- 2 10YR2/2 黒褐 ローム粒C / 粘B、締B

第1060号土坑土層解説

- 1 10YR2/3 黒褐 ローム粒C / 粘B、締B
- 2 10YR3/3 暗褐 ローム小C・粒B / 粘B、締B

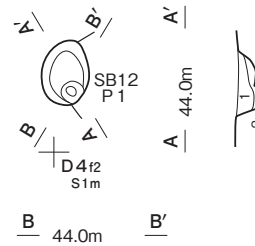
SK1061



第1061号土坑土層解説

- 1 10YR2/2 黒褐 ローム中D・小C・粒C / 粘B、締B

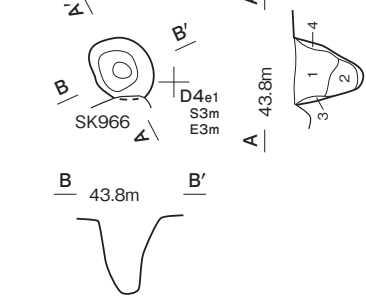
SK1063



第1063号土坑土層解説

- 1 10YR2/3 黒褐 ローム小C・粒C / 粘B、締B
- 2 10YR3/3 暗褐 ローム中D・小C・粒B / 粘B、締B

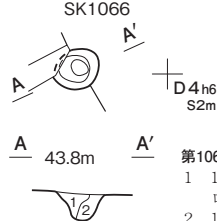
SK1064



第1064号土坑土層解説

- 1 10YR2/2 黒褐 ローム小C・粒C / 粘B、締B
- 2 10YR2/1 黒 ローム大D・粒C / 粘B、締B
- 3 10YR3/3 暗褐 ローム小C・粒C / 粘B、締B
- 4 10YR4/4 褐 ローム小C・粒B / 粘B、締B

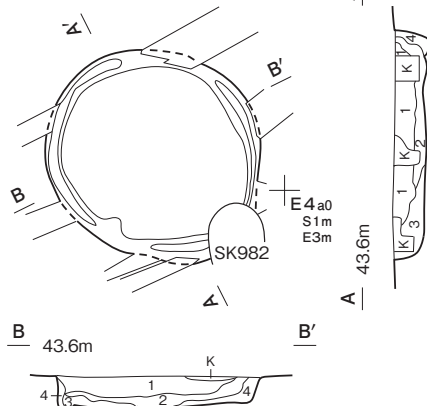
SK1062



第1062号土坑土層解説

- 1 10YR3/2 黒褐 ローム小C・粒C / 粘B、締C
- 2 10YR3/1 黒褐 ローム中D・小C・粒C / 粘B、締B

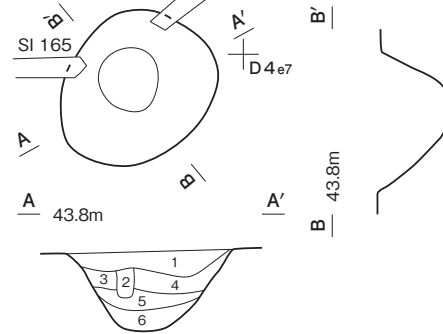
SK1065



第1065号土坑土層解説

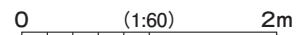
- 1 10YR2/3 黒褐 ローム小C・粒C / 粘B、締C
- 2 10YR2/2 黒褐 ローム小C・粒C / 粘B、締B
- 3 10YR2/3 黒褐 ローム小B・粒B / 粘B、締B
- 4 10YR3/3 暗褐 ローム小B・粒A / 粘B、締C

SK1067



第1067号土坑土層解説

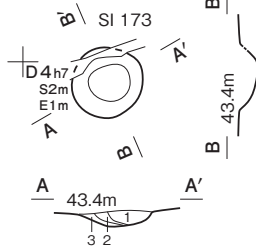
- 1 10YR3/2 黒褐 ローム粒C、焼土粒D、炭化粒D / 粘B、締B
- 2 10YR3/3 暗褐 ローム小C・粒B、焼土粒C、炭化粒D / 粘B、締B
- 3 10YR4/3 じい黄褐 ローム小B・粒B / 粘B、締B
- 4 10YR3/2 黒褐 ローム小D・粒C / 粘B、締B
- 5 10YR3/4 暗褐 ローム小C・粒C / 粘B、締B
- 6 10YR4/3 じい黄褐 ローム小C・粒B、粘土中D / 粘B、締B



第 445 図 時期不明の土坑実測図 (55)



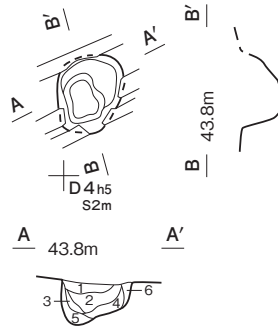
SK1068



第1068号土坑土層解説

- 1 10YR2/3 黒褐 ローム中D・小C・粒C/粘B、縮B
- 2 10YR2/2 黒褐 ローム小D・粒C/粘B、縮B
- 3 10YR3/4 暗褐 ローム大D・中D・小C・粒C/粘B、縮B

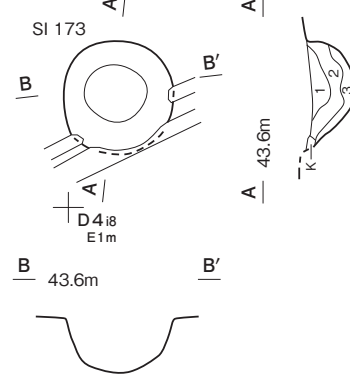
SK1069



第1069号土坑土層解説

- 1 10YR2/3 黒褐 ローム中D・小C・粒C/粘B、縮B
- 2 10YR3/2 黒褐 ローム小C・粒C/粘B、縮B
- 3 10YR3/3 暗褐 ローム中D・粒B/粘B、縮C
- 4 10YR2/3 黒褐 ローム小C・粒C/粘B、縮B
- 5 10YR4/4 褐 ローム小C・粒B/粘B、縮B
- 6 10YR3/3 暗褐 ローム小C・粒C/粘B、縮B

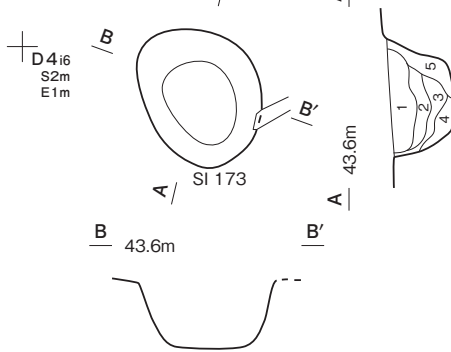
SK1070



第1070号土坑土層解説

- 1 10YR2/2 黒褐 ローム小D・粒C/粘B、縮B
- 2 10YR2/3 黒褐 ローム大D・中D・小C・粒C/粘B、縮B
- 3 10YR3/4 暗褐 ローム中C・小C・粒C/粘B、縮B

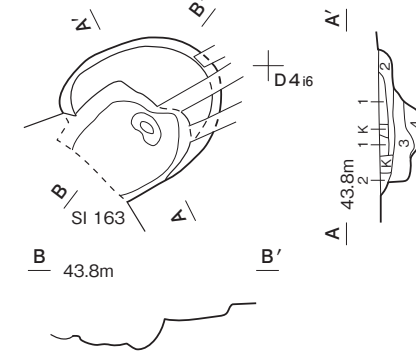
SK1071



第1071号土坑土層解説

- 1 10YR2/3 黒褐 ローム中D・小C・粒C/粘B、縮B
- 2 10YR2/2 黒褐 ローム小D・粒D/粘B、縮B
- 3 10YR3/2 黒褐 ローム小C・粒C/粘B、縮B
- 4 10YR3/4 暗褐 ローム中C・小C・粒C/粘B、縮B
- 5 10YR3/3 暗褐 ローム中D・小C・粒C/粘B、縮B

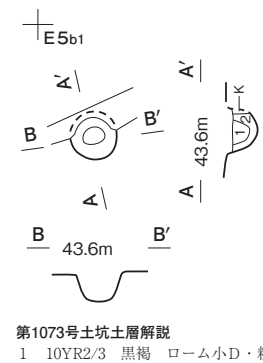
SK1072



第1072号土坑土層解説

- 1 10YR2/3 黒褐 ローム小C・粒C/粘B、縮B
- 2 10YR2/2 黒褐 ローム中D・粒C/粘B、縮B
- 3 10YR3/3 暗褐 ローム中D・小C・粒C/粘B、縮B
- 4 10YR4/4 褐 ローム小C・粒B/粘B、縮B
- 5 10YR4/4 褐 ローム中C・小C・粒C/粘B、縮B

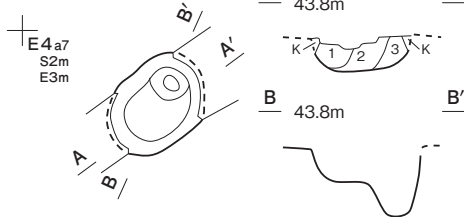
SK1073



第1073号土坑土層解説

- 1 10YR2/3 黒褐 ローム小D・粒C/粘B、縮B
- 2 10YR3/3 暗褐 ローム中C・小C・粒C/粘B、縮B

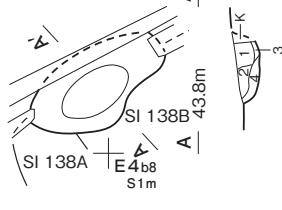
SK1074



第1074号土坑土層解説

- 1 10YR2/3 黒褐 ローム小C・粒C/粘B、縮B
- 2 10YR2/3 黒褐 ローム小B・粒C/粘B、縮B
- 3 10YR3/3 暗褐 ローム中C・小B・粒B/粘B、縮B

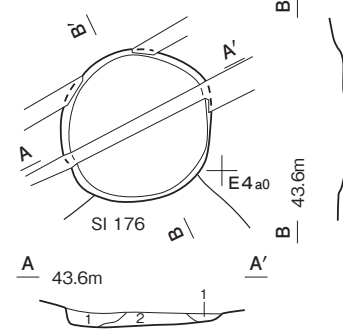
SK1075



第1075号土坑土層解説

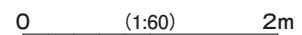
- 1 10YR3/2 黒褐 ローム小D・粒C/粘B、縮B
- 2 10YR3/3 黒褐 ローム中C・小C・粒C/粘B、縮B
- 3 10YR3/3 暗褐 ローム小C・粒B/粘B、縮B
- 4 10YR3/3 暗褐 ローム中C・小B・粒C/粘B、縮B

SK1076



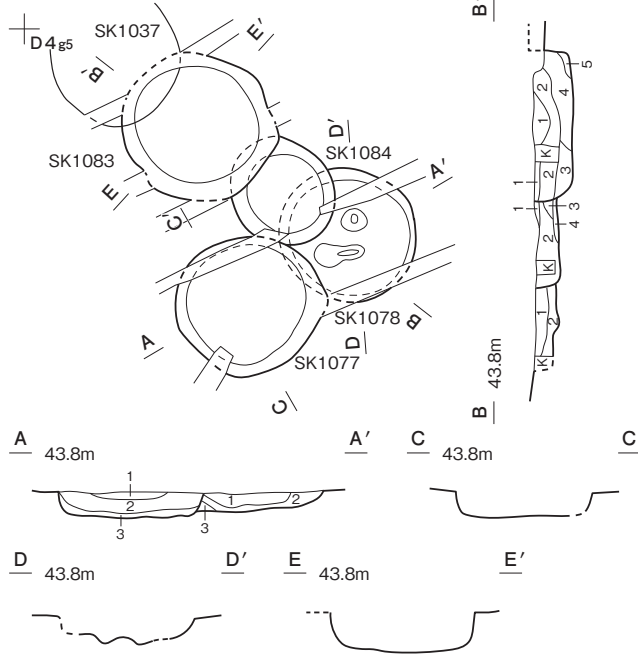
第1076号土坑土層解説

- 1 10YR3/3 暗褐 ローム中B・小C・粒C/粘B、縮C
- 2 10YR3/4 暗褐 ローム中B・小B・粒C/粘B、縮B





SK1077・1078・1083・1084



第1077号土坑土層解説

- 1 10YR2/3 黒褐 ローム中D・小C・粒C、赤色ブロック中D/粘B、締B
- 2 10YR2/2 黒褐 ローム中D・小C・粒C、炭化粒C、赤色粒子C/粘B、締B
- 3 10YR3/2 黒褐 ローム小C・粒C、炭化粒D/粘B、締B

第1078号土坑土層解説

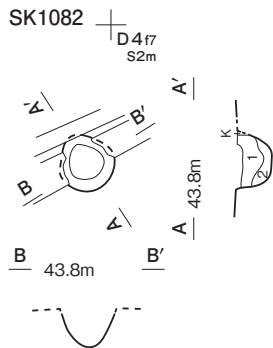
- 1 10YR2/3 黒褐 ローム大D・小C・粒C、炭化粒D/粘B、締B
- 2 10YR3/3 暗褐 ローム中D・小C・粒C/粘B、締B
- 3 10YR4/4 褐 ローム小C・粒B/粘B、締B

第1083号土坑土層解説

- 1 10YR2/3 黒褐 ローム小C/粘B、締B
- 2 10YR3/2 黒褐 ローム中D・小C・粒C/粘B、締B
- 3 10YR2/1 黒 ローム小C・粒C/粘B、締B
- 4 10YR3/4 暗褐 ローム中D・小C・粒C/粘B、締B
- 5 10YR2/2 黒褐 ローム小C・粒C/粘B、締B

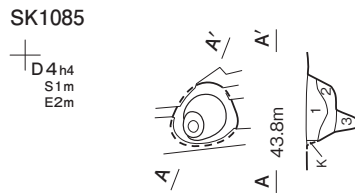
第1084号土坑土層解説

- 1 10YR2/3 黒褐 ローム小C・粒C/粘B、締C
- 2 10YR2/2 黒褐 ローム大D・粒C/粘B、締B
- 3 10YR3/2 黒褐 ローム中D・粒C/粘B、締B
- 4 10YR3/3 暗褐 ローム小C・粒C/粘B、締B



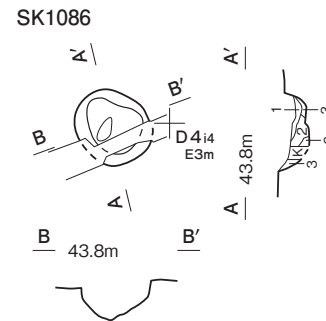
第1082号土坑土層解説

- 1 10YR2/3 黒褐 ローム大D・中D・粒C/粘B、締B
- 2 10YR3/3 暗褐 ローム小C・粒C/粘B、締B



第1085号土坑土層解説

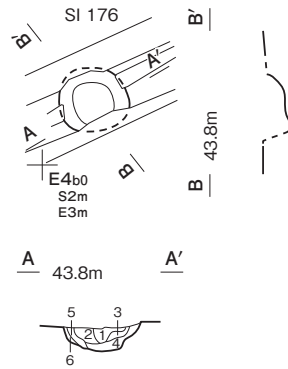
- 1 10YR2/2 黒褐 ローム粒D/粘B、締B
- 2 10YR3/3 暗褐 ローム中B・小B・粒C/粘B、締B
- 3 10YR2/3 黒褐 ローム中B・小C・粒C/粘B、締C



第1086号土坑土層解説

- 1 10YR2/3 黒褐 ローム小C・粒C/粘B、締B
- 2 10YR3/3 暗褐 ローム中B・小B・粒C/粘B、締B
- 3 10YR3/2 黒褐 ローム小B/粘B、締B

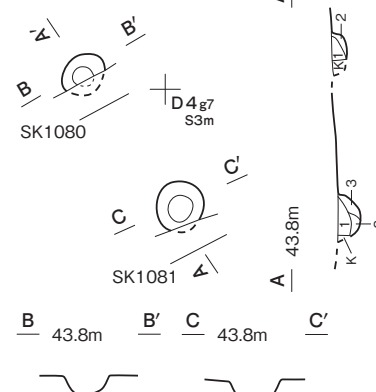
SK1079



第1079号土坑土層解説

- 1 10YR2/2 黒褐 ローム小D・粒D/粘B、締B
- 2 10YR3/2 黒褐 ローム中D・小D・粒C/粘B、締B
- 3 10YR2/3 黒褐 ローム小C・粒C/粘B、締B
- 4 10YR2/2 黒褐 ローム中D・粒C/粘B、締B
- 5 10YR3/3 暗褐 ローム小D・粒C/粘B、締B
- 6 10YR3/4 暗褐 ローム中D・小C・粒C/粘B、締B

SK1080・1081

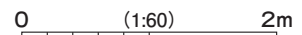


第1080号土坑土層解説

- 1 10YR2/3 黒褐 ローム小D・粒C/粘B、締B
- 2 10YR3/3 暗褐 ローム小C・粒C/粘B、締B

第1081号土坑土層解説

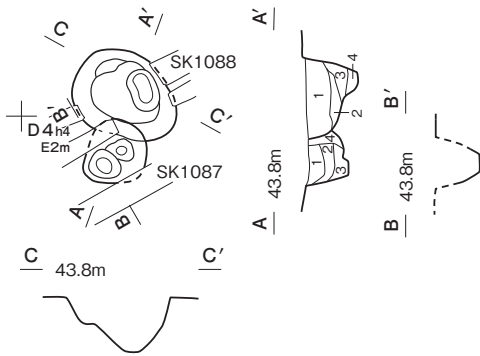
- 1 10YR2/2 黒褐 ローム小D・粒C/粘B、締B
- 2 10YR2/2 黒褐 ローム中D・小D・粒C/粘B、締B
- 3 10YR2/3 黒褐 ローム中D・小C・粒C、炭化粒D/粘B、締B



第 447 図 時期不明の土坑実測図 (57)



SK1087・1088



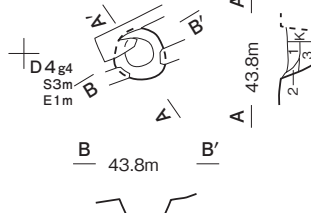
第1087号土坑土層解説

- 1 10YR2/3 黒褐 ローム中D・小C・粒C/粘B、締B
- 2 10YR3/2 黒褐 ローム大D・中D・小D・粒C/粘B、締B
- 3 10YR2/2 黒褐 ローム中D・小D・粒C/粘B、締B
- 4 10YR4/4 褐 ローム小C・粒B/粘B、締B

第1088号土坑土層解説

- 1 10YR3/3 暗褐 ローム小C・粒C/粘B、締B
- 2 10YR4/3 にぶい黄褐 ローム小C・粒B/粘B、締B
- 3 10YR3/4 暗褐 ローム大D・小C・粒C/粘B、締B
- 4 10YR4/4 褐 ローム小C・粒B/粘B、締B

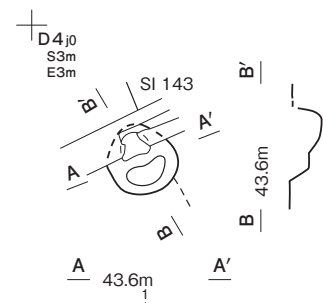
SK1089



第1089号土坑土層解説

- 1 10YR2/3 黒褐 ローム小C・粒C/粘B、締B
- 2 10YR2/2 黒褐 ローム粒D/粘B、締B
- 3 10YR4/4 褐 ローム中C・小C・粒B/粘B、締B

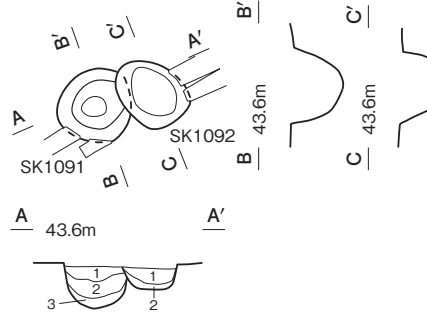
SK1095



第1095号土坑土層解説

- 1 10YR2/3 黒褐 ローム中D・小C・粒C/粘B、締B
- 2 10YR3/3 暗褐 ローム中C・小C・粒C/粘B、締B
- 3 10YR4/3 にぶい黄褐 ローム小C・粒B/粘B、締B

SK1091・1092



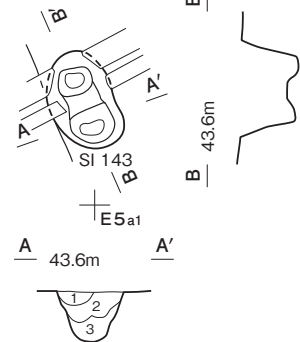
第1091号土坑土層解説

- 1 10YR2/3 黒褐 ローム中D・小C・粒C/粘B、締B
- 2 10YR3/3 暗褐 ローム大D・中D・小C・粒C、炭化物D/粘B、締B
- 3 10YR4/4 褐 ローム小B・粒B/粘B、締B

第1092号土坑土層解説

- 1 10YR3/2 黒褐 ローム大D・小C・粒C/粘B、締B
- 2 10YR4/4 褐 ローム中C・小C・粒B/粘B、締B

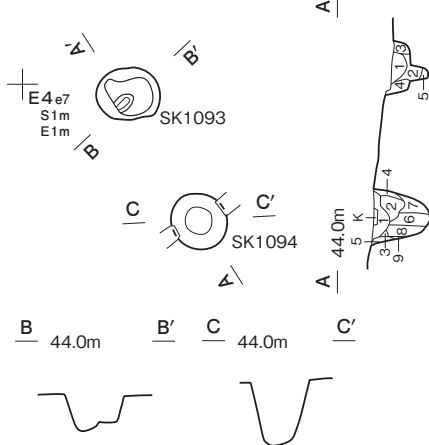
SK1096



第1096号土坑土層解説

- 1 10YR2/2 黒褐 ローム小D・粒D/粘B、締B
- 2 10YR2/3 黒褐 ローム小C・粒C/粘B、締B
- 3 10YR3/3 暗褐 ローム中D・小C・粒C/粘B、締B

SK1093・1094



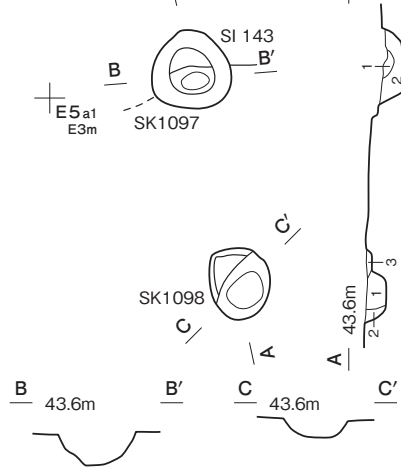
第1093号土坑土層解説

- 1 10YR2/3 黒褐 ローム小C・粒C/粘B、締B
- 2 10YR2/2 黒褐 ローム小D・粒D/粘B、締B
- 3 10YR3/3 暗褐 ローム大D・小D・粒C/粘B、締B
- 4 10YR3/4 暗褐 ローム大D・中D・小C・粒C/粘B、締B
- 5 10YR4/4 褐 ローム粒B/粘B、締B

第1094号土坑土層解説

- 1 10YR2/2 黒褐 ローム中D・粒C/粘B、締B
- 2 10YR2/3 黒褐 ローム大D・中D・小C・粒C/粘B、締B
- 3 10YR3/3 暗褐 ローム小C・粒C/粘B、締B
- 4 10YR3/4 暗褐 ローム小C・粒B/粘B、締B
- 5 10YR3/4 暗褐 ローム中D・小C・粒C、炭化物C/粘B、締B
- 6 10YR2/1 黒 ローム小D・粒D/粘B、締B
- 7 10YR2/2 黒褐 ローム小C・粒C/粘B、締B
- 8 10YR3/2 黒褐 ローム中D・小C・粒C/粘B、締B
- 9 10YR3/4 暗褐 ローム中C・小C・粒C/粘B、締B

SK1097・1098

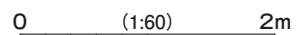


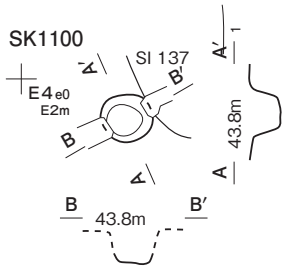
第1097号土坑土層解説

- 1 10YR2/2 黒褐 ローム小D・粒C/粘B、締B
- 2 10YR3/3 暗褐 ローム大D・中C・小C/粘B、締B

第1098号土坑土層解説

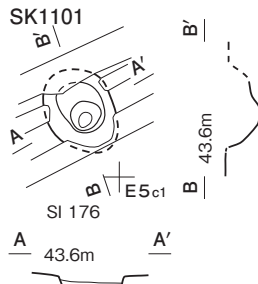
- 1 10YR2/1 黒 ローム粒C/粘B、締B
- 2 10YR4/4 褐 ローム小C・粒B/粘B、締B
- 3 10YR2/3 暗褐 ローム小C・粒C/粘B、締B





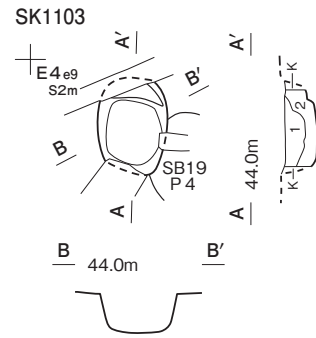
第1100号土坑土層解説

- 1 10YR2/3 黒褐 ローム小C・粒C/粘B、締B



第1101号土坑土層解説

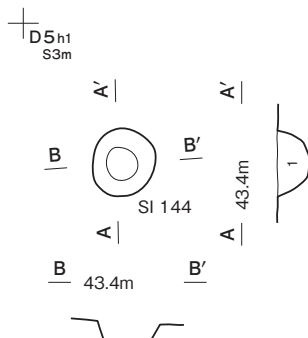
- 1 10YR2/3 黒褐 ローム大D・小C・粒C/粘B、締B
- 2 10YR3/3 暗褐 ローム中C・小C・粒C/粘B、締B



第1103号土坑土層解説

- 1 10YR3/2 黒褐 ローム粒D/粘B、締C
- 2 10YR3/3 暗褐 ローム中C・粒B/粘B、締B

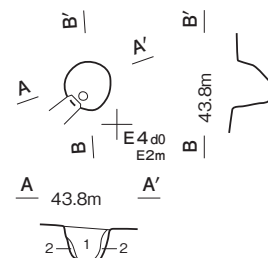
SK1104



第1104号土坑土層解説

- 1 10YR2/2 黒褐 ローム小D・粒C/粘B、締B

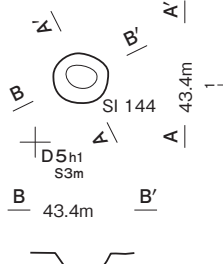
SK1105



第1105号土坑土層解説

- 1 10YR2/3 黒褐 ローム中D・小C・粒C/粘B、締B
- 2 10YR3/3 暗褐 ローム小C・粒A/粘B、締C

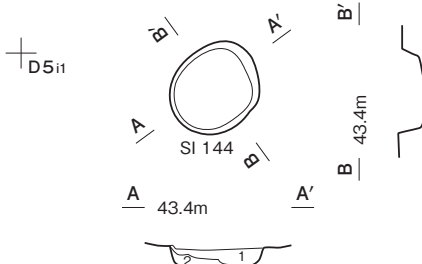
SK1107



第1107号土坑土層解説

- 1 10YR2/3 黒褐 ローム粒D/粘B、締C
- 2 10YR3/3 暗褐 ローム小B・粒B/粘B、締B

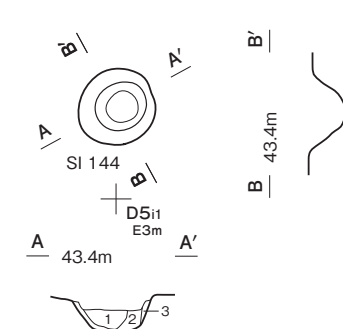
SK1108



第1108号土坑土層解説

- 1 10YR2/3 黒褐 ローム小C・粒C/粘B、締B
- 2 10YR3/3 暗褐 ローム中D・小C・粒B/粘B、締B

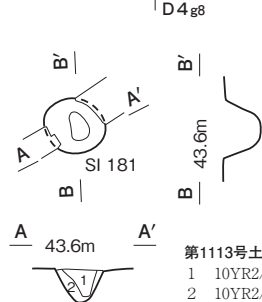
SK1109



第1109号土坑土層解説

- 1 10YR2/2 黒褐 ローム大D・中D・粒C/粘B、締B
- 2 10YR3/3 暗褐 ローム中D・小C・粒C/粘B、締B
- 3 10YR4/3 濃い黄褐 ローム小C・粒B/粘B、締B

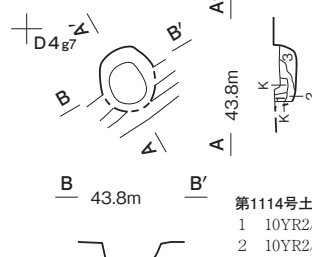
SK1113



第1113号土坑土層解説

- 1 10YR2/3 黒褐 ローム小C・粒C/粘B、締B
- 2 10YR2/3 黒褐 ローム小B・粒B/粘B、締B

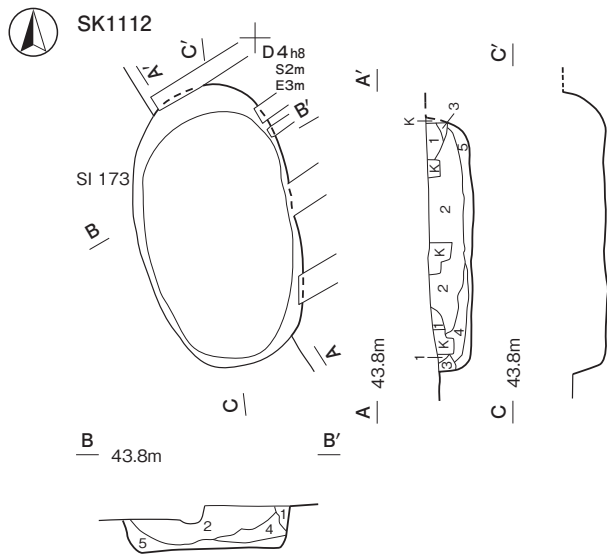
SK1114



第1114号土坑土層解説

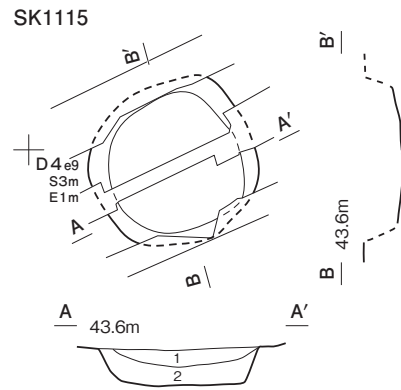
- 1 10YR2/3 黒褐 ローム小C・粒C/粘B、締B
- 2 10YR2/3 黒褐 ローム中B・小C・粒C/粘B、締A
- 3 10YR3/3 暗褐 ローム小B・粒A/粘B、締B

0 (1:60) 2m



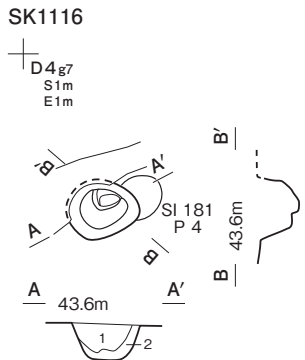
第1112号土層解説

- 1 10YR3/1 暗褐 ローム小C・粒B/粘B、締C
- 2 10YR2/2 黒褐 ローム中D・小D・粒D、焼土粒D/粘B、締B
- 3 10YR3/3 暗褐 ローム中C・小C・粒A/粘B、締B
- 4 10YR2/2 黒褐 ローム粒D・焼土粒D・炭化粒D/粘B、締B
- 5 10YR2/3 黒褐 ローム中D・粒C/粘B、締A



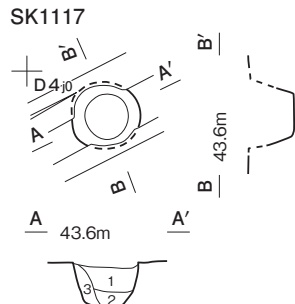
第1115号土坑土層解説

- 1 10YR2/3 黒褐 ローム小C・粒C、焼土粒D、炭化粒D、粘土小C/粘B、締B
- 2 10YR3/3 暗褐 ローム中C・小A・粒A/粘B、締B



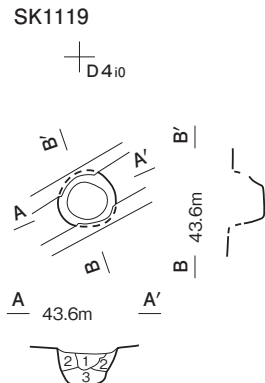
第1116号土坑土層解説

- 1 10YR3/3 暗褐 ローム小C・粒B/粘B、締B
- 2 10YR2/3 黒褐 ローム中C・小C・粒B/粘B、締B



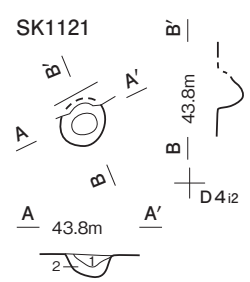
第1117号土坑土層解説

- 1 10YR2/3 黒褐 ローム小D・粒D/粘B、締B
- 2 10YR2/3 黒褐 ローム中C・小B・粒B/粘B、締A
- 3 10YR3/3 暗褐 ローム中C・小B・粒B/粘B、締C



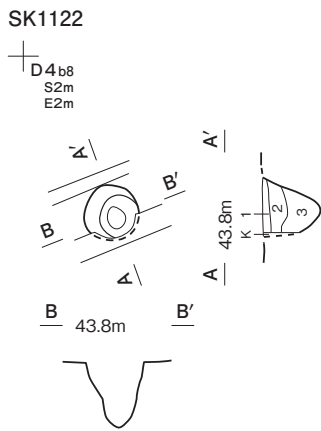
第1119号土坑土層解説

- 1 10YR2/3 黒褐 ローム小D・粒C/粘B、締B
- 2 10YR2/3 黒褐 ローム大C・中D・粒C/粘B、締B
- 3 10YR3/3 暗褐 ローム中C・小C・粒C/粘B、締B



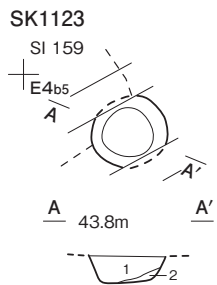
第1121号土坑土層解説

- 1 10YR2/3 黒褐 ローム小C・粒C/粘B、締B
- 2 10YR3/3 暗褐 ローム小C・粒B/粘B、締B



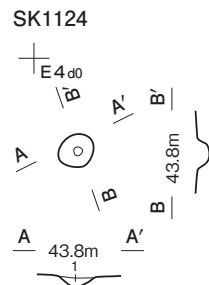
第1122号土坑土層解説

- 1 10YR2/3 黒褐 ローム粒B/粘B、締C
- 2 10YR2/2 黒褐 ローム小C・粒C/粘B、締B
- 3 10YR3/3 暗褐 ローム小C・粒B/粘B、締B



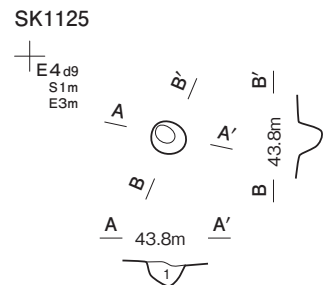
第1123号土坑土層解説

- 1 10YR2/3 黒褐 ローム大D・中D・小C・粒C/粘B、締B
- 2 10YR4/3 にお漬羅 ローム小C・粒B/粘B、締B



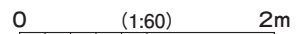
第1124号土坑土層解説

- 1 10YR2/3 黒褐 ローム中C・小C・粒C/粘B、締B

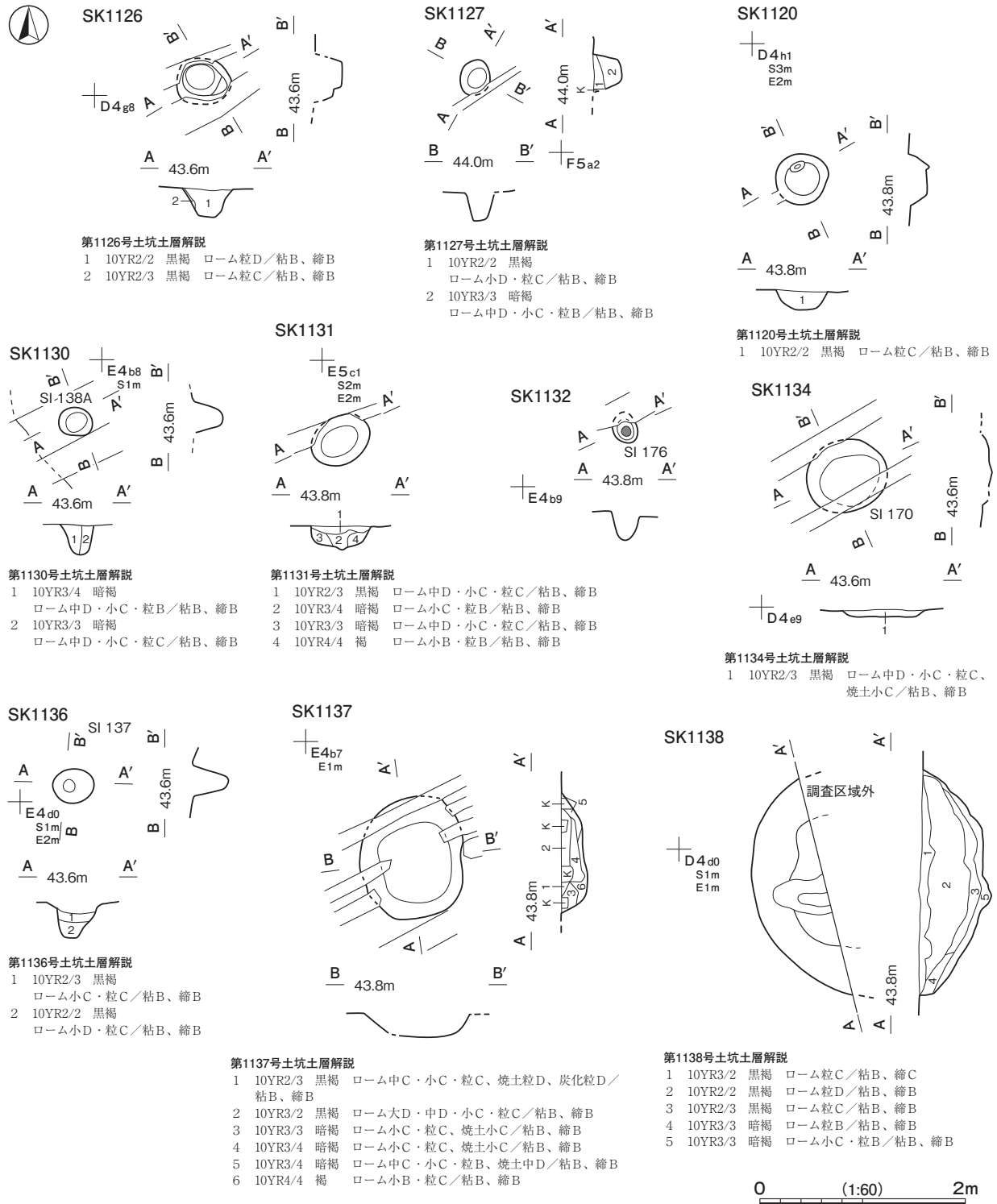


第1125号土坑土層解説

- 1 10YR2/3 黒褐 ローム中D・小C・粒C/粘B、締B



第450図 時期不明の土坑実測図 (60)



第 451 図 時期不明の土坑実測図 (61)

第 227 表 時期不明の土坑一覧

番号	位置	長径方向	平面形	規 模		壁 面	底 面	覆 土	主 な 出 土 遺 物	備 考
				長径×短径(m)	深さ(cm)					
89	I 4 b2	N - 64° - W	楕円形	[1.75] × 1.32	34	外傾	皿状	自然	土師器 須恵器 剥片	SI17 →本跡
90	I 4 e5	N - 52° - E	楕円形	1.84 × 1.06	18	外傾	皿状	自然	土師器 須恵器	
91	I 4 f4	-	円形	0.90 × 0.88	9	外傾	平坦	自然		SI14 →本跡
92	I 4 c5	N - 70° - E	楕円形	0.48 × 0.40	19	外傾	平坦	人為		

番号	位置	長径方向	平面形	規 模		壁 面	底 面	覆 土	主 な 出 土 遺 物	備 考
				長径×短径(m)	深さ(cm)					
93	I 4 c5	-	[凹形・楕円形]	0.90 × (0.38)	22	外傾	平坦	自然	土師器	本跡→SI16
94	I 4 b5	-	凹形	0.96 × 0.88	19	外傾	皿状	自然		SI21→本跡
95	I 4 c6	N-3°-W	楕円形	1.14 × 1.00	24	外傾	平坦	自然	土師器 須恵器	本跡→SK97
96	I 4 c5	-	凹形	1.10 × 1.10	23	外傾	平坦	自然	土師器	SI21→本跡
97	I 4 c6	-	凹形	1.06 × 1.00	32	外傾	皿状	自然	土師器 須恵器	SI21、SK95→本跡
98	I 4 b5	N-26°-E	隅丸長方形	1.68 × [0.70]	19	外傾	平坦	自然	土師器	本跡→SI22・23
99	I 4 d2	N-24°-E	楕円形	1.02 × 0.86	25	外傾	平坦	人為	土師器 須恵器	
100	I 4 d3	N-17°-W	楕円形	1.75 × 1.34	24	外傾	平坦	自然	土師器 須恵器	
102	I 4 a5	N-30°-E	隅丸長方形	1.24 × [0.63]	30	外傾	凹凸	人為	土師器	
103	I 4 d6	-	凹形	1.00 × 0.96	19	外傾	平坦	人為	土師器 須恵器	
104	I 4 b2	N-11°-W	[楕円形]	1.05 × (0.80)	14	外傾	皿状	人為	土師器 須恵器	SI17→本跡
105	I 4 c2	-	[凹形]	0.73 × [0.72]	19	外傾	凹凸	人為	土師器 須恵器	SI17→本跡
106	I 4 c4	N-52°-W	楕円形	0.48 × 0.34	25	外傾	皿状	自然		
107	I 4 c4	N-52°-W	楕円形	0.60 × 0.37	21	外傾	皿状	人為		
108	I 4 d4	-	凹形	1.15 × 1.12	33	外傾	皿状	自然	土師器 須恵器	
109	I 4 d4	-	凹形	1.02 × 1.01	15	外傾	平坦	自然	土師器	
110	H 4 j7	-	凹形	1.24 × 1.20	56	外傾	凹凸	自然	土師器 須恵器	SI25→本跡
111	I 4 a3	-	凹形	5.20 × 5.10	30	外傾	皿状	自然	土師器	SI19→本跡
112	I 4 c4	N-30°-E	楕円形	0.67 × 0.43	17	外傾	皿状	自然	土師器	
113	I 4 e6	-	凹形	0.80 × 0.77	10	外傾	平坦	自然	土師器 須恵器	
114	I 4 d5	-	凹形	0.27 × 0.27	54	外傾	皿状	人為	土師器	
115	I 4 e5	N-12°-E	楕円形	0.43 × 0.39	52	外傾	平坦	人為		
116	I 4 c4	N-48°-W	楕円形	0.30 × 0.23	31	直立	皿状	人為	砥石 刀子	
117	I 4 c4	-	凹形	0.20 × 0.24	34	直立	皿状	人為		
118	I 4 c4	N-9°-E	楕円形	0.67 × 0.48	23	外傾	皿状	人為		
119	I 4 c5	N-56°-E	楕円形	0.71 × 0.62	47	外傾	皿状	人為		
120	I 4 b3	N-25°-W	楕円形	1.65 × 1.35	40	外傾	皿状	不明	刀子	
121	I 4 a2	N-60°-W	楕円形	1.15 × 1.03	22	外傾	平坦	人為	土師器 須恵器	
122	I 4 c2	-	凹形	0.97 × 0.92	47	外傾	皿状	人為		SI17→本跡
123	H 4 g2	N-43°-E	[楕円形]	1.15 × [1.02]	23	外傾	平坦	人為	土師器 陶器	SI35→本跡
124	H 4 h4	N-26°-E	[楕円形]	0.80 × [0.64]	33	外傾	凹凸	自然	土師器	SI29→本跡
125	I 4 c2	N-23°-W	楕円形	1.24 × 1.05	49	外傾	皿状	人為		SI17→本跡
127	H 4 j3	-	凹形	0.66 × 0.67	10	外傾	凹凸	人為	土師器	SI19→本跡
128	H 4 h3	N-24°-W	楕円形	0.70 × 0.52	30	外傾	皿状	自然	土師器	SI29→本跡
129	H 4 i2	N-40°-E	[楕円形]	0.75 × [0.65]	22	外傾	平坦	自然	土師器	
130	H 4 h5	-	凹形	1.15 × 1.10	23	外傾	平坦	自然	土師器 須恵器	SI30→本跡
131	H 4 j7	N-11°-E	[凹形・楕円形]	0.74 × (0.30)	37	直立	平坦	人為		SI25→本跡
133	I 4 f3	N-3°-W	楕円形	1.46 × 1.22	27	外傾	皿状	人為		
134	H 4 h3	N-64°-E	楕円形	1.03 × 0.85	13	外傾	皿状	人為		
135	H 4 g5	N-30°-E	楕円形	1.06 × 0.96	37	外傾	皿状	人為		SK136→本跡
136	H 4 g5	-	凹形	0.96 × (0.88)	36	外傾	凹凸	人為	土師器	SK137→本跡→SK135
137	H 4 f5	-	凹形	1.20 × 1.19	20	外傾	平坦	人為	弥生土器 土師器 陶器	本跡→SK136
138	H 4 i4	-	凹形	0.70 × 0.65	40	外傾	皿状	人為		
139	H 4 e4	-	凹形	1.02 × 1.02	30	外傾	平坦	人為	弥生土器 土師器	SI38→本跡
140	I 4 b3	-	凹形	1.08 × 1.05	42	外傾	皿状	自然		
141	H 4 f6	-	凹形	0.88 × 0.87	14	外傾	皿状	自然	土師器 須恵器	
142	H 4 e6	-	凹形	0.86 × 0.83	27	外傾	平坦	自然		SI34→本跡
143	H 4 d6	N-52°-W	楕円形	0.58 × 0.35	35	外傾	皿状	自然	弥生土器 土師器	SI33・34→本跡
144	H 4 g2	N-16°-W	[凹形・楕円形]	0.88 × (0.70)	28	外傾	皿状	人為		SI35→本跡
145	H 4 i4	-	凹形	0.64 × 0.60	40	外傾	皿状	自然	土師器	SI29→本跡
146	H 4 e3	N-20°-W	楕円形	1.28 × 0.78	18	外傾	皿状	自然	土師器	
147	H 4 e2	N-40°-E	楕円形	0.86 × 0.60	11	外傾	平坦	自然	須恵器	SI39→本跡
148	H 4 d3	-	凹形	1.10 × 1.08	37	外傾	凹凸	自然	土師器 須恵器	

番号	位置	長径方向	平面形	規模		壁面	底面	覆土	主な出土遺物	備考
				長径×短径(m)	深さ(cm)					
149	H 4 f4	N - 29° - E	楕円形	0.72 × 0.64	13	外傾	平坦	自然		
151	H 4 i6	N - 58° - W	不整形	1.68 × 0.94	40	外傾	平坦	自然	土師器 須恵器	SI26 →本跡
152	H 4 f5	N - 8° - W	楕円形	1.33 × 1.19	44	外傾	凹凸	人為	土師器 須恵器	
153	H 4 i5	-	[円形]	0.58 × [0.55]	26	外傾	平坦	人為	土師器	
154	H 4 i5	-	円形	0.64 × 0.63	27	外傾	皿状	人為	土師器 須恵器	
155	H 4 b4	-	円形	0.30 × 0.30	55	直立	皿状	自然	土師器	SI41 →本跡
156	H 4 j6	-	円形	1.10 × 1.08	35	直立	平坦	自然	土師器 須恵器	SI26 →本跡
157	H 4 f3	N - 2° - W	楕円形	1.23 × 0.70	17	外傾	凹凸	人為	土師器	
158	H 4 e4	N - 90° - E	不整形	1.62 × 1.18	35	外傾	凹凸	人為	土師器 須恵器	SI40 →本跡
159	H 4 f5	N - 39° - E	楕円形	1.96 × 1.45	64	直立・外傾	平坦	自然	土師器 須恵器 不明鉄製品	
160	I 4 a6	N - 7° - E	楕円形	0.96 × 0.78	15	外傾	皿状	人為		
162	J 4 e3	N - 67° - W	楕円形	0.70 × 0.77	45	外傾	皿状	人為		
163	J 4 e2	-	円形	0.37 × 0.37	48	直立	皿状	人為		
164	J 3 e0	-	不整形円形	1.01 × 0.96	80	平坦	外傾	人為	土師器	SI42 →本跡
165	E 3 b0	N - 3° - W	楕円形	0.23 × 0.19	17	外傾	皿状	人為		
167	E 4 b1	N - 85° - E	[楕円形]	0.45 × [0.34]	27	外傾	平坦	人為		
168	E 4 b1	N - 54° - W	[楕円形]	[0.44] × 0.38	24	外傾	平坦	人為		
169	E 4 b1	N - 23° - E	[楕円形]	0.37 × [0.28]	20	外傾	皿状	人為		
170	E 4 d1	-	[円形]	0.23 × [0.21]	43	直立	皿状	人為		
171	E 4 d2	N - 29° - E	[楕円形]	0.28 × [0.24]	21	外傾	皿状	人為		
172	E 4 e2	N - 14° - W	楕円形	0.62 × 0.52	43	直立・外傾	平坦	人為		
173	G 4 c7	N - 67° - E	楕円形	1.36 × 1.17	49	外傾	平坦	人為		
174	E 4 e1	N - 29° - E	楕円形	[0.32] × 0.28	34	外傾	皿状	人為		
175	E 4 f1	-	円形	0.56 × 0.52	47	外傾	皿状	人為		
178	E 4 f2	-	[円形]	0.60 × [0.56]	18	外傾	凹凸	人為		
179	E 4 f1	N - 40° - E	[楕円形]	[0.51] × 0.46	42	外傾	平坦	人為		
180	G 4 f8	N - 19° - W	不整形長方形	1.35 × 1.14	54	外傾	皿状	人為	土師器	SK181 →本跡
181	G 4 f8	N - 74° - E	[楕円形]	0.63 × (0.44)	42	外傾	皿状	人為		本跡→SK180・182・215
182	G 4 f8	N - 12° - W	楕円形	0.56 × 0.43	48	外傾	凹凸	人為	土師器	SK181 →本跡
183	G 4 e9	-	円形	0.63 × 0.59	49	外傾	有段	人為	土師器	
184	G 4 e9	N - 10° - E	楕円形	0.71 × 0.45	46	直立	凹凸	人為		
185	H 4 b6	-	円形	1.18 × 1.08	26	外傾	平坦	人為		
186	G 4 j4	-	円形	1.07 × 1.00	28	外傾	平坦	人為	土師器	SI51 →本跡
187	H 4 a5	-	円形	1.10 × 1.02	22	直立	平坦	人為	土師器	
188	H 4 a5	-	円形	0.33 × 0.33	21	直立	皿状	人為		
189	H 4 a5	N - 38° - W	不整形楕円形	1.03 × 0.85	84	直立・外傾	傾斜	人為		
190	H 4 a4	-	円形	0.56 × 0.52	35	外傾	皿状	人為		
191	H 4 a5	-	円形	0.42 × 0.40	23	外傾	皿状	人為		
192	H 4 a5	-	円形	0.32 × 0.30	18	外傾	皿状	人為		
193	G 4 j5	-	円形	0.50 × 0.46	50	外傾	平坦	人為		
195	G 4 e9	N - 12° - E	楕円形	0.58 × 0.45	35	外傾	皿状	自然	土師器	
196	F 4 j9	N - 61° - W	楕円形	0.97 × 0.88	32	外傾	平坦	人為	土師器	
198	G 4 j5	-	円形	0.42 × 0.40	30	外傾	平坦	人為		
199	G 4 j5	-	円形	0.41 × 0.40	40	直立	皿状	人為		
203	G 4 h4	N - 43° - E	楕円形	0.90 × 0.55	15	外傾	皿状	人為	土師器 須恵器	SK204 →本跡→SK205
204	G 4 h4	N - 36° - E	[楕円形]	(0.41) × 0.37	15	外傾	皿状	人為		本跡→SK203・205
205	G 4 h4	-	円形	0.62 × 0.57	20	外傾	平坦	人為		SK203・204 →本跡
206	G 4 j5	N - 9° - E	楕円形	0.50 × 0.40	25	外傾	皿状	人為		
212	G 4 b8	N - 21° - W	楕円形	0.77 × 0.67	24	外傾	皿状	自然		
213	G 4 d4	N - 47° - W	[円形・楕円形]	(0.88) × (0.70)	21	外傾	平坦	自然		
215	G 4 f8	N - 38° - W	楕円形	0.36 × 0.28	67	直立	皿状	人為		SK181・216 →本跡
216	G 4 f8	N - 72° - W	楕円形	0.53 × 0.39	58	直立	皿状	人為		本跡→SK215
217	G 4 c9	N - 42° - E	不整形楕円形	2.43 × 1.73	87	外傾	凹凸	人為	縄文土器 土師器 須恵器	本跡→SB 4、SK253

番号	位置	長径方向	平面形	規模		壁面	底面	覆土	主な出土遺物	備考
				長径×短径(m)	深さ(cm)					
240	G 4 b3	-	円形	0.60 × 0.56	35	外傾	平坦	人為	土師器	
244	F 4 i6	-	円形	1.17 × 1.09	21	外傾	皿状	人為	弥生土器 土師器 須恵器	SI66 →本跡
245	F 4 h7	-	円形	1.15 × 1.10	20	外傾	平坦	自然		
249	H 4 a6	N - 81° - E	楕円形	0.40 × 0.30	50	外傾	平坦	人為		
251	H 4 c7	N - 47° - W	楕円形	1.36 × 1.23	52	外傾	平坦	人為	土師器	SI52 →本跡
254	H 4 b7	N - 42° - W	楕円形	0.98 × 0.75	39	外傾	皿状	人為	土師器	
258	G 4 b0	N - 32° - E	楕円形	1.50 × 1.30	27	外傾	平坦	人為	土師器 須恵器	SI57 →本跡→SK259・260
259	G 4 b0	N - 35° - W	楕円形	0.74 × 0.60	48	外傾	皿状	人為	土師器	SI57、SK258 →本跡
260	G 4 b9	N - 25° - E	不整楕円形	0.87 × 0.80	33	外傾	皿状	人為	土師器	SI57、SK258 →本跡
261	F 4 g8	-	円形	1.71 × 1.70	148	直立	平坦	人為	弥生土器 土師器	SI68 →本跡
262	G 4 c7	N - 12° - E	楕円形	0.45 × 0.40	18	外傾	平坦	人為		本跡→SB 3
263	G 4 b7	-	[円形・楕円形]	0.60 × (0.31)	35	外傾	皿状	自然		本跡→SB 2
268	G 4 i5	N - 15° - E	楕円形	1.37 × 0.85	33	外傾	凹凸	自然		SI45 →本跡
269	G 4 i5	N - 85° - E	楕円形	0.77 × 0.65	28	外傾	皿状	人為	土師器 須恵器	SI45 →本跡
270	G 4 i4	-	円形	0.70 × 0.69	17	外傾	皿状	人為		SI45 →本跡
271	F 4 j9	-	円形	1.23 × 1.13	48	直立	平坦	自然	土師器	
272	F 4 i9	-	円形	0.68 × 0.62	27	外傾	皿状	人為		
273	F 4 j0	-	円形	0.90 × 0.88	20	外傾	平坦	人為	土師器	SI61 →本跡
275	F 4 d4	-	隅丸方形	0.58 × 0.57	50	外傾	皿状	人為		SI74 →本跡
276	F 4 d4	-	隅丸方形	0.55 × 0.55	46	外傾	有段	人為		
277	F 4 d4	-	円形	0.65 × 0.65	78	直立	平坦	人為		
278	F 4 e4	N - 65° - E	楕円形	0.64 × 0.55	51	外傾	凹凸	人為		
281	F 4 e7	N - 48° - W	楕円形	[1.08] × 0.97	48	直立	平坦	人為	縄文土器 土師器	SI71A →本跡
284	F 4 h9	N - 42° - E	楕円形	0.61 × 0.52	48	直立	皿状	人為		SI68 →本跡
286	G 4 c8	-	[円形]	0.78 × (0.50)	25	外傾	平坦	人為	土師器	本跡→SB 4
287	G 4 b9	N - 7° - W	[楕円形]	[0.34] × 0.34	15	外傾	皿状	人為		本跡→SB 4
288	G 4 c0	-	[円形・楕円形]	0.42 × (0.28)	10	外傾	平坦	自然		本跡→SI56、SB 4
291	G 4 d0	-	円形	0.92 × 0.87	19	外傾	平坦	人為		本跡→SI77
294	E 4 g3	-	[円形]	[0.48] × [0.45]	36	外傾	皿状	人為	弥生土器	
296	G 4 b7	N - 14° - W	楕円形	0.49 × 0.44	38	外傾	皿状	人為		
297	G 4 b7	-	円形	0.30 × 0.28	40	外傾	皿状	人為	土師器	
299	E 4 f2	-	円形	0.27 × 0.27	22	外傾	皿状	人為		
300	E 4 f2	-	円形	0.27 × 0.27	36	外傾	皿状	人為		
301	E 4 g2	-	円形	0.28 × 0.27	56	直立	皿状	人為	土師器	
302	E 4 f2	N - 71° - E	楕円形	0.60 × 0.48	18	外傾	凹凸	人為		
303	E 4 h3	N - 32° - E	楕円形	0.44 × 0.36	31	外傾	皿状	人為		
304	E 4 g1	N - 47° - W	[楕円形]	[0.53] × 0.38	18	外傾	平坦	人為	土師器	
305	E 4 g1	N - 15° - W	楕円形	0.90 × 0.74	15	外傾	平坦	人為	土師器	SI85 →本跡
306	E 4 i2	-	[円形]	[0.47] × 0.46	20	外傾	皿状	人為		
307	G 4 b7	-	円形	0.70 × 0.68	48	外傾	凹凸	人為	土師器	本跡→SB 3、PG43
311	E 4 j4	N - 44° - W	楕円形	0.30 × 0.22	28	外傾	皿状	人為	土師器	
312	E 4 j4	N - 32° - E	[楕円形]	0.42 × [0.34]	62	直立・外傾	皿状	人為	土師器	
313	E 4 d1	-	円形	0.33 × 0.32	36	外傾	皿状	人為		
321	E 4 f1	N - 44° - W	楕円形	0.65 × 0.51	88	直立・外傾	皿状	人為	土師器 釘	SI82 →本跡
322	E 4 f1	N - 60° - E	楕円形	0.42 × 0.35	92	直立	皿状	人為	土師器 須恵器	SI82 →本跡
323	E 4 g1	N - 64° - W	楕円形	0.46 × 0.41	88	直立	皿状	人為	土師器	SI82、SK343 →本跡
324	E 4 d1	-	円形	0.59 × 0.58	42	直立	平坦	人為	土師器	第5号竪穴遺構→本跡
326	E 4 g3	N - 32° - E	[楕円形]	[1.07] × [0.86]	12	外傾	平坦	人為	土師器	SI85 →本跡
327	E 4 e2	N - 28° - W	[円形・楕円形]	[1.20] × (0.58)	19	外傾	平坦	人為	土師器 須恵器	
328	E 4 g2	-	[円形]	[0.42] × 0.38	14	外傾	皿状	人為		
329	E 4 d1	N - 62° - E	楕円形	0.34 × 0.28	12	外傾	平坦	人為		
334	E 4 e1	N - 7° - W	[方形・長方形]	1.53 × (0.58)	28	外傾	凹凸	人為	土師器	本跡→第5号竪穴遺構
335	E 4 e1	N - 74° - E	楕円形	0.52 × 0.45	15	外傾	皿状	人為		本跡→第5号竪穴遺構

番号	位置	長径方向	平面形	規 模		壁 面	底 面	覆 土	主 な 出 土 遺 物	備 考
				長径×短径(m)	深さ(cm)					
336	E 4 g3	-	[円形]	[0.91] × 0.88	12	外傾	平坦	人為		SK837 →本跡
337	E 4 c1	-	円形	0.41 × 0.41	20	外傾	皿状	人為		
338	E 4 c1	N - 9° - W	楕円形	0.66 × 0.48	52	外傾	有段	人為	縄文土器 土師器	SI84 →本跡
339	E 4 c1	-	[円形]	0.40 × [0.37]	30	外傾	皿状	人為		SI84 →本跡
340	E 4 d1	N - 4° - W	楕円形	0.68 × 0.58	25	外傾	皿状	人為		本跡→第5号竪穴遺構
347	E 4 d1	-	円形	0.23 × 0.22	28	直立	皿状	人為		SI84 →本跡
348	E 4 i2	N - 47° - W	楕円形	1.09 × 0.94	10	外傾	皿状	人為	土師器	本跡→SI85
354	C 3 j9	N - 83° - E	楕円形	0.22 × 0.20	40	外傾	皿状	人為		
361	C 4 g4	N - 40° - W	楕円形	0.62 × 0.55	28	外傾	皿状	人為	弥生土器 土師器 砥石	
362	C 4 f4	N - 29° - W	楕円形	0.39 × (0.33)	22	外傾	皿状	人為		TM 3 →本跡
363	C 4 f4	N - 55° - E	楕円形	0.26 × 0.22	14	外傾	皿状	人為		
364	B 3 j9	-	円形	1.20 × 1.20	26	外傾	平坦	人為	縄文土器 弥生土器 土師器	SI95、SK373 →本跡
365	A 3 j5	-	円形	0.45 × 0.42	44	外傾	平坦	人為	土師器 須恵器	
366	B 3 a9	-	方形	0.83 × 0.83	35	直立	平坦	人為		
368	B 4 j4	N - 35° - W	[楕円形]	2.50 × [2.13]	58	外傾	平坦	人為	縄文土器 弥生土器 土師器	
369	B 3 f6	N - 56° - E	[楕円形]	(0.48) × 0.31	64	外傾	凹凸	人為		
370	B 3 f8	-	[円形]	0.56 × [0.54]	36	外傾	有段	人為	土師器	
371	B 3 b0	N - 43° - W	長方形	1.30 × 0.80	104	直立・外傾	有段	人為	縄文土器	
372	B 3 i7	-	円形	1.62 × 1.48	8	外傾	平坦	人為	縄文土器 土師器	
373	B 3 j9	N - 45° - E	長方形	0.54 × 0.40	10	外傾	平坦	人為		SI95 →本跡→SK364
376	B 3 i8	N - 72° - W	楕円形	1.67 × 1.13	16	外傾	平坦	人為	縄文土器 弥生土器 土師器 剥片	
378	B 3 h0	-	円形	1.30 × 1.28	38	外傾	平坦	人為	縄文土器 土師器	
379	B 3 i0	N - 26° - W	楕円形	0.94 × 0.84	25	外傾	平坦	人為		
380	F 5 b2	-	円形	0.82 × 0.80	49	外傾	平坦	人為	土師器 須恵器	SI109 →本跡
383	B 3 j7	-	円形	0.69 × 0.67	24	外傾	平坦	人為		
384	B 3 j7	N - 14° - W	楕円形	0.60 × 0.56	27	外傾	凹凸	人為		
385	F 5 h1	N - 2° - W	楕円形	0.32 × 0.24	28	外傾	皿状	人為		
386	E 4 e9	N - 28° - W	[円形・楕円形]	0.32 × (0.12)	53	外傾	有段	人為		
387	F 4 d8	N - 31° - W	[楕円形]	0.38 × (0.25)	44	直立	皿状	人為		
388	F 5 e2	-	円形	0.26 × 0.24	8	外傾	平坦	人為		
389	F 5 h1	N - 74° - E	[円形・楕円形]	0.35 × (0.14)	21	外傾	有段	人為		
390	F 5 h1	-	円形	0.22 × 0.22	32	外傾	皿状	人為		
391	B 3 j8	N - 25° - W	[楕円形]	[0.96] × 0.84	11	外傾	平坦	人為		
392	C 3 b8	-	円形	0.92 × 0.84	24	外傾	平坦	人為		
393	C 3 b8	-	円形	0.56 × 0.53	13	外傾	平坦	人為		
394	C 3 b8	N - 38° - E	[楕円形]	0.40 × [0.36]	40	外傾	皿状	人為	土師器	
395	C 3 c9	N - 45° - W	楕円形	0.70 × 0.61	11	外傾	平坦	人為	土師器	
397	C 3 a9	N - 74° - E	隅丸長方形	1.60 × 1.30	26	外傾	平坦	人為	縄文土器 土師器	
398	C 3 c9	N - 22° - W	楕円形	0.76 × 0.58	20	外傾	平坦	人為	縄文土器	
400	C 3 d0	-	円形	0.68 × 0.62	12	外傾	平坦	人為	縄文土器 土師器 須恵器	
401	F 5 h1	N - 68° - E	楕円形	0.74 × 0.28	42	外傾	皿状	人為	縄文土器 土師器	
402	F 4 c8	-	円形	0.75 × 0.72	8	外傾	皿状	人為	土師器 須恵器	SI94、SK888 →本跡
404	F 4 g0	-	円形	(0.46) × 0.44	6	外傾	平坦	人為		本跡→SI92
405	F 5 g1	N - 48° - E	楕円形	0.43 × 0.35	68	外傾	平坦	人為		本跡→SI92
406	F 5 g1	N - 35° - E	方形	0.25 × 0.22	36	直立	平坦	人為		本跡→SI92
408	C 4 j2	N - 12° - W	楕円形	1.75 × 1.34	32	外傾	緩斜	人為	縄文土器 弥生土器 土師器 須恵器 尖頭器 石鏃	TM 4 →本跡
409	D 4 a3	N - 38° - E	楕円形	0.37 × 0.28	14	外傾	皿状	人為		TM 4 →本跡
410	D 3 j0	-	円形	0.24 × 0.24	8	外傾	皿状	人為		TM 4 →本跡
412	C 3 d1	N - 56° - E	楕円形	1.35 × 0.84	6	外傾	平坦	人為	縄文土器 弥生土器	
413	C 3 c9	-	円形	[1.85] × 1.79	35	直立	緩斜	自然	縄文土器 弥生土器 土師器	本跡→SB 6、SK425
414	C 3 d0	N - 64° - E	楕円形	0.34 × 0.26	19	外傾	皿状	人為		
415	C 3 d8	N - 56° - E	[長方形]	(0.74) × 0.64	15	外傾	平坦	人為		
417	C 3 d8	-	円形	0.39 × 0.36	44	外傾	皿状	人為		

番号	位置	長径方向	平面形	規 模		壁 面	底 面	覆 土	主 な 出 土 遺 物	備 考
				長径×短径(m)	深さ(cm)					
419	C 3 c9	N - 54° - W	不整形	1.50 × 1.09	43	外傾	有段	人為	縄文土器 土師器	
421	C 3 d9	N - 18° - W	楕円形	2.04 × 1.38	42	外傾	平坦	人為	縄文土器 弥生土器 土師器 剥片 鉄滓	SB 6 →本跡
422	C 3 e8	N - 6° - W	[方形・長方形]	1.35 × (0.95)	19	外傾	平坦	人為	土師器 磨石	
423	C 3 e9	-	円形	0.91 × 0.90	21	外傾	平坦	人為	縄文土器 弥生土器 土師器	
424	C 3 e0	-	円形	0.91 × 0.89	7	外傾	平坦	人為	縄文土器 土師器	
425	C 3 c9	N - 28° - W	隅丸長方形	2.90 × 1.81	28	外傾	平坦	人為	土師器 須恵器 緑釉陶器 釘 鉄滓	SK413・427 →本跡
427	B 3 c9	N - 71° - E	隅丸長方形	1.70 × 0.72	22	外傾	平坦	人為	縄文土器 弥生土器 土師器 陶器	本跡 → SK425
428	C 3 j0	N - 54° - W	楕円形	0.38 × 0.26	38	外傾	皿状	自然	縄文土器 弥生土器 土師器	本跡 → SI95
429	B 4 h3	-	[円形]	0.60 × [0.60]	38	外傾	平坦	人為		
432	D 4 a1	-	円形	0.32 × 0.30	26	外傾	皿状	人為	弥生土器	TM 4 →本跡
434	C 4 a4	N - 75° - E	楕円形	0.68 × 0.56	34	外傾	平坦	人為	土師器	
435	C 4 b4	N - 0°	[楕円形]	(0.25) × (0.21)	35	外傾	皿状	人為		
436	D 4 a1	-	円形	0.55 × 0.52	36	外傾	凹凸	人為	土師器 打製石斧	TM 4 →本跡
437	D 4 c2	N - 62° - E	楕円形	0.34 × 0.26	34	外傾	皿状	人為		TM 4 →本跡
438	C 4 c5	N - 45° - E	楕円形	1.44 × 1.28	32	外傾	平坦	人為	縄文土器 土師器	
439	C 4 a4	N - 52° - E	楕円形	(0.78) × 0.59	47	外傾	平坦	人為	縄文土器 弥生土器 土師器	
441	B 4 h2	N - 7° - W	[隅丸方形]	[2.06] × 1.94	20	外傾	平坦	人為	縄文土器 弥生土器 土師器	TM 1 →本跡 → SK492
442	C 4 b5	-	円形	0.68 × 0.62	30	外傾	平坦	人為	縄文土器 弥生土器 土師器	
443	C 4 b5	N - 63° - E	楕円形	0.82 × 0.62	32	外傾	平坦	人為	縄文土器 土師器	
444	C 4 c4	-	円形	0.25 × 0.25	33	直立・外傾	皿状	人為		
445	C 4 j2	N - 25° - W	不整形	0.77 × 0.65	30	外傾	有段	人為	縄文土器 土師器 須恵器	
446	D 4 a2	-	円形	0.28 × 0.26	35	外傾	皿状	人為		
447	D 4 a2	-	[円形]	0.18 × [0.18]	6	外傾	皿状	人為		
448	D 4 a1	-	円形	0.32 × 0.30	17	外傾	平坦	人為		
449	D 4 a1	N - 40° - W	楕円形	0.62 × 0.45	16	外傾	平坦	人為	弥生土器 土師器	
450	D 4 a1	-	円形	0.35 × 0.36	25	外傾	皿状	人為	土師器	
451	D 4 a1	-	[円形]	[0.29] × 0.28	16	外傾	皿状	人為	土師器	TM 4 →本跡
452	D 4 a1	-	[円形]	0.25 × [0.23]	42	外傾	皿状	人為	土師器 須恵器	TM 4 →本跡
453	D 4 a1	N - 30° - W	楕円形	0.34 × 0.24	38	外傾	皿状	人為		TM 4 →本跡
454	D 4 b1	-	円形	0.38 × 0.36	14	外傾	皿状	人為	土師器	
455	D 4 a1	-	円形	0.60 × 0.58	15	外傾	平坦	人為	縄文土器 土師器 須恵器	
456	D 4 a1	-	円形	0.28 × 0.28	18	外傾	皿状	人為		
457	D 4 a1	-	円形	0.42 × 0.40	27	外傾	平坦	人為	弥生土器 土師器 須恵器	
458	D 4 a2	-	円形	0.25 × 0.23	20	直立	皿状	人為		
459	D 4 a2	N - 80° - E	不整形	0.58 × 0.48	22	外傾	平坦	人為		
460	D 4 a2	-	円形	0.98 × 0.95	14	外傾	平坦	人為	弥生土器 土師器 須恵器	
461	D 4 a2	-	円形	0.29 × 0.29	9	外傾	平坦	人為		
463	D 4 a2	-	円形	0.30 × 0.28	23	外傾	皿状	人為	縄文土器 弥生土器 土師器	
464	D 4 a2	-	[円形]	0.25 × [0.23]	18	外傾	皿状	人為		
465	D 4 a2	-	円形	0.30 × 0.30	15	外傾	平坦	人為		
466	D 4 a2	-	円形	0.26 × 0.25	12	外傾	平坦	人為		
467	D 4 a2	-	[円形]	[0.21] × 0.19	17	外傾	皿状	人為		
468	D 4 a2	-	円形	0.76 × 0.73	22	外傾	皿状	人為		
469	D 4 b2	N - 19° - E	[楕円形]	0.32 × [0.26]	37	外傾	皿状	人為		SK470 →本跡
470	D 4 b2	N - -	[隅丸方形]	[0.75] × 0.69	39	外傾	平坦	人為	縄文土器 土師器 須恵器	本跡 → SK469
471	D 4 b2	N - 18° - E	楕円形	0.45 × 0.38	34	外傾	皿状	人為	縄文土器 土師器 須恵器	
472	D 4 b2	N - 27° - W	[楕円形]	0.60 × [0.49]	25	外傾	平坦	人為	土師器	
473	D 4 b2	N - 12° - W	楕円形	0.35 × 0.28	42	外傾	皿状	人為		
474	D 4 b2	-	円形	0.41 × 0.38	42	外傾	皿状	人為	縄文土器 土師器	
475	D 4 b2	-	円形	0.36 × 0.36	31	外傾	平坦	人為	縄文土器 土師器 須恵器	
476	D 4 b2	N - 36° - W	楕円形	0.51 × 0.43	34	外傾	平坦	人為	弥生土器 土師器	
478	D 4 b3	N - 22° - W	楕円形	0.45 × 0.40	15	外傾	平坦	人為		
479	D 4 b2	-	円形	0.20 × 0.19	14	外傾	皿状	人為		

番号	位置	長径方向	平面形	規模		壁面	底面	覆土	主な出土遺物	備考
				長径×短径(m)	深さ(cm)					
481	D 4 b2	N - 59° - E	[楕円形]	0.30 × [0.24]	9	外傾	皿状	人為		
482	D 4 b2	-	円形	0.25 × 0.23	8	直立	平坦	人為	縄文土器 弥生土器 須恵器	SK483 →本跡
483	D 4 b2	N - 42° - E	[楕円形]	0.62 × (0.45)	56	外傾	皿状	人為		本跡→SK482
484	D 4 a2	-	円形	0.46 × 0.44	17	外傾	平坦	人為		
485	D 4 a3	-	円形	0.22 × 0.20	9	外傾	皿状	人為		
486	D 4 a3	-	円形	0.26 × 0.24	18	外傾	皿状	人為		
487	D 4 a3	N - 38° - E	楕円形	0.80 × 0.67	28	外傾	平坦	人為	土師器 須恵器	
488	D 4 a3	-	円形	0.25 × 0.24	11	外傾	皿状	人為		
489	D 4 b3	-	[円形]	0.22 × [0.22]	10	外傾	皿状	人為		
491	B 4 i2	N - 37° - W	[楕円形]	1.38 × [1.05]	8	外傾	平坦	人為		
492	B 4 i2	-	円形	0.40 × 0.40	32	外傾	皿状	人為		TM1、SK441 →本跡
494	C 3 b0	N - 37° - W	長方形	1.36 × 0.65	56	外傾	平坦	人為	縄文土器 土師器	SK495・496 →本跡
495	C 4 b1	N - 90° - W	楕円形	(1.26) × 1.13	25	外傾	平坦	人為	縄文土器 弥生土器 土師器	本跡→SK494
496	C 3 b0	N - 7° - E	楕円形	1.16 × (0.80)	11	外傾	平坦	人為	縄文土器 土師器 須恵器 磨製石斧	本跡→SI97、SK494
497	C 4 b3	N - 58° - W	[楕円形]	[0.24] × [0.20]	42	直立	皿状	人為		
498	C 4 c5	-	円形	0.28 × 0.26	56	外傾	平坦	人為		
499	C 4 b4	N - 49° - E	[楕円形]	[0.36] × [0.32]	44	直立	皿状	人為		
500	C 4 b3	-	円形	0.23 × 0.23	12	直立	皿状	人為		
501	C 4 g8	-	[円形]	1.35 × [1.25]	70	外傾	平坦	人為	縄文土器 弥生土器 土師器 須恵器	
502	C 4 b3	-	円形	0.25 × 0.24	24	直立	平坦	人為		
503	C 4 b3	N - 28° - E	楕円形	0.85 × 0.60	25	外傾	皿状	人為		SK504 →本跡
504	C 4 b3	-	[円形]	0.84 × (0.50)	5	外傾	平坦	人為		本跡→SK503
507	C 3 e9	N - 10° - W	隅丸長方形	1.58 × 1.14	14	外傾	平坦	人為	縄文土器 弥生土器 土師器 須恵器 剥片	SI127 →本跡
508	C 3 g9	N - 7° - E	隅丸長方形	1.74 × 1.64	18	外傾	平坦	自然	縄文土器 土師器 須恵器 剥片	SI127 →本跡
510	C 4 b2	N - 22° - E	不整形	1.10 × 1.08	20	外傾	平坦	自然	縄文土器 土師器	本跡→SI120
512	C 3 f0	-	円形	0.32 × 0.30	41	外傾	皿状	人為		
513	C 3 f0	N - 50° - E	楕円形	0.46 × 0.35	12	外傾	平坦	人為		
514	C 3 f0	-	円形	0.44 × 0.40	29	外傾	皿状	人為		
515	C 3 f0	-	円形	0.25 × 0.24	8	外傾	平坦	人為		
516	C 3 f0	-	円形	0.22 × 0.22	30	外傾	皿状	人為		
517	C 3 f0	-	円形	0.20 × 0.20	16	外傾	皿状	人為		
518	C 3 g0	N - 51° - W	楕円形	0.28 × 0.22	17	外傾	皿状	人為		
519	C 3 g0	-	円形	0.30 × 0.29	16	外傾	平坦	人為		
520	C 3 h9	N - 58° - E	楕円形	0.31 × 0.26	33	外傾	皿状	人為	縄文土器 弥生土器 土師器	
521	C 3 h9	N - 34° - W	楕円形	0.30 × 0.25	37	直立・外傾	皿状	人為		
522	C 3 i9	N - 53° - W	楕円形	0.32 × 0.28	19	外傾	皿状	人為		
523	C 3 h9	N - 36° - W	楕円形	0.30 × 0.26	13	外傾	平坦	人為		
524	C 3 i9	N - 29° - W	[楕円形]	0.29 × [0.24]	45	外傾	皿状	人為		
525	C 3 h0	N - 24° - W	不整形	0.39 × 0.30	26	外傾	皿状	人為		
526	C 3 i9	-	[円形]	0.30 × [0.28]	22	外傾	皿状	人為	土師器	
527	B 4 g1	-	円形	0.60 × 0.55	35	外傾	平坦	人為	縄文土器 弥生土器 土師器 須恵器	
528	B 4 h3	N - 45° - E	楕円形	1.04 × 0.62	47	外傾	有段	人為	縄文土器 土師器	SK542 →本跡
529	C 3 b0	-	円形	1.03 × 0.96	56	直立	平坦	自然	縄文土器 土師器 須恵器	SI120 →本跡
530	C 3 i9	N - 56° - E	楕円形	[0.32] × 0.25	18	外傾	皿状	人為		
532	D 3 a9	-	円形	0.27 × 0.25	31	外傾	皿状	人為	弥生土器 土師器 須恵器	SK533 →本跡
534	D 3 a9	N - 57° - E	楕円形	0.60 × 0.52	27	外傾	皿状	人為		
535	D 3 a0	-	円形	0.20 × 0.20	28	外傾	皿状	人為		
536	D 3 a0	N - 45° - W	楕円形	[0.54] × 0.40	20	外傾	皿状	人為	土師器 須恵器	
537	C 3 j0	N - 72° - E	楕円形	0.48 × 0.48	18	外傾	平坦	人為		本跡→SK538
538	C 3 j0	-	[円形]	0.50 × [0.50]	22	外傾	平坦	人為	縄文土器 土師器 須恵器	SK537 →本跡
539	C 3 j0	N - 20° - W	楕円形	0.24 × 0.20	34	外傾	皿状	人為		
540	D 4 g1	-	円形	(0.23) × 0.23	14	外傾	皿状	人為		
541	C 3 j9	-	[円形]	0.20 × [0.20]	26	直立	皿状	人為		

番号	位置	長径方向	平面形	規 模		壁 面	底 面	覆 土	主 な 出 土 遺 物	備 考
				長径×短径 (m)	深さ (cm)					
542	B 4 h3	-	[円形]	0.68 × (0.36)	35	外傾	平坦	人為		TM 1 → 本跡 → SK528
543	C 3 j8	-	円形	0.38 × 0.36	36	外傾	皿状	人為	縄文土器	
544	C 3 d9	-	円形	0.22 × 0.20	40	直立	皿状	人為		
545	C 4 h1	N - 48° - W	[楕円形]	[0.36] × 0.25	48	外傾	皿状	自然		SI133 → 本跡
546	C 4 h1	N - 53° - E	[楕円形]	[0.22] × 0.20	14	外傾	皿状	自然		SI133・134 → 本跡
547	C 3 i0	-	円形	0.26 × 0.24	16	外傾	平坦	自然		
548	C 3 i0	-	円形	0.18 × 0.18	43	外傾	皿状	自然		
549	C 3 i0	-	円形	0.28 × 0.25	12	外傾	平坦	自然	土師器	
550	C 3 i0	-	円形	0.39 × 0.38	20	外傾	凹凸	人為	土師器 須恵器	
553	D 4 d5	N - 6° - W	楕円形	1.12 × 0.95	112	直立	平坦	人為	縄文土器 弥生土器 土師器 須恵器	SI126 → 本跡
555	C 4 f2	N - 52° - E	楕円形	0.50 × [0.42]	22	外傾	平坦	人為	土師器	本跡 → SI116
557	C 3 i9	-	円形	0.40 × 0.36	22	外傾	皿状	自然	縄文土器 弥生土器 土師器	
558	C 3 i9	N - 10° - W	[円形・楕円形]	0.44 × (0.18)	28	外傾	平坦	人為	土師器	
559	C 3 j0	-	円形	0.16 × 0.16	36	外傾	平坦	人為		
560	C 3 j9	N - 28° - E	楕円形	0.43 × 0.36	17	外傾	平坦	自然	土師器 須恵器	
561	C 3 j9	-	円形	0.21 × 0.20	10	外傾	平坦	自然		
562	C 3 j0	-	円形	0.32 × 0.30	24	外傾	平坦	人為		
563	C 3 i0	-	円形	0.32 × 0.28	14	外傾	平坦	人為	剥片	
564	C 3 i0	N - 18° - W	楕円形	0.30 × 0.24	29	外傾	平坦	人為		
565	C 3 j0	N - 51° - W	楕円形	0.36 × 0.22	26	外傾	平坦	人為	土師器	
566	C 3 j0	-	円形	0.38 × 0.36	14	外傾	有段	人為	縄文土器	
567	C 3 j0	-	円形	0.44 × 0.44	24	外傾	平坦	自然		SK568 → 本跡
568	C 3 j0	N - 31° - E	[楕円形]	0.46 × [0.36]	15	外傾	平坦	自然		本跡 → SK567
569	D 3 a0	N - 26° - W	[楕円形]	0.36 × [0.26]	14	外傾	平坦	人為		
570	D 3 a9	-	円形	0.24 × 0.23	16	外傾	皿状	人為		
571	D 3 a0	-	円形	0.19 × 0.18	15	外傾	皿状	人為		
572	D 3 a0	N - 14° - W	楕円形	0.31 × 0.26	32	外傾	皿状	人為		
573	D 3 b0	-	円形	0.26 × 0.25	16	外傾	皿状	人為		
574	D 3 b0	-	円形	0.22 × 0.22	32	外傾	皿状	人為	土師器	
575	D 3 b0	-	[円形]	(0.15) × (0.12)	13	外傾	皿状	人為		
576	D 3 b0	N - 51° - E	[円形・楕円形]	0.26 × [0.22]	8	外傾	皿状	人為	土師器	
577	D 3 b0	N - 7° - W	[円形・楕円形]	0.32 × (0.10)	22	直立・外傾	皿状	人為		
578	D 3 b0	N - 63° - E	[楕円形]	[0.30] × 0.26	36	直立	皿状	人為	土師器	
579	D 3 b0	N - 39° - W	楕円形	0.36 × 0.30	58	外傾	皿状	人為		
580	D 3 b0	N - 67° - E	楕円形	0.16 × 0.14	8	外傾	皿状	人為		
581	D 3 b0	-	円形	0.20 × 0.20	32	直立	皿状	人為		
582	D 3 c0	N - 5° - E	楕円形	0.28 × 0.25	30	外傾	皿状	人為		
583	D 3 c0	-	円形	0.30 × 0.30	15	外傾	皿状	人為		
584	D 3 c0	-	円形	0.34 × 0.31	36	外傾	平坦	人為		
585	D 3 c0	N - 15° - W	楕円形	0.40 × 0.36	25	外傾	皿状	人為	縄文土器 土師器 緑釉陶器	
586	D 4 c1	N - 17° - E	方形	0.42 × 0.40	21	外傾	平坦	人為		
587	D 4 c1	-	円形	0.35 × 0.34	18	外傾	平坦	人為	縄文土器 土師器	
588	D 4 c1	-	円形	0.42 × 0.43	32	外傾	皿状	人為	土師器	本跡 → SK407
589	D 4 b1	N - 88° - E	楕円形	0.35 × 0.30	40	直立	皿状	人為	弥生土器 土師器 須恵器	
590	C 4 i1	N - 39° - E	楕円形	0.21 × 0.15	18	外傾	皿状	人為		
591	C 4 i1	-	円形	0.20 × 0.19	20	外傾	皿状	人為		
592	C 4 j1	-	円形	0.24 × 0.24	19	外傾	皿状	人為	縄文土器 土師器	
593	C 4 h2	-	円形	0.30 × 0.30	48	外傾	皿状	人為		SI134 → 本跡
594	C 4 i2	-	円形	0.68 × 0.64	38	外傾	平坦	人為	縄文土器 土師器	
595	C 4 i1	-	円形	0.25 × 0.24	22	外傾	皿状	人為		
597	C 4 i1	-	円形	0.33 × 0.30	13	直立・外傾	平坦	人為	縄文土器 土師器	
598	C 4 j3	N - 36° - W	楕円形	0.64 × 0.51	42	外傾	皿状	人為		TM 4 → 本跡 → SK613
599	C 4 i2	-	円形	0.29 × 0.28	12	外傾	皿状	人為		

番号	位置	長径方向	平面形	規 模		壁 面	底 面	覆 土	主 な 出 土 遺 物	備 考
				長径×短径(m)	深さ(cm)					
600	C 4 i2	N - 21° - W	楕円形	0.25 × 0.21	19	外傾	皿状	人為		
601	C 4 i2	-	円形	0.32 × 0.32	27	外傾	皿状	人為		
602	C 4 j1	N - 78° - W	楕円形	0.46 × 0.36	15	外傾	平坦	人為		
603	C 4 j1	N - 51° - E	楕円形	0.40 × 0.34	58	外傾	皿状	人為		
604	C 4 j1	N - 9° - E	楕円形	0.37 × 0.26	6	外傾	平坦	人為		
605	C 4 j1	-	円形	0.16 × 0.16	35	直立	皿状	人為		
606	C 4 j1	N - 32° - W	楕円形	0.36 × 0.24	8	外傾	平坦	人為		
607	C 4 j1	N - 41° - W	楕円形	0.40 × 0.35	45	外傾	皿状	人為		
608	C 4 j1	-	円形	0.38 × 0.38	12	外傾	平坦	人為		
609	C 4 j1	N - 68° - E	楕円形	0.39 × 0.28	26	外傾	皿状	人為		
610	C 4 j1	-	円形	0.26 × 0.24	20	外傾	皿状	人為		
611	C 4 j1	N - 25° - W	楕円形	0.30 × 0.22	18	外傾	平坦	人為		
612	C 4 j2	N - 51° - E	楕円形	0.30 × 0.23	32	外傾	皿状	人為		
613	C 4 j3	-	円形	0.18 × 0.17	22	外傾	皿状	人為		SK598 →本跡
614	C 4 j2	-	円形	0.23 × 0.22	8	外傾	皿状	人為		
615	C 4 j2	-	円形	0.28 × 0.27	21	外傾	皿状	人為		
616	C 4 j2	N - 57° - E	楕円形	0.34 × 0.24	20	外傾	皿状	人為		
617	C 4 j2	N - 27° - W	楕円形	0.40 × 0.28	39	外傾	皿状	人為		
618	C 4 j2	N - 58° - E	楕円形	0.28 × 0.19	15	外傾	皿状	人為		
619	C 4 i3	-	円形	0.21 × 0.21	17	外傾	皿状	人為		
620	C 4 i3	N - 20° - E	楕円形	0.35 × 0.24	29	外傾	皿状	人為		
621	C 4 i3	N - 41° - W	楕円形	0.20 × 0.17	23	直立・外傾	平坦	人為		
622	C 4 i3	N - 25° - W	[楕円形]	0.24 × [0.20]	40	外傾	皿状	人為		
623	C 4 i3	-	[円形]	0.22 × [0.22]	13	外傾	平坦	人為		
624	C 4 j3	-	[円形]	0.26 × [0.26]	8	外傾	平坦	人為		
625	C 4 j3	N - 19° - E	楕円形	0.16 × 0.14	24	直立・外傾	皿状	人為		
626	C 4 j3	N - 22° - W	楕円形	0.17 × 0.15	5	外傾	皿状	人為		
627	C 4 j3	-	円形	0.24 × 0.23	16	外傾	平坦	人為		
643	C 3 g9	N - 70° - E	楕円形	0.20 × 0.16	13	外傾	平坦	人為		
646	C 3 g9	N - 62° - E	方形	0.28 × 0.26	29	外傾	皿状	人為		SK490 →本跡
648	C 3 g9	-	円形	0.20 × 0.20	27	外傾	皿状	人為		SK490 →本跡
649	C 3 h9	N - 10° - E	楕円形	0.24 × 0.21	11	外傾	平坦	人為		SK490 →本跡
650	C 3 h9	-	円形	0.18 × 0.18	12	外傾	皿状	人為		SK490 →本跡
651	C 3 h9	N - 40° - E	楕円形	0.22 × 0.19	27	外傾	平坦	人為		
653	C 3 f9	-	円形	0.27 × 0.26	10	外傾	皿状	人為		
654	B 4 j1	N - 26° - W	[楕円形]	[1.60] × 1.44	44	外傾	平坦	人為		SK656 →本跡
656	B 4 j1	N - 29° - W	[楕円形]	[1.82] × [1.56]	30	外傾	平坦	人為		本跡 → SK654
657	C 3 a0	-	[円形]	1.92 × [1.91]	20	外傾	平坦	人為		SK658 →本跡
658	C 3 a0	-	円形	1.47 × 1.38	54	外傾	平坦	人為		本跡 → SK657
659	C 3 c0	-	円形	0.32 × 0.31	43	外傾	皿状	人為		
660	C 4 c1	N - 14° - W	[楕円形]	(0.68) × 0.58	12	外傾	平坦	人為		本跡 → SK661
661	C 4 d1	N - 12° - E	楕円形	0.82 × 0.70	32	外傾	皿状	人為		SK660 →本跡
663	C 3 c8	N - 5° - E	楕円形	0.32 × 0.28	43	外傾	皿状	人為		
664	C 3 c8	-	円形	0.21 × 0.21	16	外傾	皿状	人為		
665	C 3 c9	N - 28° - E	楕円形	0.28 × 0.18	31	外傾	皿状	人為		
666	C 3 c9	N - 53° - W	楕円形	0.32 × 0.26	22	外傾	皿状	人為		
667	C 3 d0	N - 70° - E	楕円形	0.20 × 0.18	30	直立・外傾	皿状	人為		
669	E 4 c9	-	円形	(0.57) × 0.56	22	外傾	平坦	人為		
670	E 4 c0	-	円形	(0.53) × (0.52)	21	外傾	平坦	人為		
671	E 4 b9	N - 30° - E	楕円形	0.43 × 0.39	14	外傾	平坦	人為		SI176 →本跡
672	E 4 b0	N - 65° - E	[楕円形]	0.42 × [0.32]	18	外傾	平坦	人為		SI176 →本跡
674	F 4 i0	N - 27° - W	楕円形	0.63 × 0.47	19	外傾	平坦	人為		
675	F 4 i0	-	円形	1.03 × 0.97	23	外傾	平坦	人為		本跡 → SK680

番号	位置	長径方向	平面形	規 模		壁 面	底 面	覆 土	主 な 出 土 遺 物	備 考
				長径×短径(m)	深さ(cm)					
676	F 5 h1	-	円形	1.07 × 1.01	15	外傾	平坦	人為		
677	F 5 h1	N - 10° - E	楕円形	0.54 × 0.37	27	外傾	皿状	人為		
678	F 4 h0	N - 2° - W	楕円形	0.55 × 0.44	25	外傾	皿状	人為		
679	F 4 h0	N - 9° - W	楕円形	0.54 × 0.48	28	外傾	平坦	人為		
680	F 4 i0	N - 46° - E	[円形・楕円形]	1.52 × (0.62)	90	直立	平坦	人為		SK675 →本跡
681	F 5 h1	N - 28° - W	楕円形	1.00 × 0.59	13	外傾	平坦・凹凸	人為		
682	F 4 h0	N - 13° - W	楕円形	0.70 × 0.59	65	外傾	皿状	人為		
683	F 4 h0	N - 75° - W	楕円形	0.65 × 0.53	24	外傾	凹凸	人為		SI92 →本跡
684	F 4 h0	-	円形	0.75 × 0.69	20	外傾	平坦	人為		本跡→SK687
685	F 4 g0	-	円形	0.55 × 0.50	30	外傾	皿状	人為		SI92 →本跡
687	F 4 g0	N - 17° - E	楕円形	0.44 × 0.38	50	外傾	皿状	人為		SK684 →本跡
688	F 4 f0	N - 30° - W	楕円形	0.34 × 0.27	38	直立	皿状	人為		
691	E 4 i0	-	[円形・楕円形]	(0.35) × (0.20)	18	外傾	平坦	人為		SI135 →本跡→SD23
692	F 4 i0	-	[円形・楕円形]	(1.28) × (0.93)	75	外傾	凹凸	人為		
694	F 4 h0	-	円形	0.38 × 0.35	22	外傾	皿状	人為		
695	F 4 h9	N - 13° - E	楕円形	[0.70] × 0.50	24	外傾	平坦	人為		
696	F 4 g9	N - 38° - E	楕円形	0.95 × (0.57)	38	外傾	平坦	人為		
697	F 4 g9	-	円形	1.15 × 1.14	18	外傾	平坦	人為		
698	F 4 f9	N - 53° - E	楕円形	0.42 × 0.37	23	直立	皿状	人為		
699	F 4 e9	N - 70° - E	楕円形	0.30 × 0.24	28	直立	皿状	人為		
761	E 4 f6	N - 62° - E	楕円形	0.55 × 0.46	53	外傾	皿状	人為	土師器	SI152 →本跡
762	E 4 b2	N - 28° - W	楕円形	0.82 × 0.56	32	外傾	平坦	人為	土師器	本跡→第8号竪穴遺構
763	E 4 f6	N - 13° - E	楕円形	0.62 × 0.48	38	外傾	皿状	人為		本跡→SI140
764	E 4 f6	N - 61° - E	楕円形	0.53 × [0.45]	40	外傾	皿状	人為	土師器 須恵器	
765	E 4 d3	N - 64° - W	楕円形	0.73 × 0.43	40	外傾	凹凸	人為	縄文土器 土師器	本跡→SK905
766	E 4 d3	-	円形	0.62 × 0.59	32	外傾	平坦	人為	弥生土器 土師器 須恵器	本跡→SK905
767	E 4 f4	-	円形	0.80 × 0.74	87	外傾	皿状	人為	土師器	本跡→SI152
768	E 4 f1	-	円形	0.51 × 0.49	20	外傾	平坦	人為	土師器	本跡→SI152
769	E 4 f6	-	円形	[0.46] × 0.46	25	外傾	平坦	人為		
770	E 4 h8	N - 28° - W	楕円形	(0.75) × 0.67	42	外傾	平坦	人為	弥生土器 土師器	
771	E 4 h8	N - 32° - W	[楕円形]	(0.78) × 0.31	37	直立	平坦	人為		
773	E 4 h8	N - 59° - W	[楕円形]	(0.65) × (0.60)	51	外傾	皿状	人為		本跡→SB 9
774	E 4 c2	-	円形	0.49 × 0.48	16	外傾	平坦	人為		SI87・149 →本跡
777	E 4 c2	N - 44° - E	長方形	0.83 × 0.54	25	外傾	有段	人為		SI87・149 →本跡
778	E 4 b2	N - 35° - W	楕円形	0.68 × 0.50	24	外傾	皿状	人為		SI87 →本跡
779	E 4 b2	-	[円形]	0.85 × [0.85]	8	外傾	平坦	人為		SI87、SK780 →本跡
780	E 4 b2	N - 52° - W	[楕円形]	0.70 × (0.46)	11	外傾	平坦	人為		SI87 →本跡→SK779
781	E 4 h7	-	円形	1.82 × 1.78	90	直立	平坦	人為	弥生土器 土師器	SI156 →本跡
782	E 4 a2	N - 13° - E	楕円形	0.44 × 0.38	43	外傾	平坦	人為		本跡→SI148
783	E 4 f6	N - 22° - E	[不整楕円形]	(0.65) × 0.48	34	外傾	平坦	人為		本跡→SI140
784	E 4 e5	-	円形	0.39 × 0.37	16	外傾	平坦	人為		SI152 →本跡
785	E 4 e5	-	円形	0.44 × 0.43	44	外傾	皿状	人為		SI152 →本跡
786	E 4 e4	-	円形	0.25 × 0.24	14	外傾	皿状	人為		SI152 →本跡
787	E 4 e4	-	円形	0.63 × 0.60	39	外傾	平坦	人為		SI152 →本跡
788	E 4 b4	N - 62° - E	楕円形	0.68 × 0.54	30	外傾	平坦	人為	土師器 須恵器 剥片	SI159 →本跡
789	D 4 i1	-	円形	0.66 × 0.62	14	外傾	平坦	人為	土師器	SI158 →本跡
790	D 4 i1	-	円形	1.26 × 1.22	40	外傾	平坦	人為	縄文土器 土師器 須恵器	
791	D 4 i1	N - 64° - E	楕円形	0.94 × 0.65	8	外傾	平坦	人為	土師器 須恵器	SI158 →本跡
792	E 4 d4	-	[円形]	[0.40] × [0.40]	38	外傾	皿状	人為		本跡→SI152
793	E 4 b3	N - 52° - E	楕円形	0.58 × 0.51	16	外傾	平坦	人為	土師器	
796	E 4 c4	-	円形	0.54 × 0.51	36	直立・外傾	平坦	人為		
797	E 4 e3	-	円形	0.30 × 0.28	15	外傾	皿状	人為		
798	E 4 e2	N - 31° - W	楕円形	0.58 × 0.45	10	外傾	平坦	人為		

番号	位置	長径方向	平面形	規 模		壁 面	底 面	覆 土	主 な 出 土 遺 物	備 考
				長径×短径(m)	深さ(cm)					
799	E 4 f8	N - 25° - W	[楕円形]	[0.64] × 0.60	55	外傾	平坦	人為	土師器	
800	E 4 f7	-	円形	[0.82] × 0.76	45	外傾	平坦	人為		SK940 →本跡
801	F 4 b7	N - 46° - W	長方形	1.20 × 0.65	15	外傾	平坦	人為		
802	F 4 e8	N - 71° - W	[楕円形]	(0.60) × 0.45	35	外傾	皿状	人為		
803	F 4 e8	N - 31° - E	[楕円形]	(1.65) × [0.95]	30	外傾	平坦	人為	土師器	
804	F 4 a7	N - 30° - W	長方形	1.93 × 0.90	40	直立・外傾	凹凸	人為		
805	F 4 d7	N - 86° - E	楕円形	0.80 × 0.38	30	外傾	皿状	人為		
806	F 4 b6	N - 64° - W	方形	1.34 × 1.23	30	外傾	皿状	人為	土師器 須恵器	SI176 →本跡
807	F 4 e8	-	円形	0.79 × 0.78	32	外傾	平坦	人為	土師器	
808	E 4 g4	N - 44° - E	楕円形	0.75 × 0.48	16	外傾	凹凸	人為		
809	E 5 h2	N - 53° - E	楕円形	0.43 × 0.38	20	外傾	平坦	人為		SI135 →本跡→SI139
810	E 5 h2	N - 51° - E	楕円形	0.46 × 0.35	23	外傾	平坦	人為		SI135 →本跡→SI139
811	F 4 b7	N - 2° - W	楕円形	0.56 × 0.47	15	外傾	平坦	人為		
812	F 4 b6	N - 38° - W	楕円形	0.37 × 0.31	10	外傾	皿状	人為		
813	E 5 h1	N - 32° - W	楕円形	0.52 × 0.38	48	直立	凹凸	人為		SI135 →本跡
814	F 4 a6	N - 60° - W	楕円形	0.45 × 0.24	30	直立・外傾	皿状	人為	土師器 須恵器	
815	E 4 j6	N - 59° - E	楕円形	0.40 × 0.32	29	外傾	皿状	人為		SI156 →本跡
816	E 4 i5	N - 18° - W	楕円形	0.89 × 0.72	10	外傾	平坦	人為		
817	F 4 f9	N - 68° - E	楕円形	0.75 × 0.65	11	外傾	平坦	人為	土師器	
818	F 4 b7	-	円形	0.34 × (0.33)	18	外傾	皿状	人為		本跡→SK819
819	F 4 b7	N - 59° - E	楕円形	0.48 × 0.40	19	外傾	皿状	人為		SK818 →本跡
820	E 4 f5	-	円形	1.05 × 1.05	20	外傾	平坦	人為		SI152 →本跡
821	E 4 f4	N - 82° - W	楕円形	1.23 × 0.76	19	外傾	平坦	人為		
822	E 4 f4	-	円形	1.34 × 1.27	22	外傾	平坦	人為		SI152 →本跡
823	E 4 f4	-	円形	0.38 × 0.36	17	外傾	平坦	人為	土師器	SI152 →本跡
824	E 4 f3	N - 27° - W	楕円形	1.22 × 0.83	21	外傾	平坦	人為		
825	E 4 e3	-	円形	0.34 × 0.31	30	外傾	皿状	人為		
826	E 4 e3	N - 29° - W	楕円形	0.36 × 0.32	32	外傾	平坦	人為		
827	E 4 f3	N - 1° - W	長方形	0.32 × 0.28	37	外傾	皿状	人為		
828	E 4 e3	N - 41° - E	楕円形	0.43 × 0.32	24	外傾	凹凸	人為		SK829 →本跡
829	E 4 e3	-	円形	0.56 × (0.51)	31	外傾	平坦	人為		本跡→SK828
830	E 4 e3	-	円形	0.40 × 0.40	15	外傾	平坦	人為	土師器	
831	E 4 g7	-	[円形]	0.35 × [0.32]	20	外傾	皿状	人為		
832	E 4 e3	-	円形	0.26 × 0.25	33	外傾	皿状	人為		
833	E 4 g4	N - 13° - E	楕円形	0.40 × 0.35	46	外傾	皿状	人為		
834	E 4 i6	-	円形	2.23 × 2.15	128	直立・外傾	平坦	人為	縄文土器 弥生土器 土師器 磨石 剥片	SI156 →本跡
836	E 4 e3	-	円形	0.34 × 0.32	14	外傾	皿状	人為		
837	E 4 g3	-	円形	1.50 × 1.35	26	外傾	平坦	人為		本跡→SK336
838	F 4 d8	N - 15° - E	楕円形	0.30 × 0.25	13	外傾	皿状	人為		
839	F 4 d8	N - 2° - W	楕円形	0.27 × 0.23	14	外傾	皿状	人為		
841	F 4 a5	-	円形	0.26 × 0.25	17	直立	皿状	人為		
842	E 4 f5	-	円形	0.46 × 0.45	25	外傾	凹凸	人為	土師器	
843	F 4 a6	N - 31° - E	隅丸長方形	(1.50) × 0.65	40	外傾	平坦	人為		
844	F 4 f3	-	円形	1.01 × 0.99	22	外傾	平坦	人為		
845	E 4 j5	-	円形	0.30 × 0.28	28	直立	平坦	人為		
846	E 4 j6	-	円形	0.58 × 0.55	23	直立・外傾	凹凸	人為		
847	E 4 g3	-	円形	0.33 × [0.31]	22	外傾	皿状	人為		
849	E 4 g6	-	円形	0.34 × 0.33	64	直立・外傾	平坦	人為		
850	E 4 f7	N - 64° - E	楕円形	0.65 × 0.56	54	外傾	凹凸	人為	弥生土器 土師器 須恵器	
851	E 4 f7	N - 58° - W	楕円形	0.53 × 0.47	18	外傾	平坦	人為		
852	E 4 f6	-	円形	0.50 × (0.48)	30	外傾・内傾	平坦	人為	土師器	
853	E 4 g9	N - 60° - E	[楕円形]	0.89 × [0.70]	34	外傾	平坦	人為		
854	E 4 f0	-	円形	0.28 × 0.28	39	直立	皿状	人為		

番号	位置	長径方向	平面形	規 模		壁 面	底 面	覆 土	主 な 出 土 遺 物	備 考
				長径×短径(m)	深さ(cm)					
855	E 4 i7	N - 58° - W	楕円形	0.80 × 0.62	35	外傾	平坦	人為	弥生土器 土師器 須恵器	SI156 →本跡
856	E 4 h0	N - 59° - E	[楕円形]	1.00 × [0.78]	27	外傾	平坦	人為	土師器	
858	E 4 a2	N - 23° - W	楕円形	1.18 × 0.79	10	外傾	平坦	人為	土師器 須恵器	SI147 →本跡
860	E 4 e4	N - 50° - W	楕円形	0.50 × 0.35	27	直立・外傾	凹凸	人為	須恵器	本跡→SI152、 第9号竈穴遺構
861	E 4 g7	N - 35° - W	楕円形	0.73 × (0.65)	19	外傾	平坦	人為		
862	E 4 c5	-	[円形]	(0.52) × 0.51	28	直立・外傾	平坦	人為	須恵器 磨製石斧 剥片	
864	E 4 c4	-	[円形]	0.32 × [0.30]	42	直立	皿状	人為		
865	E 4 d4	N - 39° - W	[楕円形]	(0.70) × 0.55	33	外傾	平坦	人為	縄文土器	
866	E 4 d4	N - 36° - W	[楕円形]	(0.53) × (0.40)	25	外傾	平坦	人為	土師器	
868	E 4 e2	N - 58° - E	楕円形	1.20 × 1.12	19	外傾	平坦	人為		
869	E 4 d2	N - 77° - E	楕円形	0.76 × 0.68	20	外傾	平坦	人為		SI84・87 →本跡
870	E 4 d3	N - 64° - E	楕円形	2.44 × 0.96	21	外傾	平坦	人為	土師器 須恵器 緑釉陶器	SK902・903 →本跡
871	E 4 c5	N - 55° - E	楕円形	(1.03) × 0.72	12	外傾	平坦	人為	縄文土器 土師器 須恵器	
872	E 4 b4	N - 26° - E	[楕円形]	(0.64) × 0.43	10	外傾	平坦	人為	土師器	
873	E 4 b5	N - 63° - E	[楕円形]	0.50 × [0.34]	18	外傾	平坦	人為		
874	E 4 c4	N - 37° - W	楕円形	[0.59] × 0.50	15	外傾	平坦	人為	弥生土器	
875	E 4 c3	N - 7° - W	楕円形	[0.73] × 0.57	31	外傾	平坦	人為	土師器	
876	E 4 b3	-	不整円形	0.75 × 0.70	60	外傾	皿状	人為	弥生土器 土師器	SI159 →本跡
877	E 4 b3	N - 21° - W	楕円形	1.05 × 0.68	19	外傾	平坦	人為	土師器	SI159 →本跡
878	E 4 b3	N - 43° - W	楕円形	0.76 × 0.58	38	外傾	平坦	人為	土師器	
879	E 4 a3	-	円形	1.49 × 1.43	14	外傾	平坦・凹凸	人為	土師器	SI159 →本跡
880	E 4 a2	N - 12° - W	楕円形	1.02 × 0.66	12	外傾	平坦	人為	土師器	
881	E 4 b4	N - 27° - W	[楕円形]	0.58 × (0.42)	28	外傾	凹凸	人為		SI159 →本跡
883	E 4 a4	N - 29° - W	[長方形]	[0.75] × 0.50	18	外傾	平坦	人為	縄文土器 土師器 須恵器	
884	D 4 j4	N - 33° - W	楕円形	0.74 × 0.43	25	外傾	平坦	人為	土師器 須恵器	SI151 →本跡
885	F 4 i0	-	円形	0.31 × 0.30	18	外傾	皿状	人為		
886	F 4 g9	-	円形	0.32 × 0.29	27	外傾	皿状	人為		
887	E 4 d3	-	円形	1.28 × 1.16	23	外傾	平坦	人為		SK905 →本跡
893	D 4 i2	-	円形	0.67 × 0.61	23	外傾	平坦	人為		SI158 →本跡
895	D 4 h1	-	円形	0.35 × 0.34	24	直立・外傾	平坦	人為		
897	D 4 i1	N - 27° - W	[楕円形]	0.84 × (0.29)	24	外傾	凹凸	人為	弥生土器 土師器 須恵器	
899	D 4 j3	N - 52° - W	楕円形	0.85 × 0.52	23	外傾	平坦	人為	須恵器	SI158 →本跡
900	D 4 j3	N - 55° - E	楕円形	0.55 × 0.39	25	外傾	平坦	人為		SI158 →本跡
901	E 4 e6	N - 39° - W	楕円形	[4.00] × 0.35	21	外傾	平坦	人為	土師器 須恵器	SI140 →本跡
902	E 4 c3	N - 61° - E	[楕円形]	1.25 × (1.13)	37	外傾	凹凸	人為		本跡→SK870
904	E 4 d2	N - 34° - W	[楕円形]	1.03 × (0.87)	33	外傾	凹凸	人為		本跡→SK903
906	D 4 j4	-	円形	1.09 × 1.04	24	外傾	凹凸	人為	土師器 須恵器 刀子	SI151・159 →本跡
908	D 4 g1	-	円形	0.33 × 0.32	10	外傾	皿状	人為		
910	E 4 d4	N - 20° - W	楕円形	0.80 × 0.45	40	外傾	皿状	人為	縄文土器	
911	D 4 f2	-	円形	0.46 × 0.47	10	外傾	平坦	人為		
912	D 4 g2	N - 69° - W	長方形	0.60 × 0.50	38	外傾	平坦	人為	土師器 須恵器	
913	D 4 f2	N - 21° - W	楕円形	1.40 × 1.26	12	外傾	平坦	人為	縄文土器 土師器	
916	D 4 h2	N - 29° - W	[楕円形]	[0.63] × 0.57	18	外傾	平坦	人為		SI169 →本跡
917	D 4 i1	N - 79° - E	不整楕円形	[1.75] × 1.23	38	外傾	凹凸	人為		
918	D 4 g2	N - 31° - W	楕円形	0.58 × 0.37	24	外傾	凹凸	人為		
919	D 4 g1	-	円形	0.53 × 0.50	14	外傾	平坦	人為		
920	D 4 g3	-	円形	0.38 × 0.37	9	外傾	平坦	人為		
921	E 4 d5	-	[円形]	[0.64] × 0.60	41	外傾	平坦	人為	土師器	SK922 →本跡
922	E 4 d5	-	[楕円形]	0.35 × (0.30)	13	外傾	皿状	人為		本跡→SK921
923	E 4 c9	N - 32° - E	楕円形	0.39 × 0.34	22	直立	平坦	人為		
924	F 4 c9	N - 78° - E	楕円形	0.97 × 0.66	31	外傾	平坦	人為		
925	E 4 c0	N - 6° - W	楕円形	0.40 × 0.36	43	外傾	皿状	人為		
926	F 4 c0	-	円形	0.56 × 0.54	42	外傾	皿状	人為		

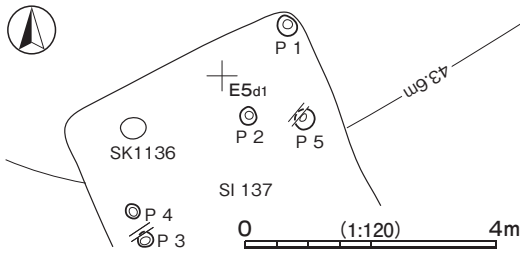
番号	位置	長径方向	平面形	規 模		壁 面	底 面	覆 土	主 な 出 土 遺 物	備 考
				長径×短径(m)	深さ(cm)					
927	F 4 c0	-	円形	0.50 × 0.50	35	外傾	皿状	人為		
928	F 4 c0	N - 85° - W	楕円形	0.44 × 0.36	49	直立・外傾	皿状	人為	弥生土器	
929	E 4 c9	-	円形	0.33 × 0.32	33	直立・外傾	皿状	人為		
930	F 4 c0	-	円形	0.51 × 0.50	27	外傾	平坦	人為	土師器	
932	D 4 j7	N - 50° - W	隅丸長方形	0.98 × 0.68	30	外傾	平坦	人為		
935	D 4 j6	-	[円形]	[0.58] × 0.54	10	外傾	平坦	人為		SK936 →本跡
936	D 4 j6	N - 77° - E	[楕円形]	[0.56] × 0.46	15	外傾	平坦	人為		本跡 → SK935
937	D 4 j6	N - 36° - W	楕円形	0.92 × 0.64	68	直立・外傾	凹凸	人為		
938	D 4 j9	-	円形	1.10 × 1.10	9	外傾	平坦	人為		
939	D 4 i9	N - 65° - E	楕円形	1.39 × 1.26	17	外傾	平坦	人為	土師器	SI173、SK1038 →本跡
940	E 4 f7	-	円形	0.35 × 0.32	26	直立・外傾	皿状	人為		本跡 → SK800
941	D 4 j4	-	円形	0.40 × 0.39	21	直立	平坦	人為		SI151 →本跡
942	D 4 j4	-	円形	0.46 × 0.45	23	外傾	平坦	人為	弥生土器 土師器 須恵器	SI151 →本跡
943	D 4 b5	N - 29° - E	楕円形	1.22 × 0.72	28	外傾	凹凸	人為	縄文土器 弥生土器 土師器	
944	D 4 c7	N - 15° - E	楕円形	2.29 × 1.95	47	外傾	平坦	人為	弥生土器 土師器 須恵器	SI160 →本跡
946	D 4 e4	N - 31° - W	[楕円形]	1.05 × (0.95)	15	外傾	平坦	人為	弥生土器 土師器	本跡 → SI126
948	D 4 d1	N - 42° - E	楕円形	0.42 × 0.30	22	外傾	平坦	人為	土師器	
950	D 4 d5	-	円形	0.60 × 0.58	38	外傾	皿状	人為		SB10 →本跡
951	D 4 e4	N - 22° - W	[楕円形]	1.50 × (0.92)	42	外傾	平坦	人為	土師器 須恵器	SI126 →本跡→ 第1・2号竪穴遺構
952	D 4 d5	-	円形	0.58 × 0.56	42	外傾	皿状	人為		SI171 →本跡
953	D 4 d2	-	円形	0.29 × 0.28	34	直立	皿状	人為		
954	D 4 e7	N - 26° - W	楕円形	0.47 × 0.42	20	外傾	平坦	人為		SI165 →本跡
955	D 4 f2	-	円形	0.52 × 0.50	15	外傾	平坦	人為		
956	D 4 f2	-	円形	0.57 × 0.55	15	外傾	平坦	人為		
957	D 4 e5	N - 13° - W	楕円形	0.83 × 0.72	38	外傾	皿状	人為		SI171 →本跡
958	D 4 e1	N - 20° - W	楕円形	0.51 × 0.34	15	外傾	平坦	人為		
959	D 4 e1	-	円形	0.38 × 0.35	25	直立・外傾	皿状	人為		
960	D 3 d0	N - 33° - W	楕円形	0.67 × 0.54	35	外傾	凹凸	人為		
961	D 3 e0	N - 78° - W	楕円形	0.64 × 0.55	31	外傾	平坦	人為		
962	D 4 e6	-	円形	0.86 × 0.80	40	外傾	平坦	人為		
963	D 3 e0	N - 68° - E	楕円形	0.71 × 0.56	27	外傾	平坦	人為		
965	D 4 e1	N - 38° - W	楕円形	0.70 × 0.57	20	外傾	平坦	人為		
966	D 4 e1	-	円形	0.60 × 0.58	38	外傾	皿状	人為		SK1064 →本跡
967	D 4 e1	-	[円形]	0.64 × (0.54)	35	外傾	皿状	人為		本跡 → SB14
968	D 4 e1	-	円形	0.38 × 0.35	24	直立	皿状	人為		
970	D 3 e0	N - 62° - E	楕円形	0.70 × 0.49	21	外傾	凹凸	人為		本跡 → SI131
971	D 4 g3	-	円形	0.40 × 0.38	28	外傾	皿状	人為		SI167、SK1042 →本跡
972	D 4 f6	N - 62° - E	楕円形	0.59 × [0.50]	33	外傾	皿状	人為	土師器 須恵器	SI166 →本跡
973	D 4 h1	N - 24° - E	楕円形	0.81 × 0.58	14	外傾	平坦	人為		
974	D 4 h1	N - 57° - E	楕円形	0.84 × 0.68	30	外傾	皿状	人為		
975	D 4 h1	-	円形	0.72 × 0.69	40	外傾	平坦	人為		
976	D 3 f0	N - 45° - E	楕円形	0.62 × 0.54	22	外傾	皿状	人為		SI131 →本跡
978	D 4 g2	-	円形	0.86 × 0.82	32	外傾	平坦	人為	土師器	
979	D 4 g1	N - 70° - E	楕円形	0.60 × 0.49	33	外傾	平坦	人為	弥生土器 土師器	
980	D 3 h0	N - 90°	楕円形	0.80 × [0.64]	19	外傾	平坦	人為	土師器 須恵器	
981	E 5 a1	-	円形	0.58 × 0.58	20	外傾	有段	人為		SI142 →本跡
982	E 4 a0	N - 11° - E	[楕円形]	[0.58] × 0.46	30	直立・外傾	平坦	人為		SK1065 →本跡
984	D 4 e2	N - 8° - E	楕円形	0.83 × 0.69	29	外傾	平坦	人為	土師器 須恵器	
986	D 4 e1	N - 47° - E	楕円形	0.65 × 0.56	12	外傾	凹凸	人為		
987	D 4 d1	N - 20° - W	楕円形	0.36 × 0.31	30	直立	皿状	人為		
991	D 4 f1	-	円形	0.34 × 0.32	21	直立・外傾	凹凸	人為		
992	D 4 g2	-	円形	0.58 × 0.60	26	直立	凹凸	人為		
993	D 4 f3	N - 25° - E	不整形円形	0.45 × [0.44]	20	外傾	皿状	人為	土師器 須恵器	

番号	位置	長径方向	平面形	規 模		壁 面	底 面	覆 土	主 な 出 土 遺 物	備 考
				長径×短径(m)	深さ(cm)					
995	D 4 g3	N - 38° - W	楕円形	0.38 × 0.33	40	直立	皿状	人為		SI167 → 本跡
997	D 4 g3	-	[円形]	0.25 × [0.25]	39	直立	皿状	人為		SI167 → 本跡
999	D 4 e1	N - 60° - E	楕円形	0.46 × 0.34	29	外傾	凸凹	人為		
1003	D 4 f2	N - 89° - E	楕円形	0.80 × 0.70	15	外傾	平坦	人為		
1004	D 3 f0	-	円形	0.40 × 0.39	6	外傾	皿	人為		
1005	D 4 e2	N - 19° - W	楕円形	0.67 × 0.53	22	外傾	凹凸	人為		
1006	D 4 g1	N - 26° - W	楕円形	[0.53] × 0.40	12	外傾	皿	人為		
1013	D 4 h3	N - 46° - W	不整楕円形	0.77 × 0.45	88	内傾	平坦	人為	土師器 須恵器	SI169 → 本跡 → SI150
1015	D 4 i5	-	円形	0.76 × 0.72	36	直立	平坦	人為		SI163・SB11 → 本跡
1018	D 4 h3	-	円形	0.28 × 0.28	21	直立	皿状	人為		本跡 → SI169
1021	D 4 f2	N - 66° - E	隅丸長方形	0.38 × 0.30	15	外傾	平坦	人為	土師器	SI167 → 本跡
1022	D 4 f2	-	円形	0.24 × 0.24	18	直立	皿状	人為		SI167 → 本跡
1023	D 4 e1	-	円形	0.27 × 0.27	19	外傾	凹凸	人為		本跡 → SI131
1024	D 4 g3	N - 20° - W	楕円形	0.28 × 0.23	34	直立	皿状	人為		
1026	D 4 e4	N - 40° - W	楕円形	0.57 × 0.55	13	直立	平坦	人為	縄文土器 弥生土器 土師器	
1027	D 4 f4	-	円形	0.58 × 0.57	13	直立	平坦	人為	土師器 須恵器	
1029	D 4 e6	N - 22° - W	楕円形	[0.60] × 0.54	38	直立	皿状	人為		
1031	E 4 a7	N - 8° - E	隅丸長方形	1.21 × 0.75	10	外傾	平坦	人為	弥生土器 土師器 須恵器	本跡 → SB11・18
1032	D 4 f4	-	[円形]	0.38 × [0.36]	28	直立	皿状	人為		
1033	D 4 f4	N - 28° - W	楕円形	0.55 × 0.44	50	直立・外傾	平坦	人為		
1036	D 4 g4	-	円形	1.28 × 1.26	22	外傾	平坦	人為	縄文土器 土師器 須恵器	
1037	D 4 g5	-	円形	1.07 × 1.00	13	外傾	平坦	人為	弥生土器 土師器 須恵器	SK1083 → 本跡
1038	D 4 i9	N - 61° - W	楕円形	0.74 × 0.62	36	外傾	平坦	人為		SI173 → 本跡 → SK939
1040	D 4 f6	N - 36° - W	楕円形	4.10 × 2.88	47	外傾	凹凸	人為	縄文土器 弥生土器 土師器 須恵器	SB16 → 本跡
1041	D 4 f5	N - 28° - W	[楕円形]	[0.44] × 0.35	20	外傾	皿状	人為		
1042	D 4 g3	-	円形	0.40 × 0.40	32	直立	皿状	人為		SI167 → 本跡 → SK971
1043	D 4 f3	N - 65° - W	楕円形	0.71 × 0.58	13	外傾	皿状	人為	土師器	本跡 → SB15
1044	D 4 f2	N - 67° - E	[楕円形]	0.29 × [0.22]	38	直立	皿状	人為		
1045	D 4 g2	N - 20° - W	楕円形	0.36 × 0.31	38	直立・外傾	皿状	人為		
1046	D 4 e2	N - 78° - W	方形	0.37 × 0.35	26	外傾	凹凸	人為		
1047	D 4 e2	N - 57° - E	不整楕円形	0.55 × 0.42	48	直立	凹凸	人為	縄文土器	SK1090 → 本跡
1049	D 4 f5	-	円形	1.21 × 1.19	33	直立	平坦	人為	縄文土器 弥生土器 土師器 須恵器	
1050	D 3 g0	N - 83° - W	楕円形	1.26 × 1.10	32	外傾	凹凸	人為	縄文土器	
1052	D 4 h5	N - 77° - W	楕円形	[1.17] × 1.10	3	外傾	平坦	人為	土師器	
1054	D 4 h5	-	円形	1.00 × 0.99	5	外傾	平坦	人為		本跡 → SK1055
1055	D 4 g5	-	円形	1.05 × 1.02	4	外傾	平坦	人為		SK1054 → 本跡
1057	D 4 h5	N - 26° - W	楕円形	0.76 × 0.62	30	外傾	平坦	人為		
1059	D 4 g5	N - 18° - W	楕円形	1.22 × 1.02	20	直立	平坦	人為	縄文土器	SK1060 → 本跡
1060	D 4 g5	-	[楕円形]	[0.96] × [0.86]	10	外傾	平坦	人為		本跡 → SK1059
1061	D 4 f3	N - 70° - E	楕円形	0.40 × 0.28	24	外傾	皿状	人為		
1062	D 4 h5	-	[円形]	0.40 × 0.32	22	外傾	皿状	人為	土師器	SK1066 → 本跡
1063	D 4 f1	N - 18° - E	楕円形	0.52 × 0.38	25	外傾	皿状	人為		SB12 → 本跡
1064	D 4 e1	N - 19° - W	楕円形	0.58 × 0.44	60	外傾	皿状	人為	土師器	本跡 → SK966
1065	E 4 a0	N - 26° - W	楕円形	0.90 × 0.84	13	直立・外傾	平坦	人為	弥生土器 土師器 須恵器 剥片	本跡 → SK982
1067	D 4 e6	N - 60° - E	楕円形	1.34 × 1.10	68	外傾	平坦	人為	弥生土器 土師器 須恵器	本跡 → SI165
1068	D 4 h7	-	円形	0.58 × 0.52	14	外傾	平坦	人為	土師器	本跡 → SI173
1069	D 4 h5	N - 8° - E	楕円形	0.64 × 0.42	34	直立	平坦	人為	弥生土器 土師器	
1070	D 4 h8	-	円形	[0.90] × 0.86	30	外傾	皿状	人為	弥生土器 土師器	本跡 → SI173
1071	D 4 i6	N - 28° - W	楕円形	1.18 × 0.82	48	外傾	平坦	人為	弥生土器 土師器	本跡 → SI173
1072	D 4 i5	N - 47° - E	[楕円形]	(0.63) × (0.56)	22	外傾	凹凸	人為	弥生土器 土師器	SI163 → 本跡
1073	E 5 b1	-	[円形]	0.37 × [0.37]	22	外傾	平坦	人為		
1074	E 4 a8	N - 51° - E	[楕円形]	[0.43] × 0.33	27	外傾	皿状・凹凸	人為	弥生土器 土師器	本跡 → SB18
1075	E 4 b8	N - 62° - E	[楕円形]	(1.02) × (0.52)	20	外傾	皿状	人為		SI138A・B → 本跡

番号	位置	長径方向	平面形	規 模		壁 面	底 面	覆 土	主 な 出 土 遺 物	備 考
				長径×短径(m)	深さ(cm)					
1076	E 4 j9	-	円形	1.20 × 1.20	8	外傾	平坦	人為		SI176 →本跡
1077	D 4 g5	N - 26° - W	[楕円形]	1.20 × 1.10	24	外傾	皿状	人為		SK1078 →本跡→SK1084
1078	D 4 g5	-	[円形]	[1.06] × [1.06]	28	外傾	凹凸	人為	弥生土器 土師器 須恵器	本跡→SK1077・1084
1079	E 4 b0	-	[円形]	[0.55] × 0.55	20	直立・外傾	凹凸	人為	土師器	SI176 →本跡
1080	D 4 g6	N - 20° - E	楕円形	0.37 × 0.32	14	外傾	皿状	人為		
1081	D 4 g7	-	円形	0.39 × 0.37	20	外傾	皿状	人為		
1082	D 4 f6	-	[不整円形]	[0.23] × [0.22]	30	外傾	皿状	人為	弥生土器 土師器	
1083	D 4 g5	-	円形	1.18 × 1.16	32	外傾	皿状	人為	弥生土器 土師器 須恵器	SK1084 →本跡→SK1037
1084	D 4 g5	N - 48° - W	[楕円形]	0.82 × (0.68)	28	直立・外傾	皿状	人為	縄文土器 弥生土器 土師器	SK1077・1078 →本跡→SK1083
1085	D 4 h4	N - 19° - E	[楕円形]	[0.55] × [0.46]	40	外傾	凹凸	人為		
1086	D 4 i4	-	円形	0.63 × 0.58	23	直立	皿状	人為	土師器	本跡→SK1088
1087	D 4 h4	-	[不整円形]	[0.53] × [0.50]	30	外傾	凹凸	人為	土師器	SK1087 →本跡
1088	D 4 g4	N - 61° - W	楕円形	0.88 × 0.68	41	外傾	凹凸	人為		
1089	D 4 g4	-	円形	0.42 × 0.41	28	外傾	平坦	人為		
1090	D 4 e2	N - 38° - W	楕円形	0.67 × 0.55	35	直立・外傾	凹凸	人為		本跡→SK1047
1091	D 4 j0	-	[円形]	0.58 × [0.57]	32	外傾	皿状	人為		本跡→SK1092
1092	D 4 j0	N - 37° - W	楕円形	0.60 × 0.45	25	外傾	平坦	人為		SK1091 →本跡
1093	E 4 e7	N - 90°	楕円形	0.49 × 0.38	27	直立・外傾	凹凸	人為		
1094	E 4 e7	-	円形	0.46 × 0.43	50	外傾	皿状	人為		
1095	E 4 a0	-	[円形]	[0.58] × 0.54	24	外傾	凹凸	人為		SI143 →本跡
1096	D 5 j1	N - 22° - W	楕円形	0.82 × 0.51	45	外傾	凹凸	人為		SI143 →本跡
1097	E 5 a2	-	円形	0.63 × 0.62	25	外傾	凹凸	人為		SI143 →本跡
1098	E 5 a2	N - 45° - W	楕円形	0.58 × 0.50	15	外傾	凹凸	人為		
1100	E 4 e0	-	円形	0.42 × 0.40	25	外傾	平坦	人為		SI137 →本跡
1101	E 4 b0	N - 28° - W	[楕円形]	[0.70] × 0.53	25	外傾	凹凸	人為		SI176 →本跡
1103	E 4 e9	N - 0°	[楕円形]	[0.75] × 0.55	28	外傾	凹凸	人為	土師器	本跡→SB19
1104	D 5 i1	-	円形	0.54 × 0.54	23	外傾	皿状	人為		SI144 →本跡
1105	E 4 c0	-	円形	0.37 × 0.35	35	外傾	皿状	人為		
1107	D 5 h1	N - 70° - W	楕円形	0.44 × 0.37	19	外傾	平坦	人為		SI144 →本跡
1108	D 5 i1	N - 53° - E	楕円形	0.76 × 0.61	18	外傾	平坦	人為		SI144 →本跡
1109	D 5 h1	-	円形	0.62 × 0.60	17	外傾	皿状	人為	土師器	SI144 →本跡
1112	D 4 h8	N - 3° - W	楕円形	2.21 × 1.28	35	直立	平坦	人為	縄文土器 弥生土器 磨製石斧 磨石 敲石	本跡→SI173
1113	D 4 g7	N - 62° - W	楕円形	0.49 × 0.41	23	外傾	皿状	人為		SI181 →本跡
1114	D 4 g7	N - 7° - E	楕円形	0.51 × 0.44	20	外傾	平坦	人為		
1115	D 4 e9	-	円形	1.41 × 1.35	28	外傾	平坦	人為		
1116	D 4 g7	N - 88° - E	[楕円形]	0.58 × [0.44]	28	外傾	凹凸	人為		SI181 →本跡
1117	D 4 j0	-	[円形]	0.55 × [0.55]	32	外傾	平坦	人為	弥生土器	
1119	D 4 i0	-	[円形]	[0.48] × 0.47	24	外傾	平坦	人為		
1120	D 4 i1	-	円形	0.52 × 0.51	18	外傾	凹凸	人為		
1121	D 4 h1	N - 55° - E	[楕円形]	0.38 × [0.33]	18	外傾	皿状	人為		
1122	D 4 b8	-	[円形]	[0.46] × 0.45	47	直立・外傾	皿状	人為		
1123	E 4 b5	-	円形	0.60 × 0.59	24	外傾	平坦	人為	土師器	SI159 →本跡
1124	E 4 d0	N - 59° - E	楕円形	0.29 × 0.26	11	外傾	皿状	人為		
1125	E 4 d0	-	円形	0.28 × 0.26	20	外傾	皿状	人為		
1126	D 4 f8	-	[円形]	0.52 × [0.48]	25	外傾	凹凸	人為		
1127	E 5 j1	N - 12° - E	楕円形	0.39 × 0.28	27	外傾	平坦	人為		
1130	E 4 b7	N - 79° - W	楕円形	0.32 × 0.28	27	外傾	皿状	人為		本跡→SI138A
1131	E 5 c1	N - 54° - E	[楕円形]	0.60 × [0.45]	22	外傾	平坦	人為		
1132	E 4 a9	N - 22° - W	[楕円形]	[0.30] × 0.23	25	外傾	皿状	人為		SI176 →本跡
1134	D 4 d9	N - 68° - E	[楕円形]	0.80 × [0.71]	7	外傾	平坦	人為	弥生土器 土師器	SI170 →本跡
1136	E 4 d0	N - 90°	楕円形	0.40 × 0.32	32	外傾	皿状	人為		SI137 →本跡
1137	E 4 b7	N - 2° - W	楕円形	1.18 × 1.01	24	外傾	平坦	人為		
1138	D 4 d0	-	[円形・楕円形]	(2.16) × (0.69)	70	外傾	凹凸	人為	縄文土器 弥生土器 土師器 須恵器	

(4) ピット群

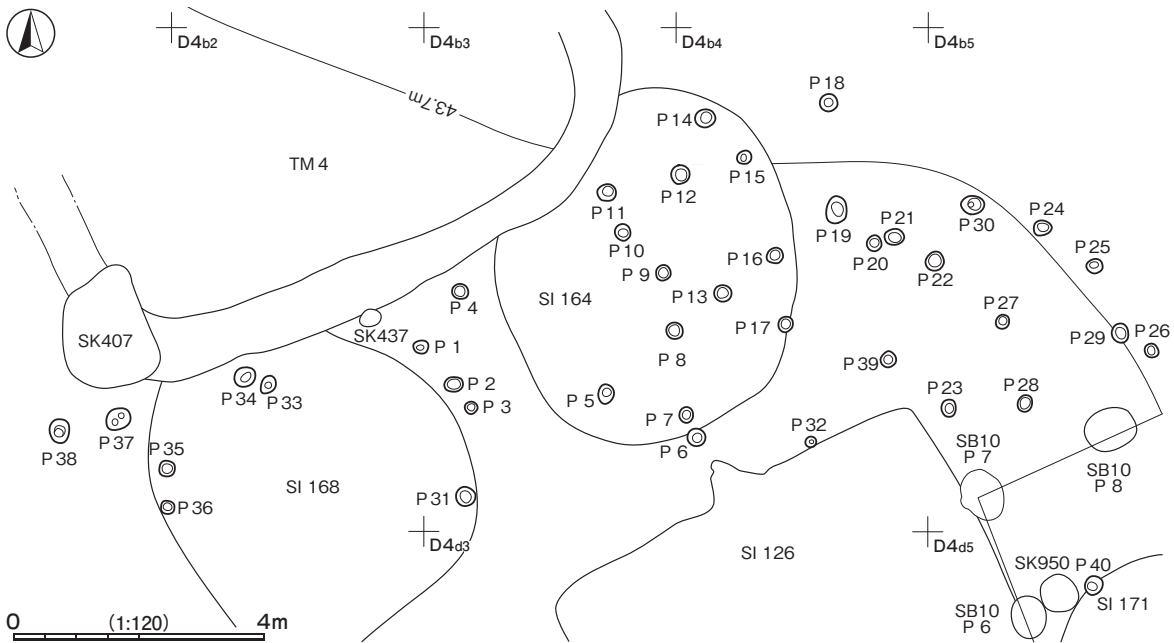
平面図と計測表で記載する。



第452図 第10号ピット群実測図

第228表 第10号ピット群ピット計測表 (第452図)

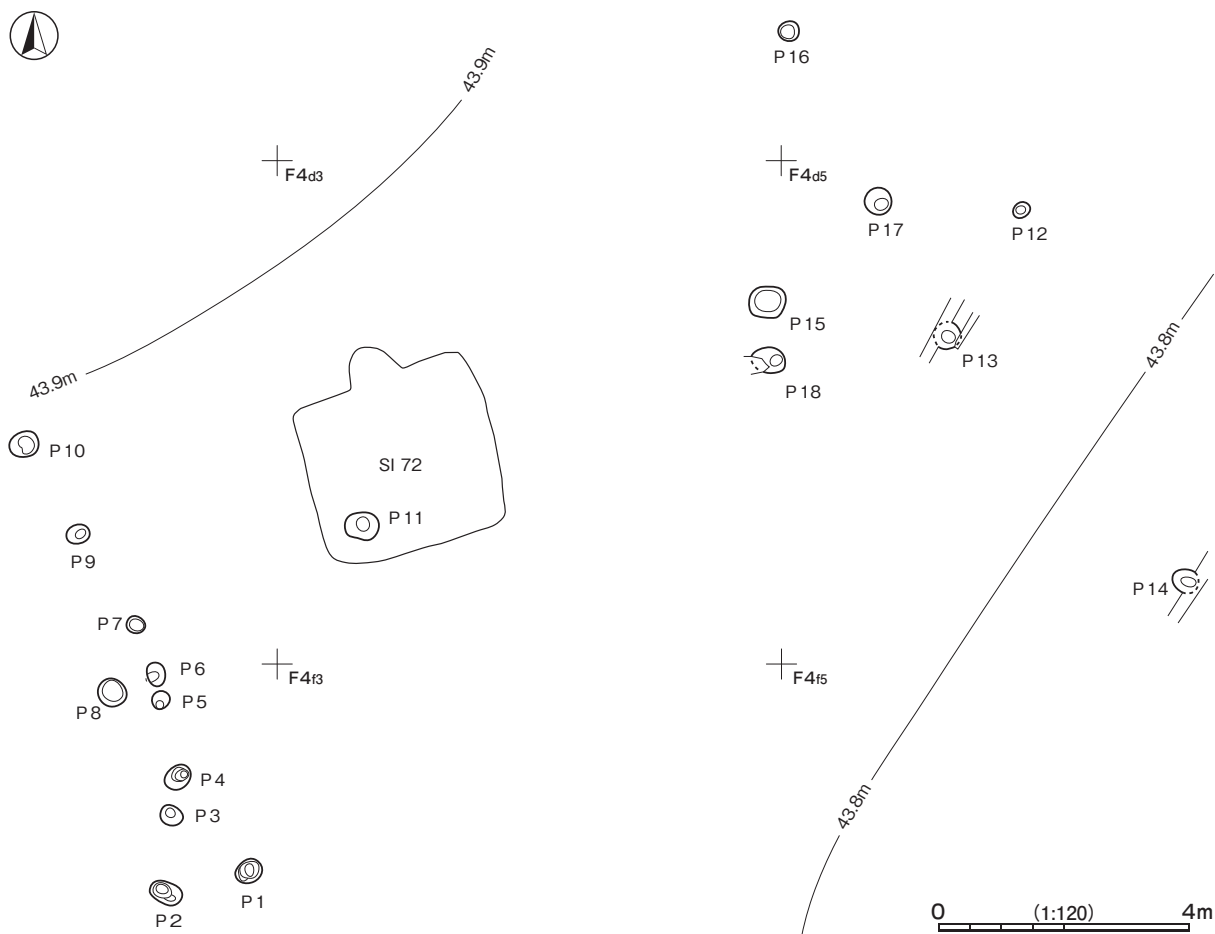
ピット番号	位置	形状	規模 (cm)		
			長径	短径	深さ
1	E 5 c1	楕円形	32	28	9
2	E 5 d1	楕円形	27	24	8
3	E 4 d0	[円形]	25	(23)	8
4	E 4 d0	円形	24	23	7
5	E 5 d1	[四形・楕円形]	34	(26)	32



第453図 第14号ピット群実測図

第229表 第14号ピット群ピット計測表 (第453図)

ピット番号	位置	形状	規模 (cm)			ピット番号	位置	形状	規模 (cm)			ピット番号	位置	形状	規模 (cm)		
			長径	短径	深さ				長径	短径	深さ				長径	短径	深さ
1	D 4 c1	楕円形	23	20	16	15	D 4 b4	円形	22	20	21	28	D 4 c5	楕円形	27	22	11
2	D 4 c3	楕円形	29	24	30	16	D 4 b4	円形	25	24	16	29	D 4 c5	円形	23	21	16
3	D 4 c3	円形	19	19	16	17	D 4 c4	円形	23	21	12	30	D 4 b5	楕円形	37	28	21
4	D 4 c3	円形	25	23	18	18	D 4 b4	円形	28	27	34	31	D 4 c3	円形	30	29	34
5	D 4 c3	楕円形	41	23	20	19	D 4 b4	楕円形	43	33	33	32	D 4 c4	円形	17	17	10
6	D 4 c4	楕円形	29	26	27	20	D 4 b4	楕円形	25	22	41	33	D 4 c2	楕円形	30	23	19
7	D 4 c4	楕円形	25	22	16	21	D 4 b4	楕円形	31	25	33	34	D 4 c2	楕円形	34	30	38
8	D 4 c3	円形	27	26	24	22	D 4 b5	円形	30	28	24	35	D 4 c1	円形	25	25	13
9	D 4 c3	円形	24	22	20	23	D 4 c5	楕円形	27	23	24	36	D 4 c1	楕円形	22	19	9
10	D 4 b3	円形	26	24	17	24	D 4 b5	楕円形	28	23	12	37	D 4 c1	楕円形	42	35	21
11	D 4 b3	円形	28	27	16	25	D 4 b5	楕円形	25	22	21	38	D 4 c1	楕円形	37	30	18
12	D 4 b4	円形	30	28	24	26	D 4 c5	楕円形	30	26	9	39	D 4 c4	円形	26	25	14
13	D 4 c4	円形	27	25	23	27	D 4 c5	円形	22	21	16	40	D 4 d5	円形	30	27	30
14	D 4 b4	円形	30	28	21												



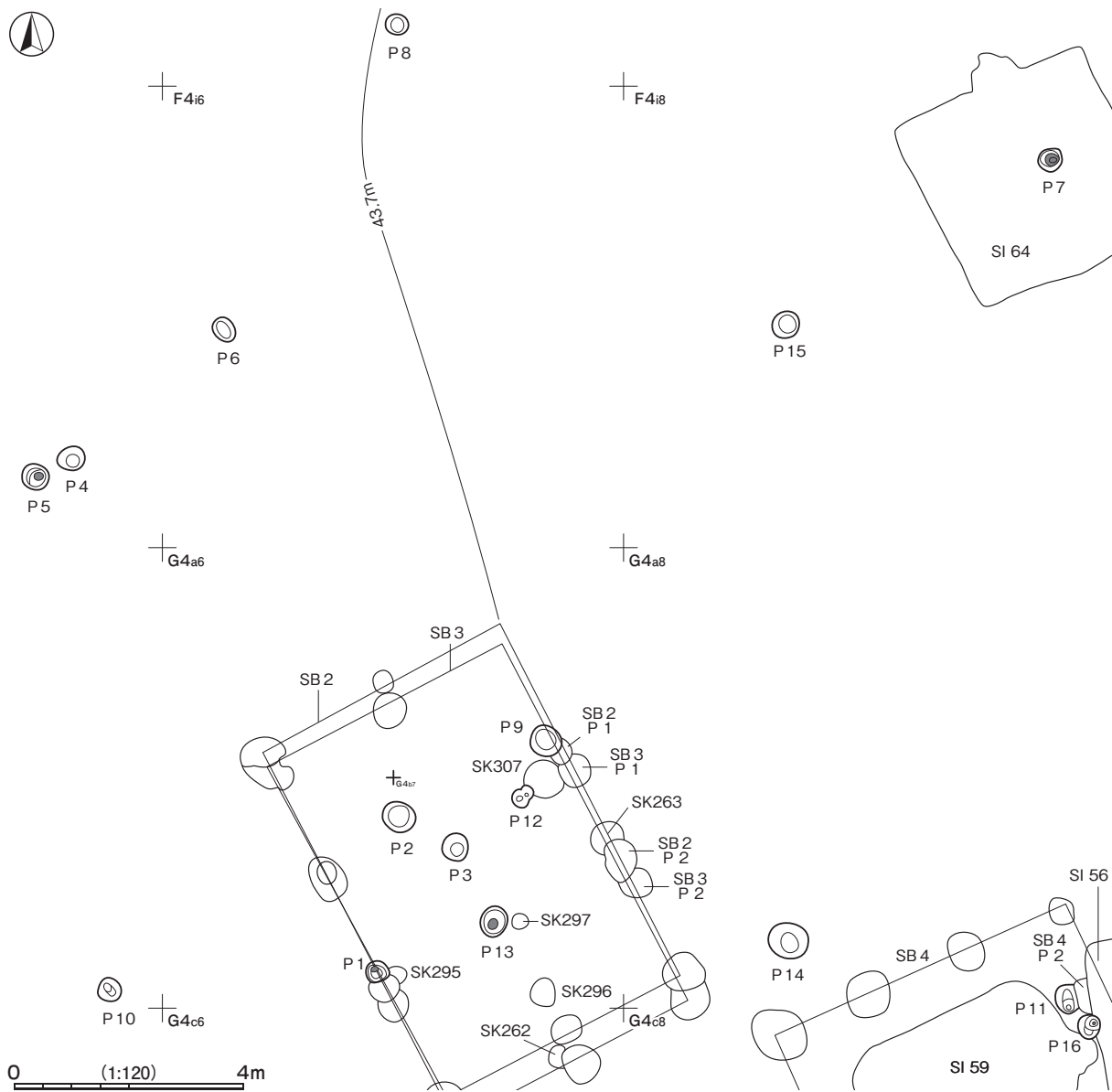
第 454 図 第 42 号ピット群実測図

第 230 表 第 42 号ピット群ピット計測表 (第 454 図)

ピット 番号	位 置	形 状	規 模 (cm)			ピット 番号	位 置	形 状	規 模 (cm)			ピット 番号	位 置	形 状	規 模 (cm)		
			長径	短径	深さ				長径	短径	深さ				長径	短径	深さ
1	F 4 f2	楕円形	45	38	40	7	F 4 e2	円形	30	29	29	13	F 4 d5	[楕円形]	44	[41]	44
2	F 4 f2	楕円形	53	36	40	8	F 4 f2	円形	47	43	35	14	F 4 e6	[楕円形]	[44]	38	30
3	F 4 f2	楕円形	37	33	48	9	F 4 e2	楕円形	38	31	49	15	F 4 d4	楕円形	56	49	34
4	F 4 f2	楕円形	44	35	52	10	F 4 e2	楕円形	48	42	37	16	F 4 c5	円形	34	32	18
5	F 4 f2	楕円形	32	29	46	11	F 4 e3	楕円形	54	44	23	17	F 4 d5	円形	44	43	32
6	F 4 f2	楕円形	39	28	76	12	F 4 c5	楕円形	30	26	14	18	F 4 e4	楕円形	56	40	39

第 231 表 第 43 号ピット群ピット計測表 (第 455 図)

ピット 番号	位 置	形 状	規 模 (cm)			ピット 番号	位 置	形 状	規 模 (cm)			ピット 番号	位 置	形 状	規 模 (cm)		
			長径	短径	深さ				長径	短径	深さ				長径	短径	深さ
1	G 4 b6	[円形]	38	(37)	44	7	G 4 i9	楕円形	44	40	25	13	G 4 b7	楕円形	55	47	32
2	G 4 b7	楕円形	58	52	28	8	F 4 h7	楕円形	42	36	20	14	G 4 b8	円形	69	63	28
3	G 4 b7	円形	48	45	30	9	G 4 a7	円形	56	52	59	15	F 4 j8	楕円形	53	47	21
4	F 4 j5	楕円形	51	42	35	10	G 4 b5	円形	44	43	48	16	G 4 c0	楕円形	43	38	61
5	F 4 j5	円形	48	44	27	11	G 4 b9	[楕円形]	52	(37)	56						
6	F 4 j6	楕円形	46	36	28	12	G 4 b7	不整楕円形	41	29	41						



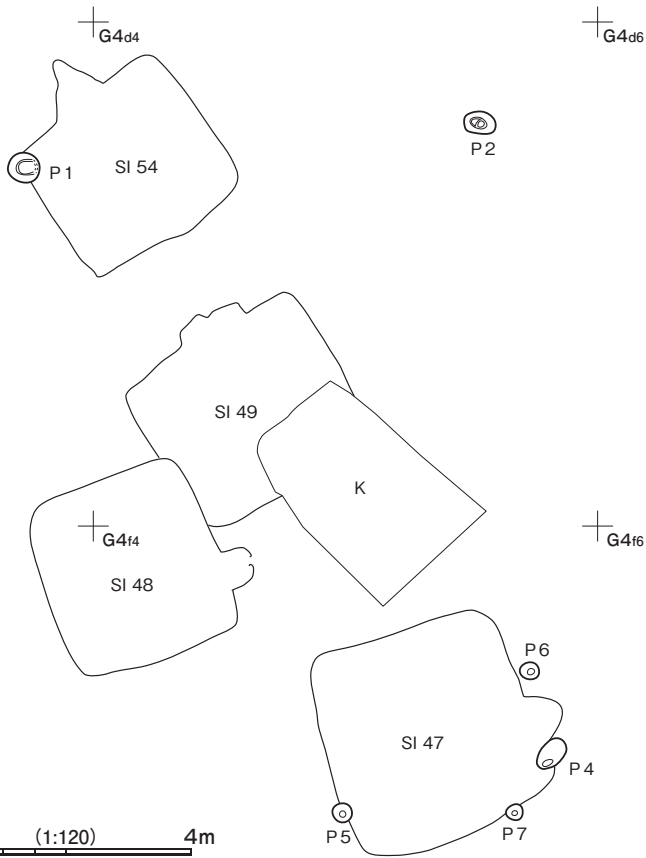
第 455 図 第 43 号ピット群実測図

第 232 表 第 44 号ピット群ピット計測表 (第 456 図)

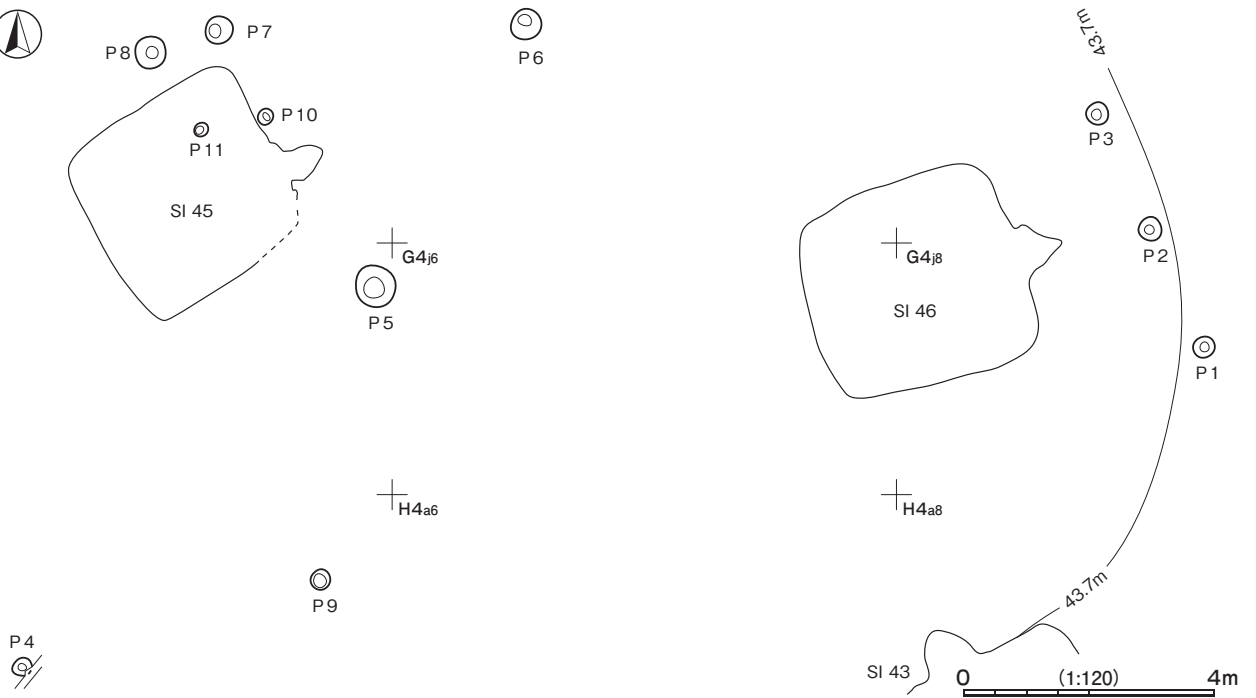
ピット 番号	位置	形状	規 模 (cm)			ピット 番号	位置	形状	規 模 (cm)			ピット 番号	位置	形状	規 模 (cm)		
			長径	短径	深さ				長径	短径	深さ				長径	短径	深さ
1	G4d3	[円形]	50	47	50	4	G4f5	楕円形	56	34	53	7	G4g5	楕円形	30	26	26
2	G4d5	楕円形	49	35	56	5	G4g4	円形	31	30	64						
3	G4e4	隅丸方形	53	51	32	6	G4f5	円形	30	28	31						

第 233 表 第 45 号ピット群ピット計測表 (第 457 図)

ピット 番号	位置	形状	規 模 (cm)			ピット 番号	位置	形状	規 模 (cm)			ピット 番号	位置	形状	規 模 (cm)		
			長径	短径	深さ				長径	短径	深さ				長径	短径	深さ
1	G4j9	円形	35	34	37	5	G4j5	楕円形	82	65	29	9	H4a5	円形	33	33	47
2	G4i9	楕円形	40	37	32	6	G4i6	円形	49	48	27	10	G4i5	楕円形	29	26	20
3	G4i8	楕円形	37	34	21	7	G4i5	円形	43	43	87	11	G4i5	円形	23	23	26
4	H4a4	円形	30	28	22	8	G4i5	円形	49	48	30						



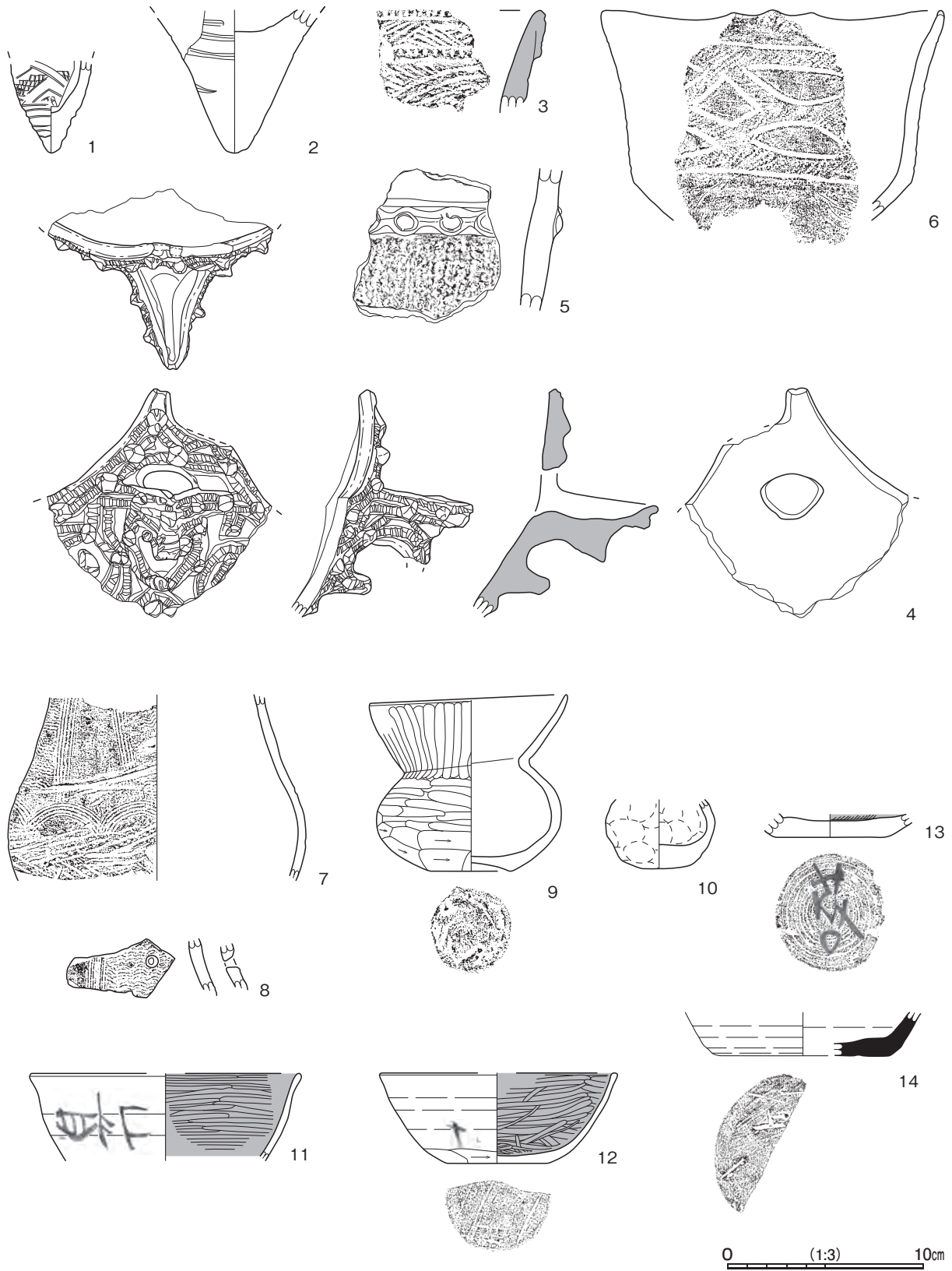
第 456 図 第 44 号ピット群実測図



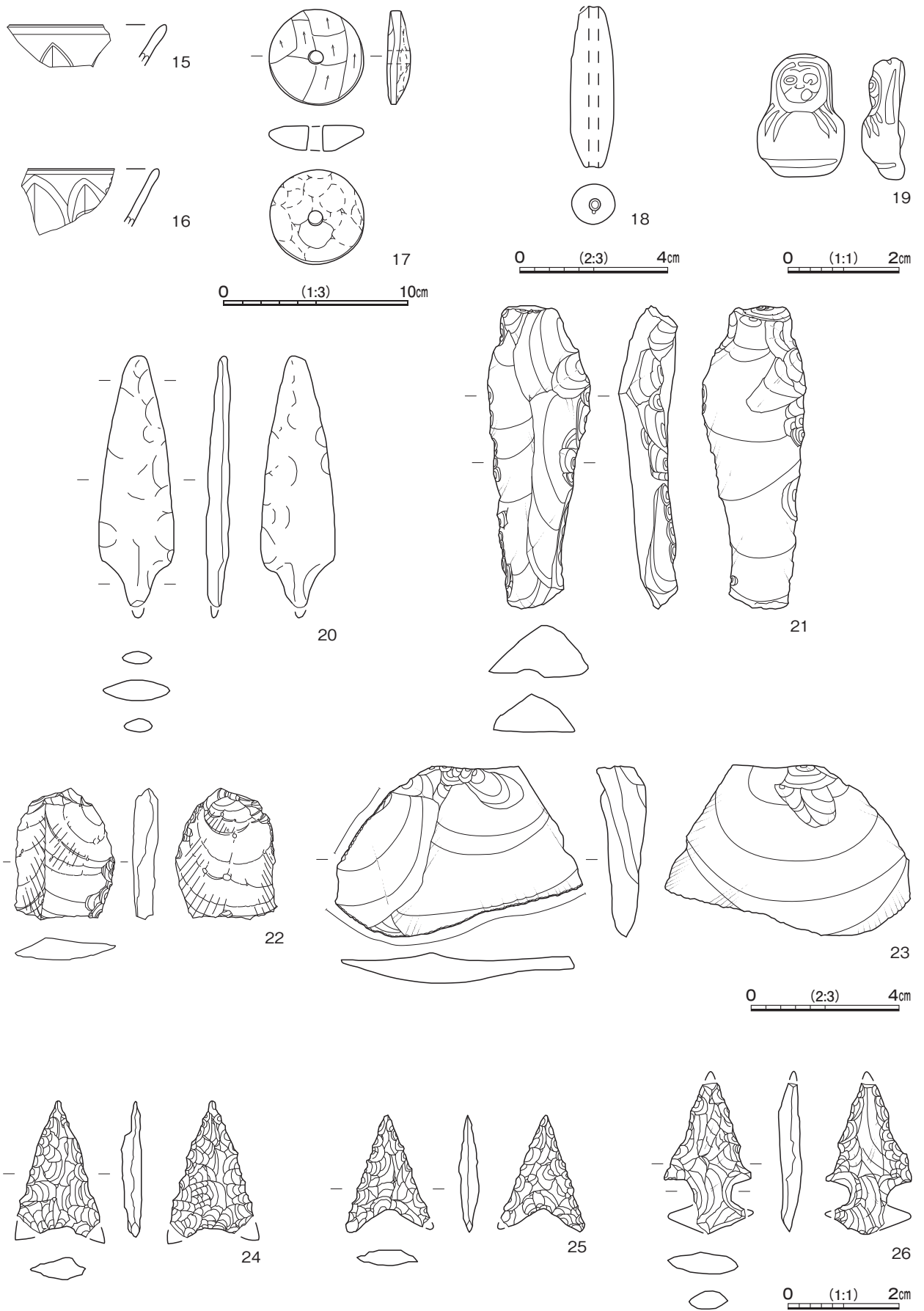
第 457 図 第 45 号ピット群実測図

(6) 遺構外出土遺物 (第 458 ~ 462 図 PL96 ~ 98・102)

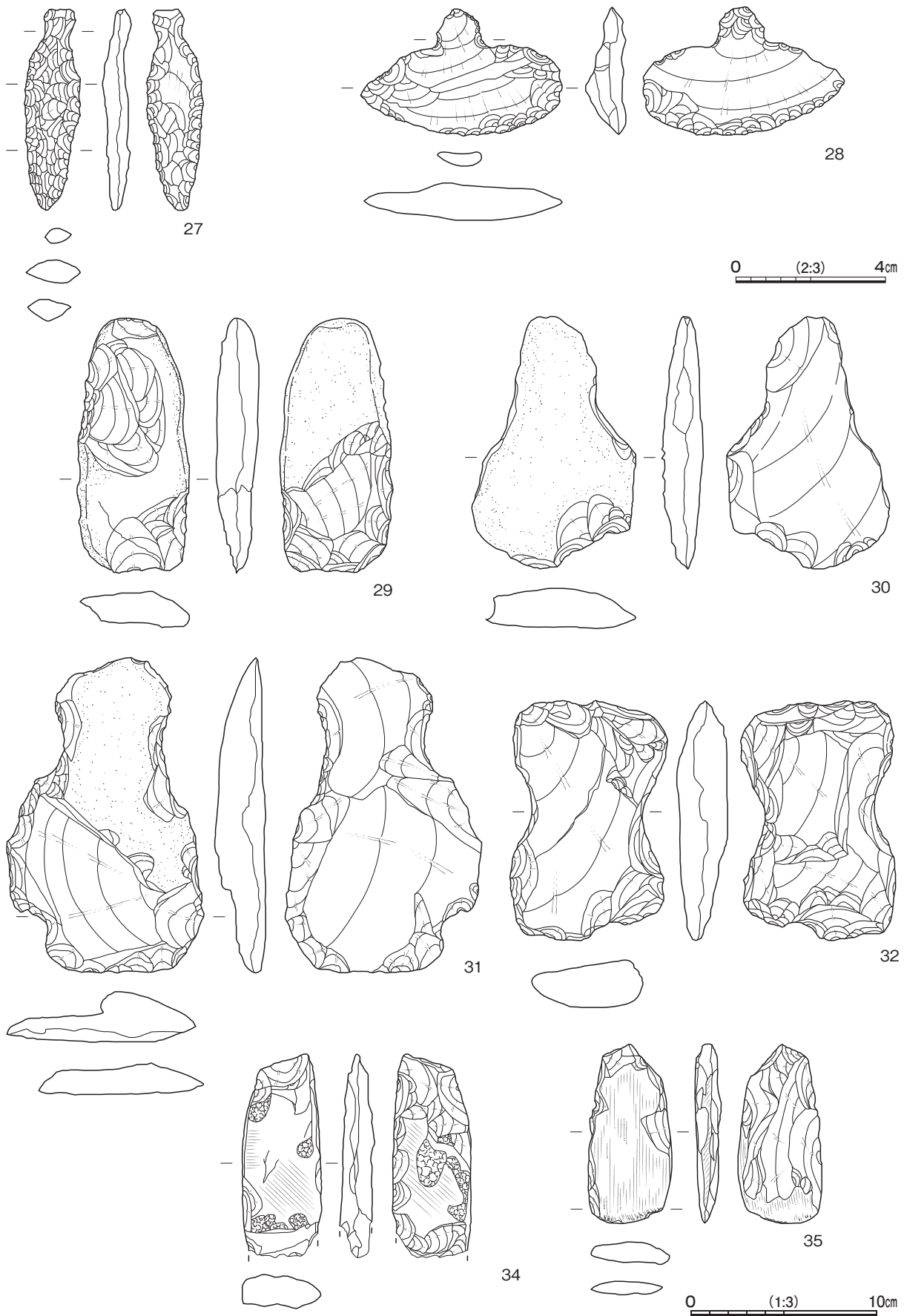
遺構外出土遺物の主なものについて、実測図と一覧で記載する。



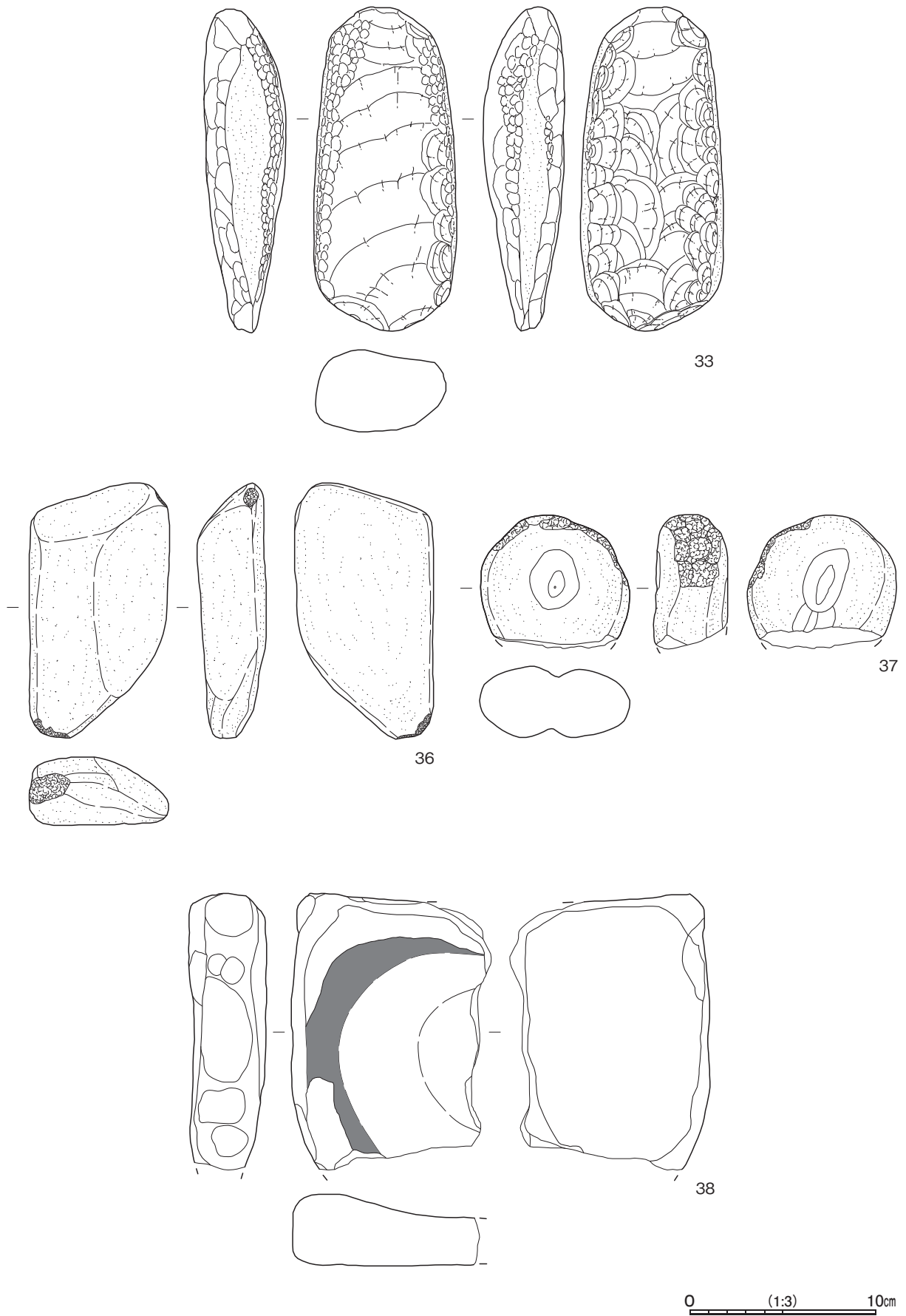
第 458 図 遺構外出土遺物実測図 (1)



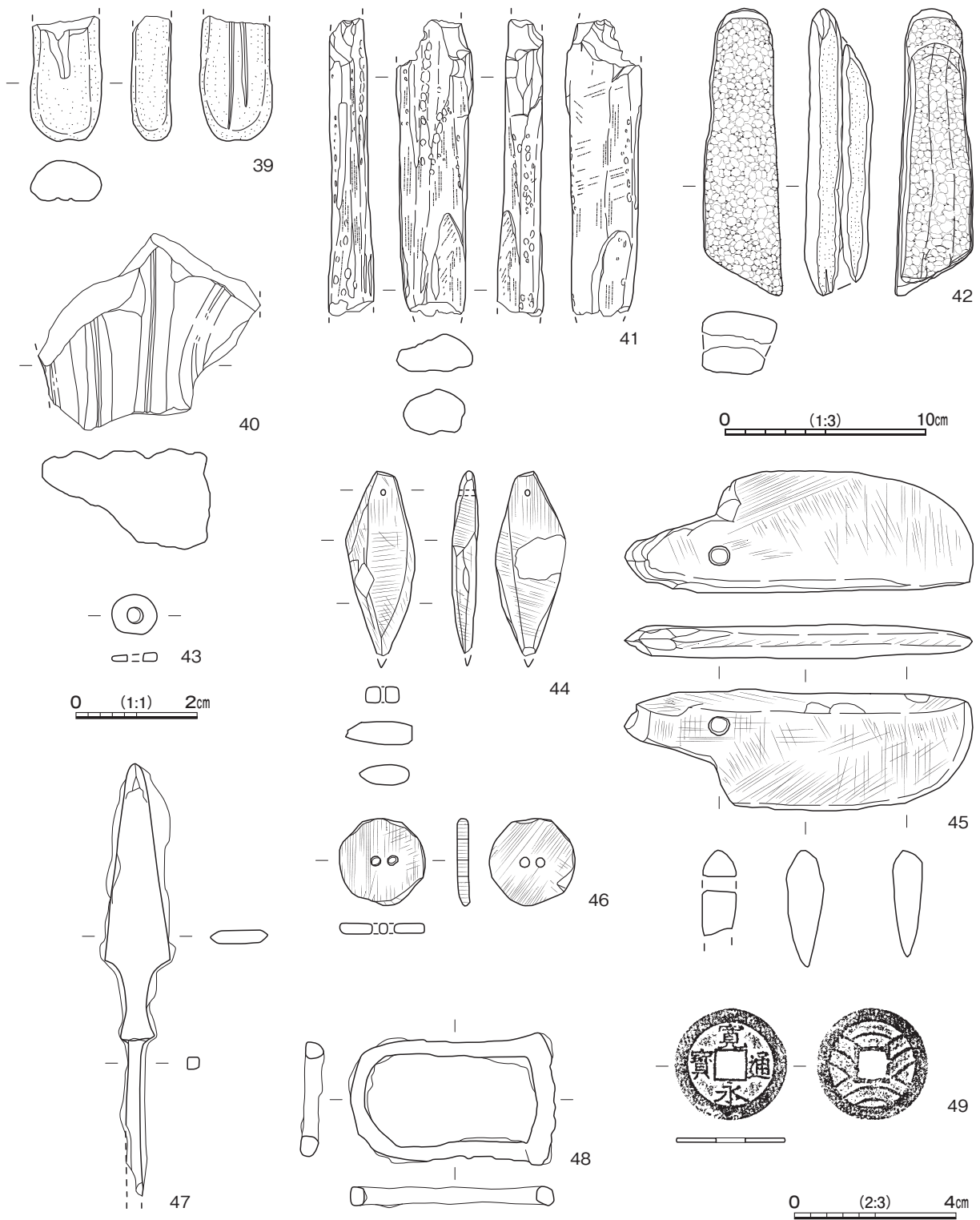
第 459 図 遺構外出土遺物実測図 (2)



第 460 図 遺構外出土遺物実測図 (3)



第 461 図 遺構外出土遺物実測図 (4)



第 462 図 遺構外出土遺物実測図 (5)

第 234 表 遺構外出土遺物一覧 (第 458 ~ 462 図)

番号	種 別	器種	口径	器高	底径	胎 土	色 調	焼成	特 徴	出土位置	備 考
1	縄文土器	深鉢	-	(4.7)	-	長石・石英・黒色粒子・細礫	にぶい褐	普通	尖底 押引文施文後斜位の平行沈線文施文	表土	5% PL96 早期前半 (凹戸下層式)
2	縄文土器	深鉢	-	(7.3)	-	長石・石英・赤色粒子・黒色粒子・細礫	にぶい橙	普通	尖底 横位の沈線文施文	表土	5% PL96 早期前半 (凹戸下層式)
3	縄文土器	深鉢	-	(5.2)	-	長石・石英・黒色粒子・細礫・繊維	にぶい橙	普通	折り返し口縁 櫛描沈線文を刺突列で区画以下ループ状の捺糸側面圧痕文施文	表土	5% PL96 前期前半 (花壇下層式)
4	縄文土器	深鉢	-	(11.6)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子・細礫・繊維	にぶい褐	普通	波状口縁 片口付 半截竹管による刺突文施文隆帯上に貼瘤文貼付け	表土	5% PL96 前期前半 (関山1式)
5	縄文土器	深鉢	-	(7.3)	-	長石・石英	にぶい褐	普通	指頭圧痕を施した紐線貼付け 以下胴部単節RL縄文施文	表土	5% PL96 後期前半 (後石寺2式)
6	縄文土器	深鉢	[17.1]	(11.0)	-	長石・石英・雲母	にぶい黄褐	普通	菱形・三角形の沈線区画 単節RL縄文充填	表土	5% PL96 後期前半 (加曾利B1式)
7	弥生土器	広口壺	-	(9.5)	-	長石・石英・雲母・黒色粒子・細礫	橙	普通	櫛歯状工具 (5条) による縦位区画に波状沈線文充填 下向き連弧文・附加条二種縄文施文	表土	10% PL97 後期後半 (十五台式)
8	弥生土器	広口壺	-	(3.0)	-	長石・石英・雲母	にぶい黄橙	普通	櫛歯状工具 (5条) による縦の区画に波状沈線文充填 補修孔は片面からの穿孔	表土	5% PL97 後期後半 (十五台式)
9	土師器	埴	[10.0]	9.0	4.2	長石・石英・黒色粒子	橙	普通	口縁部~体部上半外面ヘラ磨き 下半ヘラ削り内面ナデ	SK440	80% PL97
10	土師器	手捏土器	-	(3.5)	2.1	長石・石英・雲母	橙	普通	内外面指頭圧痕	表土	60% PL97 墨書「山口」「直カ」
11	土師器	坏	[13.6]	(4.4)	-	長石・石英・赤色粒子	にぶい橙	普通	ロクロ成形 内面ヘラ磨き	表土	5% PL102
12	土師器	坏	[12.0]	4.6	5.2	長石・石英・雲母・赤色粒子・黒色粒子	にぶい黄橙	普通	ロクロ成形 内面ヘラ磨き 底部手持ちヘラ削り	表土	30% PL102 墨書「□」
13	土師器	坏	-	(1.1)	5.8	長石・石英・赤色粒子	橙	普通	底部外面回転ヘラ削り 内面ヘラ磨き	表土	5% PL102 墨書「□」「成口カ」
14	須恵器	坏	-	(2.2)	[9.0]	長石・石英・黒色粒子・細礫・針状物質	灰	普通	ロクロ成形 底部回転ヘラ削り後ナデ	SK283	10% PL102 ヘラ書き「上□」

番号	種 別	器種	口径	器高	底径	胎土・色調	特 徴	釉薬	産 地	出土位置	備 考
15	青磁	碗	-	(2.3)	-	緻密・黄灰	鎬蓮弁文 釉色灰オリーブ	青磁釉	龍泉窯	表土	5%
16	青磁	碗	-	(3.2)	-	緻密・灰白	鎬蓮弁文 釉色緑灰	青磁釉	龍泉窯	表土	5%

番号	器 種	長さ(径)	幅(径)	厚さ	重量	胎 土	色 調	特 徴	出土位置	備 考
17	土製紡錘車	5.1	-	1.3	31.55	長石・石英・雲母	灰黄褐	孔径 0.7 ~ 0.8cm ヘラ削り後指頭によるナデ	SI122	PL97
18	管状土錘	4.4	1.2	1.1	(4.81)	長石・石英・雲母・赤色粒子	明赤褐	孔径 0.3cm 両面突孔	SK295	
19	泥面子	2.2	1.6	0.8	1.92	石英・黒色粒子	橙	型押成形 達磨形 裏面指頭によるナデ	SI18	在地系

番号	器 種	長さ	幅	厚さ	重量	材 質	特 徴	出土位置	備 考
20	有舌尖頭器	6.8	2.0	0.6	(7.44)	テイスait	風化による摩耗 剥離調整不明瞭	表土	PL97
21	削器	8.2	2.8	1.6	30.76	瑪瑙	縦長剥片を素材 1側縁部に両面側からの連続した剥離痕 剥離面打面	TM 3	PL97
22	二次加工のある剥片	3.6	2.7	0.7	6.37	黒曜石	縦長剥片 1側縁に連続した調整 反対の側縁上半に微細剥離痕	表土	
23	微細剥離痕のある剥片	4.6	6.6	1.3	25.10	瑪瑙	横長剥片を素材 背面左側縁部に腹面側からの微細剥離痕 剥離面打面	SK426	PL97
24	石鏃	(2.5)	(1.5)	0.4	(1.00)	チャート	凹基無茎鏃 両面押圧剥離調整	SF 2	PL97
25	石鏃	2.1	(1.5)	0.3	(0.66)	チャート	凹基無茎鏃 両面押圧剥離調整	表土	PL97
26	石鏃	(2.7)	1.6	0.4	(1.09)	頁岩	先端部・基部一部欠損 凸基有茎鏃 (アメリカ式石鏃) 両面押圧剥離調整 基部折り込み調整	SI95	PL97
27	石匙	5.4	1.5	0.7	5.09	玉髓	縦長剥片を素材 両面押圧剥離調整	SI181	PL97
28	石匙	3.4	5.3	1.1	11.32	チャート	横長剥片を素材 側縁部に細密な調整加工	SI146	PL97
29	打製石斧	13.6	6.0	2.3	230.48	ホルンフェルス	短冊形 扁平楕円礫を素材 刃部両面調整	表土	PL97
30	打製石斧	13.5	8.8	2.3	257.5	ホルンフェルス	撥形 礫面残す縦長剥片を素材 両側縁部粗い調整 刃部両面部分研磨	SF 2	PL98
31	打製石斧	16.9	10.5	2.7	432.3	粘板岩	撥形 礫面残す横長剥片を素材 両側縁部両面側からの連続した調整 上部折り込み調整	SF 2	PL98
32	打製石斧	12.8	8.3	2.7	322.33	粘板岩	分銅形 全面調整 中央部折り込み調整	表土	PL97
33	打製石斧	17.3	7.8	4.5	784.47	砂岩	楕円礫を素材 剥離・整形	表土	PL98
34	磨製石斧	10.9	4.2	1.8	(105.59)	ホルンフェルス	剥離・後研磨 刃部欠損	SK436	PL97
35	磨製石斧	9.6	4.5	1.5	71.84	粘板岩	剥離調整後研磨 欠損した磨製石斧の再加工品	表土	PL97
36	敲石	12.7	7.5	3.7	506.15	砂岩	両端部敲打痕	表土	
37	凹石	7.2	8.1	4.0	303.28	砂岩	両面凹痕 側面2か所敲打痕 敲石兼用	表土	PL98
38	石皿	(14.8)	(10.7)	4.3	(837.8)	安山岩	敲打調整 上面研磨による凹み 煤付着	TM 3	PL98
39	砥石	(6.2)	3.6	2.0	(72.83)	砂岩	2条の筋状の研磨痕	TM 3	
40	砥石	(9.8)	(11.0)	(4.9)	(423.72)	砂岩	数条の筋状の研磨痕	TM 3	PL98
41	石棒	(14.7)	3.8	2.3	(162.85)	粘板岩	細かな敲打後研磨調整 両端部欠損	SI95	PL98

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
42	不明	14.2	3.9	3.1	(233.60)	雲母片岩	両面敲打調整 側面自然面	SF 2	PL98
43	白玉	0.7	0.6	0.1	0.07	滑石	孔径 0.2cm 一方向からの穿孔	SI92	PL98
44	石製模造品	(4.6)	1.7	0.6	(6.00)	滑石	剣形 全面研磨調整 両側に鑄表現 基部穿孔1か所 一方向からの穿孔	SF 2	PL98
45	石製模造品	3.0	8.6	0.9	33.79	滑石	刀子形 全面研磨調整 片側に鑄表現 穿孔1か所 一方向からの穿孔	表土	PL98
46	石製模造品	2.2	2.1	0.3	2.41	滑石	有孔円板 全面研磨調整 穿孔2か所 一方向からの穿孔	SI163	

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
47	鉄鏃	(10.7)	1.6	0.5	(17.46)	鉄	長三角形有頸有茎鏃 断面平造 鏃身関部山形関 茎部形棒状 茎部断面方形 茎部端部台形関	表土	PL98
48	帯金具	5.1	3.3	0.4	6.36	鉄	鉸具	SI137	PL98

番号	銭種	径	孔幅	厚さ	重量	材質	初鑄年	特徴	出土位置	備考
49	寛永通寶	2.8	0.7	0.1	4.27	銅	1769	四文銭 波紋 11 波	表土	

印刷仕様

編集 OS	Microsoft Windows 10 Pro
編集	Adobe InDesign 2022
図版作成	Adobe Illustrator 2022
写真調整	Adobe Photoshop 2022
Scanning	EPSON DS-G20000
使用Font	OpenType リュウミンPro L-KL 太ゴB101 Pro Bold 中ゴシックBBB Pro Medium
写真線数	カラー210線以上
印刷	印刷所へは、Adobe InDesign 2022でデータ入稿

茨城県教育財団文化財調査報告第467集

那珂市

下大賀遺跡 3

中巻

一般国道118号道路改築事業
地内埋蔵文化財調査報告書Ⅲ

令和5（2023）年 3月17日 発行

発行 公益財団法人茨城県教育財団

〒310-0911 水戸市見和1丁目356番地の2

茨城県水戸生涯学習センター分館内

TEL 029-225-6587

H P <https://www.ibaraki-maibun.org>

印刷 株式会社 あけほの印刷社

〒310-0804 水戸市白梅1丁目2号11番

TEL 029-227-5505